

平成 29 年度

市民意識調査報告書

平成 30 年 3 月
寝屋川市

◆報告書の見方

- 各集計の構成比は百分率で表し、四捨五入して小数点以下第1位で表示しているため、合計が100%にならない場合がある。
- 個別に四捨五入しているグラフと合算で四捨五入しているグラフがあり、数値が一致しない場合がある。
- グラフ中のnは構成比を表示する際の母数を示す。
- 設問の終わりにある複数回答は「○は3つまで」等、単一回答は「○は1つ」の質問形式であることを示す。
- 図表中、選択肢などを一部省略して表記している場合がある。
- nが少ない場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

目 次

1. 調査の概要	1
2. 調査結果	3
回答者の属性	3
1 『安全で安心できるまちづくり』について	13
2 『健康でいきいき暮らせるまちづくり』について	26
3 『夢を育む学びのまちづくり』について	50
4 『快適でうるおいのあるまちづくり』について	77
5 『環境を守り育てるまちづくり』について	99
6 『活力あふれるにぎわいのまちづくり』について	109
7 『市民が主役のまちづくり』について	128
8 『将来を見据えた自治経営』について	138
9 『シティプロモーション』について	148
10 『寝屋川市のまちづくり』について（自由意見）	215
市民意識の指標の推移	216
施策の重要度・満足度の相対分析	218
参考資料	221
資料1 市民意識調査内容	222
資料2 単純集計結果	238

1. 調査の概要

(1) 調査目的

本市では、平成 22 年度に第五次寝屋川市総合計画を策定し、目指すべきまちの姿やまちづくりの大綱を示す基本構想（計画期間：平成 23 年度～平成 32 年度）の下、平成 28 年度から平成 32 年度までに実施していく具体的な施策の内容を明らかにした後期基本計画に基づき、施策・事業を着実に推進しているところである。

この調査は、市の現状や将来のまちづくりに対する市民の意識やニーズを把握することを目的に実施し、その結果を後年度の施策・事業に反映させることで、市民満足度の高いまちづくりを推進していくものである。

(2) 調査項目

- 1 『安全で安心できるまちづくり』について
- 2 『健康でいきいき暮らせるまちづくり』について
- 3 『夢を育む学びのまちづくり』について
- 4 『快適でうるおいのあるまちづくり』について
- 5 『環境を守り育てるまちづくり』について
- 6 『活力あふれるにぎわいのまちづくり』について
- 7 『市民が主役のまちづくり』について
- 8 『将来を見据えた自治経営』について
- 9 『シティプロモーション』について
- 10 『寝屋川市のまちづくり』について（自由意見）
- 11 あなた御自身のことについて

(3) 調査の設計

- ① 調査対象地域
寝屋川市全域
- ② 調査対象
市内に在住する満 18 歳以上の市民（平成 29 年 7 月 1 日現在）
- ③ 標本数
3,500 人
- ④ 抽出方法
単純無作為抽出
- ⑤ 抽出台帳
住民基本台帳

⑥ 調査方法

郵送配布・郵送回収による郵送調査法

⑦ 調査時期

平成 29 年 8 月 21 日（月）～平成 29 年 9 月 4 日（月）

⑧ 礼状兼督促状

第 1 回：平成 29 年 8 月 28 日（月）発送

第 2 回：平成 29 年 9 月 5 日（火）発送

（４）回収結果

① 有効配布数 3,486 件

② 有効回収数 1,912 件

③ 回収率 54.8%

（５）標本誤差

この調査は、95%の信頼度の下で、標本誤差が 2.5%以内に収まるよう回収率 42.5%を見込み、配布数を 3,500 件とした。

調査の結果、1,912 件を回収し、標本誤差は 2.28%となり、目標どおりの成果を得た。

$$b = \pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差

N = 母集団数（18 歳以上の総人口）、200,765 人

n = サンプル数（比率算出の基数）、1,912 件

P = 回答比率、50%とする

2. 調査結果

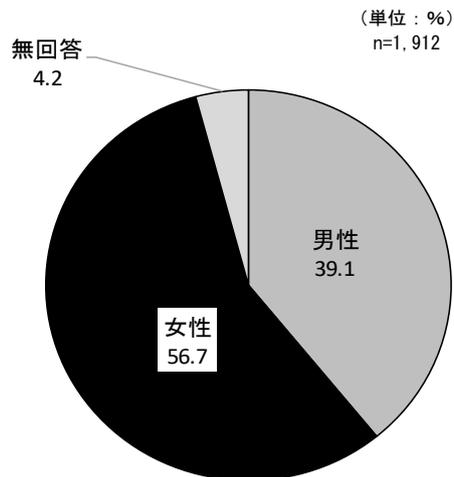
回答者の属性

(1) 性別・年齢

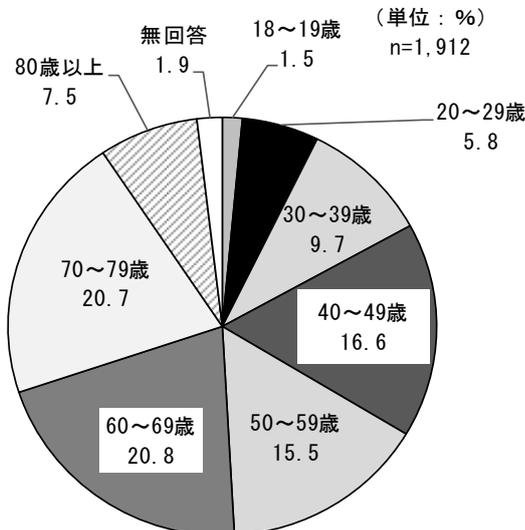
性別について見ると、男性が39.1%、女性が56.7%となっている。平成29年7月1日の住民基本台帳による18歳以上の人口は、男性48.0%、女性52.0%となっており、回答者の属性としては、女性の比率が高くなっている。

年齢別にみると、10歳代が1.5%、20歳代が5.8%、30歳代が9.7%、40歳代が16.6%、50歳代が15.5%、60歳代が20.8%、70歳代が20.7%、80歳以上が7.5%となっている。

<男女の内訳>



<年齢の内訳>

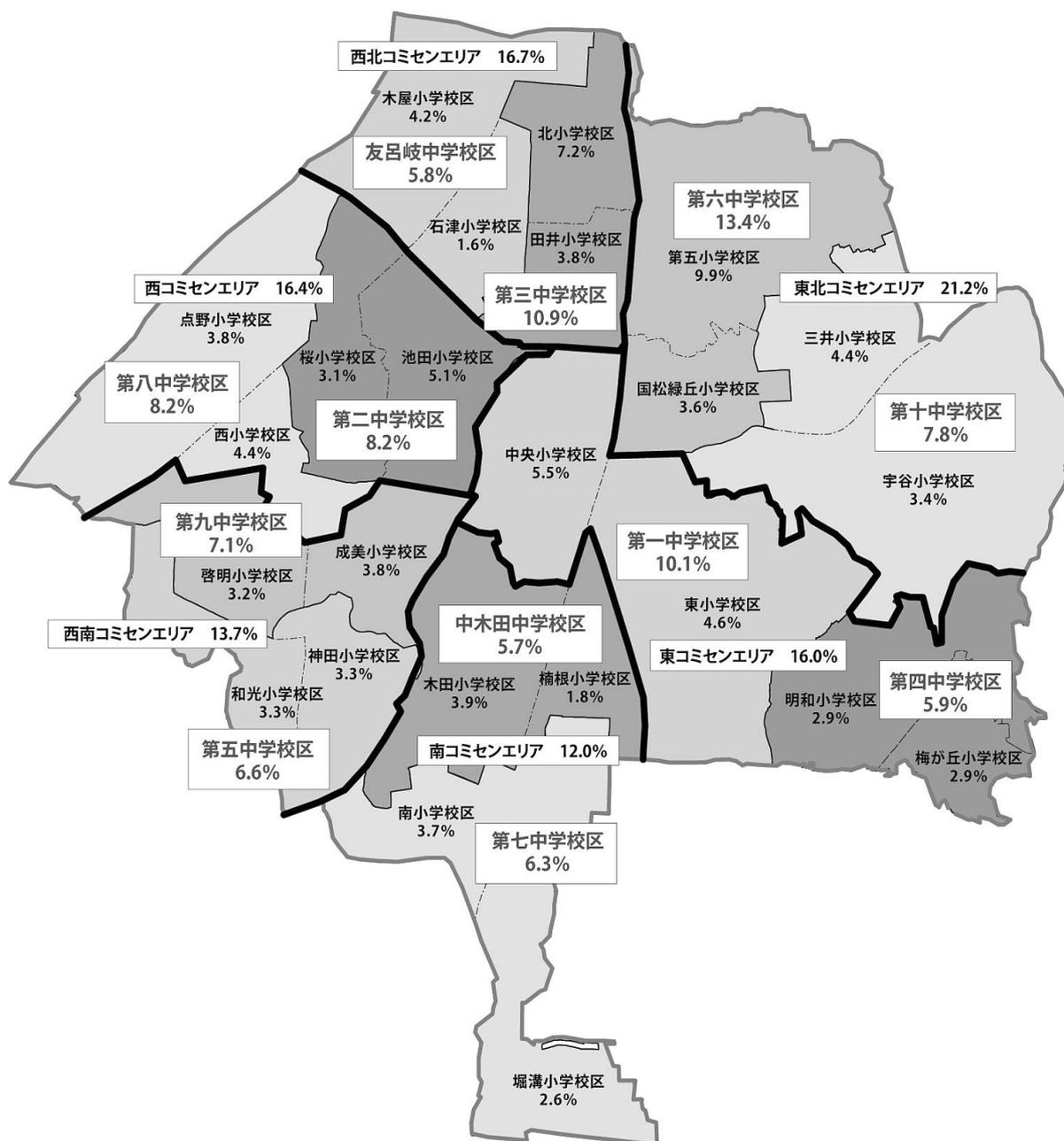


(2) 居住地区

居住地区別の回答者数は人口分布を反映しており、「第六中学校区」が最も高く、次いで「第三中学校区」「第一中学校区」が続き、「中木田中学校区」「友呂岐中学校区」「第四中学校区」が低くなっている。

また、コミュニティセンターエリア（コミセンエリア）別に見ると、「東北コミセンエリア」が21.2%と最も高く、次いで「西北コミセンエリア」が16.7%、「西コミセンエリア」が16.4%、「東コミセンエリア」が16.0%、「西南コミセンエリア」が13.7%、「南コミセンエリア」が12.0%の順となっている。

<居住地区の内訳>

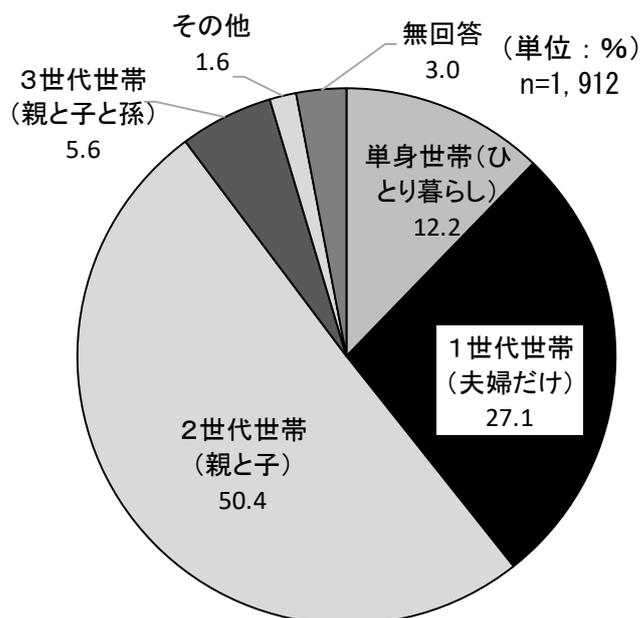


(3) 家族構成

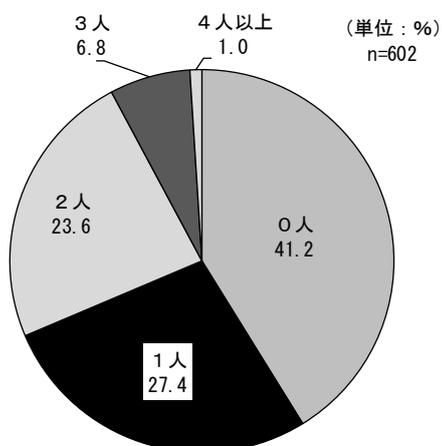
<全体>

「2世代世帯（親と子）」が50.4%と最も高く、次いで「1世代世帯（夫婦だけ）」が27.1%、「単身世帯（ひとり暮らし）」が12.2%、「3世代世帯（親と子と孫）」が5.6%の順となっている。

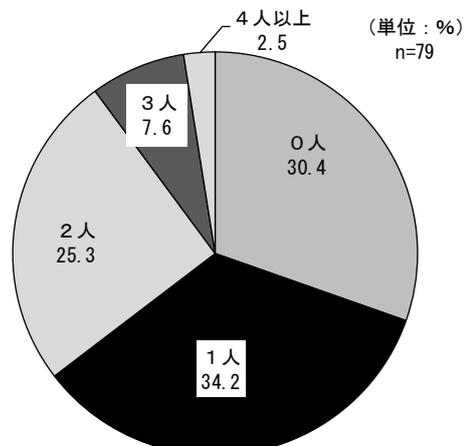
2世代世帯の18歳未満の子どもの人数について見ると、「0人」が41.2%と最も高く、次いで「1人」が27.4%、「2人」が23.6%、「3人」が6.8%との順となっている。3世代世帯では、「1人」が34.2%と最も高く、次いで、「0人」が30.4%、「2人」が25.3%、「3人」が7.6%の順となっている。



<2世代世帯の18歳未満の子どもの人数の内訳>

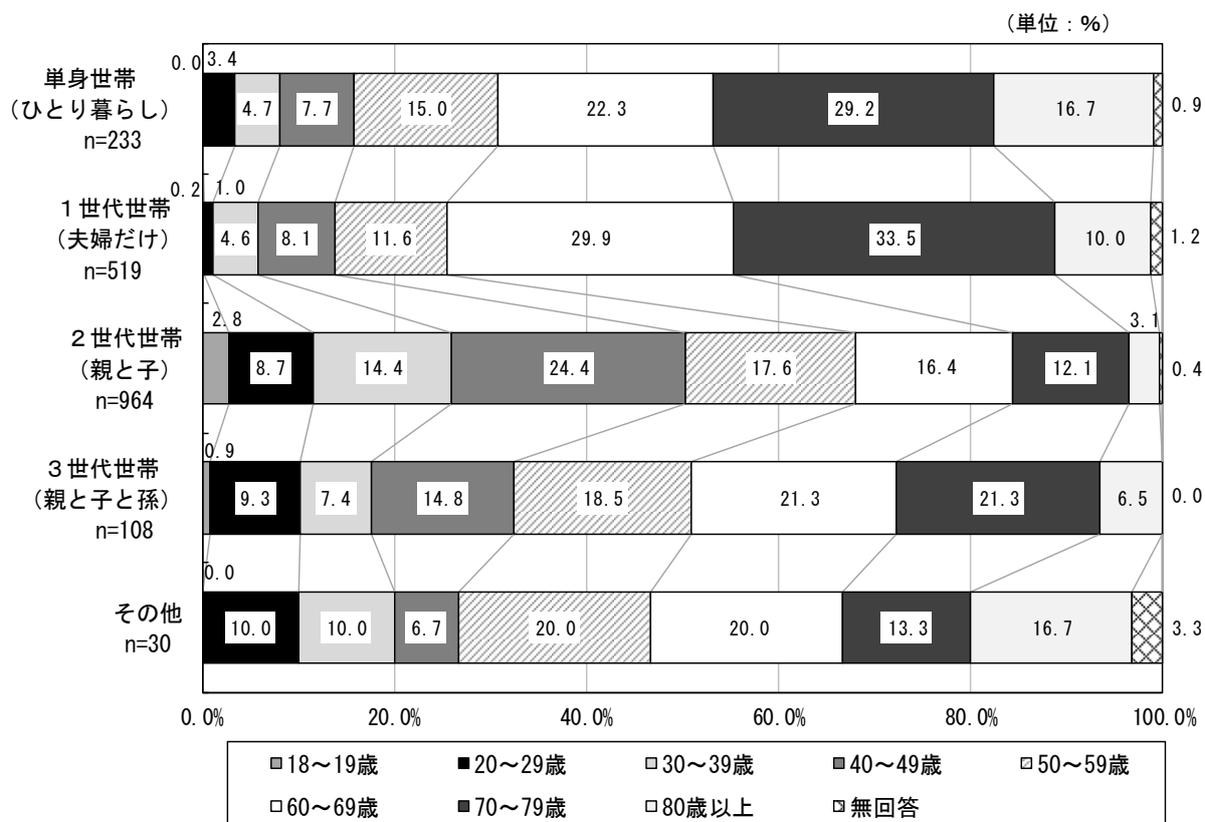


<3世代世帯の18歳未満の子どもの人数の内訳>



<家族構成の年代別の内訳>

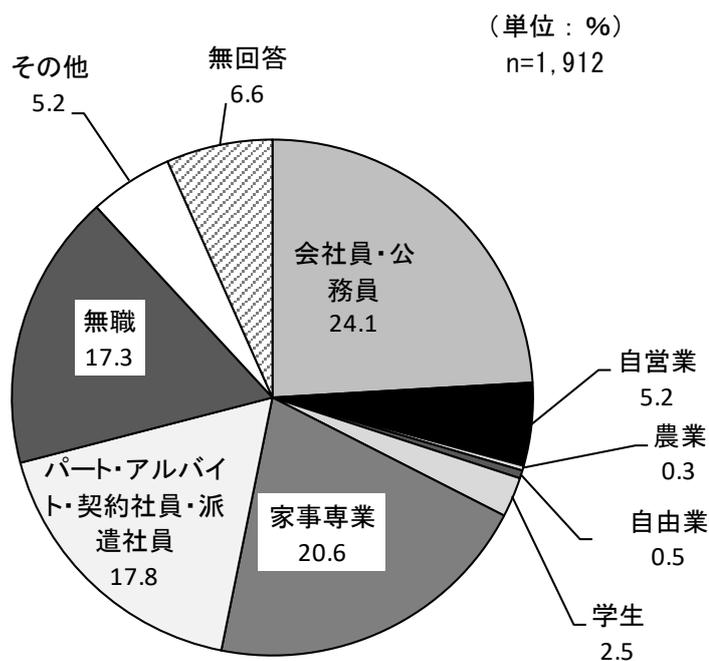
また、家族構成と年代を見ると、単身世帯、1世代世帯の60歳以上の割合が高くなっている。



(4) 職業構成

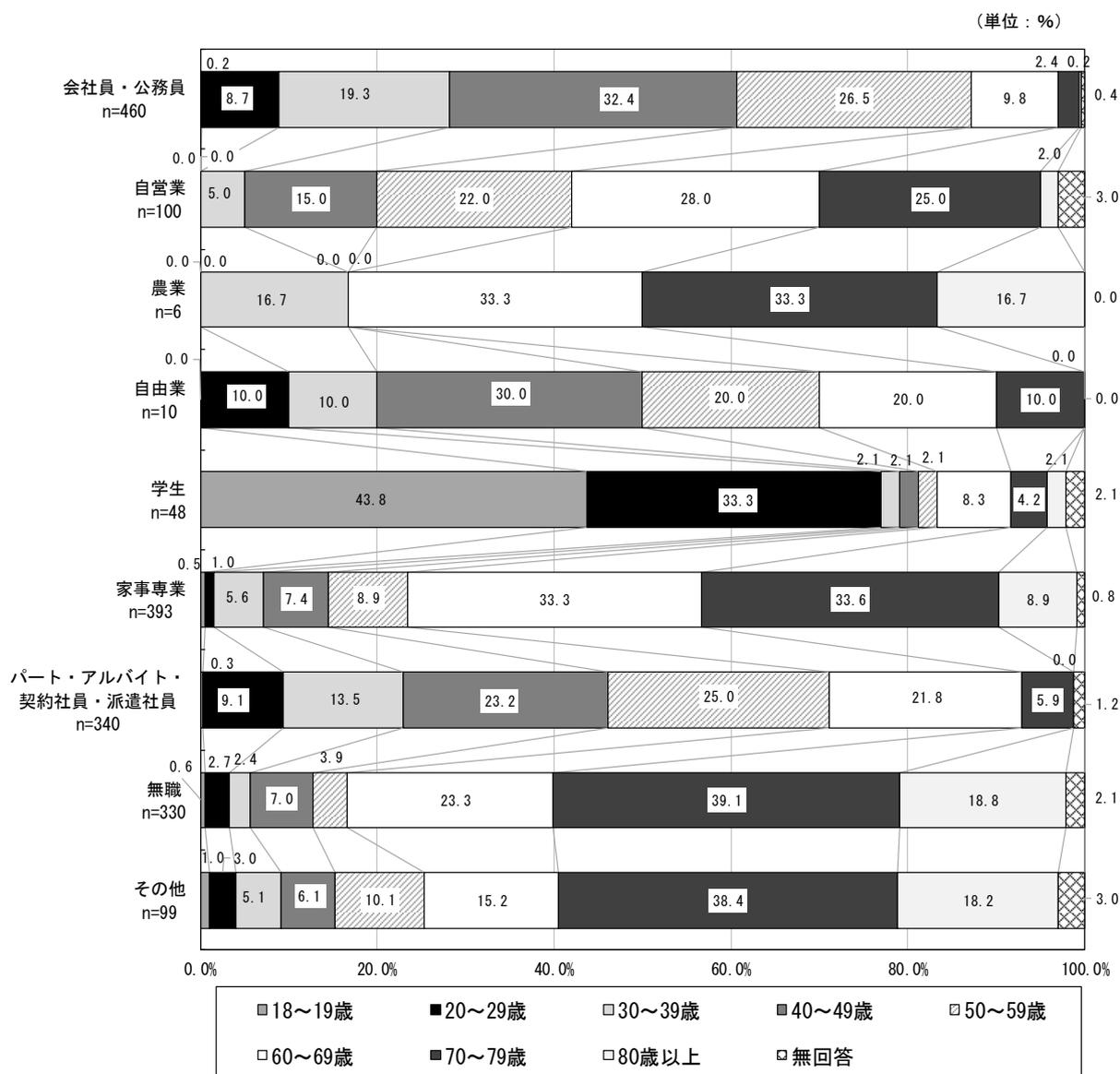
<全体>

職業構成について見ると、「会社員・公務員」が24.1%と最も高く、次いで「家事専業」が20.6%、「パート・アルバイト・契約社員・派遣社員」が17.8%、「無職（学生、家事専業を除く）」が17.3%、「自営業（商業・工業・サービス業）」「その他」が5.2%、「学生」が2.5%、「自由業（弁護士・芸術家など）」が0.5%、「農業」が0.3%の順となっている。



<職業の年代別の内訳>

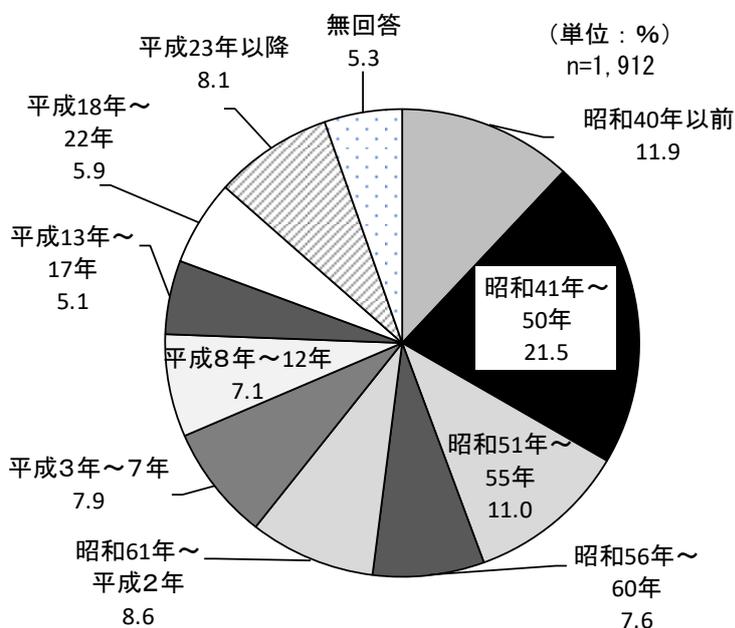
「会社員・公務員」「パート・アルバイト・契約社員・派遣社員」では40歳代、50歳代、「自営業（商業・工業・サービス業）」「農業」「家事専業」「無職（学生、家事専業を除く）」では60歳代、70歳代の割合が高くなっている。



(5) 住宅形態

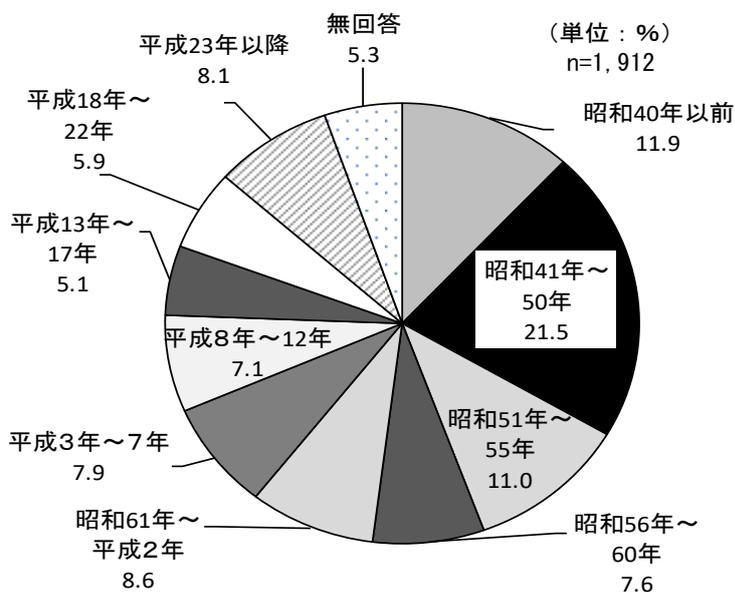
住宅形態について見ると、「持家（一戸建て）」が56.8%と最も高く、「持家（マンションなど）」の15.9%を合わせた持家居住者の合計は、72.7%となっている。

また、「持家（一戸建て）」と「民間の借家（一戸建て）」を合わせた一戸建て居住者は、59.9%となっている。



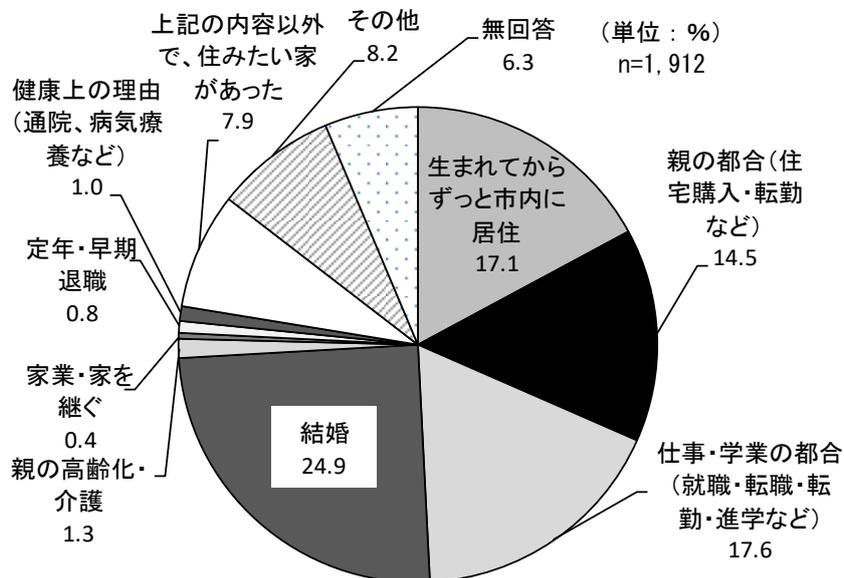
(6) 居住時期

居住時期について見ると、「昭和41年～50年」が21.5%と最も高く、次いで「昭和40年以前」が11.9%、「昭和51年～55年」が11.0%、「昭和61年～平成2年」が8.6%、「平成23年以降」が8.1%、「平成3年～7年」が7.9%、「昭和56年～60年」が7.6%、「平成8年～12年」が7.1%、「平成18年～22年」が5.9%、「平成13年～17年」が5.1%の順となっている。



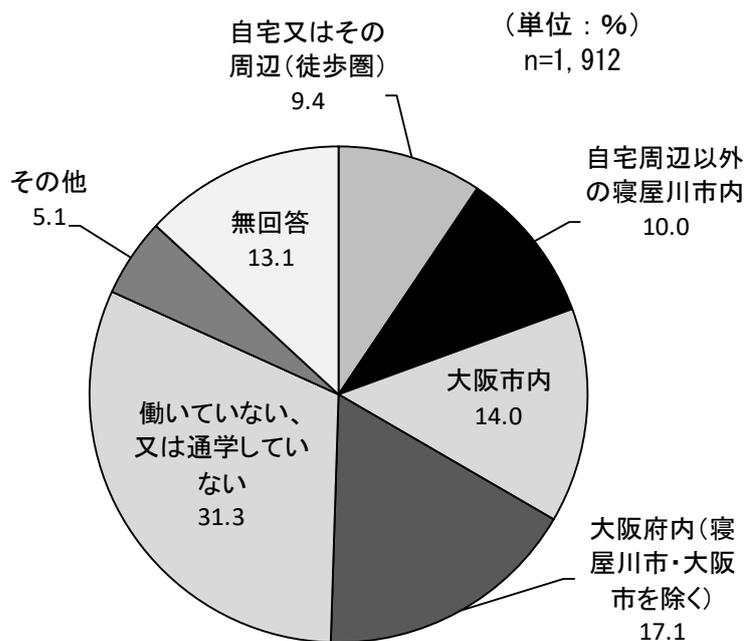
(7) 寝屋川市に住むことになったきっかけ

寝屋川市に住むことになったきっかけについて見ると、「結婚」が24.9%と最も高く、次いで「仕事・学業の都合」が17.6%、「生まれてからずっと市内に居住」が17.1%、「親の都合（住宅購入・転勤など）」が14.5%の順となっている。



(8) 職場、通学先

職場、通学先について見ると、「働いていない、又は通学していない」が31.3%と最も高く、次いで「大阪府内（寝屋川市・大阪市を除く）」が17.1%、「大阪市内」が14.0%の順となっている。



(9) 回答者の傾向

このアンケート調査の対象者は、住民基本台帳から無作為に抽出したが、回収率が100%ではないため、回答者の属性は市民（母集団）と若干のずれがある。

アンケート調査の回答者属性と住民基本台帳（平成29年7月1日現在）を比較すると、回答者の傾向は以下のとおりである。

- ① 男性の構成比が低く、女性が高くなっている。
- ② 40歳代から70歳代までの構成比が高くなっている。
- ③ 中学校区別の人口構成比は、おおむね母集団を反映している。

図表1 18歳以上の男女別人口と回答者

	住民基本台帳		アンケート調査		差
	人口(人)	構成比(%)	回答者(人)	構成比(%)	
合計	200,765	100.0	1,912	100.0	—
男性	96,399	48.0	748	39.1	▲8.9%
女性	104,366	52.0	1,084	56.7	4.7%
無回答	—	—	80	4.2	—

図表2 18歳以上の年代別人口と回答者

	住民基本台帳		アンケート調査		差
	人口(人)	構成比(%)	回答者(人)	構成比(%)	
合計	200,765	100.0	1,912	100.0	—
10歳代	4,793	2.4	29	1.5	▲0.9%
20歳代	22,365	11.1	110	5.8	▲5.3%
30歳代	26,096	13.0	186	9.7	▲3.3%
40歳代	38,863	19.4	318	16.6	▲2.8%
50歳代	28,010	14.0	296	15.5	1.5%
60歳代	33,049	16.5	398	20.8	4.3%
70歳代	31,411	15.6	396	20.7	5.1%
80歳以上	16,178	8.1	143	7.5	▲0.6%
無回答	—	—	36	1.9	—

図表3 18歳以上の小中学校区別人口と回答者

	住民基本台帳		アンケート調査		差
	人口 (人)	構成比(%)	回答者(人)	構成比(%)	
合計	200,765	100.0	1,912	100.0	—
第一	20,337	10.1	194	10.1	0.0%
東	9,859	4.9	88	4.6	▲0.3%
中央	10,478	5.2	106	5.5	0.3%
第二	18,482	9.2	157	8.2	▲1.0%
池田	10,389	5.2	98	5.1	▲0.1%
桜	8,093	4.0	59	3.1	▲0.9%
第三	21,537	10.7	209	10.9	0.2%
北	13,171	6.6	137	7.2	0.6%
田井	8,366	4.2	72	3.8	▲0.4%
第四	10,953	5.5	112	5.9	0.4%
明和	6,051	3.0	56	2.9	▲0.1%
梅が丘	4,902	2.4	56	2.9	0.5%
第五	17,364	8.6	126	6.6	▲2.0%
神田	7,891	3.9	63	3.3	▲0.6%
和光	9,473	4.7	63	3.3	▲1.4%
第六	24,546	12.2	257	13.4	1.2%
第五	16,964	8.4	189	9.9	1.5%
国松緑丘	7,582	3.8	68	3.6	▲0.2%
第七	14,407	7.2	120	6.3	▲0.9%
南	8,783	4.4	70	3.7	▲0.7%
堀溝	5,624	2.8	50	2.6	▲0.2%
第八	15,375	7.7	156	8.2	0.5%
西	6,657	3.3	84	4.4	1.1%
点野	8,718	4.3	72	3.8	▲0.5%
第九	16,324	8.1	135	7.1	▲1.0%
成美	8,142	4.1	73	3.8	▲0.3%
啓明	8,182	4.1	62	3.2	▲0.9%
第十	15,050	7.5	149	7.8	0.3%
三井	8,399	4.2	84	4.4	0.2%
宇谷	6,651	3.3	65	3.4	0.1%
友呂岐	13,921	6.9	111	5.8	▲1.1%
木屋	8,797	4.4	80	4.2	▲0.2%
石津	5,124	2.6	31	1.6	▲1.0%
中木田	12,469	6.2	109	5.7	▲0.5%
木田	8,239	4.1	75	3.9	▲0.2%
楠根	4,230	2.1	34	1.8	▲0.3%
無回答	—	—	77	4.0	—

1 『安全で安心できるまちづくり』について

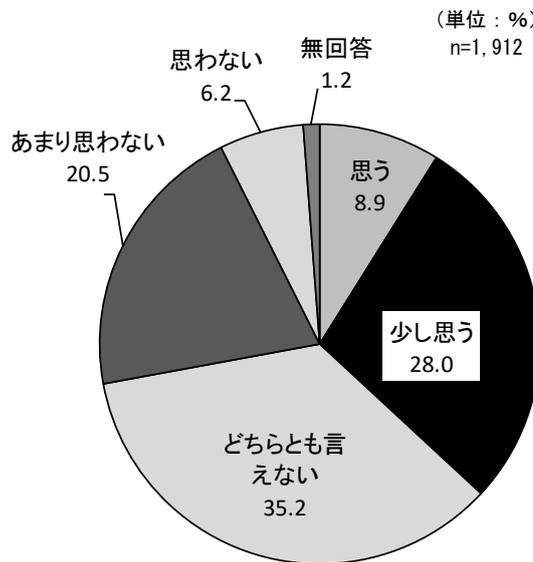
① 「防災・防犯・治水対策」について

問1 寝屋川市は、災害に備えるまちづくりが行われていると思いますか。

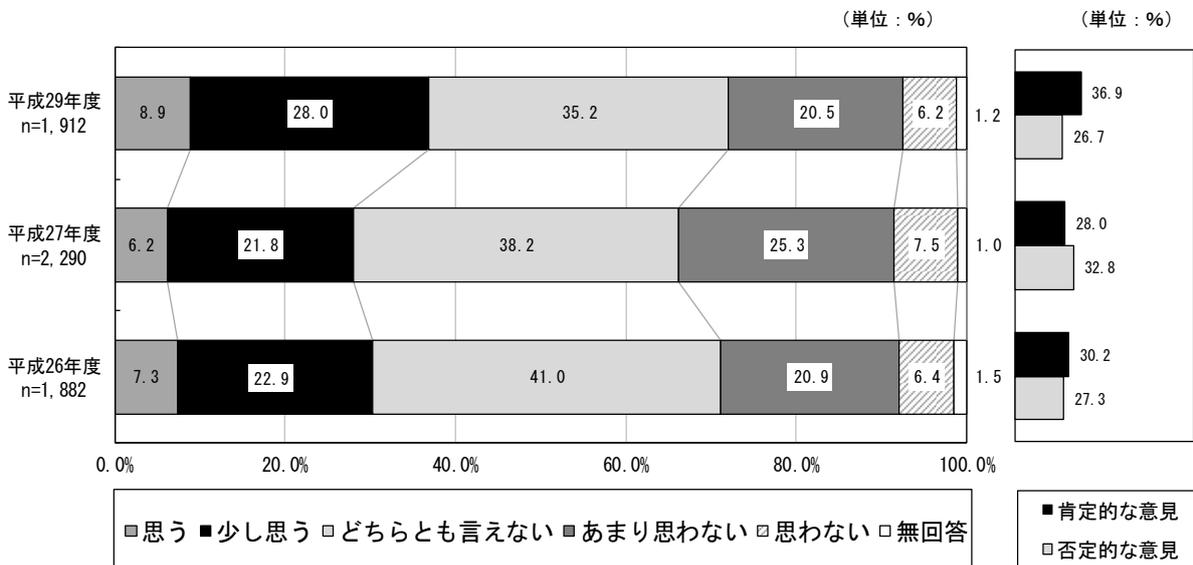
<全体>

「どちらとも言えない」が35.2%と最も高く、次いで「少し思う」が28.0%、「あまり思わない」が20.5%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は36.9%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は26.7%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



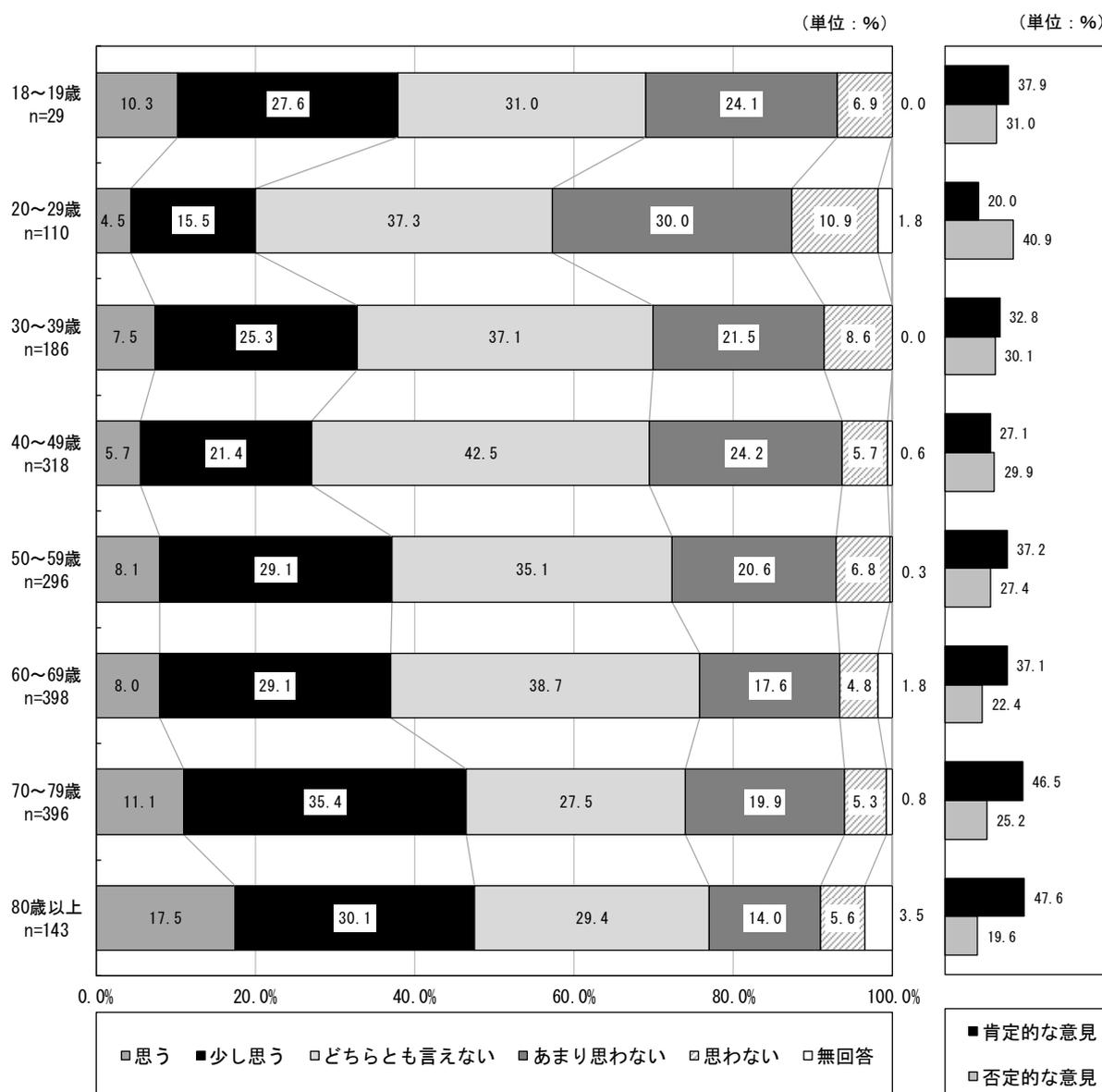
<年度別>



<年代別>

10歳代、30歳代、50歳代以上において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで70歳代、10歳代の順となっている。

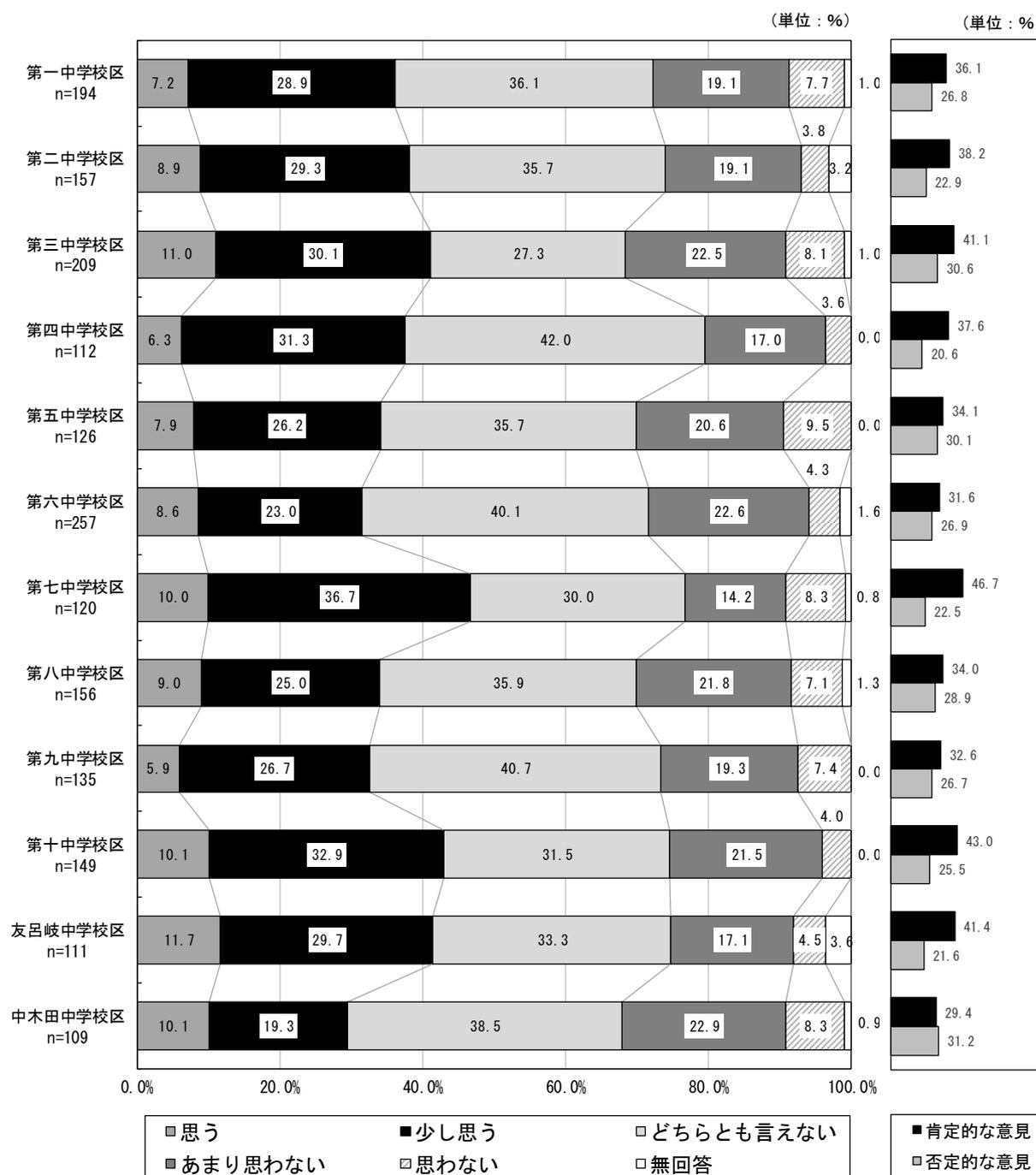
『否定的な意見』の割合は、20歳代、10歳代、30歳代で高くなっている。



＜中学校区別＞

中木田中学校区以外の中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第七中学校区で、次いで第十、友呂岐中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、中木田、第三、第五中学校区で高くなっている。

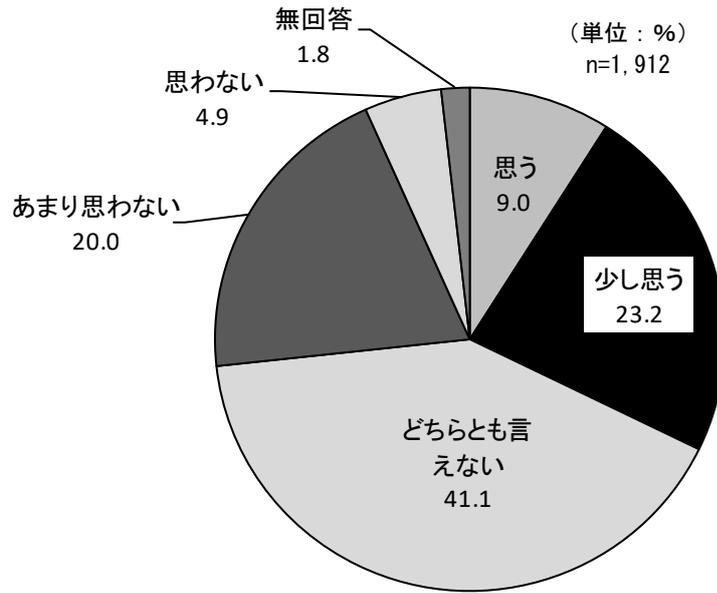


問2 地域の消防防災体制が充実していると思いますか。

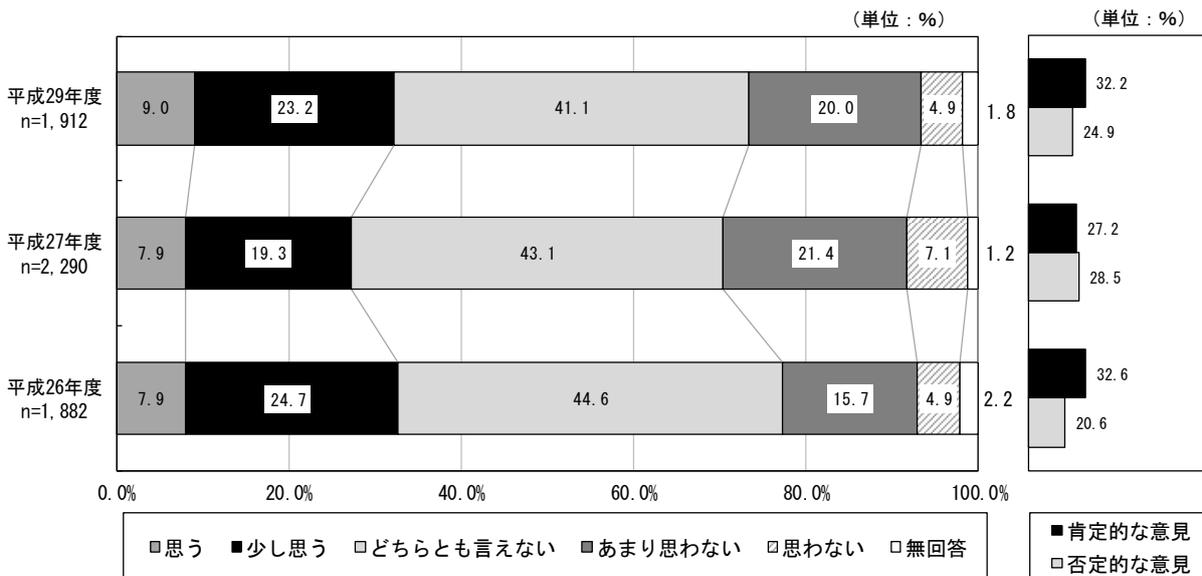
<全体>

「どちらとも言えない」が41.1%と最も高く、次いで「少し思う」が23.2%、「あまり思わない」が20.0%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は32.2%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は24.9%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



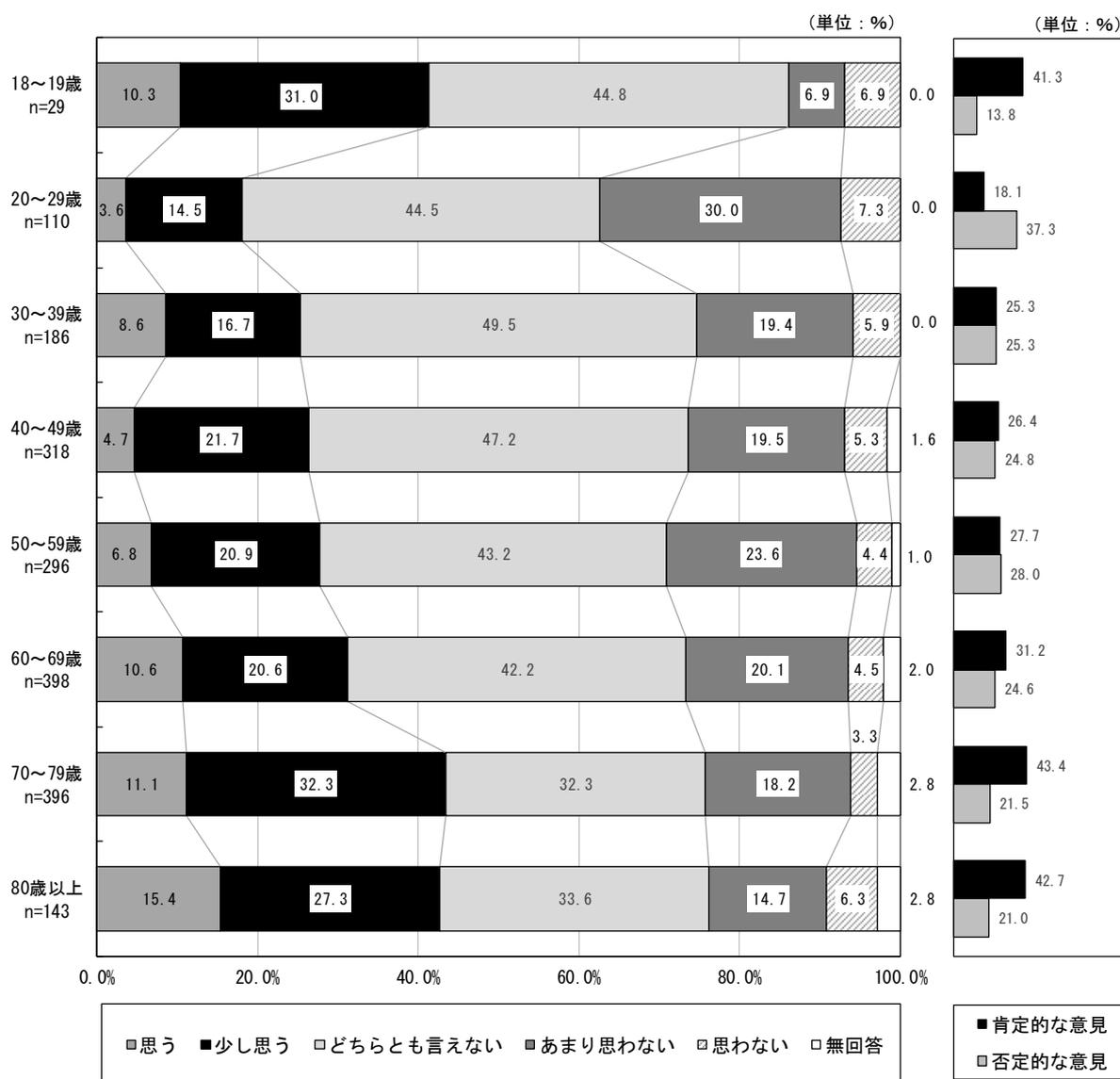
<年度別>



<年代別>

10歳代、40歳代、60歳代、70歳代、80歳以上において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは70歳代で、次いで80歳以上、10歳代の順となっている。

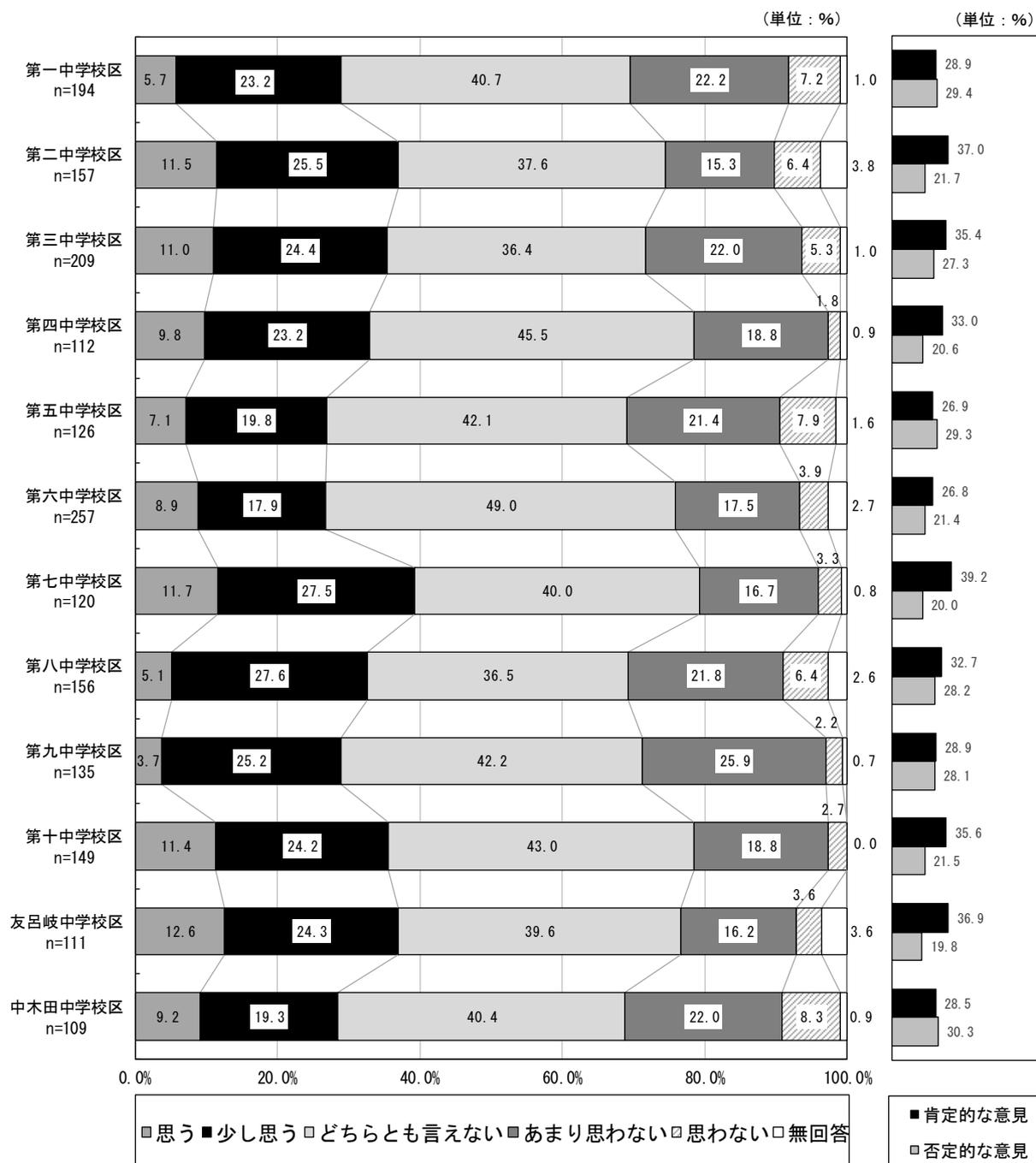
『否定的な意見』の割合は、20歳代、50歳代、30歳代で高くなっている。



<中学校区別>

第一、第五、中木田中学校区以外の中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第七中学校区で、次いで第二、友呂岐中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、中木田、第一、第五中学校区で高くなっている。

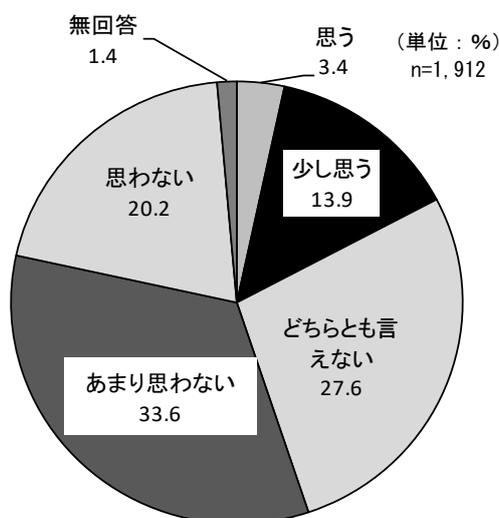


問3 寝屋川市は、犯罪が少なく、安全なまちであると思いますか。

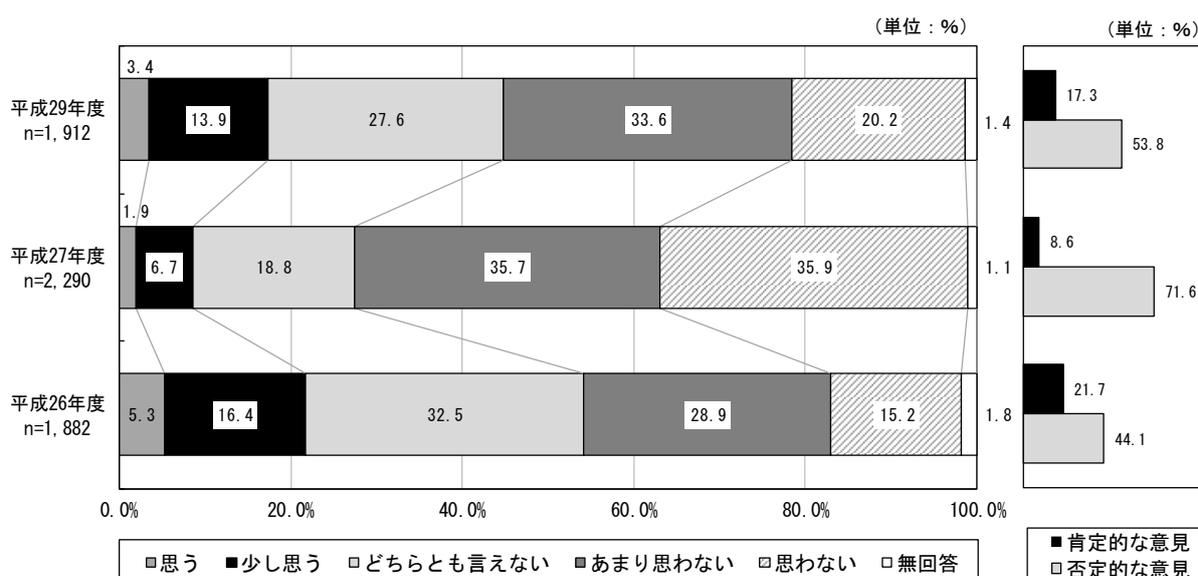
<全体>

「あまり思わない」が33.6%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が27.6%、「思わない」が20.2%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は17.3%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は53.8%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



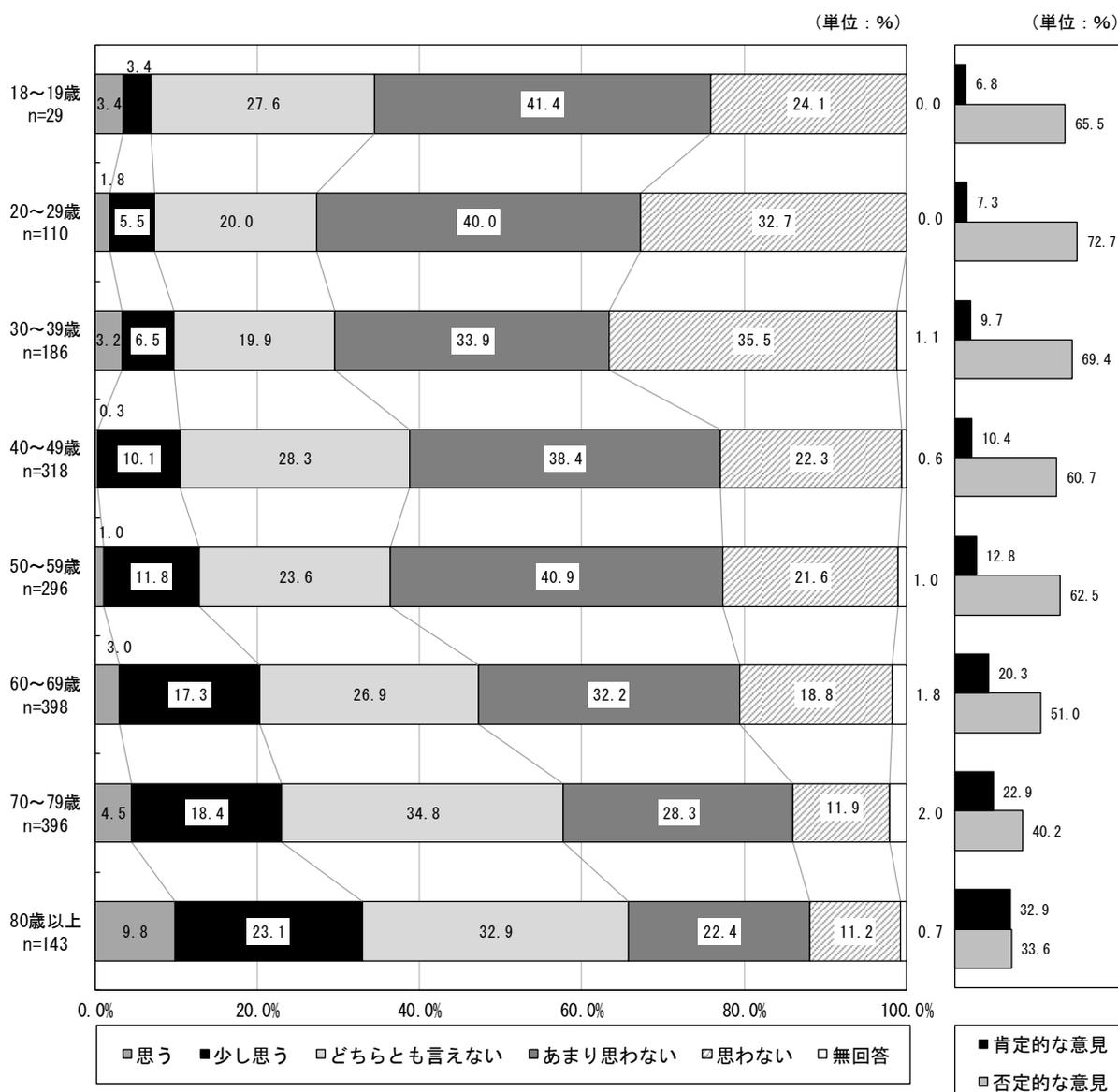
<年度別>



<年代別>

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで70歳代、60歳代の順となっている。

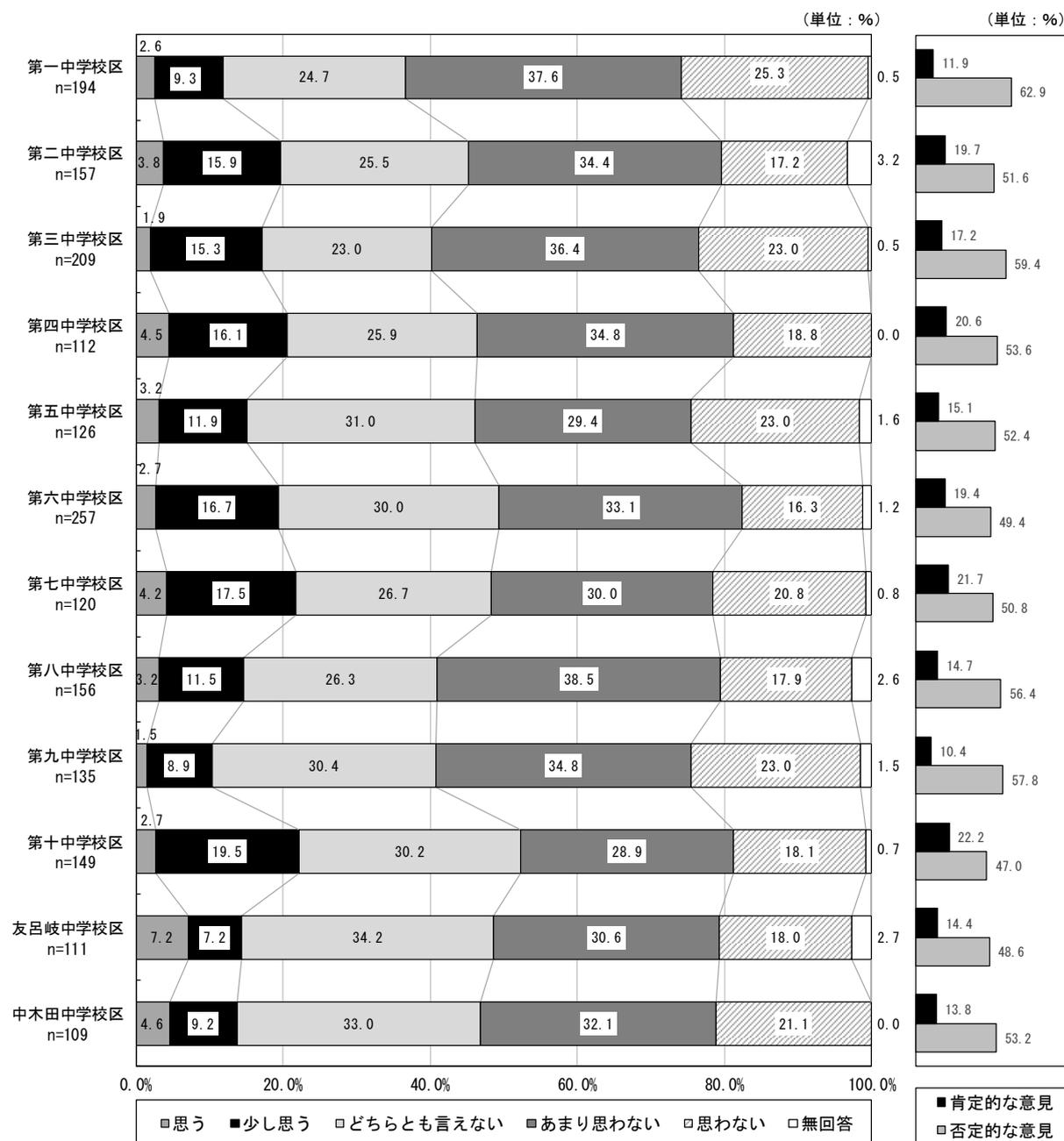
『否定的な意見』の割合は、20歳代、30歳代、10歳代で高くなっている。



＜中学校区別＞

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第十中学校区で、次いで第七、第四中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第一、第三、第九中学校区で高くなっている。

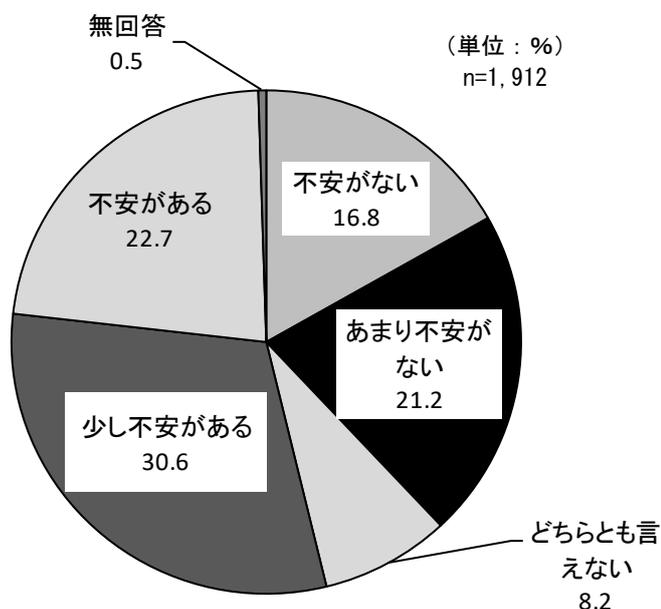


問4 雨の時に浸水の不安がありますか。

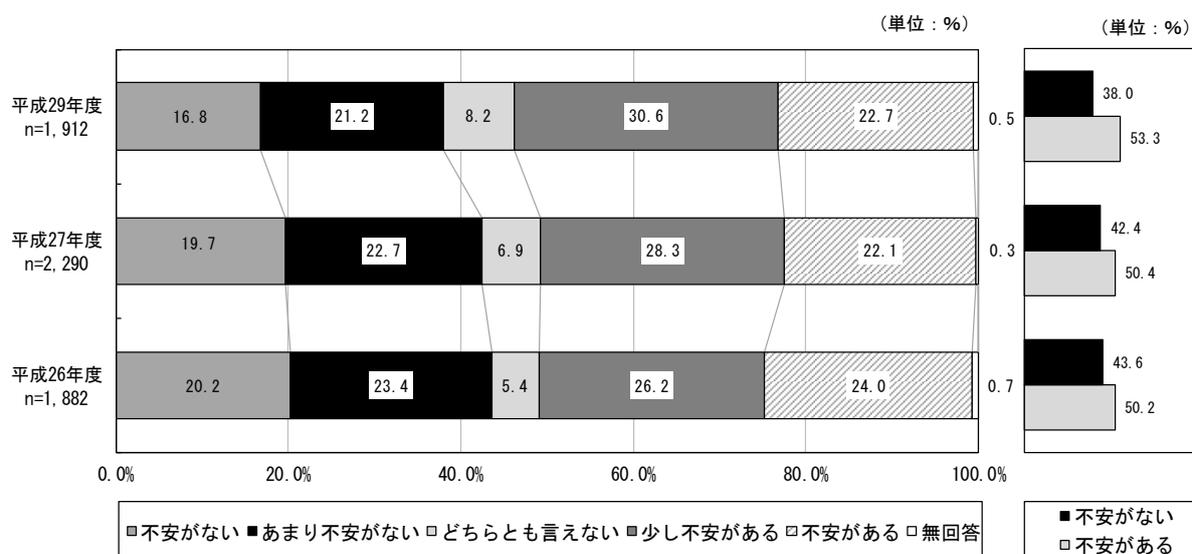
<全体>

「少し不安がある」が30.6%と最も高く、次いで「不安がある」が22.7%、「あまり不安がない」が21.2%の順となっている。

「不安がない」と「あまり不安がない」を合わせた『不安がない』は38.0%、「少し不安がある」と「不安がある」を合わせた『不安がある』は53.3%となっており、『不安がない』が『不安がある』を下回っている。



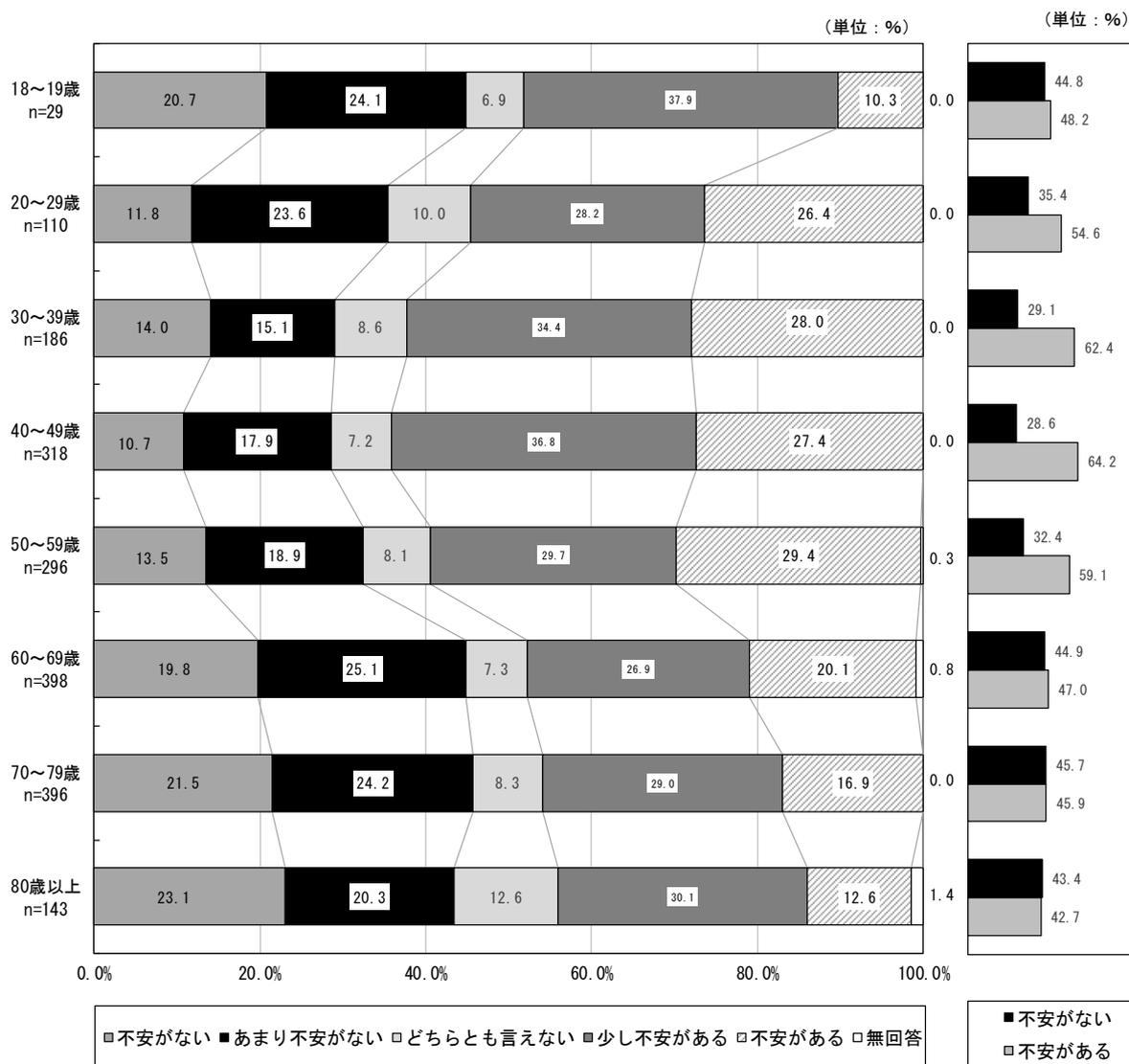
<年度別>



<年代別>

80歳以上を除く年代において『不安がない』が『不安がある』を下回っており、『不安がない』の割合が最も高いのは70歳代で、次いで60歳代、10歳代の順となっている。

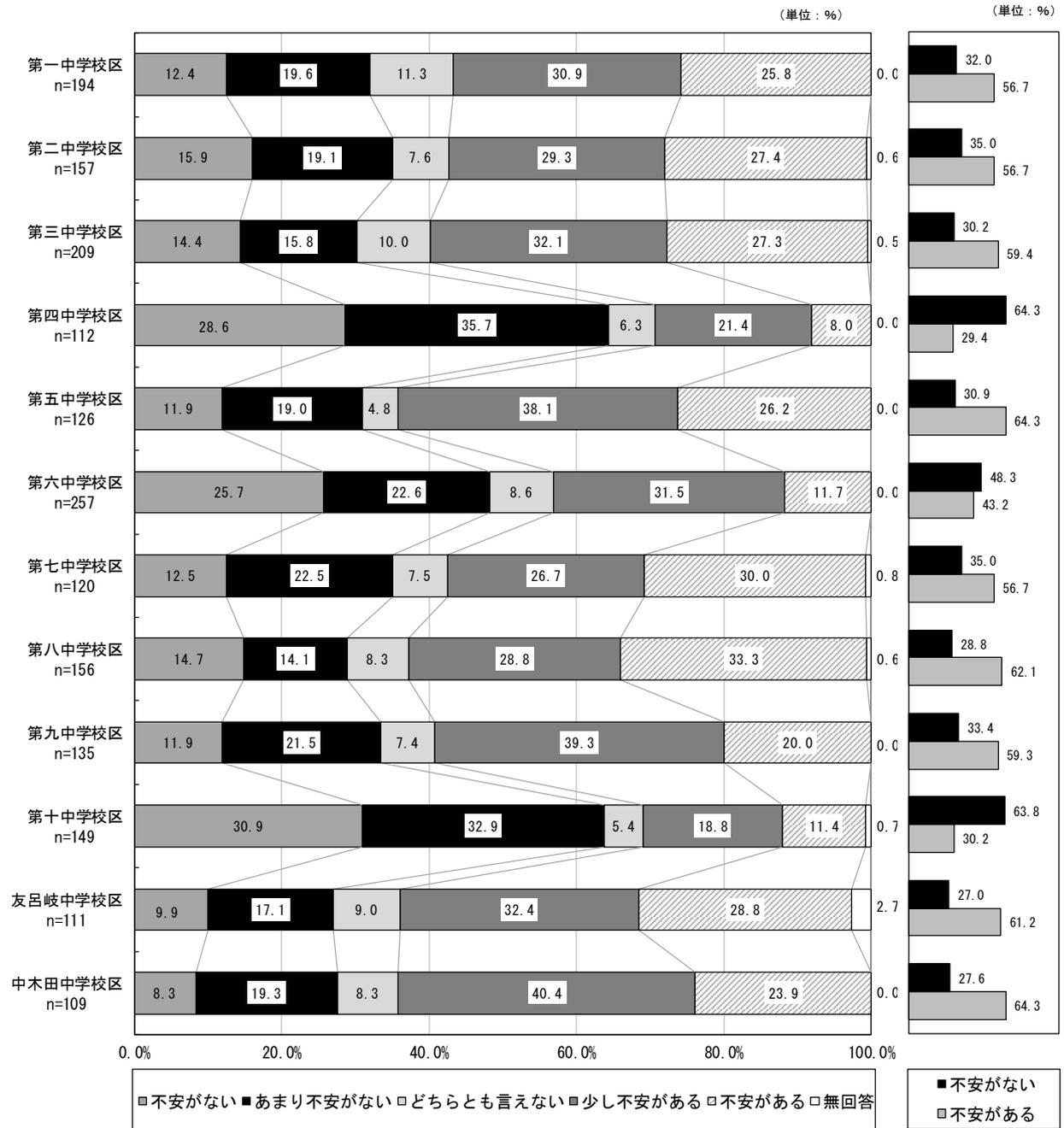
『不安がある』の割合は、40歳代、30歳代、50歳代で高くなっている。



<中学校区別>

第四、第六、第十中学校区において『不安がない』が『不安がある』を上回っており、『不安がない』の割合が最も高いのは第四中学校区で、次いで第十、第六中学校区の順となっている。

『不安がある』の割合は、第五、中木田、第八中学校区で高くなっている。

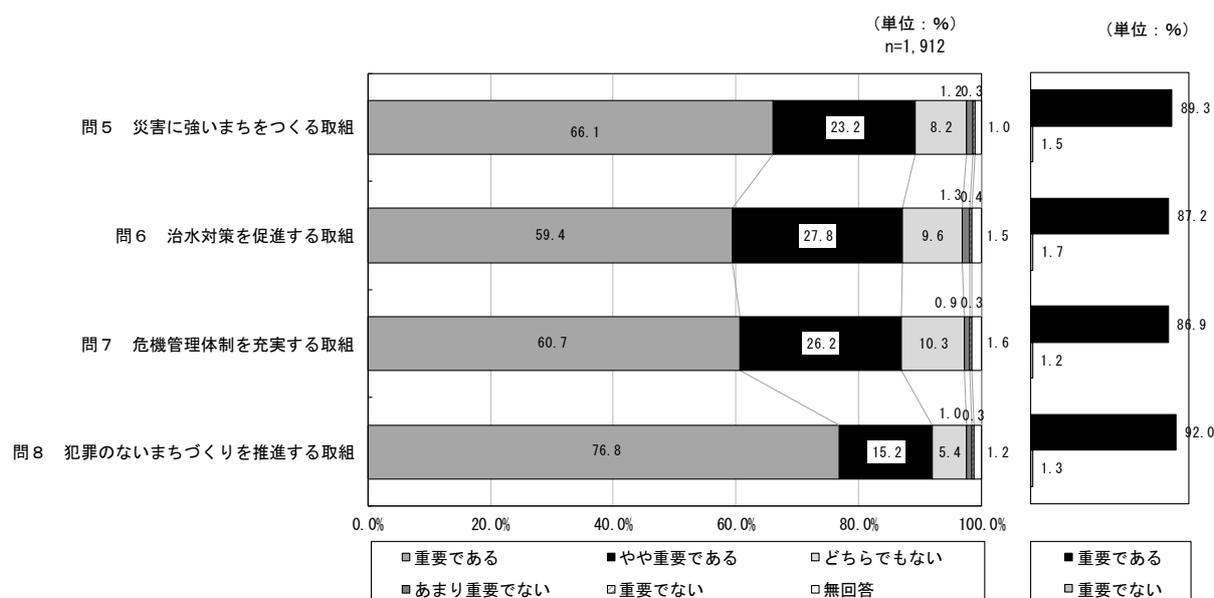


②「防災・防犯・治水」の施策についての重要度と満足度

問5～問8 現在、寝屋川市が取り組んでいる「防災・防犯・治水」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きます。

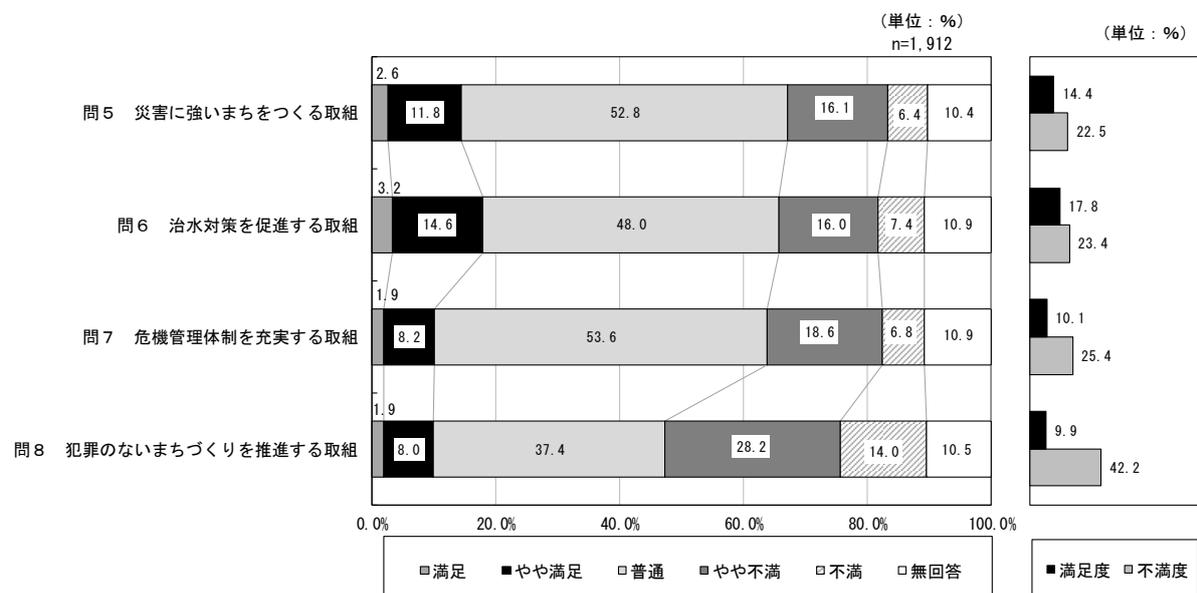
<重要度>

『防災・防犯・治水』の施策において、重要度（「重要である」と「やや重要である」を合わせた割合をいう。以下同じ。）が最も高いのは「犯罪のないまちづくりを推進する取組」で、「災害に強いまちをつくる取組」が続いている。



<満足度>

『防災・防犯・治水』の施策において、満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合をいう。以下同じ。）が最も高いのは「治水対策を促進する取組」で、不満度（「不満」と「やや不満」を合わせた割合をいう。以下同じ。）が最も高いのは「犯罪のないまちづくりを推進する取組」である。



2 『健康でいきいき暮らせるまちづくり』について

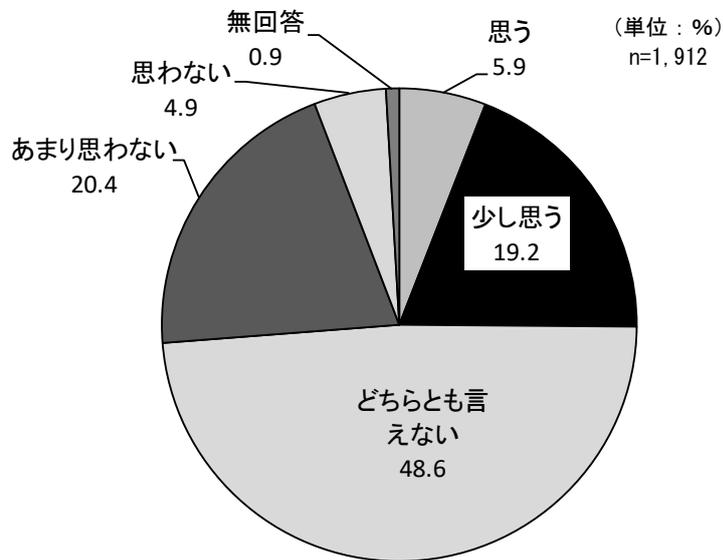
① 「人権」について

問9 市民一人一人の人権意識は高くなってきたと思いますか。

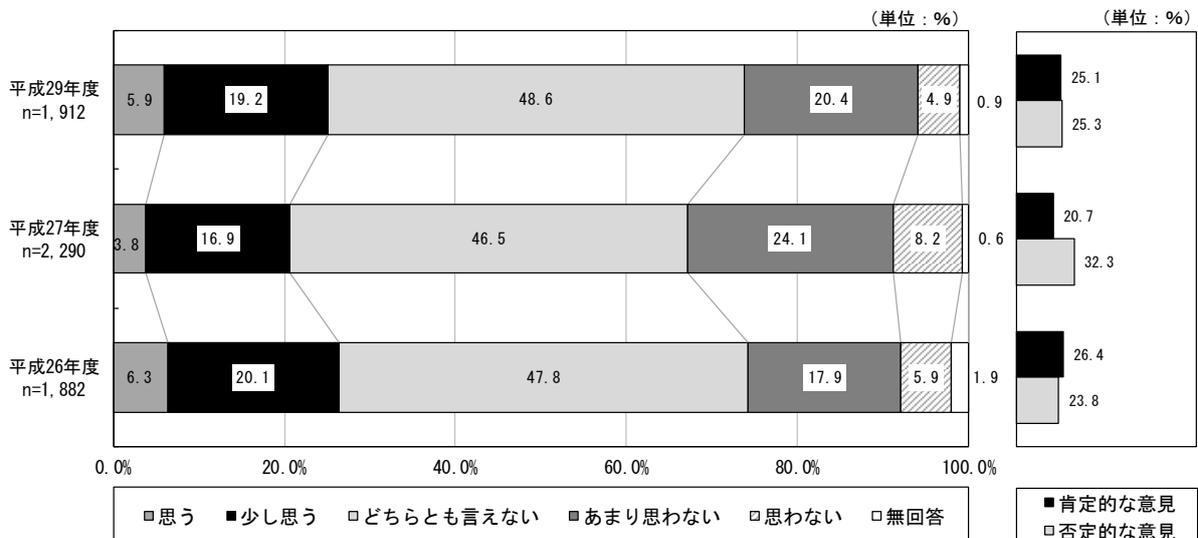
<全体>

「どちらとも言えない」が48.6%と最も高く、次いで「あまり思わない」が20.4%、「少し思う」が19.2%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は25.1%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は25.3%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



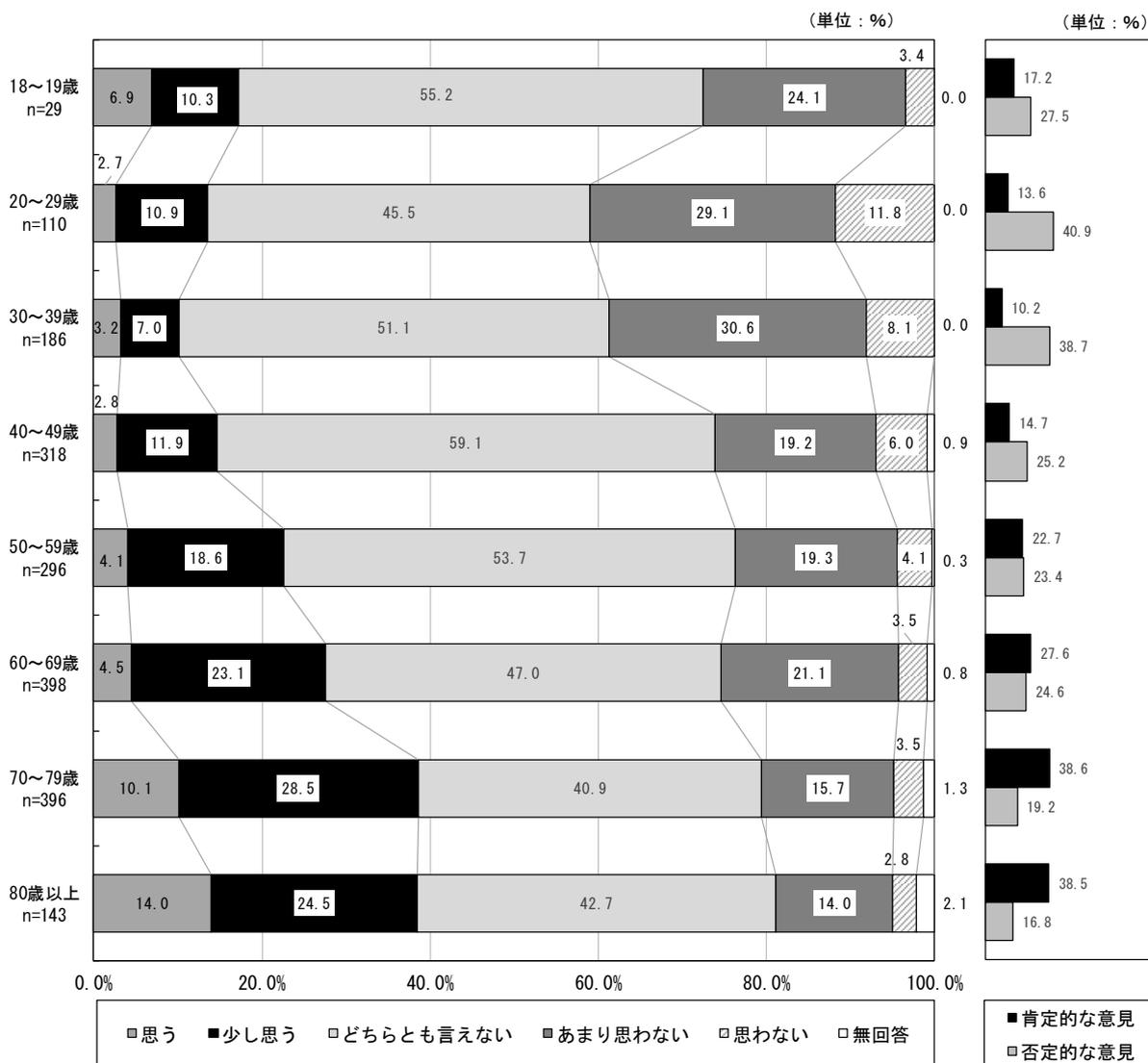
<年度別>



<年代別>

10歳代から50歳代までは『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは70歳代で、次いで80歳以上、60歳代の順となっている。

『否定的な意見』は、20歳代、30歳代、10歳代で高くなっている。

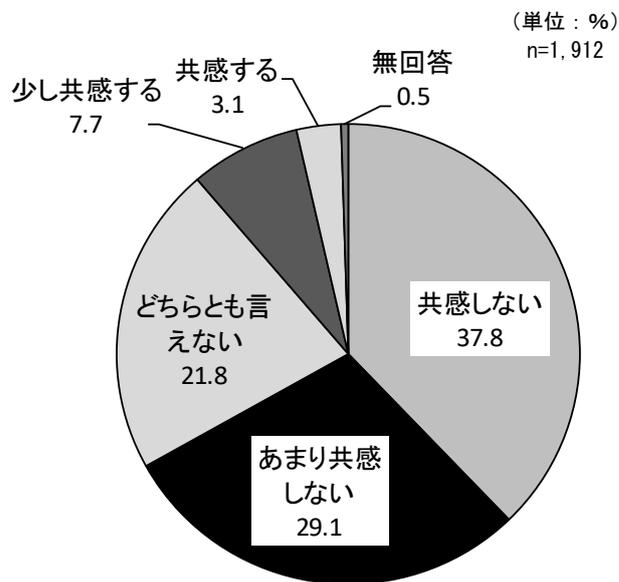


問10 「男は仕事、女は家庭」というように性別によって役割を分担する考え方に共感しますか。

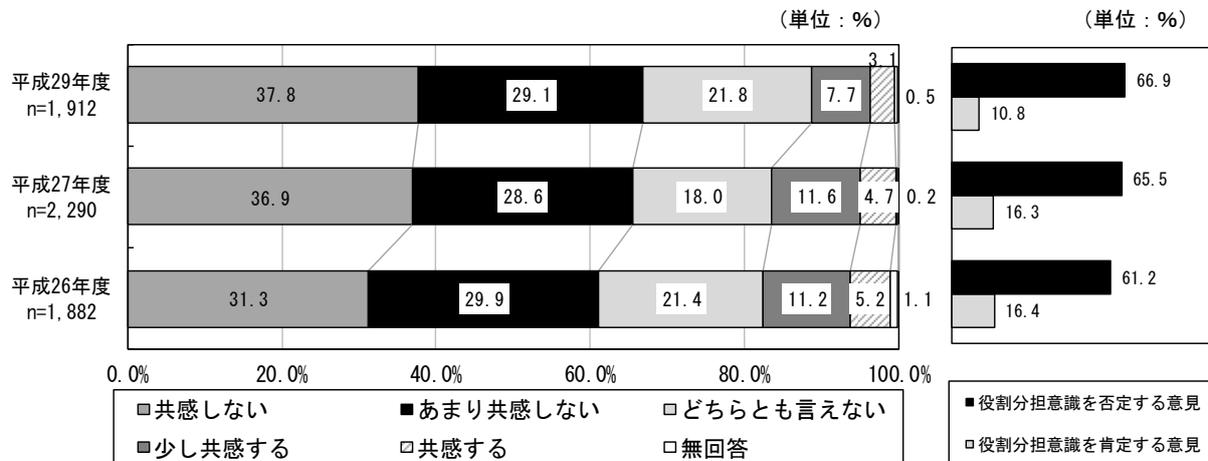
<全体>

「共感しない」が37.8%と最も高く、次いで「あまり共感しない」が29.1%、「どちらとも言えない」が21.8%の順となっている。

「共感しない」と「あまり共感しない」を合わせた『役割分担意識を否定する意見』は66.9%、「少し共感する」と「共感する」を合わせた『役割分担意識を肯定する意見』は10.8%となっており、『役割分担意識を否定する意見』が『役割分担意識を肯定する意見』を上回っている。



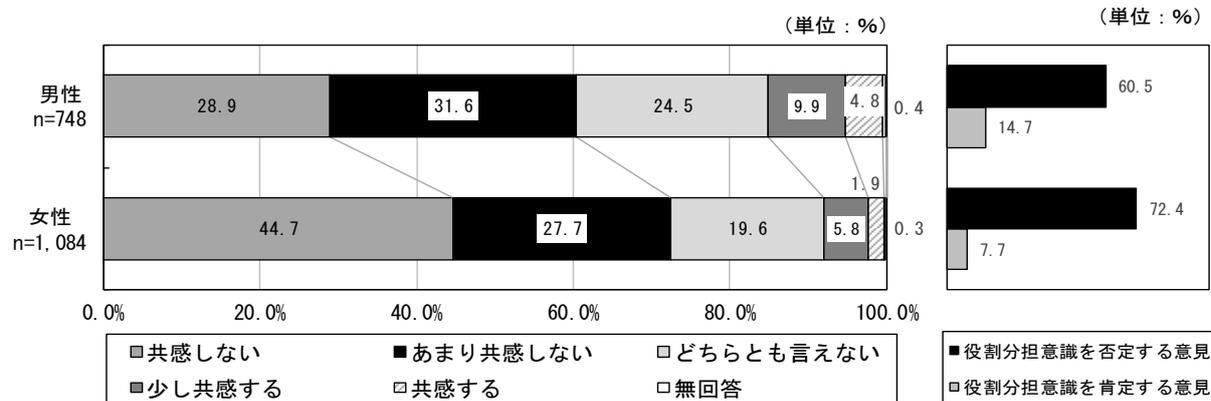
<年度別>



<男女別>

男女共に『役割分担意識を否定する意見』が『役割分担意識を肯定する意見』を上回っており、『役割分担意識を否定する意見』の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

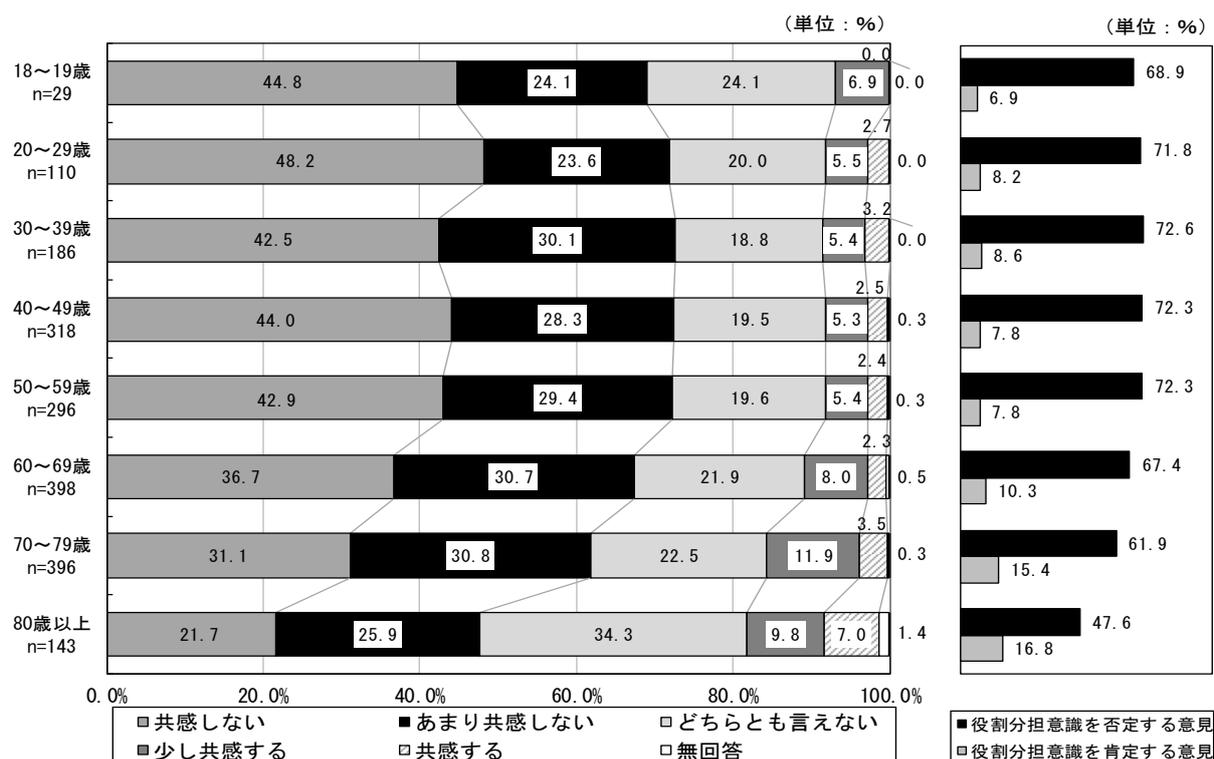
『役割分担意識を否定する意見』と『役割分担意識を肯定する意見』の割合の差は、「女性」のほうが大きくなっている。



<年代別>

全ての年代において『役割分担意識を否定する意見』が『役割分担意識を肯定する意見』を上回っており、『役割分担意識を否定する意見』の割合が最も高いのは30歳代で、次いで40歳代、50歳代の順となっている。

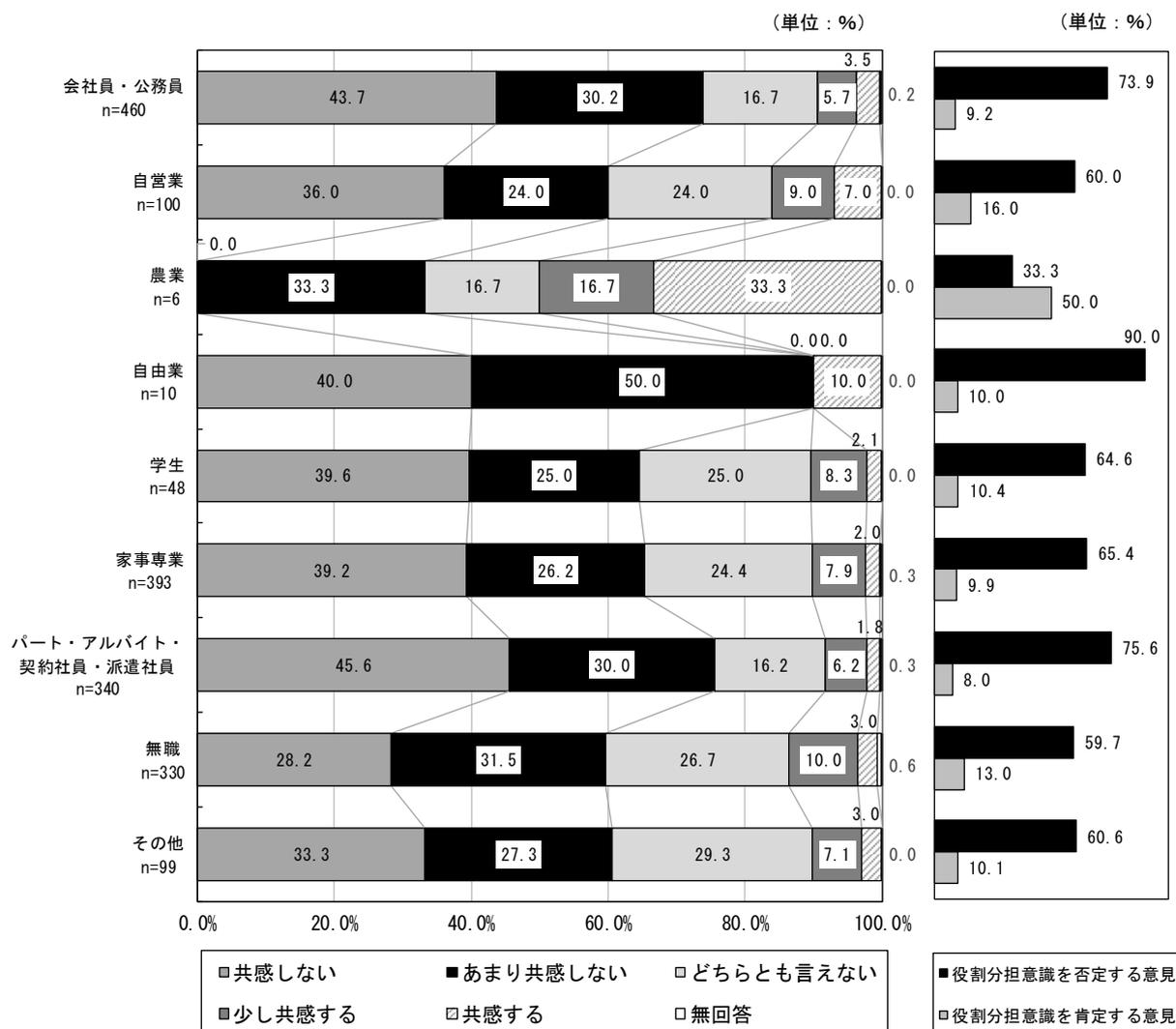
『役割分担意識を肯定する意見』の割合は、80歳以上、70歳代、60歳代で高くなっている。



<職業別>

「農業」以外の職業において『役割分担意識を否定する意見』が『役割分担意識を肯定する意見』を上回っており、『役割分担意識を否定する意見』の割合が最も高いのは「自由業」で、次いで「パート・アルバイト・契約社員・派遣社員」「会社員・公務員」の順となっている。

『役割分担意識を肯定する意見』の割合は、「農業」「自営業（商業・工業・サービス業）」「無職」で高くなっている。

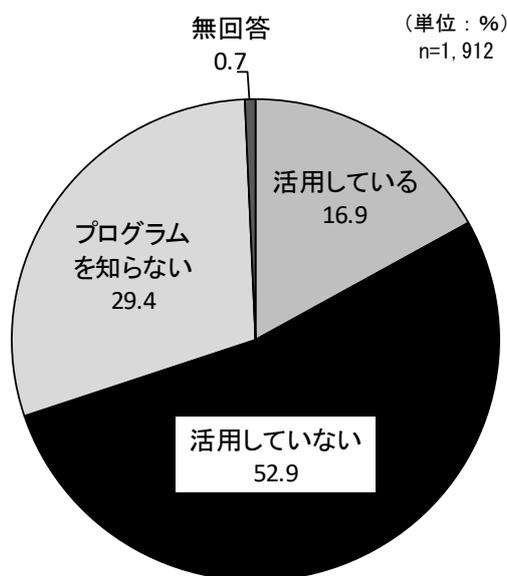


②「保健福祉」について

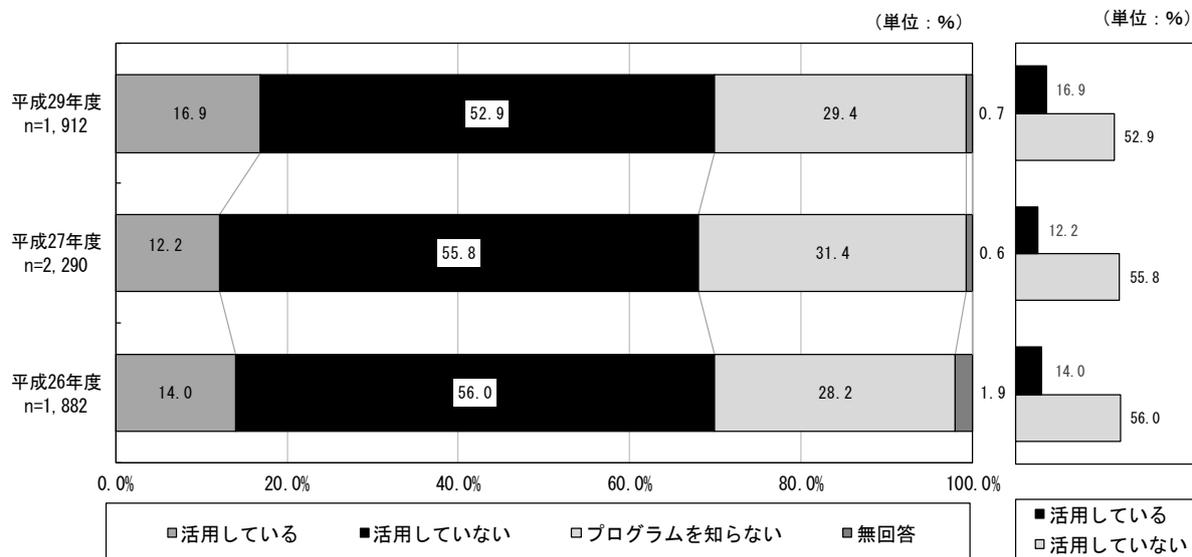
問 11 寝屋川市が配布している「健康づくりプログラム」を活用していますか。

<全体>

「活用していない」が 52.9%と最も高く、次いで「プログラムを知らない」が 29.4%、「活用している」が 16.9%の順となっている。



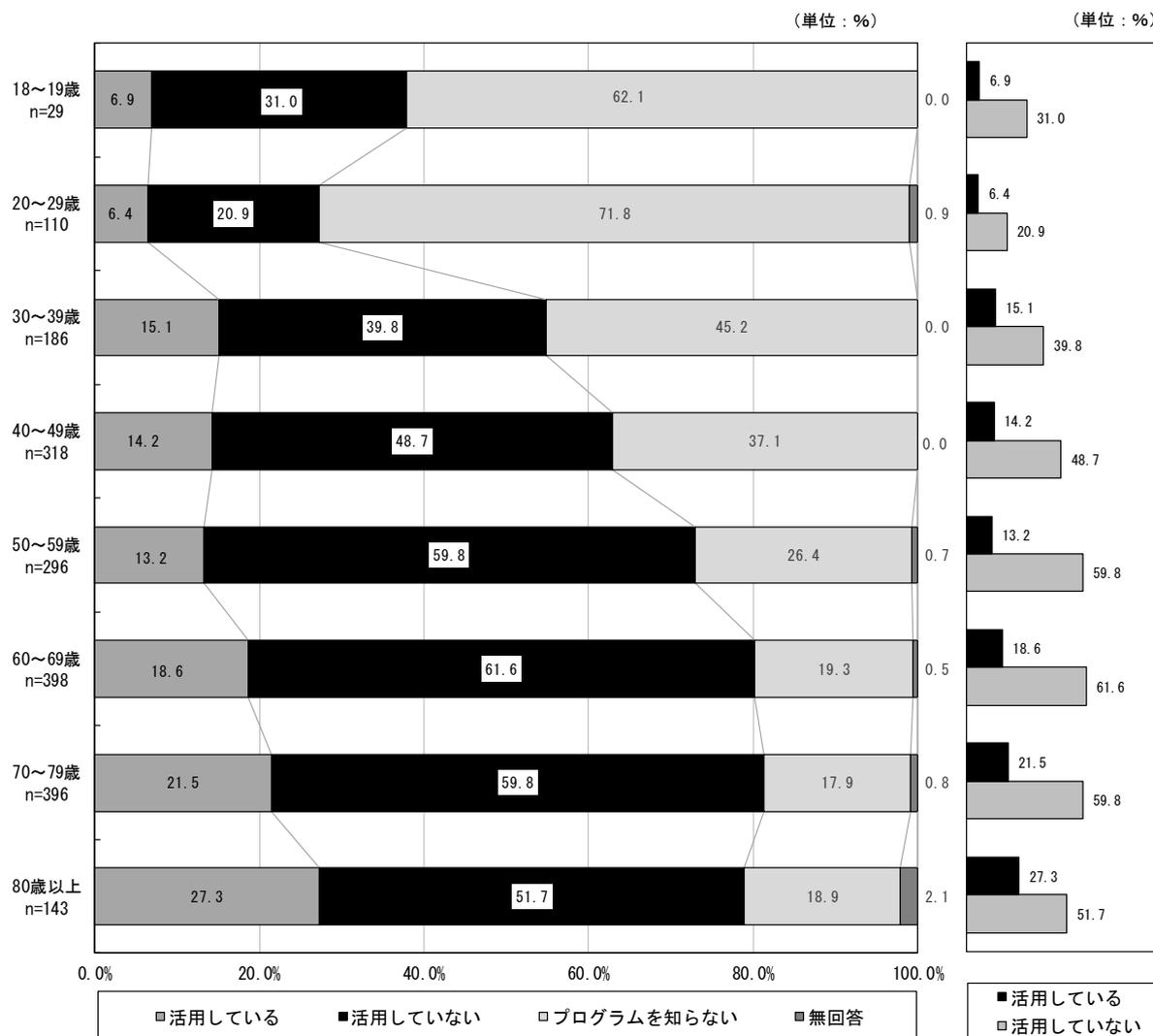
<年度別>



<年代別>

全ての年代において「活用している」が「活用していない」を下回っており、「活用している」の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで70歳代、60歳代の順となっている。

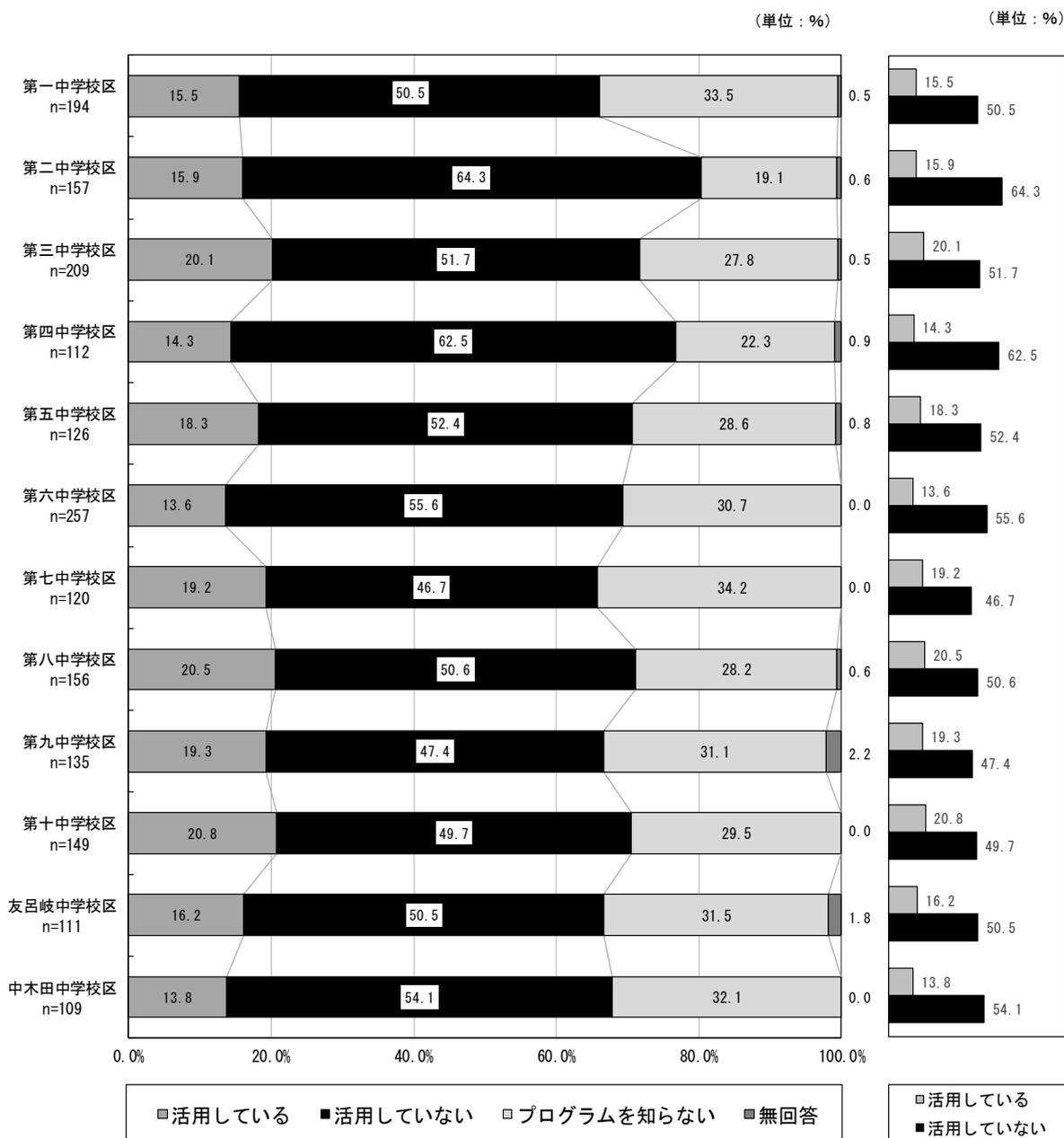
「活用していない」の割合は、60歳、50歳代、70歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において「活用している」が「活用していない」を下回っており、「活用している」の割合が最も高いのは第十中学校区で、第八、第三中学校区の順となっている。

「活用していない」の割合は、第二、第四、第六中学校区で高くなっている。

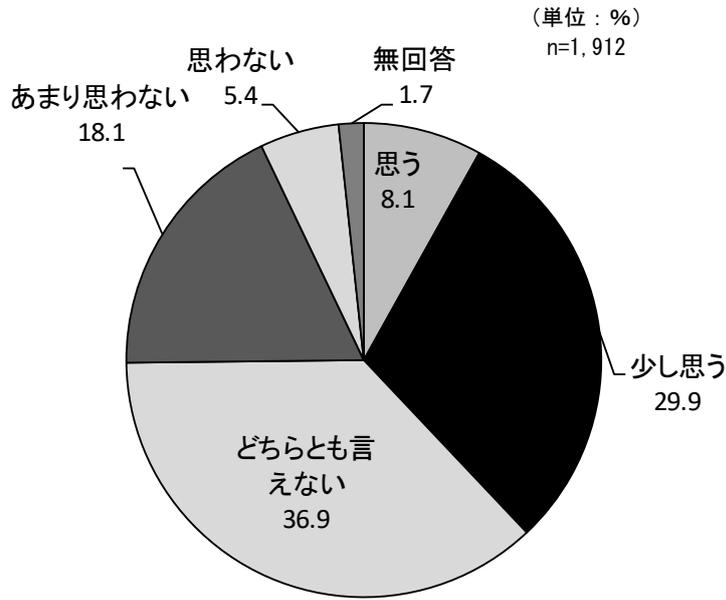


問 12 地域の福祉活動が活発に行われていると思いますか。

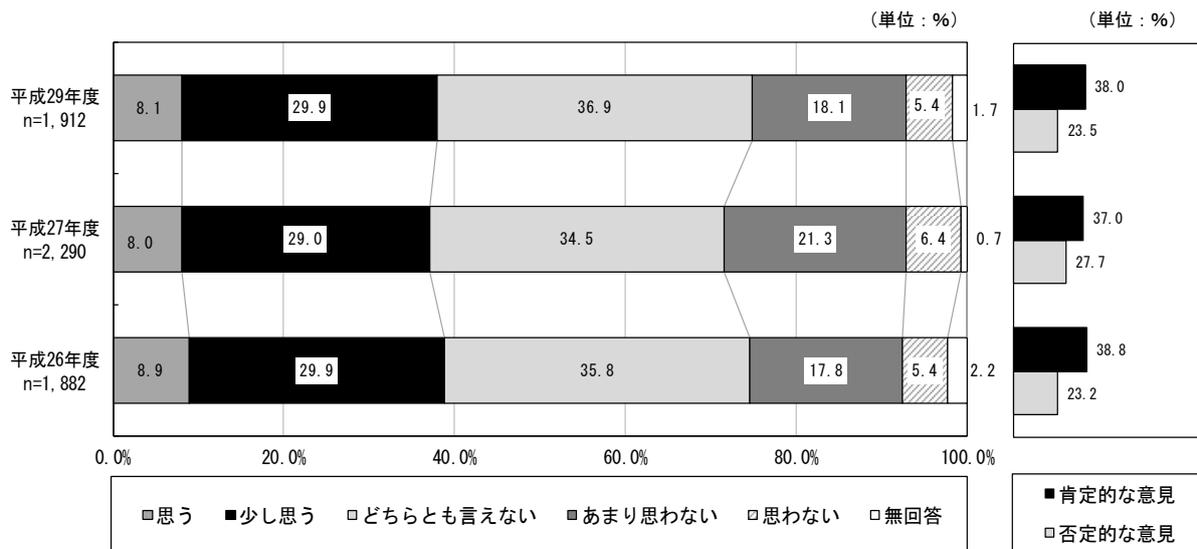
<全体>

「どちらとも言えない」が36.9%と最も高く、次いで「少し思う」が29.9%、「あまり思わない」が18.1%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は38.0%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は23.5%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



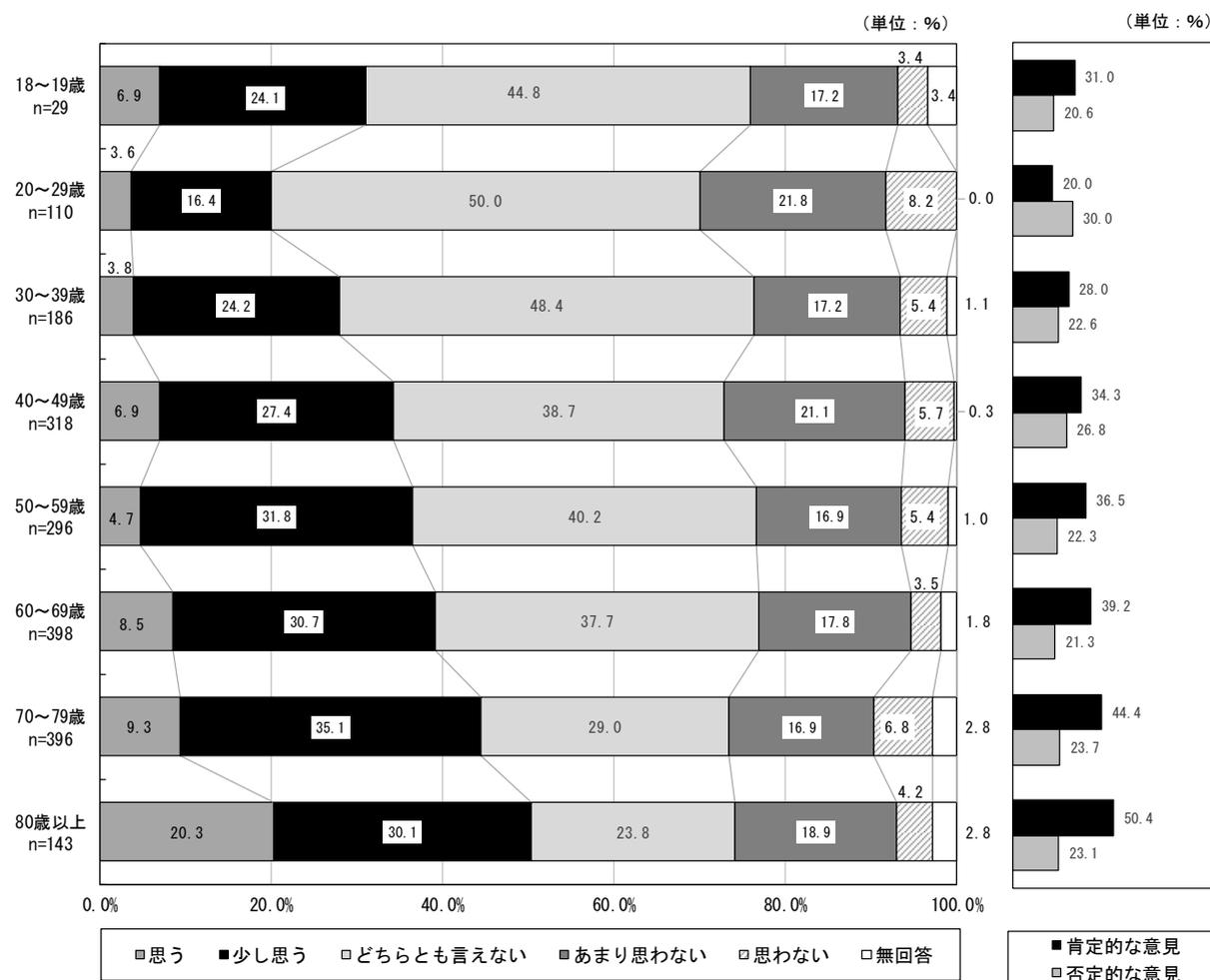
<年度別>



<年代別>

20歳代以外の年代において『肯定的な意見』が『否定的意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで70歳代、60歳代の順となっている。

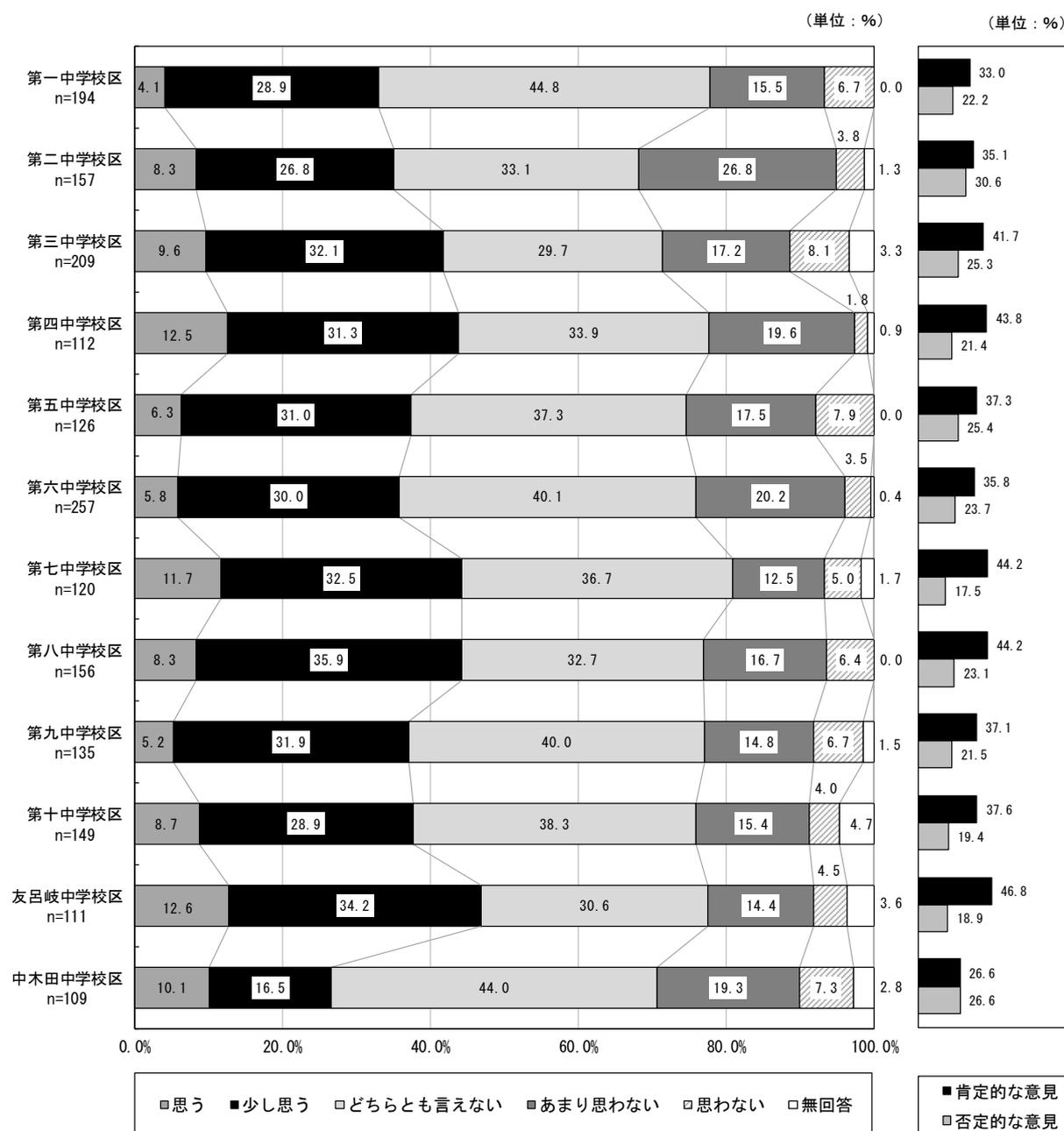
『否定的な意見』の割合は、20歳代、40歳代、70歳代で高くなっている。



<中学校区別>

中木田中学校区以外の中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは友呂岐中学校区で、次いで第七、第八中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第二、中木田、第五中学校区で高くなっている。

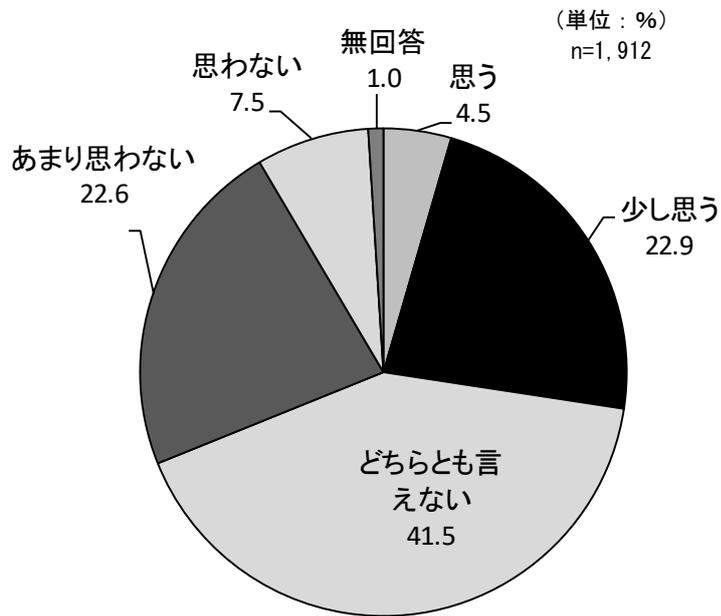


問 13 寝屋川市は、高齢者が生きがいを持ち、健康で心豊かに暮らせる環境づくりが進んでいると思いますか。

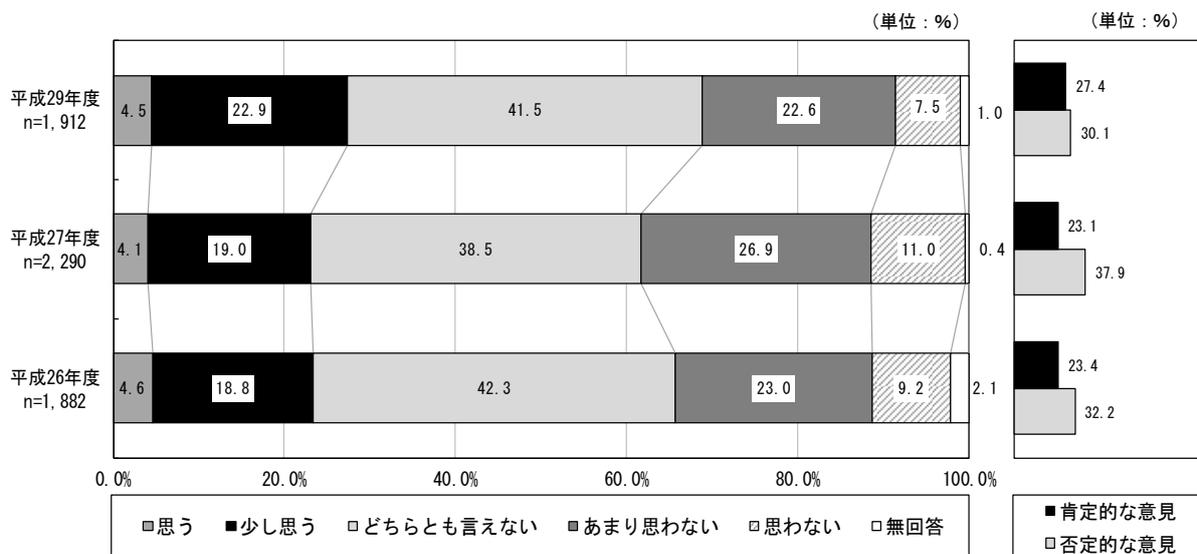
<全体>

「どちらとも言えない」が41.5%と最も高く、次いで「少し思う」が22.9%、「あまり思わない」が22.6%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は27.4%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は30.1%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



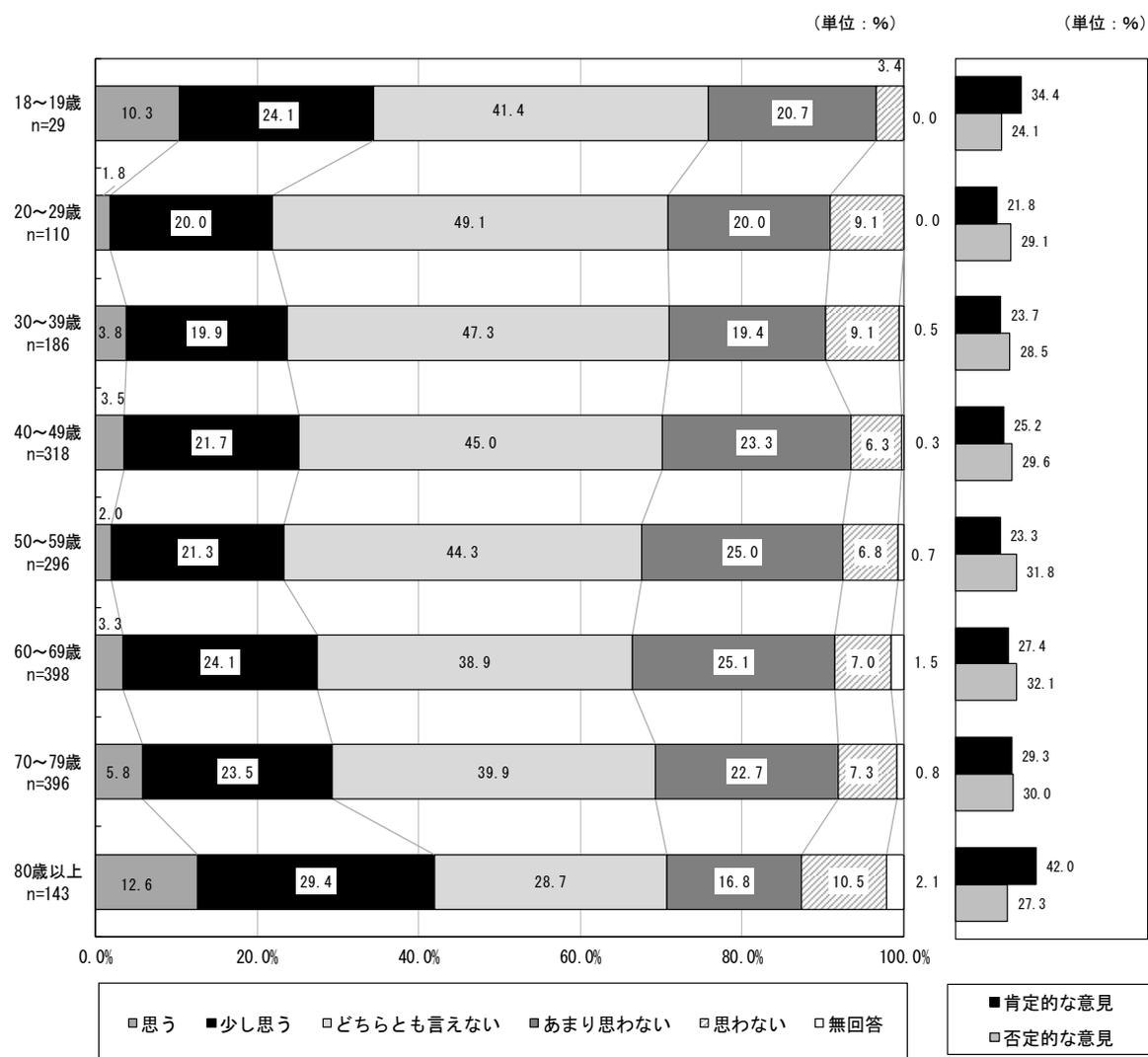
<年度別>



<年代別>

10歳代、80歳以上において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで10歳代、70歳代の順となっている。

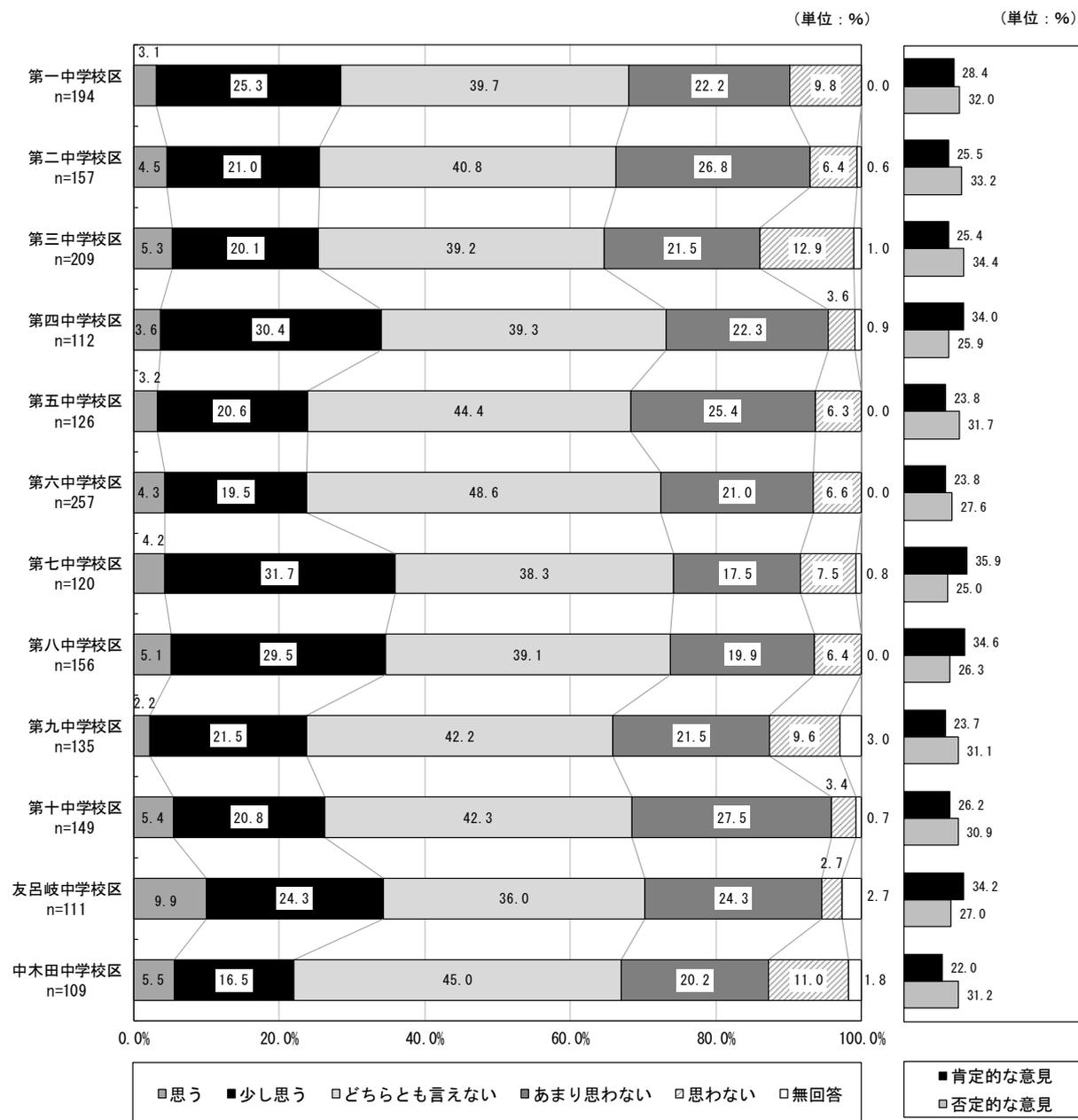
『否定的な意見』の割合は、60歳代、50歳代、70歳代で高くなっている。



<中学校区別>

第四、第七、第八、友呂岐中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第七中学校区で、次いで第八、友呂岐中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第三、第二、第一中学校区で高くなっている。

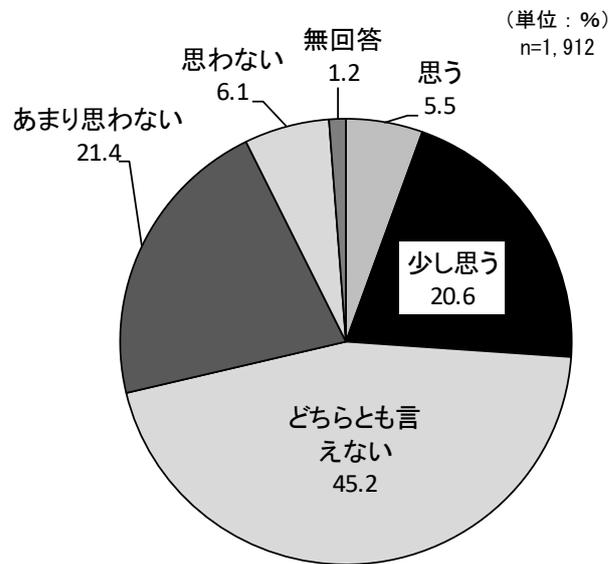


問 14 寝屋川市は、障害のある人に対するサービスや支援体制が整っていると思いますか。

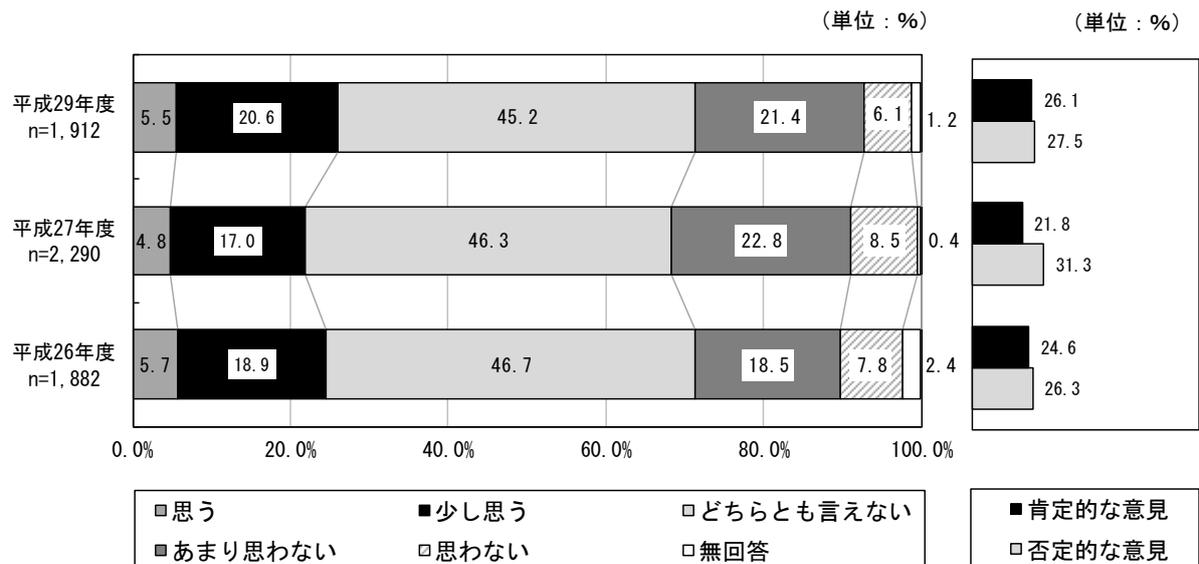
<全体>

「どちらとも言えない」が 45.2%と最も高く、次いで「あまり思わない」が 21.4%、「少し思う」が 20.6%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 26.1%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 27.5%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



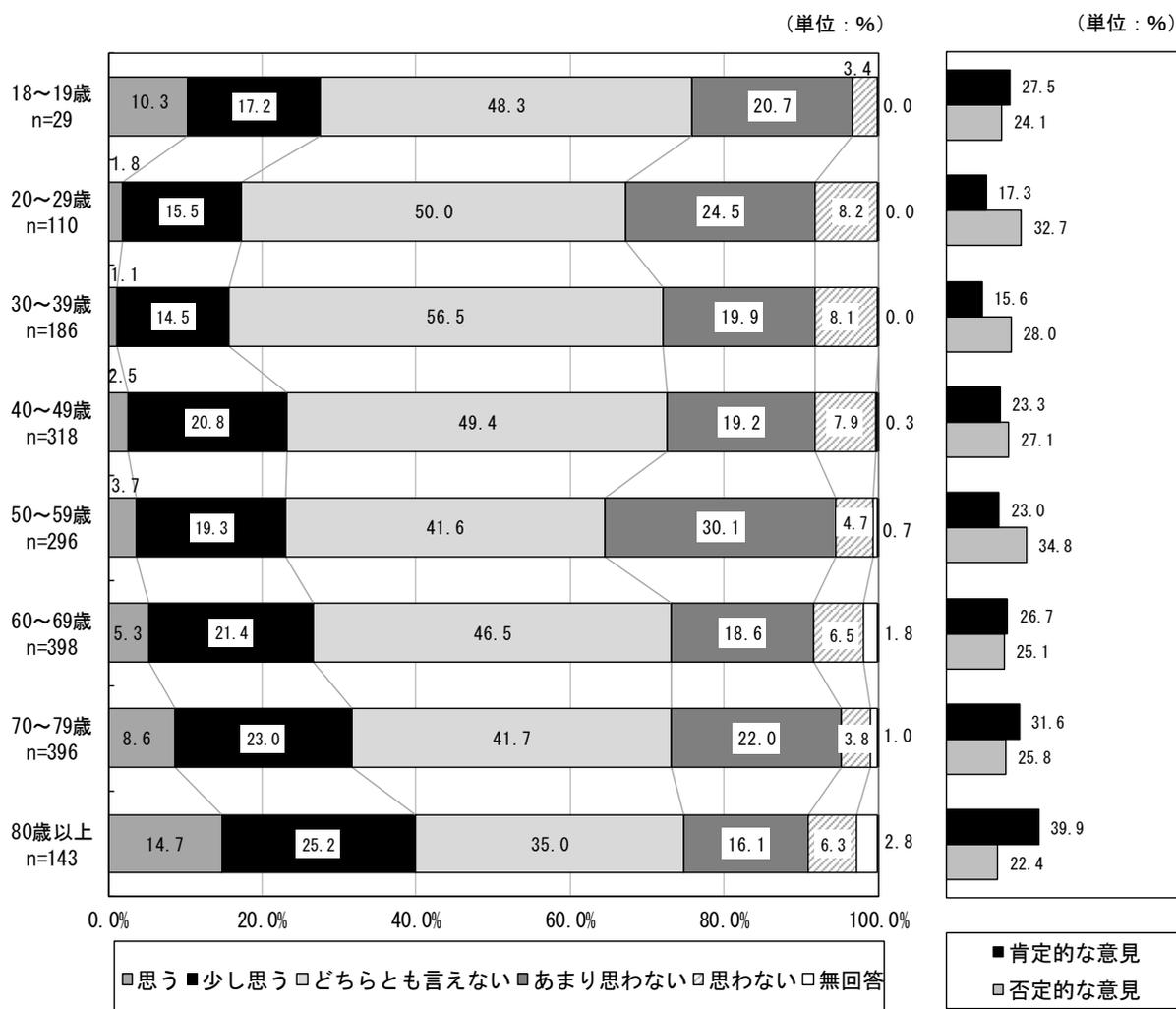
<年度別>



<年代別>

10歳代、60歳代以上において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで70歳代、10歳代の順となっている。

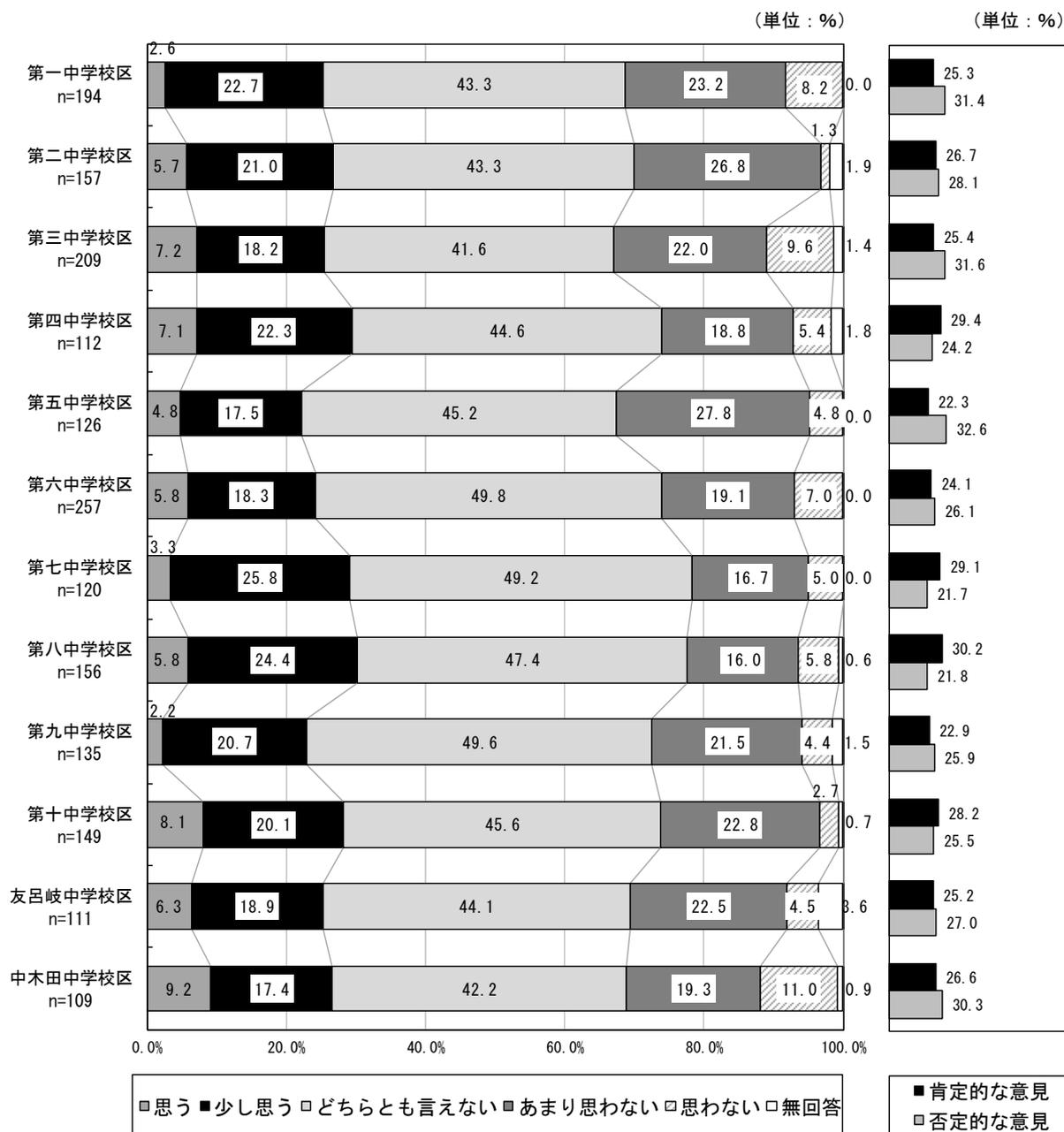
『否定的な意見』の割合は、50歳代、20歳代、30歳代で高くなっている。



<中学校区別>

第四、第七、第八、第十中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第八中学校区で、次いで第四、第七中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第五、第三、第一中学校区で高くなっている。

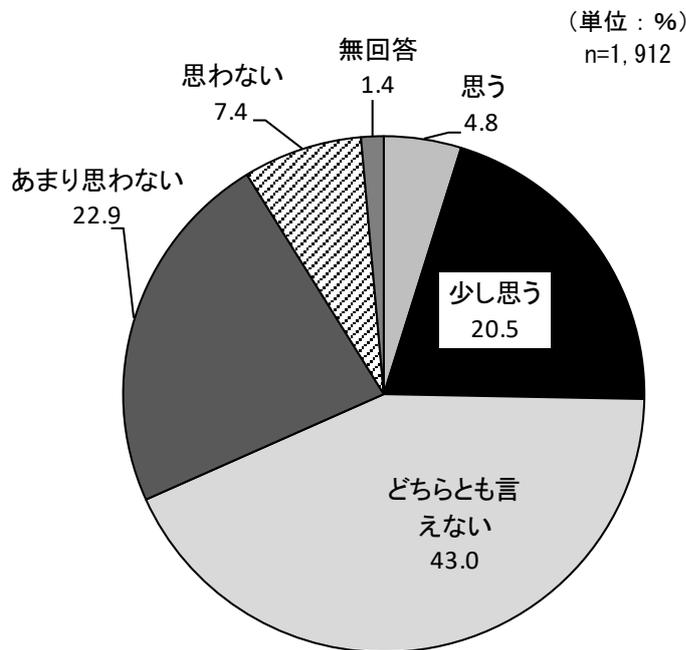


問 15 寝屋川市は、安心して子どもを産み育てることができるサービスや環境が整っていると思いますか。

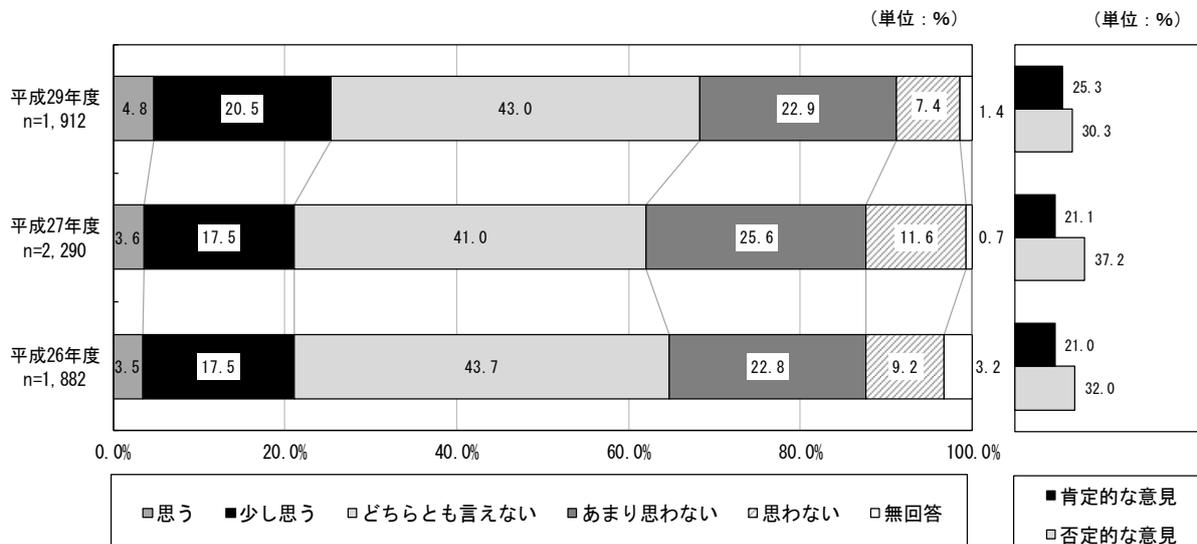
<全体>

「どちらとも言えない」が 43.0%と最も高く、次いで「あまり思わない」が 22.9%、「少し思う」が 20.5%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 25.3%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 30.3%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



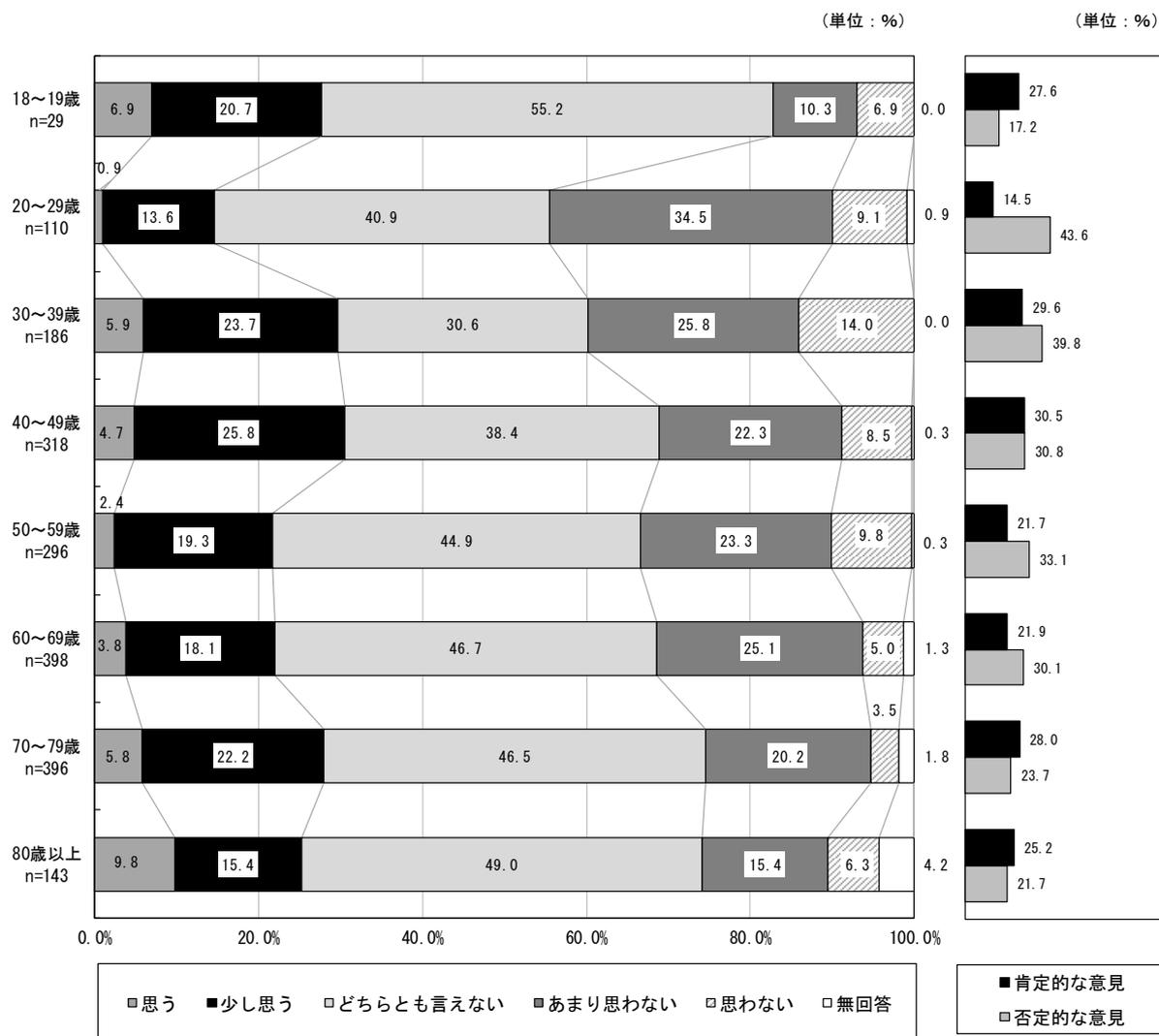
<年度別>



<年代別>

10歳代、70歳代、80歳以上において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは40歳代で、次いで30歳代、70歳代の順となっている

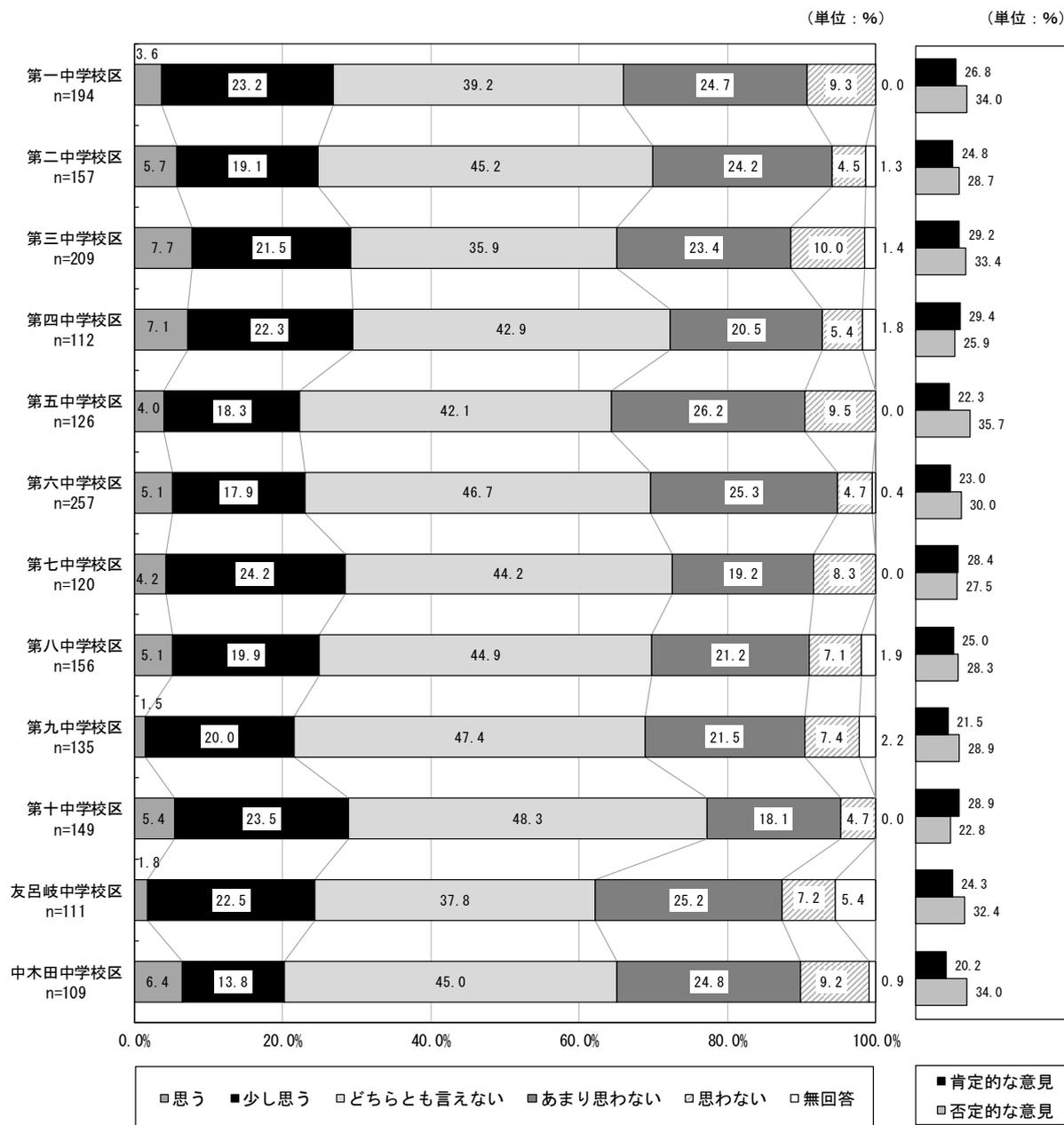
『否定的な意見』の割合は、20歳代、30歳代、50歳代で高くなっている。



<中学校区別>

第四、第七、第十中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第四中学校区で、次いで第三、第十中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第五、第一、中木田中学校区で高くなっている。

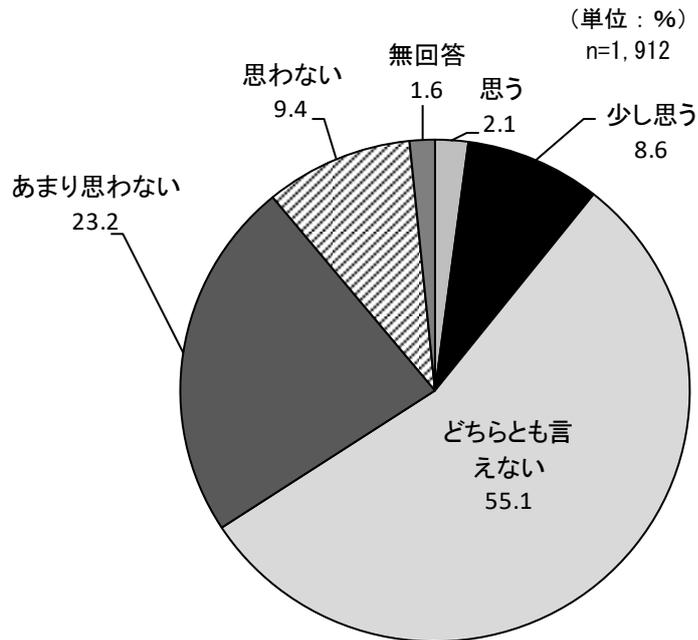


問 16 寝屋川市は、感染症対策が充実していると思いますか。

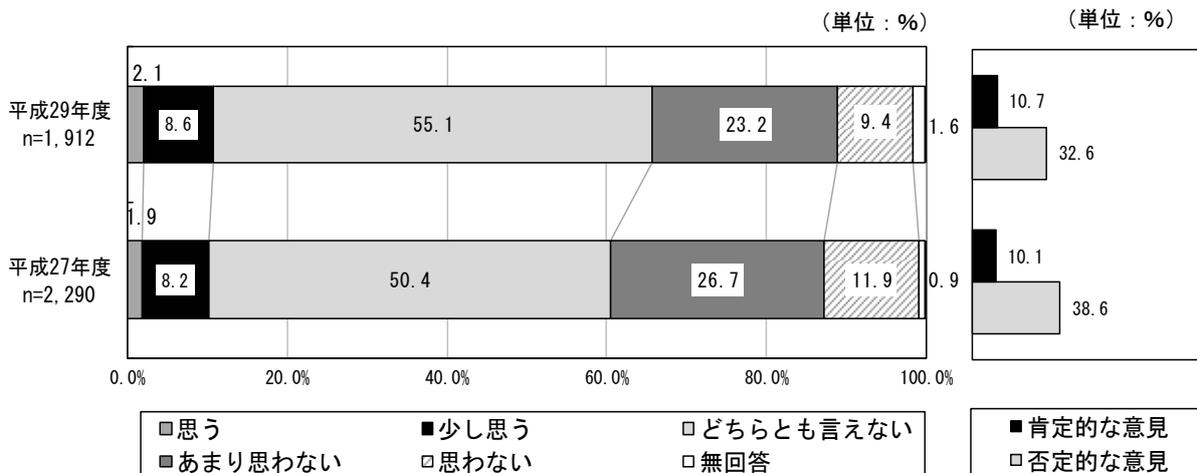
<全体>

「どちらとも言えない」が 55.1%と最も高く、次いで「あまり思わない」が 23.2%、「思わない」が 9.4%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 10.7%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 32.6%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



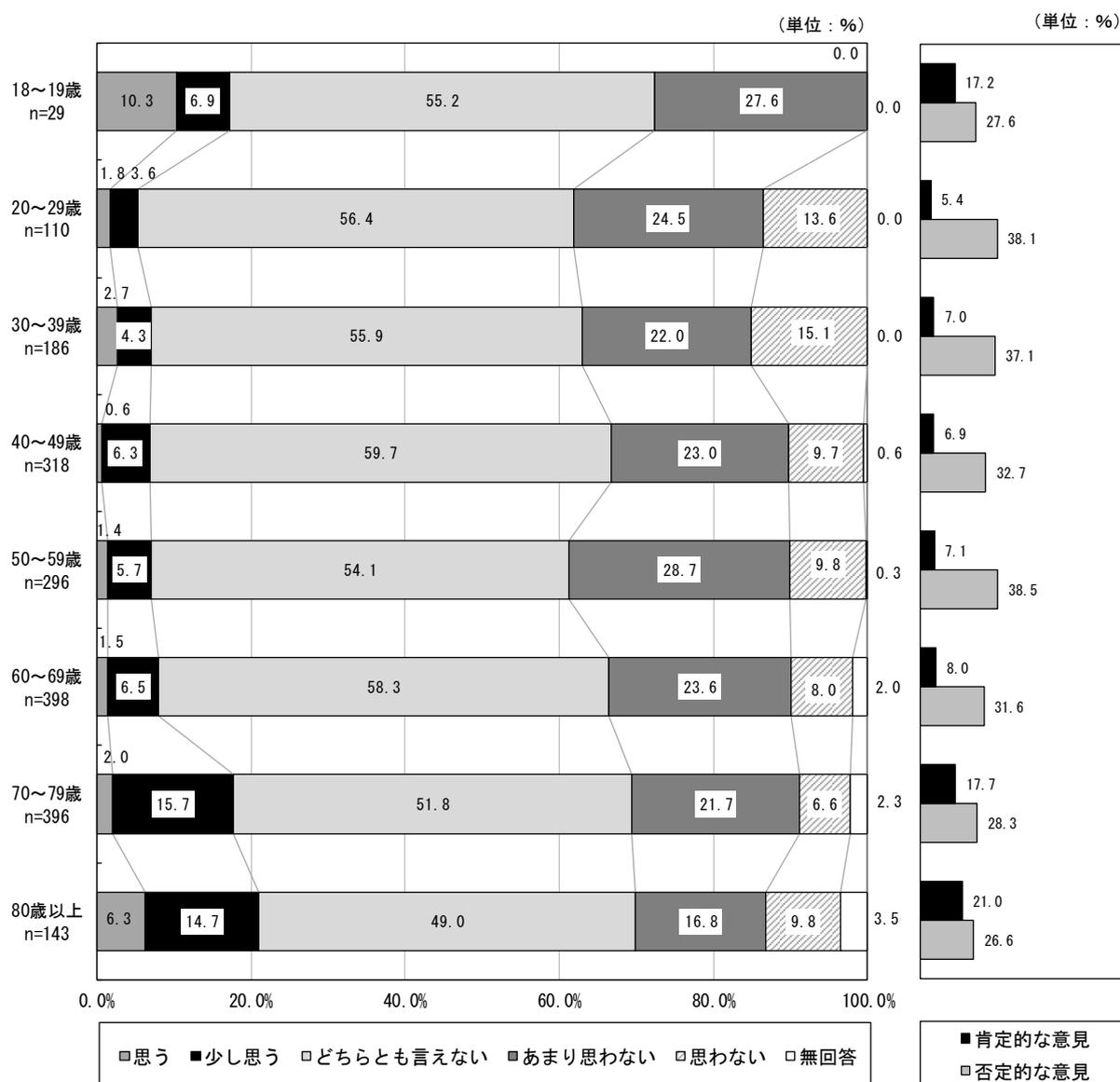
<年度別>



<年代別>

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで70歳代、10歳代の順となっている。

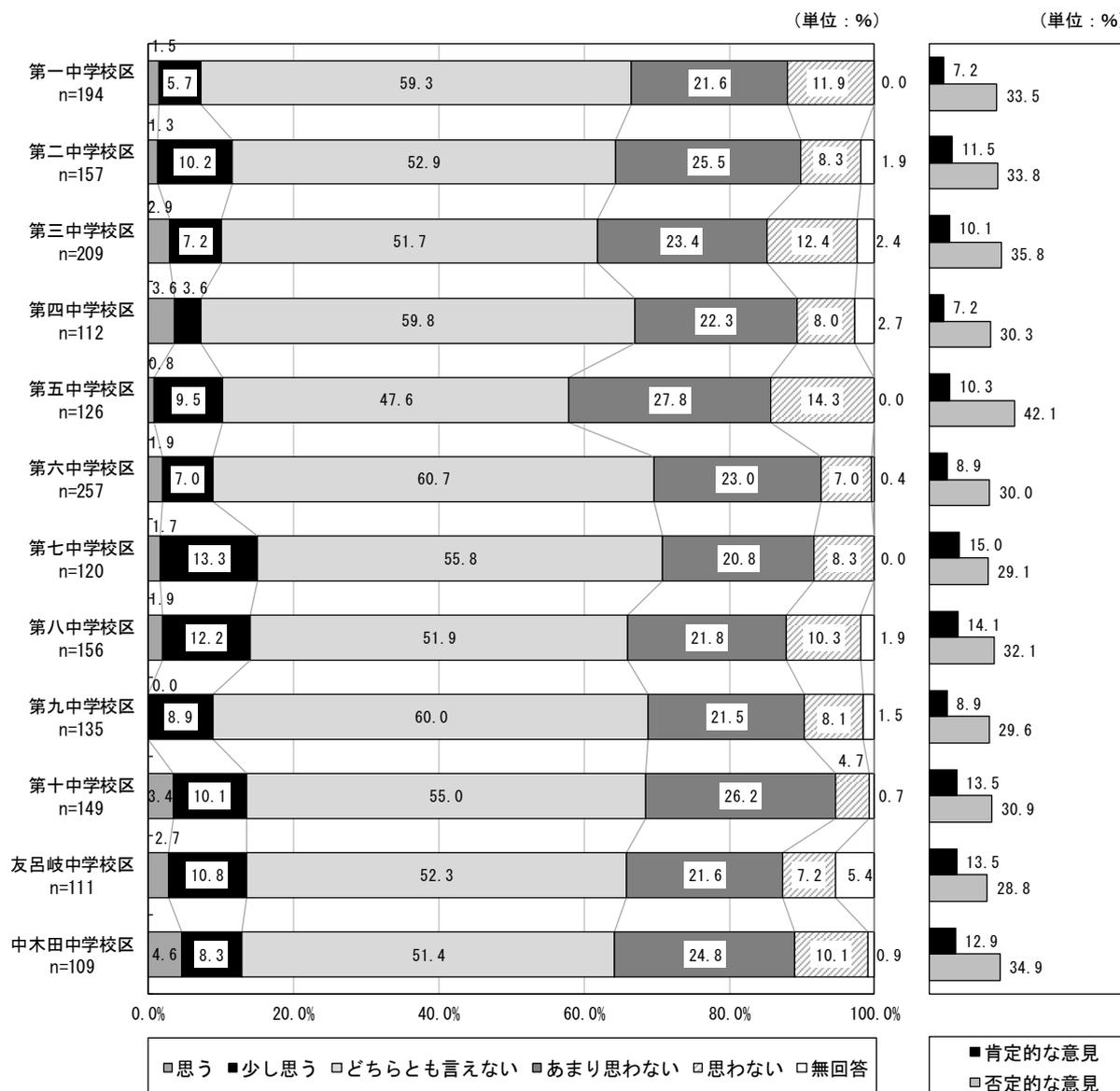
『否定的な意見』の割合は、50歳代、20歳代、30歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第七中学校区で、次いで第八、第十、友呂岐中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第五、第三、中木田中学校区で高くなっている。

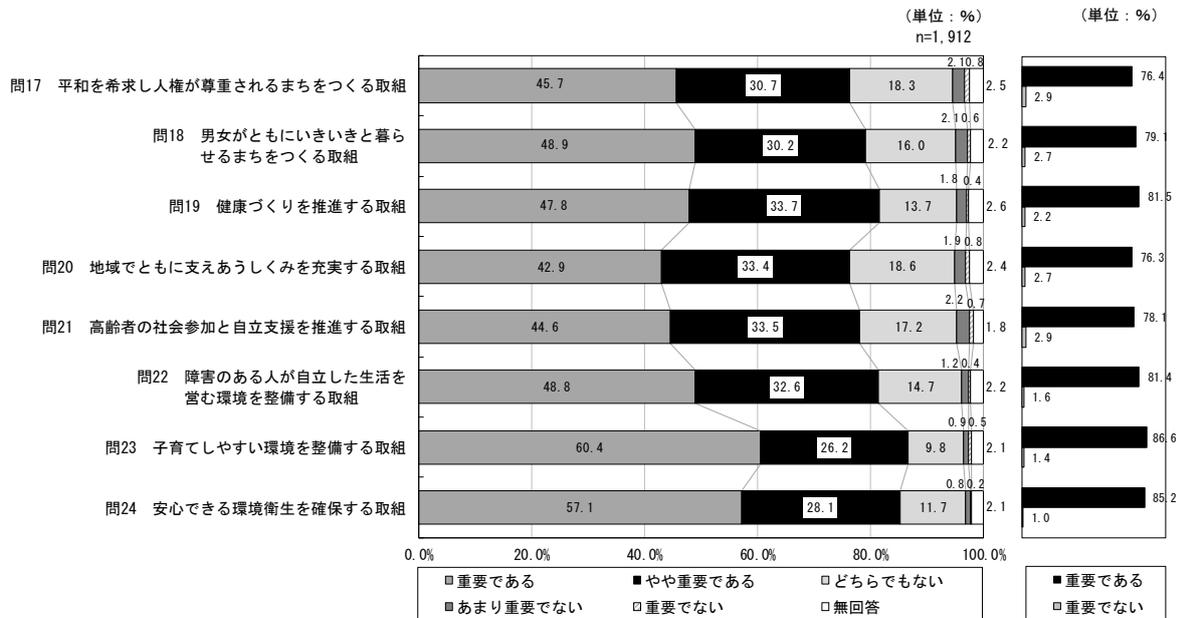


③ 「人権」「保健福祉」の施策についての重要度と満足度

問 17～問 24 現在、寝屋川市が取り組んでいる「人権」「保健福祉」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

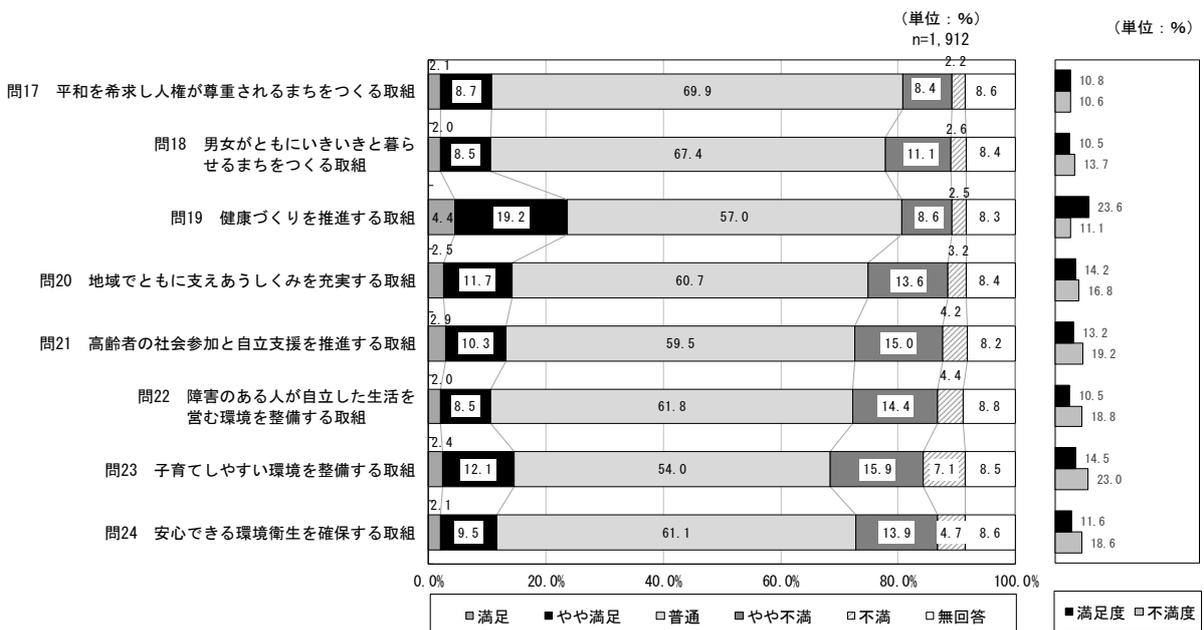
<重要度>

『人権』『保健福祉』の施策において、重要度が最も高いのは「子育てしやすい環境を整備する取組」で、「安心できる環境衛生を確保する取組」が続いている。



<満足度>

『人権』『保健福祉』の施策において、満足度が最も高いのは「健康づくりを推進する取組」で、不満度が最も高いのは「子育てしやすい環境を整備する取組」である。



3 『夢を育む学びのまちづくり』について

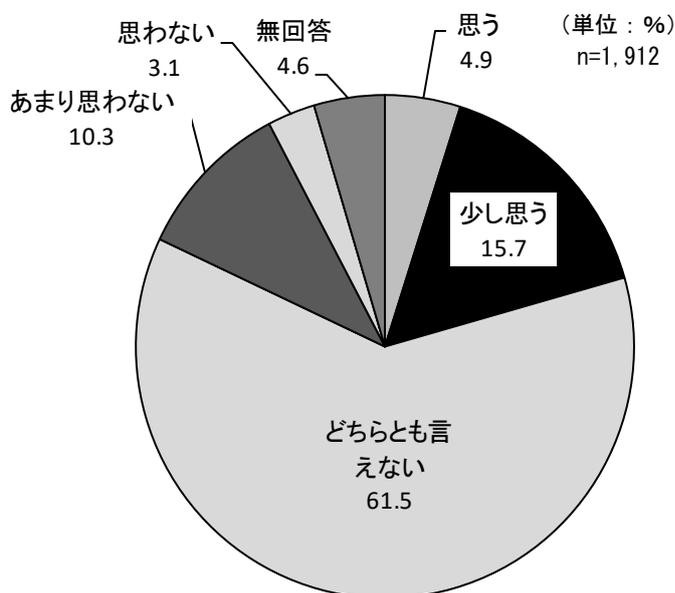
① 「教育・生涯学習・文化・芸術・国際交流」について

問 25 寝屋川市の幼稚園は、教育内容が充実していると思いますか。

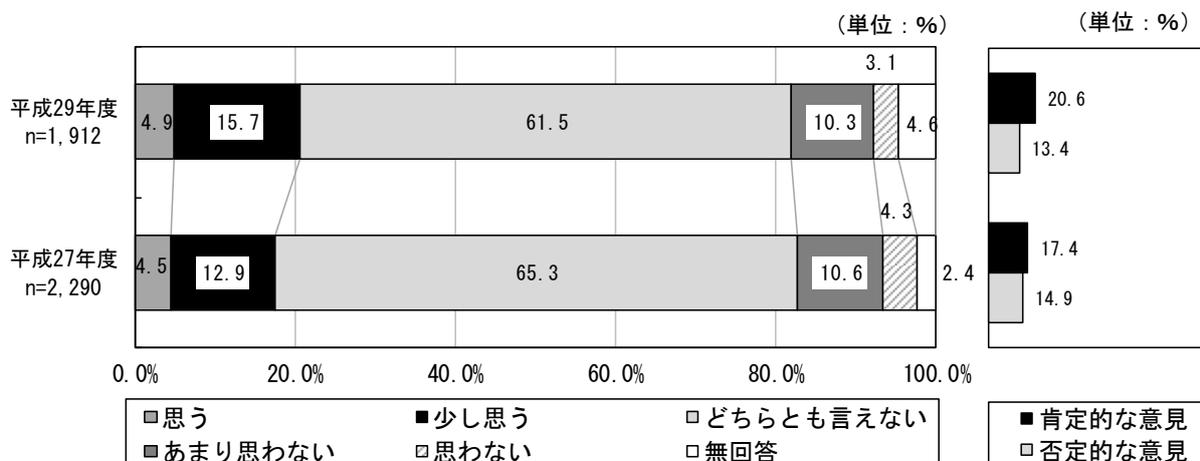
<全体>

「どちらとも言えない」が61.5%と最も高く、次いで「少し思う」が15.7%、「あまり思わない」が10.3%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は20.6%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は13.4%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



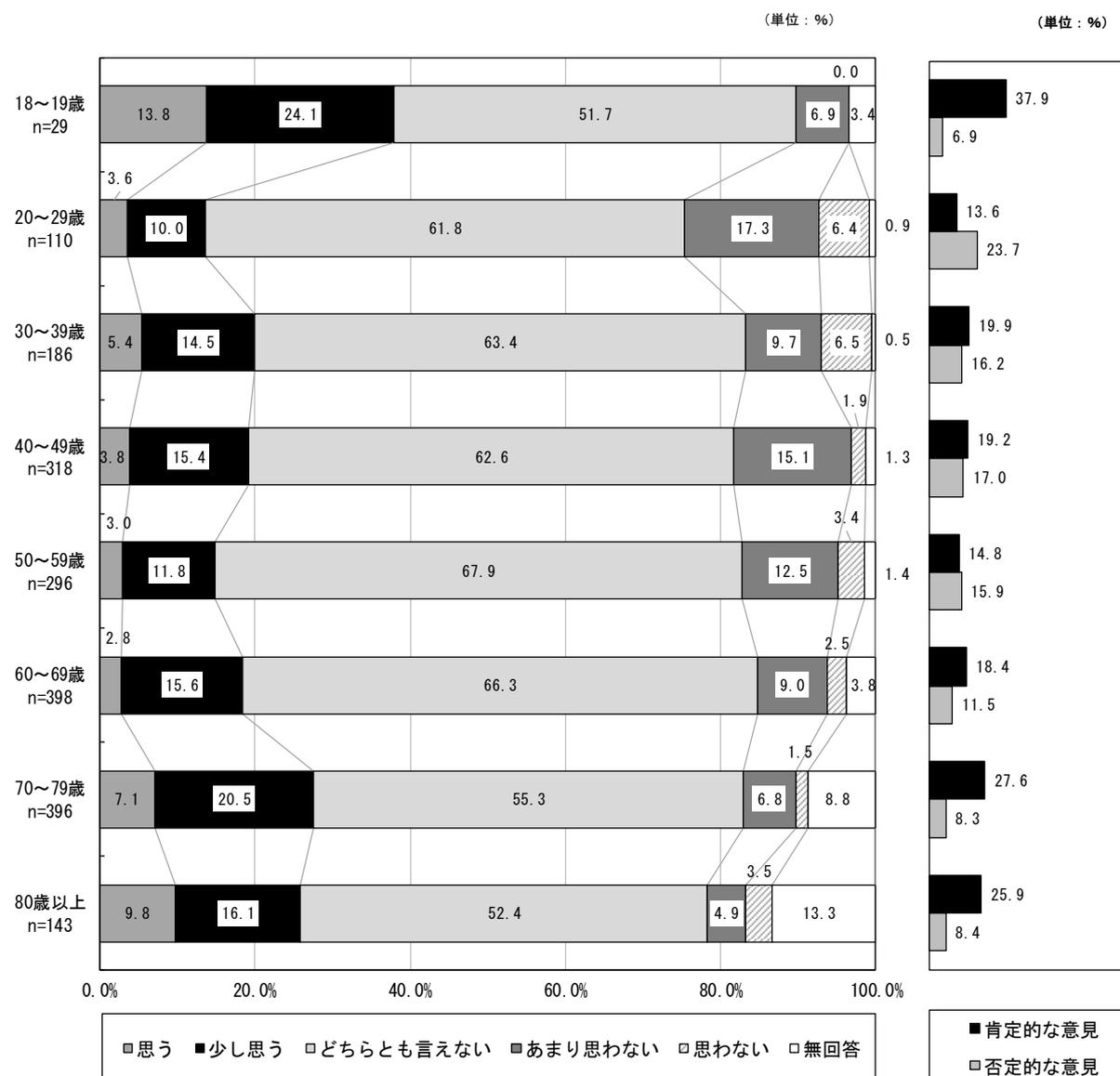
<年度別>



<年代別>

20歳代、50歳代以外の年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは10歳代で、次いで70歳代、80歳以上の順となっている。

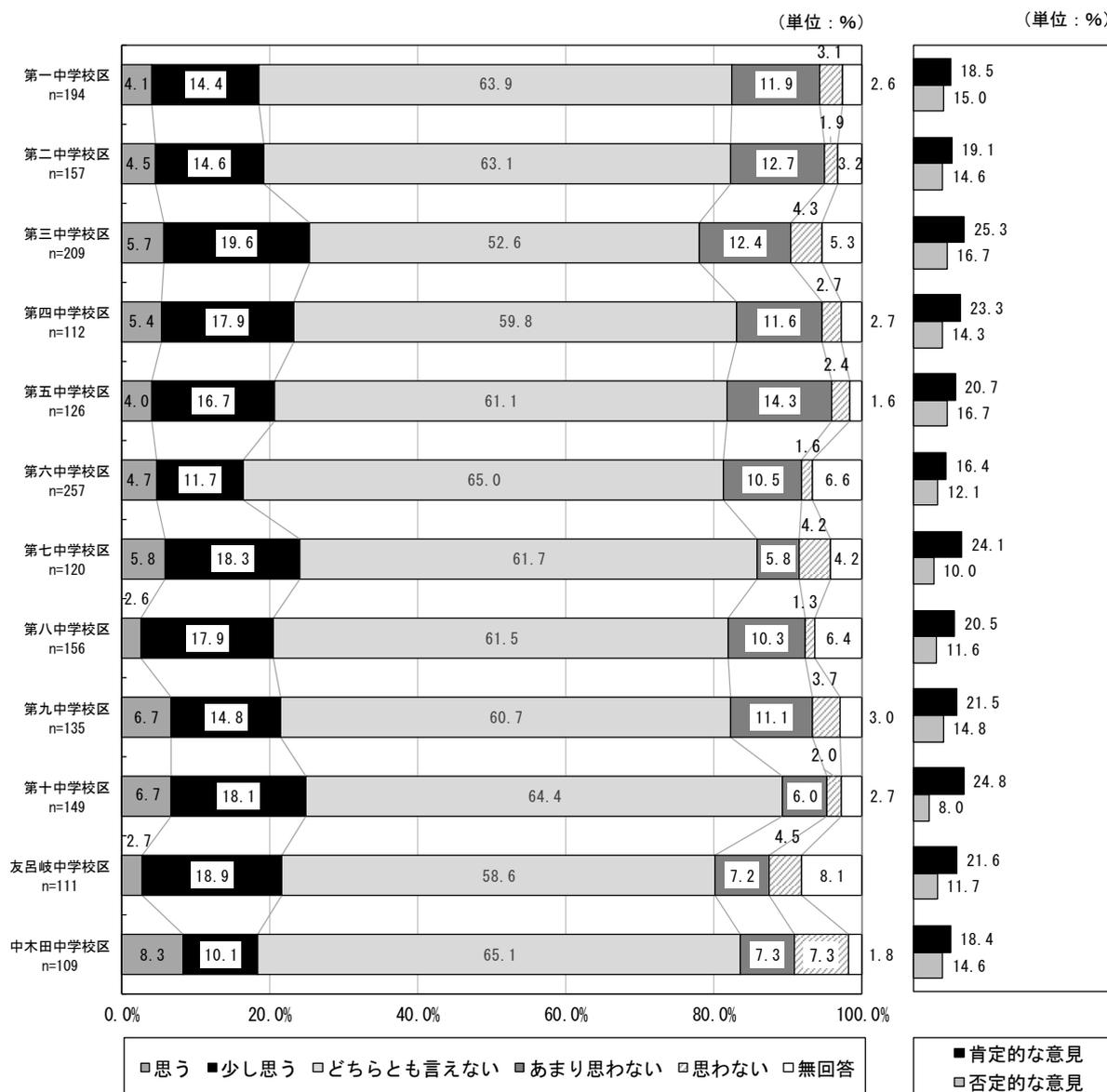
『否定的な意見』の割合は、20歳代、40歳代、30歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第三中学校区で、次いで第十、第七中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第三、第五、第一中学校区で高くなっている。

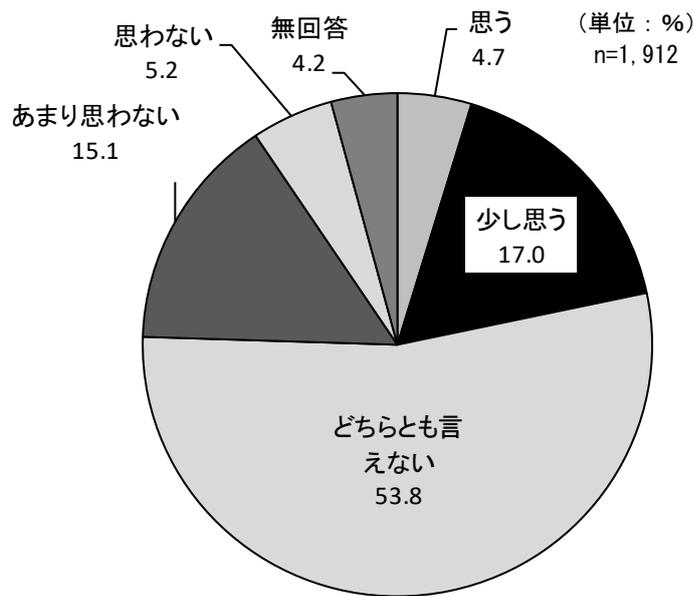


問 26 寝屋川市の小中学校は、教育内容が充実していると思いますか。

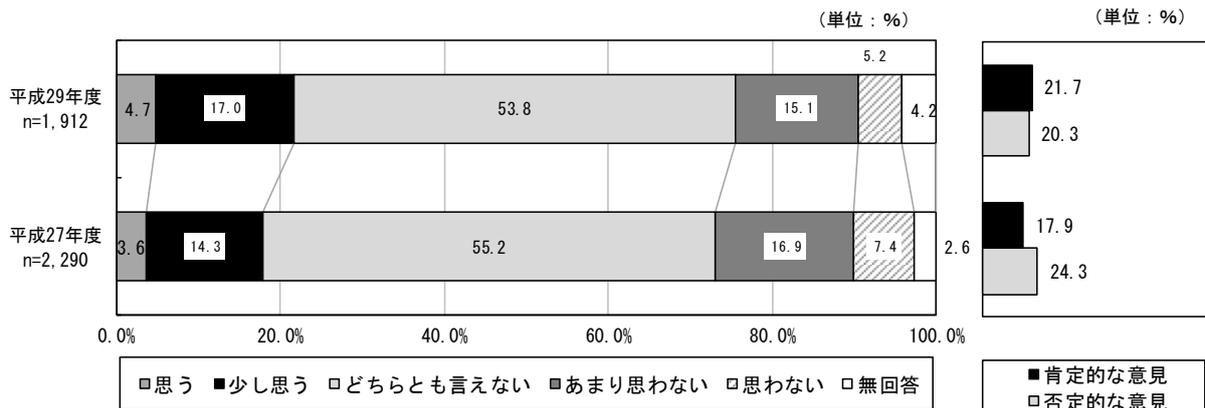
<全体>

「どちらとも言えない」が53.8%と最も高く、次いで「少し思う」が17.0%、「あまり思わない」が15.1%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は21.7%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は20.3%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



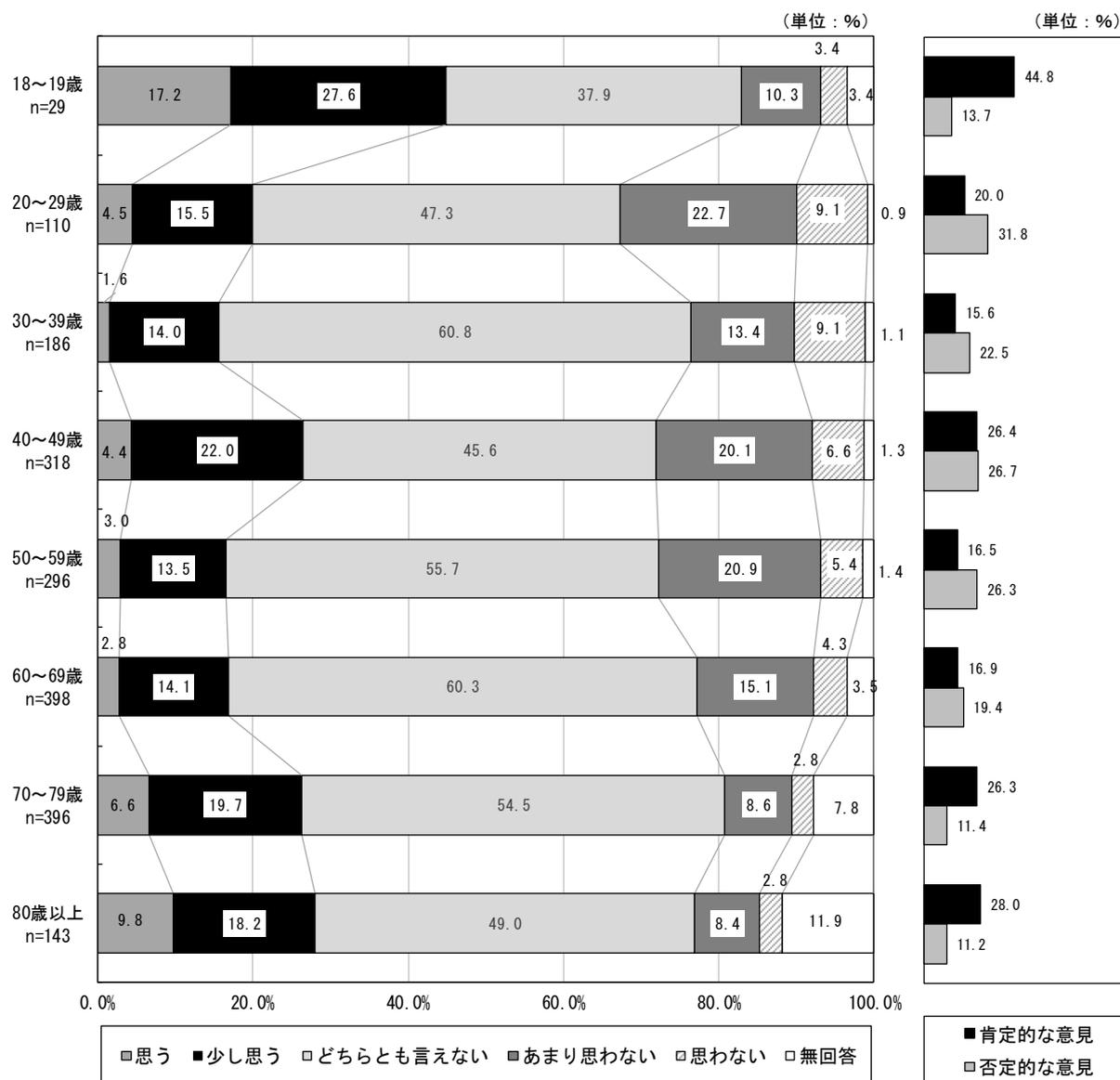
<年度別>



<年代別>

10歳代、70歳代、80歳以上において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは10歳代で、次いで80歳以上、40歳代の順となっている。

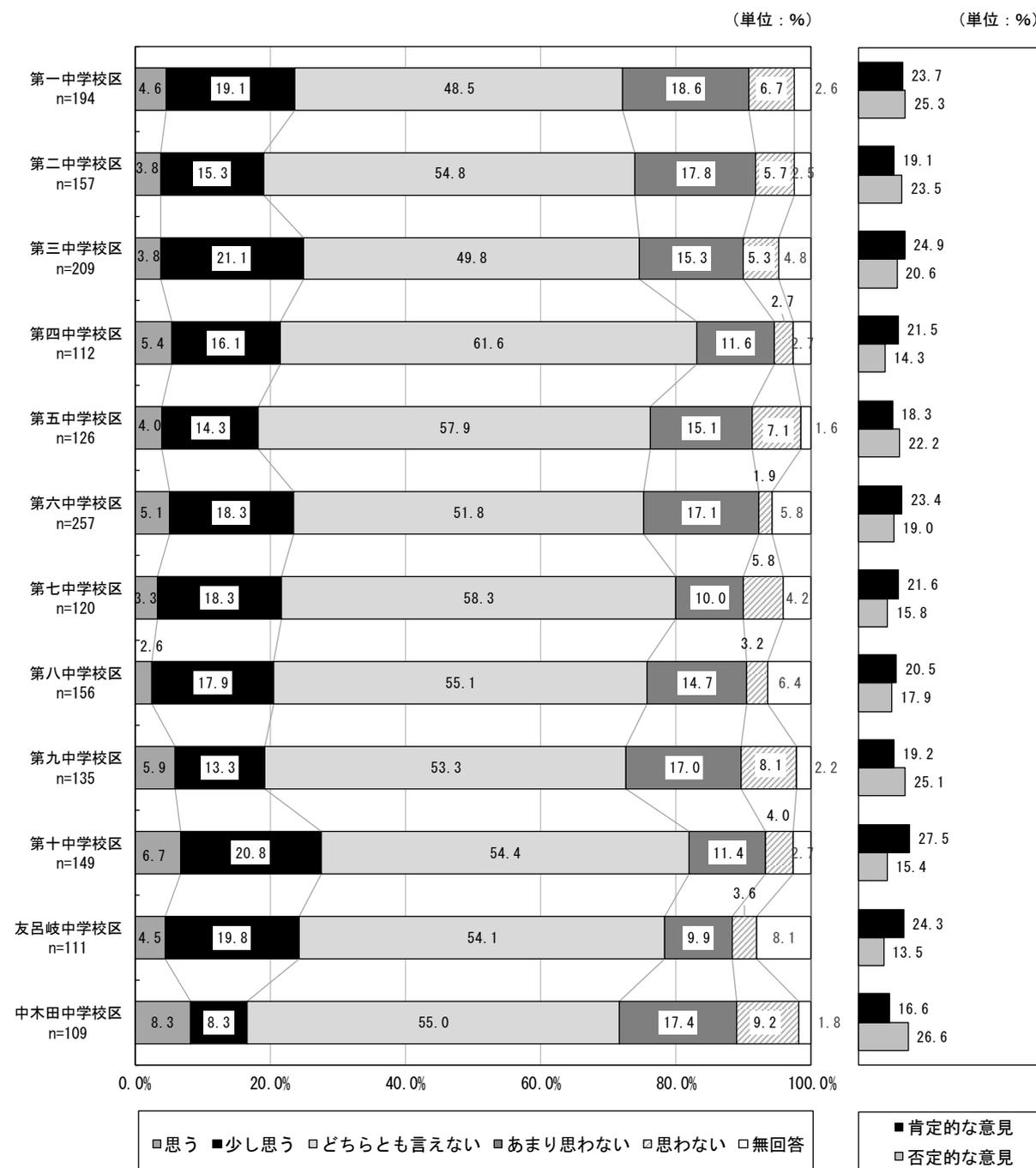
『否定的な意見』の割合は、20歳代、40歳代、50歳代で高くなっている。



<中学校区別>

第三、第四、第六、第七、第八、第十、友呂岐中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第十中学校区で、次いで第三、友呂岐中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、中木田、第一、第九中学校区で高くなっている。

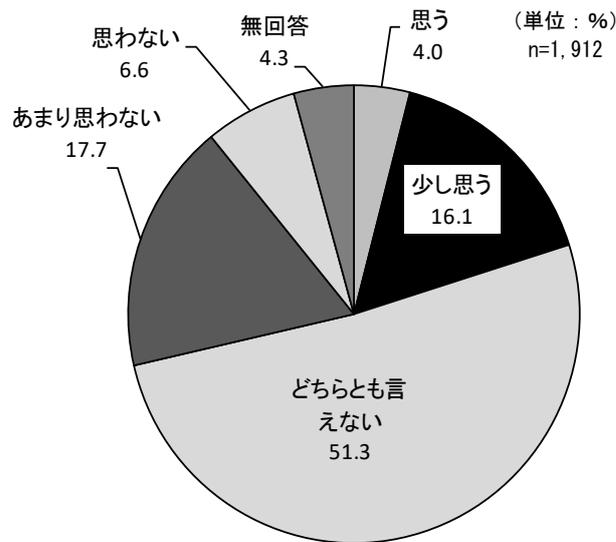


問 27 寝屋川市の小中学校・幼稚園は、教育環境(施設等)が充実していると思いますか。

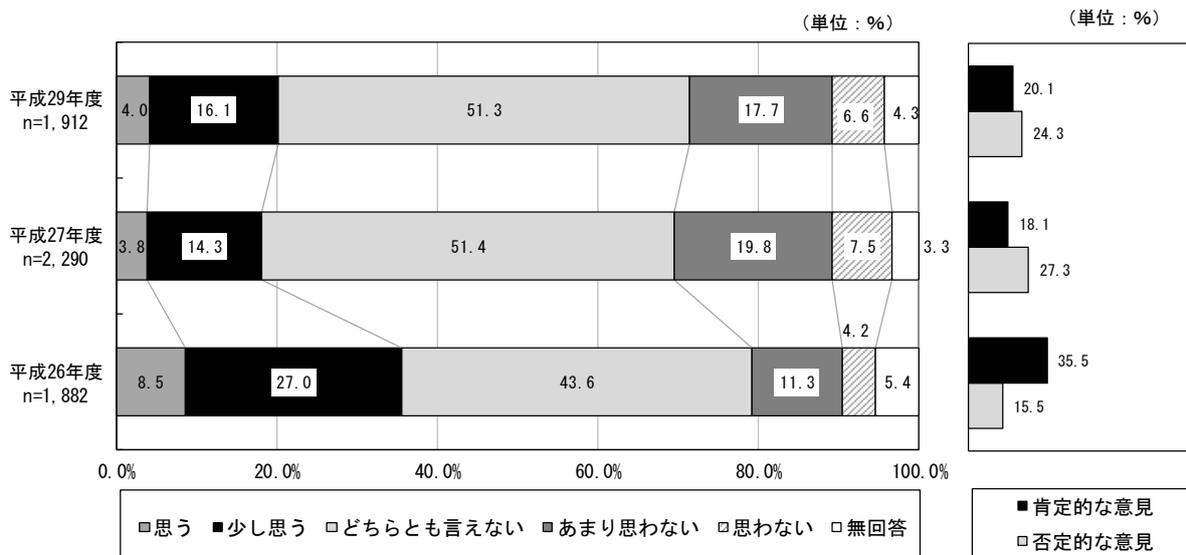
<全体>

「どちらとも言えない」が 51.3%と最も高く、次いで「あまり思わない」が 17.7%、「少し思う」が 16.1%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 20.1%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 24.3%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



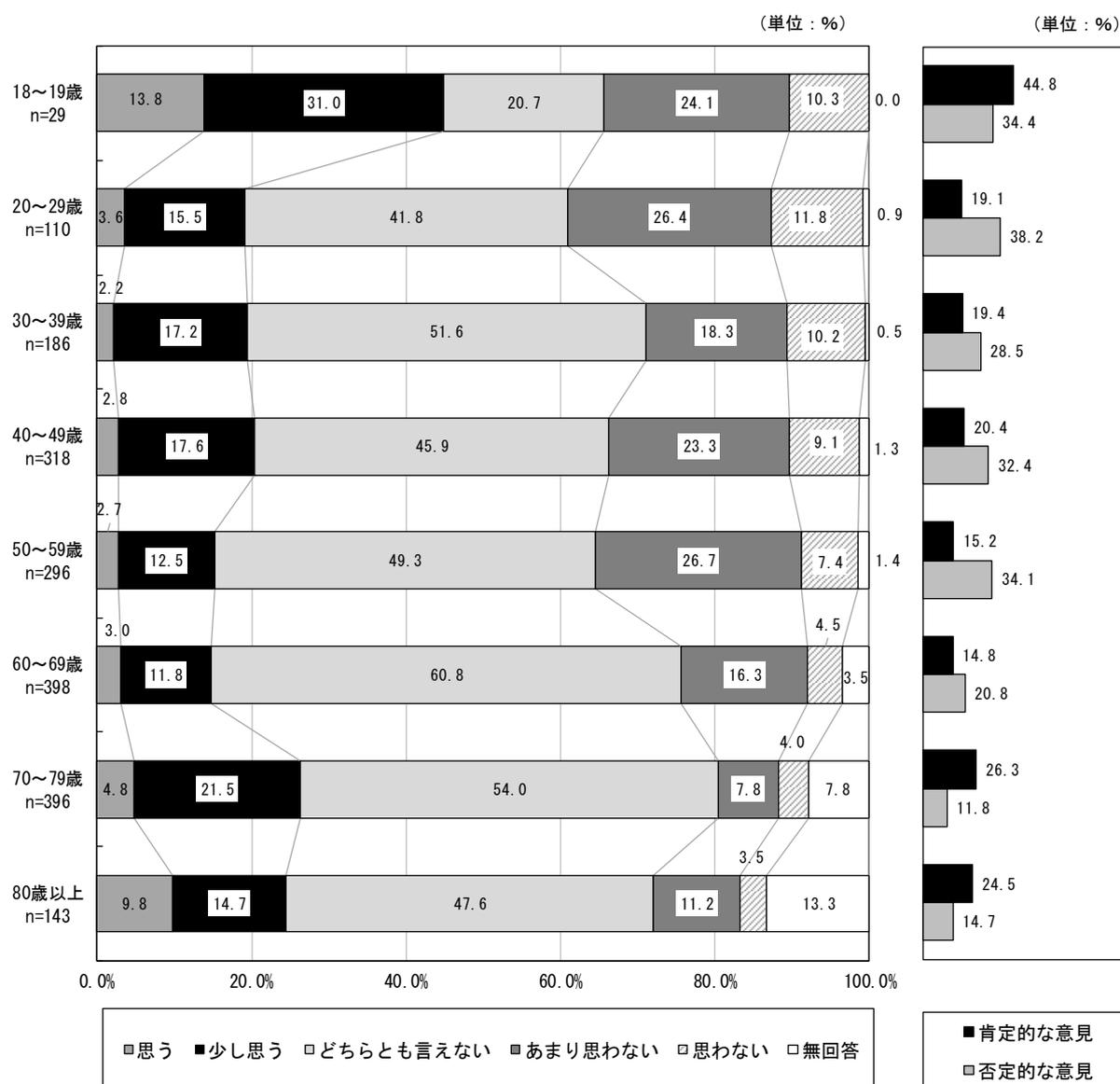
<年度別>



<年代別>

10歳代、70歳代、80歳以上において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは10歳代で、次いで70歳代、80歳以上の順となっている。

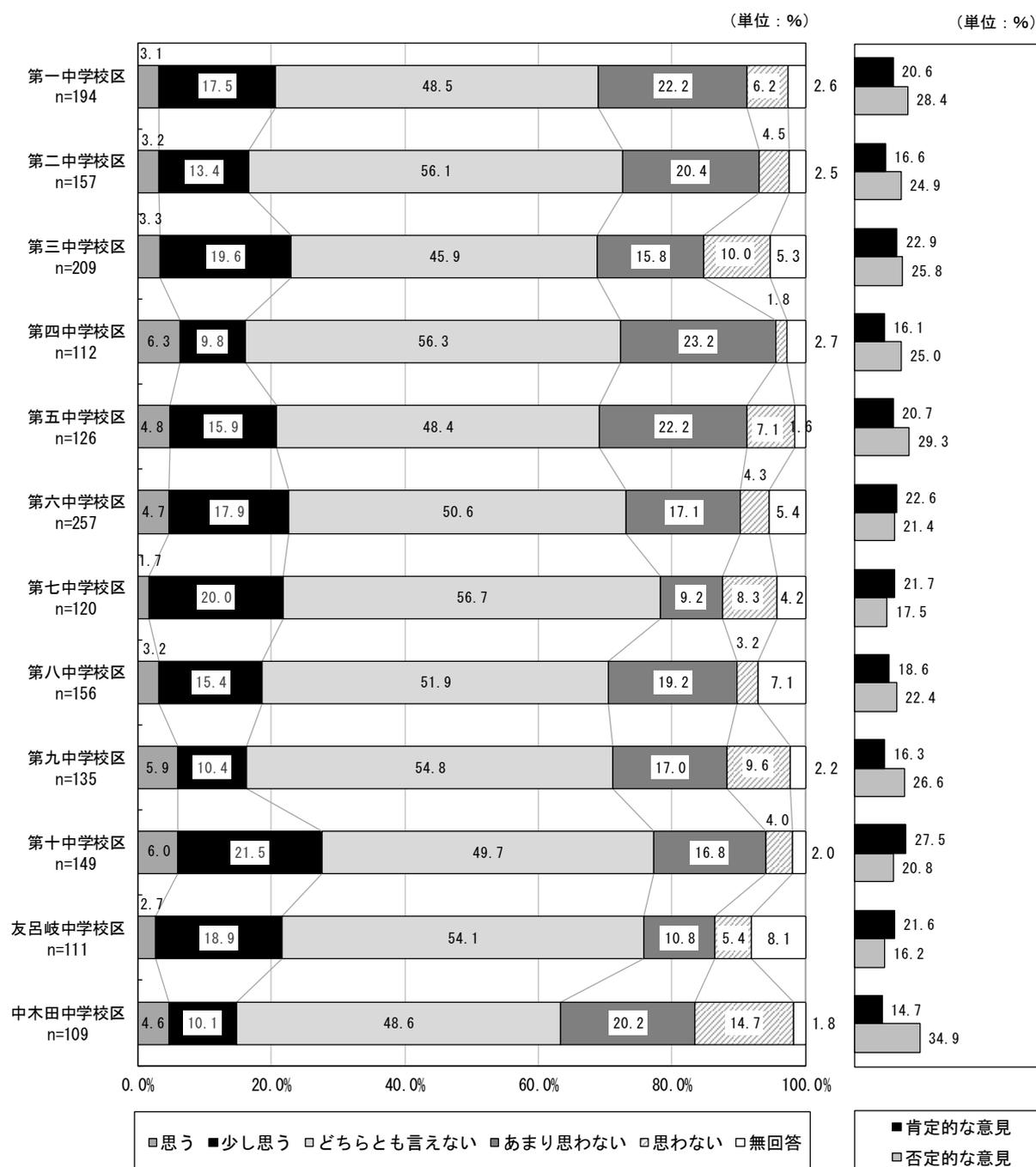
『否定的な意見』の割合は、20歳代、10歳代、50歳代で高くなっている。



<中学校区別>

第六、第七、第十、友呂岐中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第十中学校区で、次いで第三、第六中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、中木田、第五、第一中学校区で高くなっている。

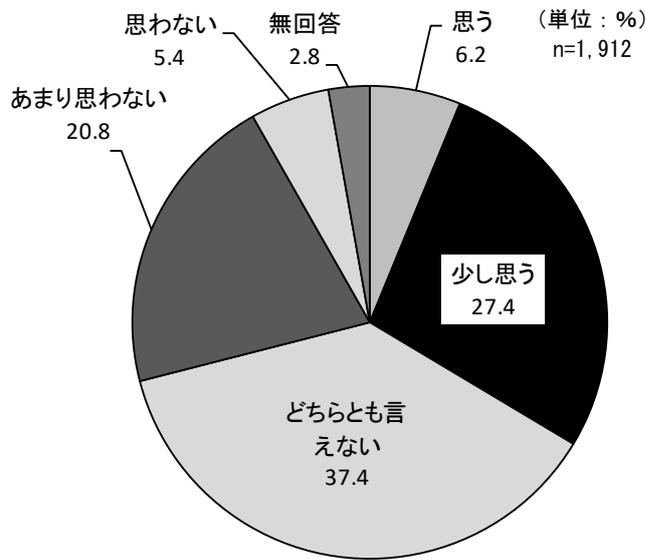


問 28 寝屋川市は、学校・家庭・地域が連携して青少年の育成を見守っていると思いますか。

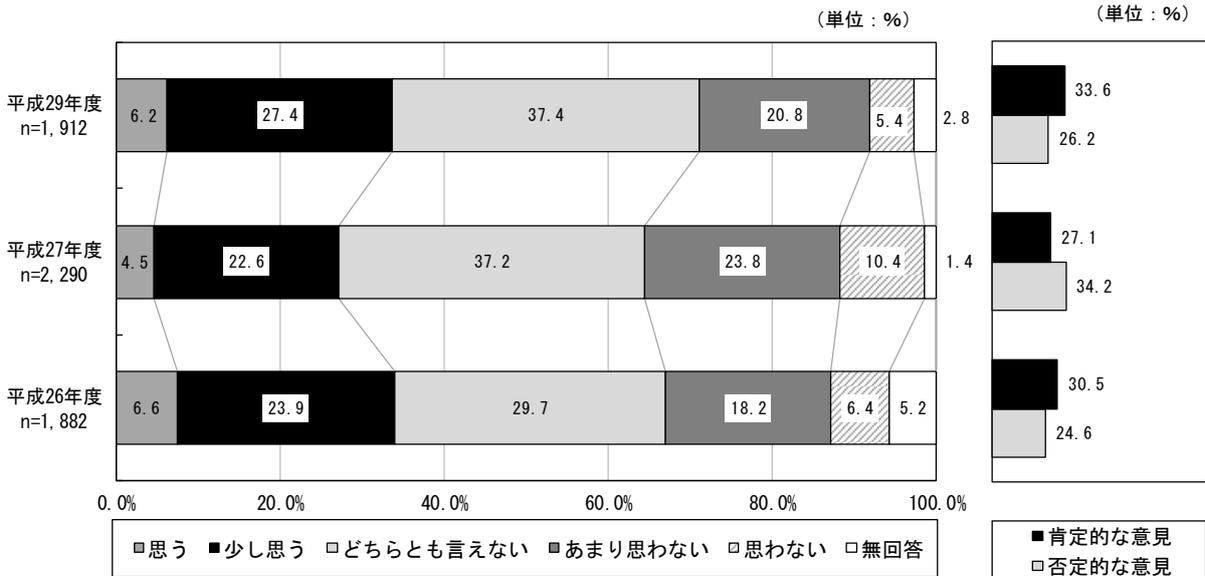
<全体>

「どちらとも言えない」が37.4%と最も高く、次いで「少し思う」が27.4%、「あまり思わない」が20.8%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は33.6%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は26.2%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



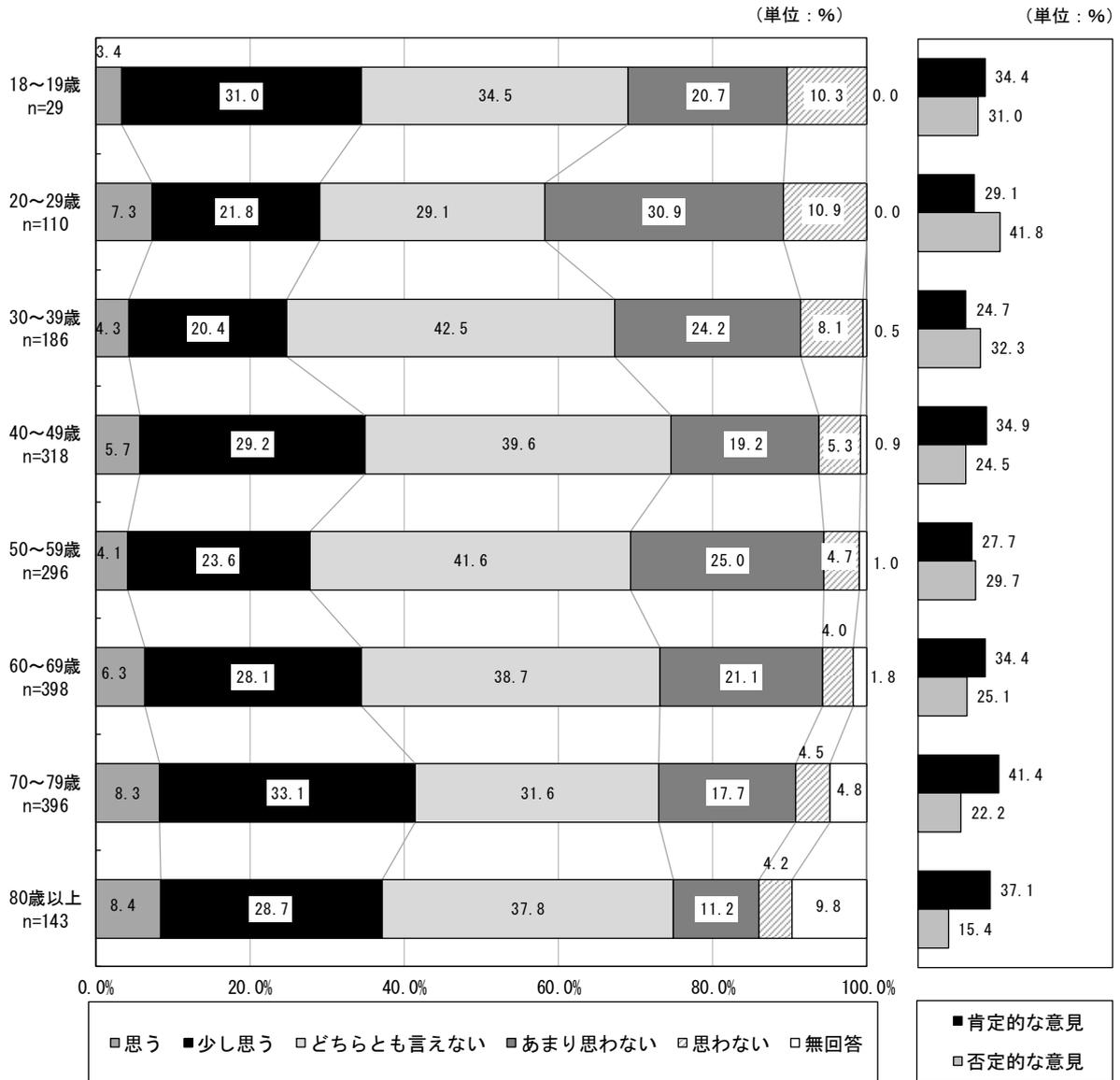
<年度別>



<年代別>

10歳代、40歳代、60歳代、70歳代、80歳以上において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは70歳代で、次いで80歳以上、40歳代の順となっている。

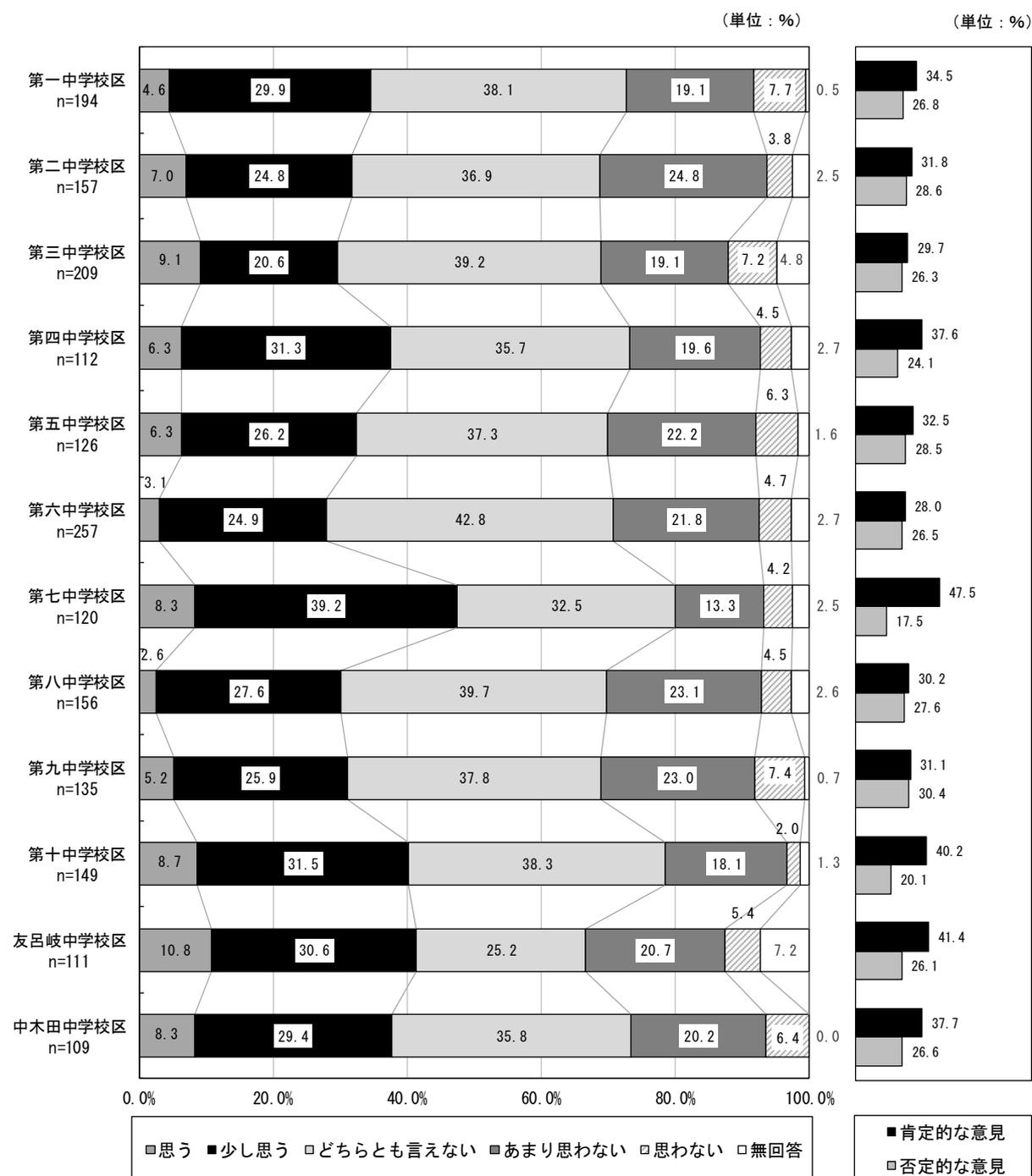
『否定的な意見』の割合は、20歳代、30歳代、10歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第七中学校区で、次いで友呂岐、第十中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第九、第二、第五中学校区で高くなっている。

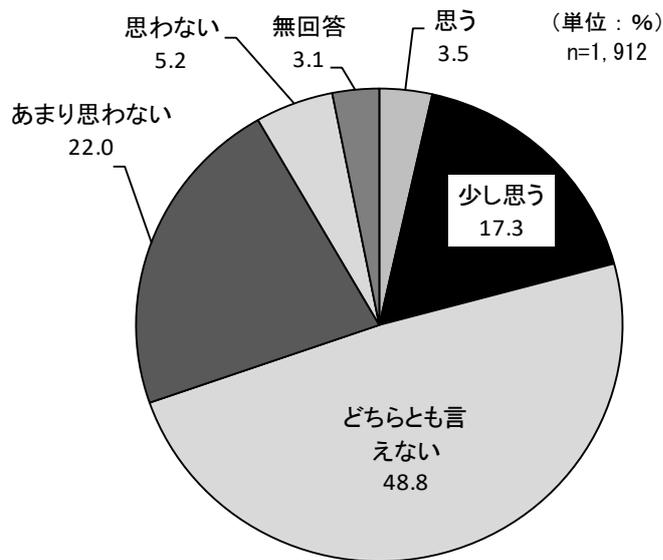


問 29 寝屋川市は、生涯学習の機会や情報の提供が充実していると思いますか。

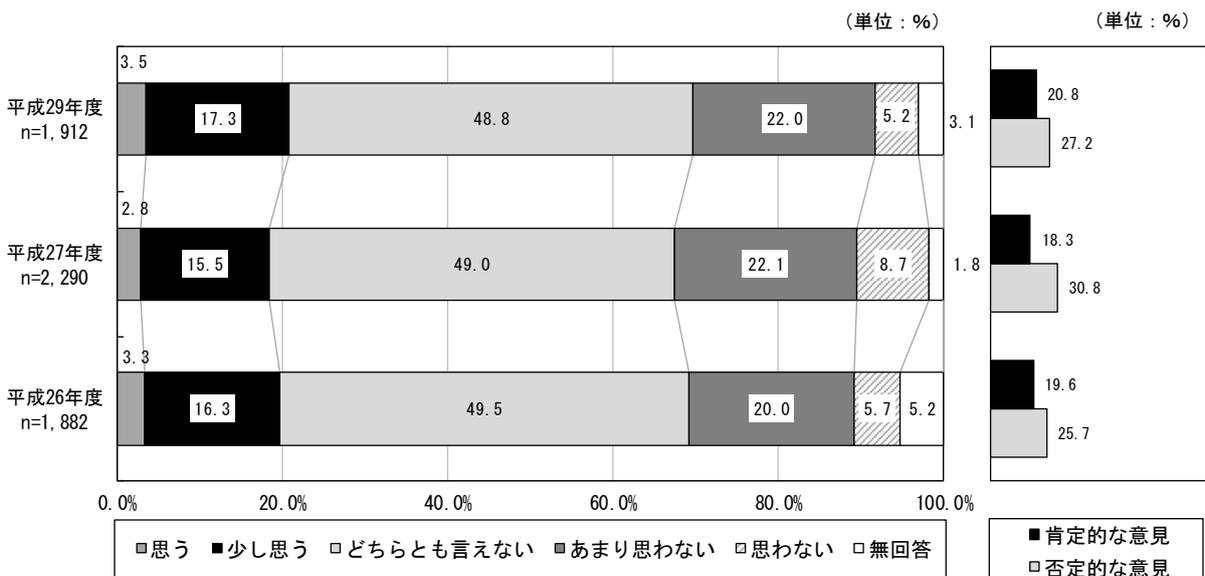
<全体>

「どちらとも言えない」48.8%と最も高く、次いで「あまり思わない」が22.0%、「少し思う」が17.3%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は20.8%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は27.2%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



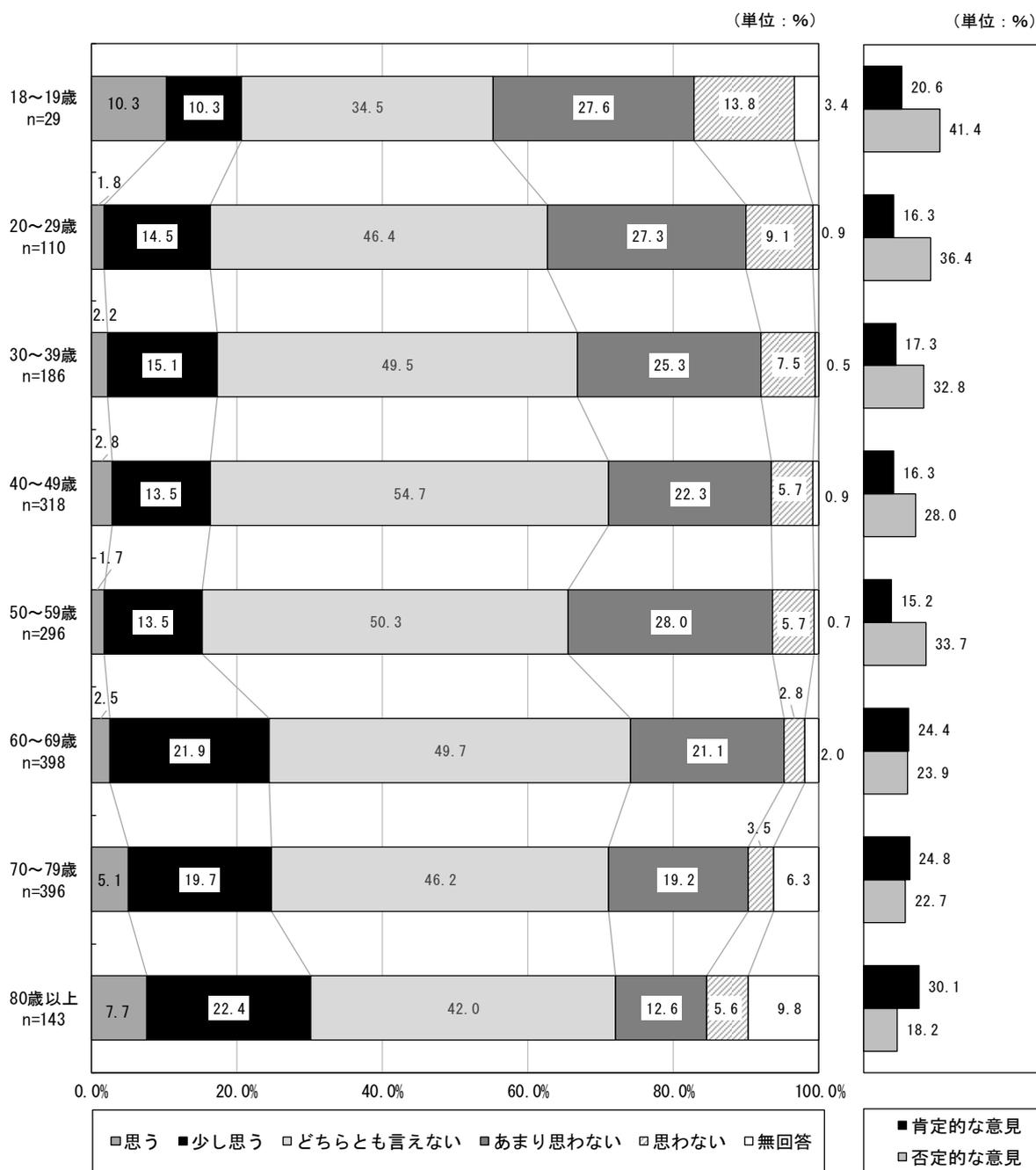
<年度別>



<年代別>

60歳代、70歳代、80歳以上において『肯定的な意見』が『否定的な意見』が上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで70歳代、60歳代の順となっている。

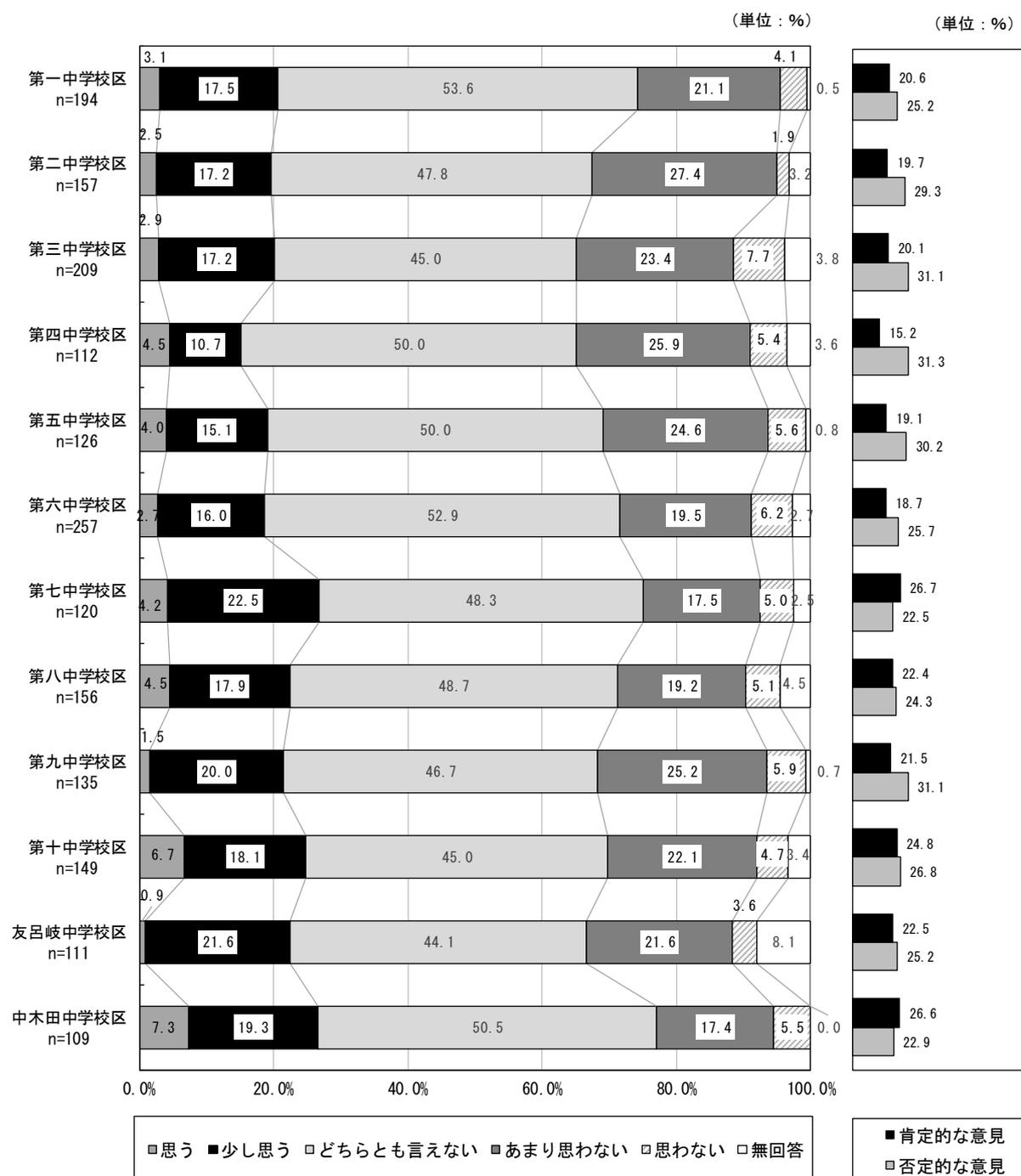
『否定的な意見』の割合は、10歳代、20歳代、50歳代で高くなっている。



<中学校区別>

第七、中木田中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第七中学校区で、次いで中木田、第十中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第四、第三、第九中学校区で高くなっている。

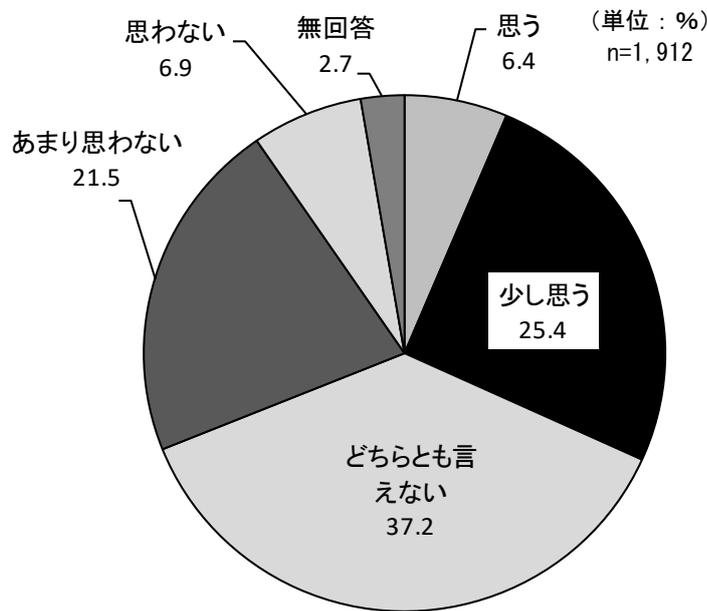


問 30 寝屋川市では、展示会・コンサートなど、文化・芸術活動が活発に行われていると思いますか。

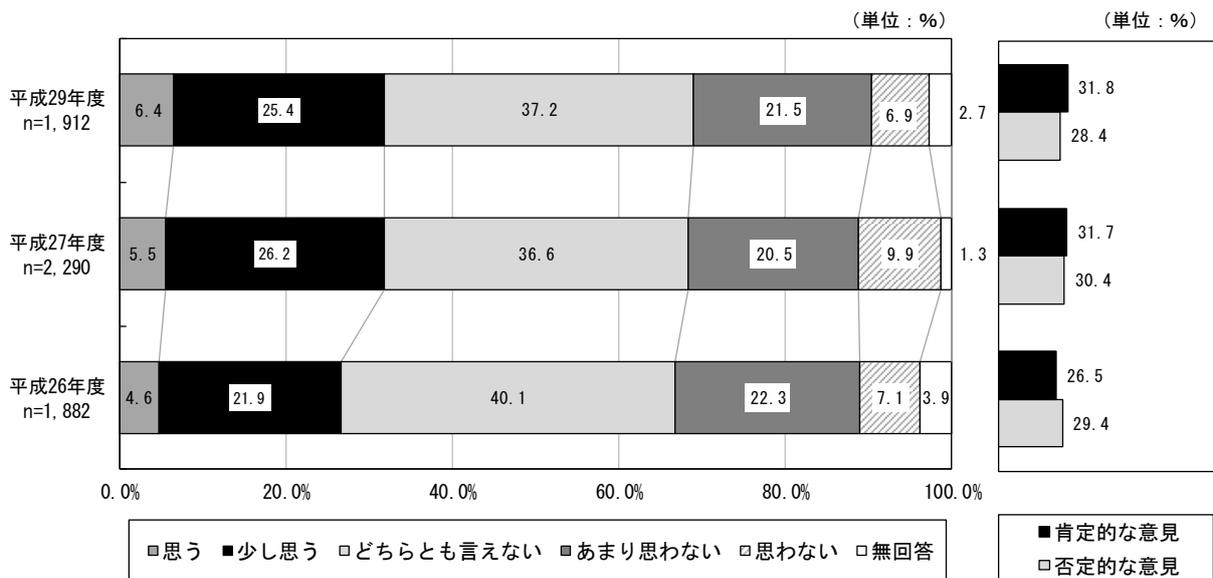
<全体>

「どちらとも言えない」が37.2%と最も高く、次いで「少し思う」が25.4%、「あまり思わない」が21.5%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は31.8%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は28.4%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



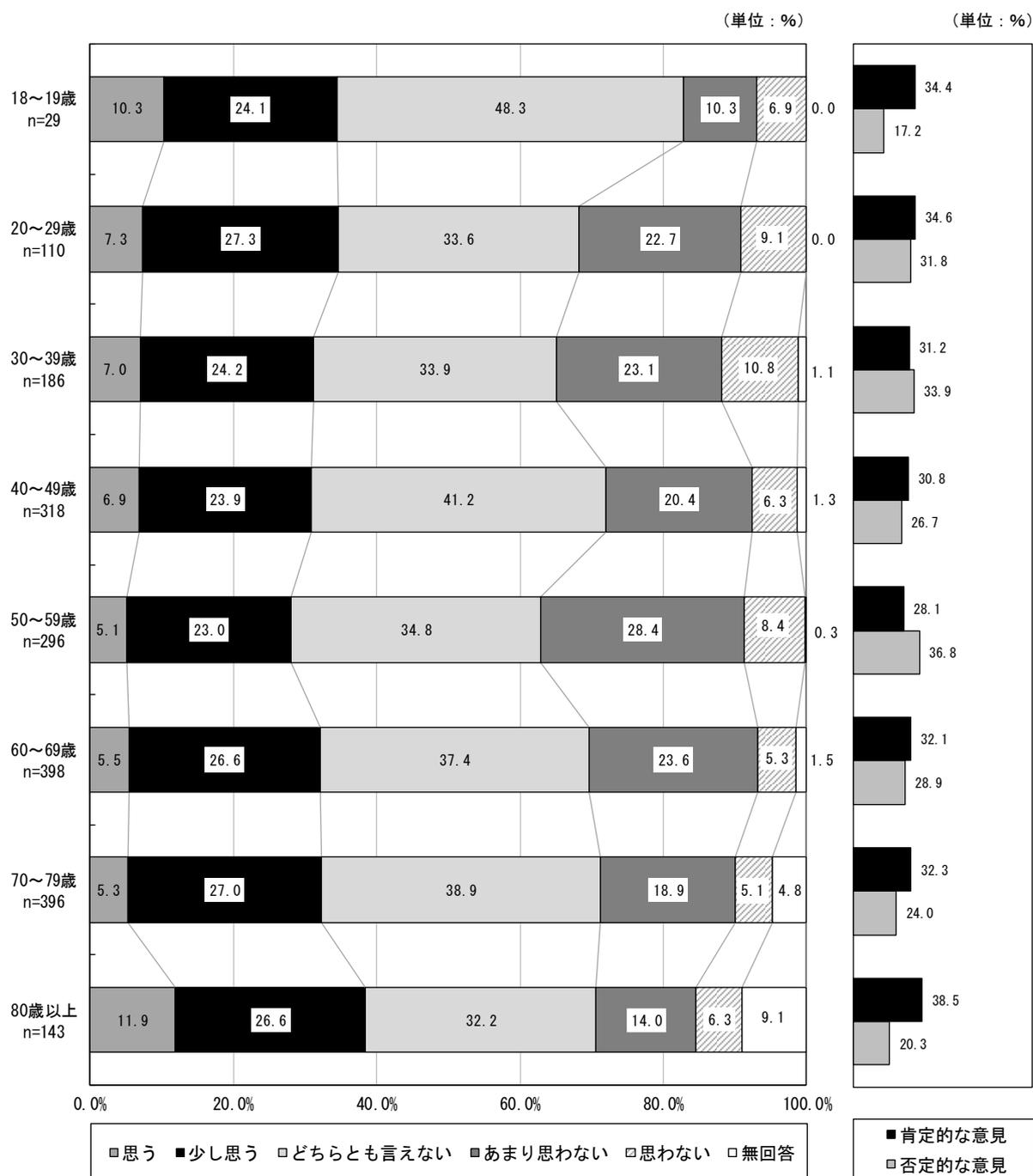
<年度別>



<年代別>

30歳代、50歳代以外の年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで20歳代、10歳代の順となっている。

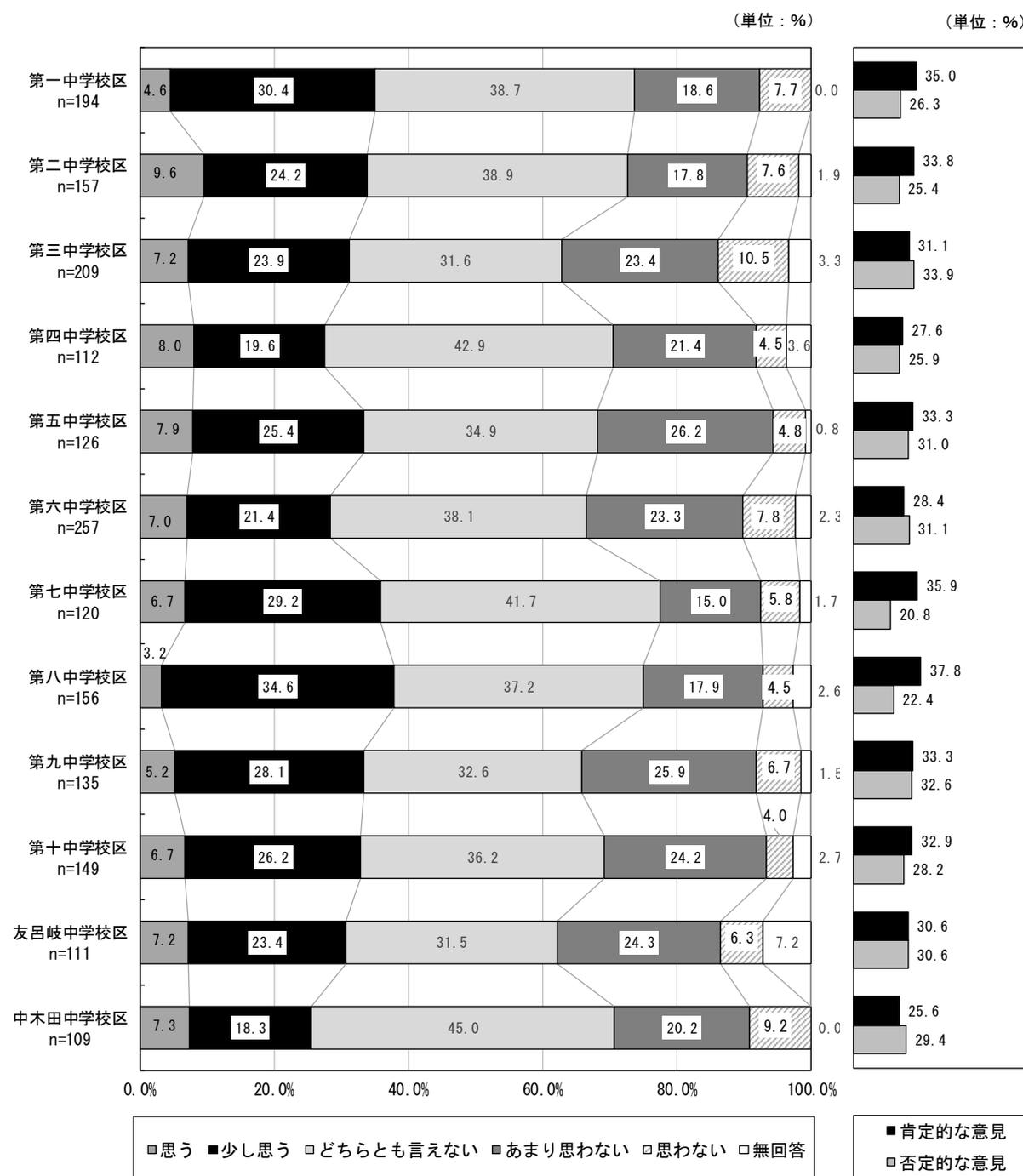
『否定的な意見』の割合は、50歳代、30歳代、20歳代で高くなっている。



<中学校区別>

第三、第六、友呂岐、中木田中学校区以外の中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第八中学校区で、次いで第七、第一中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第三、第九、第六中学校区で高くなっている。

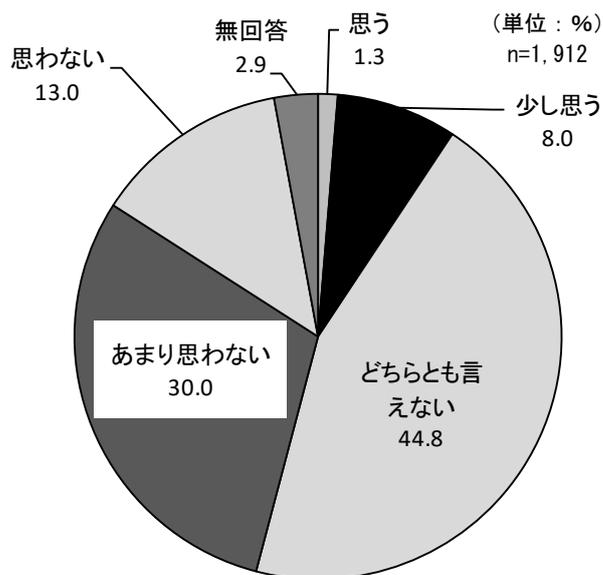


問 31 寝屋川市は、国際交流が盛んであると思いますか。

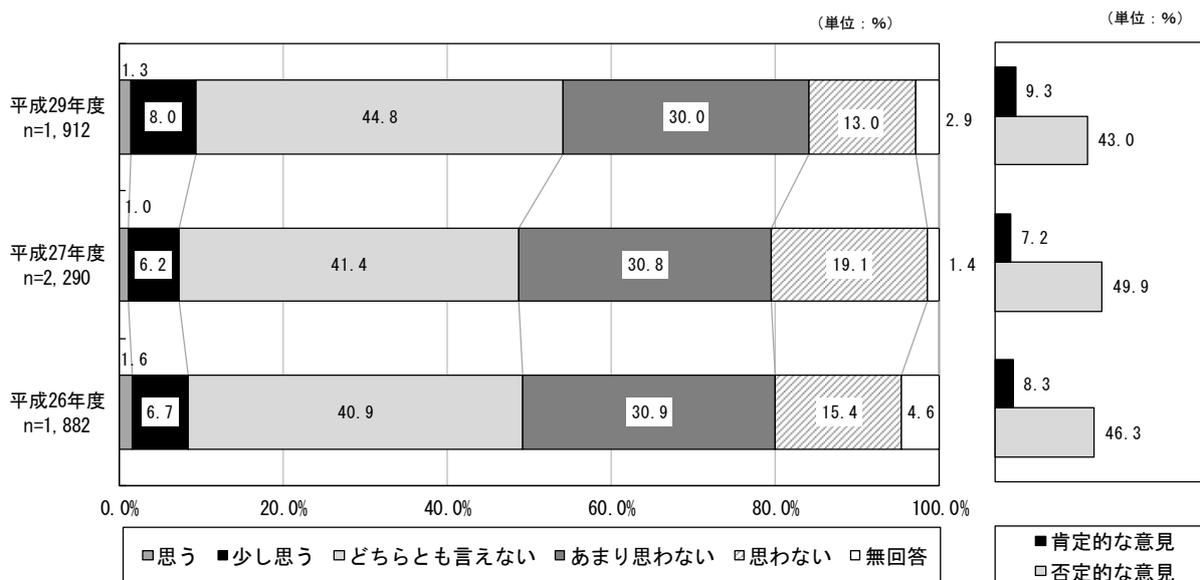
<全体>

「どちらとも言えない」が44.8%と最も高く、次いで「あまり思わない」が30.0%、「思わない」が13.0%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は9.3%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は43.0%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



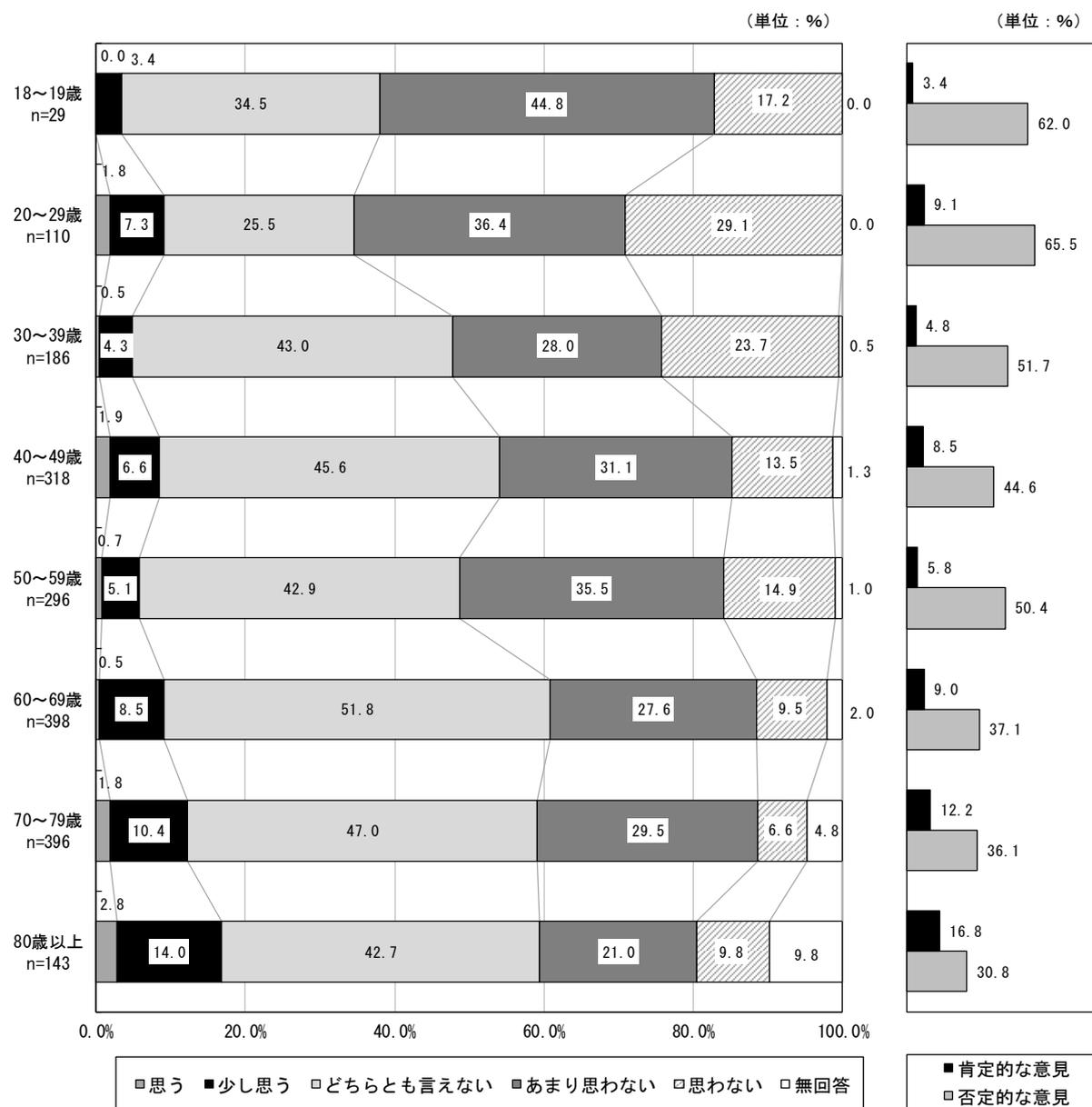
<年度別>



<年代別>

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで70歳代、20歳代の順となっている。

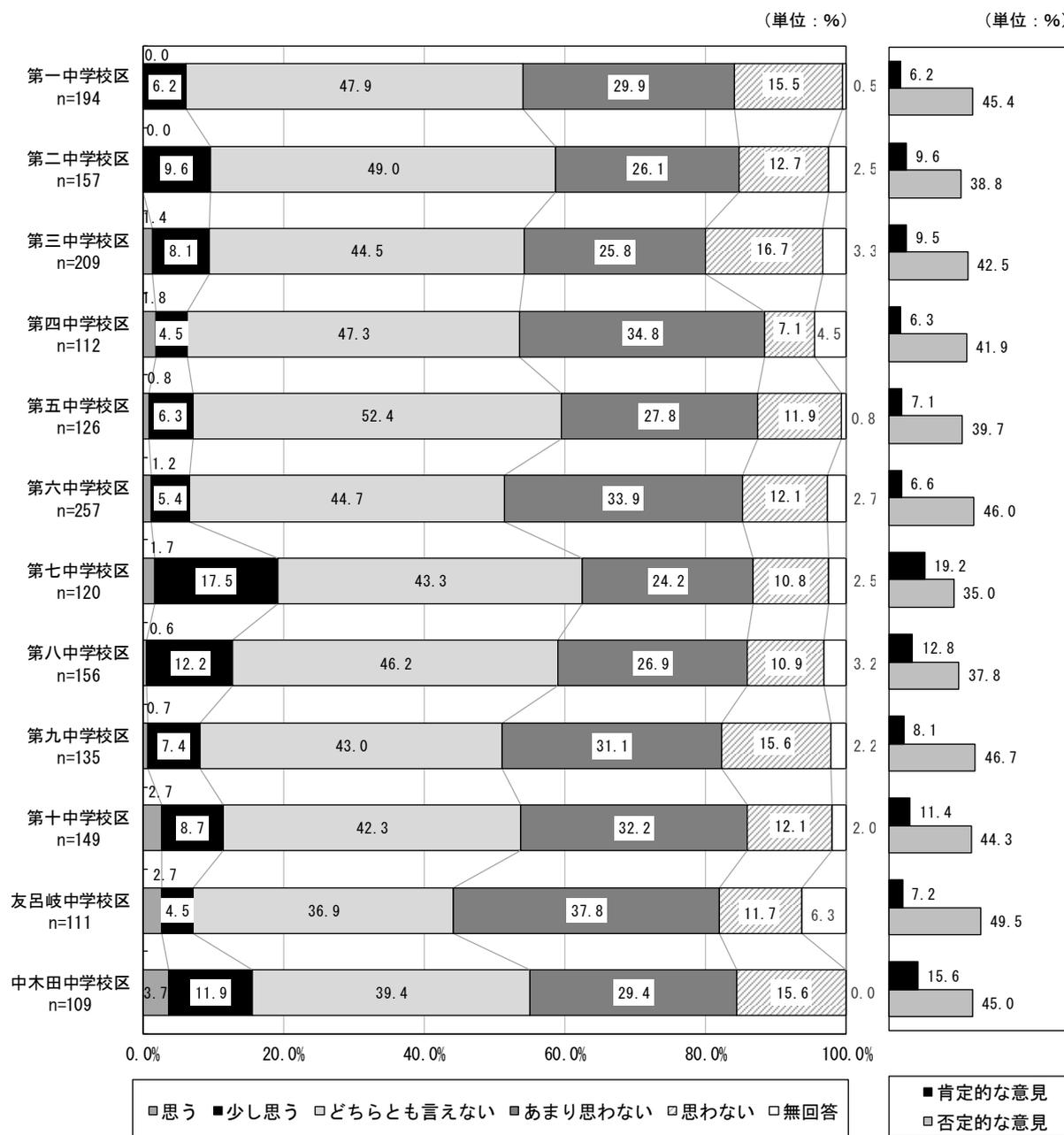
『否定的な意見』の割合は、20歳代、10歳代、30歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第七中学校区で、次いで中木田、第八中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、友呂岐、第九、第六中学校区で高くなっている。

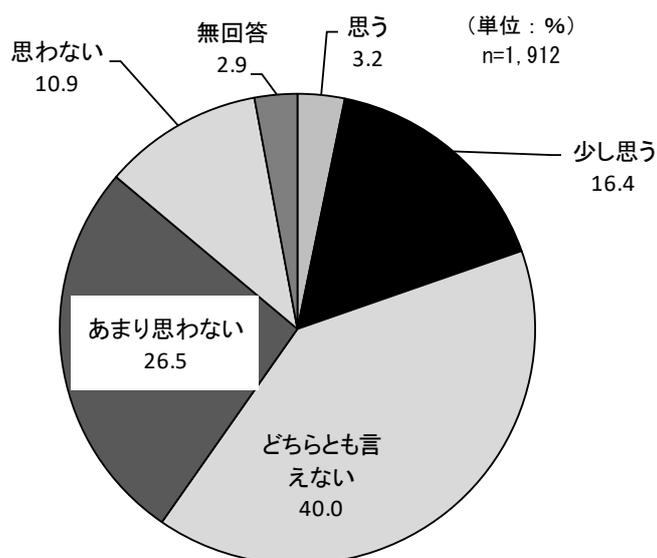


問 32 寝屋川市は、スポーツ活動の環境が整っていると思いますか。

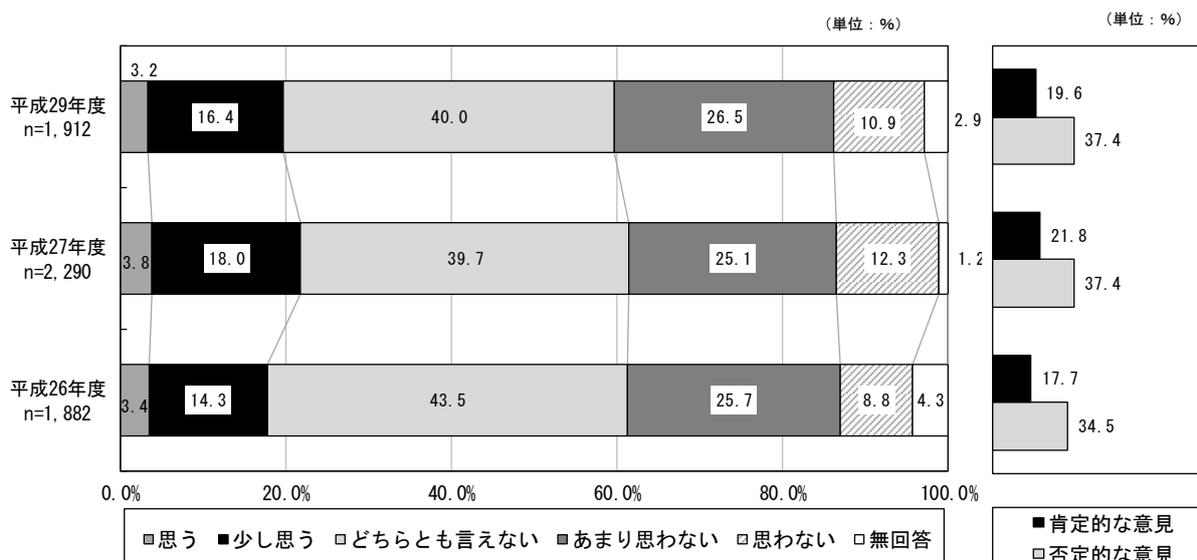
<全体>

「どちらとも言えない」が40.0%と最も高く、次いで「あまり思わない」が26.5%、「少し思う」が16.4%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は19.6%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は37.4%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



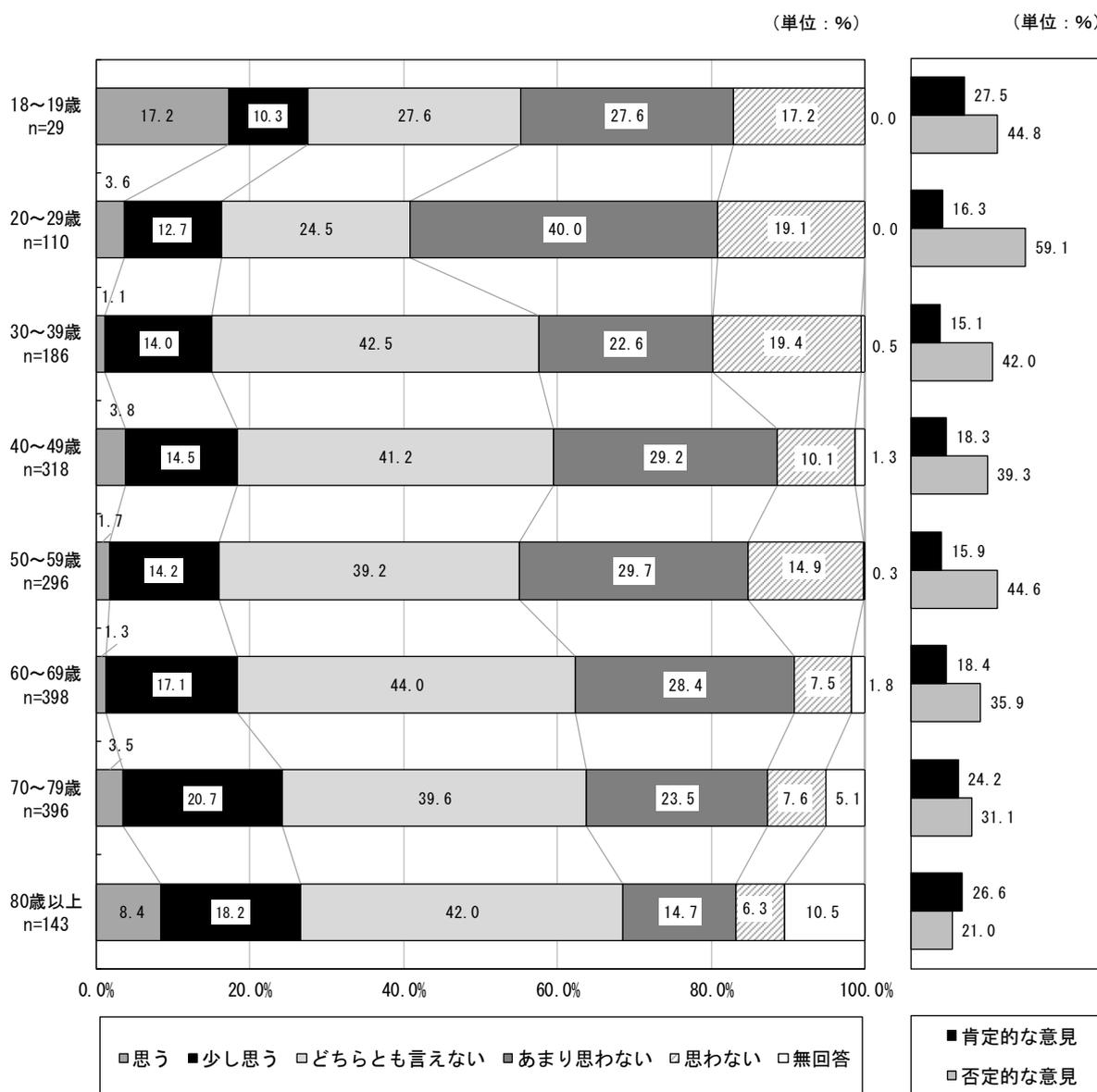
<年度別>



<年代別>

80歳以上を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは10歳代で、次いで80歳以上、70歳代の順となっている。

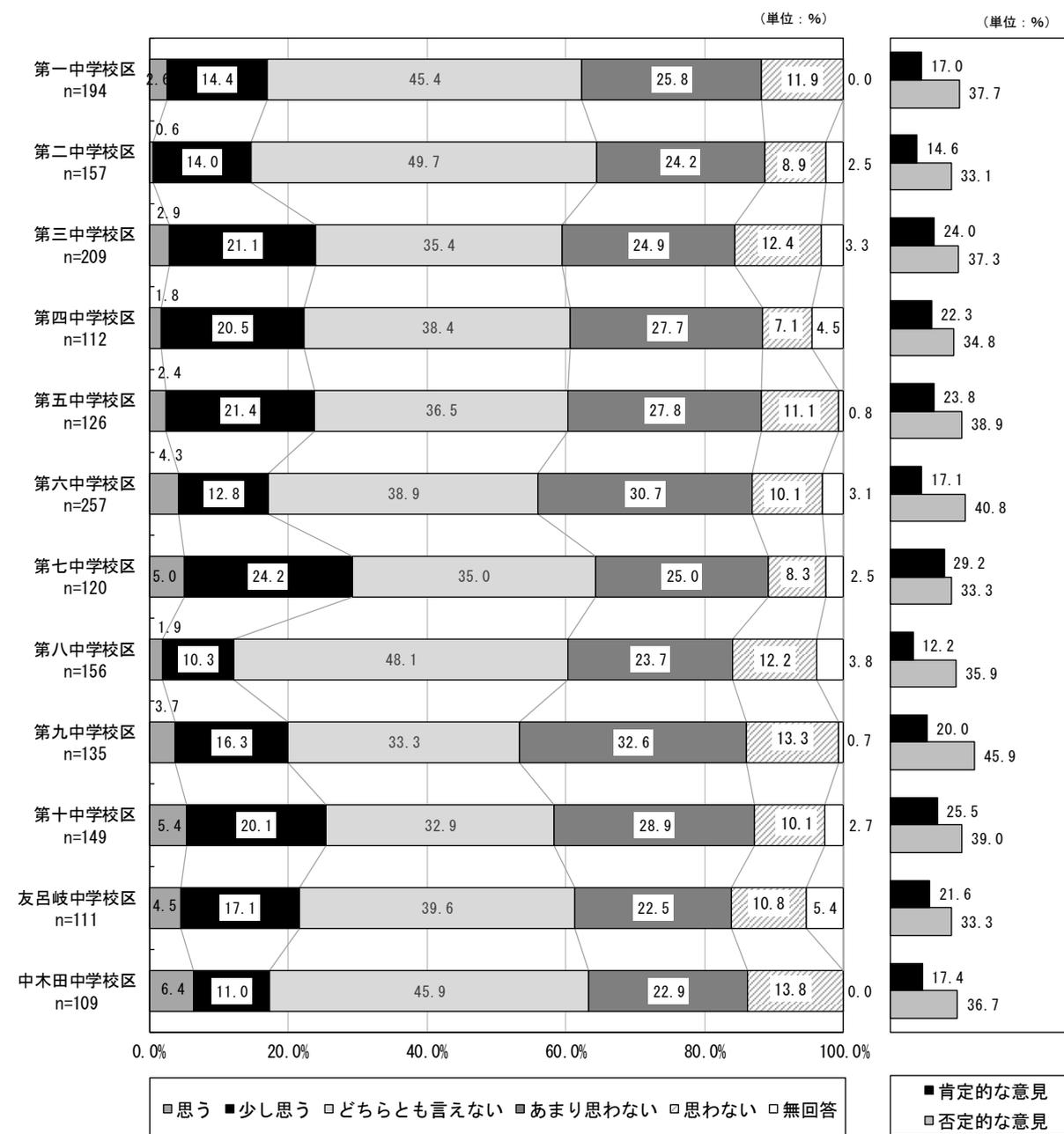
『否定的な意見』の割合は、20歳代、10歳代、50歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第七中学校区で、次いで第十、第三中学校区の順となっている。

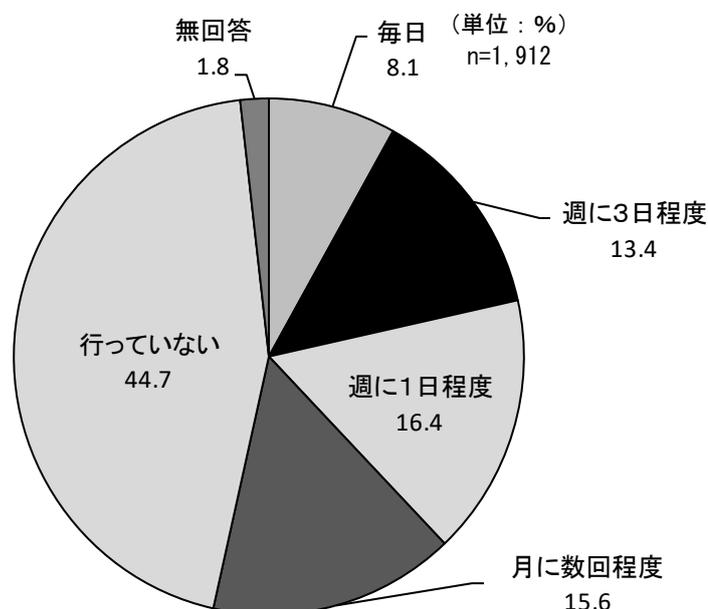
『否定的な意見』の割合は、第九、第六、第十中学校区で高くなっている。



問 33 スポーツや運動をどれくらいの頻度で行っていますか。

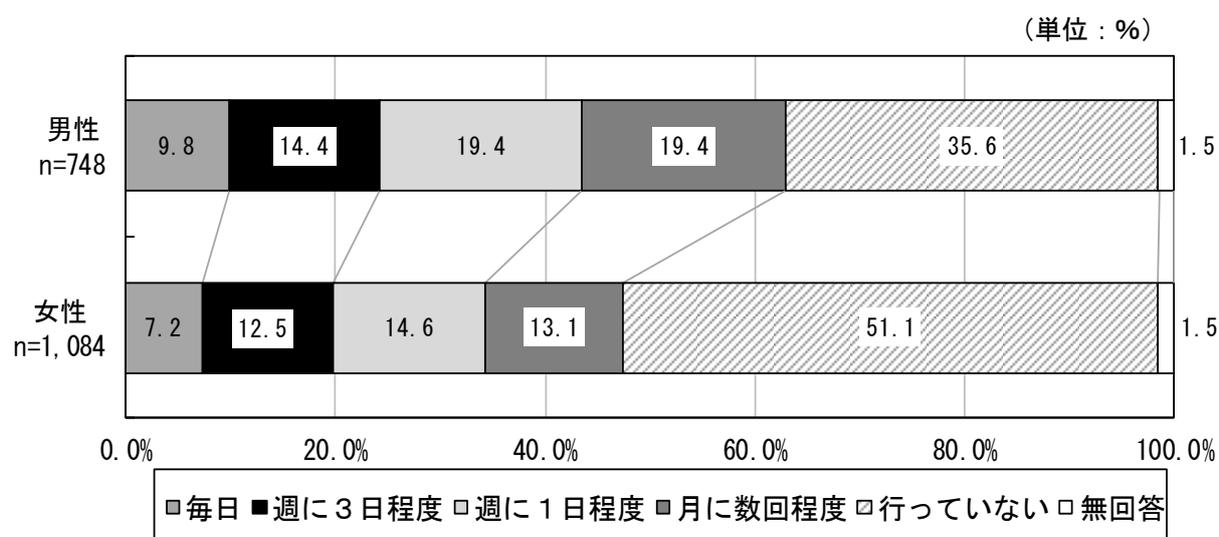
<全体>

「行っていない」が44.7%と最も高く、次いで「週に1日程度」が16.4%、「月に数回程度」が15.6%の順となっている。



<男女別>

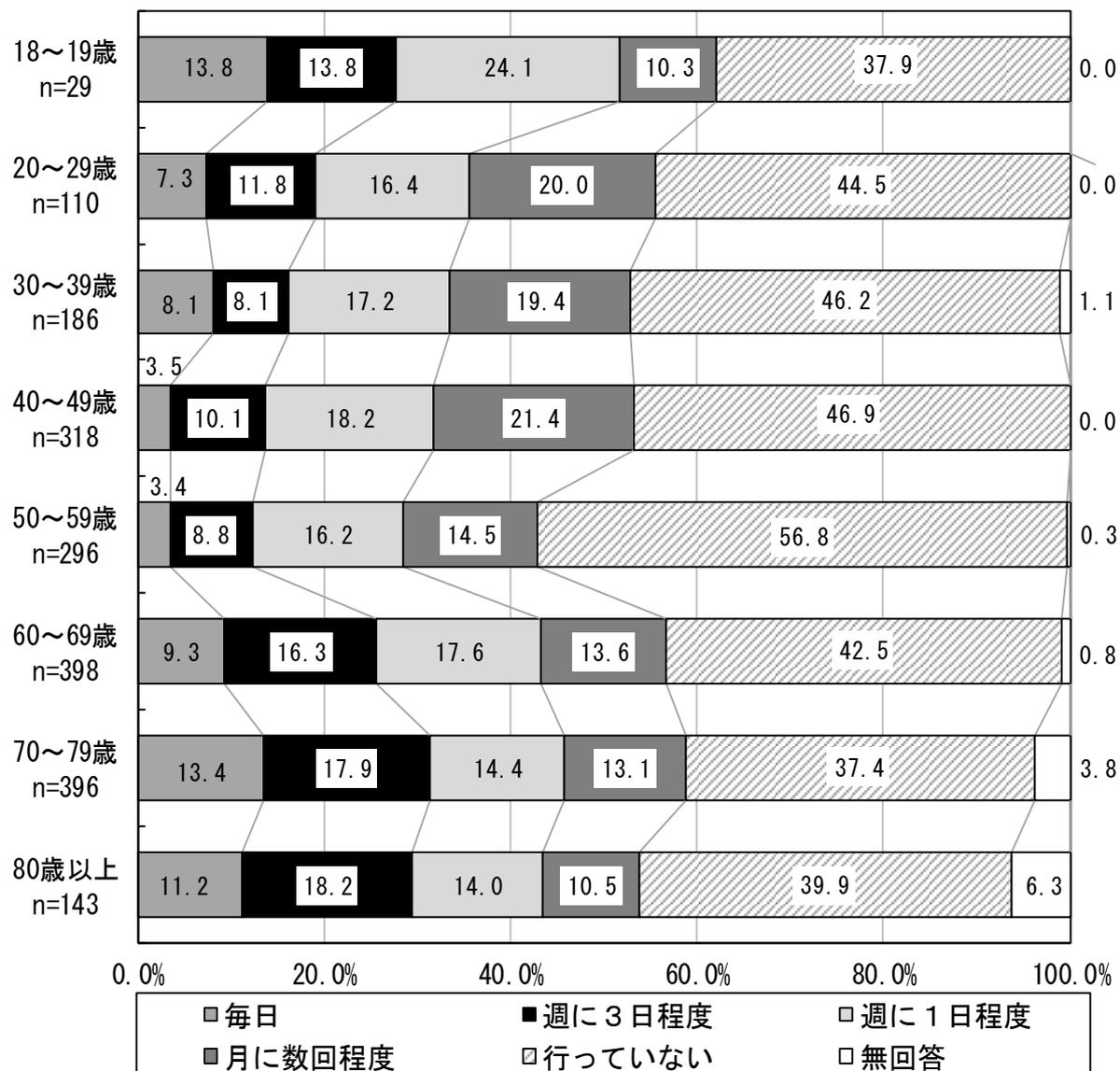
男女共に「行っていない」が最も高く、その割合は女性が上回っている。行っているに属する「毎日」「週に3日程度」「週に1日程度」「月に数回程度」の割合は、それぞれにおいて男性が上回っている。



<年代別>

全ての年代において「行っていない」が、最も高くなっている。

(単位：%)

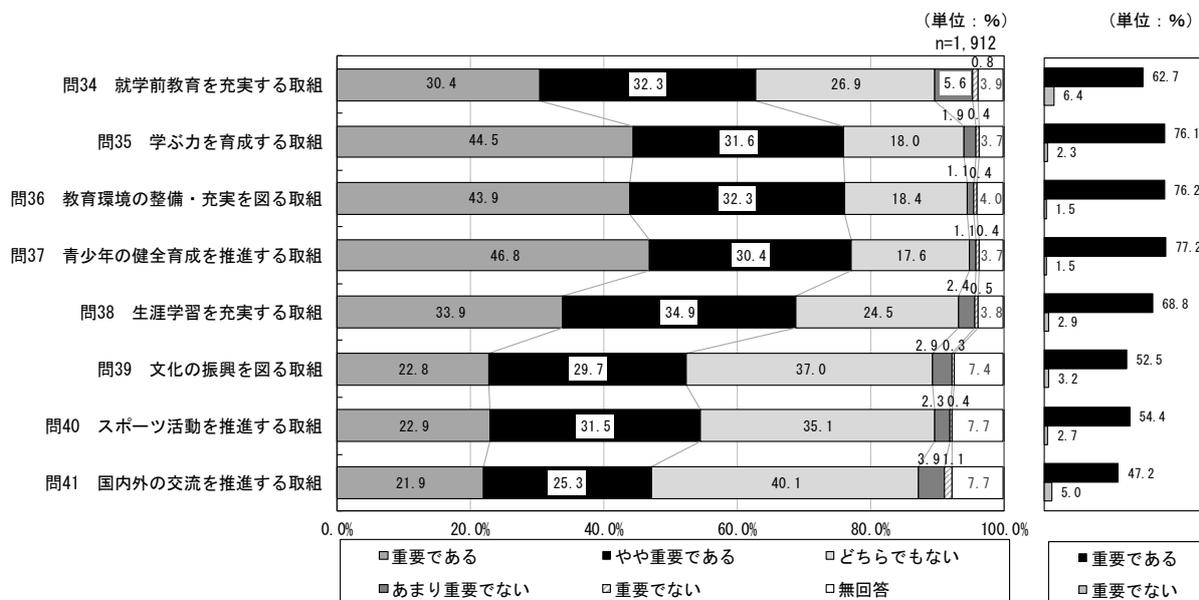


②「教育・生涯学習・文化・芸術・国際交流」の施策についての重要度と満足度

問 34～問 41 現在、寝屋川市が取り組んでいる「教育・生涯学習・文化・芸術・国際交流」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

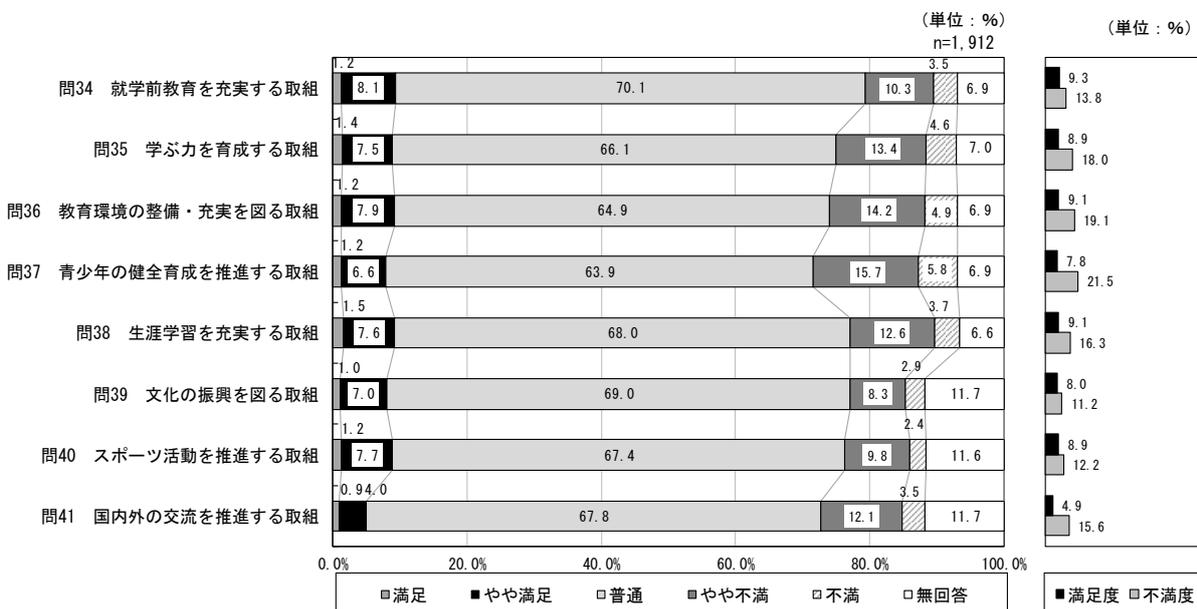
<重要度>

『教育・生涯学習・文化・芸術・国際交流』の施策において、重要度が最も高いのは「青少年の健全育成を推進する取組」で、「教育環境の整備・充実を図る取組」が続いている。



<満足度>

『教育・生涯学習・文化・芸術・国際交流』の施策において、満足度が最も高いのは「就学前教育を充実する取組」で、不満度が最も高いのは「青少年の健全育成を推進する取組」である。



4 『快適でうるおいのあるまちづくり』について

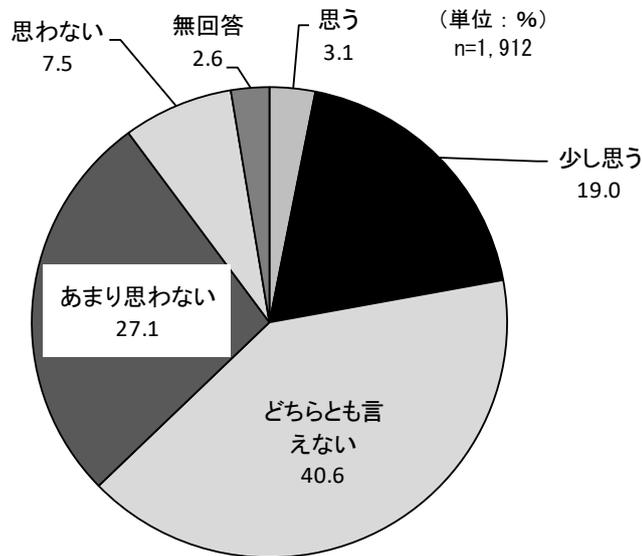
① 「都市整備・都市環境」について

問 42 寝屋川市は、地域の特性をいかした計画的なまちづくりが行われていると思いますか。

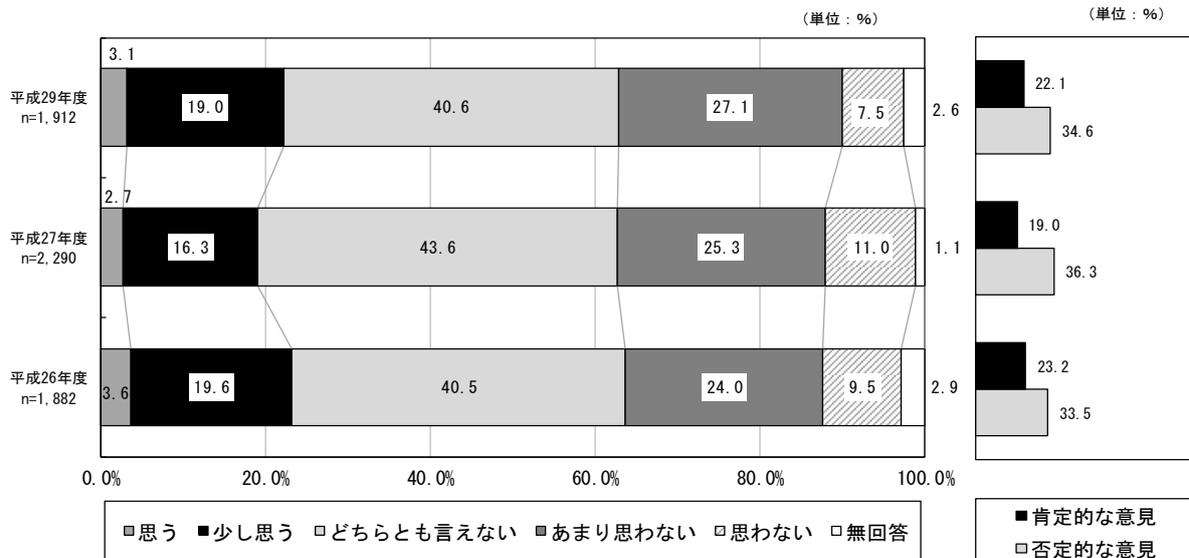
<全体>

「どちらとも言えない」が40.6%と最も高く、次いで「あまり思わない」が27.1%、「少し思う」が19.0%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は22.1%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は34.6%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



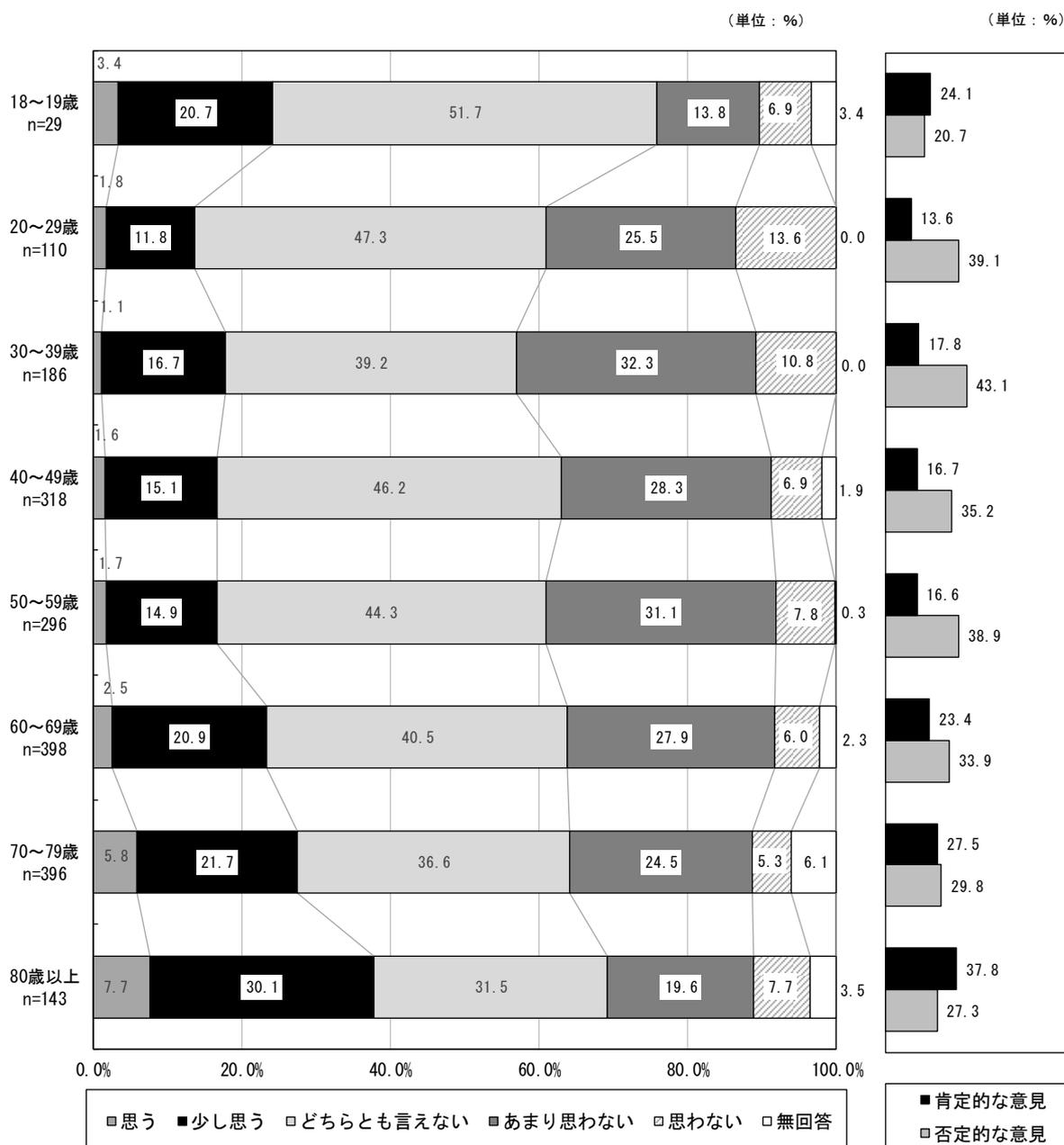
<年度別>



<年代別>

10歳代、80歳以上の年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで70歳代、10歳代の順となっている。

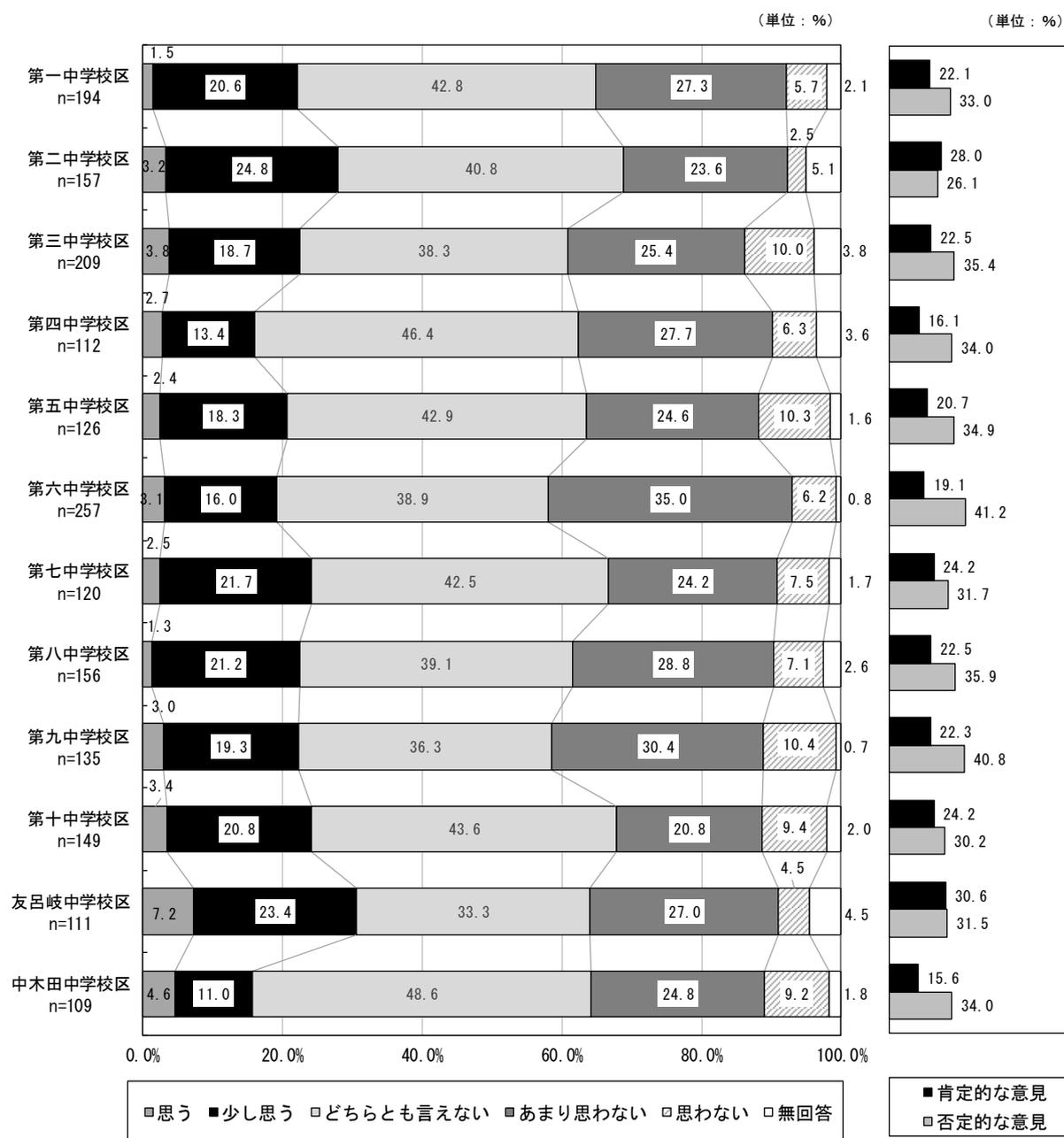
『否定的な意見』の割合は、30歳代、20歳代、50歳代で高くなっている。



<中学校区別>

第二中学校区以外の中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは友呂岐中学校区で、次いで第二、第七、第十中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第六、第九、第八中学校区で高くなっている。

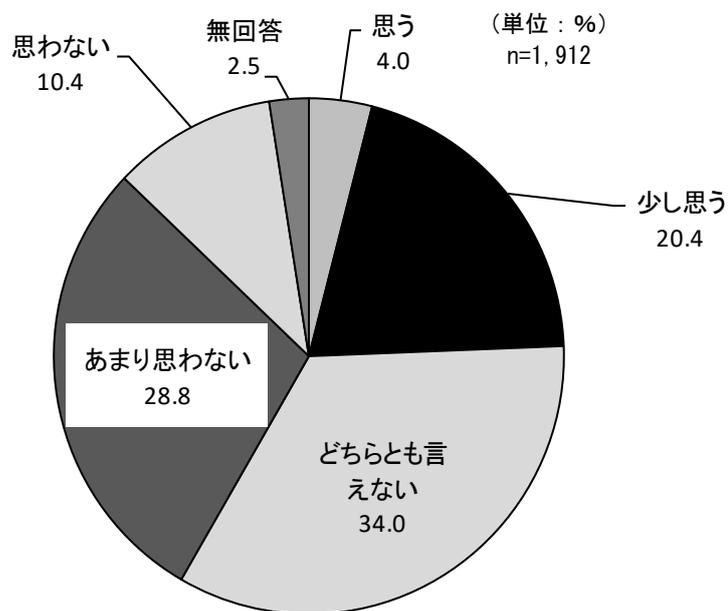


問 43 寝屋川市は、快適な生活環境や美しいまちなみが確保されていると思いますか。

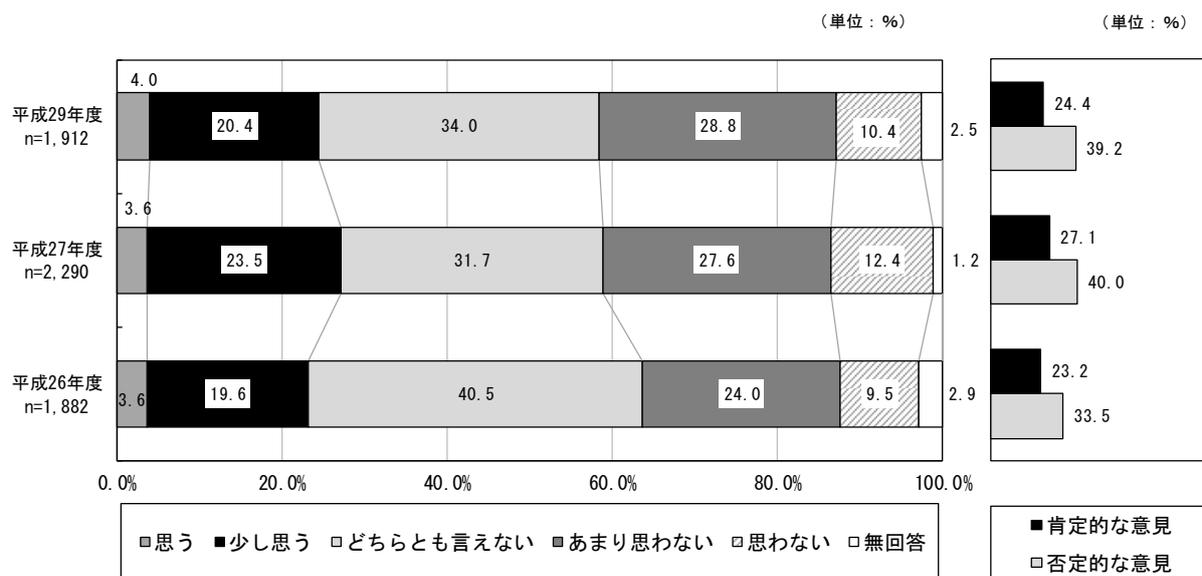
<全体>

「どちらとも言えない」が 34.0%と最も高く、次いで「あまり思わない」が 28.8%、「少し思う」が 20.4%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 24.4%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 39.2%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



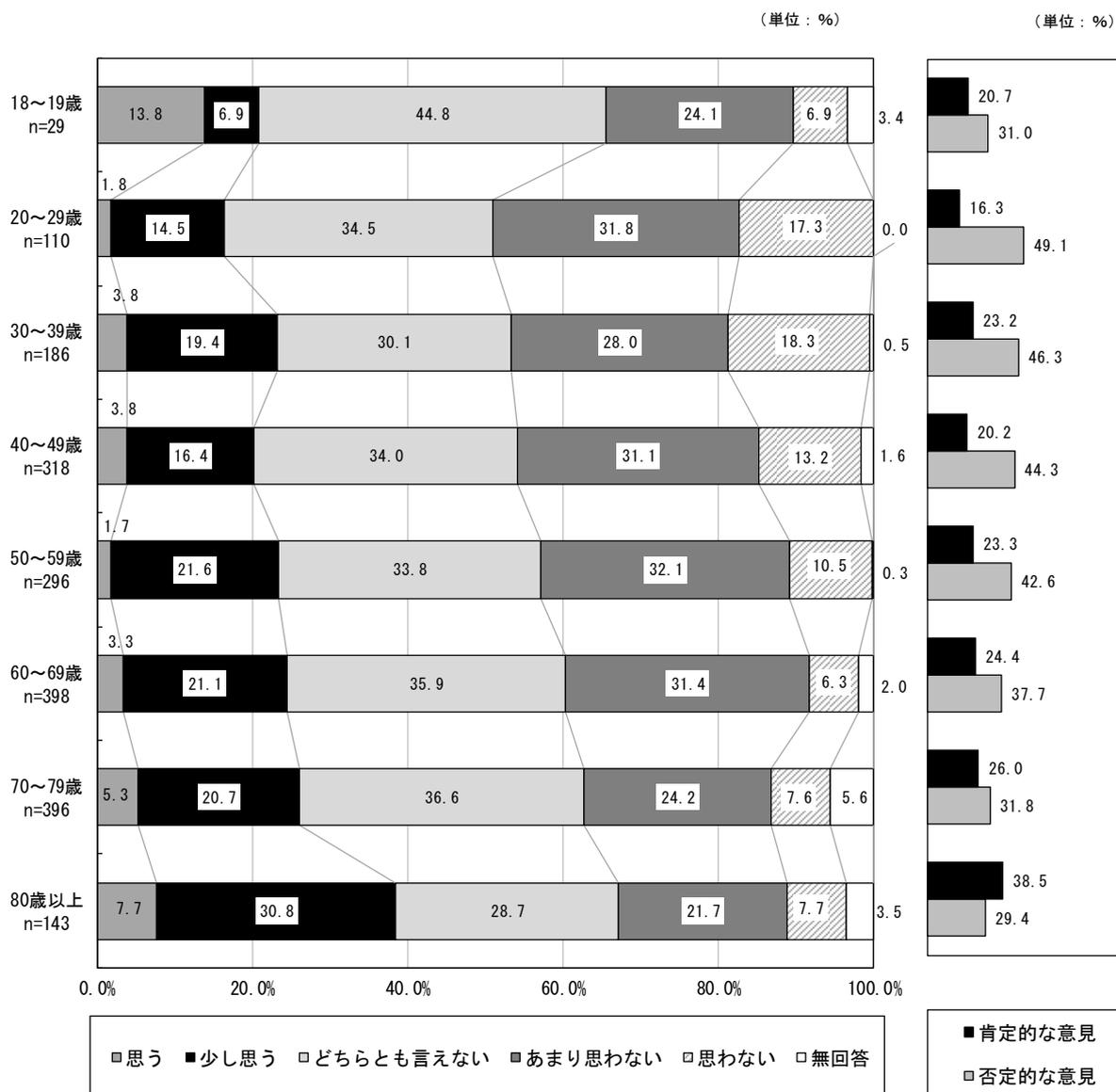
<年度別>



<年代別>

80歳以上を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで70歳代、60歳代の順となっている。

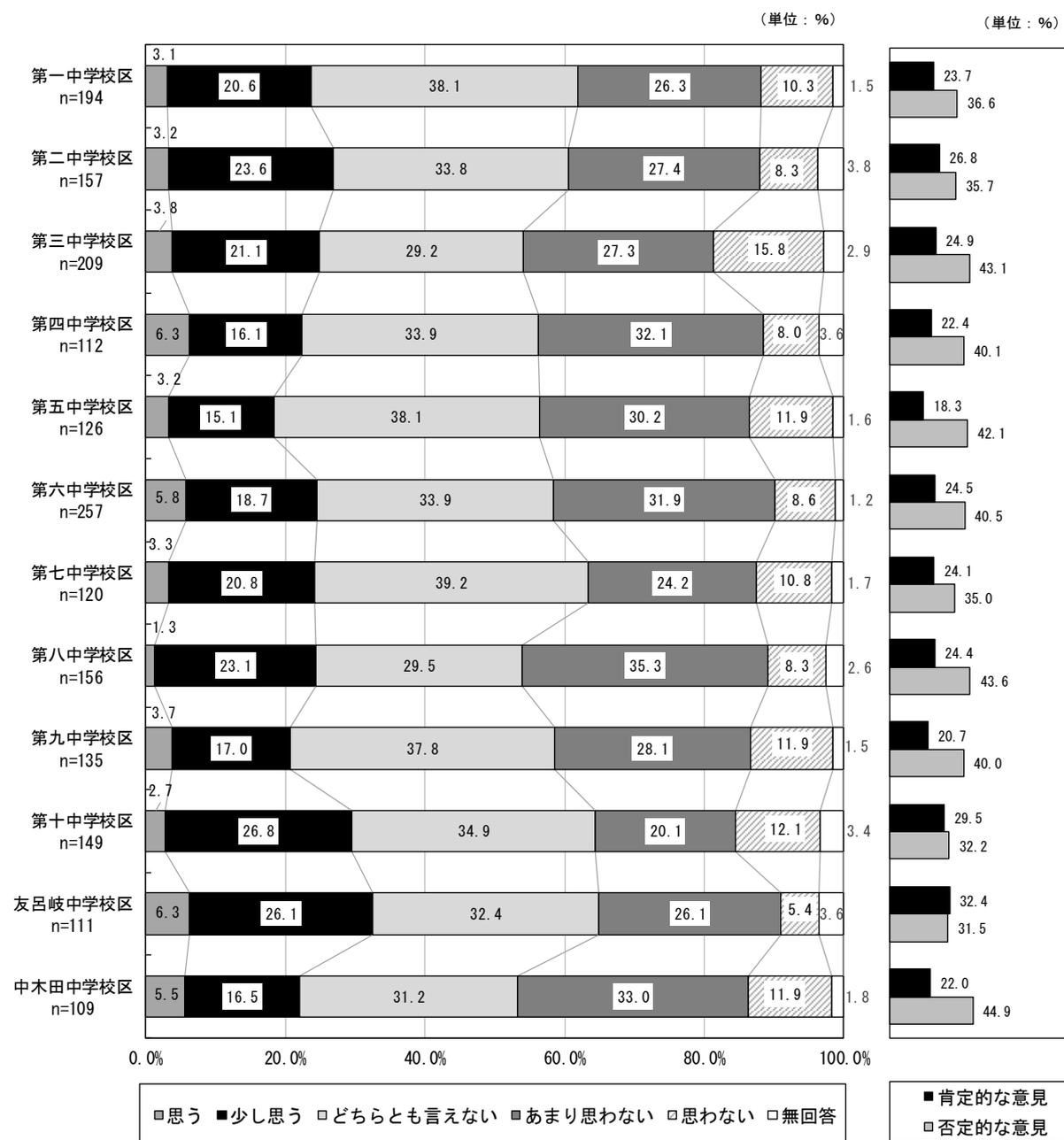
『否定的な意見』の割合は、20歳代、30歳代、40歳代で高くなっている。



<中学校区別>

友呂岐中学校区以外の中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは友呂岐中学校区で、次いで第十、第二中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、中木田、第八、第三中学校区で高くなっている。

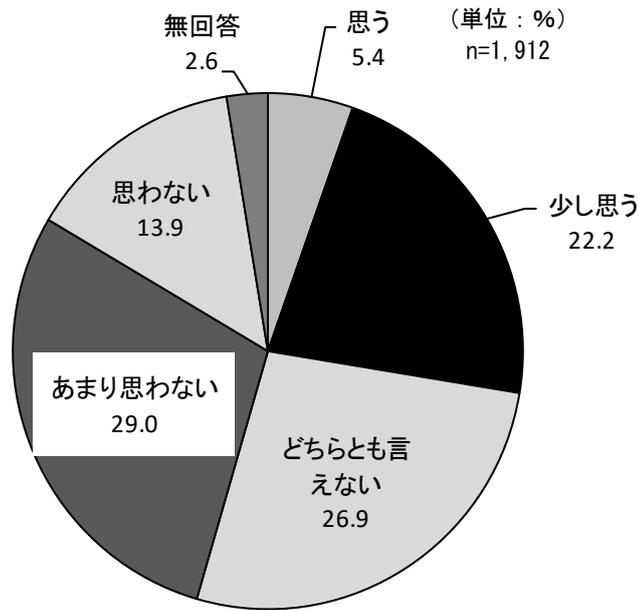


問 44 寝屋川市は、駅周辺が魅力ある空間であると思いますか。

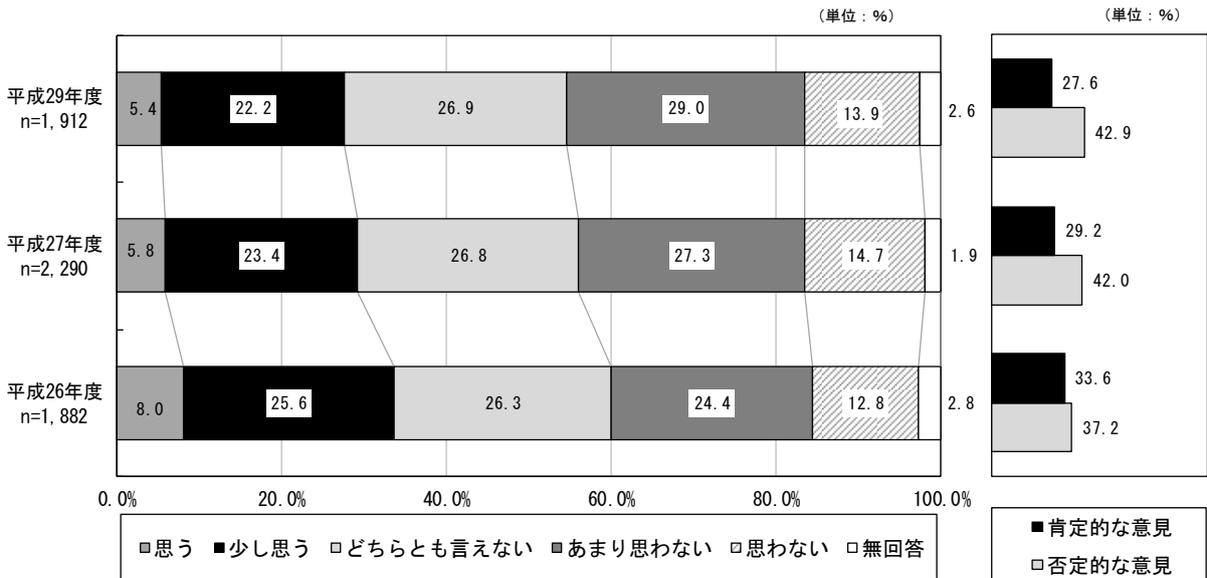
<全体>

「あまり思わない」が 29.0%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 26.9%、「少し思う」が 22.2%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 27.6%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 42.9%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



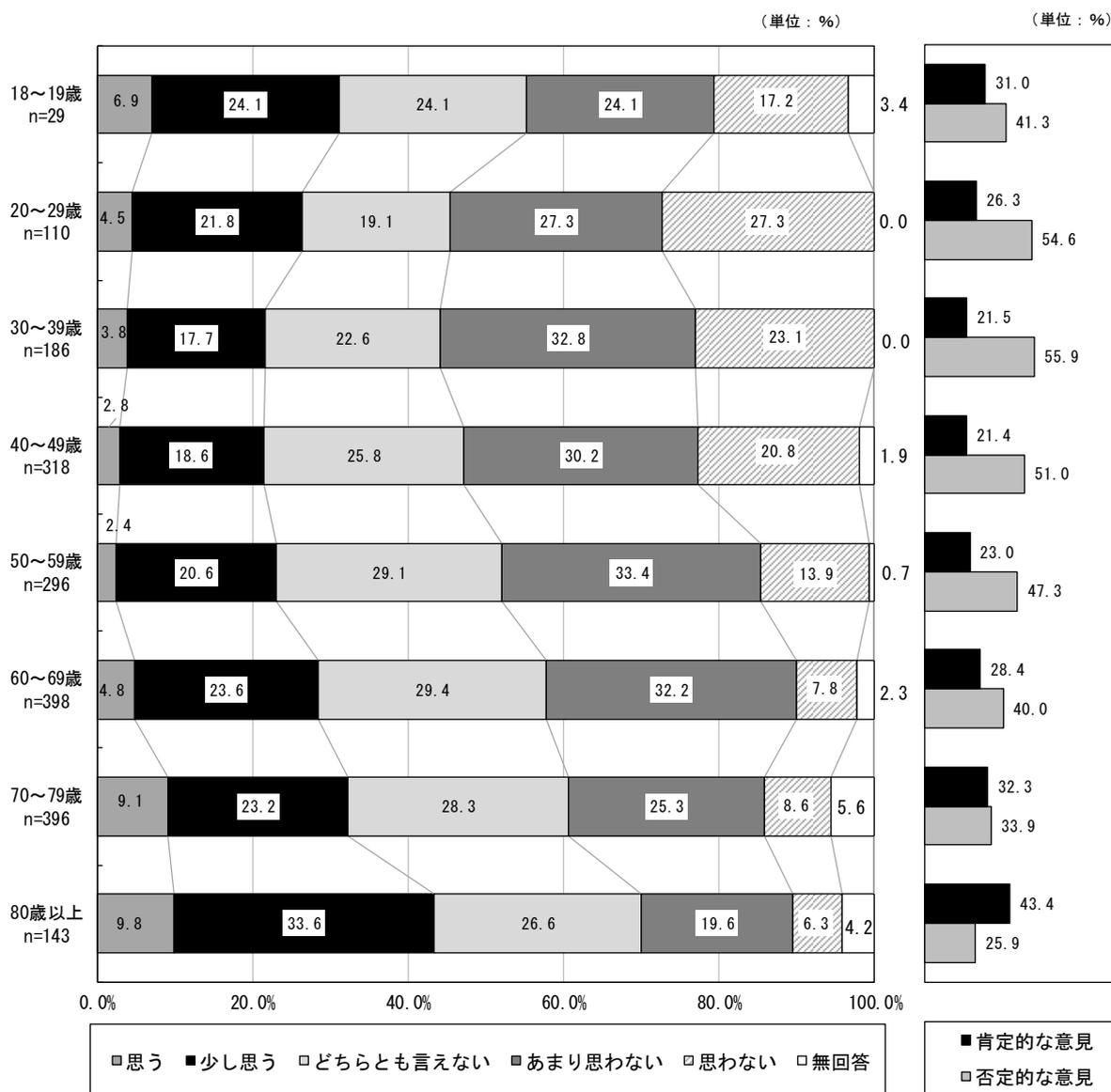
<年度別>



<年代別>

80歳以上を除く全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで70歳代、10歳代の順となっている。

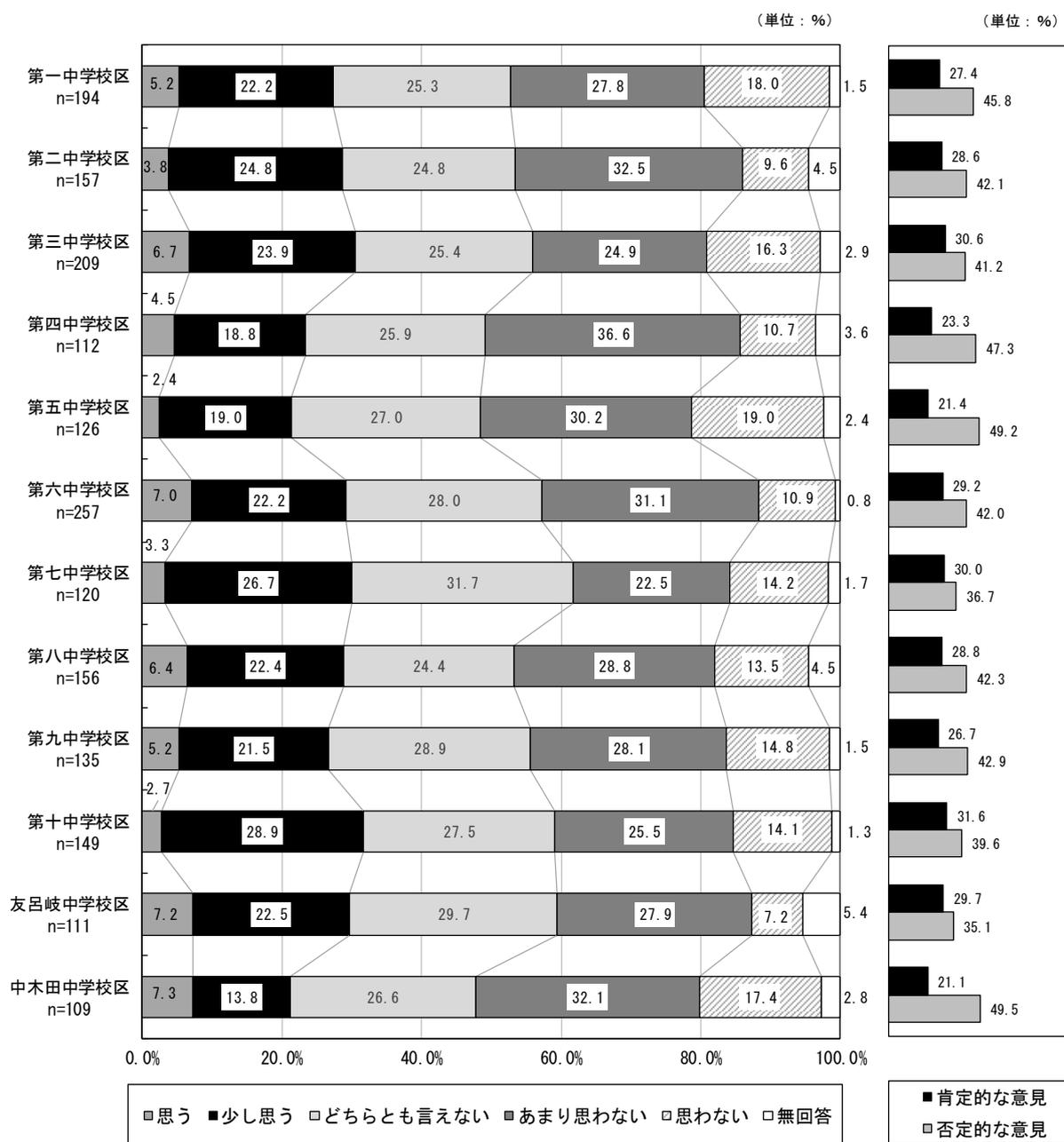
『否定的な意見』の割合は、30歳代、20歳代、40歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第十中学校区で、次いで第三、第七中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、中木田、第五、第四中学校区で高くなっている。

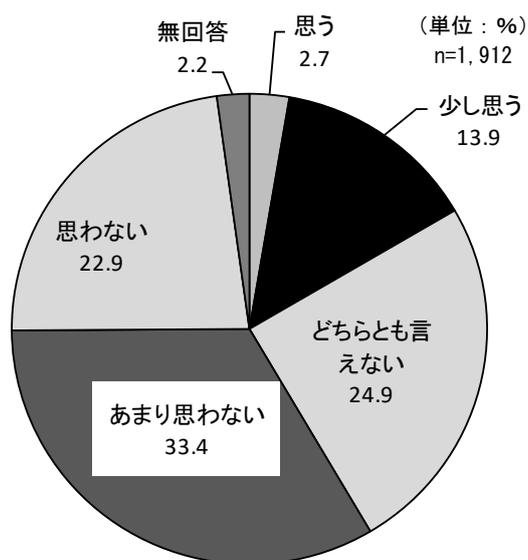


問 45 寝屋川市では、歩行者にやさしい道路整備が進んでいると思いますか。

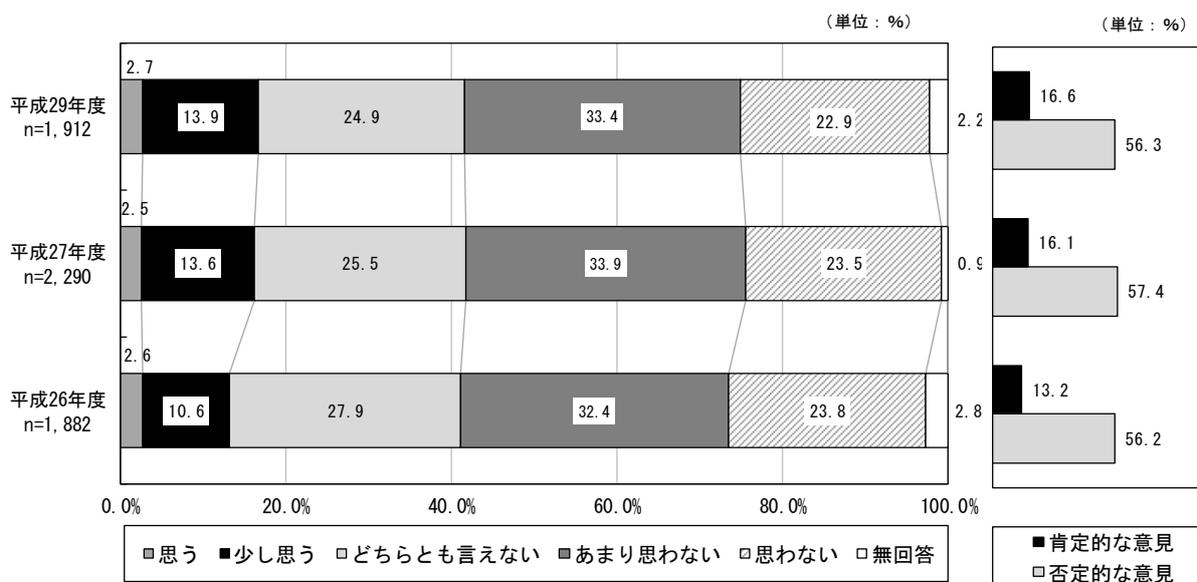
<全体>

「あまり思わない」が 33.4%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 24.9%、「思わない」が 22.9%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 16.6%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 56.3%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



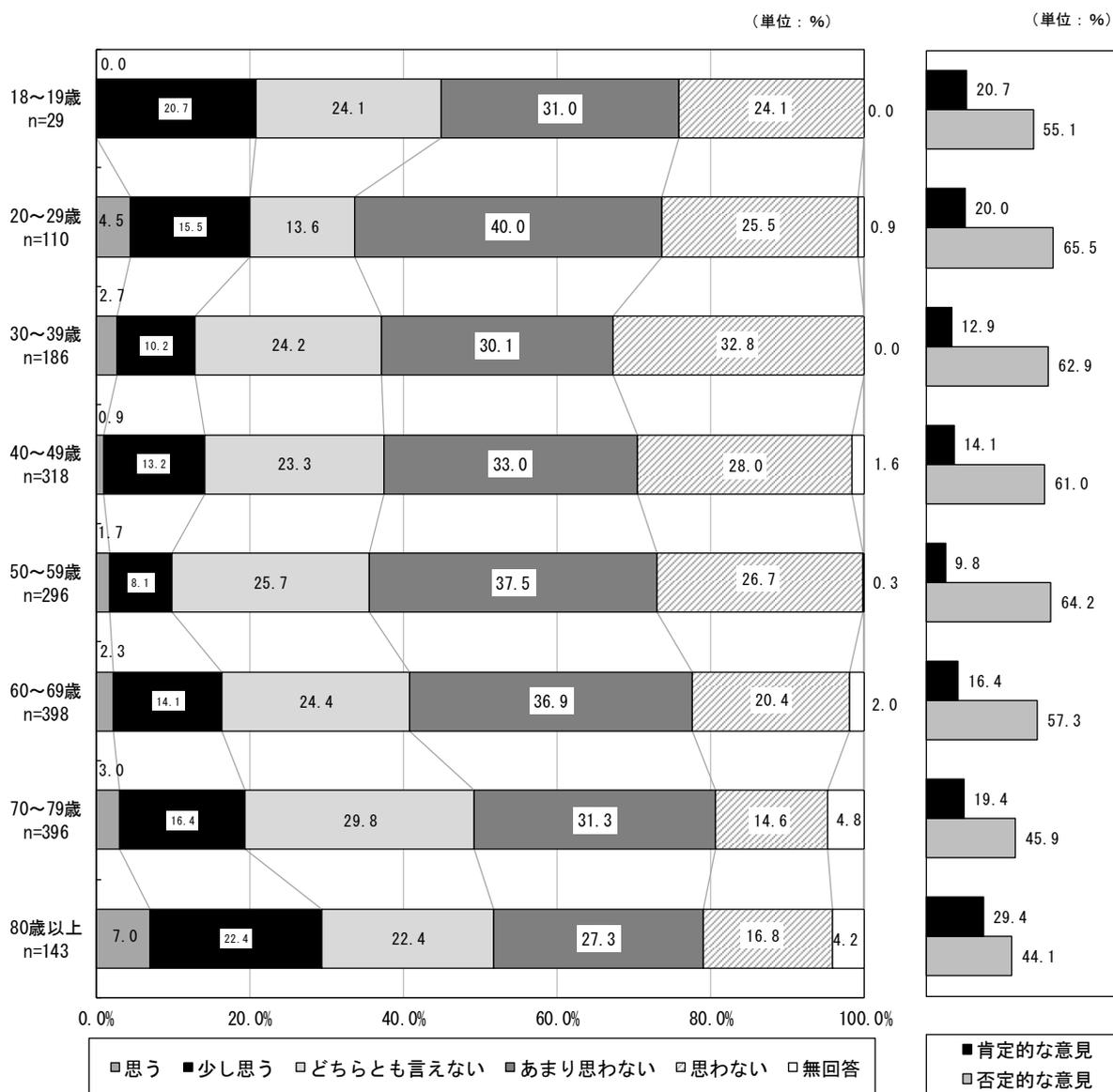
<年度別>



<年代別>

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで10歳代、20歳代の順となっている。

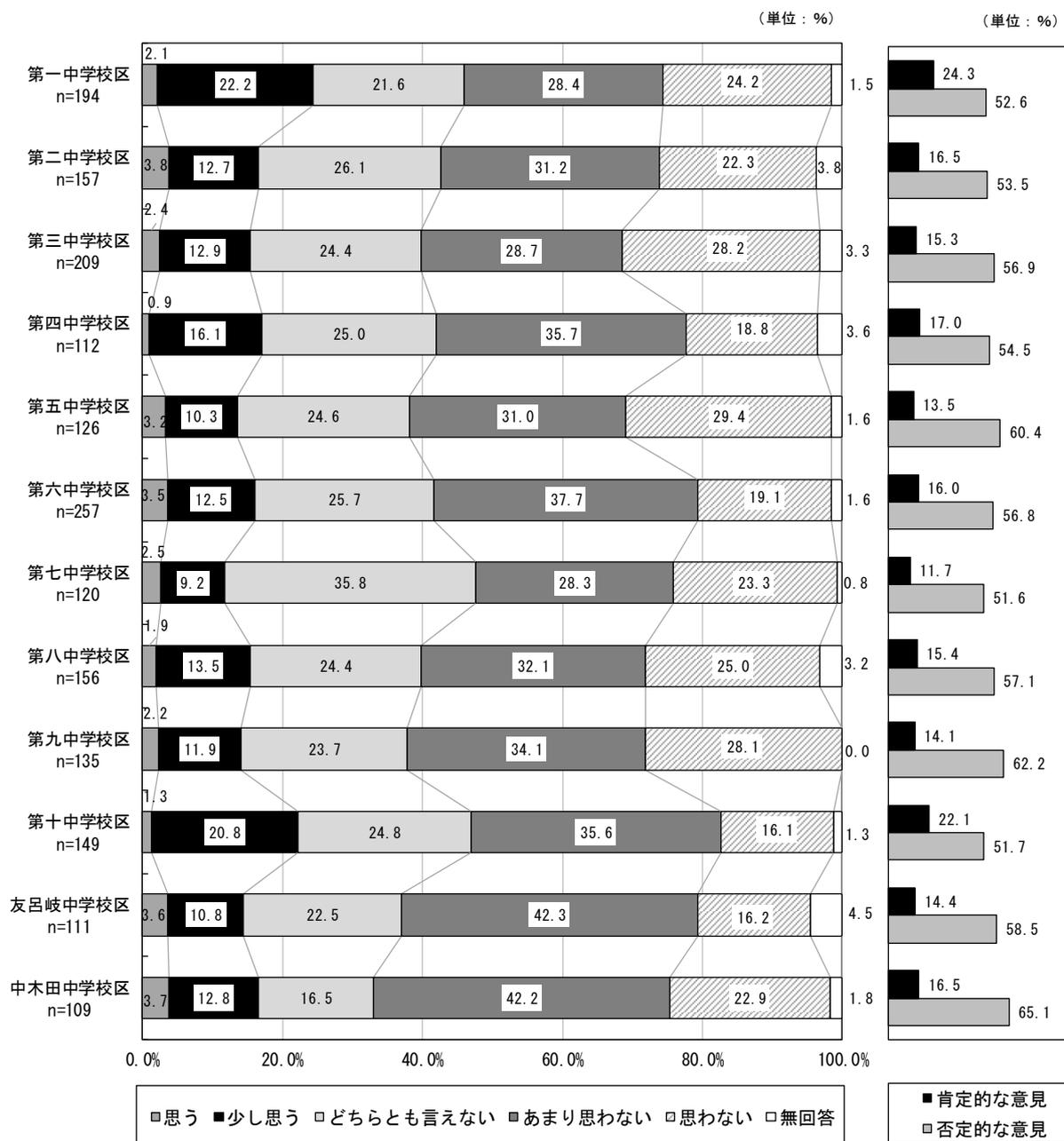
『否定的な意見』の割合は、20歳代、50歳代、30歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第一中学校区で、次いで第十、第四中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、中木田、第九、第五中学校区で高くなっている。

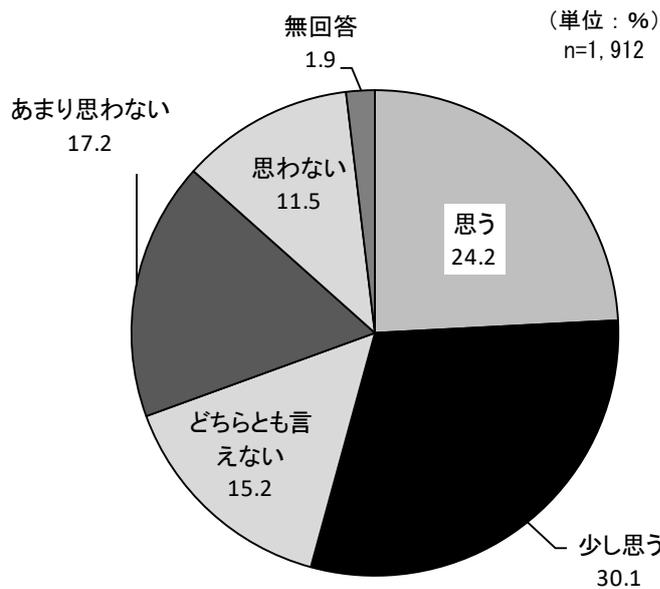


問 46 あなたの身近に公園・緑地がありますか。

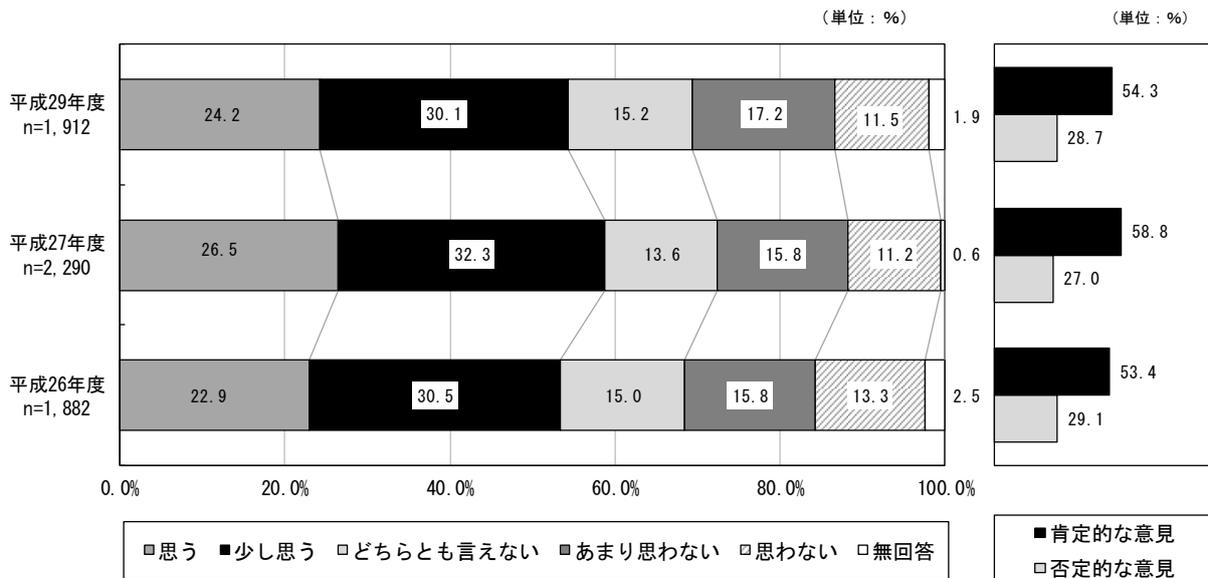
<全体>

「少し思う」が30.1%と最も高く、次いで「思う」が24.2%、「あまり思わない」が17.2%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は54.3%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は28.7%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



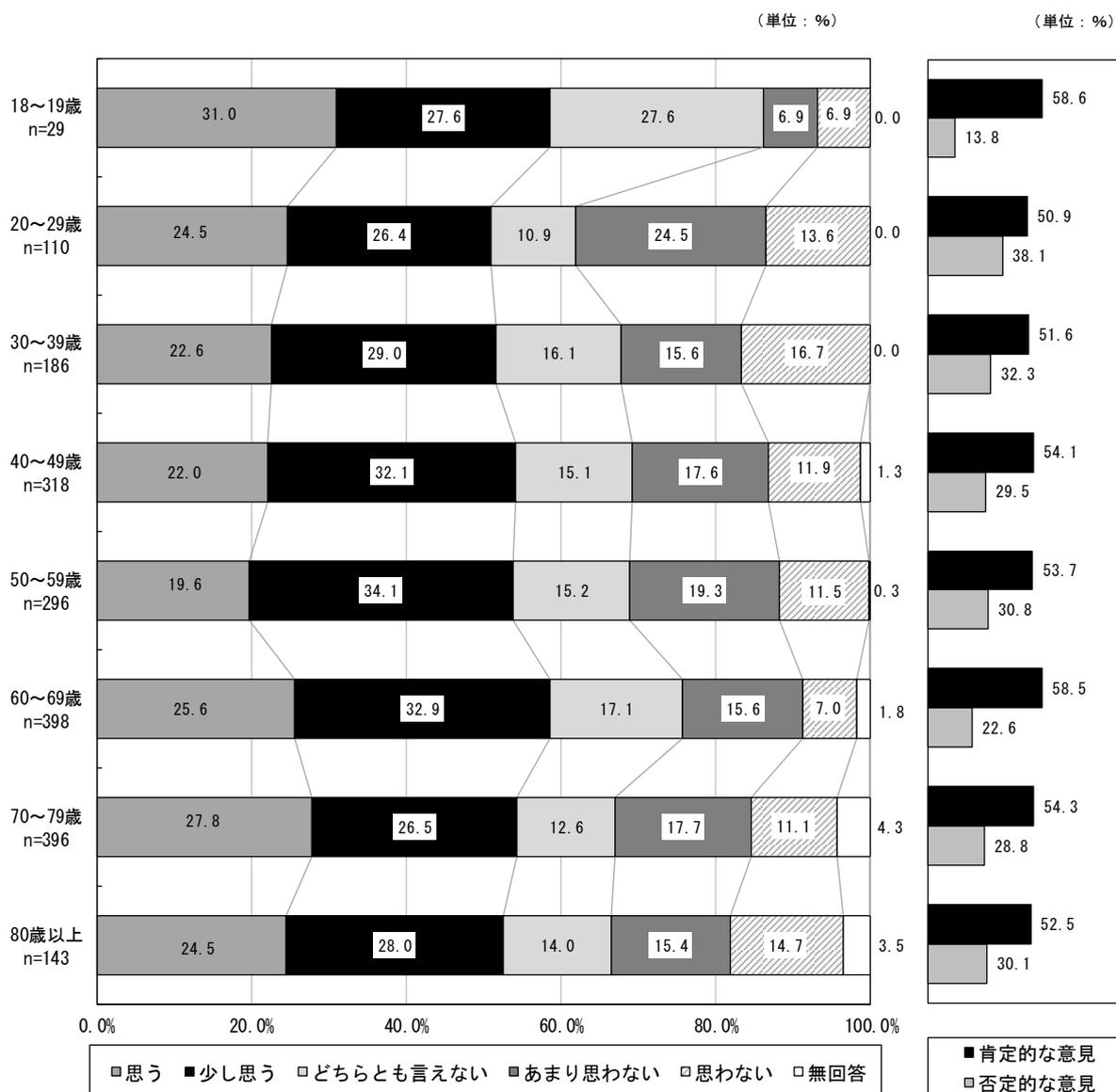
<年度別>



<年代別>

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは10歳代で、次いで60歳代、70歳代の順となっている。

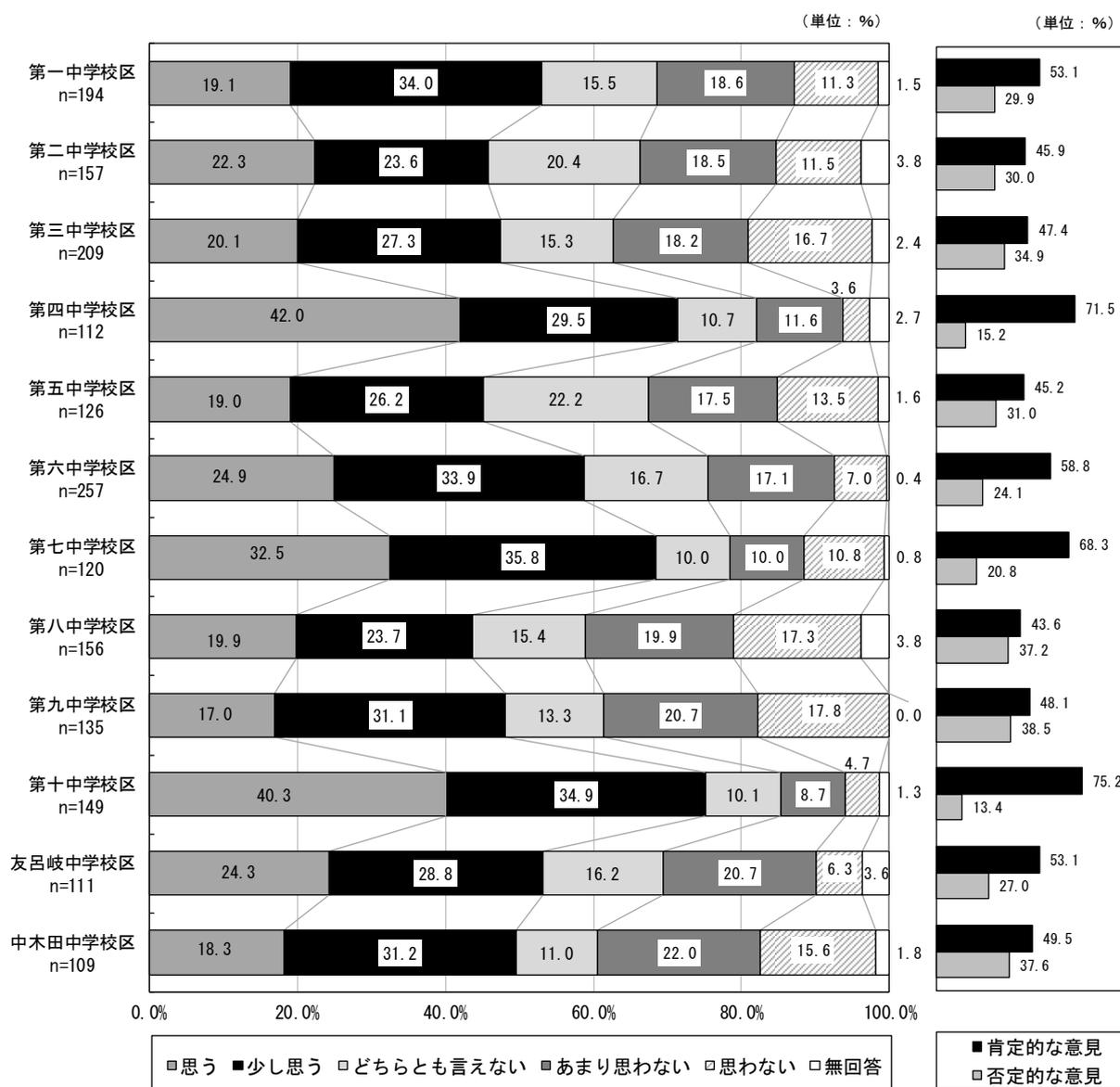
『否定的な意見』の割合は、20歳代、30歳代、50歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第十中学校区で、次いで第四、第七中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第九、中木田、第八中学校区で高くなっている。

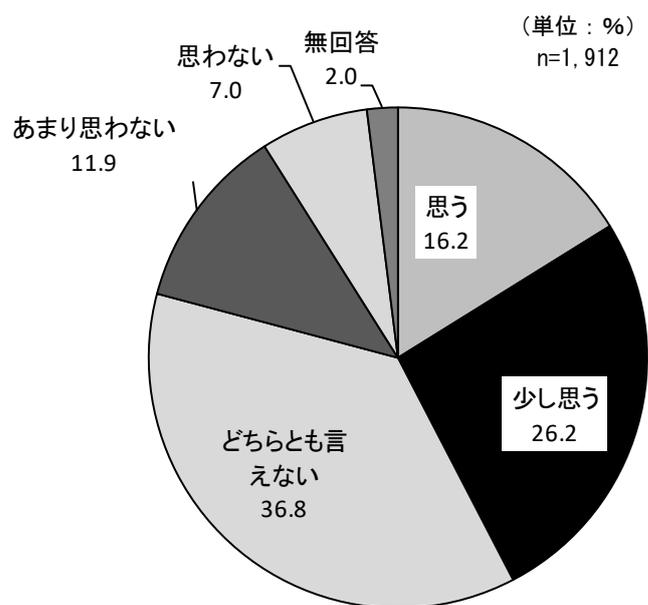


問 47 寝屋川市の水道水は、安全でおいしいと思いますか。

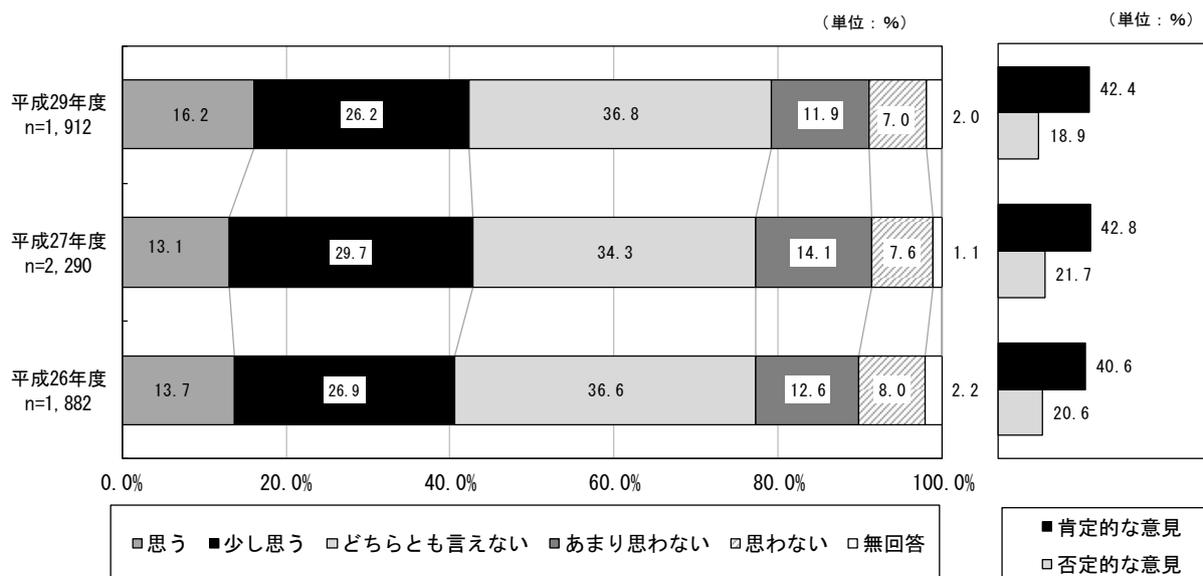
<全体>

「どちらとも言えない」が36.8%と最も高く、次いで「少し思う」が26.2%、「思う」が16.2%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は42.4%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は18.9%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



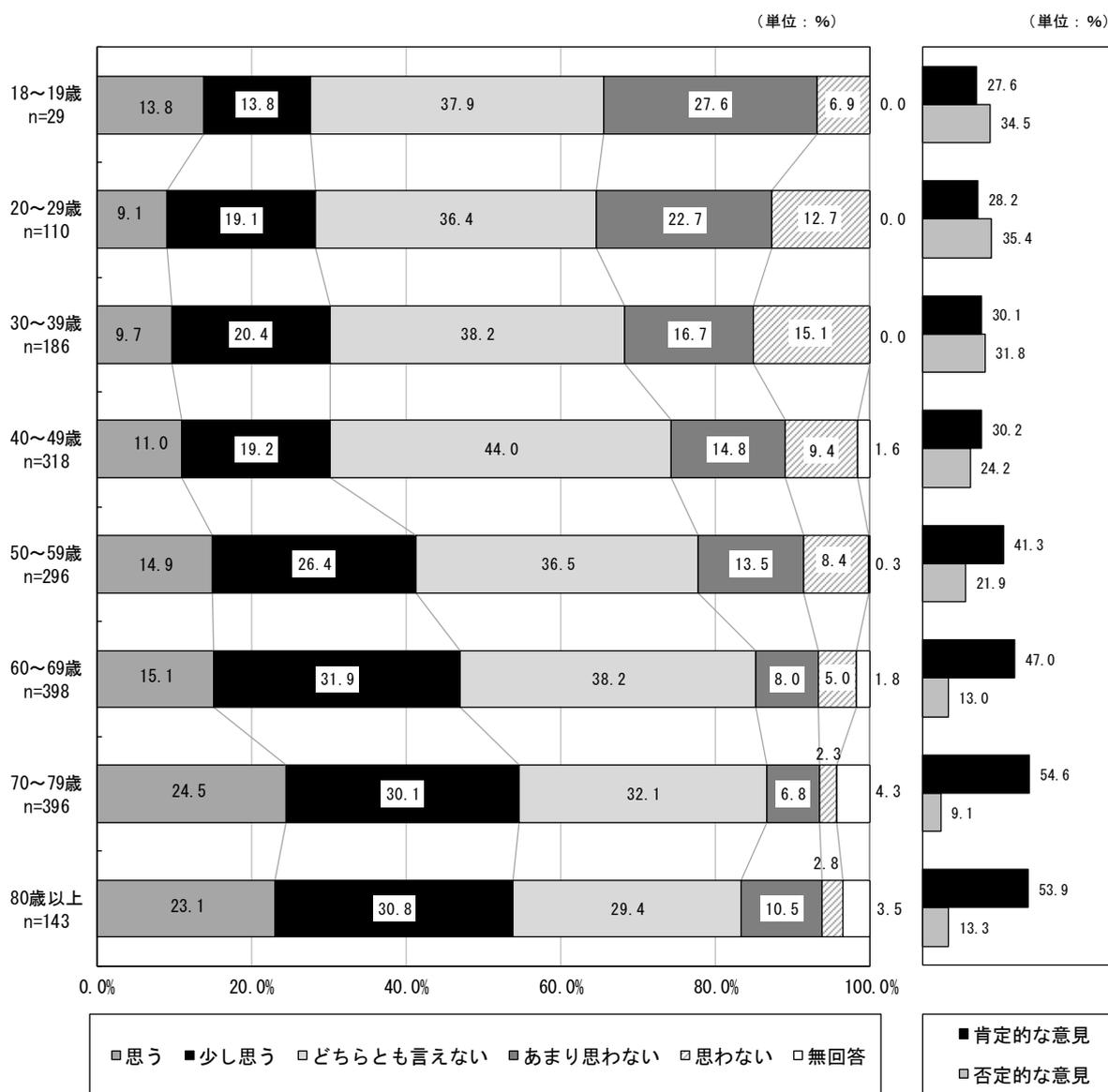
<年度別>



<年代別>

40歳以上の年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは70歳代で、次いで80歳以上、60歳代の順となっている。

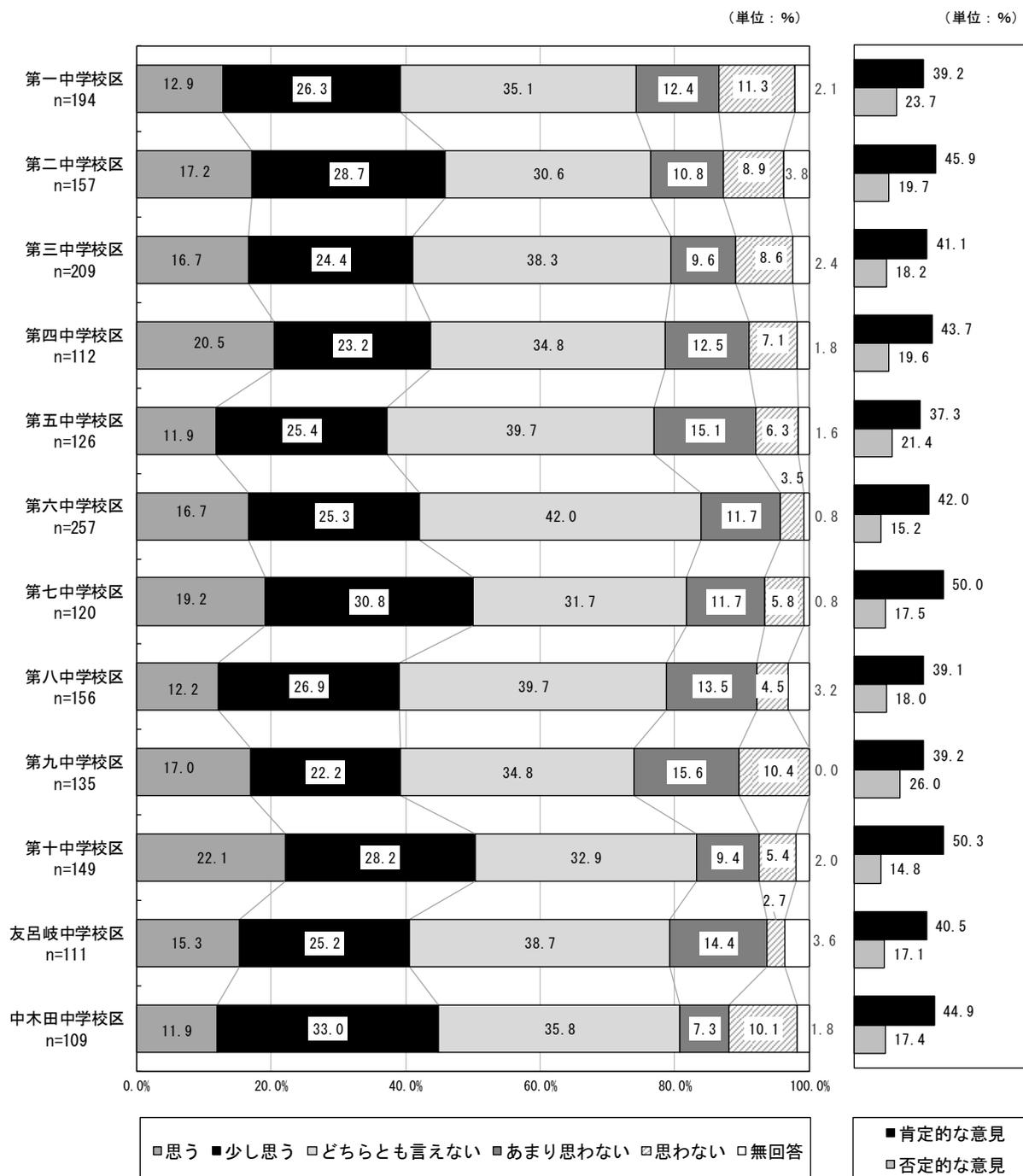
『否定的な意見』の割合は、20歳代、10歳代、30歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第十中学校区で、次いで第七、第二中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第九、第一、第五中学校区で高くなっている。

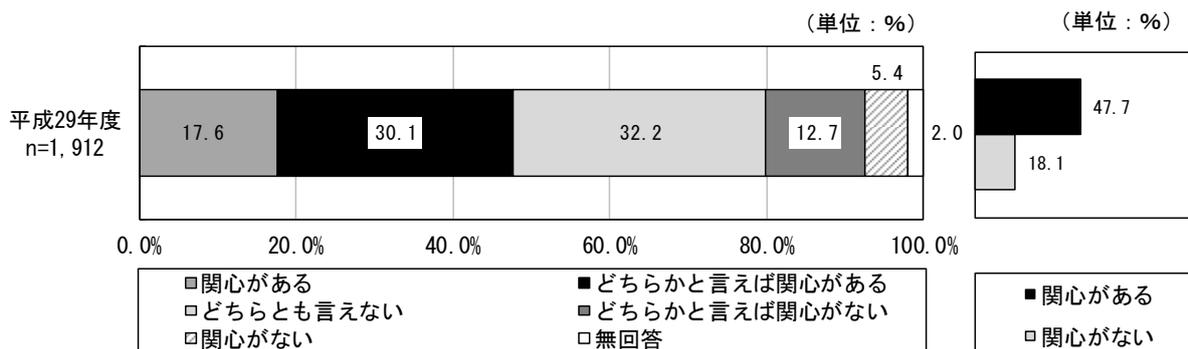
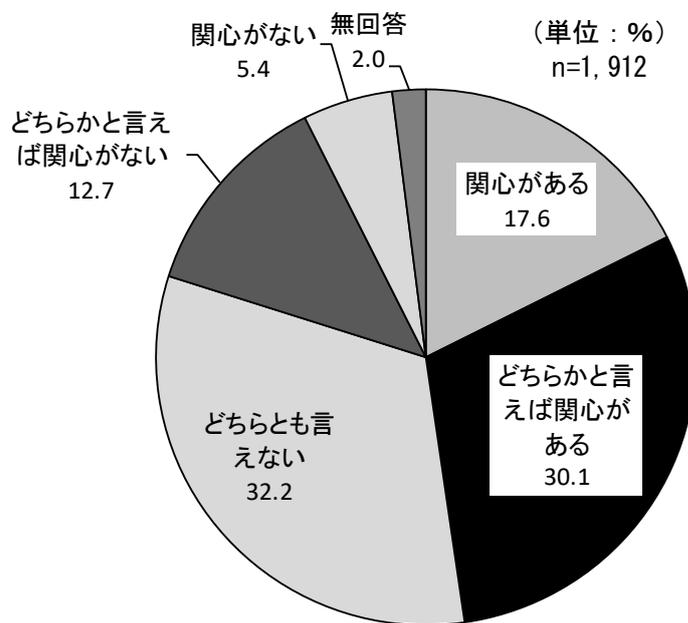


問 48 水道及び下水道が取り組んでいるイベントや浸水対策等の事業に関心がありますか。

<全体>

「どちらとも言えない」が32.2%と最も高く、次いで「どちらかと言えば関心がある」が30.1%、「関心がある」が17.6%の順となっている。

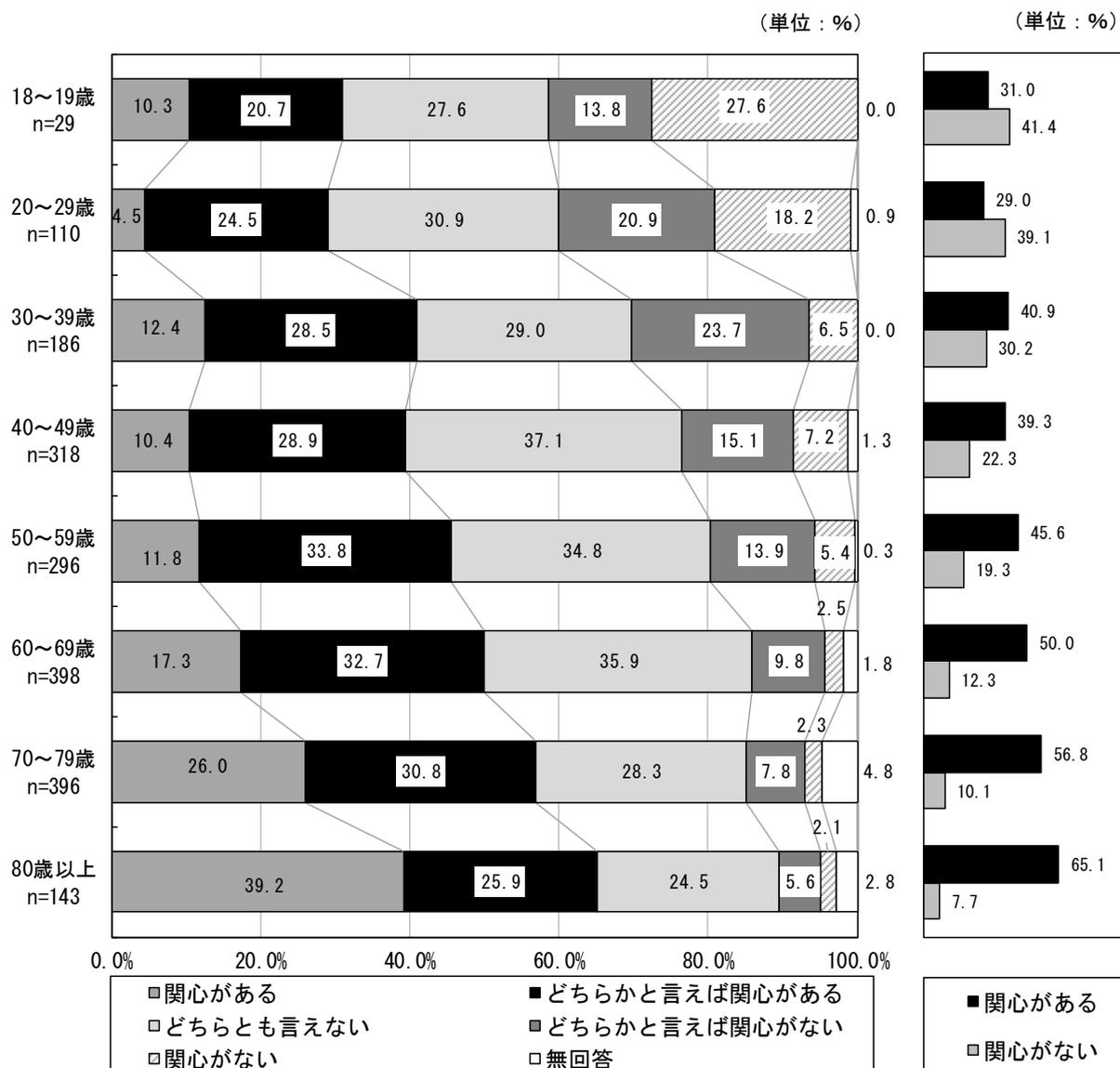
「関心がある」と「どちらかと言えば関心がある」を合わせた『関心がある』は47.7%、「どちらかといえは関心がない」と「関心がない」を合わせた『関心がない』は18.1%となっており、『関心がある』が『関心がない』を上回っている。



<年代別>

30歳以上の年代において『関心がある』が『関心がない』を上回っており、『関心がある』の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで70歳代、60歳代の順となっている。

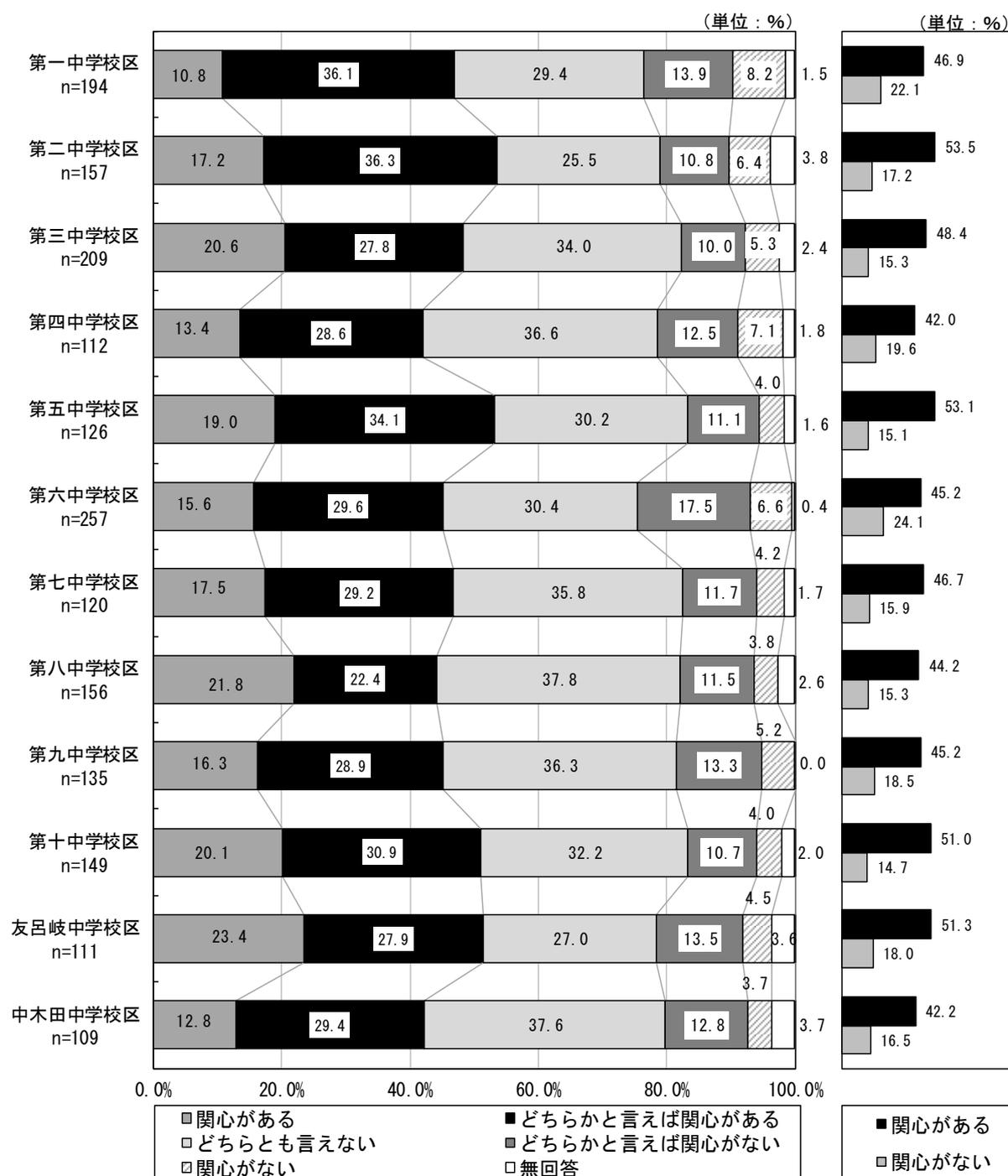
『関心がない』の割合は、10歳代、20歳代、30歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において『関心がある』が『関心がない』を上回っており、『関心がある』の割合が最も高いのは第二中学校区で、次いで第五、友呂岐中学校区の順となっている。

『関心がない』の割合は、第六、第一、第四中学校区で高くなっている。

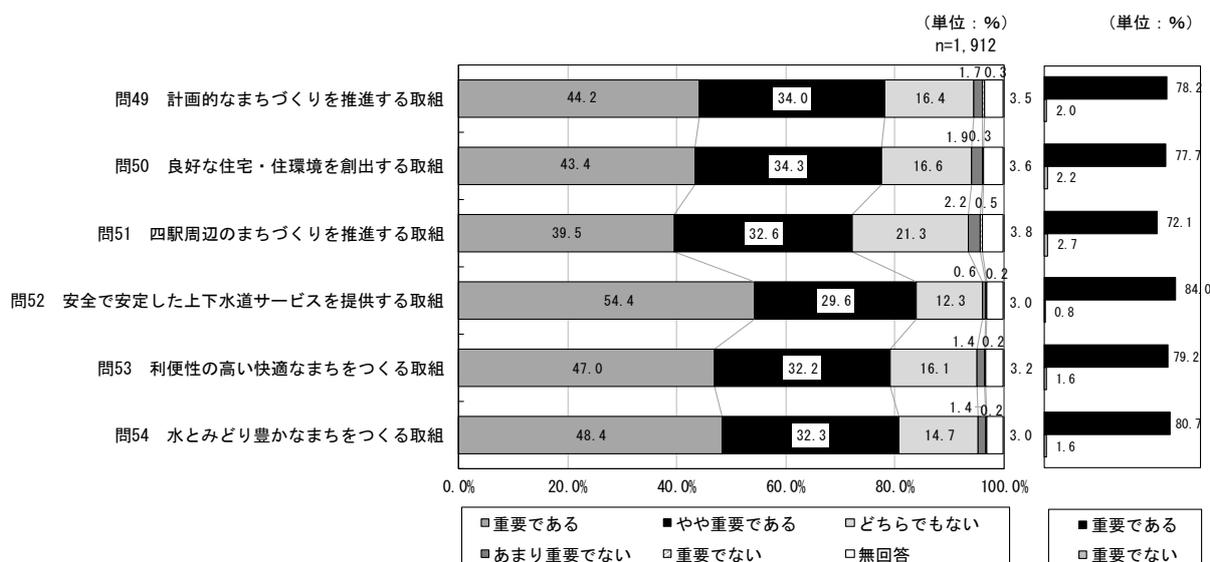


②「都市整備・都市環境」の施策についての重要度と満足度

問 49～問 54 現在、寝屋川市が取り組んでいる「都市整備・都市環境」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きます。

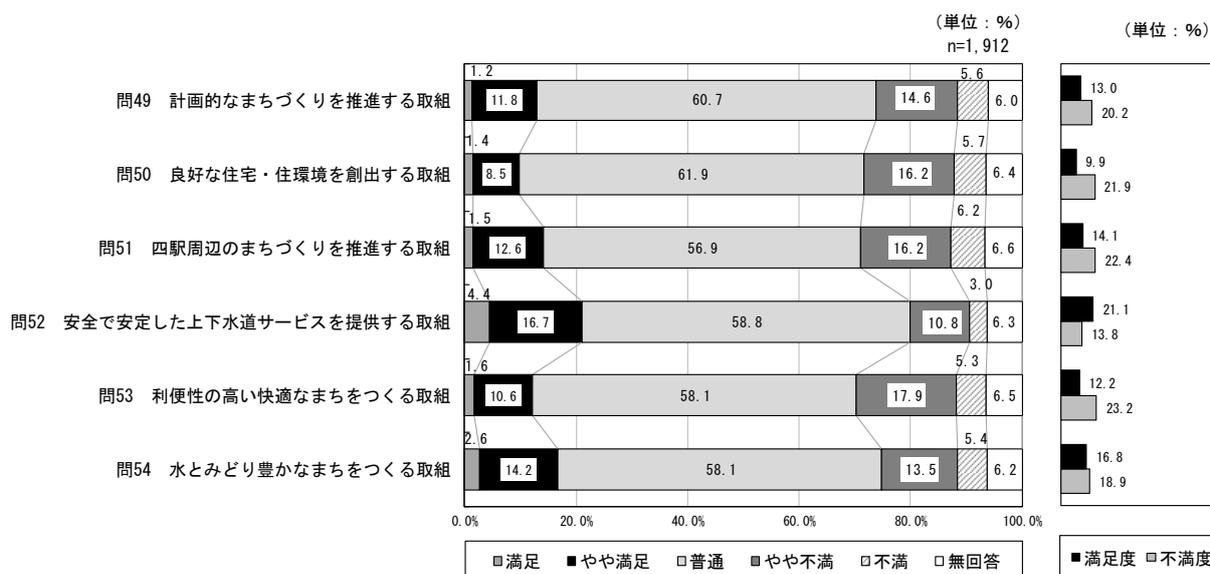
<重要度>

『都市整備・都市環境』の施策において、重要度が最も高いのは「安全で安定した上下水道サービスを提供する取組」で、「水とみどり豊かなまちをつくる取組」が続いている。



<満足度>

『都市整備・都市環境』の施策において、満足度が最も高いのは「安全で安定した上下水道サービスを提供する取組」で、不満度が最も高いのは「利便性の高い快適なまちをつくる取組」である。



5 『環境を守り育てるまちづくり』について

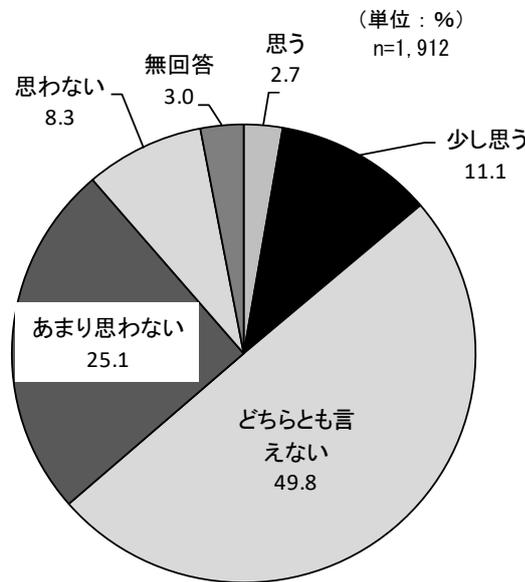
①「環境」について

問 55 寝屋川市は、地球温暖化防止に向けた取組の啓発活動など、温暖化対策が適切に行われていると思いますか。

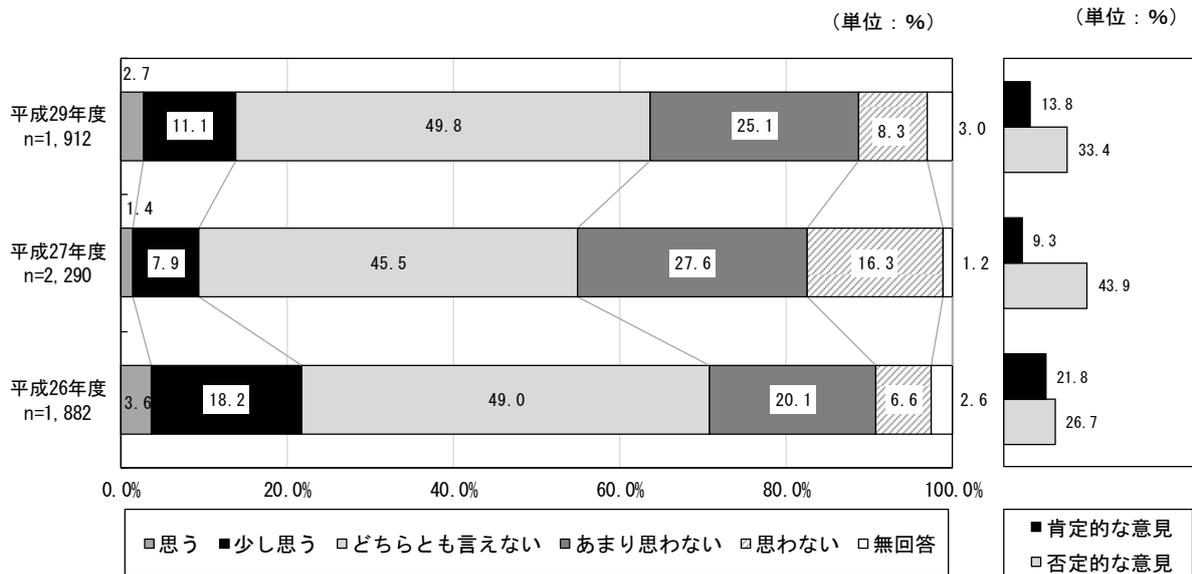
<全体>

「どちらとも言えない」が49.8%と最も高く、次いで「あまり思わない」が25.1%、「少し思う」が11.1%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は13.8%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は33.4%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



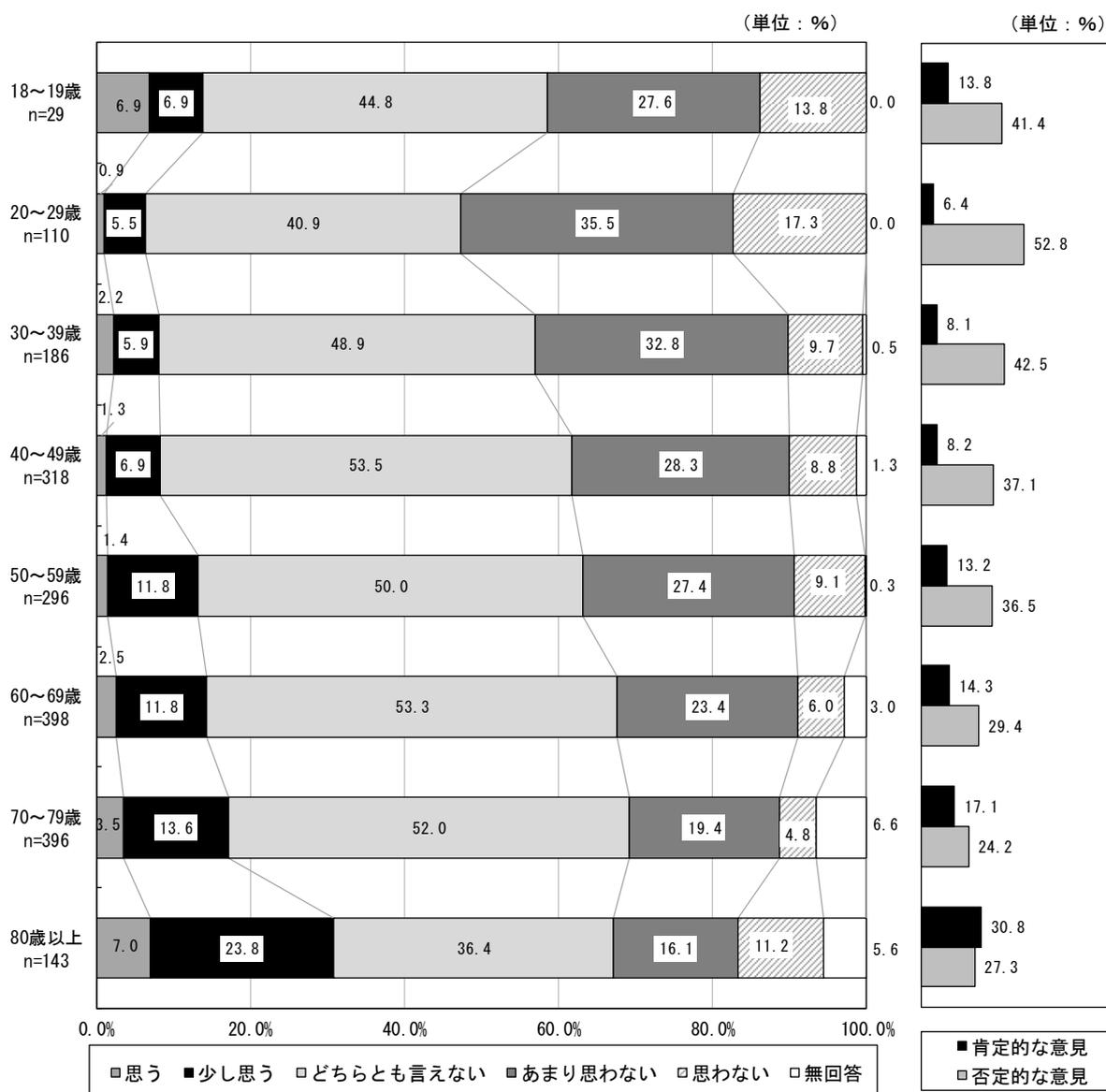
<年度別>



<年代別>

80歳以上を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで70歳代、60歳代の順となっている。

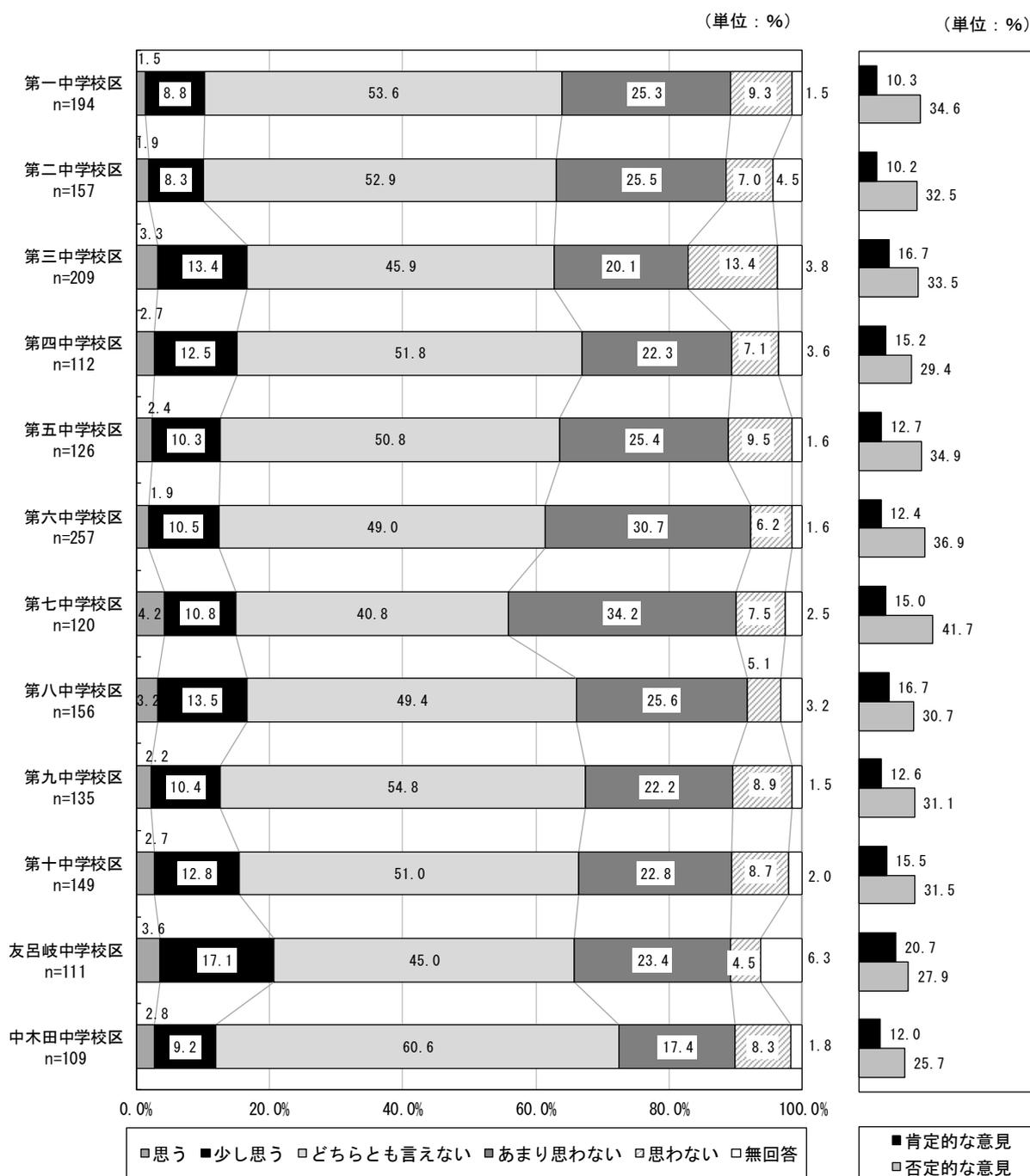
『否定的な意見』の割合は、20歳代、30歳代、10歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは友呂岐中学校区で、次いで第三、第八中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第七、第六、第五中学校区で高くなっている。

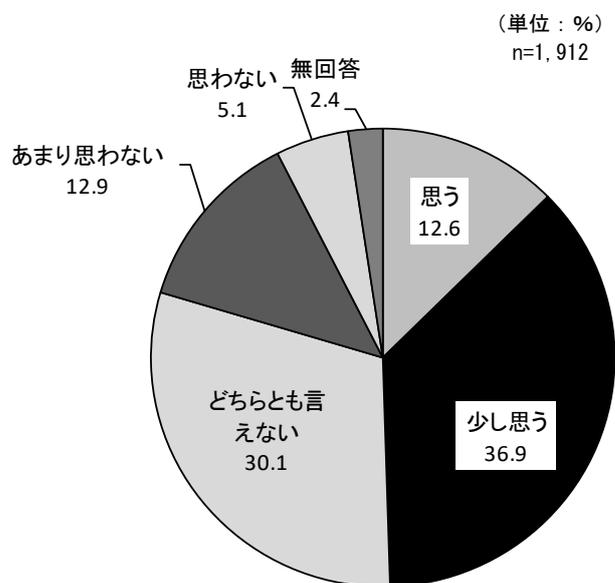


問 56 寝屋川市は、ごみの減量と資源リサイクルの取組が進んでいると思いますか。

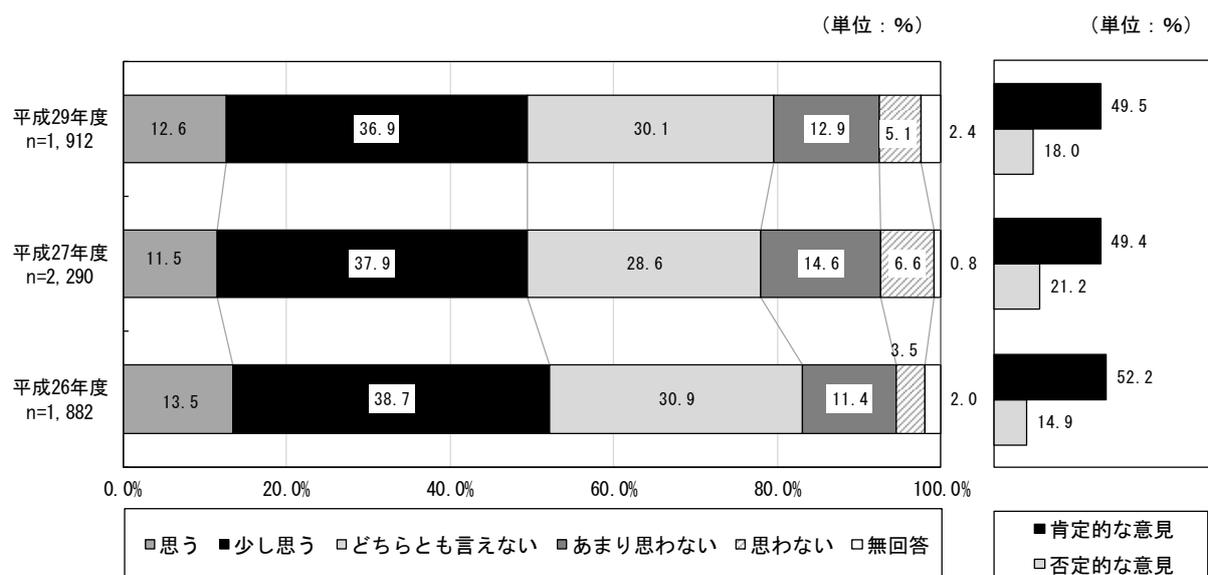
<全体>

「少し思う」が36.9%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が30.1%、「あまり思わない」が12.9%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は49.5%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は18.0%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



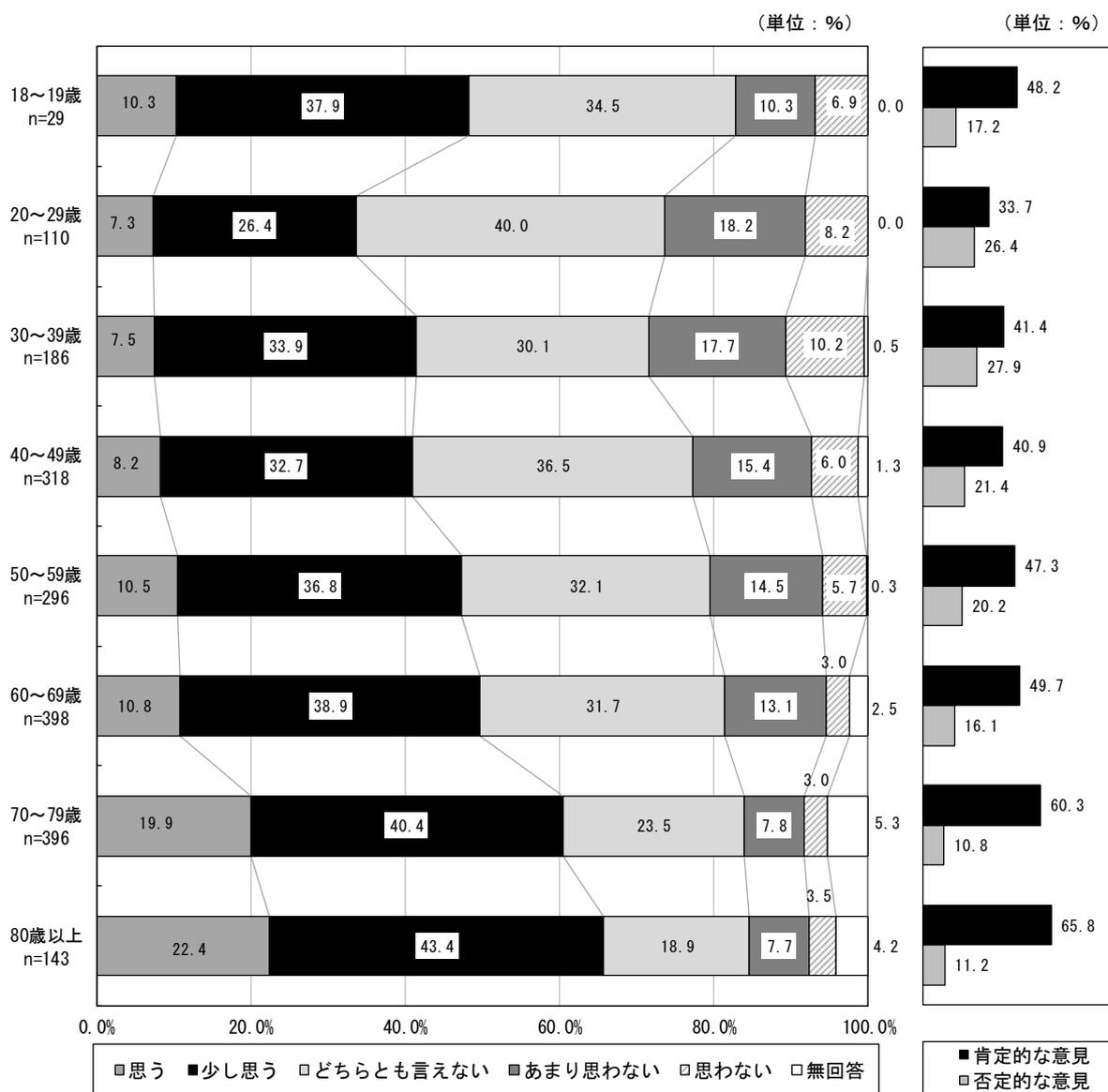
<年度別>



<年代別>

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで70歳代、60歳代の順となっている。

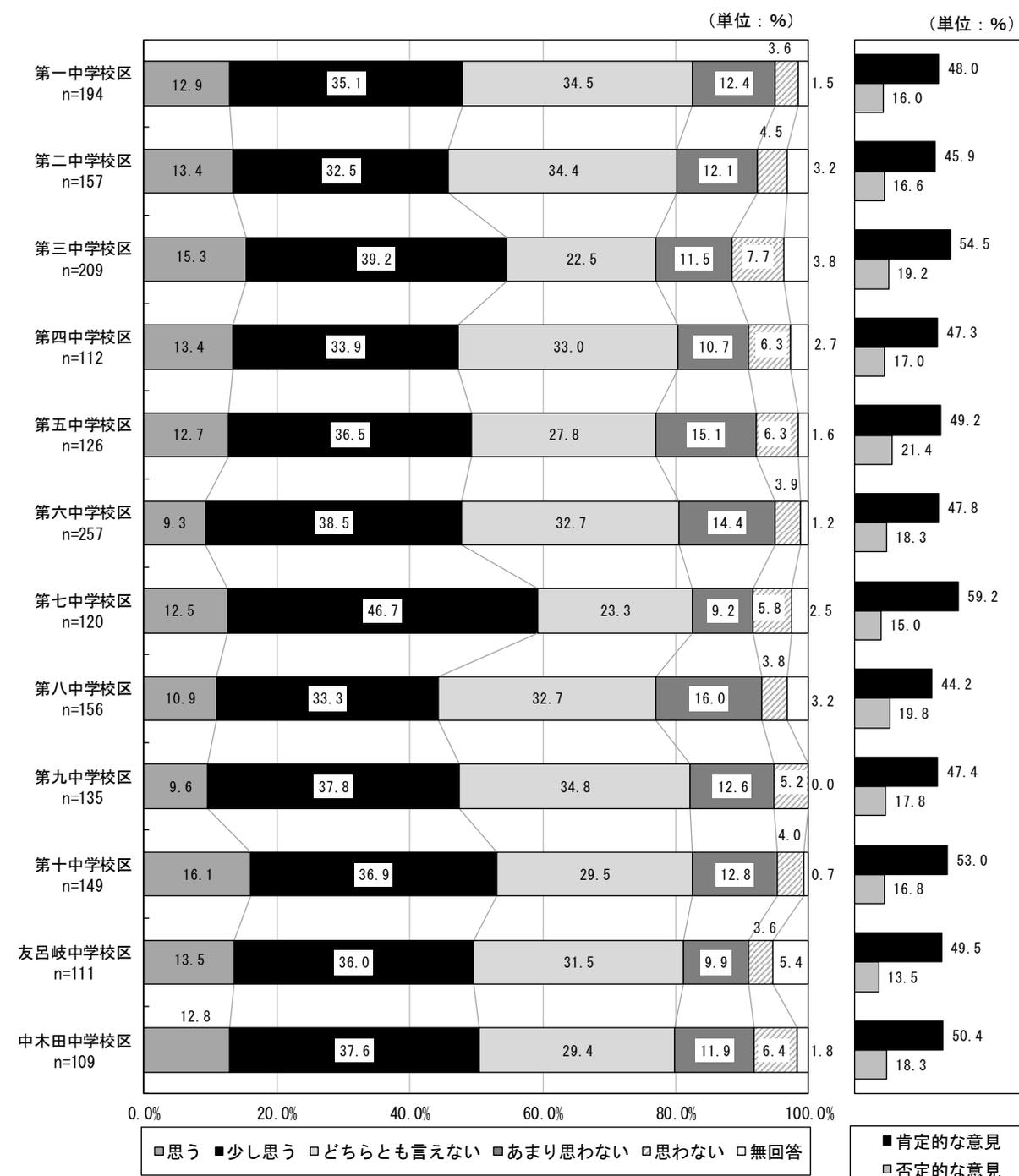
『否定的な意見』の割合は、30歳代、20歳代、40歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第七中学校区で、次いで第三、第十中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第五、第八、第三中学校区で高くなっている。

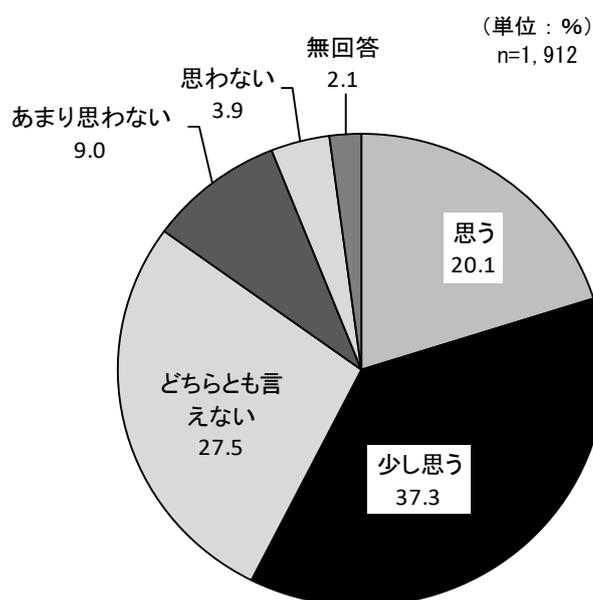


問 57 寝屋川市は、ごみ収集及び処理が効率的かつ適正に行われていると思いますか。

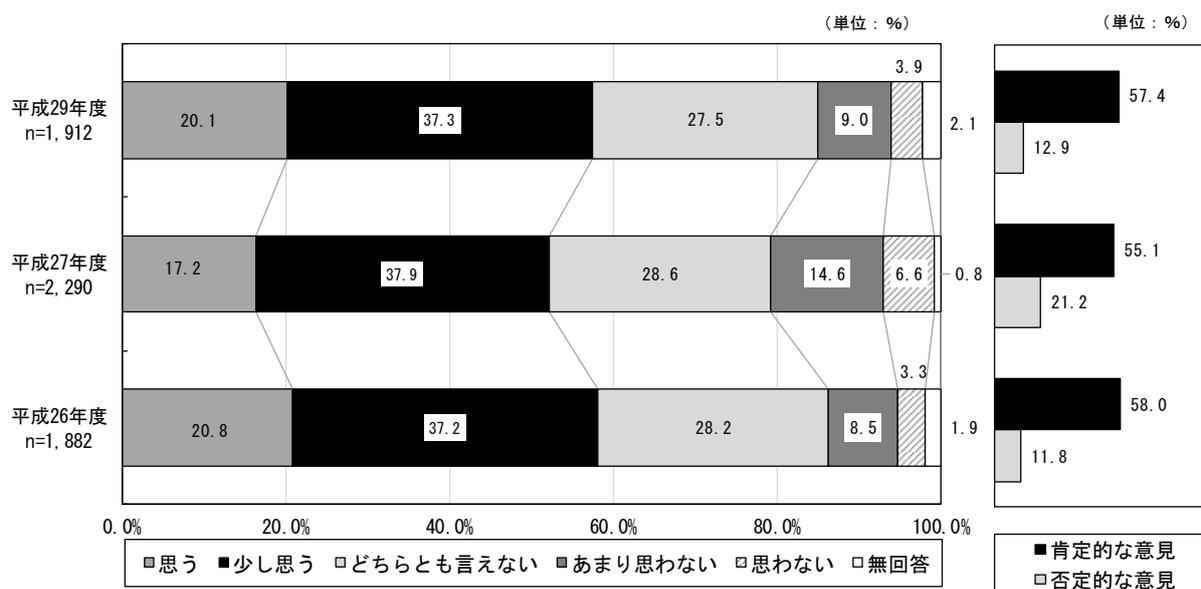
<全体>

「少し思う」が 37.3%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 27.5%、「思う」が 20.1%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 57.4%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 12.9%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



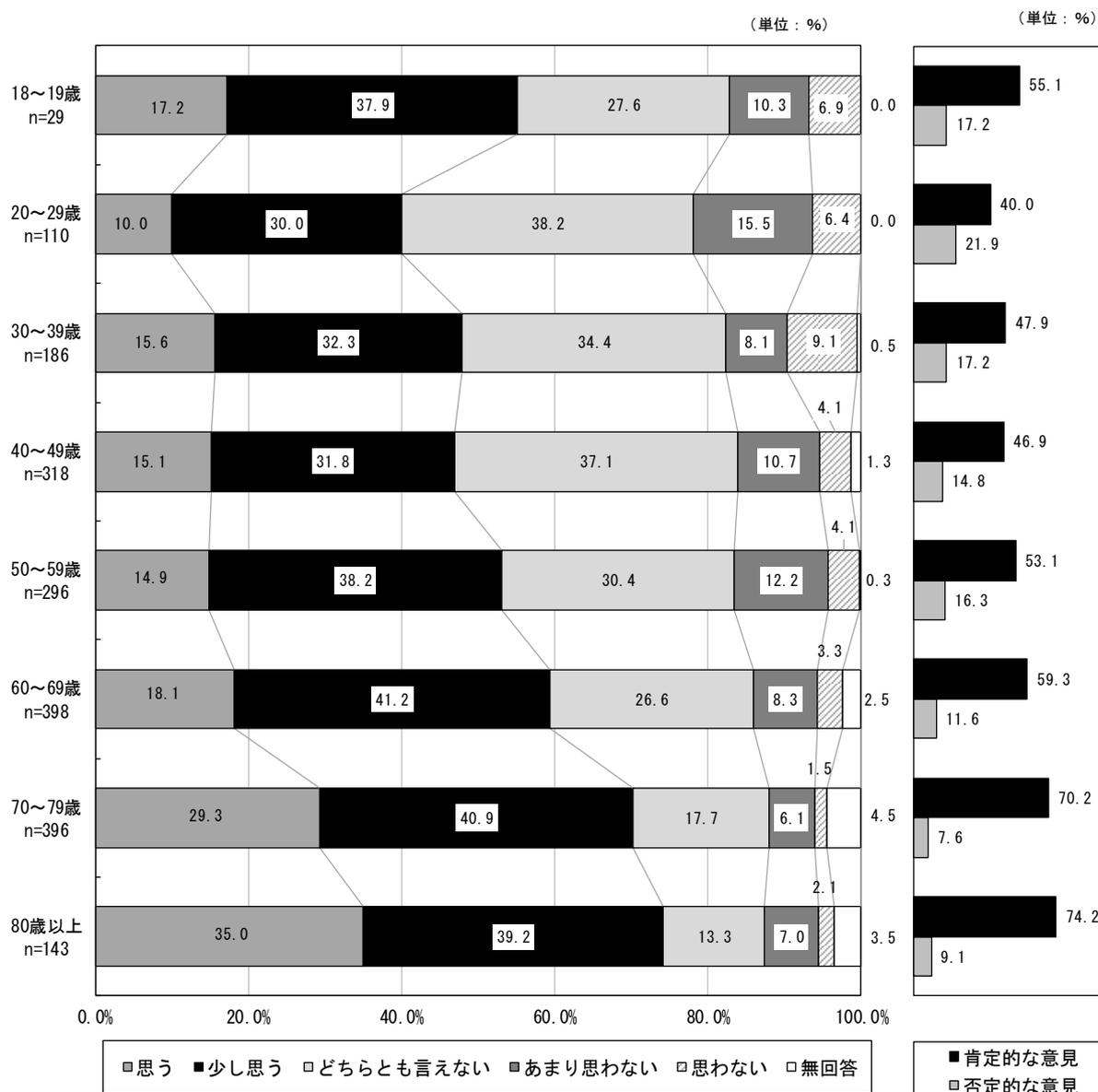
<年度別>



<年代別>

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで70歳代、60歳代の順となっている。

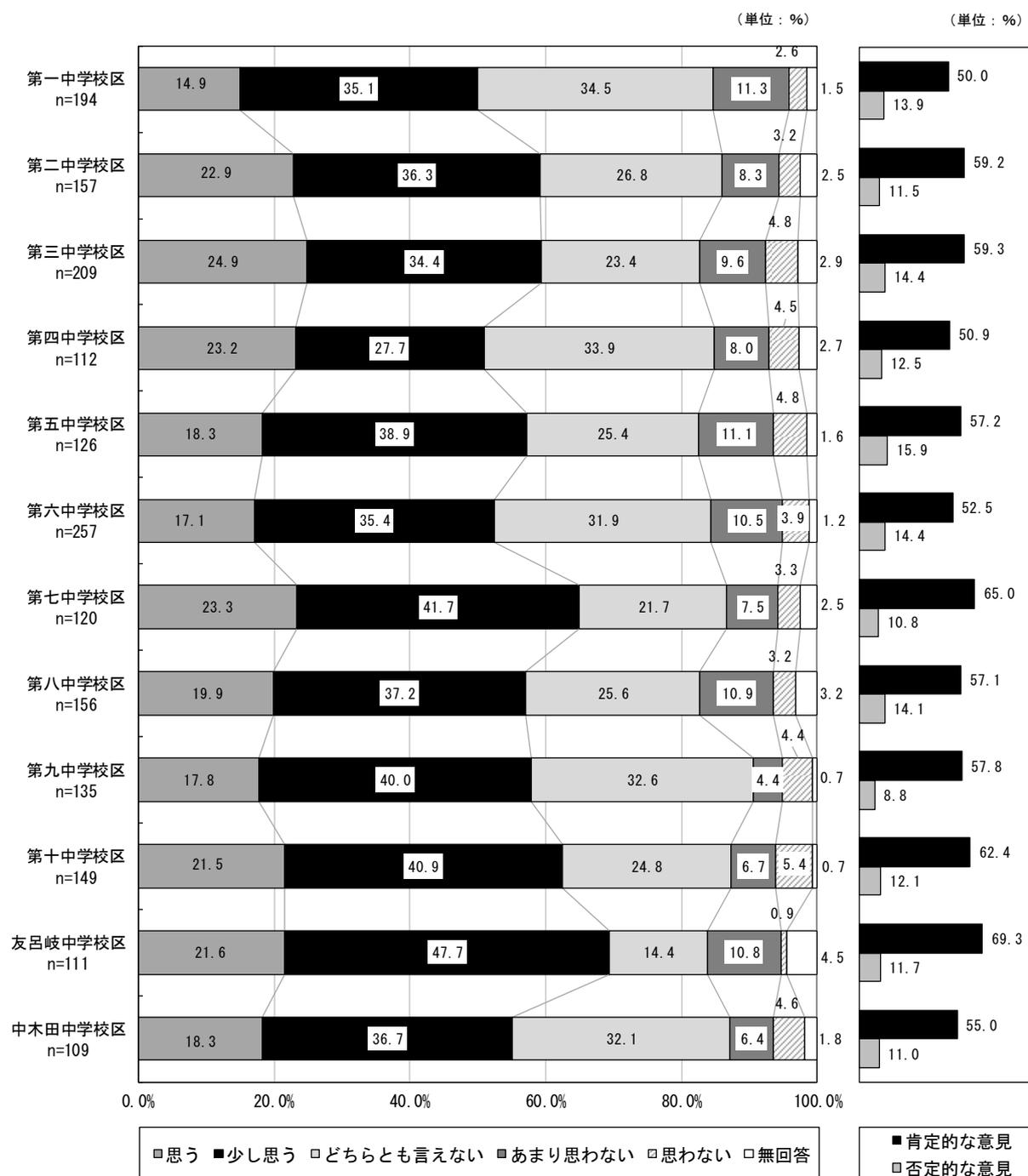
『否定的な意見』の割合は、20歳代、10歳代、30歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは友呂岐中学校区で、次いで第七、第十中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第五、第三、第六中学校区で高くなっている。

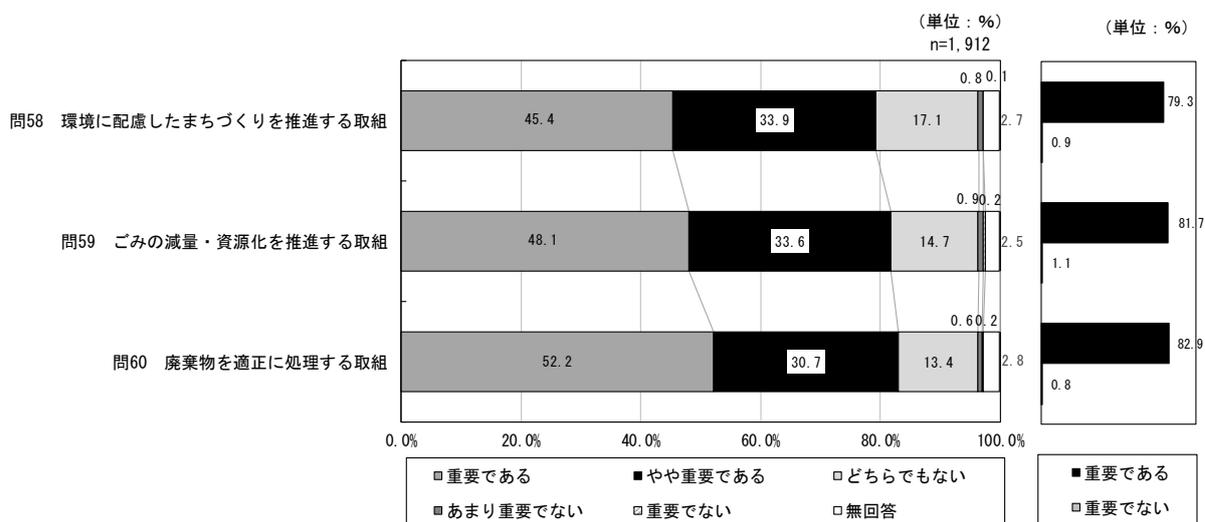


②「環境」の施策についての重要度と満足度

問 58～問 60 現在、寝屋川市が取り組んでいる「環境」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きます。

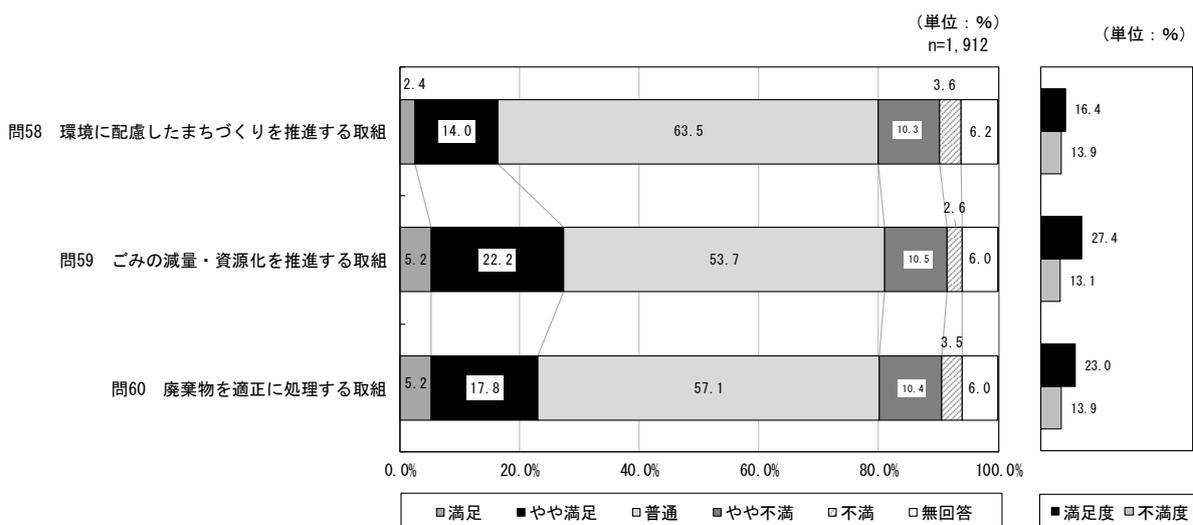
<重要度>

『環境』の施策において、重要度が最も高いのは「廃棄物を適正に処理する取組」で、「ごみの減量・資源化を推進する取組」が続いている。



<満足度>

『環境』の施策において、満足度が最も高いのは「ごみの減量・資源化を推進する取組」で、不満度が高いのは「環境に配慮したまちづくりを推進する取組」「廃棄物を適正に処理する取組」である。



6 『活力あふれるにぎわいのまちづくり』について

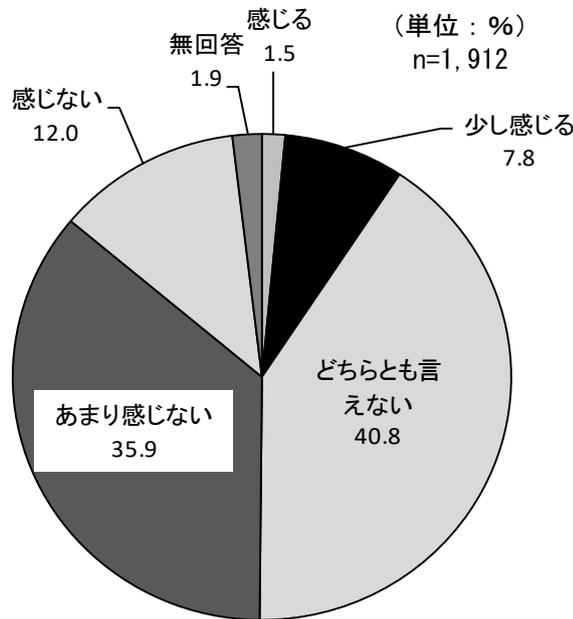
① 「産業」について

問 61 寝屋川市の商・工・農は、近隣市と比べて活気があると感じますか。

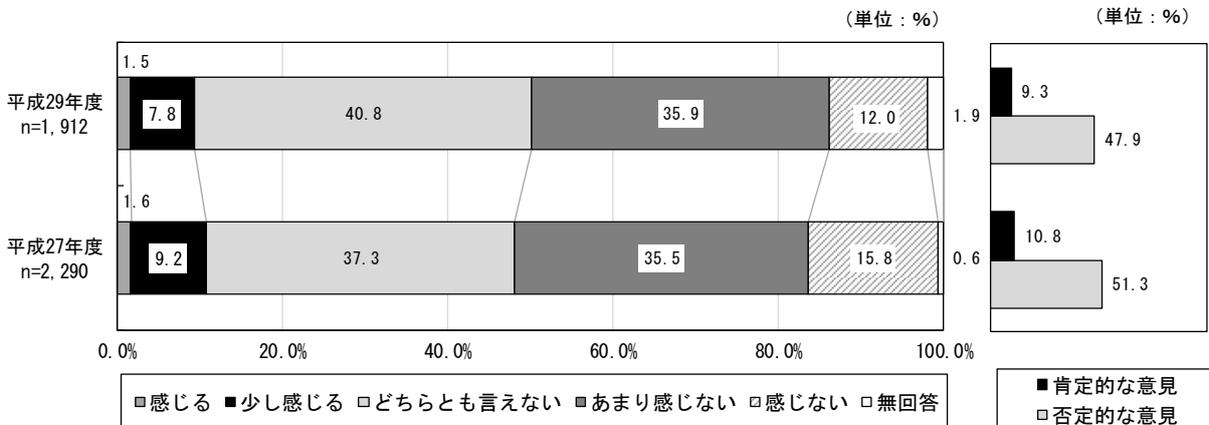
<全体>

「どちらとも言えない」が40.8%と最も高く、次いで「あまり感じない」が35.9%、「感じない」が12.0%の順となっている。

「感じる」と「少し感じる」を合わせた『肯定的な意見』は9.3%、「あまり感じない」と「感じない」を合わせた『否定的な意見』は47.9%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



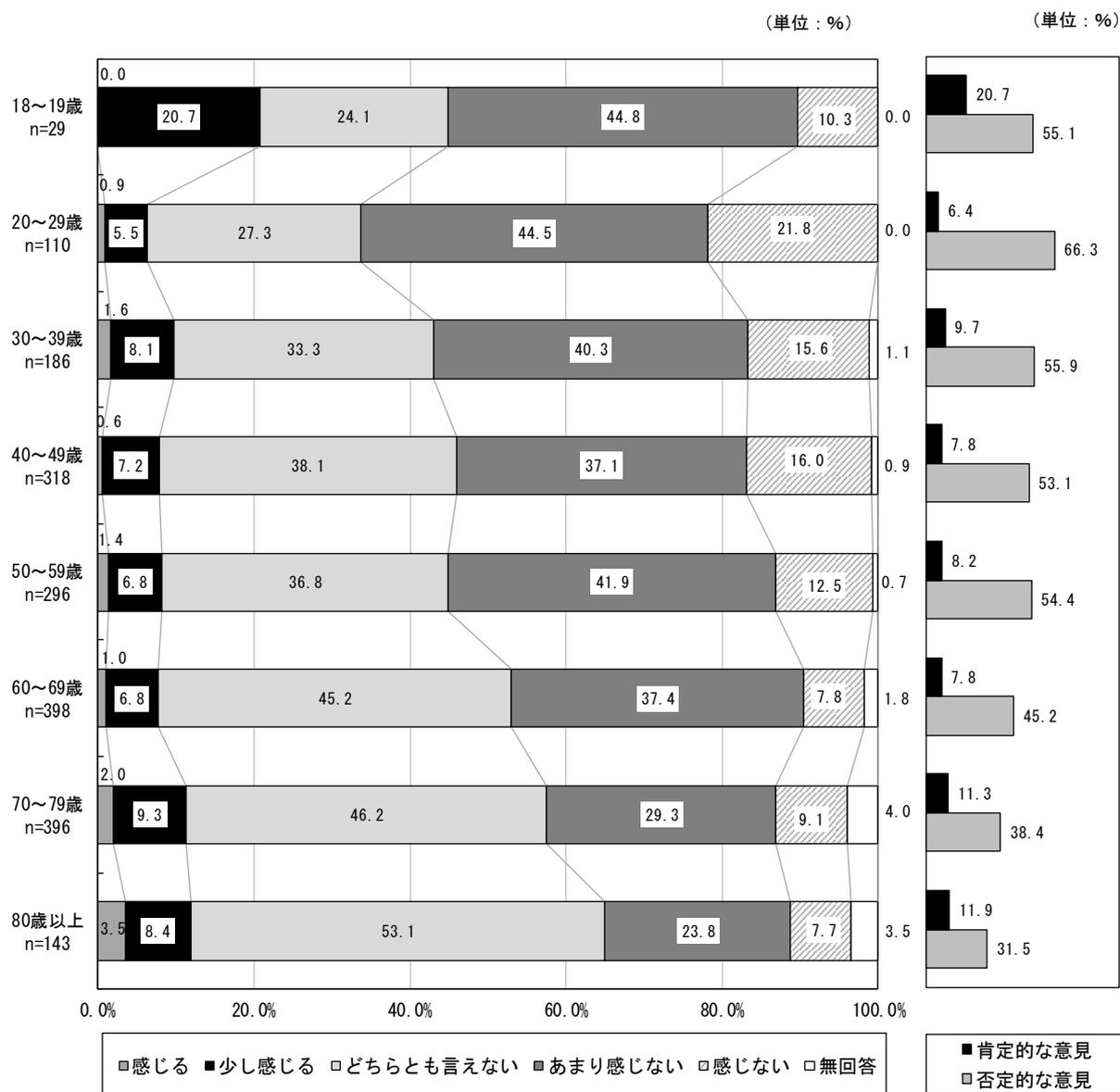
<年度別>



<年代別>

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは10歳代で、次いで80歳以上、70歳代の順となっている。

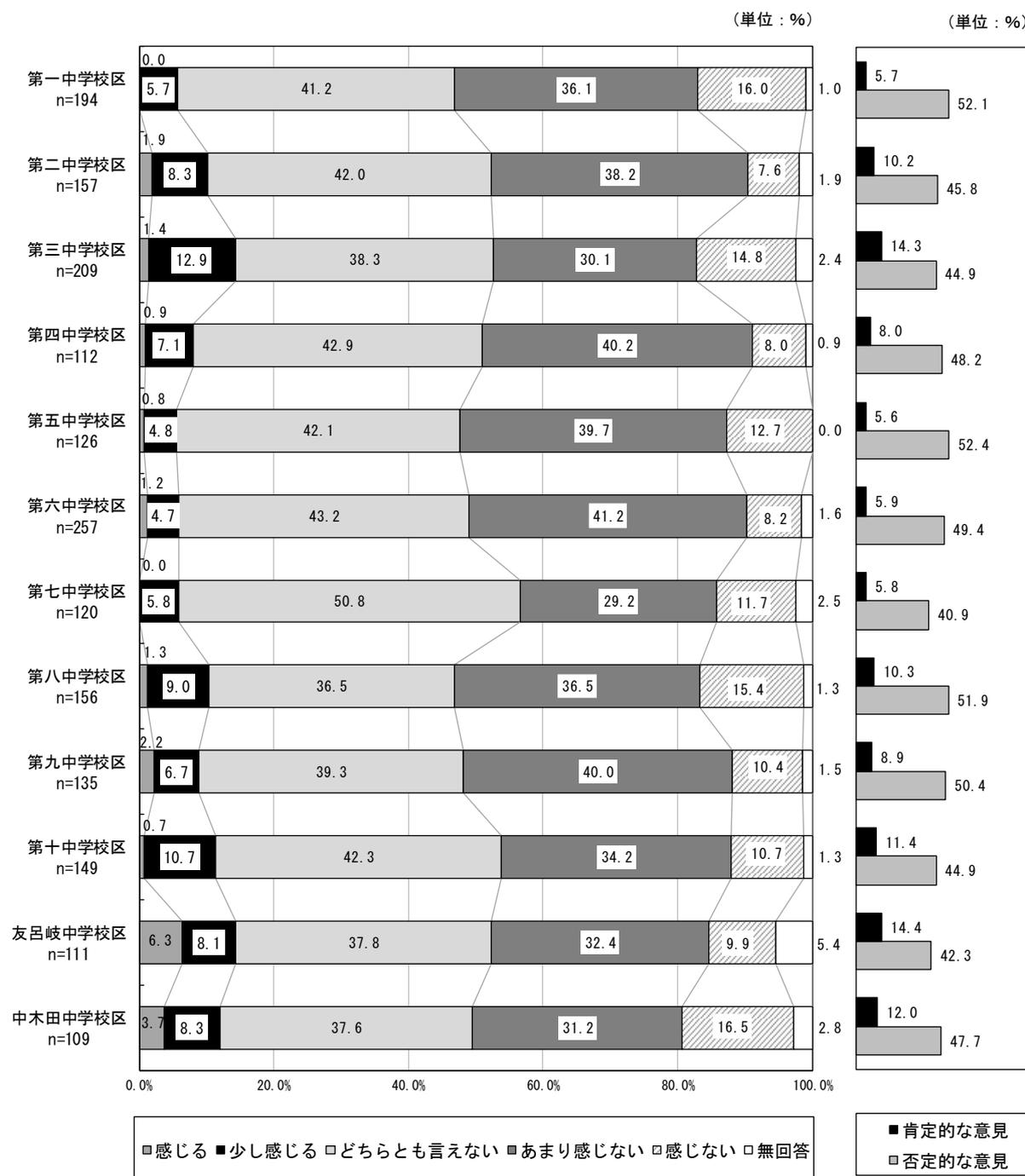
『否定的な意見』の割合は、20歳代、30歳代、10歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは友呂岐中学校区で、次いで第三、中木田中学校区の順となっている。

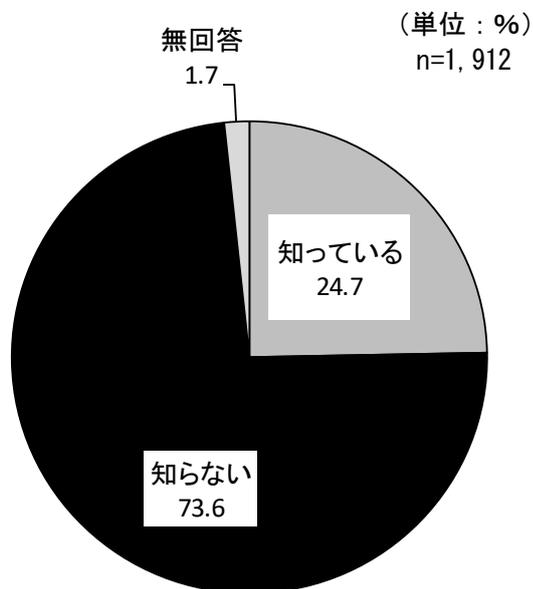
『否定的な意見』の割合は、第五、第一、第八中学校区で高くなっている。



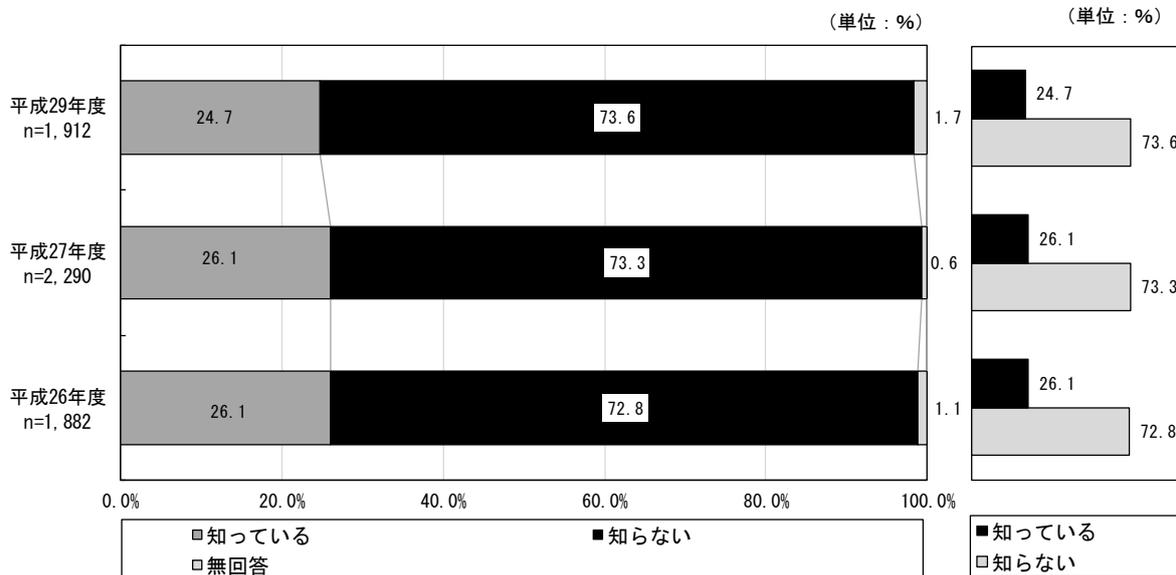
問 62 産業振興センター(にぎわい創造館)を知っていますか。

<全体>

「知らない」が73.6%、「知っている」が24.7%となっている。



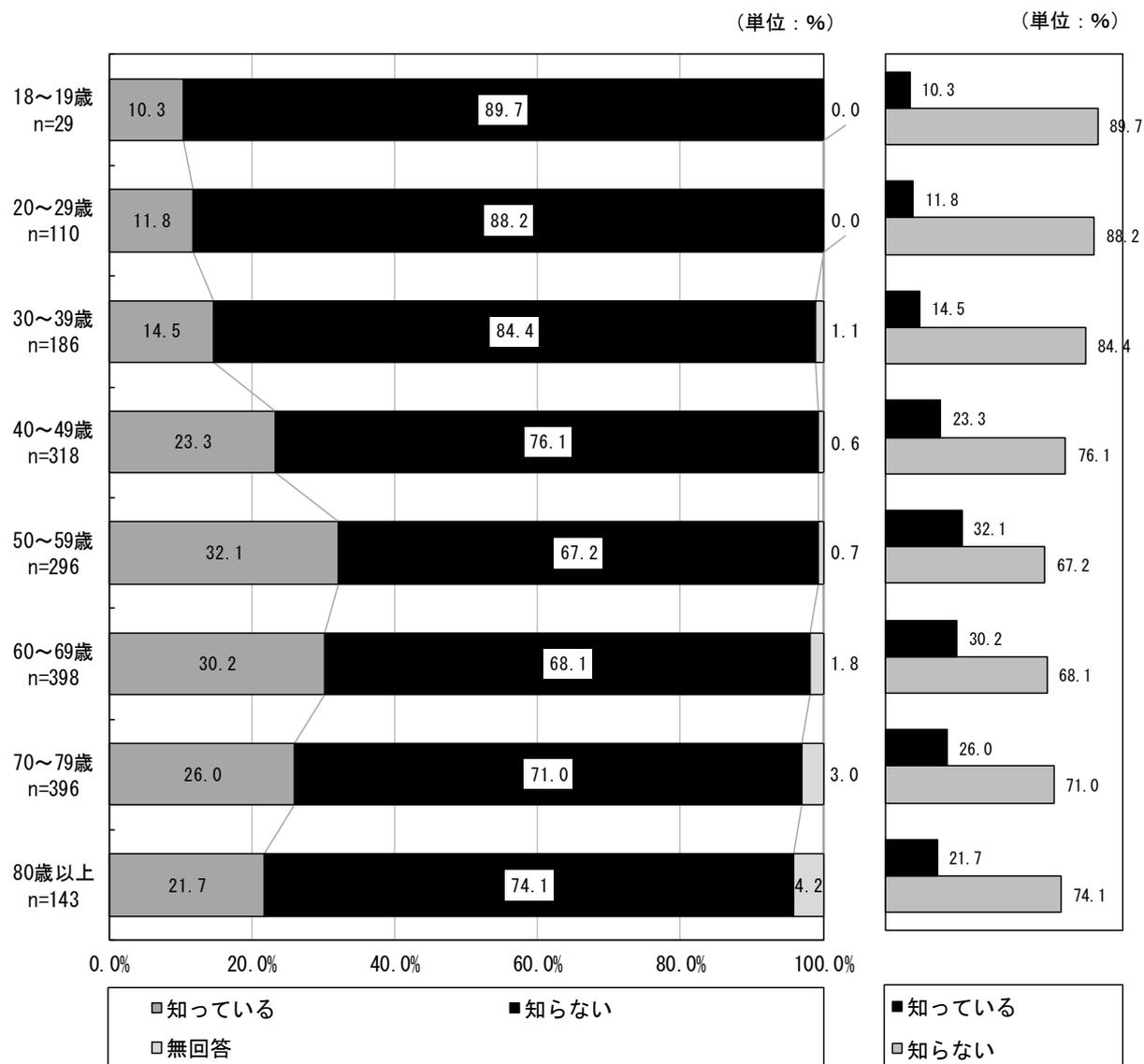
<年度別>



<年代別>

全ての年代において『知っている』が『知らない』を下回っており、『知っている』の割合が最も高いのは50歳代で、次いで60歳代、70歳代の順となっている。

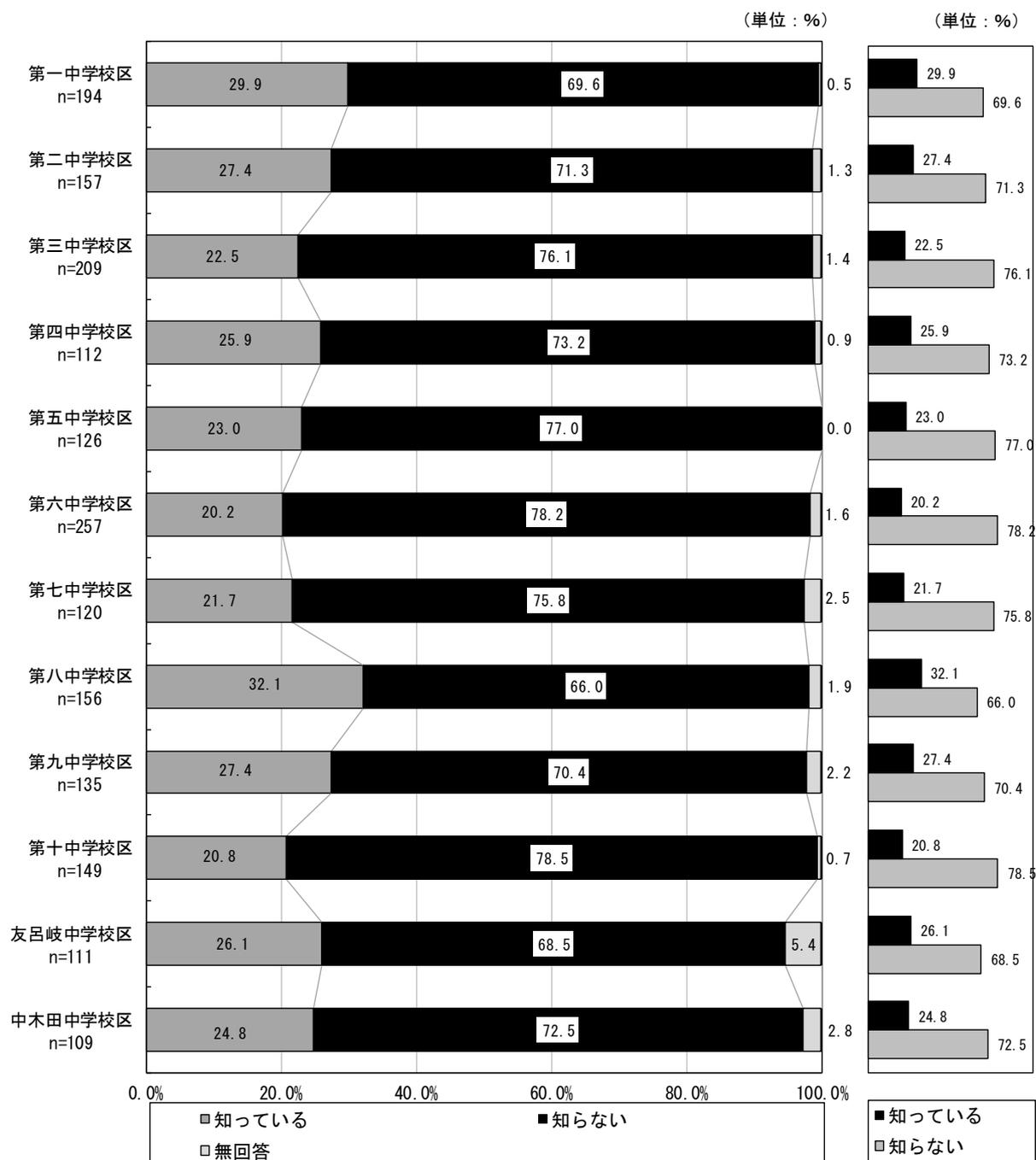
『知らない』の割合は、10歳代、20歳代、30歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において『知っている』が『知らない』を下回っており、『知っている』の割合が最も高いのは第八中学校区で、次いで第一、第二、第九中学校区の順となっている。

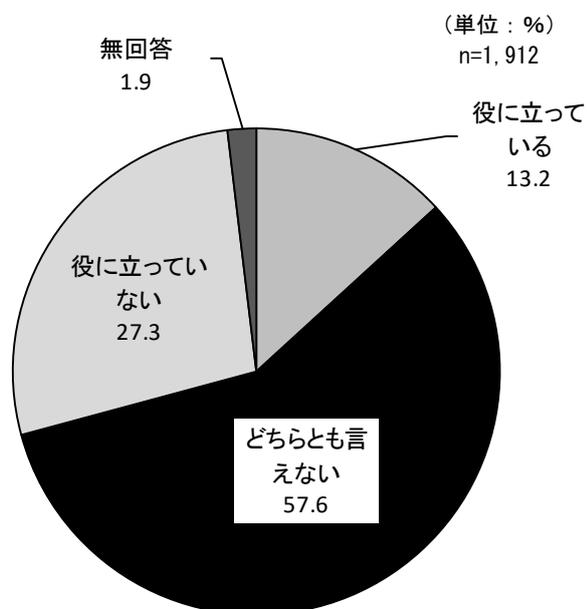
『知らない』の割合は、第十、第六、第五中学校区で高くなっている。



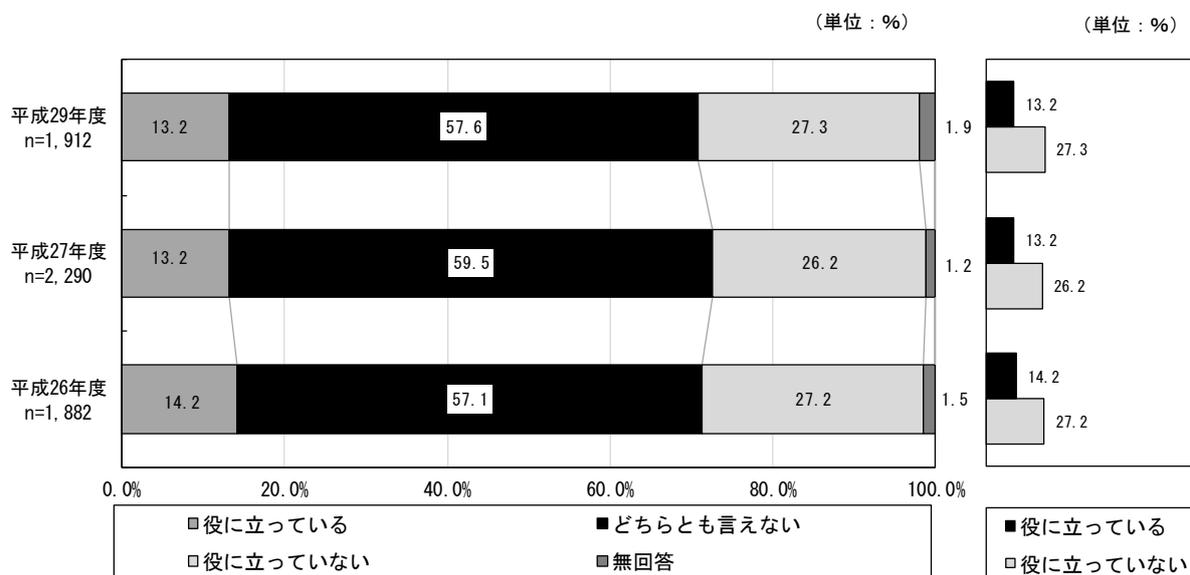
問 63 消費生活センターからの情報が役に立っていると思いますか。

<全体>

「どちらとも言えない」が 57.6%と最も高く、次いで「役に立っていない」が 27.3%、「役に立っている」が 13.2%の順となっている。



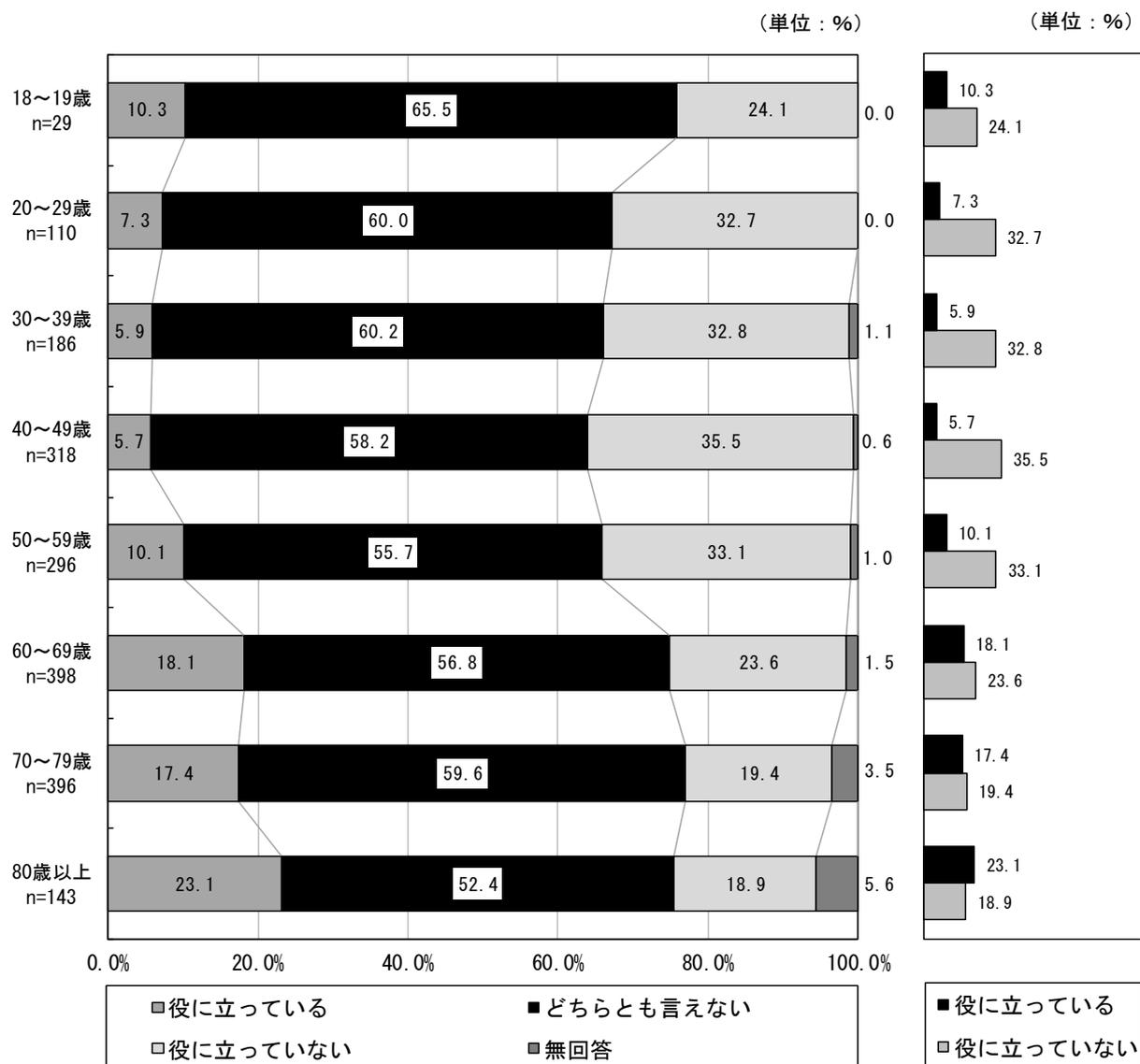
<年度別>



<年代別>

80歳以上を除く年代において「役に立っている」が「役に立っていない」を下回っており、「役に立っている」の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで60歳代、70歳代の順となっている。

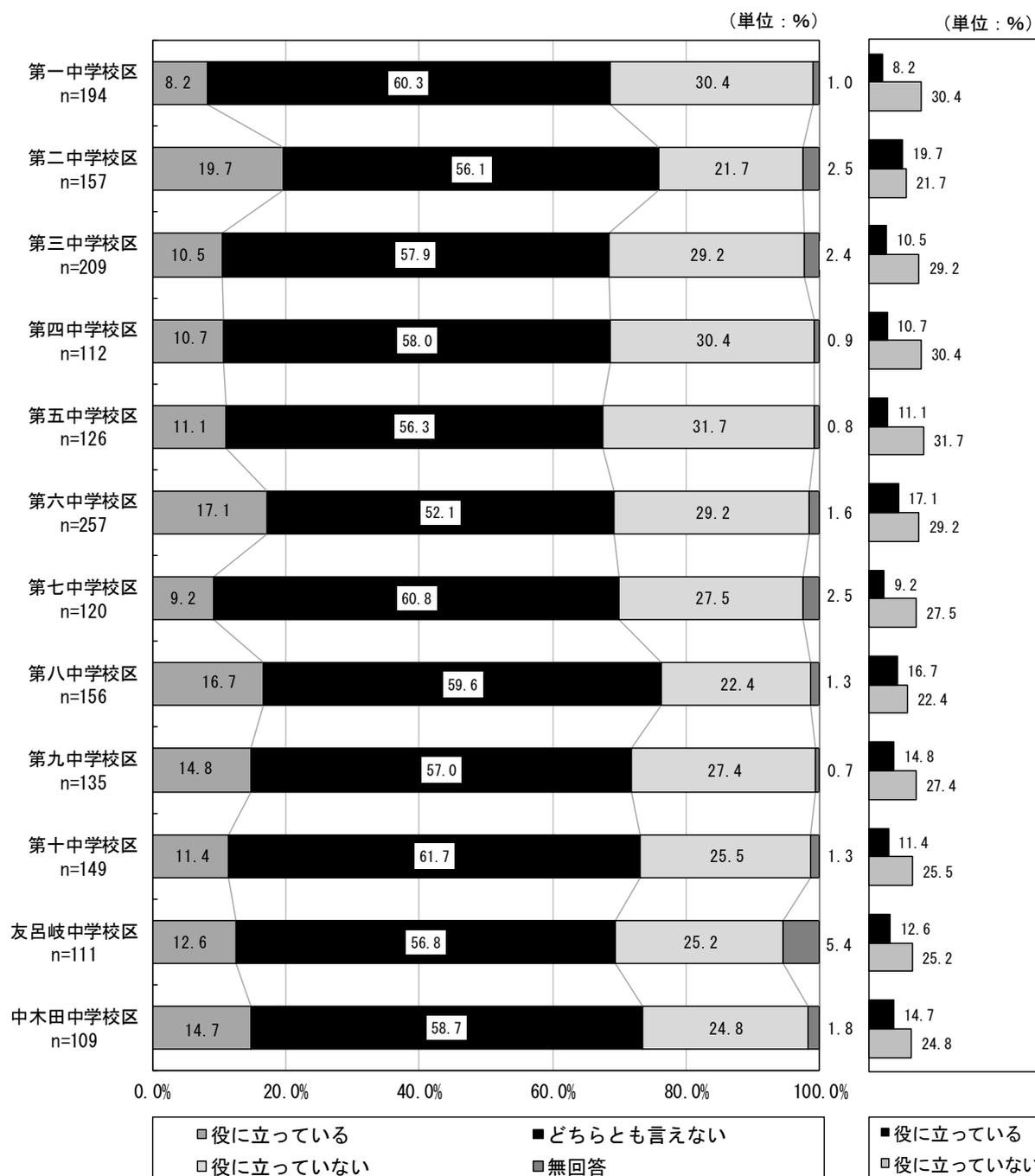
「役に立っていない」の割合は、40歳代、50歳代、30歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において「役に立っている」が「役に立っていない」を下回っており、「役に立っている」の割合が最も高いのは第二中学校区で、次いで第六、第八中学校区の順となっている。

「役に立っていない」の割合は、第五、第一、第四中学校区で高くなっている。

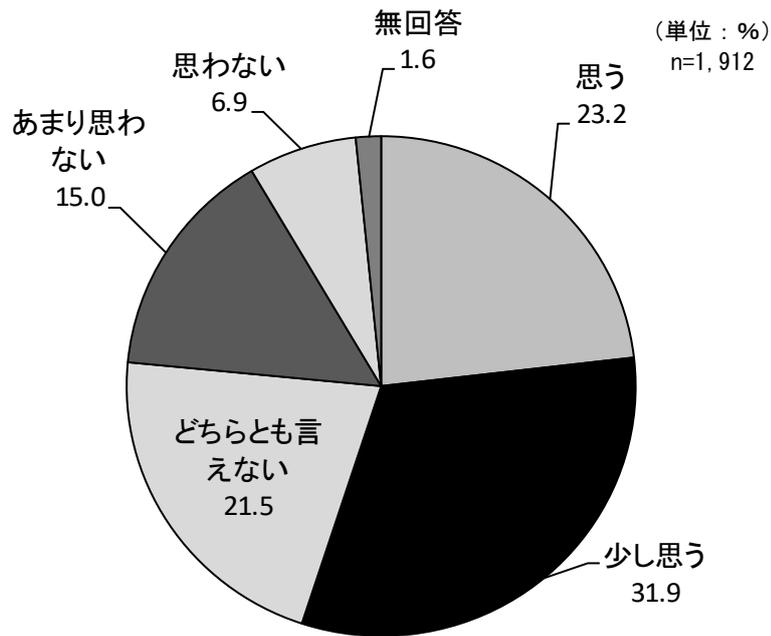


問 64 寝屋川市内で買い物がしやすいと思いますか。

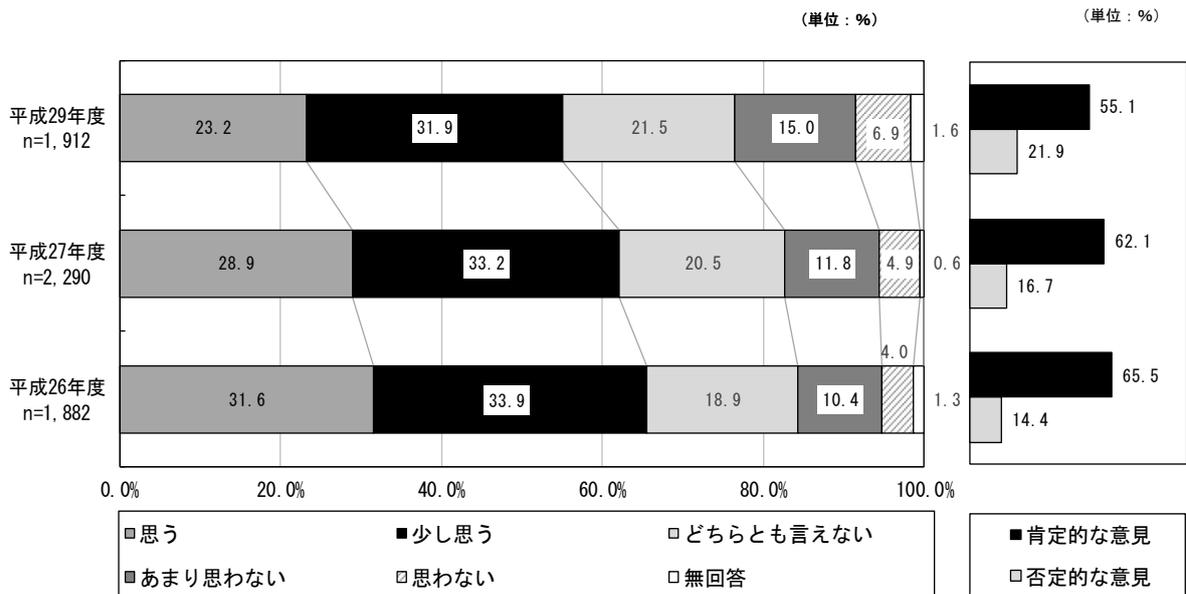
<全体>

「少し思う」が31.9%と最も高く、次いで「思う」が23.2%、「どちらとも言えない」が21.5%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は55.1%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は21.9%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



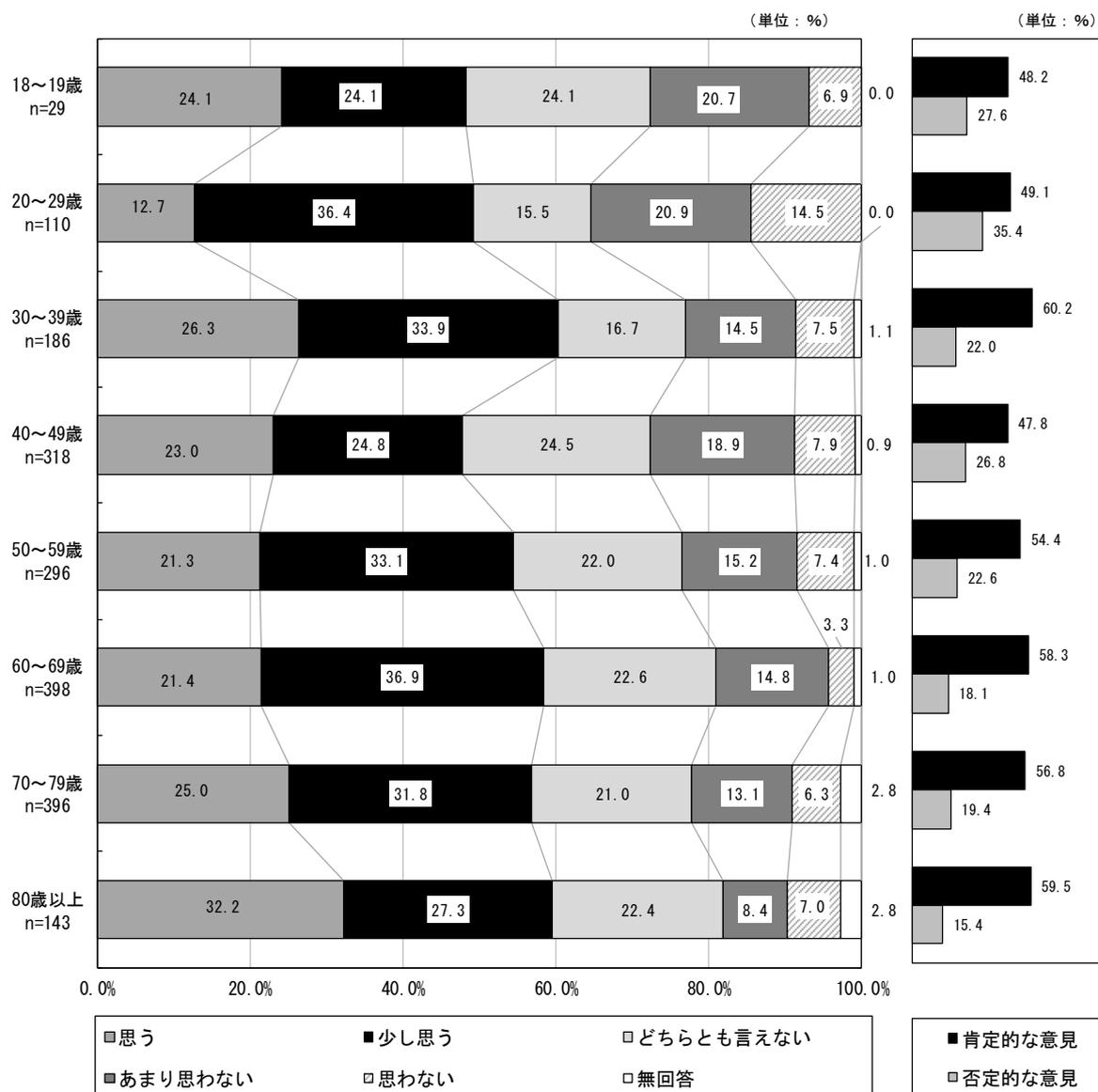
<年度別>



<年代別>

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは30歳代で、次いで80歳以上、60歳代の順となっている。

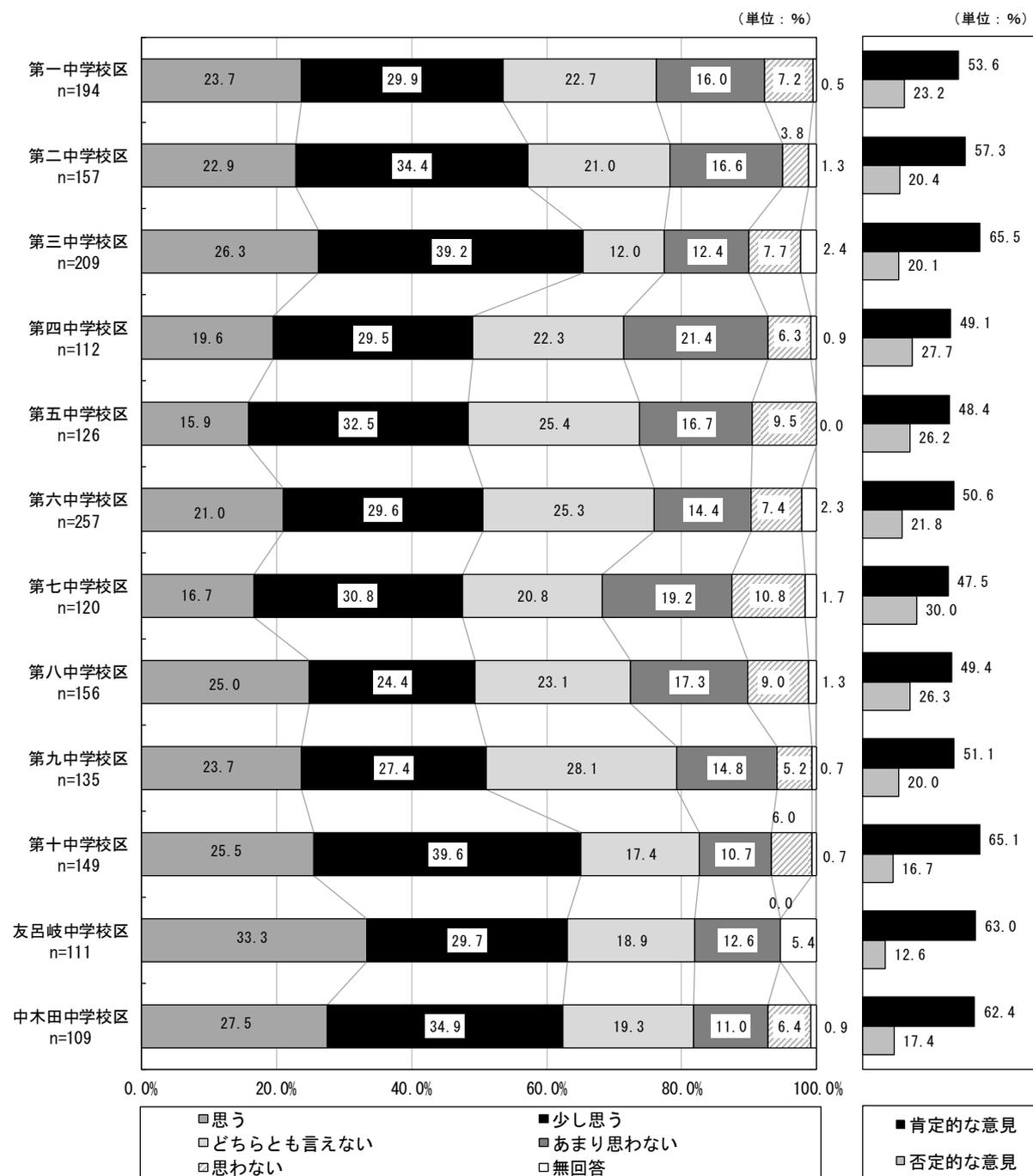
『否定的な意見』の割合は、20歳代、10歳代、40歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第三中学校区で、次いで第十、友呂岐中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第七、第四、第八中学校区で高くなっている。

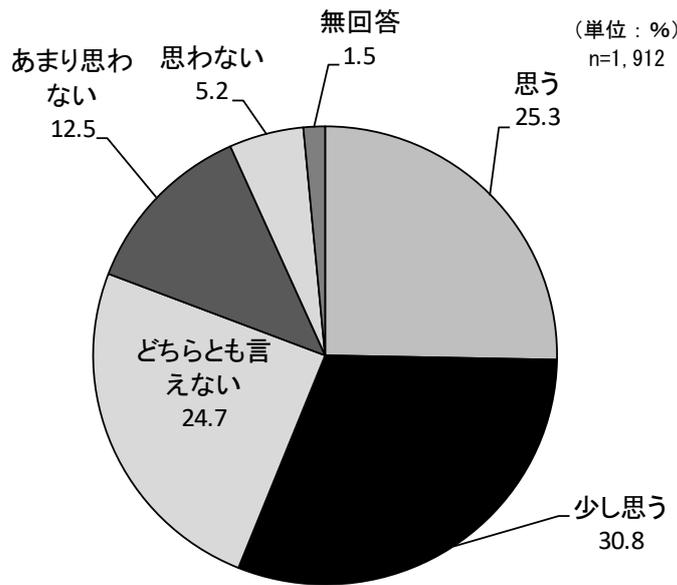


問 65 寝屋川市内で生産した農作物を購入したいと思いますか。

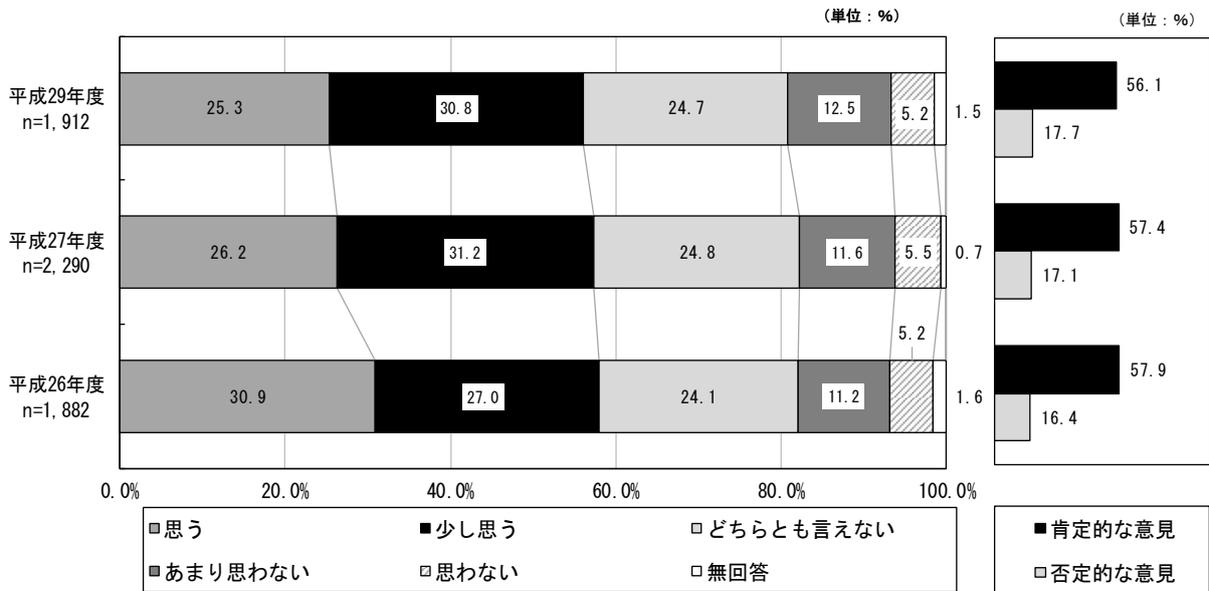
<全体>

「少し思う」が30.8%と最も高く、次いで「思う」が25.3%、「どちらとも言えない」が24.7%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は56.1%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は17.7%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



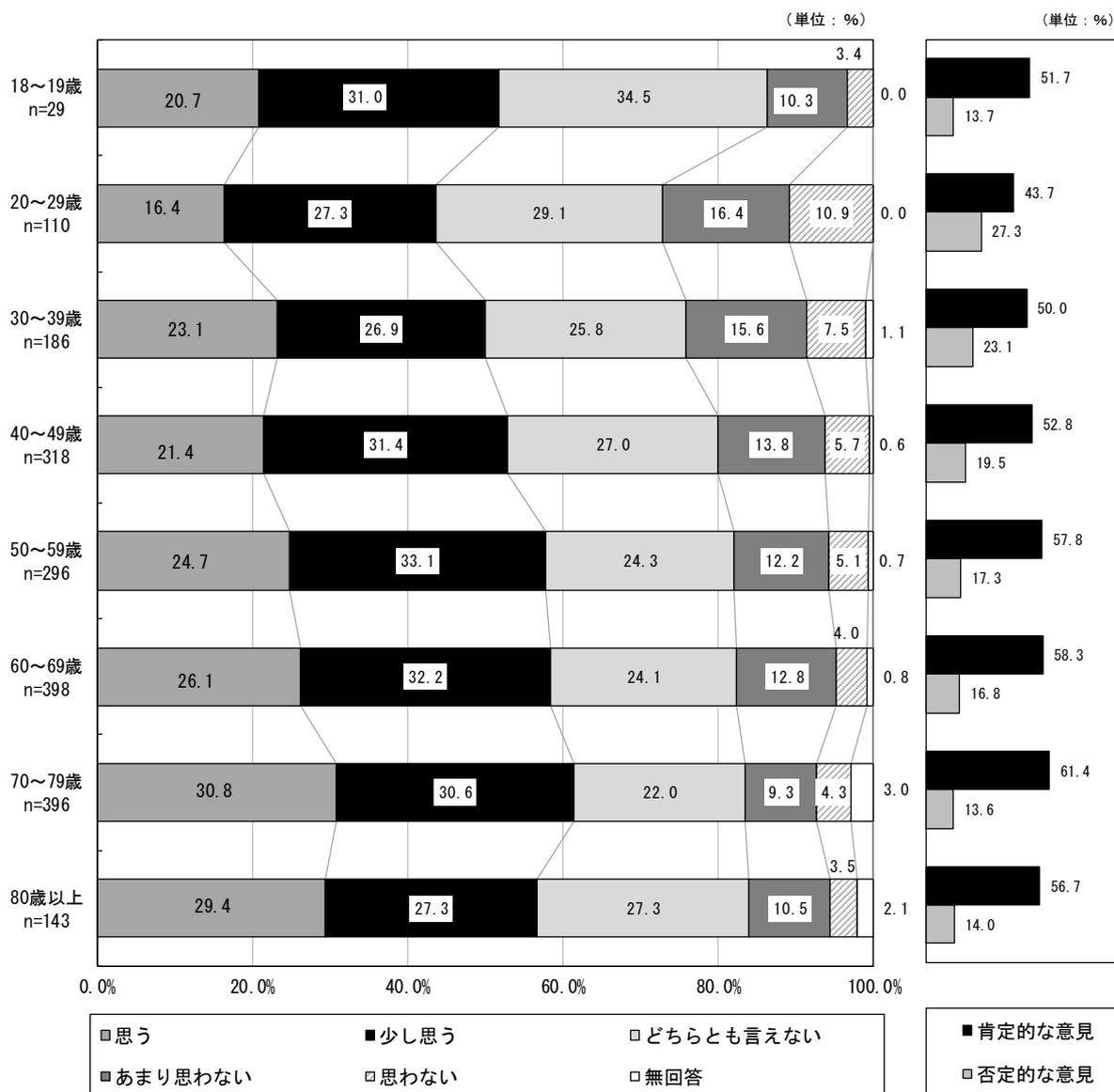
<年度別>



<年代別>

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは70歳代で、次いで60歳代、50歳代の順となっている。

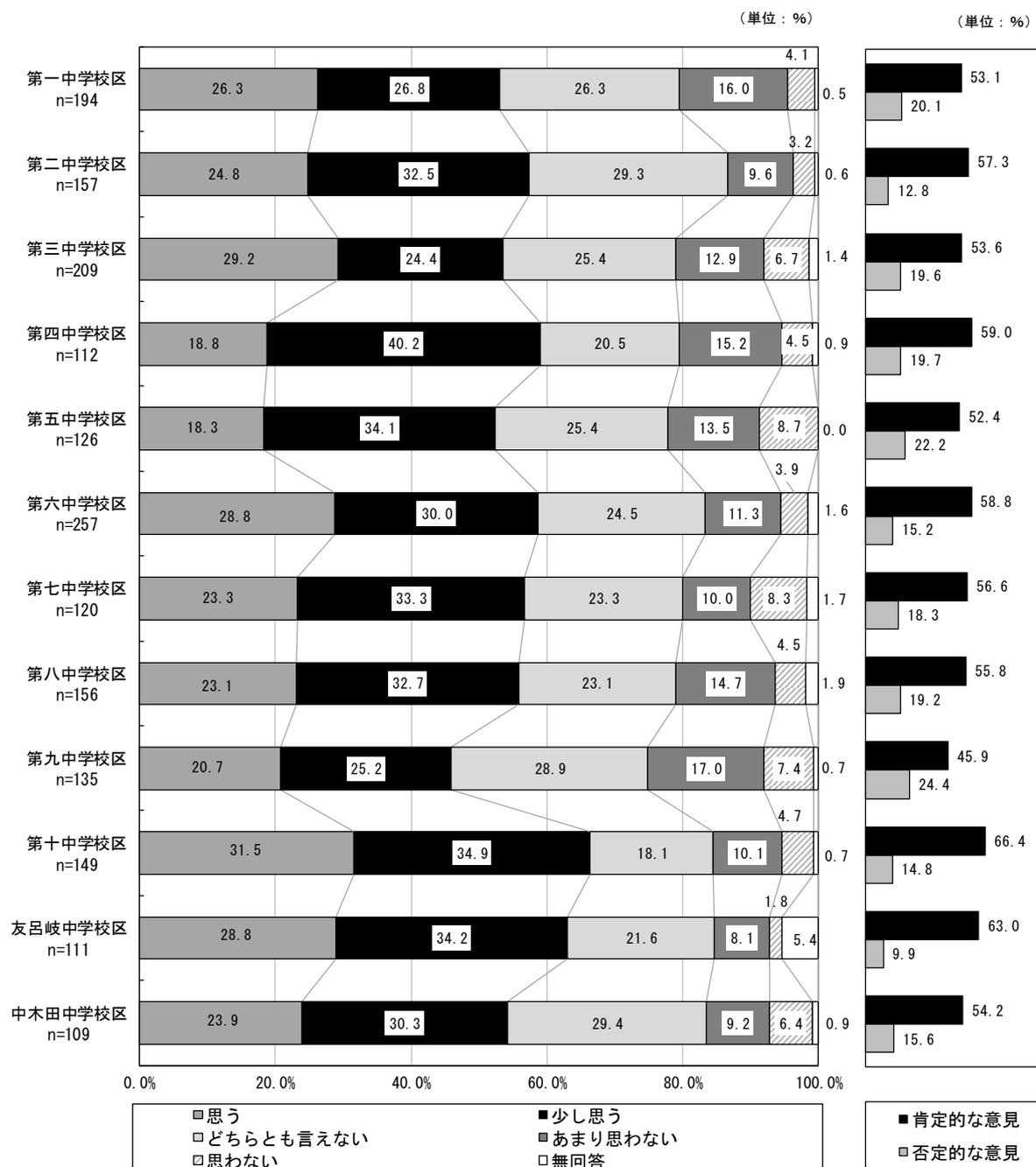
『否定的な意見』の割合は、20歳代、30歳代、40歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第十中学校区で、次いで友呂岐、第四中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第九、第五、第一中学校区で高くなっている。

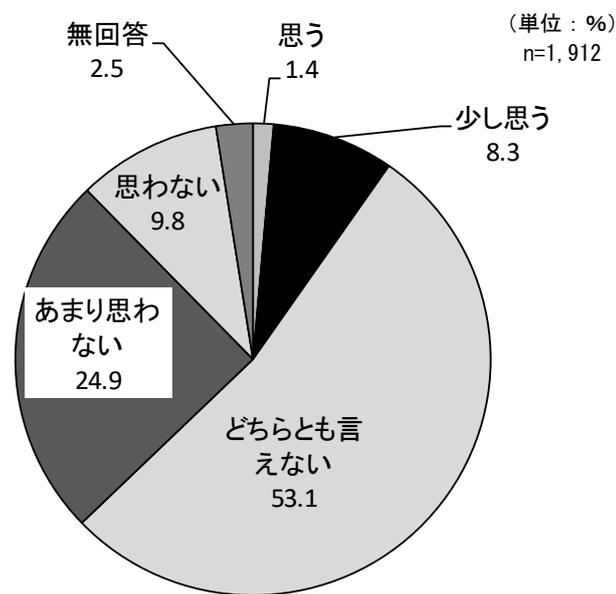


問 66 寝屋川市は、きめ細やかな就労支援サービスが提供されていると思いますか。

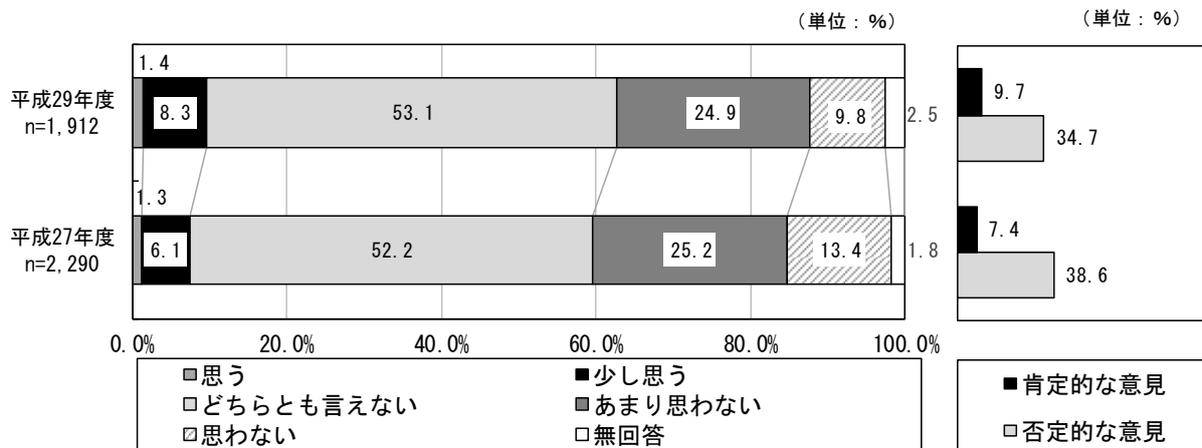
<全体>

「どちらとも言えない」が 53.1%と最も高く、次いで「あまり思わない」が 24.9%、「思わない」が 9.8%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 9.7%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 34.7%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



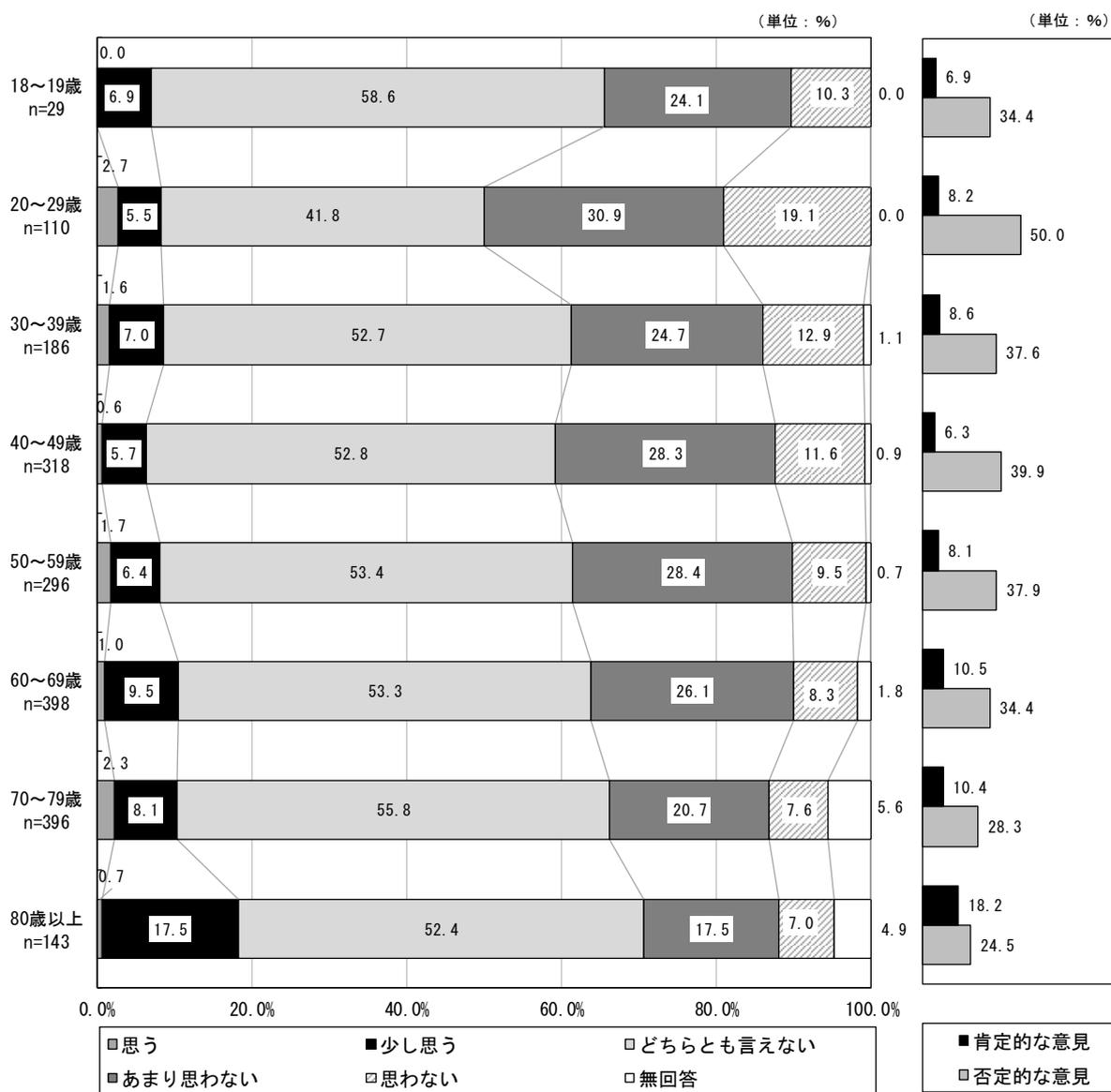
<年度別>



<年代別>

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで60歳代、70歳代の順となっている。

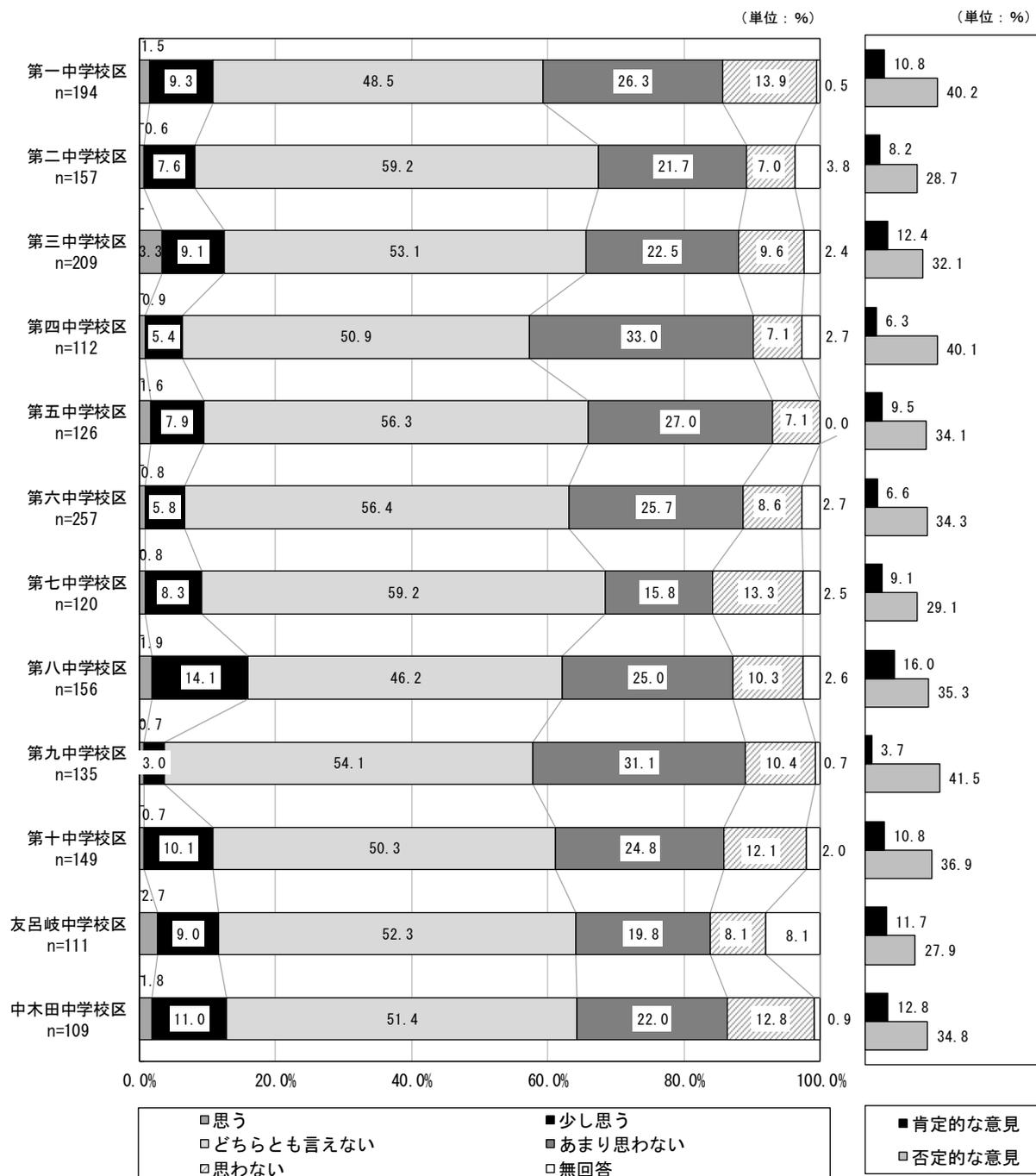
『否定的な意見』の割合は、20歳代、40歳代、50歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第八中学校区で、次いで中木田、第三中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第九、第一、第四中学校区で高くなっている。

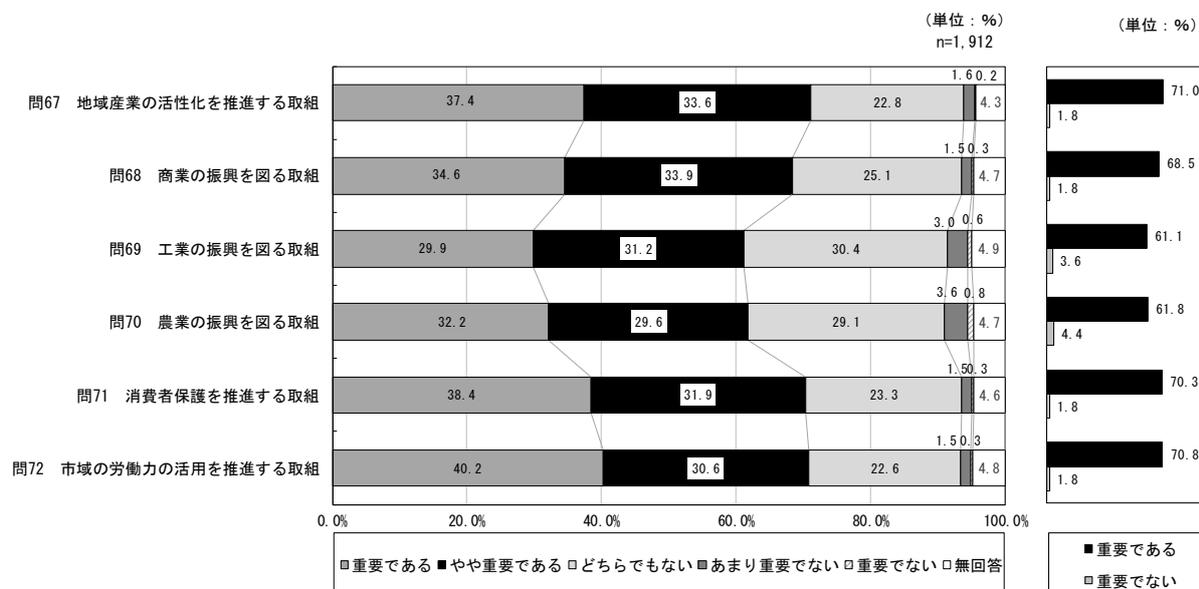


②「産業」の施策についての重要度と満足度

問 67～問 72 現在、寝屋川市が取り組んでいる「産業」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

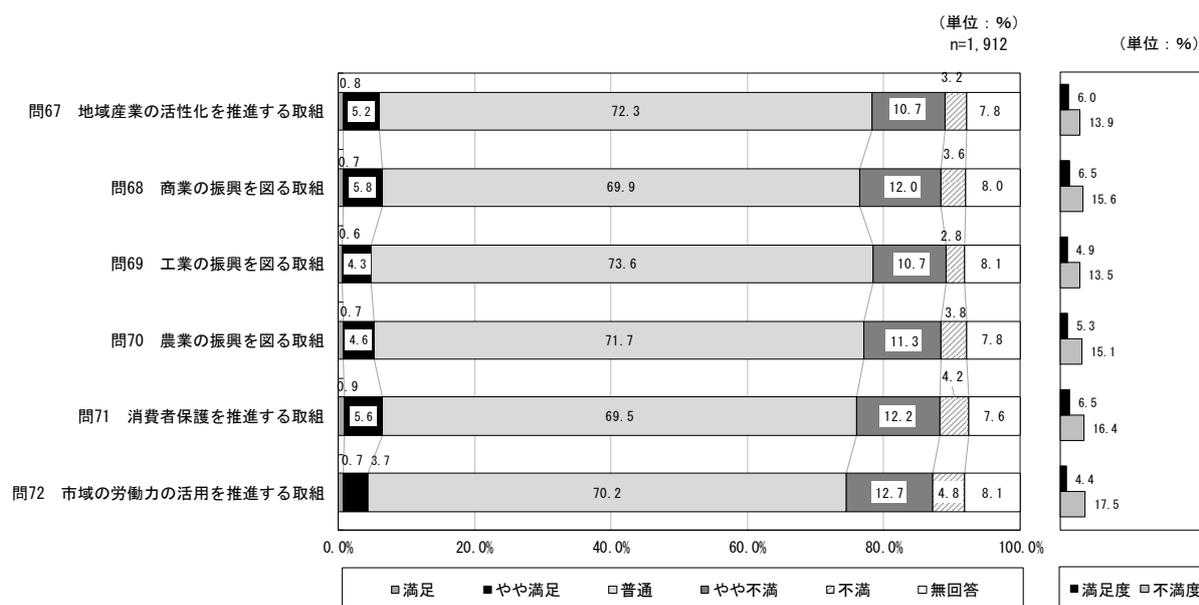
<重要度>

『産業』の施策において、重要度が最も高いのは「地域産業の活性化を推進する取組」で、「市域の労働力の活用を推進する取組」が続いている。



<満足度>

『産業』の施策において、満足度が最も高いのは「商業の振興を図る取組」「消費者保護を推進する取組」で、不満度が最も高いのは「市域の労働力の活用を推進する取組」である。



7 『市民が主役のまちづくり』について

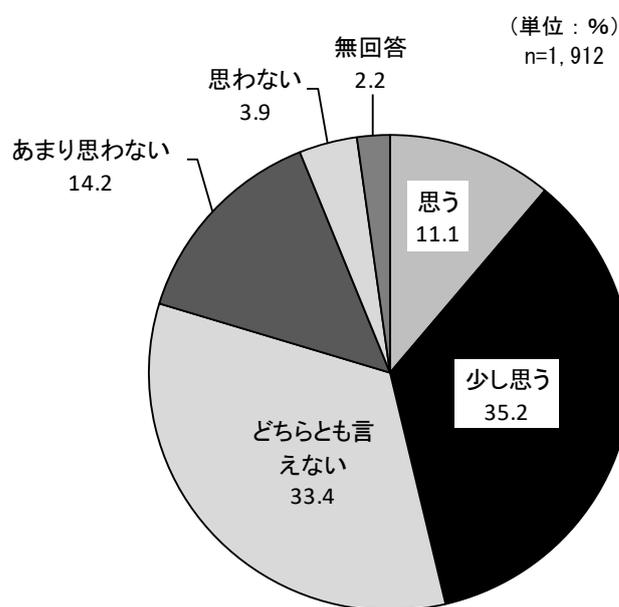
① 「地域・市民ニーズの把握・情報発信」について

問 73 自治会や小学校区での地域活動が盛んであると思いますか。

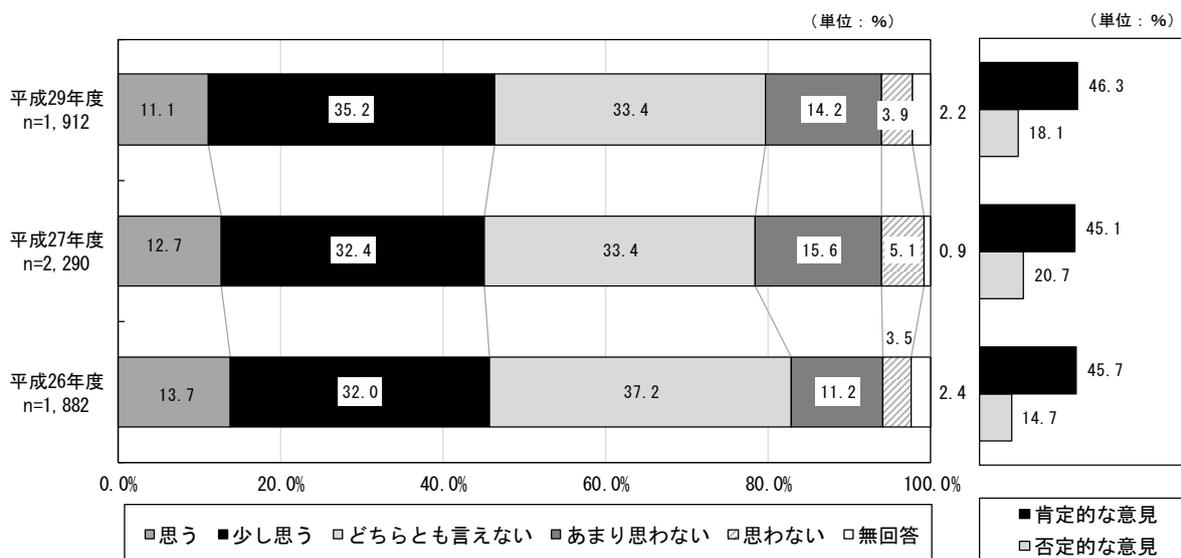
<全体>

「少し思う」が 35.2%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 33.4%、「あまり思わない」が 14.2%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 46.3%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 18.1%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



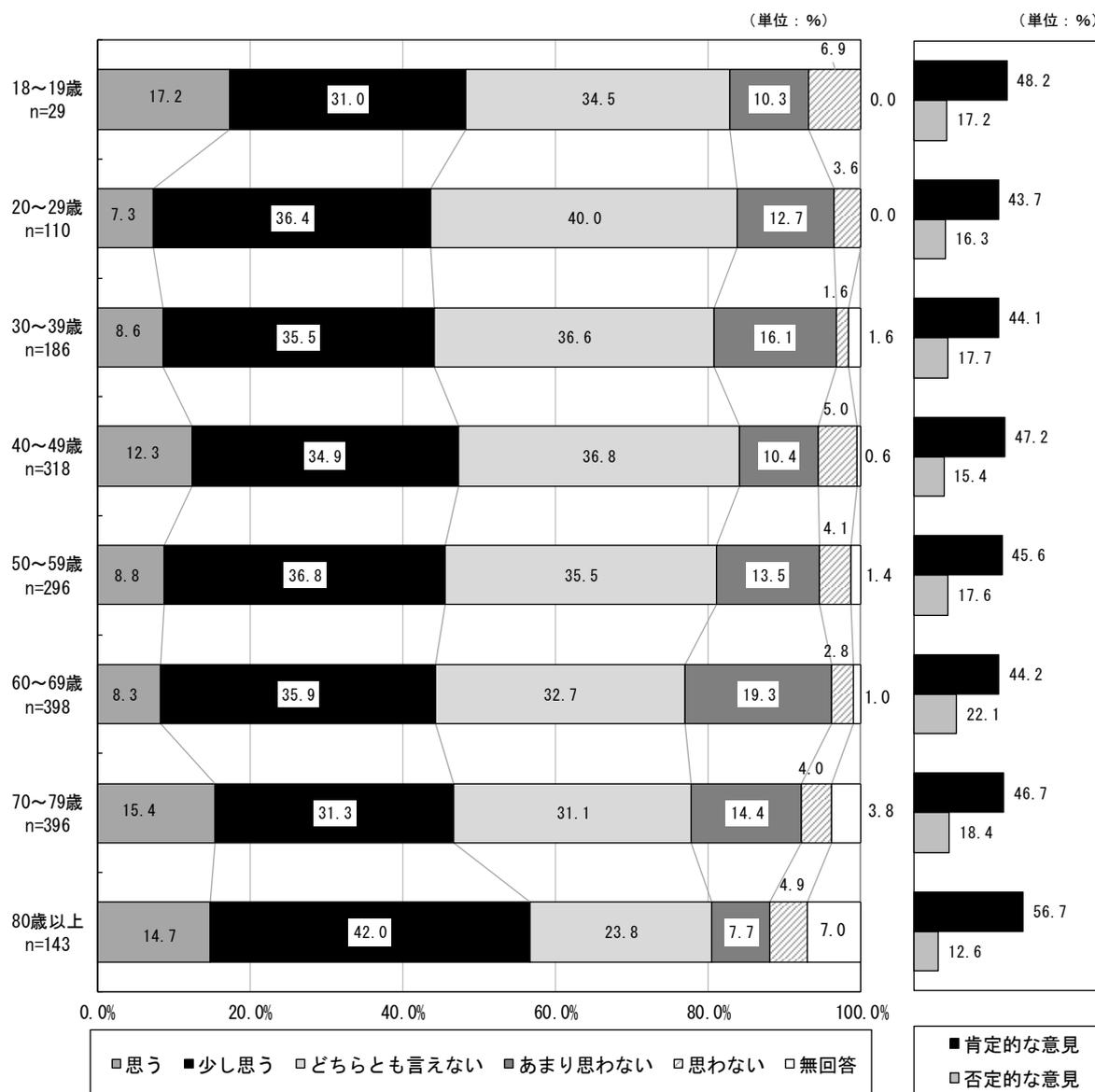
<年度別>



<年代別>

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは、80歳以上で、次いで10歳代、40歳代の順となっている。

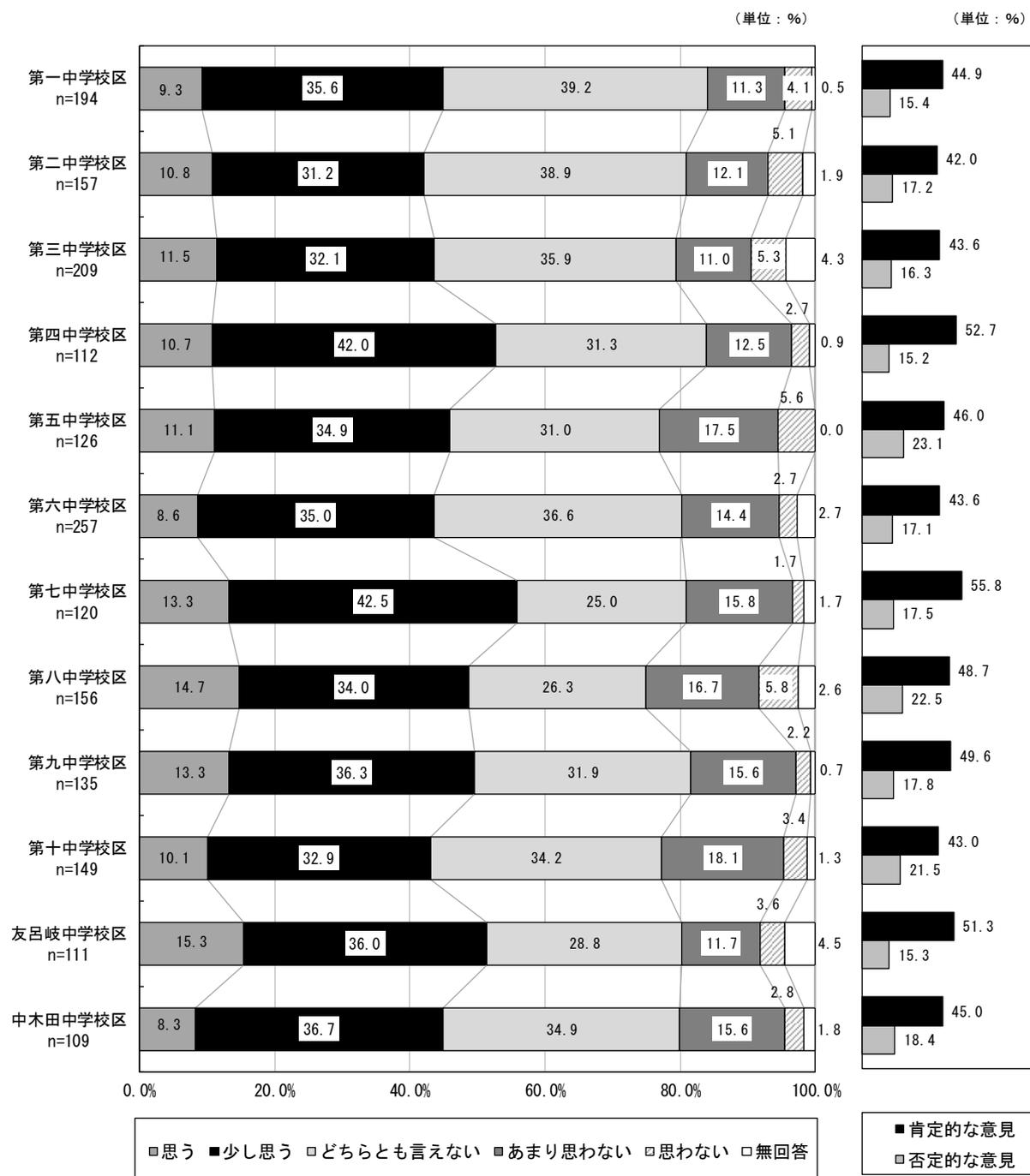
『否定的な意見』の割合は、60歳代、70歳代、30歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第七中学校区で、次いで第四、友呂岐中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第五、第八、第十中学校区で高くなっている。

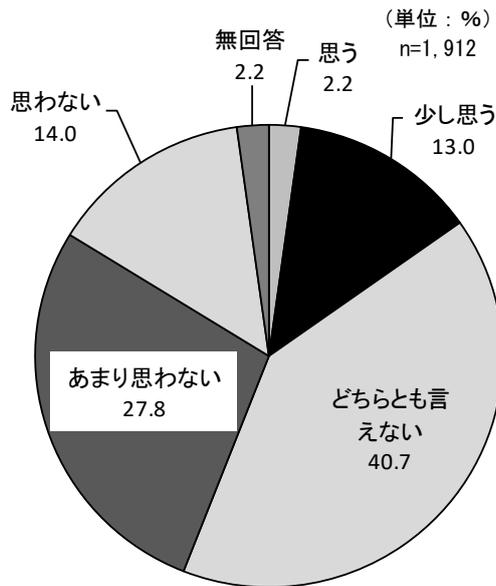


問 74 寝屋川市政に、市民の声が届いていると思いますか。

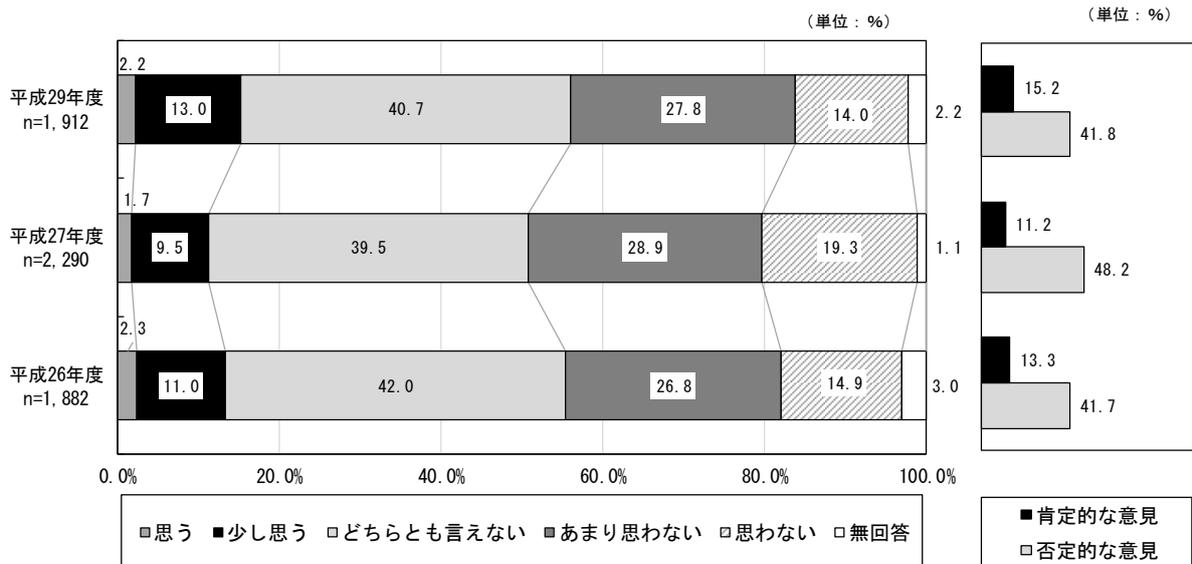
<全体>

「どちらとも言えない」が 40.7%と最も高く、次いで「あまり思わない」が 27.8%、「思わない」が 14.0%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 15.2%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 41.8%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



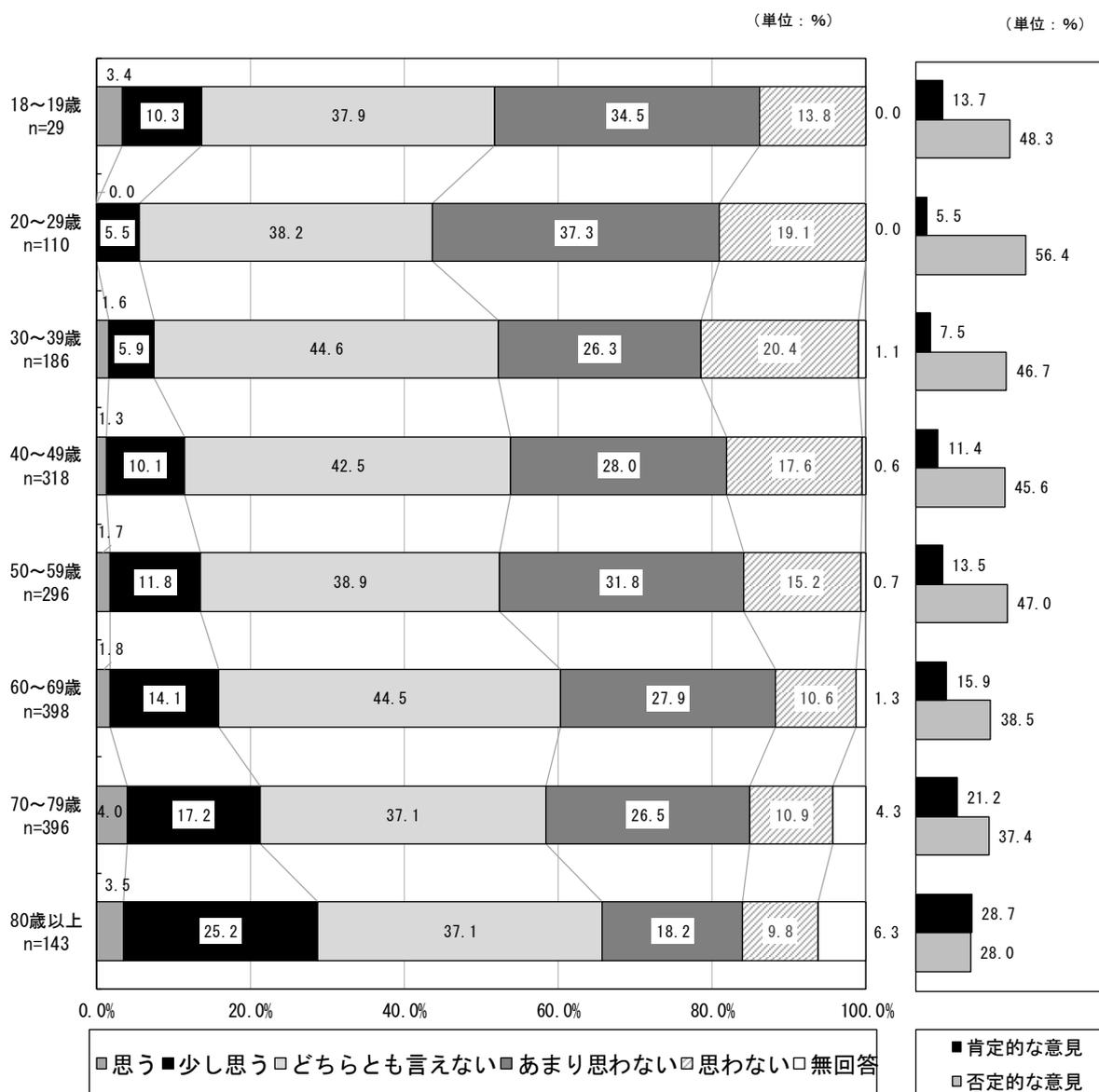
<年度別>



<年代別>

80歳以上を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは、80歳以上で、次いで70歳代、60歳代の順となっている。

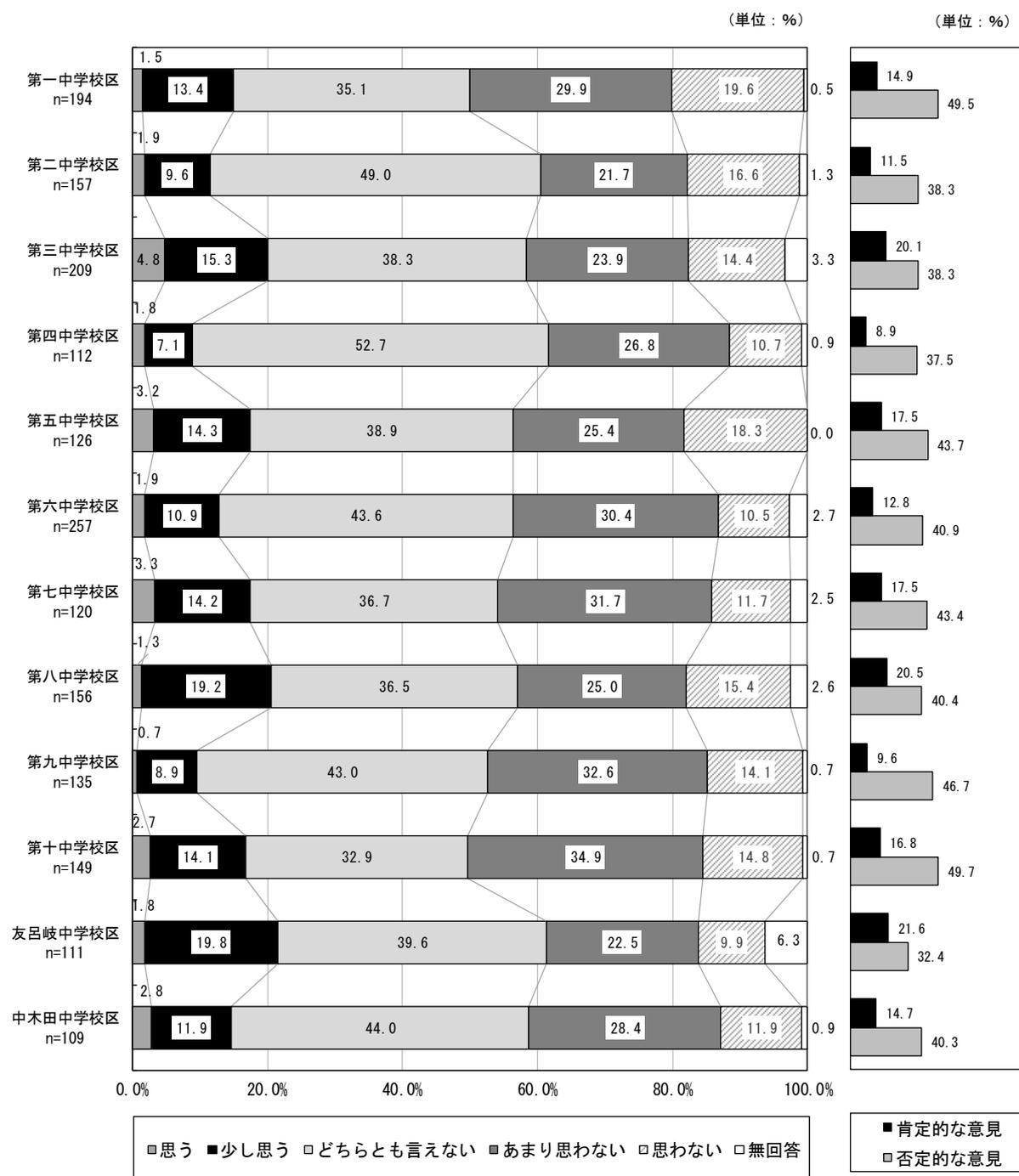
『否定的な意見』の割合は、20歳代、10歳代、50歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは友呂岐中学校区で、次いで第八、第三中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第十、第一、第九中学校区で高くなっている。

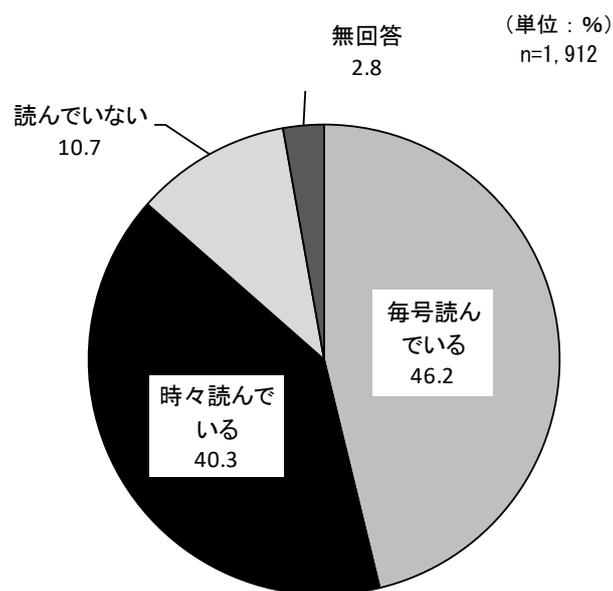


問 75 「広報ねやがわ」を読んでいますか。

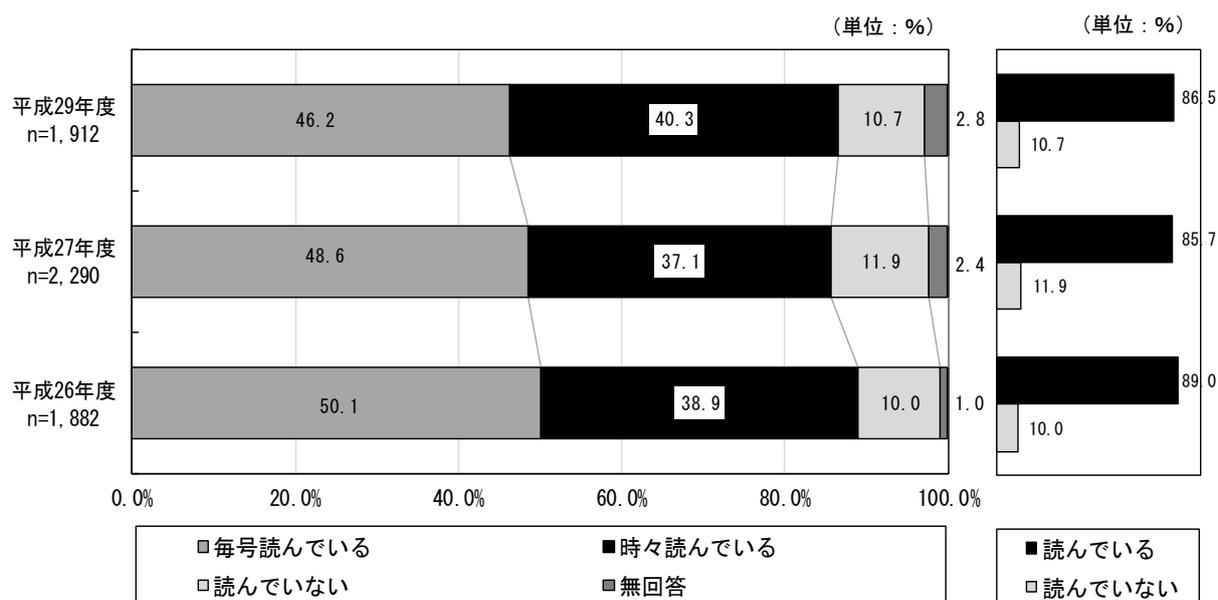
<全体>

「毎号読んでいる」が46.2%、「時々読んでいる」が40.3%、「読んでいない」が10.7%の順となっている。

「毎号読んでいる」と「時々読んでいる」を合わせた『読んでいる』は86.5%、『読んでいない』は10.7%となっており、『読んでいる』が『読んでいない』を上回っている。



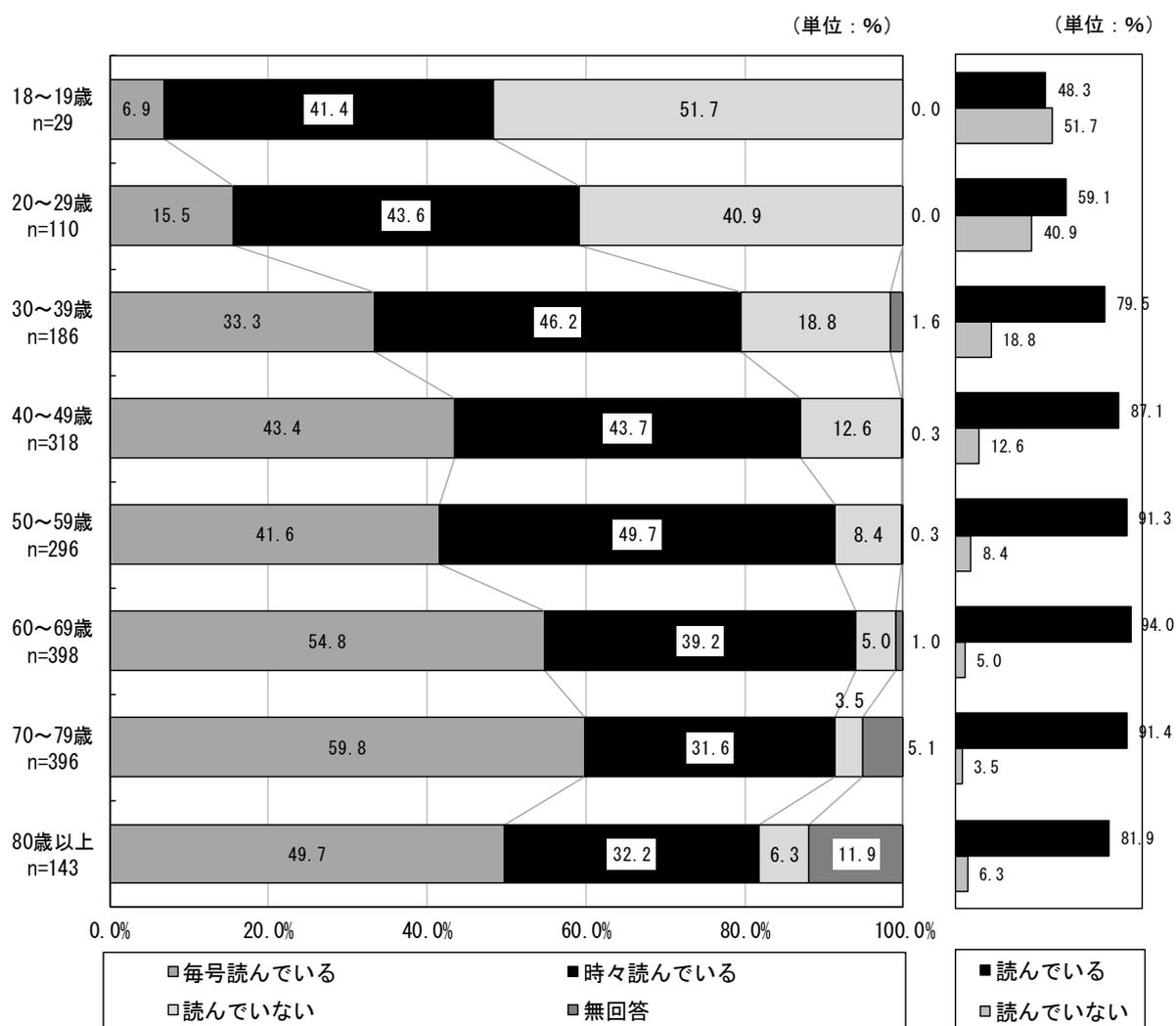
<年度別>



<年代別>

10歳代以外の年代において『読んでいる』が『読んでいない』を上回っており、『読んでいる』の割合が最も高いのは60歳代で、次いで70歳代、50歳代の順となっている。

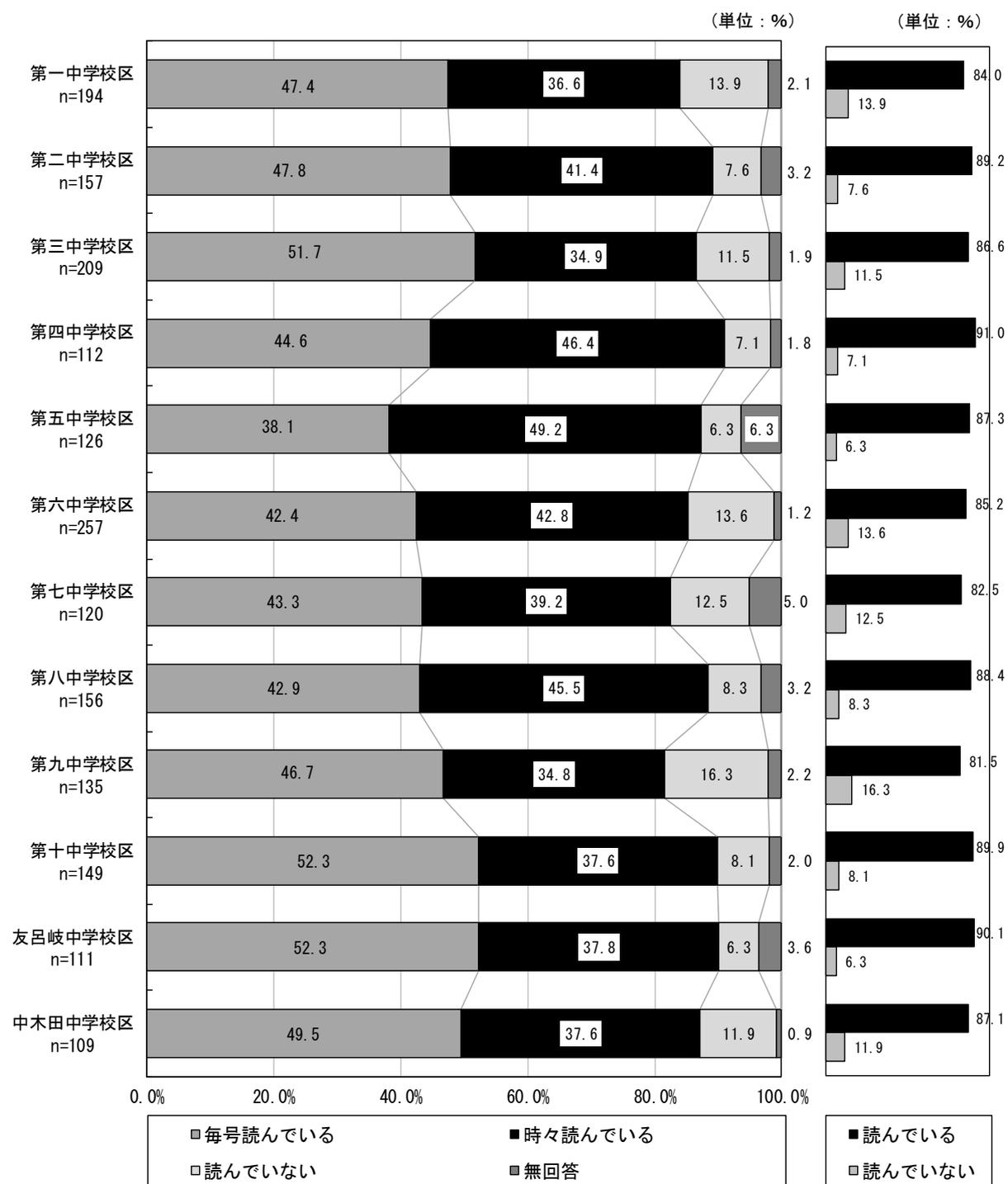
『読んでいない』の割合は、10歳代、20歳代、30歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において『読んでいる』が『読んでいない』を上回っており、『読んでいる』の割合が最も高いのは第四中学校区で、次いで友呂岐、第十中学校区の順となっている。

『読んでいない』の割合は、第九、第一、第六中学校区で高くなっている。

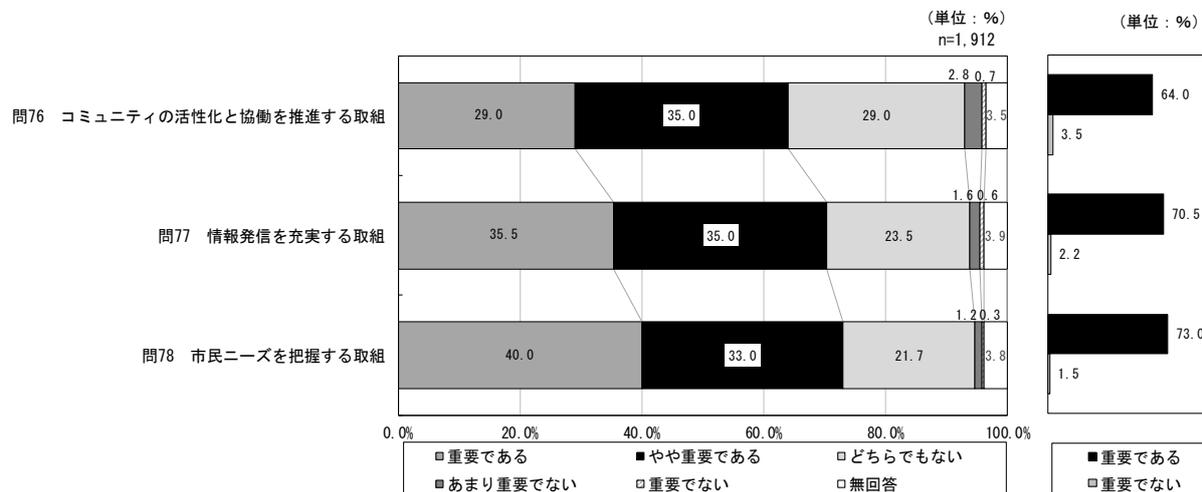


②「地域・市民ニーズの把握・情報発信」の施策についての重要度と満足度

問 76～問 78 現在、寝屋川市が取り組んでいる「地域・市民ニーズの把握・情報発信」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きます。

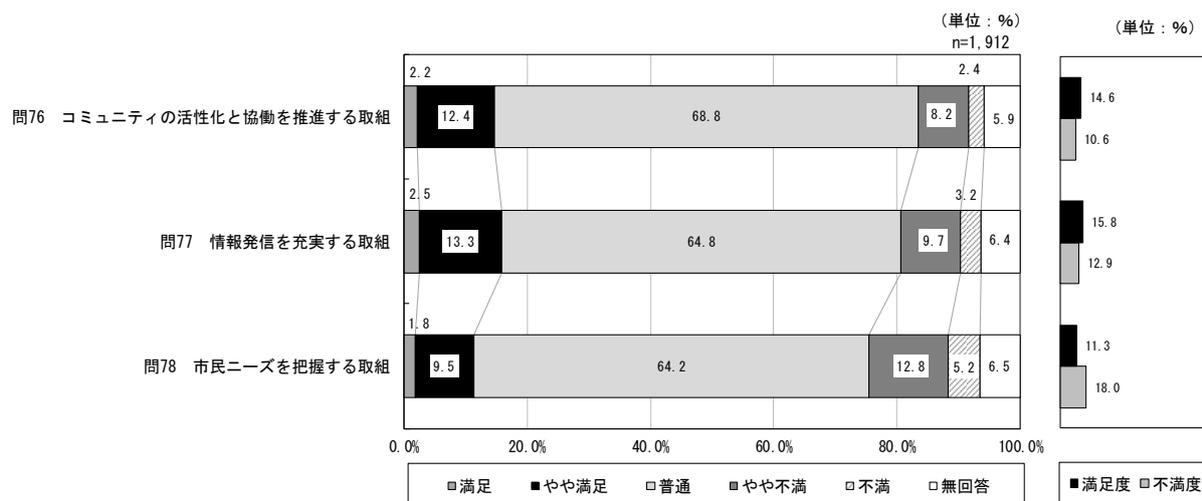
<重要度>

『地域・市民ニーズの把握・情報発信』の施策において、重要度が最も高いのは「市民ニーズを把握する取組」で、「情報発信を充実する取組」が続いている。



<満足度>

『地域・市民ニーズの把握・情報発信』の施策において、満足度が最も高いのは「情報発信を充実する取組」で、不満度が最も高いのは「市民ニーズを把握する取組」である。



8 『将来を見据えた自治経営』について

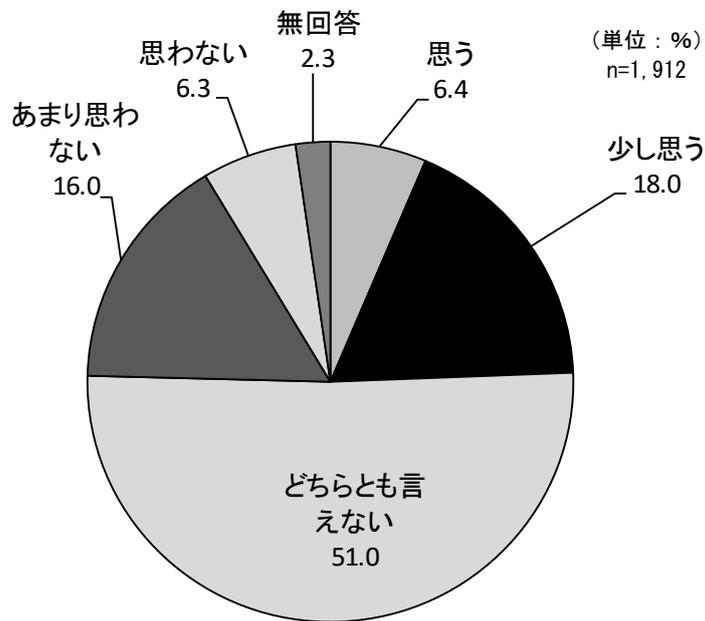
① 「自治経営」について

問 79 寝屋川市は、健全な財政運営が行われていると思いますか。

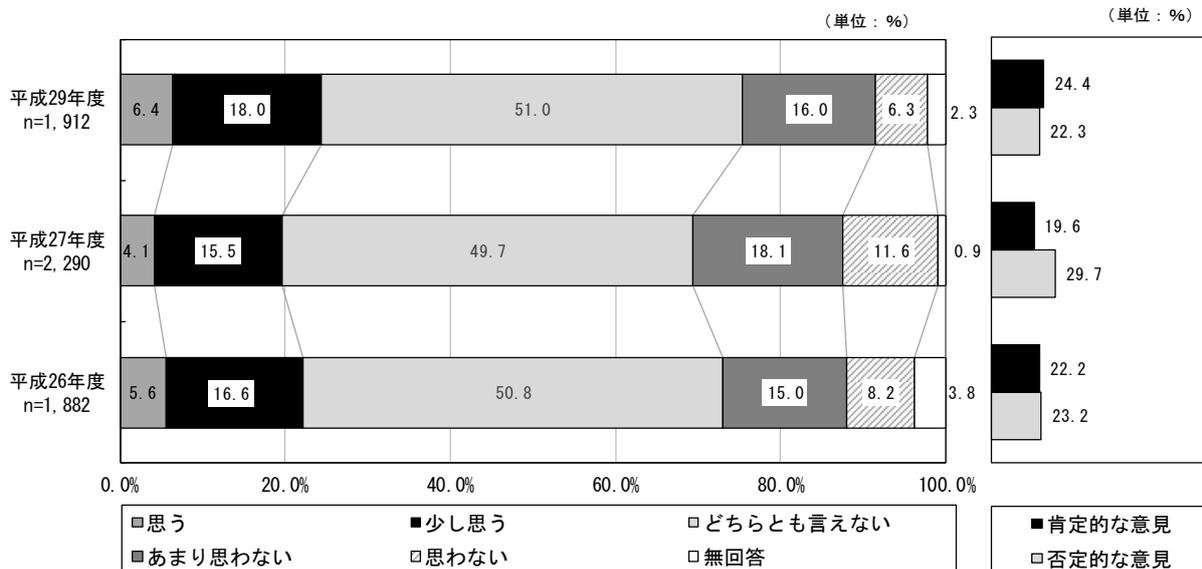
<全体>

「どちらとも言えない」が51.0%と最も高く、次いで「少し思う」が18.0%、「あまり思わない」が16.0%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は24.4%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は22.3%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



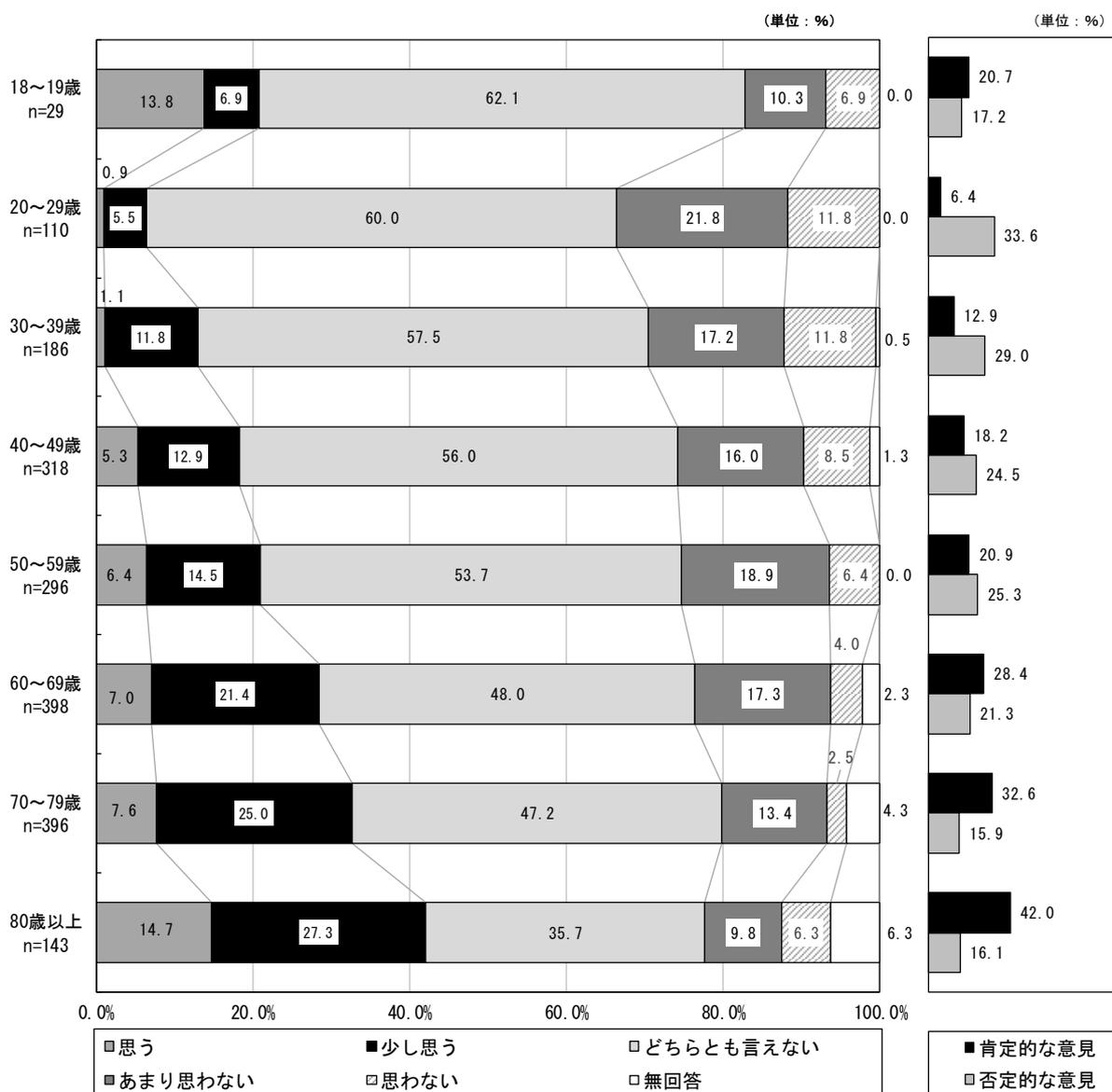
<年度別>



<年代別>

10歳代、60歳代、70歳代、80歳以上において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで70歳代、60歳代の順となっている。

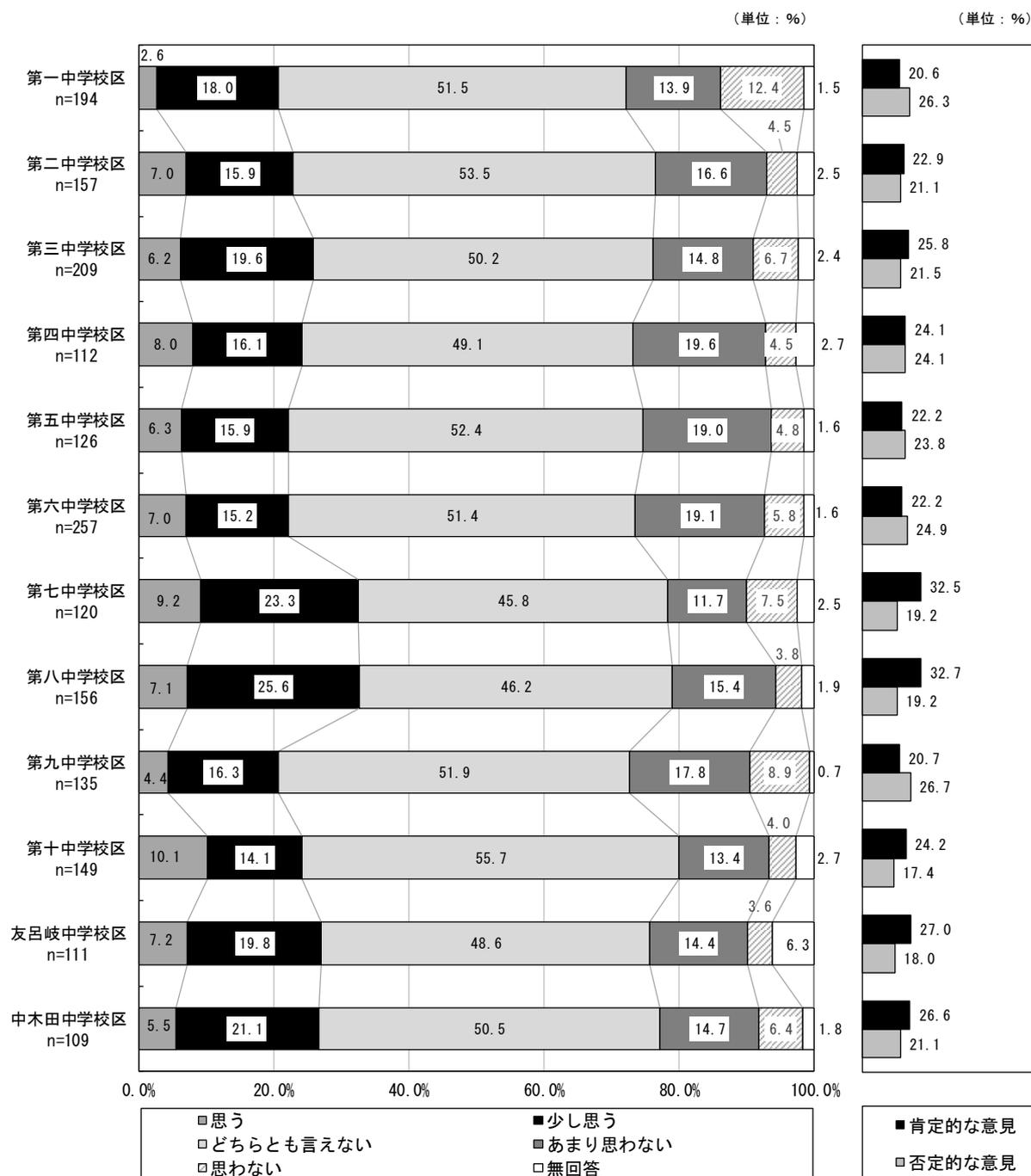
『否定的な意見』の割合は、20歳代、30歳代、50歳代で高くなっている。



<中学校区別>

第二、第三、第七、第八、第十、友呂岐、中木田中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第八中学校区で、次いで第七、友呂岐中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第九、第一、第六中学校区で高くなっている。

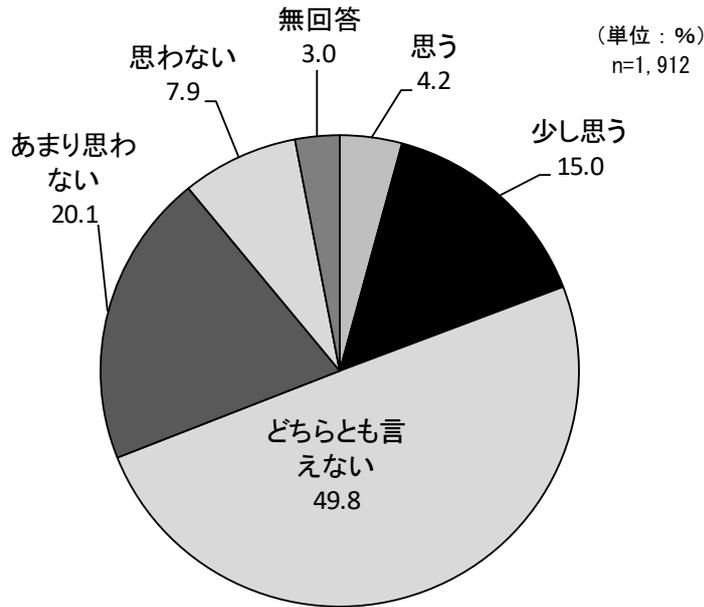


問 80 寝屋川市は、行財政改革が進んでいると思いますか。

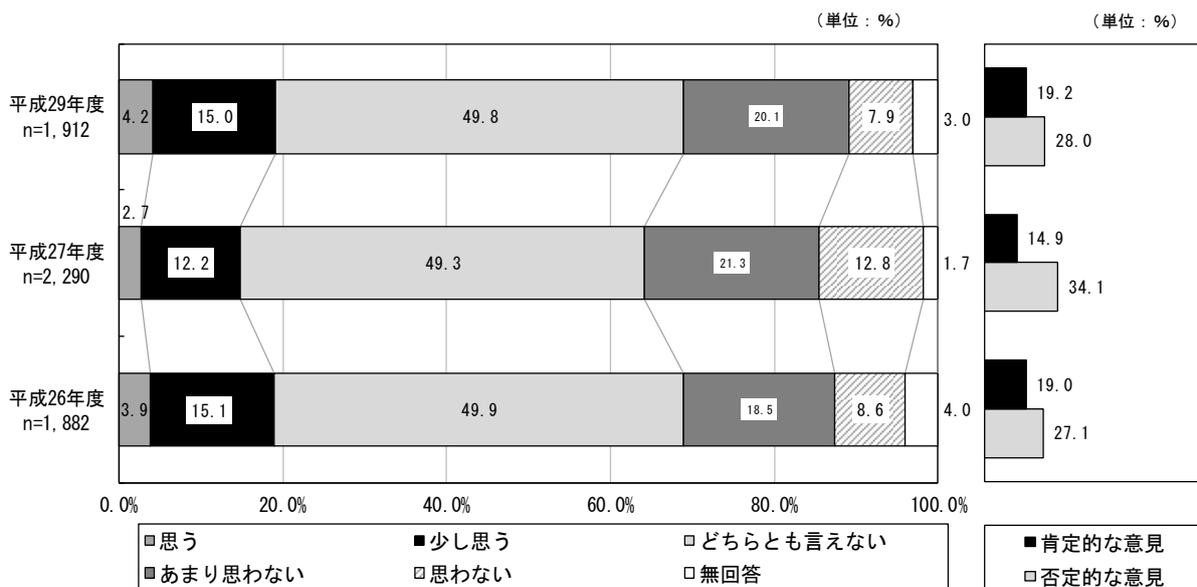
<全体>

「どちらとも言えない」が49.8%と最も高く、次いで「あまり思わない」が20.1%、「少し思う」が15.0%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は19.2%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は28.0%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



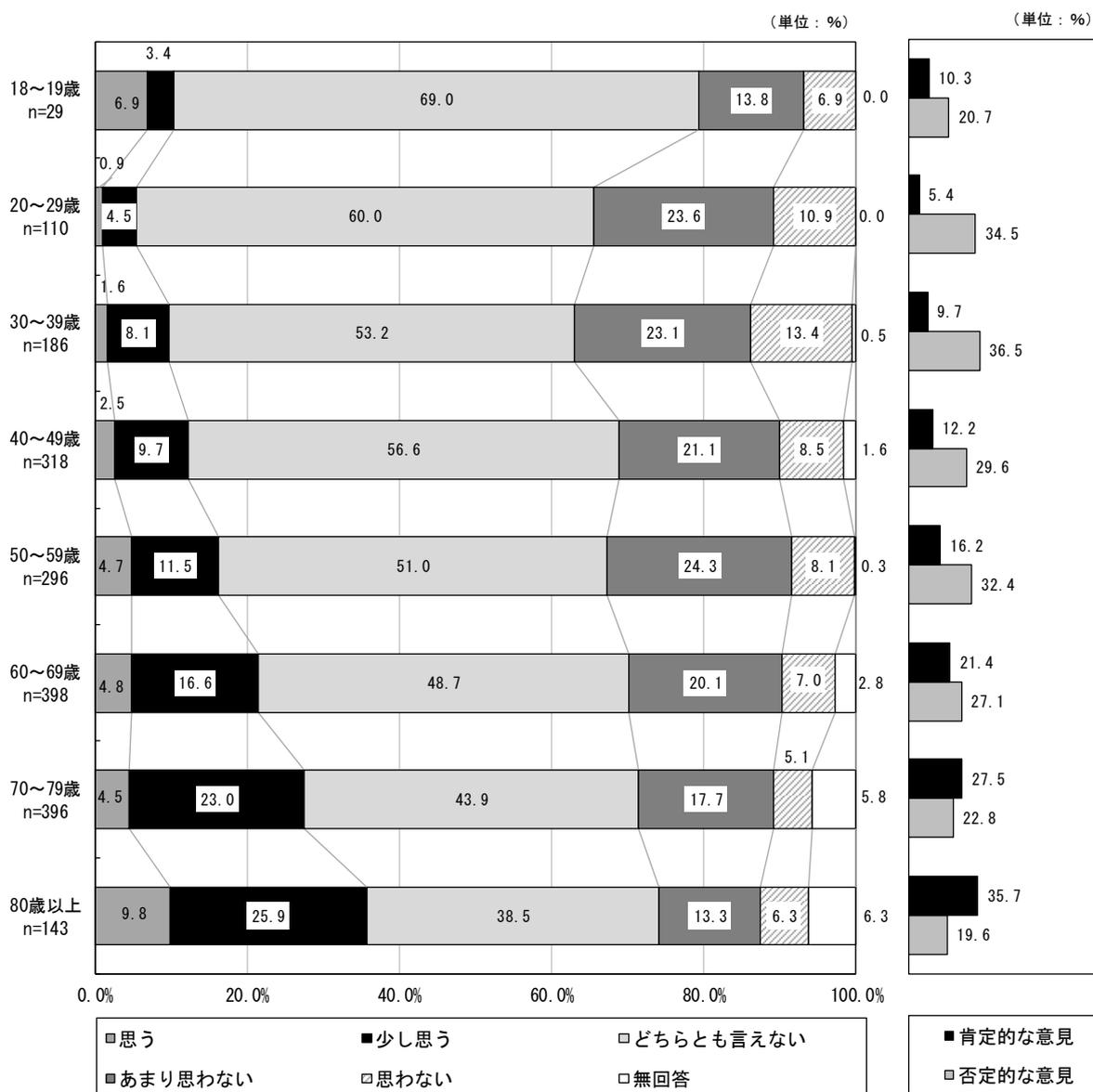
<年度別>



<年代別>

70歳代、80歳以上を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで70歳代、60歳代の順となっている。

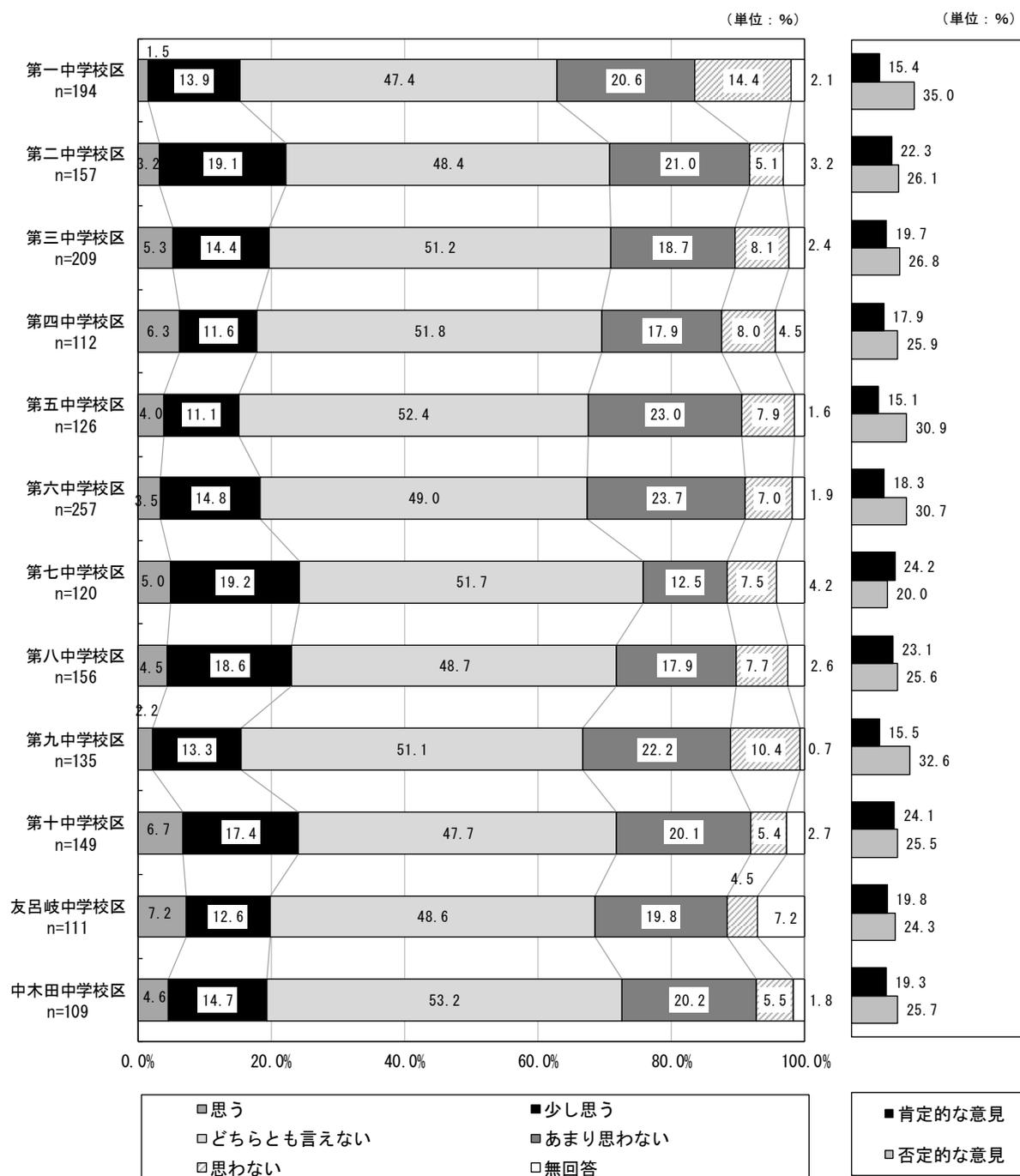
『否定的な意見』の割合は、30歳代、20歳代、50歳で高くなっている。



<中学校区別>

第七中学校区以外の中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第七中学校区で、次いで第十、第八中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第一、第九、第五中学校区で高くなっている。

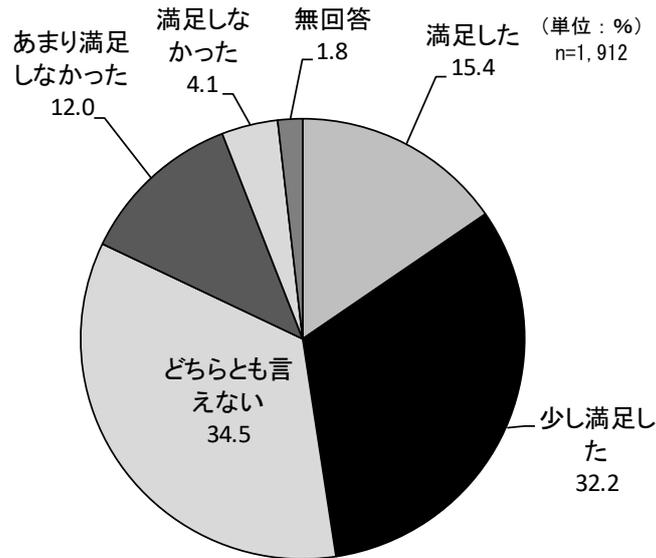


問 81 市役所やシティ・ステーションでの窓口対応に満足しましたか。

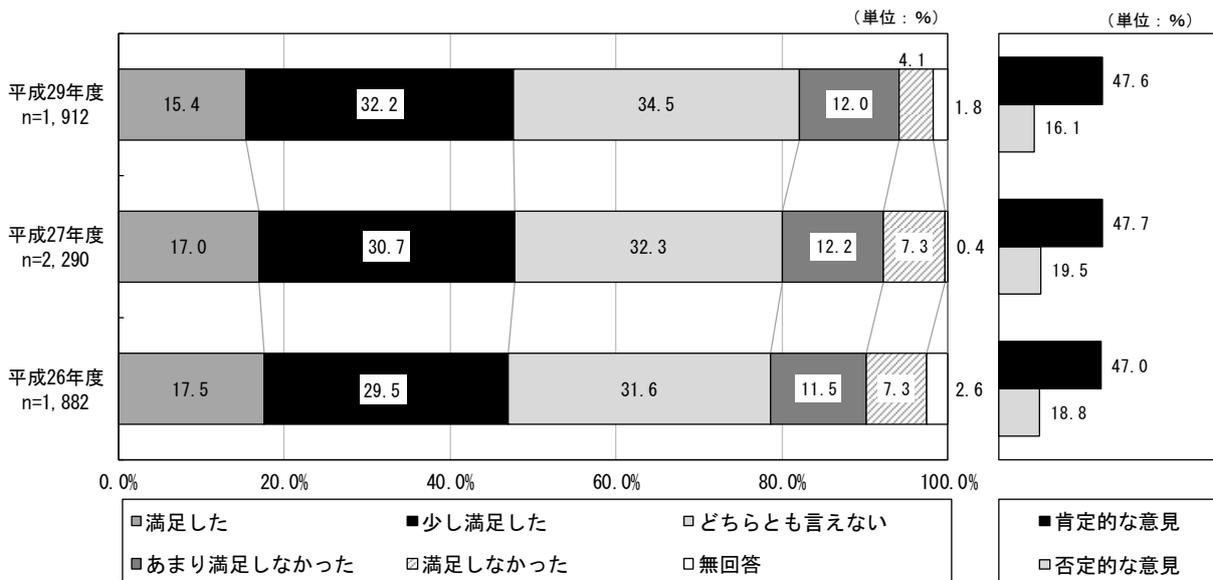
<全体>

「どちらとも言えない」が34.5%と最も高く、次いで「少し満足した」が32.2%、「満足した」が15.4%の順となっている。

「満足した」と「少し満足した」を合わせた『肯定的な意見』は47.6%、「あまり満足しなかった」と「満足しなかった」を合わせた『否定的な意見』は16.1%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



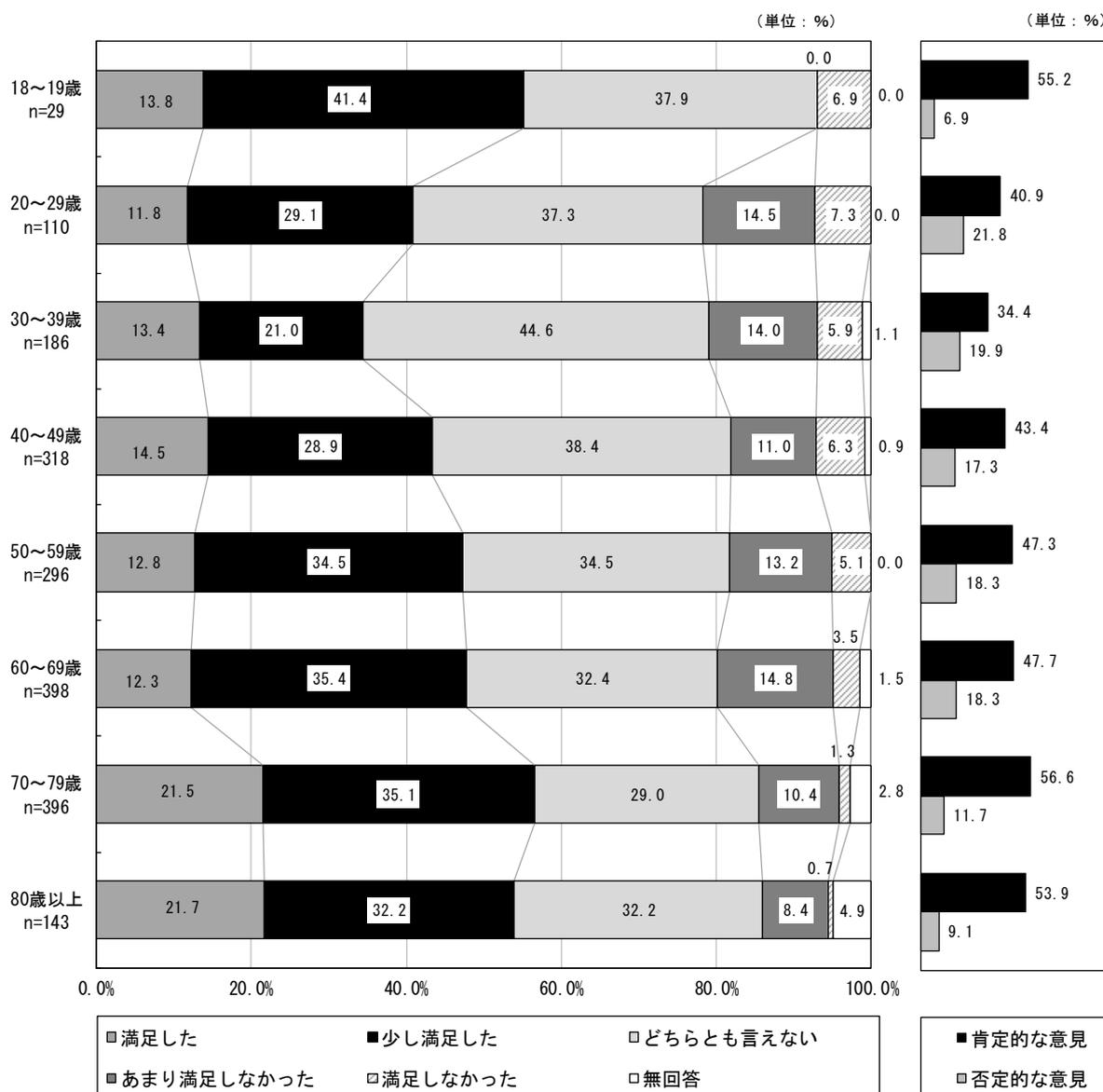
<年度別>



<年代別>

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは70歳代で、次いで10歳代、80歳以上の順となっている。

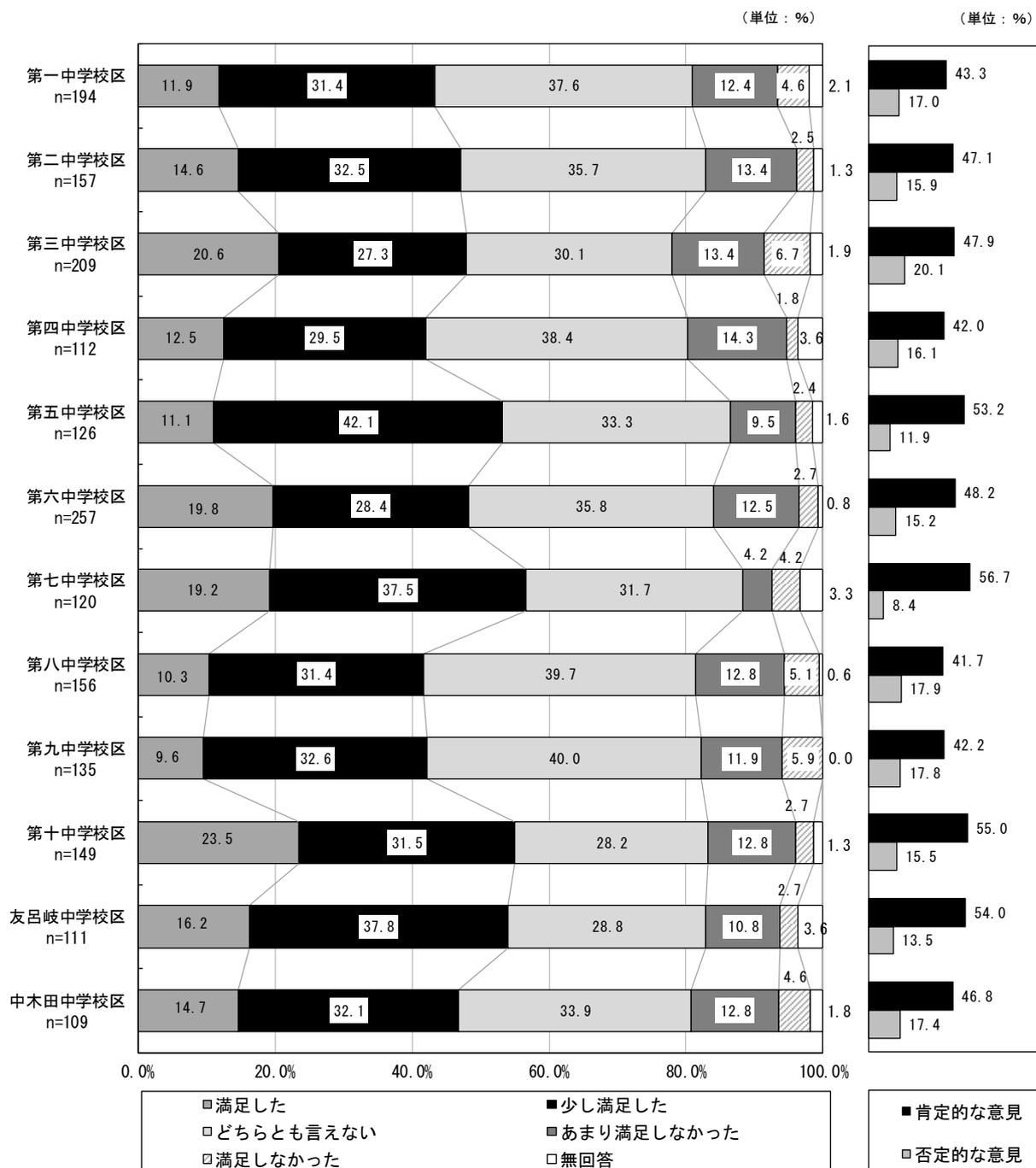
『否定的な意見』の割合は、20歳代、30歳代、50歳代、60歳代で高くなっている。



<中学校区別>

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第七中学校区で、次いで第十、友呂岐中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第三、第八、第九中学校区で高くなっている。

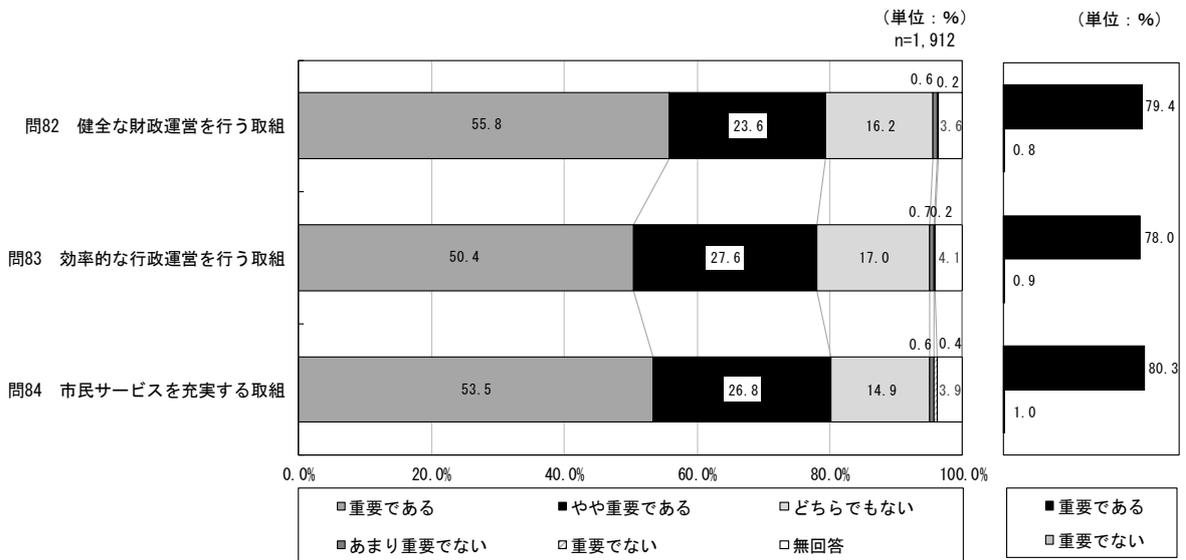


② 「自治経営」の施策についての重要度と満足度

問 82～問 84 現在、寝屋川市が取り組んでいる「自治経営」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

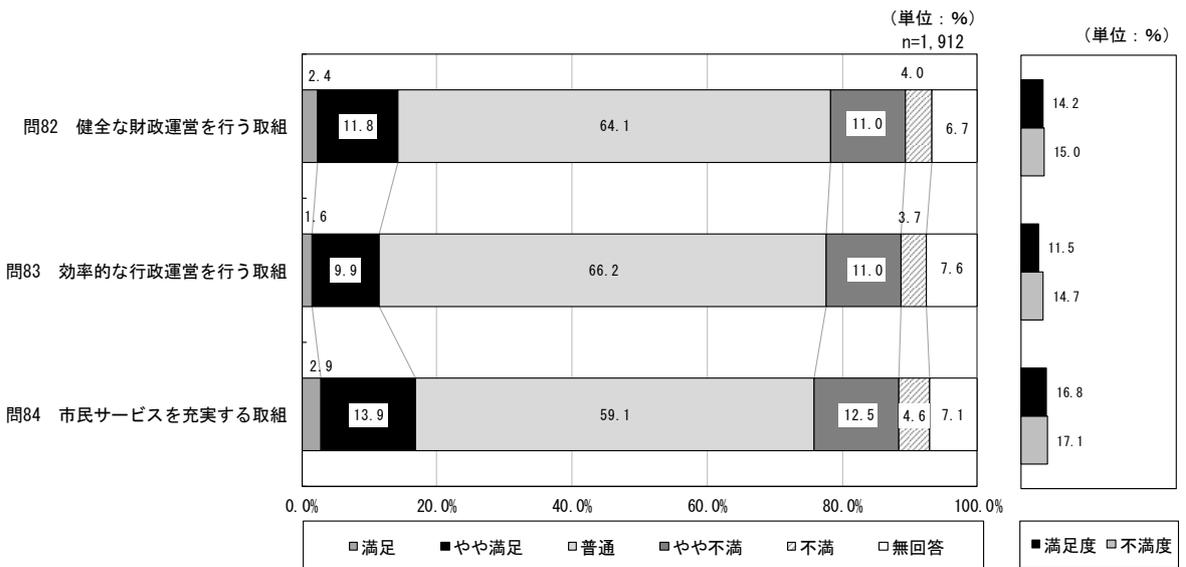
<重要度>

『自治経営』の施策において、重要度が最も高いのは「市民サービスを充実する取組」で、「健全な財政運営を行う取組」が続いている。



<満足度>

『自治経営』の施策において、満足度、不満度共に「市民サービスを充実する取組」が最も高くなっている。



9 『シティプロモーション』について

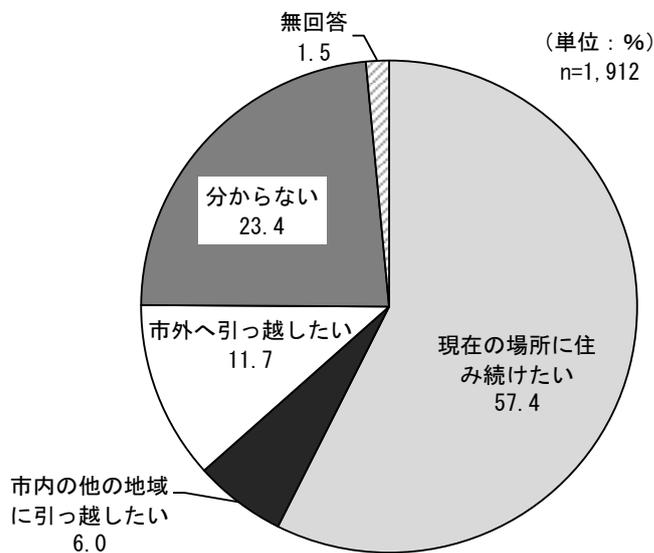
①「寝屋川市」について

問 85 あなたは、現在住んでいるところに、これからも住み続けたいと思いますか。

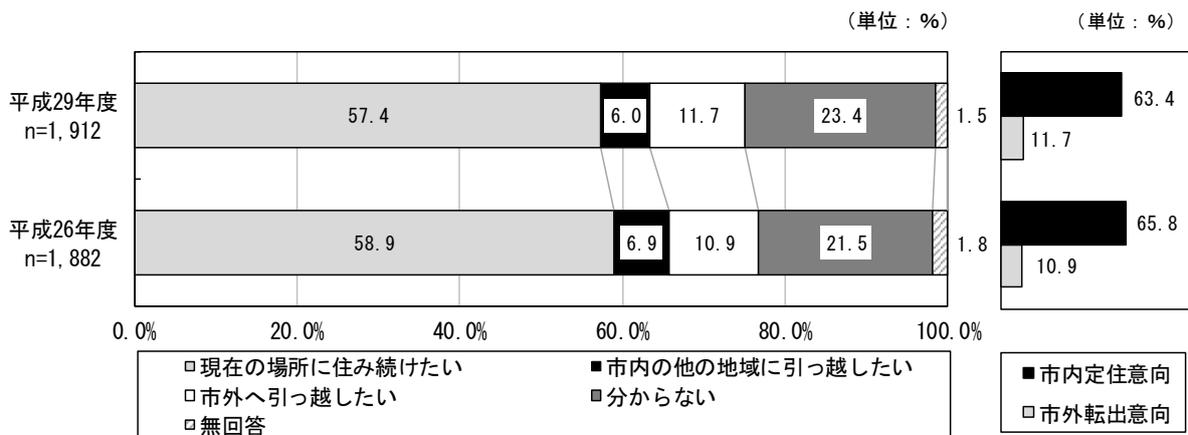
<全体>

「現在の場所に住み続けたい」が 57.4%と最も高く、次いで「分からない」が 23.4%、「市外へ引っ越したい」が 11.7%の順となっている。

「現在の場所に住み続けたい」と「市内の他の地域に引っ越したい」を合わせた『市内定住意向』は 63.4%、「市外へ引っ越したい」の『市外転出意向』は 11.7%となっており、『市内定住意向』が『市外転出意向』を上回っている。



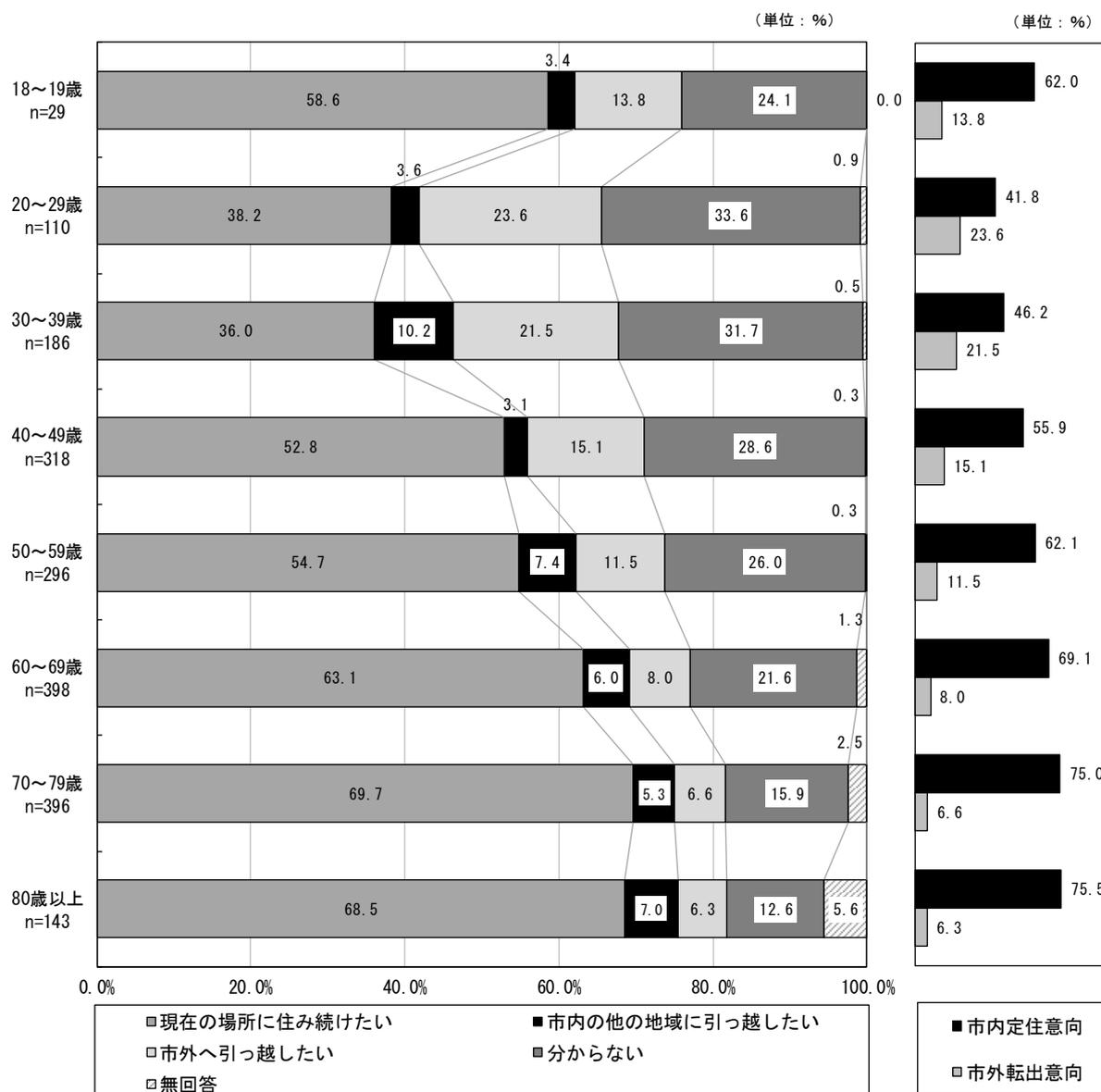
<年度別>



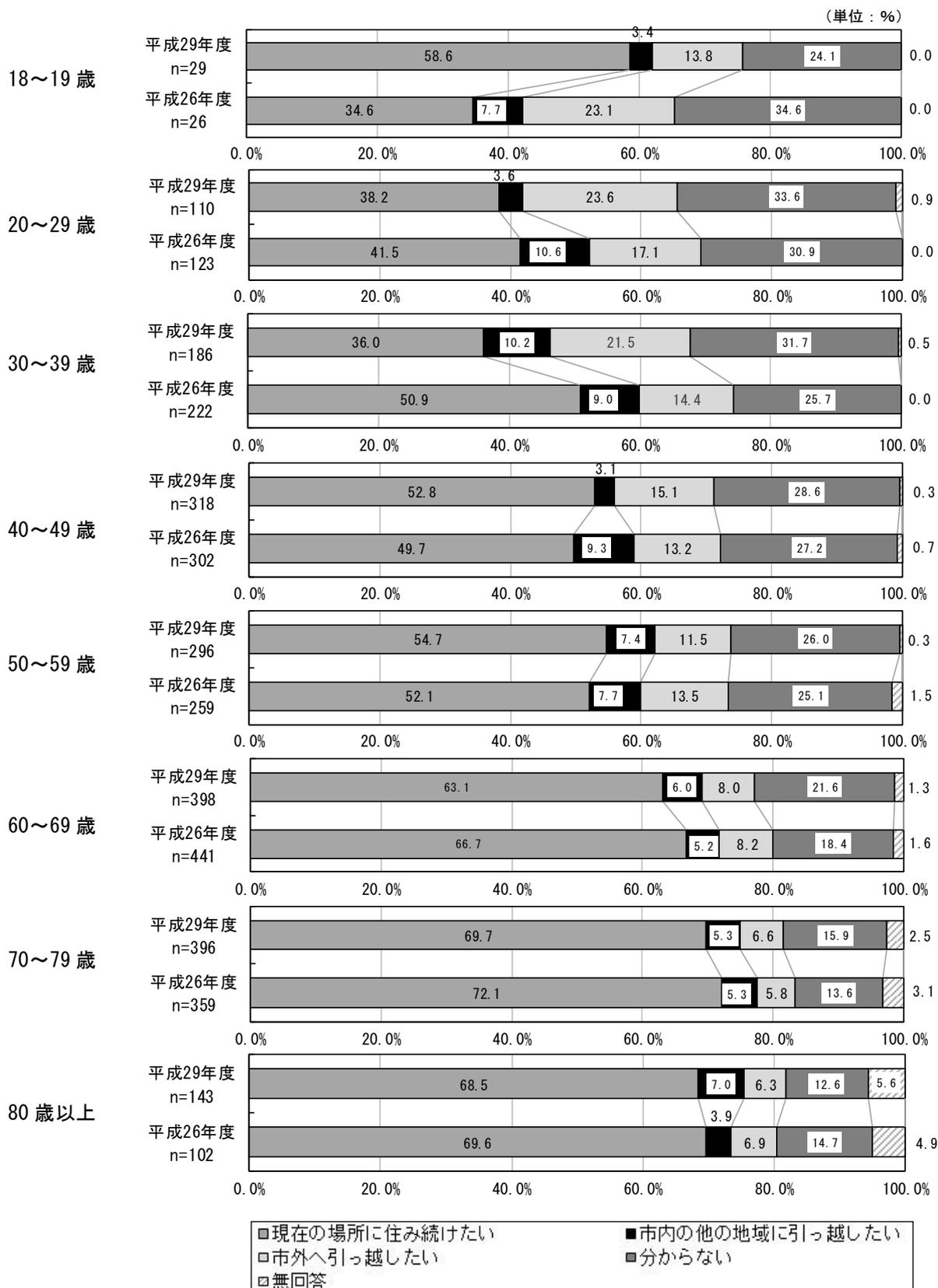
<年代別>

全ての年代において『市内定住意向』が『市外転出意向』を上回っており、『市内定住意向』の割合が最も高いのは80歳以上で、次いで70歳代、60歳代の順となっている。

『市外転出意向』の割合は、20歳代、30歳代、40歳代で高くなっている。



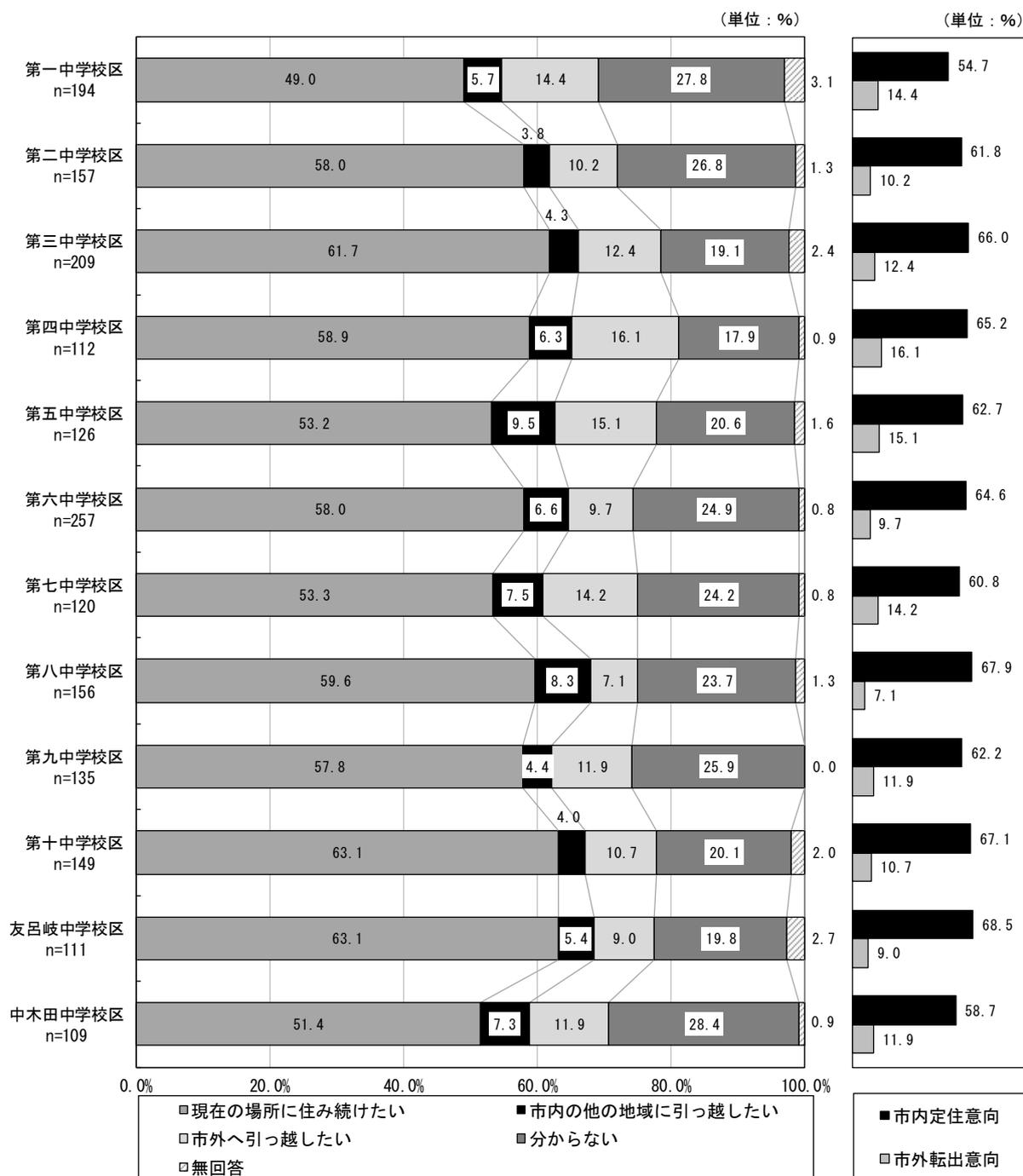
平成 26 年度の調査と比較すると、『現在の場所に住み続けたい』の割合は、10 歳代、40 歳代、50 歳代で増加している。また、『市外へ引っ越したい』の割合は、20 歳代、30 歳代、40 歳代、70 歳代で増加している。



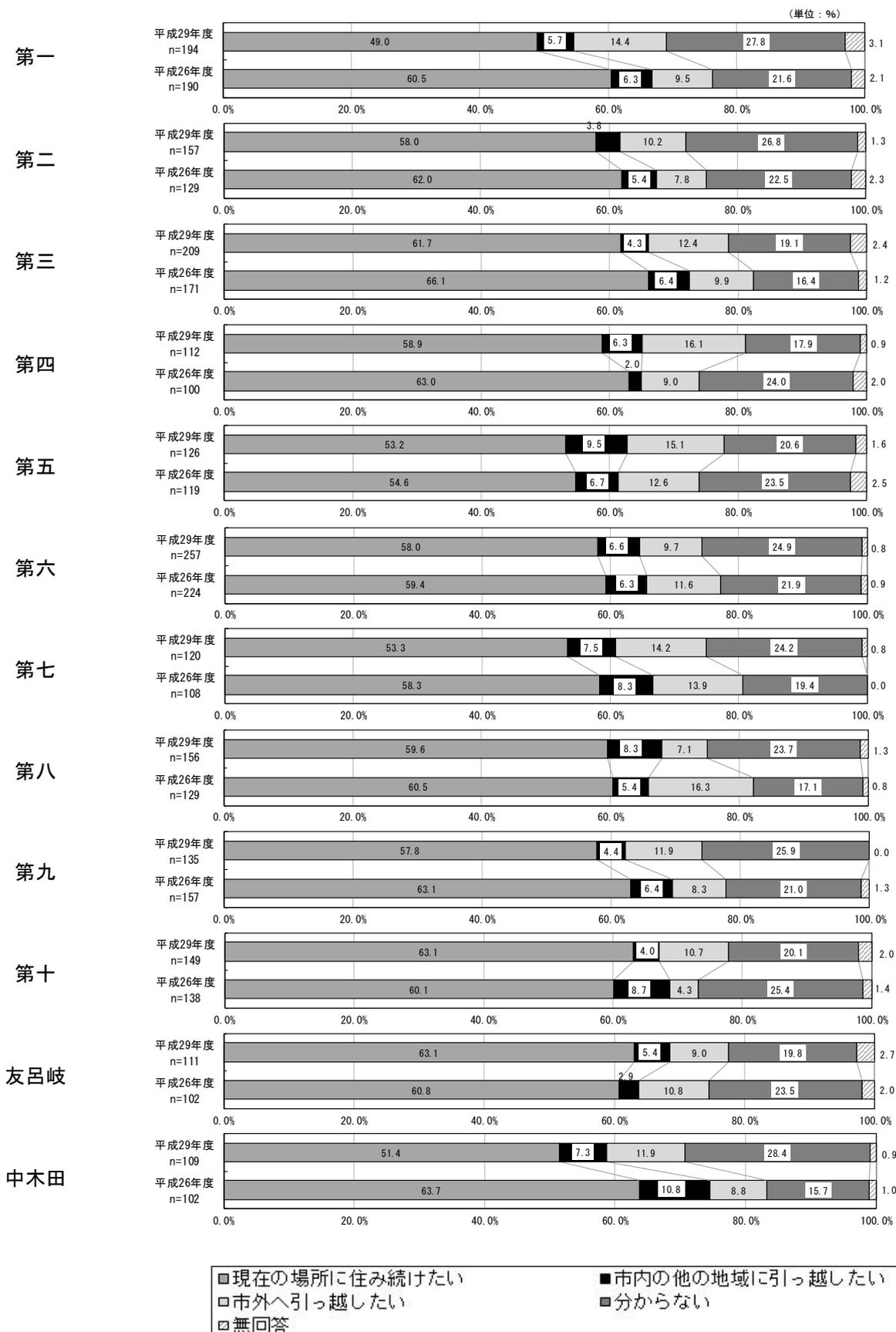
<中学校区別>

全ての中学校区において『市内定住意向』が『市外転出意向』を上回っており、『市内定住意向』の割合が最も高いのは友呂岐中学校区で、次いで第八、第十中学校区の順となっている。

『市外転出意向』の割合は、第四、第五、第一中学校区で高くなっている。



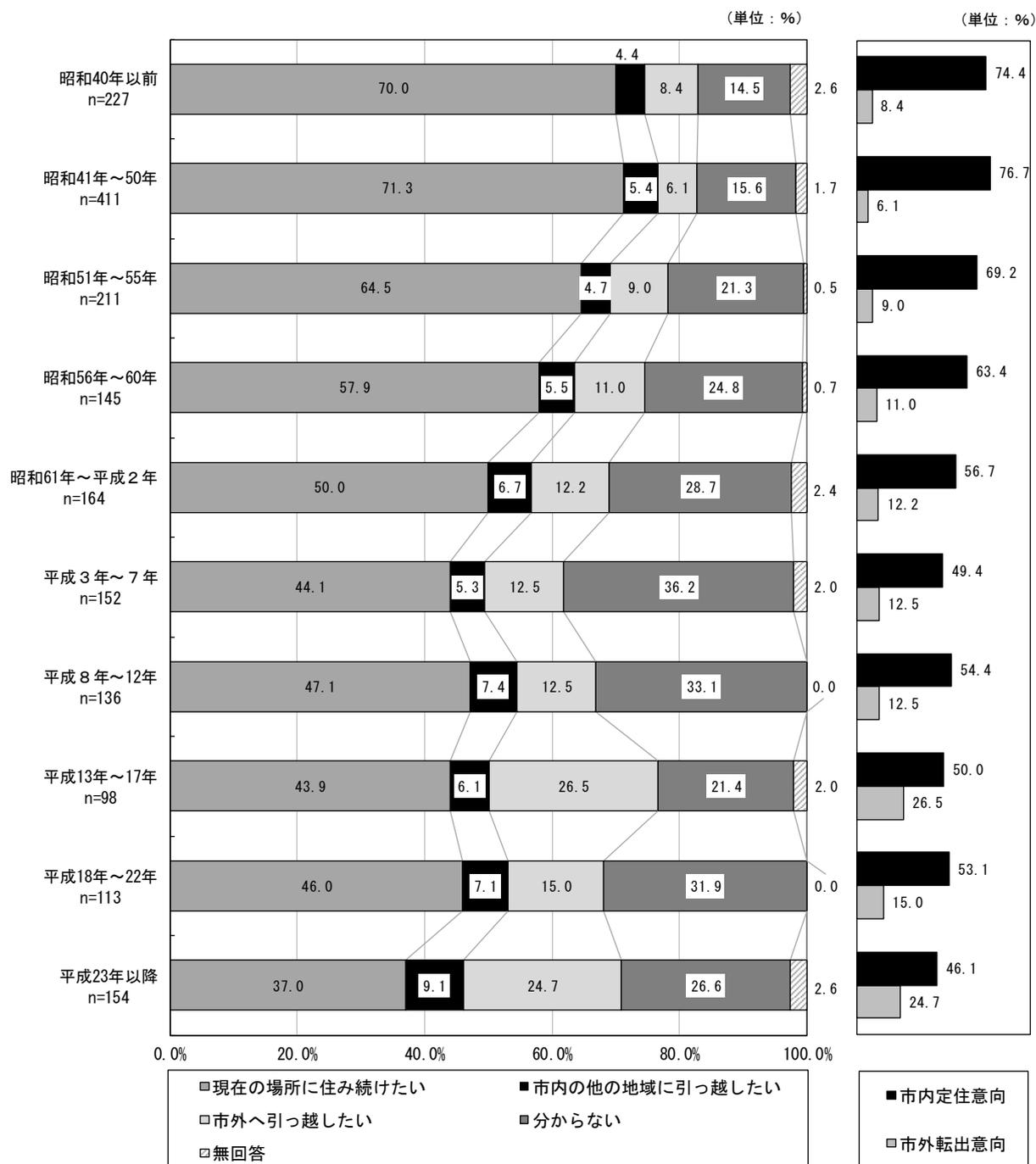
平成26年度の調査と比較すると、『現在の場所に住み続けたい』の割合は、第十、友呂岐中学校区以外の中学校区で減少している。また、『市外へ引っ越したい』の割合は、第六、第八、友呂岐中学校区以外の中学校区で増加している。



<居住時期別>

全ての居住時期において『市内定住意向』が『市外転出意向』を上回っており、『市内定住意向』の割合が最も高いのは「昭和41年～50年」で、次いで「昭和40年以前」「昭和51年～55年」の順となっている。

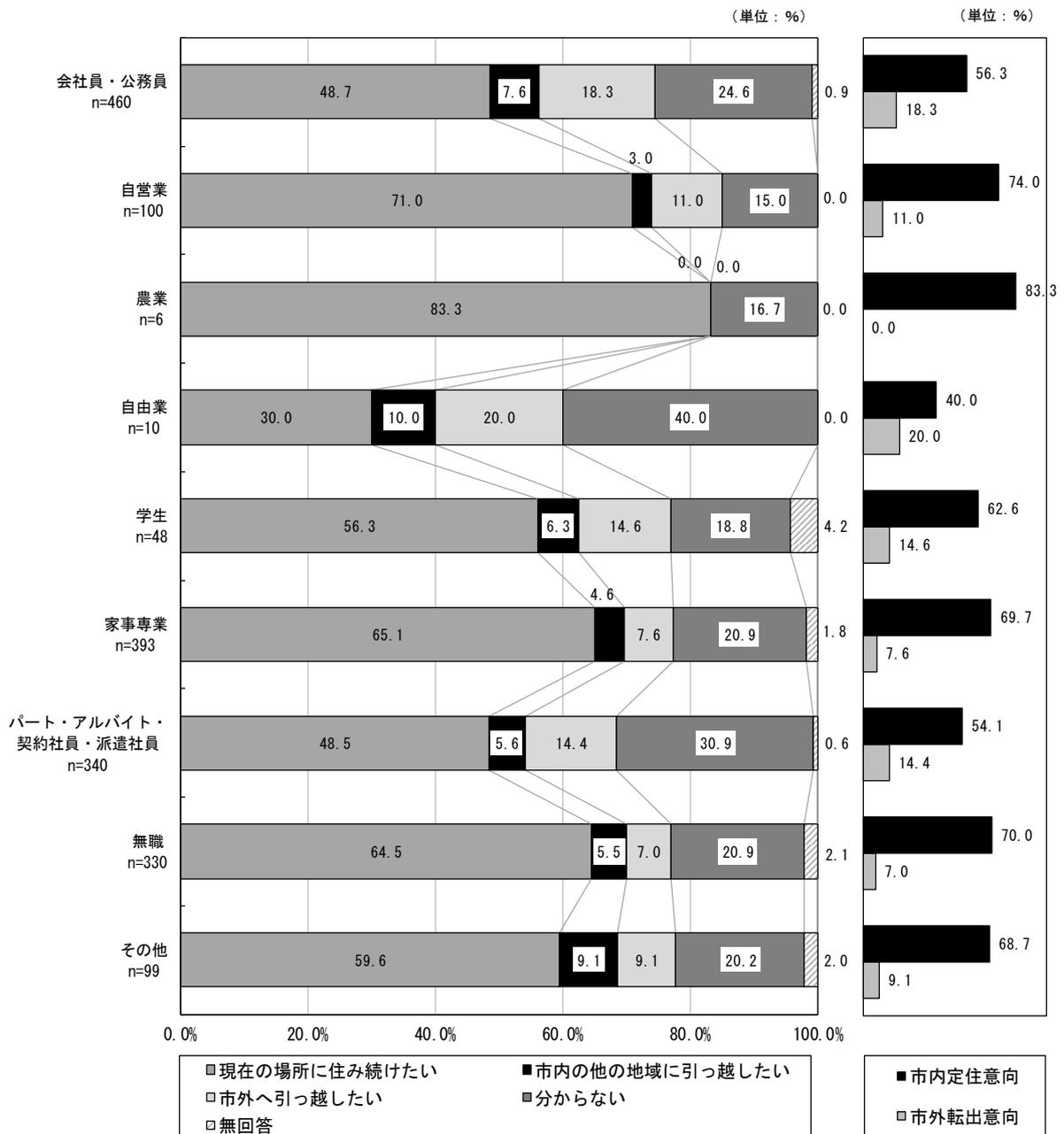
『市外転出意向』の割合は、「平成13年～17年」「平成23年以降」「平成18年～22年」で高くなっている。



<職業別>

全ての職種において『市内定住意向』が『市外転出意向』を上回っており、『市内定住意向』の割合が最も高いのは「農業」で、次いで「自営業」「無職」の順となっている。

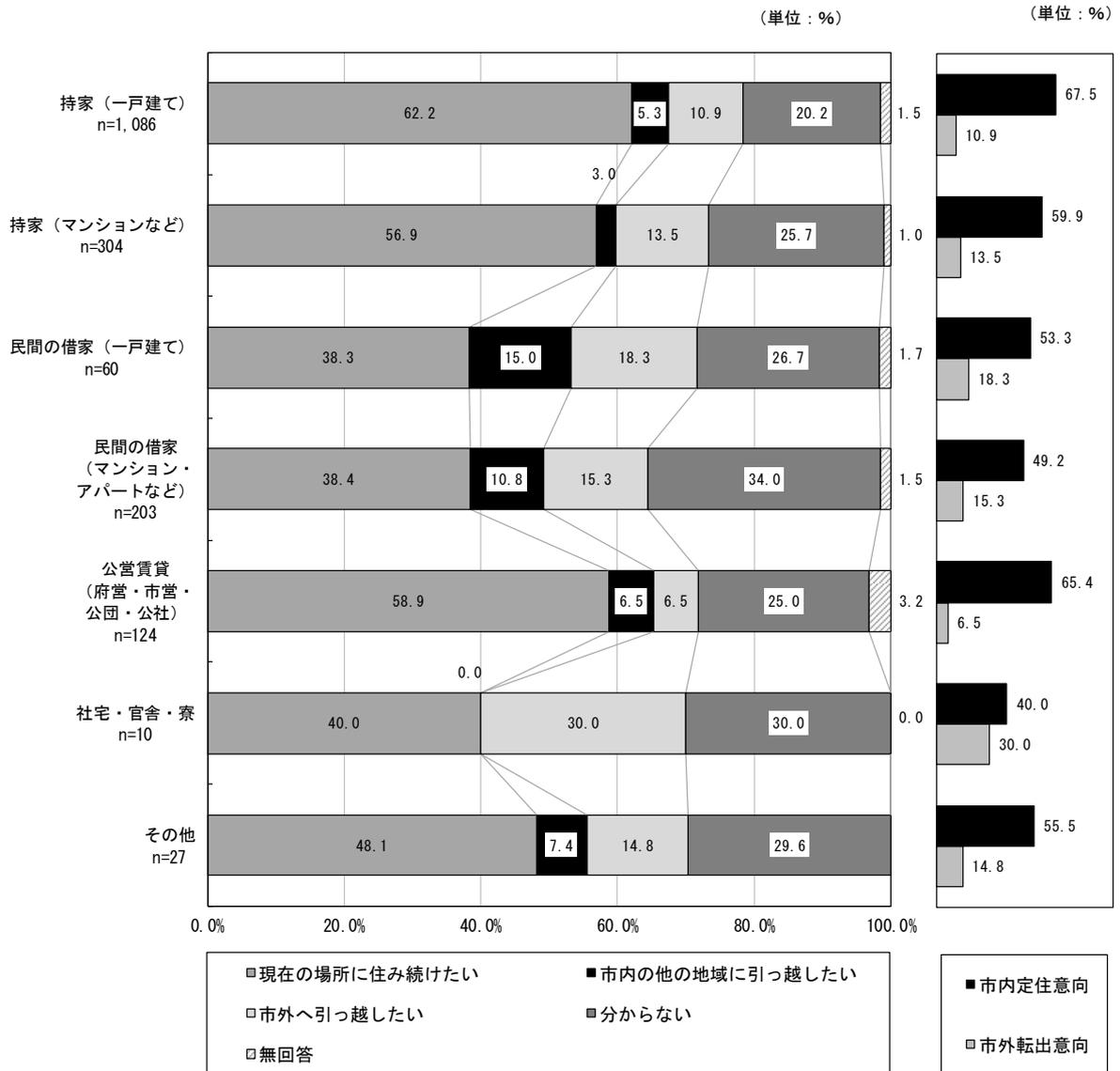
『市外転出意向』の割合は、「自由業」「会社員・公務員」「学生」で高くなっている。



<住宅形態別>

全ての住宅形態において『市内定住意向』が『市外転出意向』を上回っており、『市内定住意向』の割合が最も高いのは「持家（一戸建て）」で、次いで「公営賃貸（府営・市営・公団・公社）」「持家（マンションなど）」の順となっている。

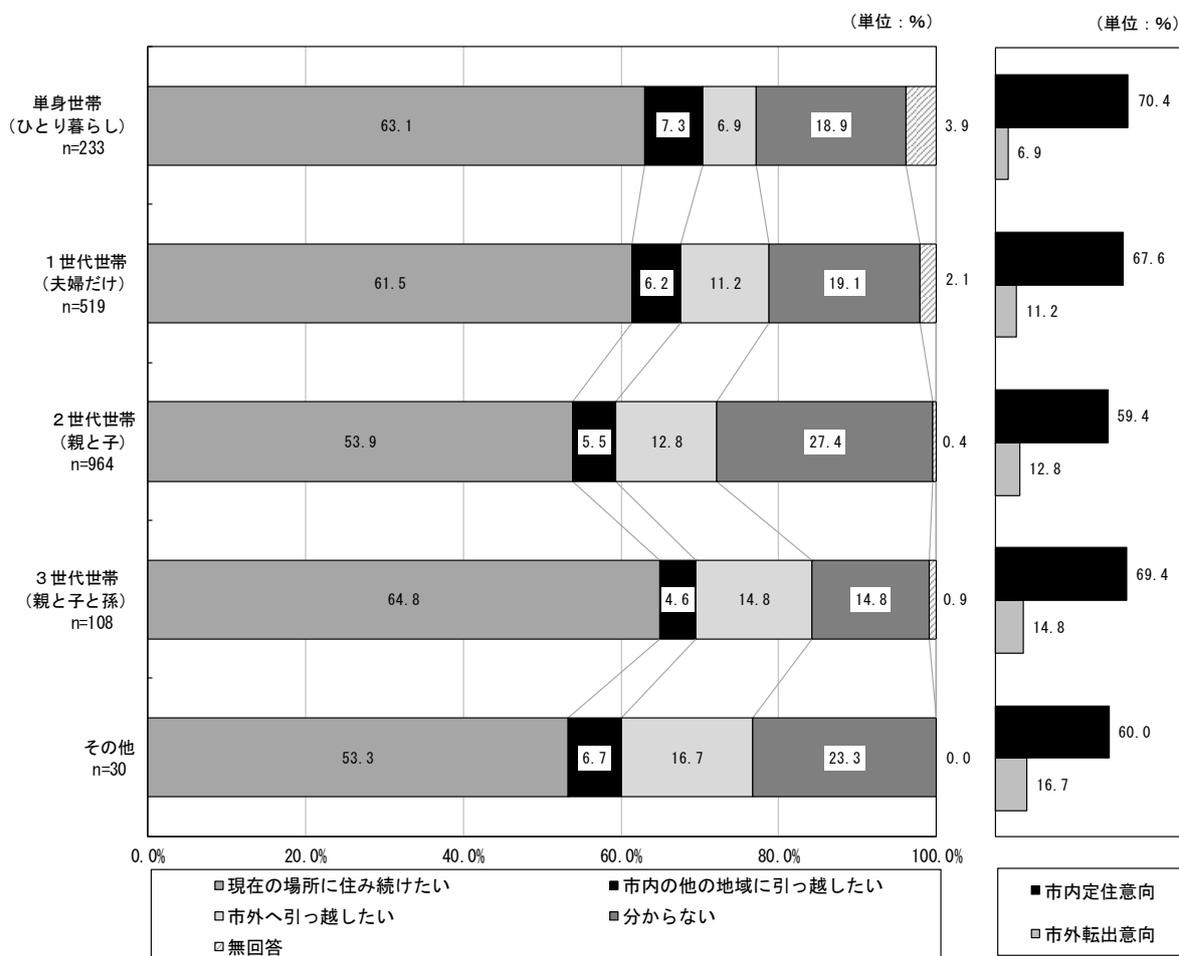
『市外転出意向』の割合は、「社宅・官舎・寮」「民間の借家（一戸建て）」「民間の借家（マンション・アパートなど）」で高くなっている。



<家族構成別>

全ての家族構成において『市内定住意向』が『市外転出意向』を上回っており、『市内定住意向』の割合が最も高いのは「単身世帯（ひとり暮らし）」で、次いで「3世代世帯（親と子と孫）」「1世代世帯（夫婦だけ）」の順となっている。

『市外転出意向』の割合は、「その他」「3世代世帯（親と子と孫）」「2世代世帯（親と子）」で高くなっている。



問 86 「現在の場所に住み続けたい」と答えた人にお聞きします。それはどのような理由からですか。当てはまるものに○を付けてください。（○は3つまで）

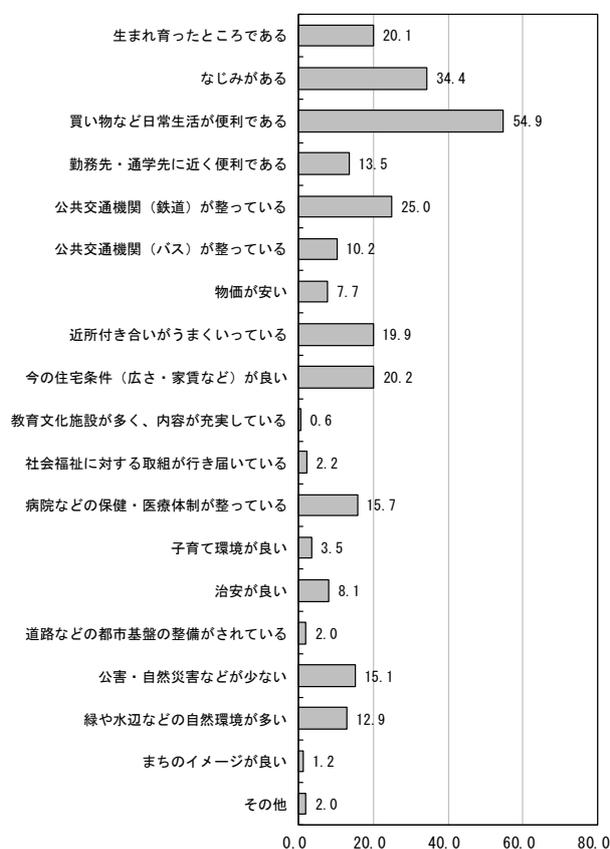
<全体>

「買い物など日常生活が便利である」が54.9%と最も高く、次いで「なじみがある」が34.4%、「公共交通機関（鉄道）が整っている」が25.0%の順となっている。

平成26年度の調査と比較すると、「生まれ育ったところである」「今の住宅条件（広さ・家賃など）が良い」「病院などの保健・医療体制が整っている」などで割合が増加している。また、「なじみがある」などで割合が減少している。

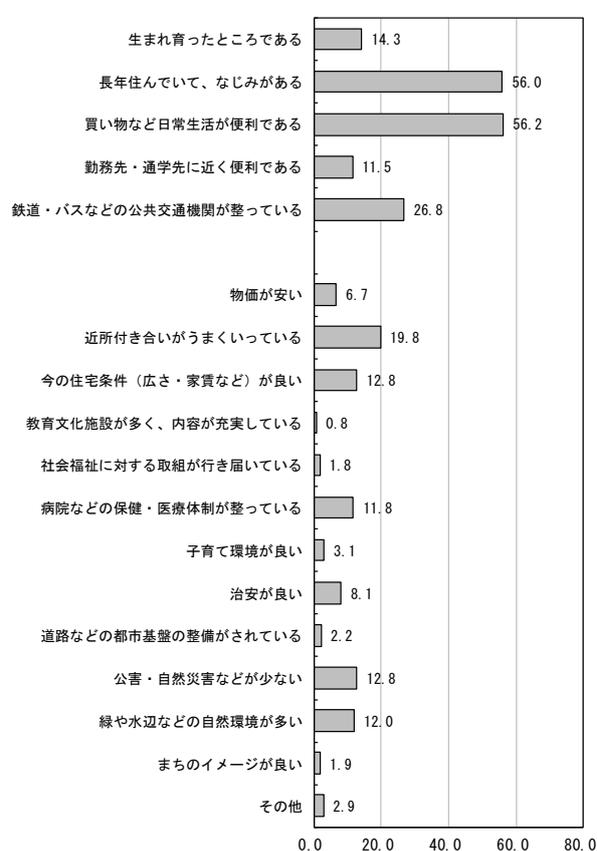
・平成29年度

(単位：%)
n=1,098



・平成26年度

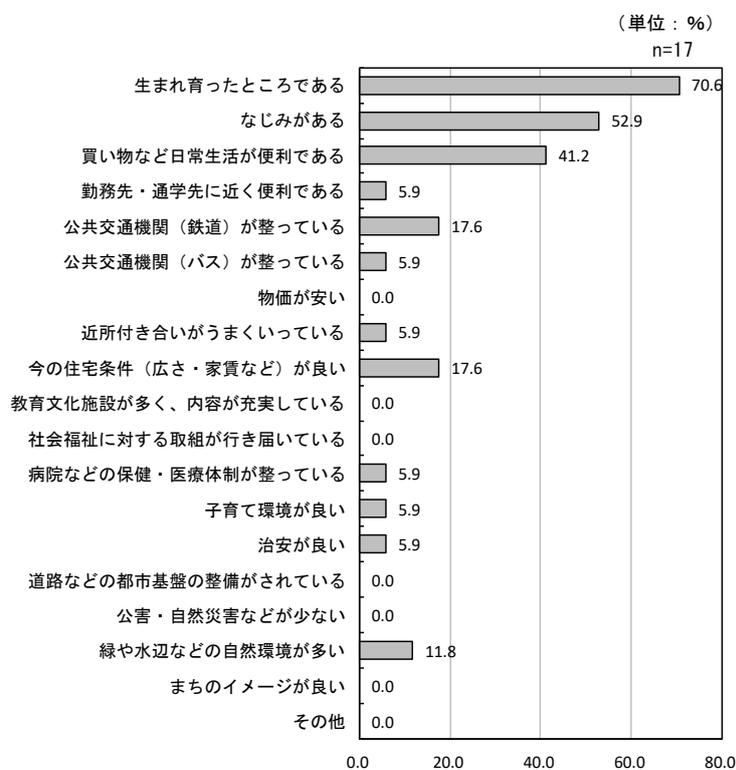
(単位：%)
n=1,108



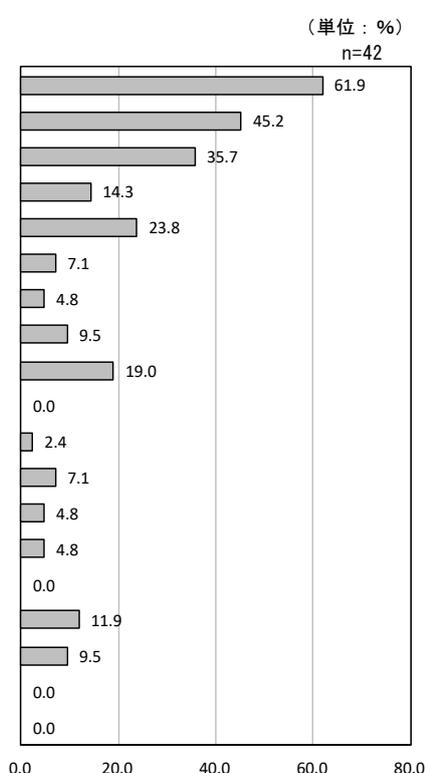
<年代別>

10歳代、20歳代において「生まれ育ったところである」が、30歳代以上の年代で「買い物など日常生活が便利である」が、最も高くなっている。

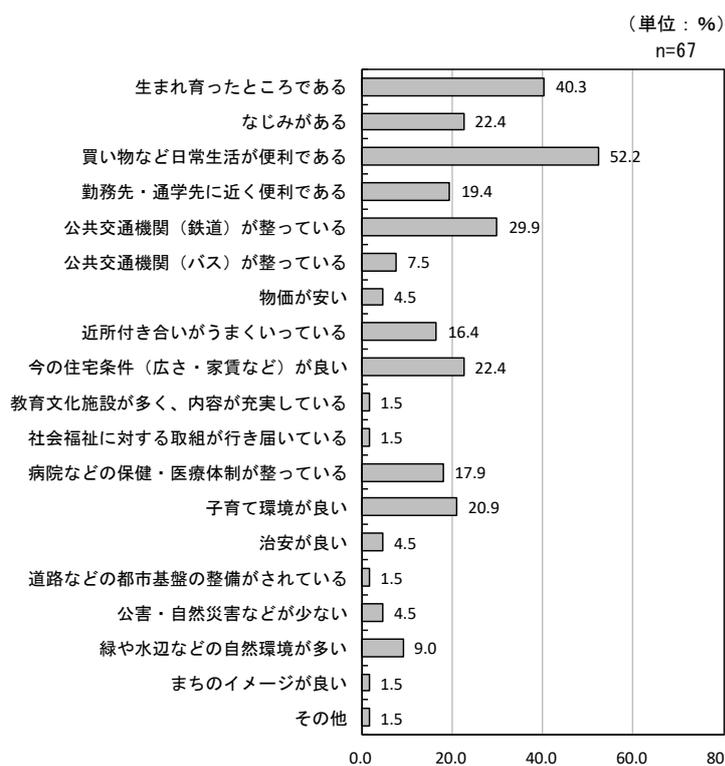
18～19歳（10歳代）



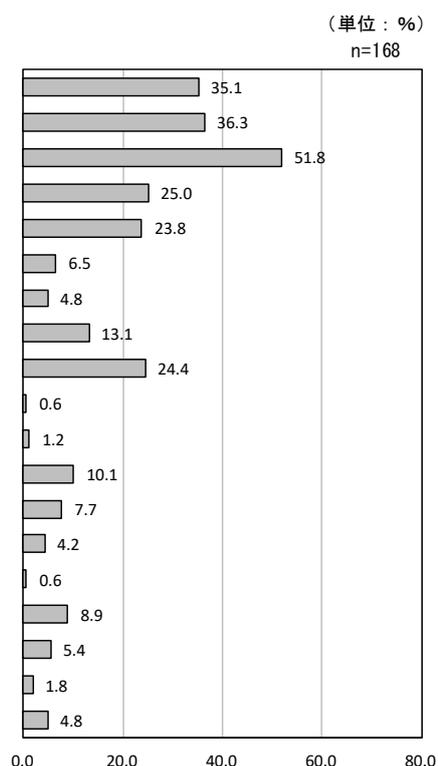
20～29歳（20歳代）



30～39歳（30歳代）

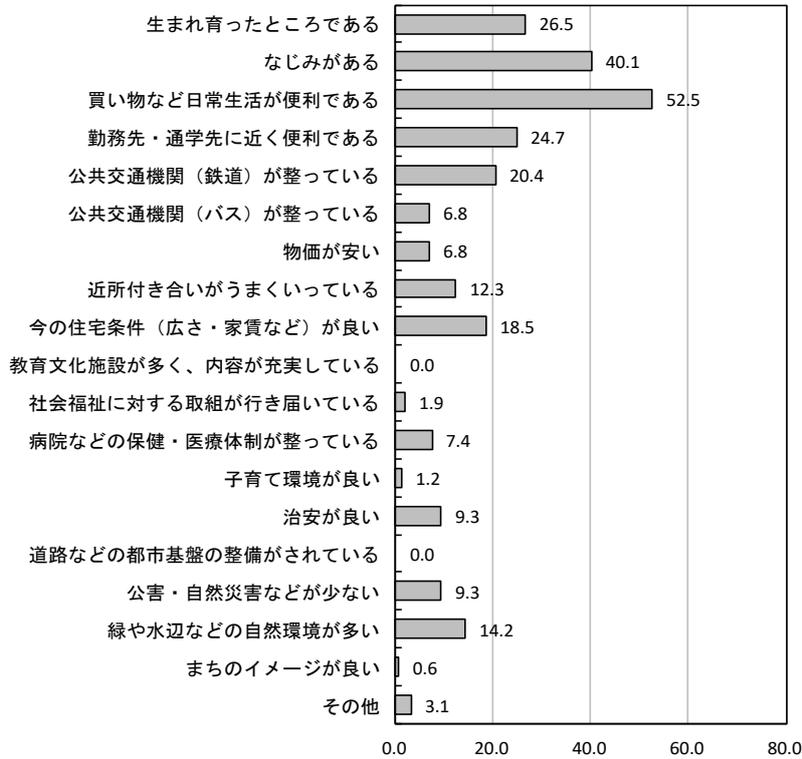


40～49歳（40歳代）



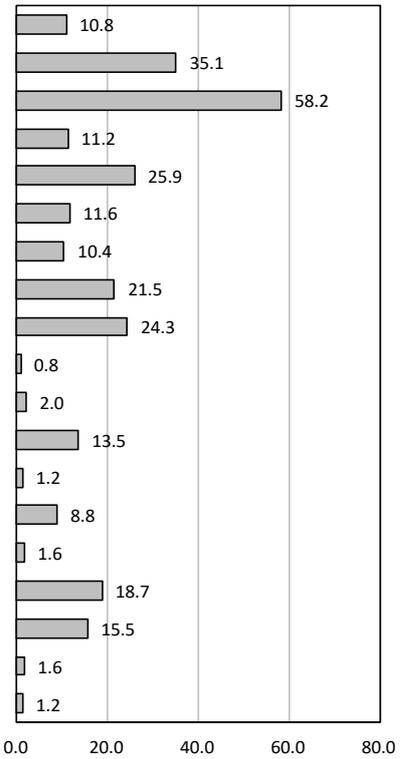
50～59 歳（50 歳代）

(単位：%)
n=162



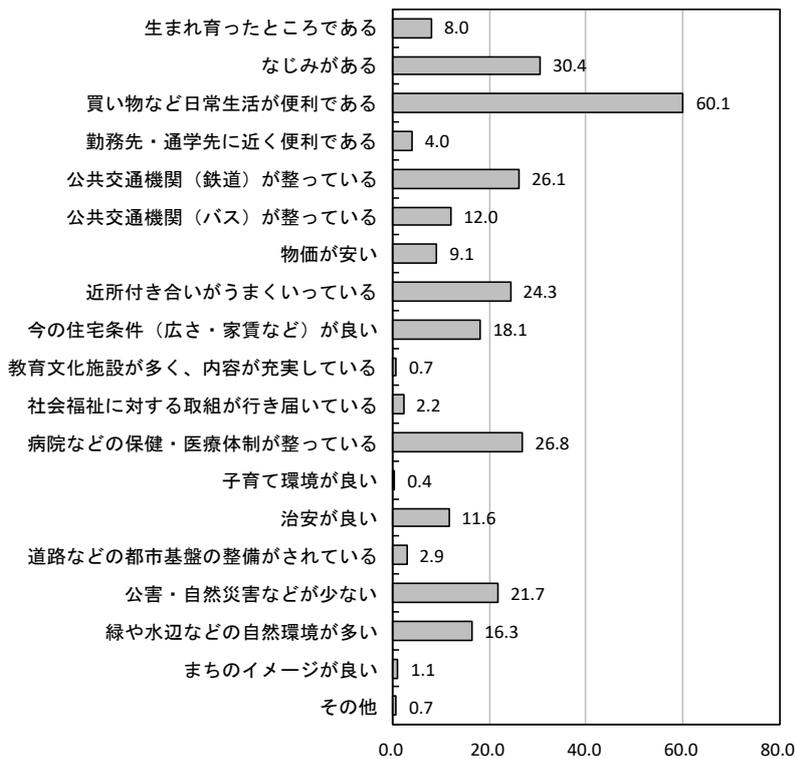
60～69 歳（60 歳代）

(単位：%)
n=251



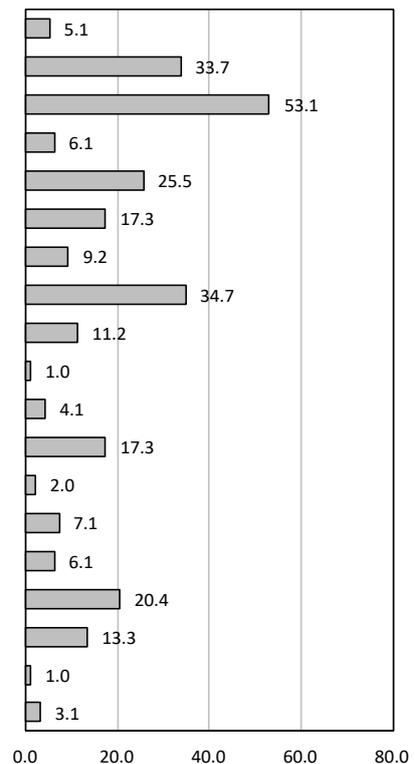
70～79 歳（70 歳代）

(単位：%)
n=276



80 歳以上

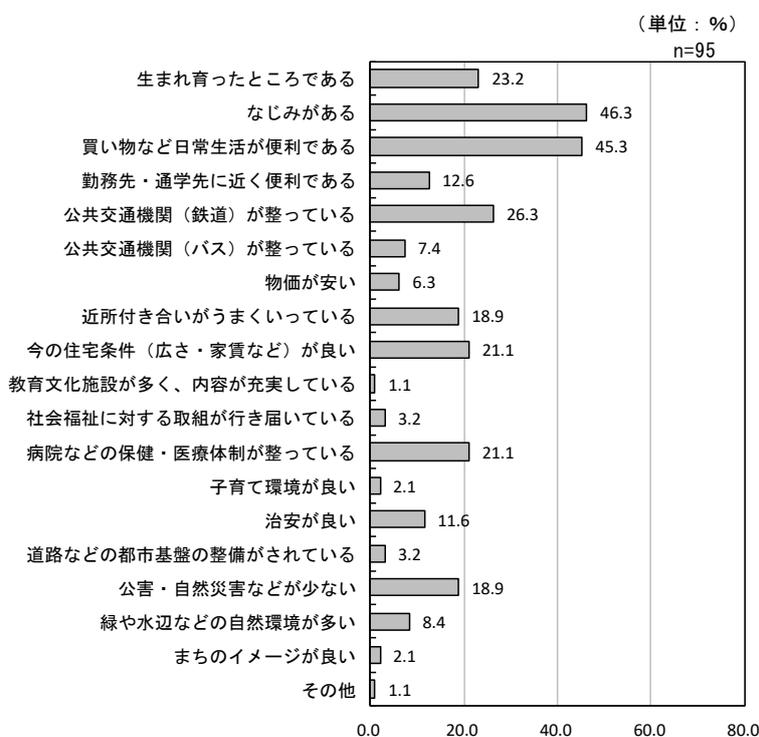
(単位：%)
n=98



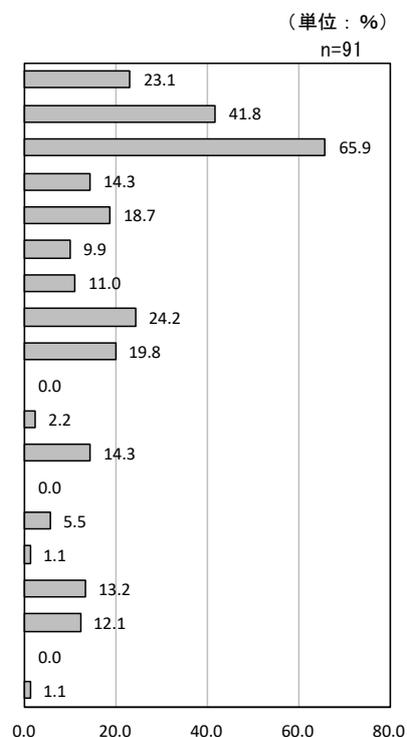
<中学校区別>

第一中学校区以外の中学校区において「買い物など日常生活が便利である」が、最も高くなっている。第一中学校区においては「なじみがある」が、最も高くなっている。

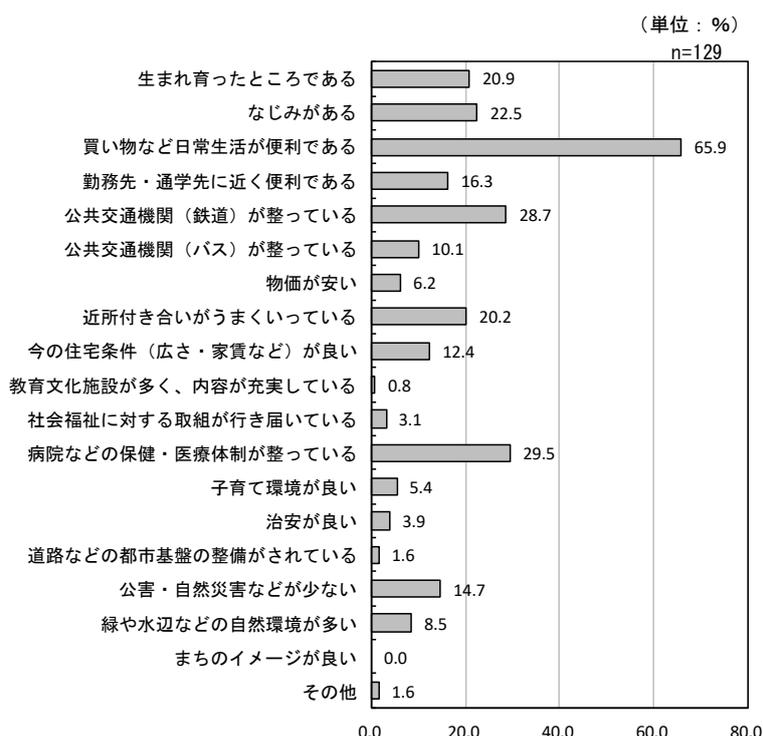
第一中学校区



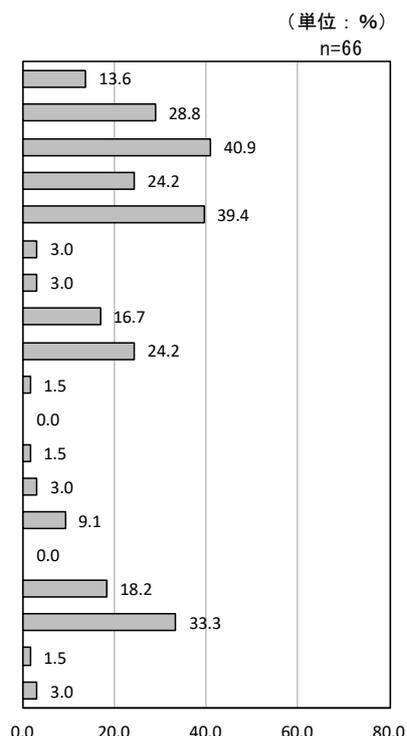
第二中学校区



第三中学校区

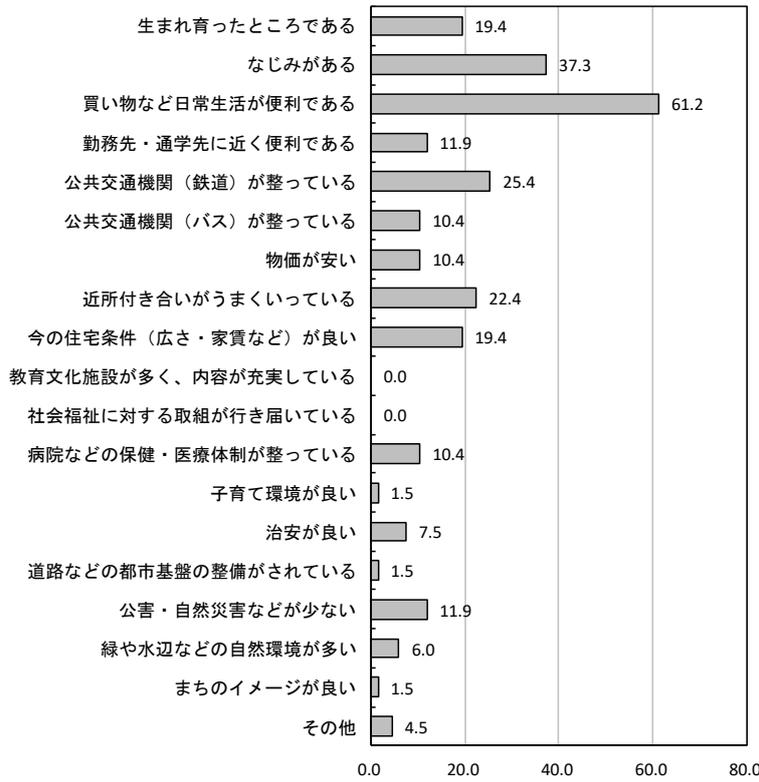


第四中学校区



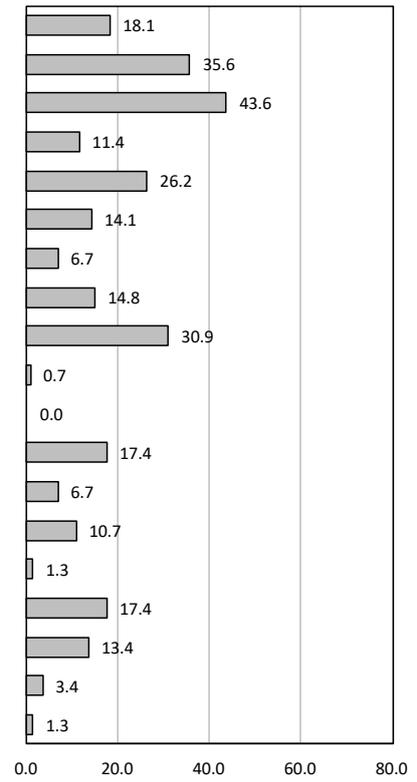
第五中学校区

(単位：%)
n=67



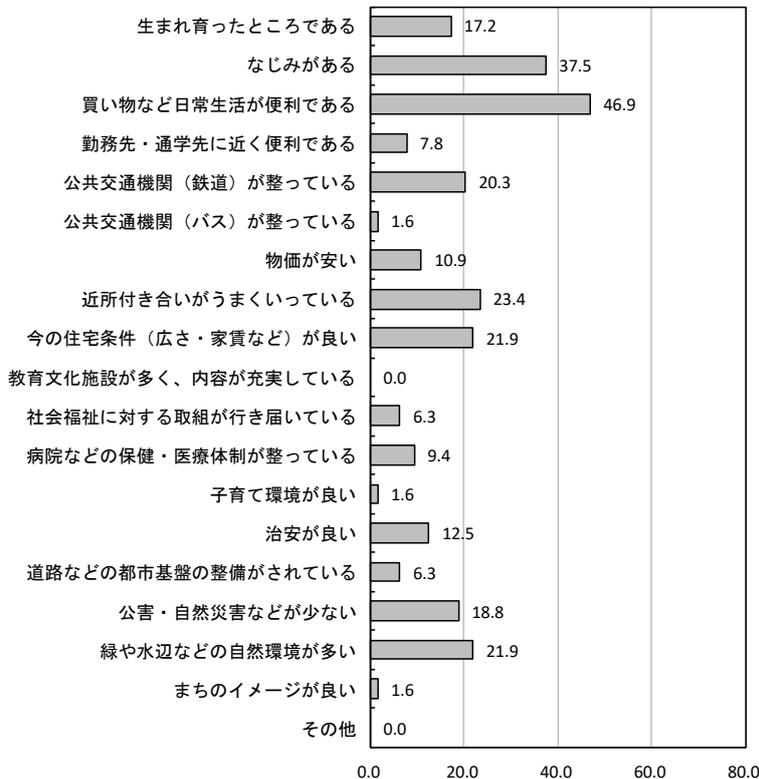
第六中学校区

(単位：%)
n=149



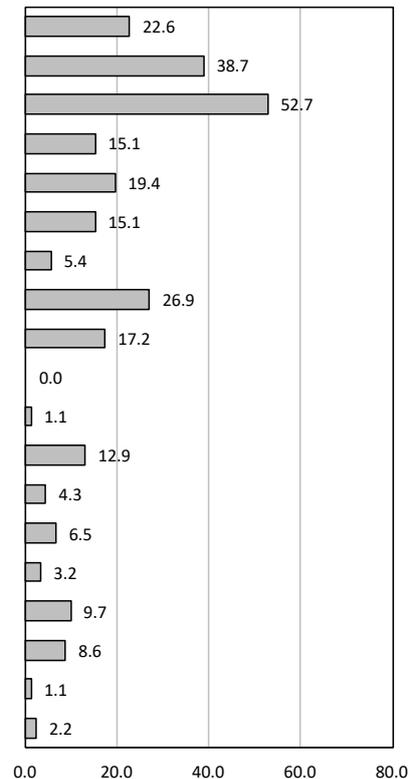
第七中学校区

(単位：%)
n=64



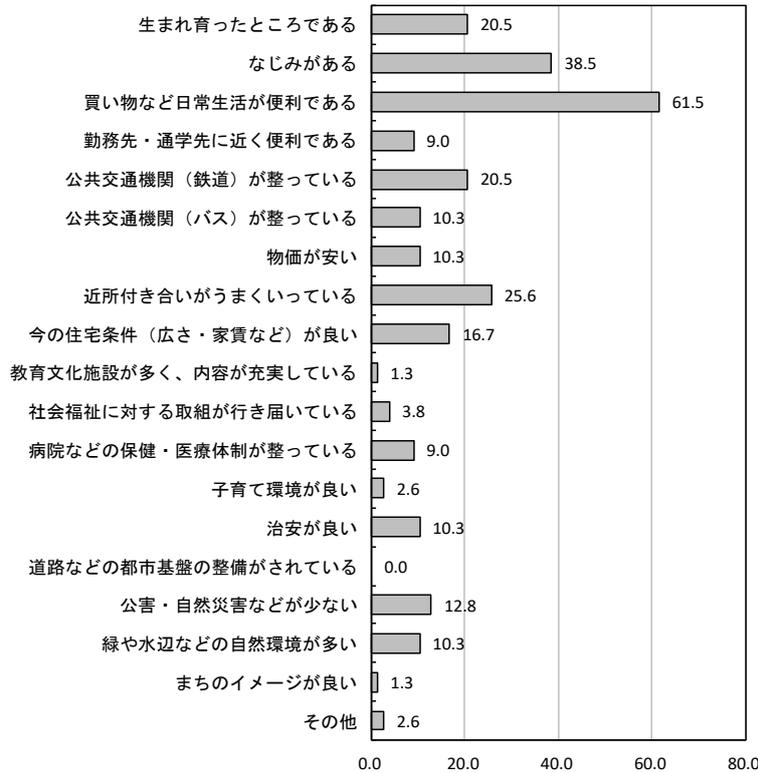
第八中学校区

(単位：%)
n=93



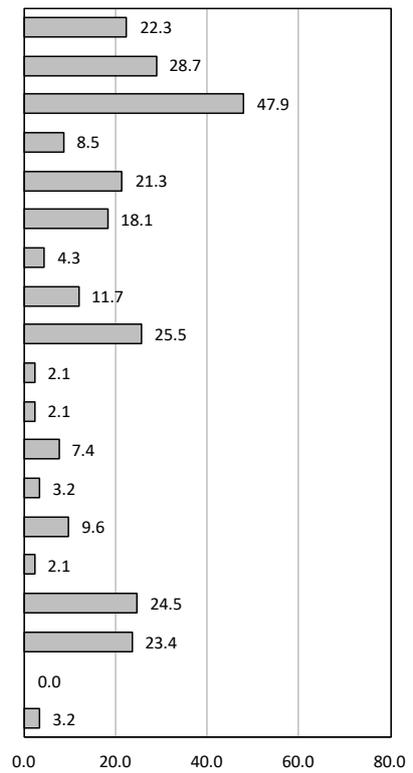
第九中学校区

(単位：%)
n=78



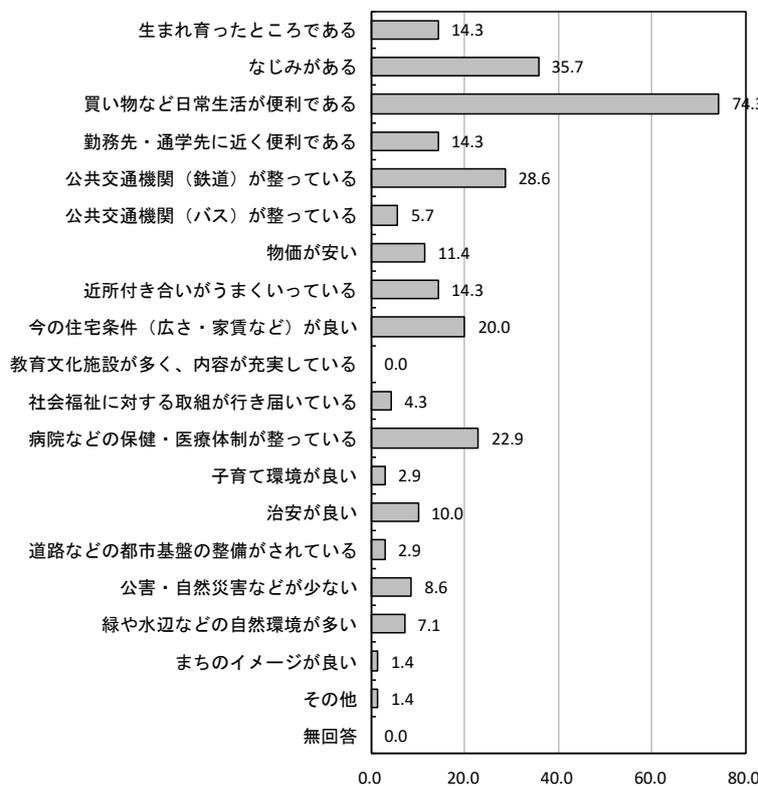
第十中学校区

(単位：%)
n=94



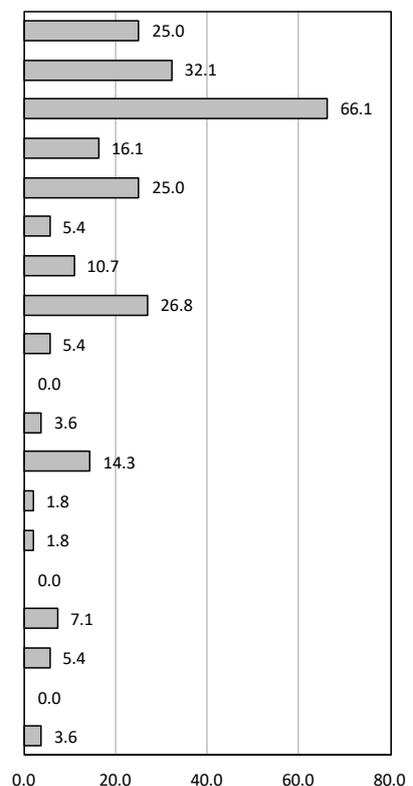
友呂岐中学校区

(単位：%)
n=70



中木田中学校区

(単位：%)
n=56



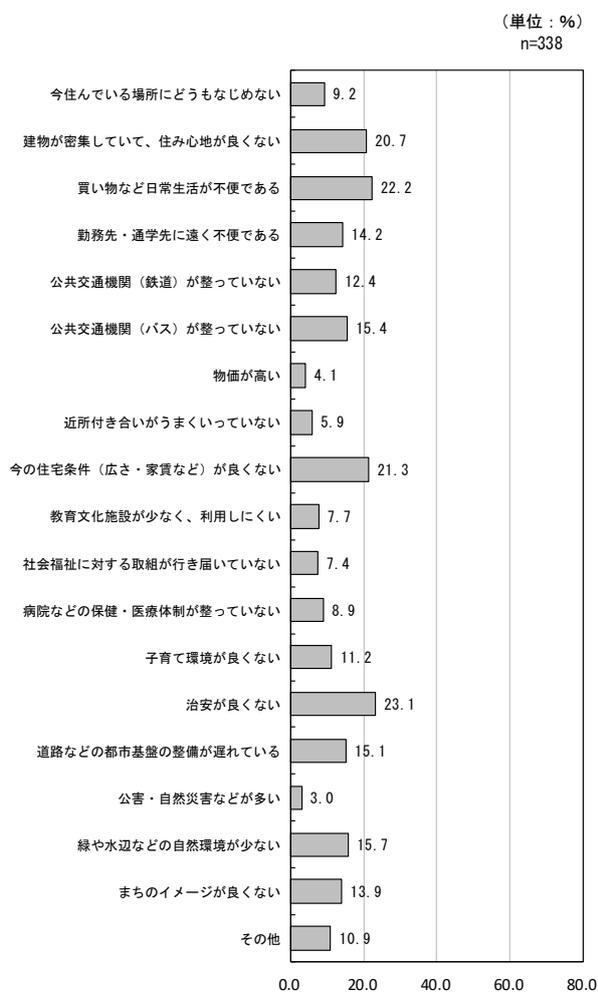
問 87 「市内の他の地域に引っ越したい」又は「市外へ引っ越したい」と答えた人にお聞きします。それはどのような理由からですか。当てはまるものに○を付けてください。（○は3つまで）

<全体>

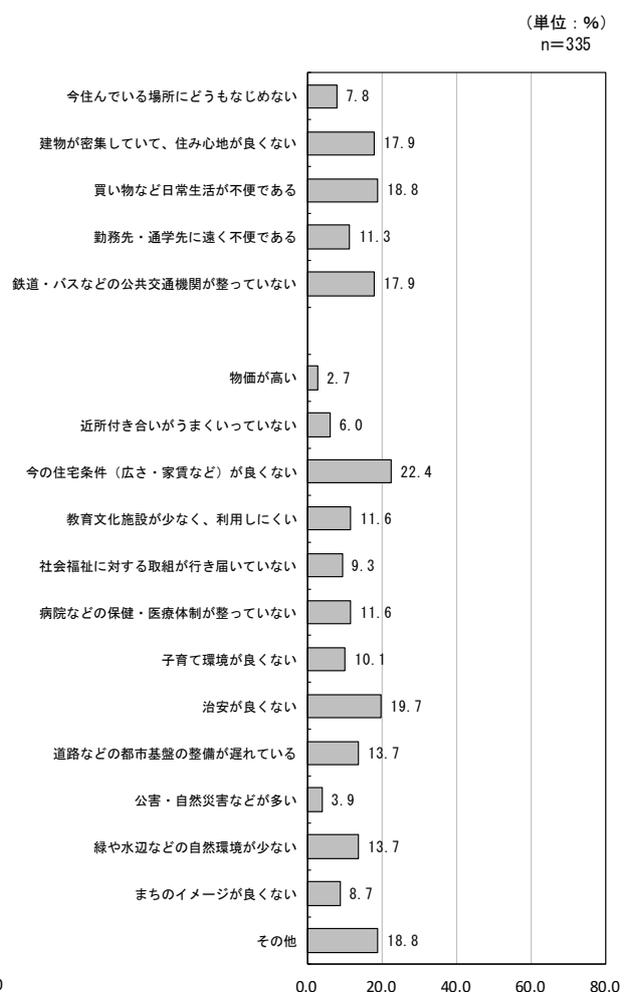
「治安が良くない」が23.1%と最も高く、次いで「買い物など日常生活が不便である」が22.2%、「今の住宅条件（広さ・家賃など）が良くない」が21.3%の順となっている。

平成26年度の調査と比較すると、「建物が密集していて、住み心地が良くない」「買い物など日常生活が不便である」「治安が良くない」「まちのイメージが良くない」などで割合が増加している。また、「公共交通機関（鉄道、バス）が整っていない」「教育文化施設が少なく、利用しにくい」などで割合が減少している。

・平成29年度



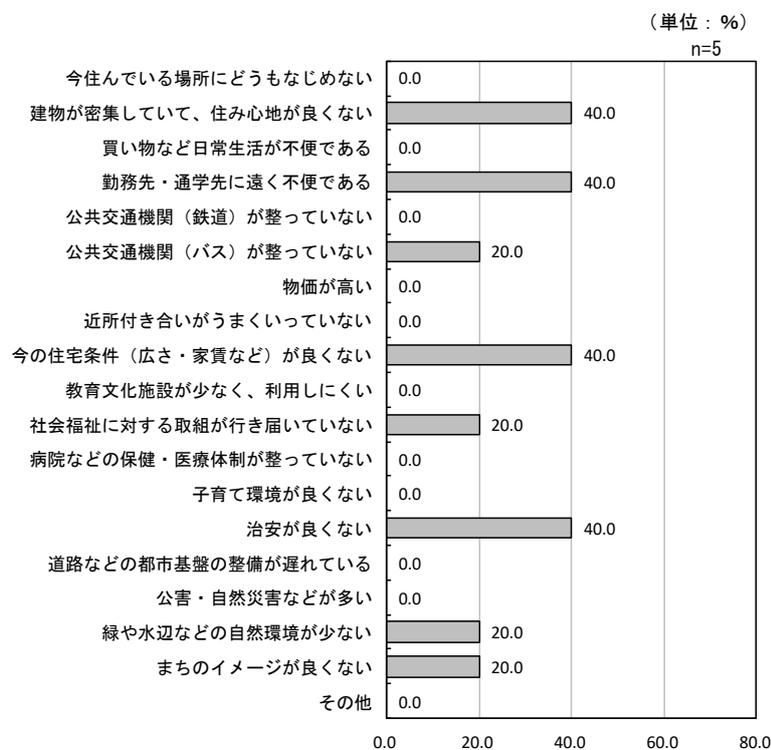
・平成26年度



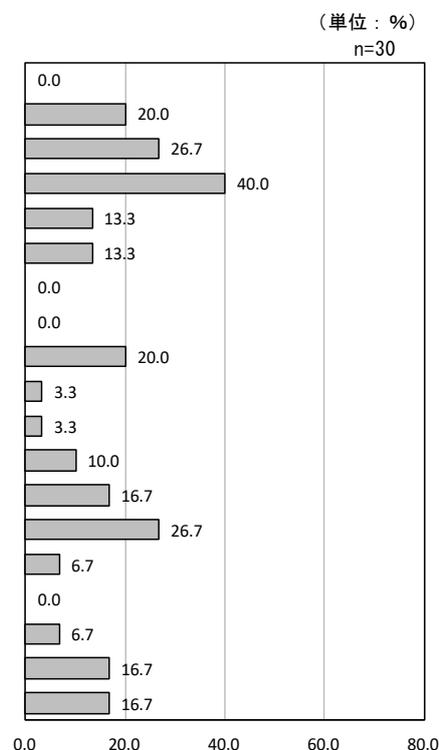
<年代別>

10歳代から50歳代において「治安が良くない」が、50歳代以上の年代において「道路などの都市基盤整備が遅れている」が、高くなっている。

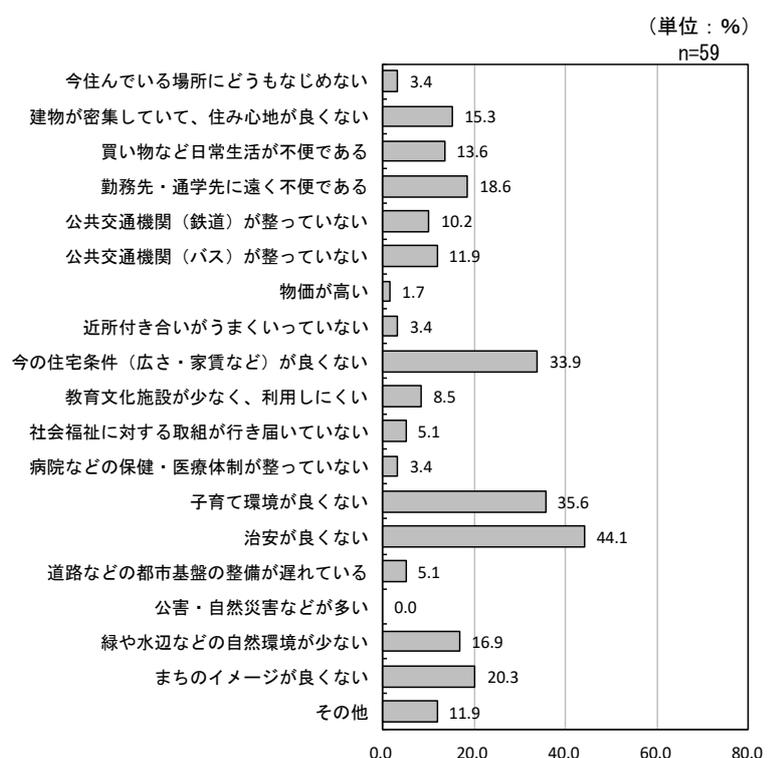
18～19歳（10歳代）



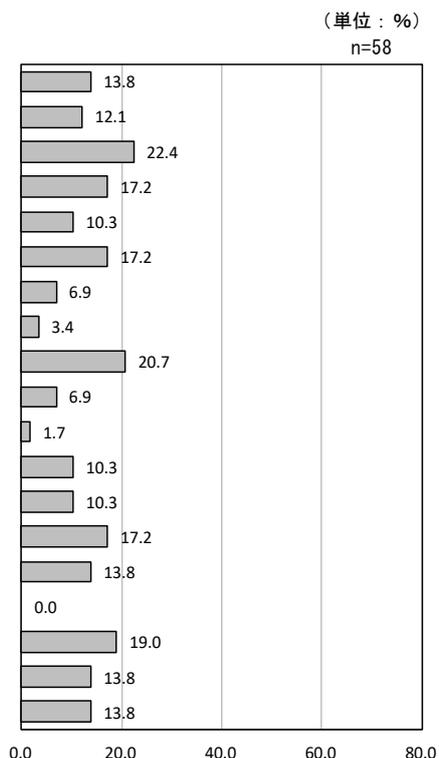
20～29歳（20歳代）



30～39歳（30歳代）

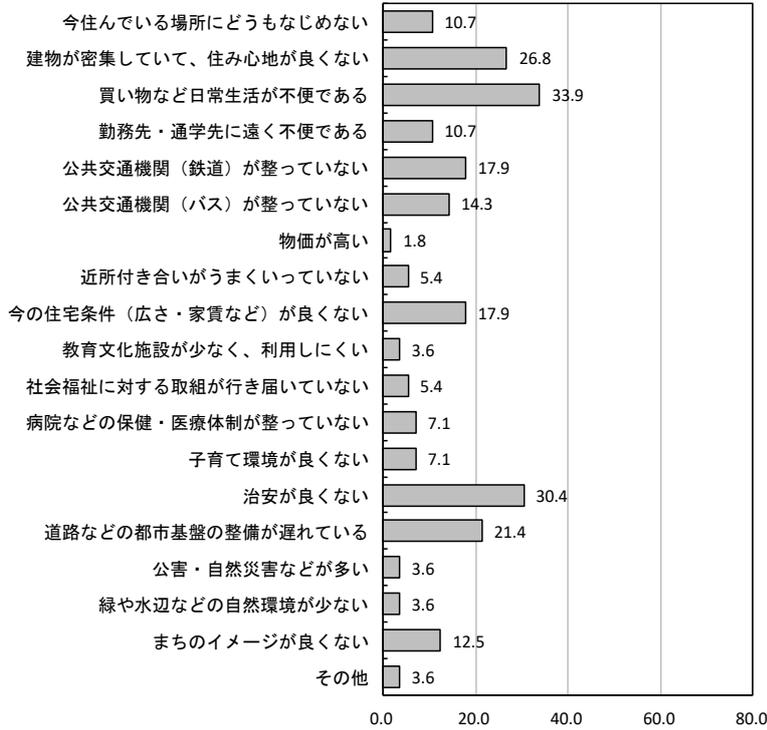


40～49歳（40歳代）



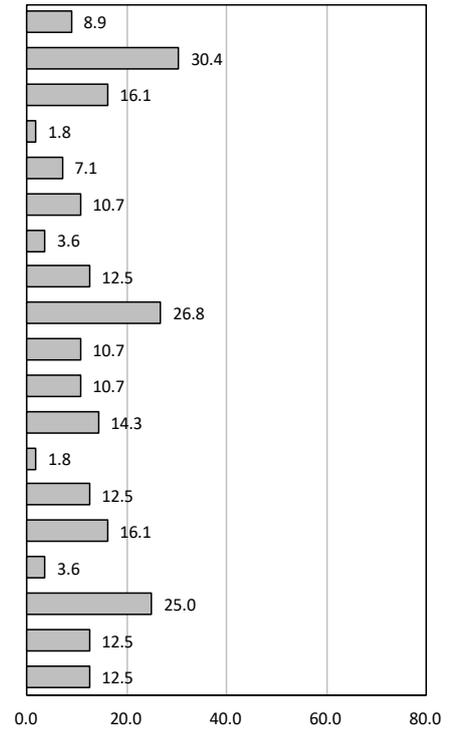
50～59 歳（50 歳代）

(単位：%)
n=56



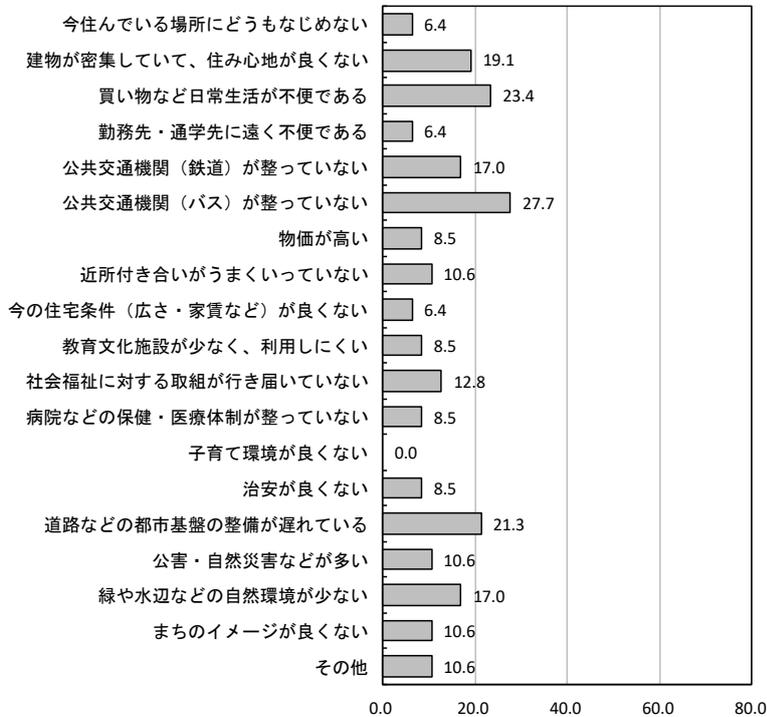
60～69 歳（60 歳代）

(単位：%)
n=56



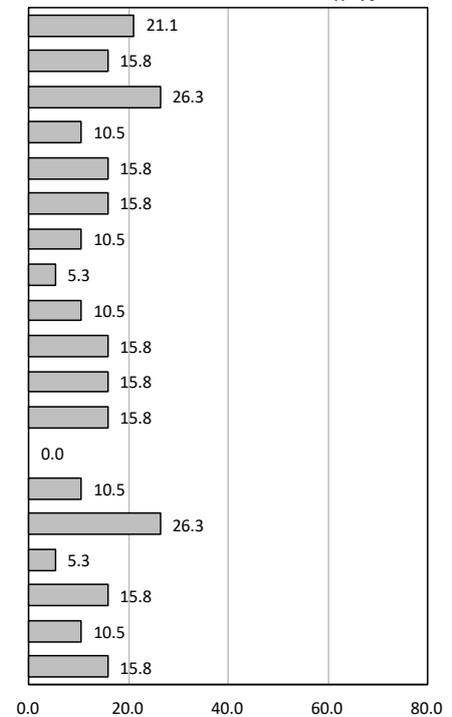
70～79 歳（70 歳代）

(単位：%)
n=47



80 歳以上

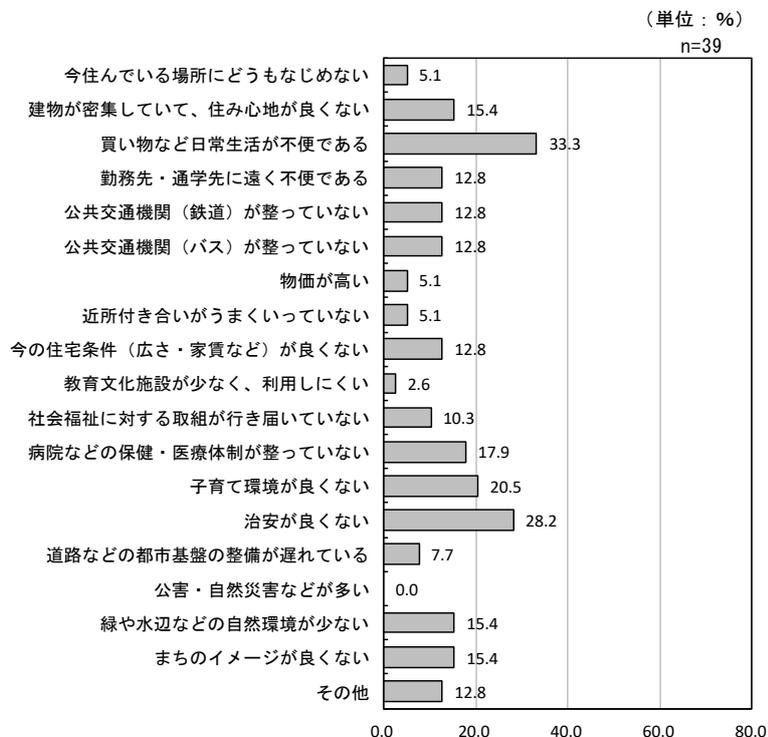
(単位：%)
n=19



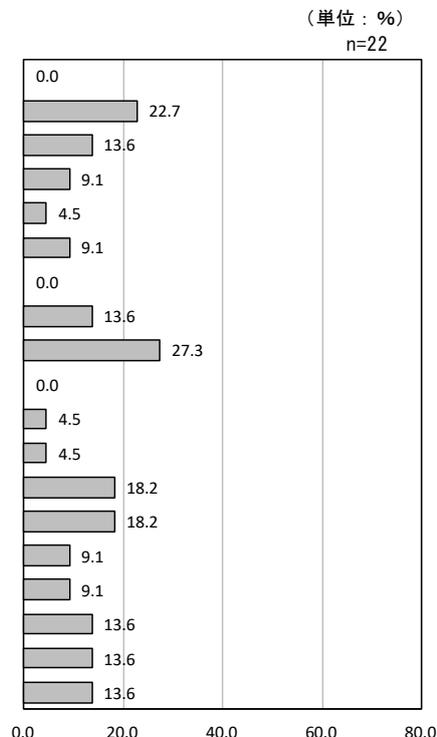
<中学校区別>

第一、第四、第七、第八、第十中学校区において「買い物など日常生活が不便である」が、第三、第九、中木田中学校区において「治安が良くない」が、最も高くなっている。

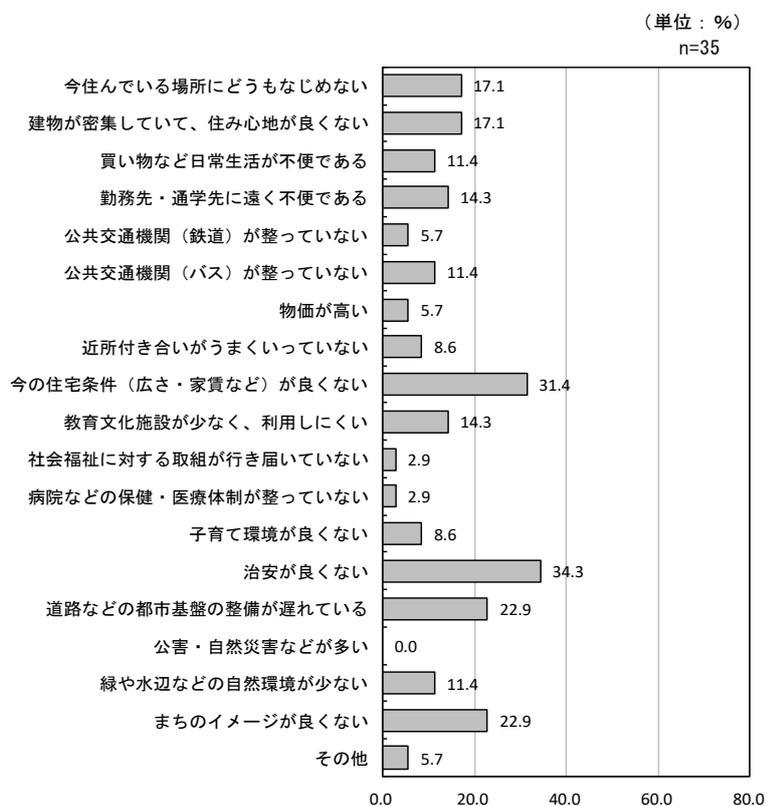
第一中学校区



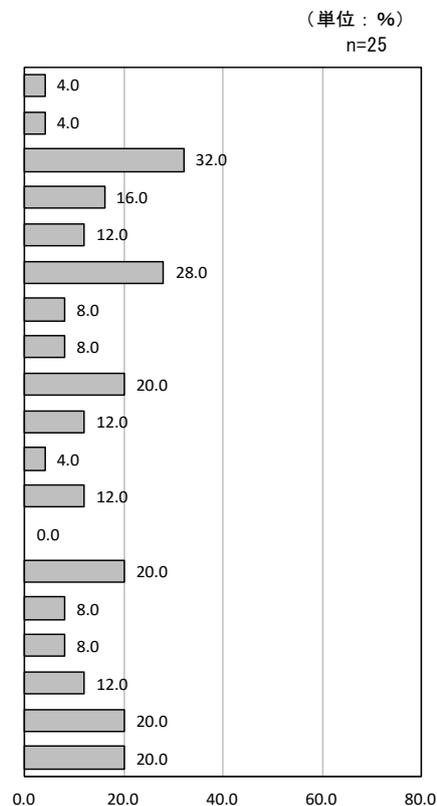
第二中学校区



第三中学校区

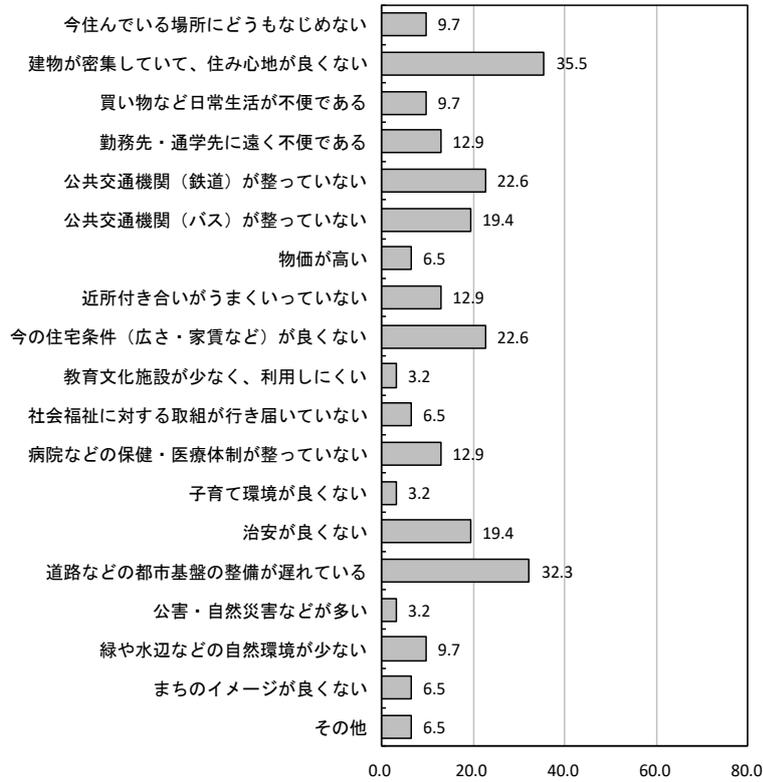


第四中学校区



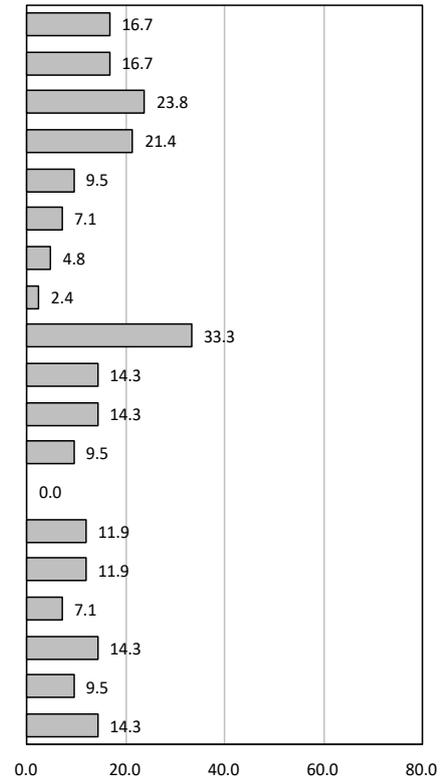
第五中学校区

(単位：%)
n=31



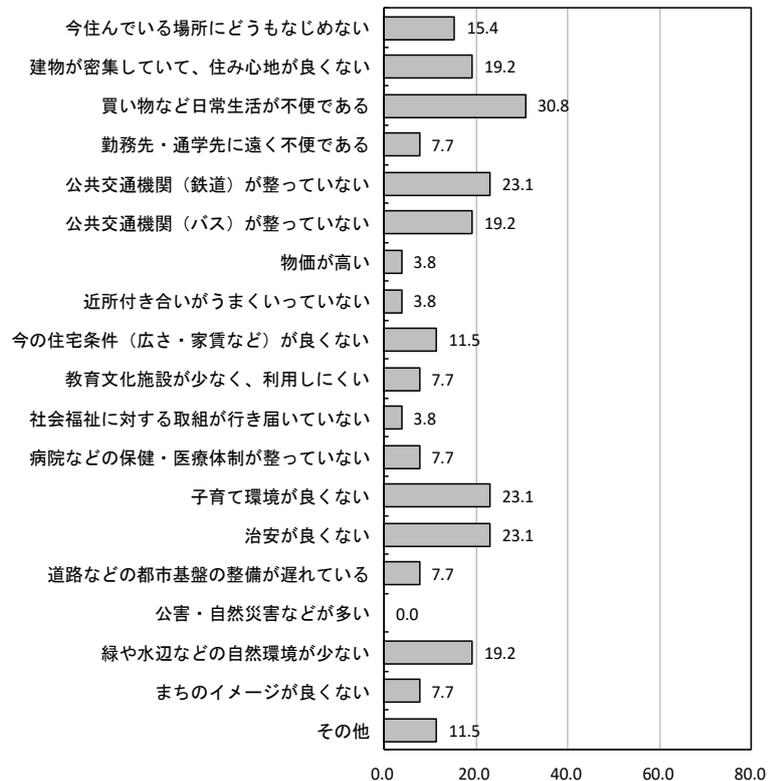
第六中学校区

(単位：%)
n=42



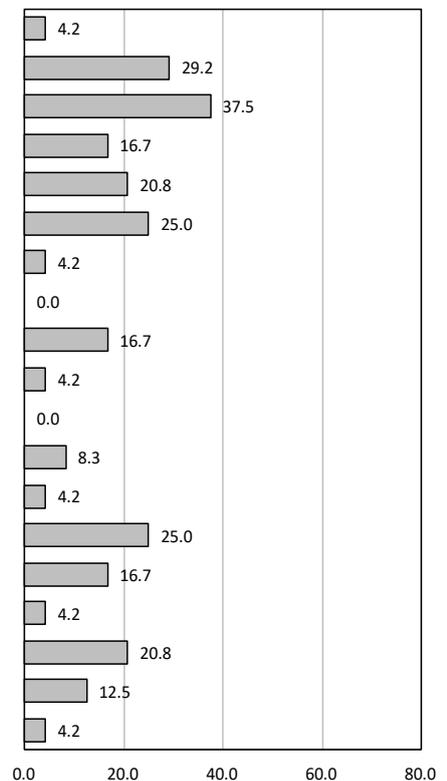
第七中学校区

(単位：%)
n=26



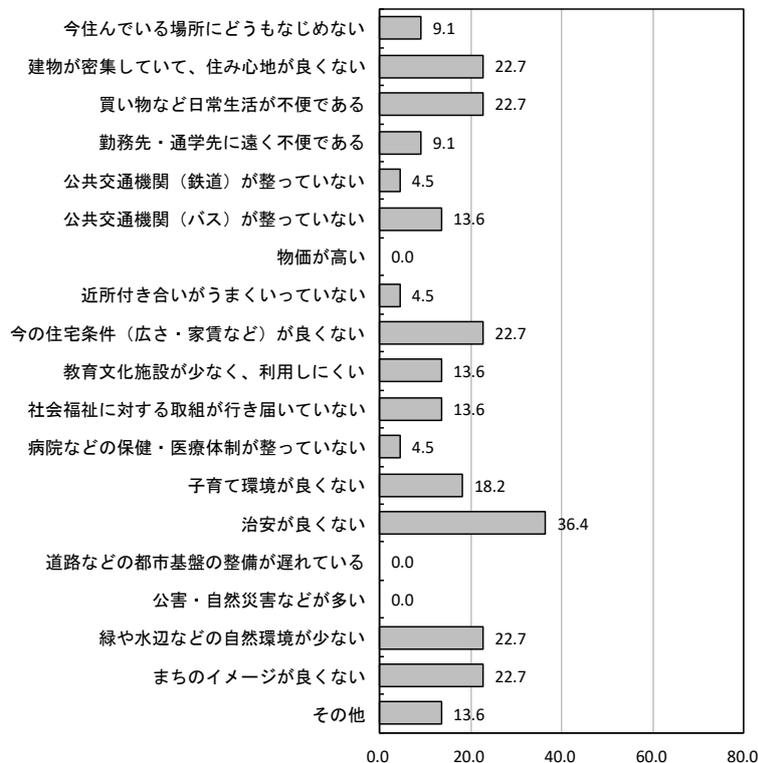
第八中学校区

(単位：%)
n=24



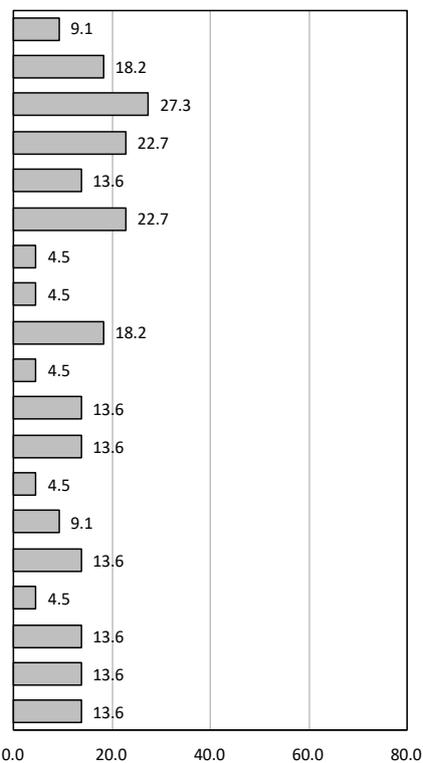
第九中学校区

(単位：%)
n=22



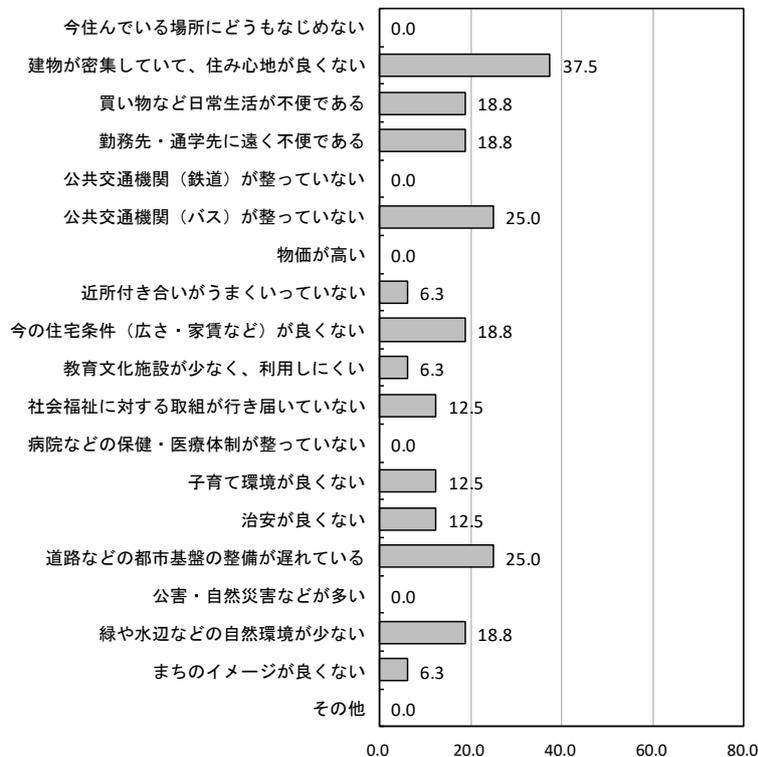
第十中学校区

(単位：%)
n=22



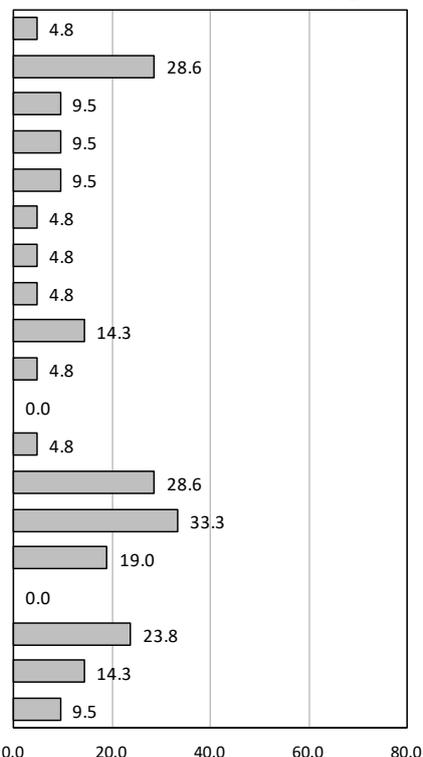
友呂岐中学校区

(単位：%)
n=16



中木田中学校区

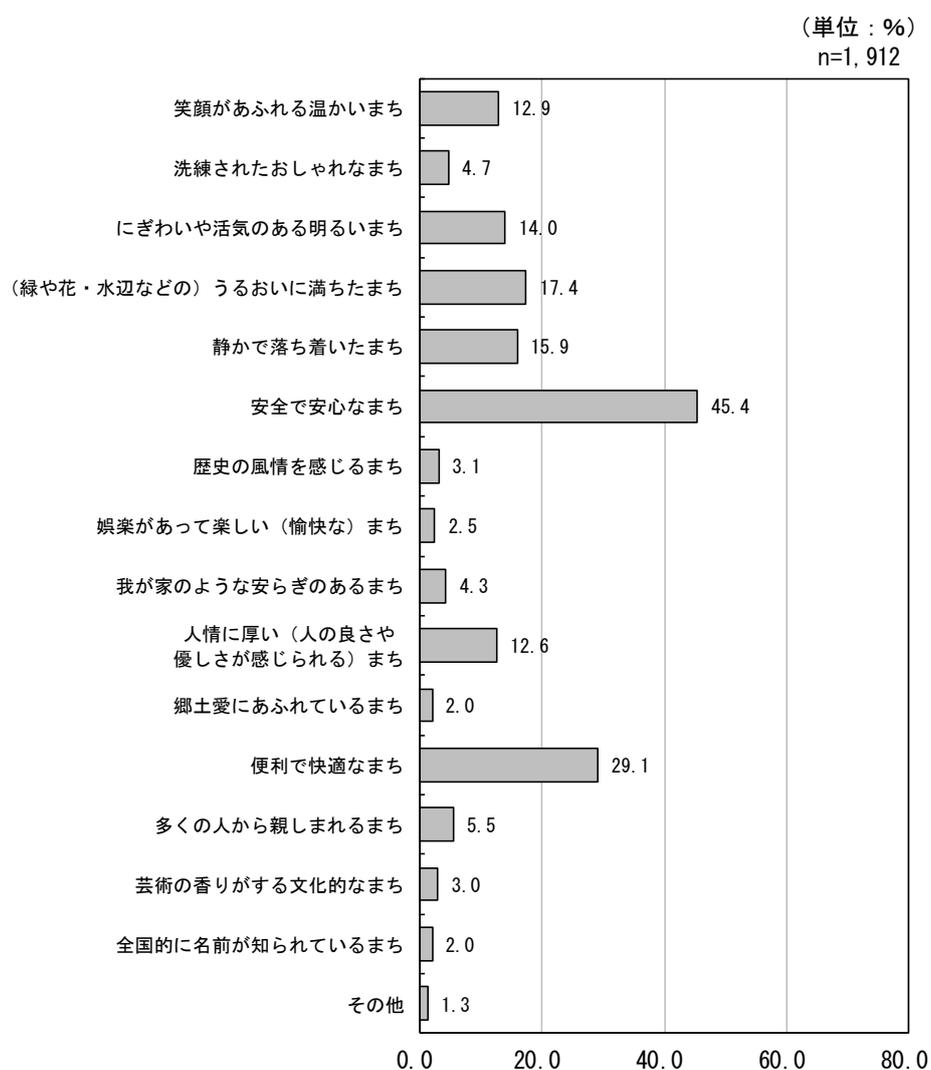
(単位：%)
n=21



問 88 あなたは、寝屋川市がどのようなイメージのまちになることを望みますか。
 当てはまるものに○を付けてください。（○は3つまで）

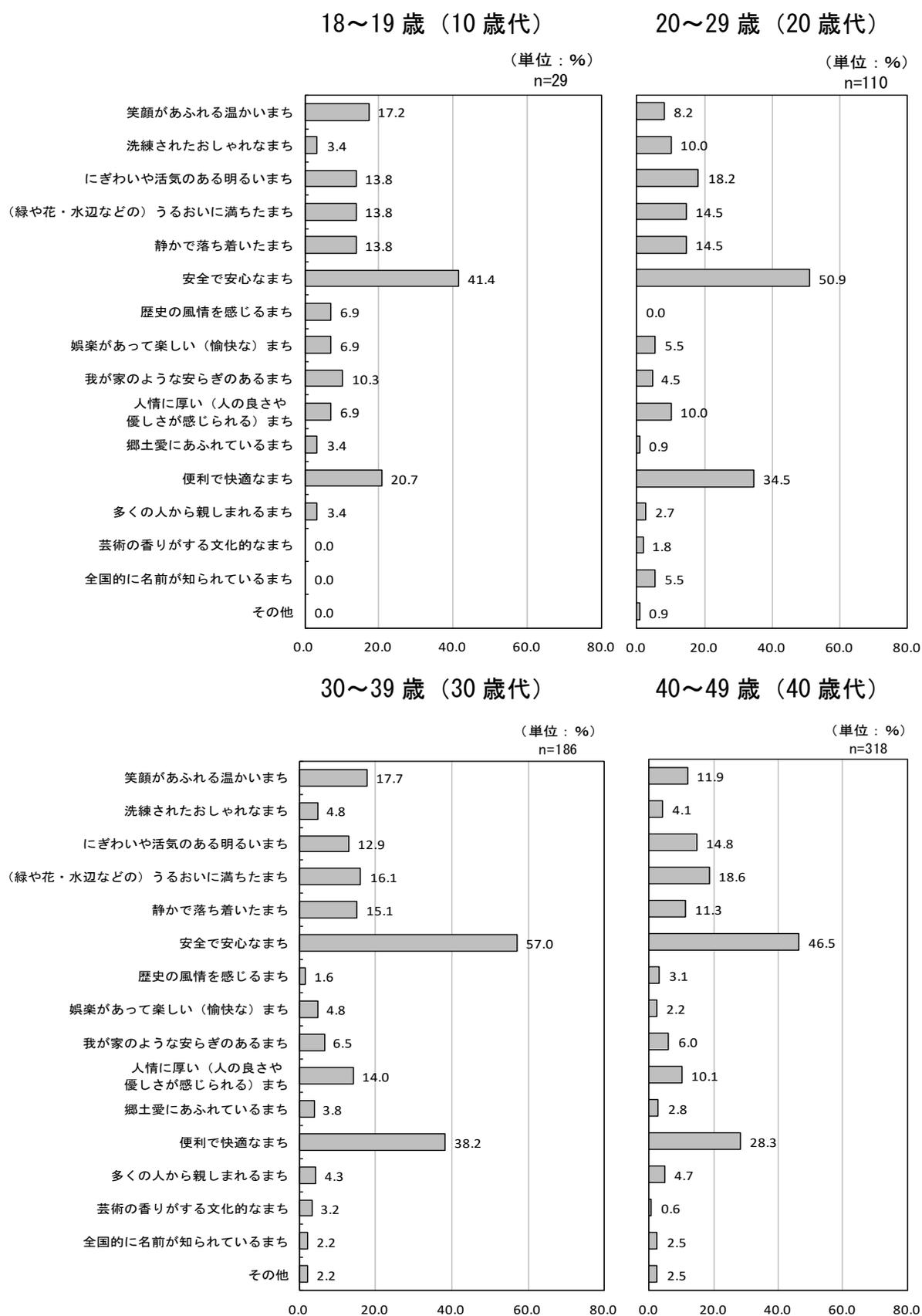
<全体>

「安全で安心なまち」が 45.4%と最も高く、次いで「便利で快適なまち」が 29.1%、
 「(緑や花・水辺などの) うるおいに満ちたまち」が 17.4%の順となっている。



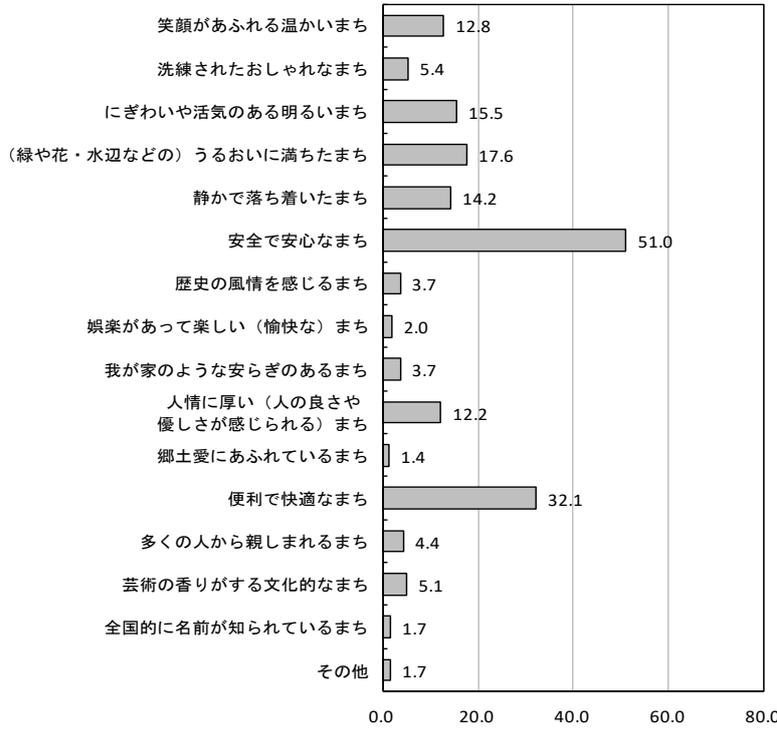
<年代別>

全ての年代において「安全で安心なまち」「便利で快適なまち」が、高くなっている。



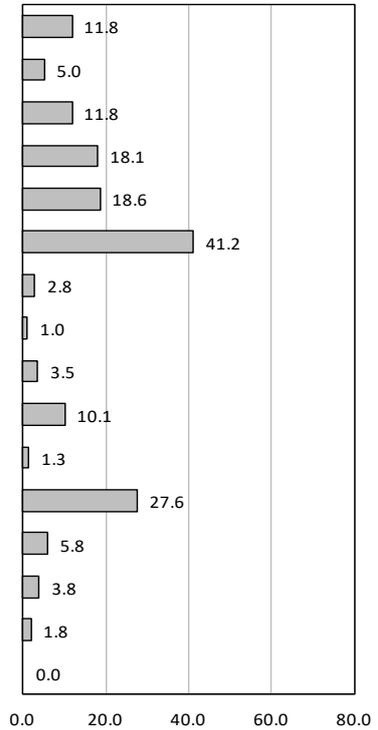
50～59 歳 (50 歳代)

(単位：%)
n=296



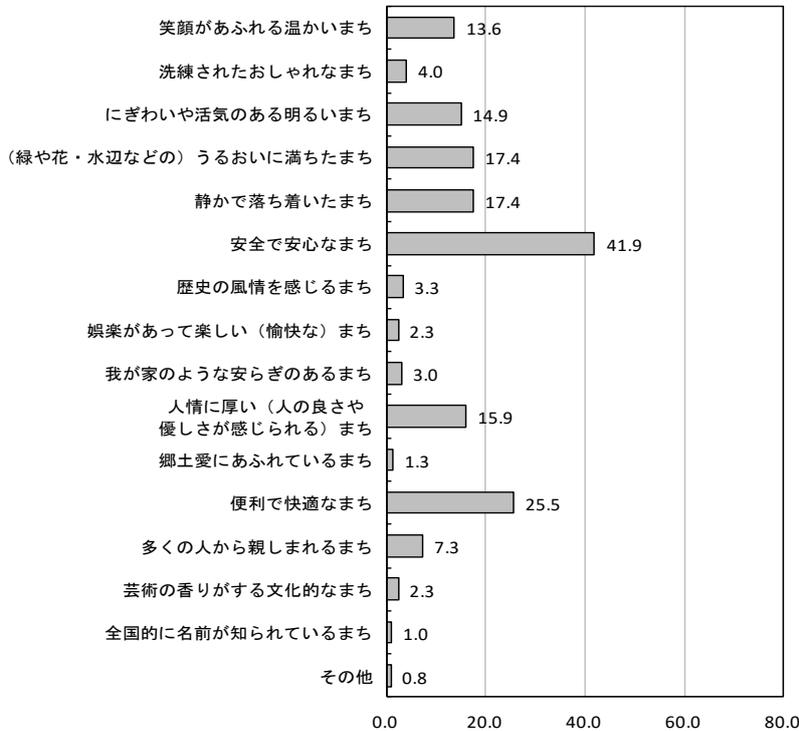
60～69 歳 (60 歳代)

(単位：%)
n=398



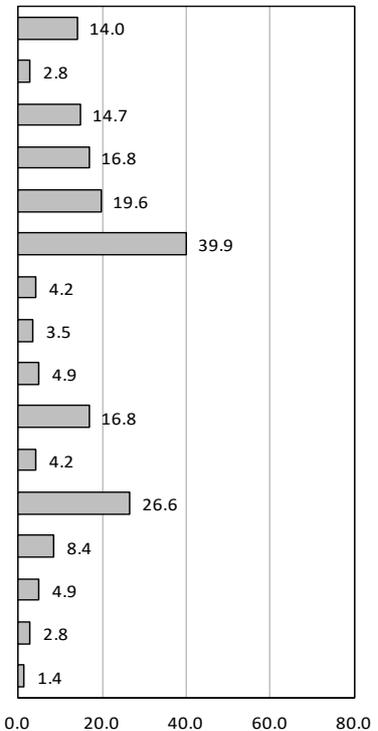
70～79 歳 (70 歳代)

(単位：%)
n=396



80 歳以上

(単位：%)
n=143

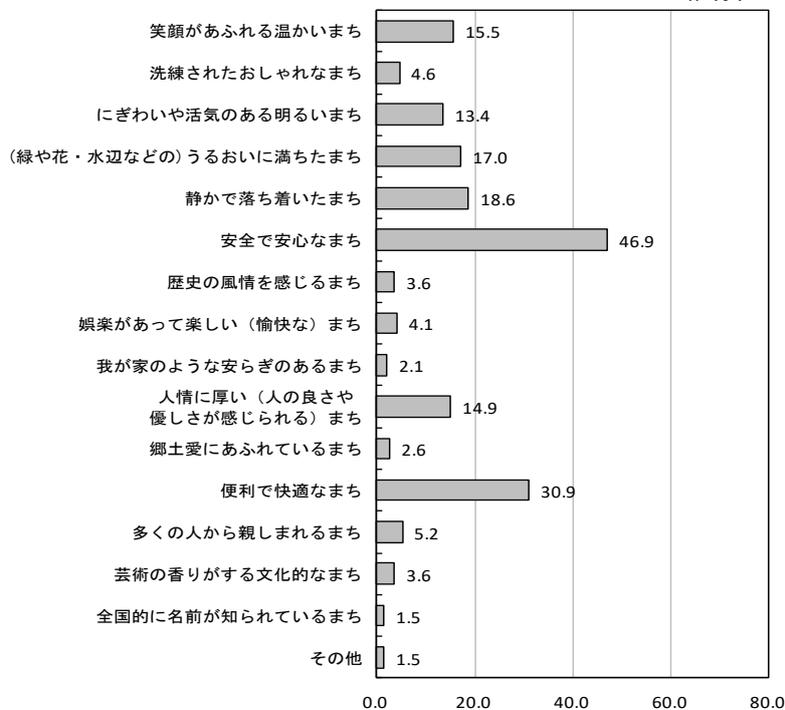


<中学校区別>

全ての中学校区において「安全で安心なまち」「便利で快適なまち」が、高くなっている。

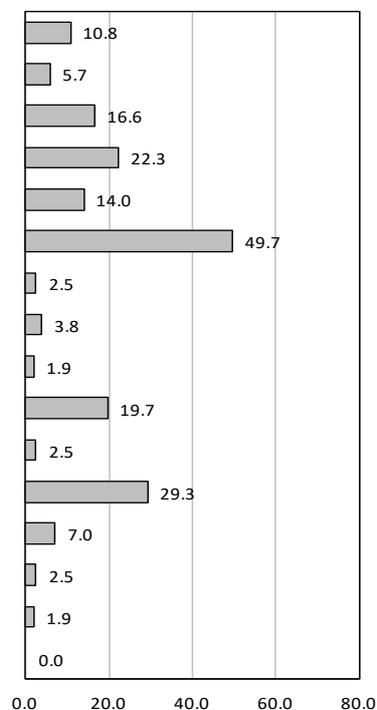
第一中学校区

(単位：%)
n=194



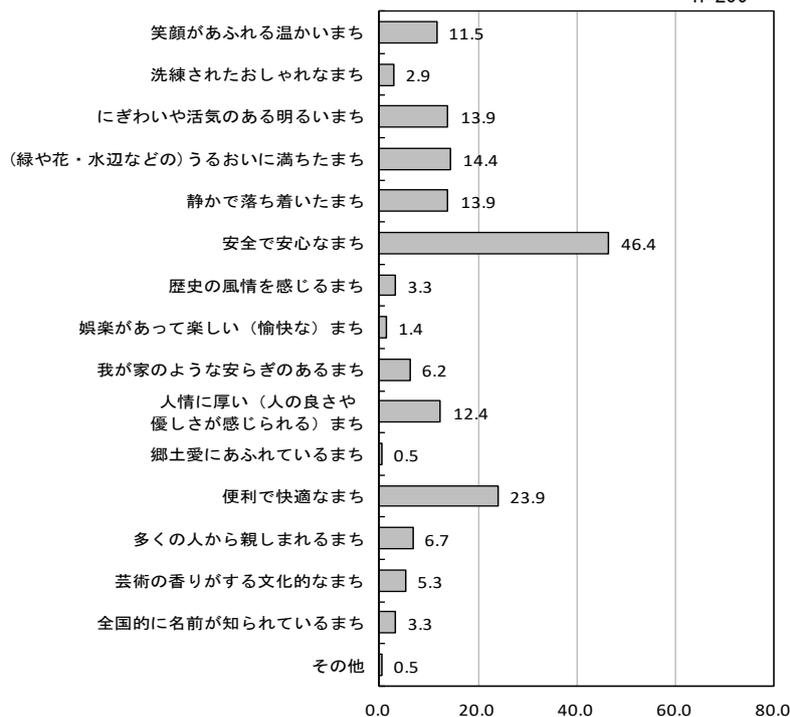
第二中学校区

(単位：%)
n=157



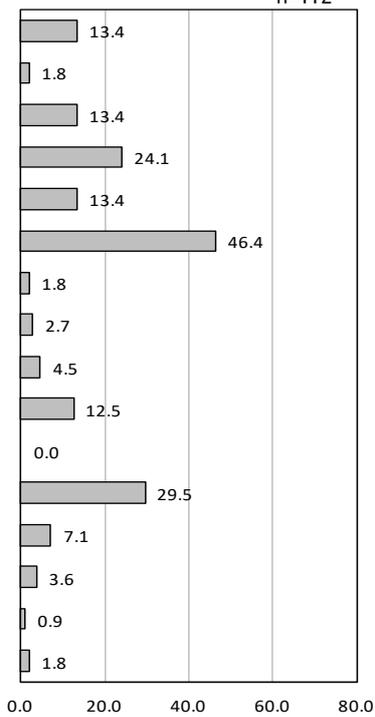
第三中学校区

(単位：%)
n=209



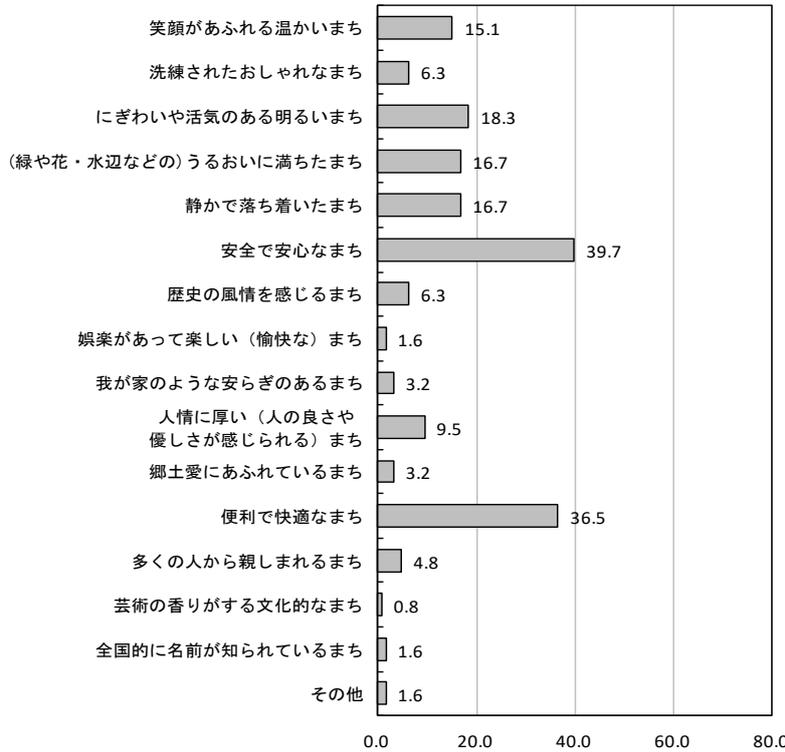
第四中学校区

(単位：%)
n=112



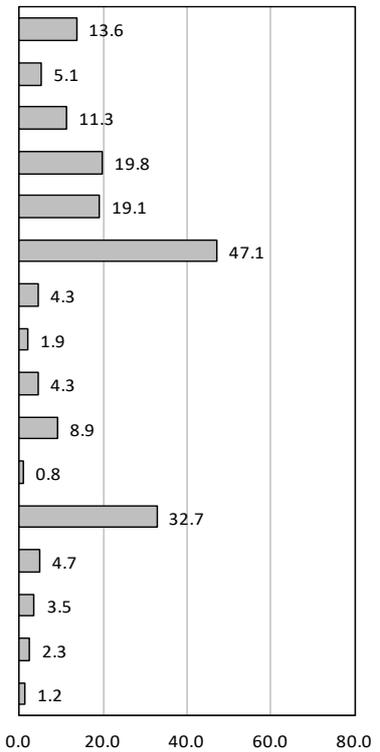
第五中学校区

(単位：%)
n=126



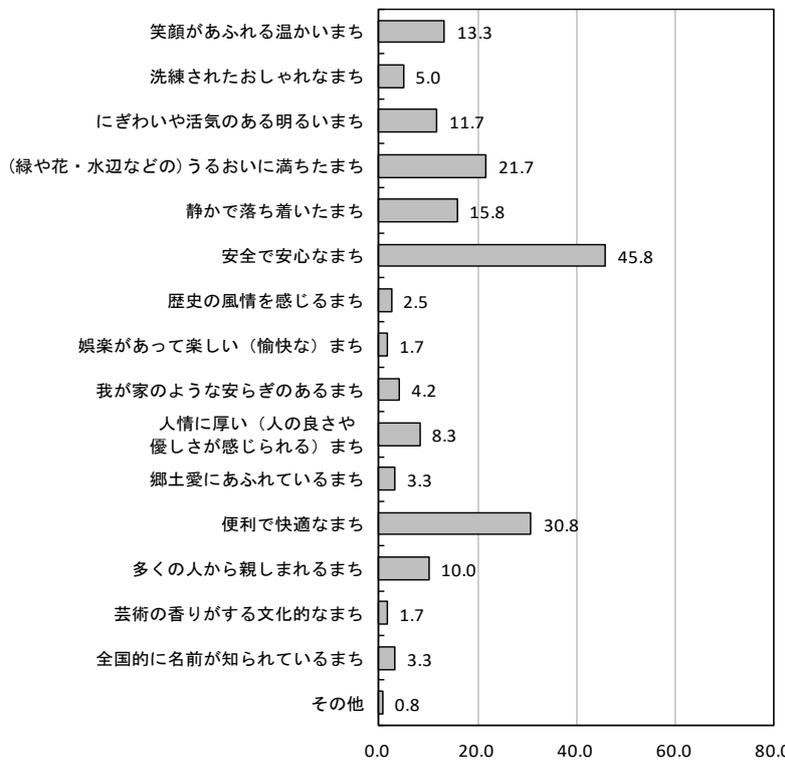
第六中学校区

(単位：%)
n=257



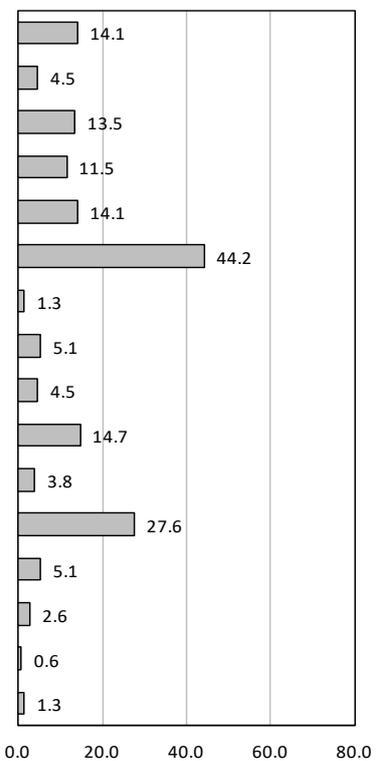
第七中学校区

(単位：%)
n=120



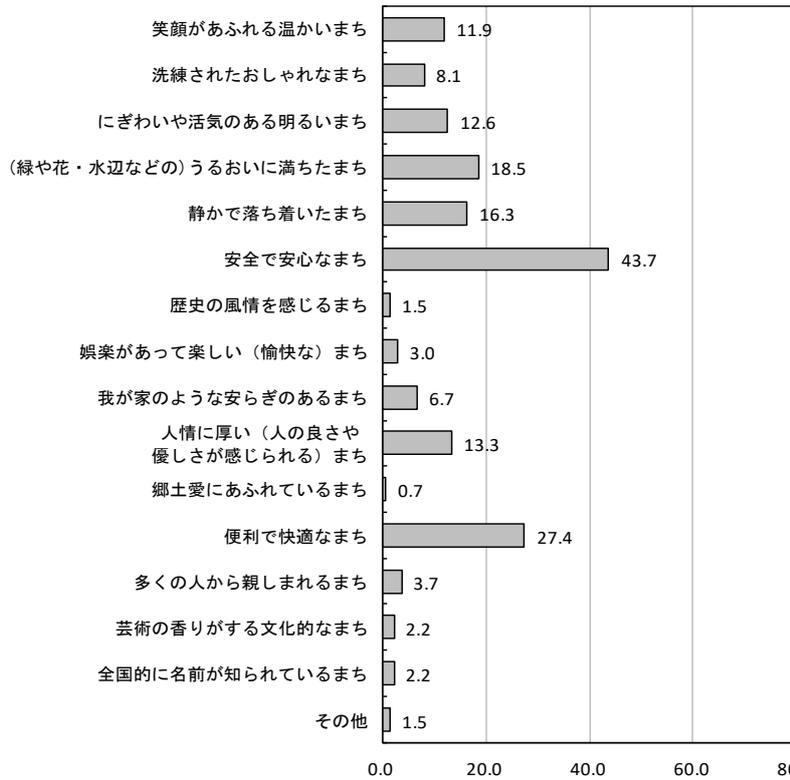
第八中学校区

(単位：%)
n=156



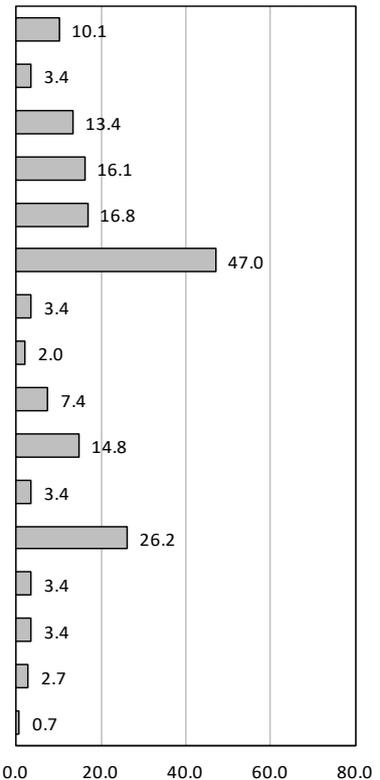
第九中学校区

(単位：%)
n=135



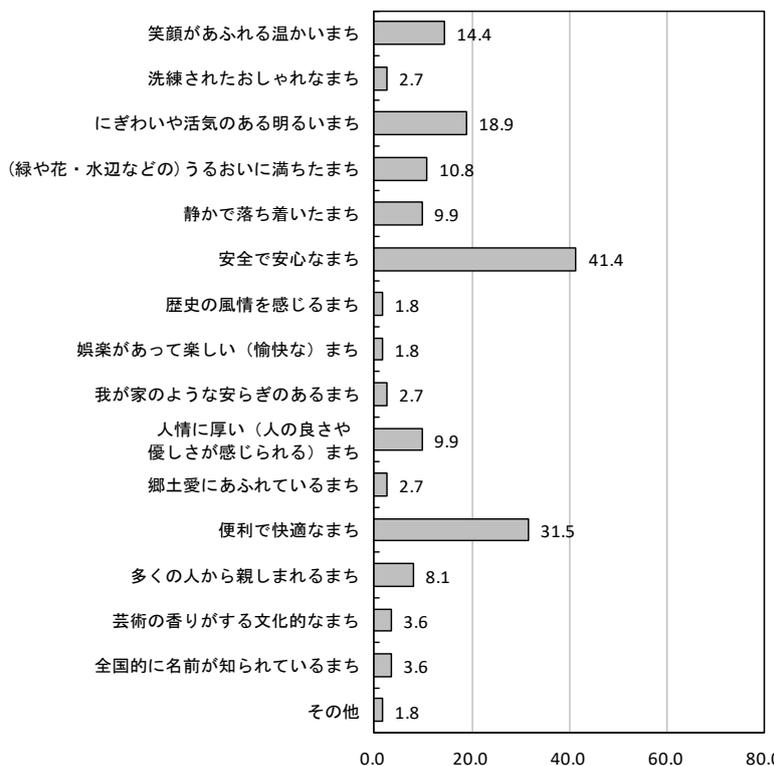
第十中学校区

(単位：%)
n=149



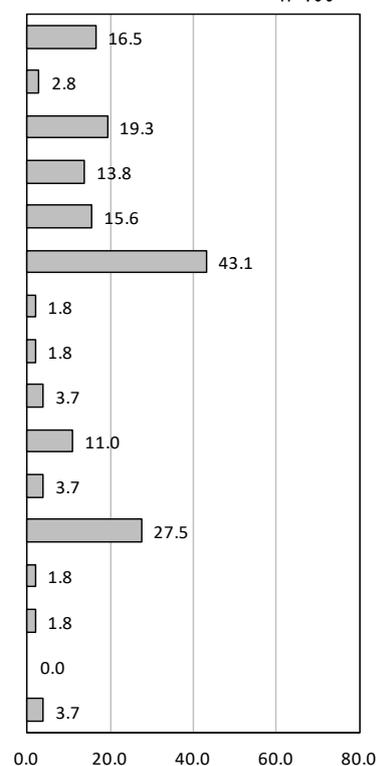
友呂岐中学校区

(単位：%)
n=111



中木田中学校区

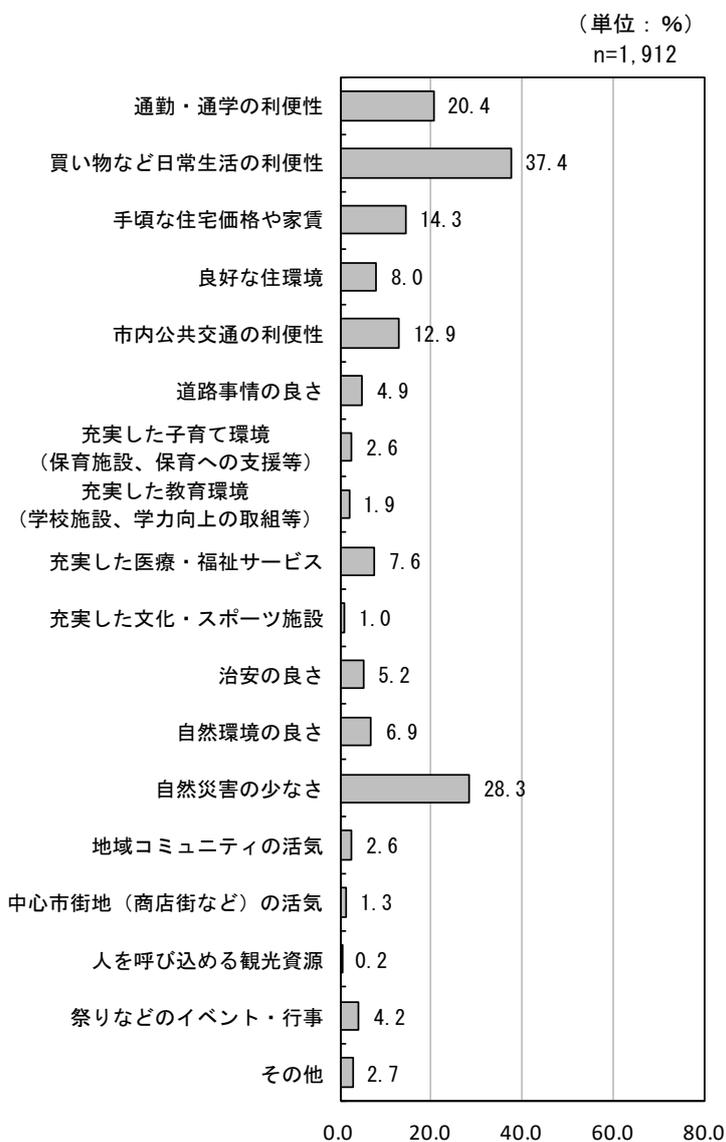
(単位：%)
n=109



問 89 あなたは、他の市と比較して、寝屋川市の大きな魅力は何だと思いますか。
 当てはまるものに○を付けてください。（○は3つまで）

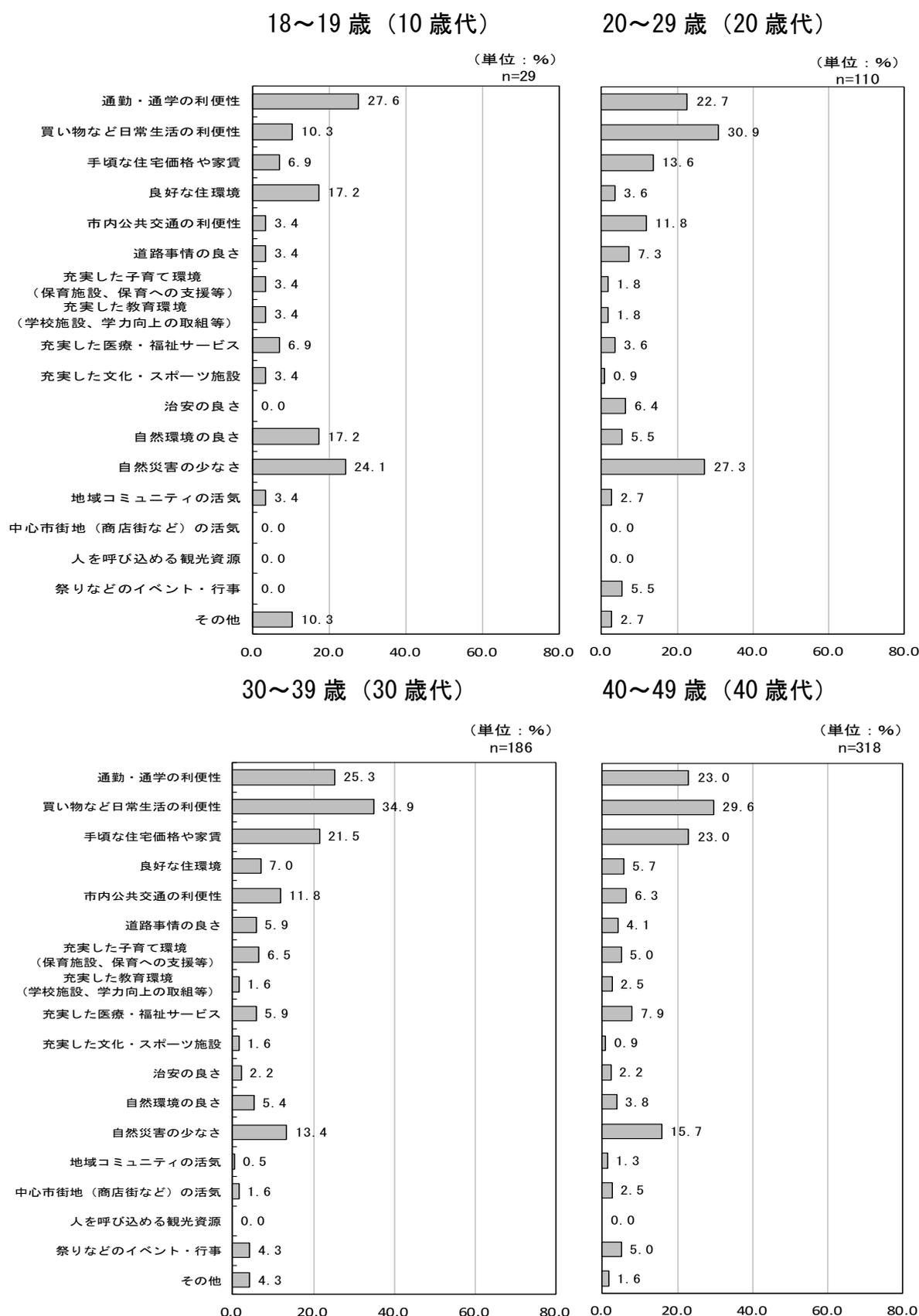
<全体>

「買い物など日常生活の利便性」が37.4%と最も高く、次いで「自然災害の少なさ」が28.3%、「通勤・通学の利便性」が20.4%の順となっている。



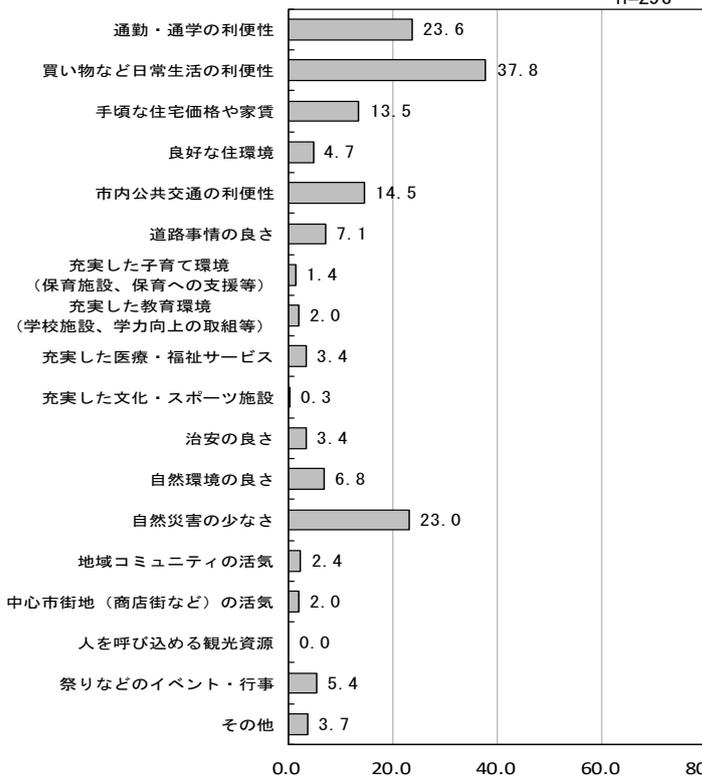
<年代別>

10歳代、80歳以上を除く年代において「買い物など日常生活の利便性」が、最も高くなっている。



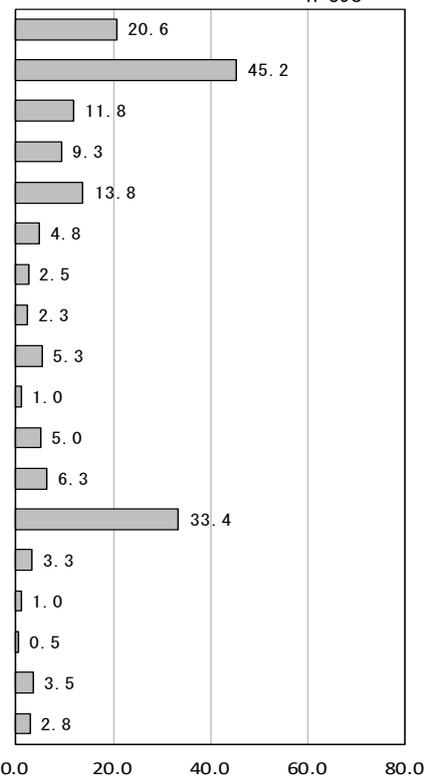
50～59 歳 (50 歳代)

(単位：%)
n=296



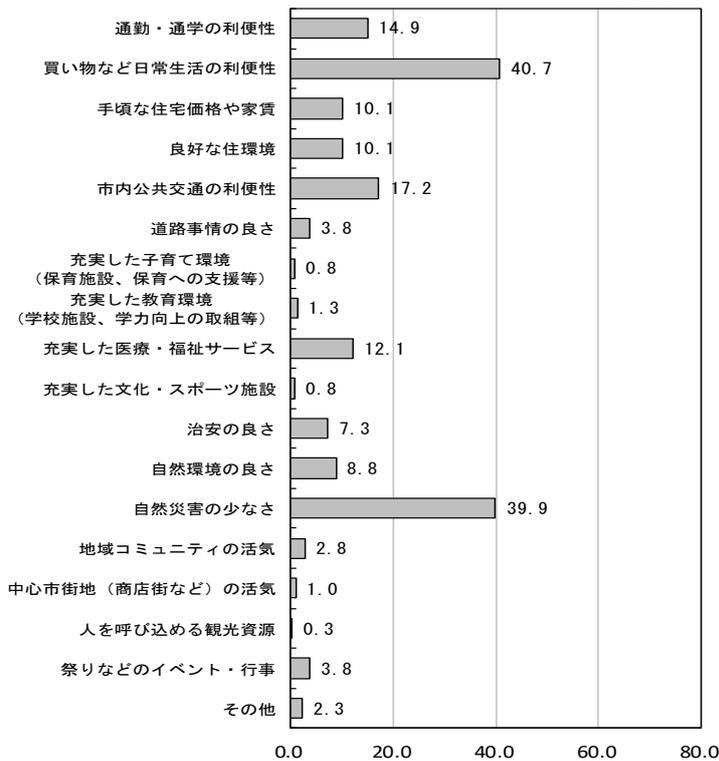
60～69 歳 (60 歳代)

(単位：%)
n=398



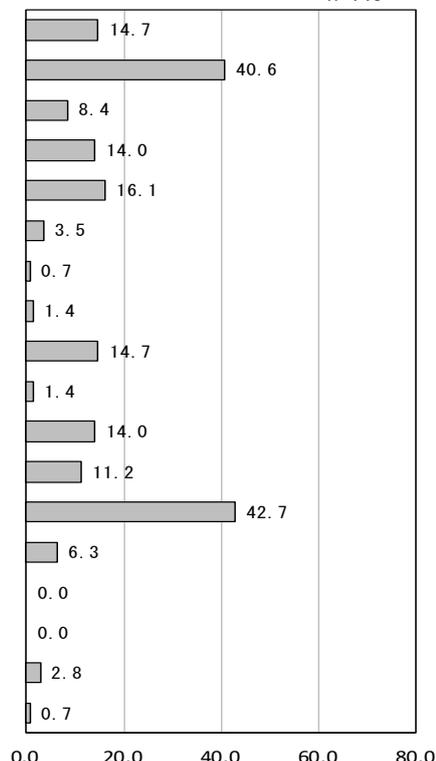
70～79 歳 (70 歳代)

(単位：%)
n=396



80 歳以上

(単位：%)
n=143

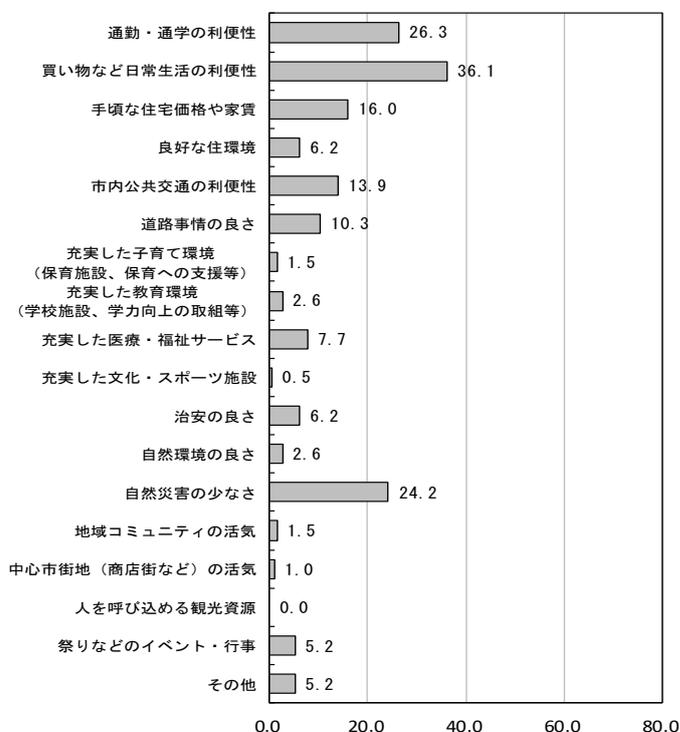


<中学校区別>

第四、第七、第十中学校区において「自然災害の少なさ」が、それら以外の中学校区において「買い物など日常生活の利便性」が、最も高くなっている。

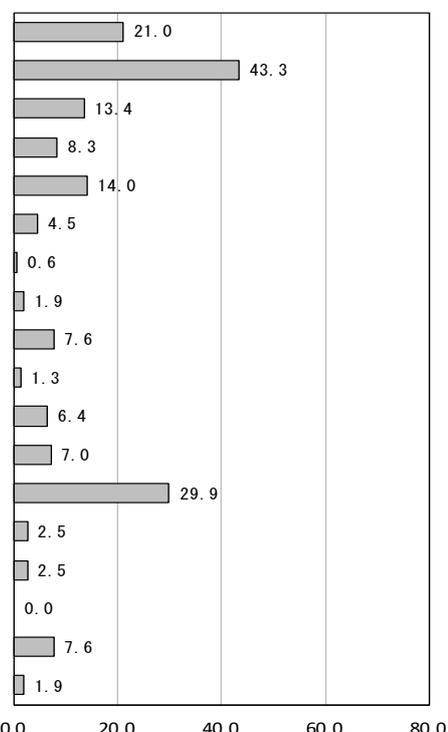
第一中学校区

(単位：%)
n=194



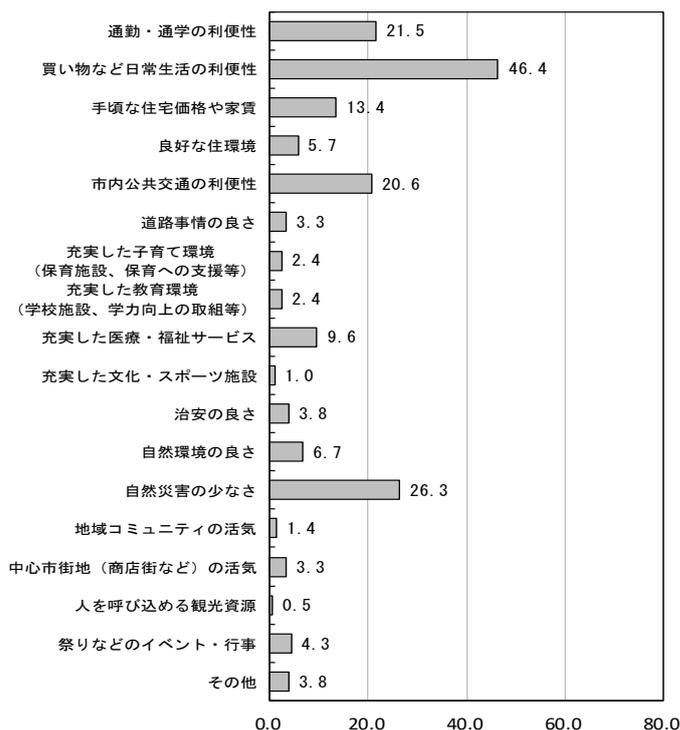
第二中学校区

(単位：%)
n=157



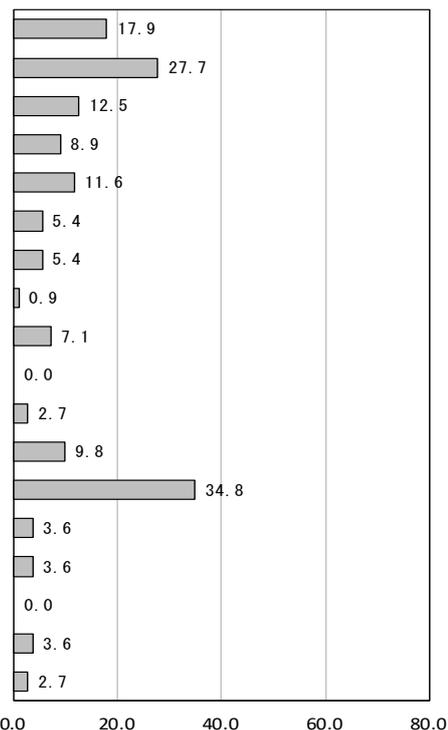
第三中学校区

(単位：%)
n=209



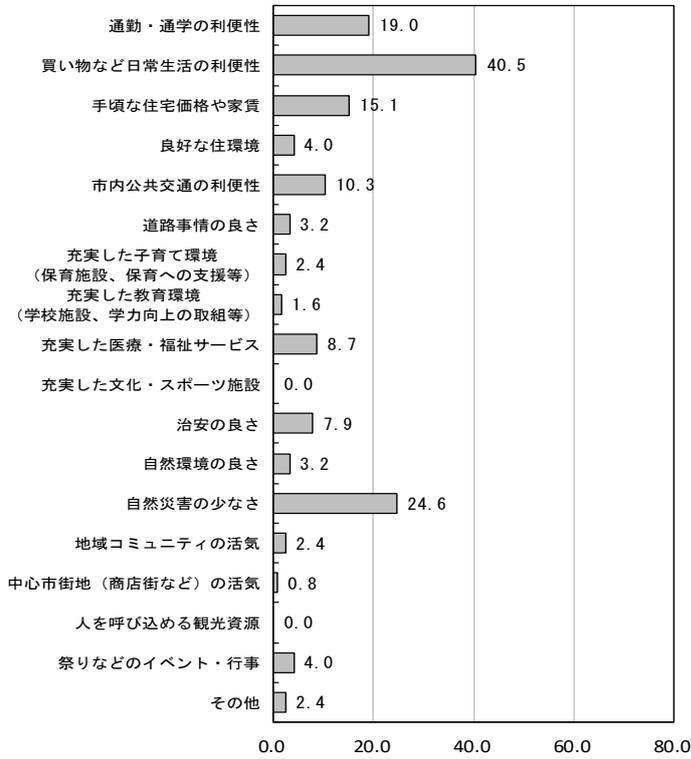
第四中学校区

(単位：%)
n=112



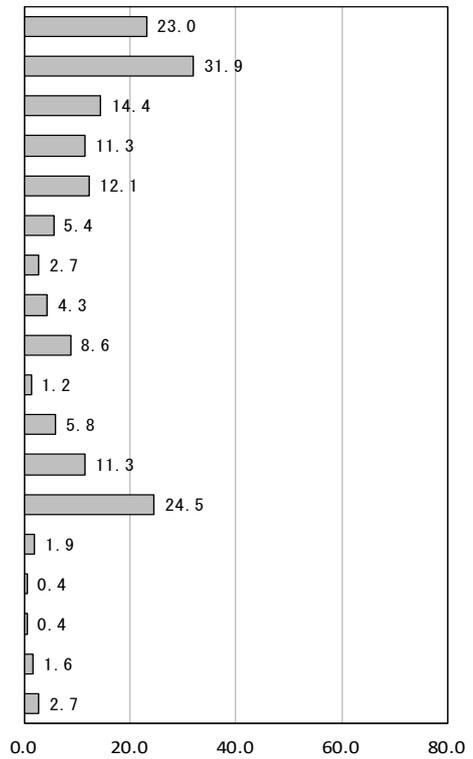
第五中学校区

(単位：%)
n=126



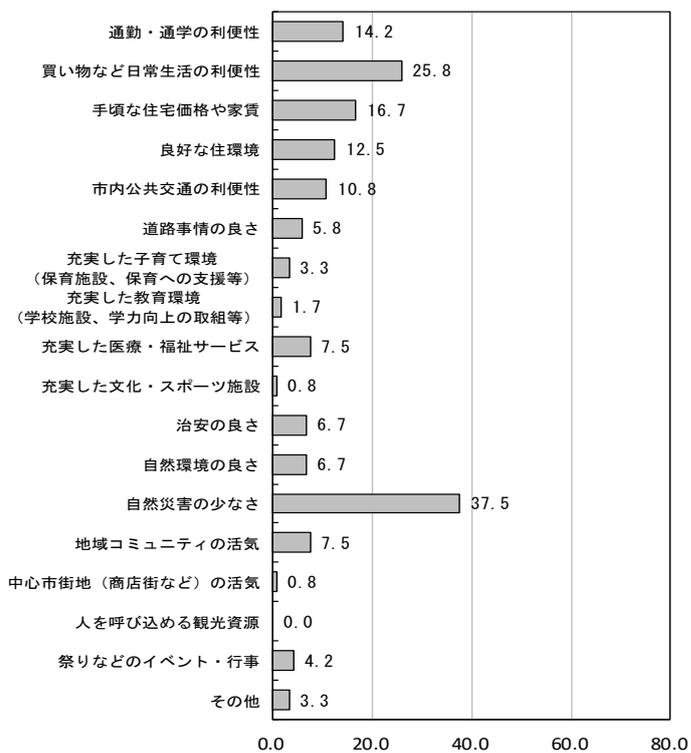
第六中学校区

(単位：%)
n=257



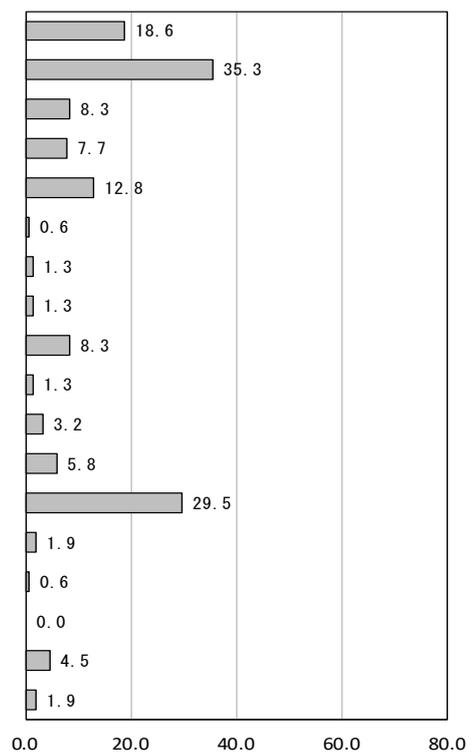
第七中学校区

(単位：%)
n=120



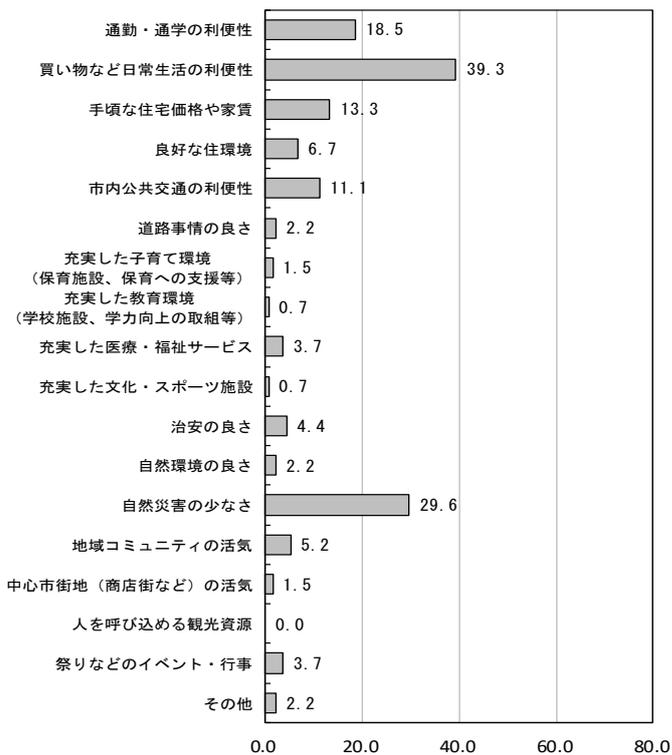
第八中学校区

(単位：%)
n=156



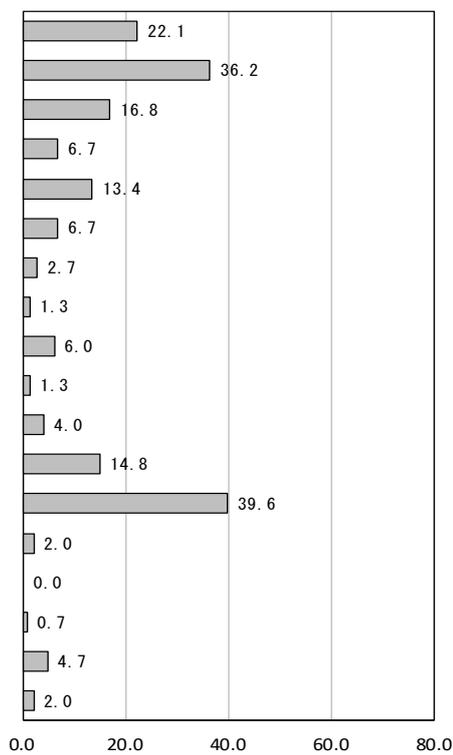
第九中学校区

(単位：%)
n=135



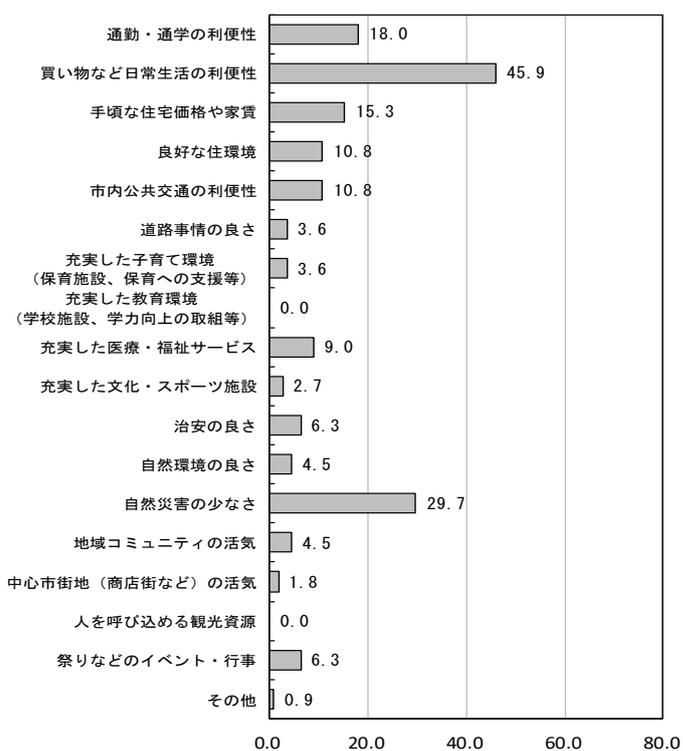
第十中学校区

(単位：%)
n=149



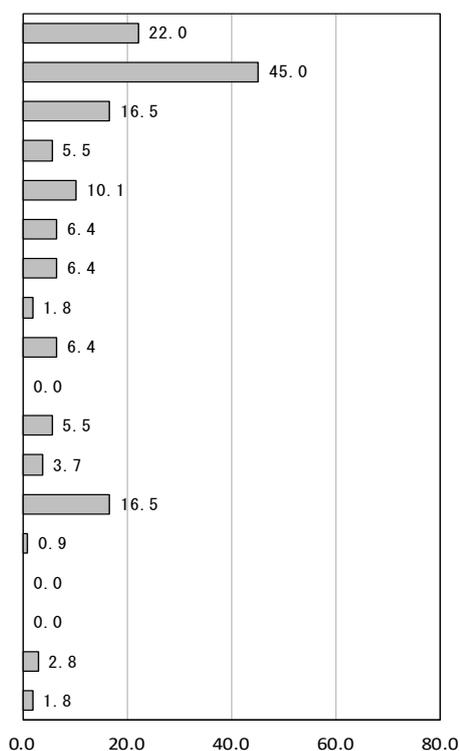
友呂岐中学校区

(単位：%)
n=111



中木田中学校区

(単位：%)
n=109

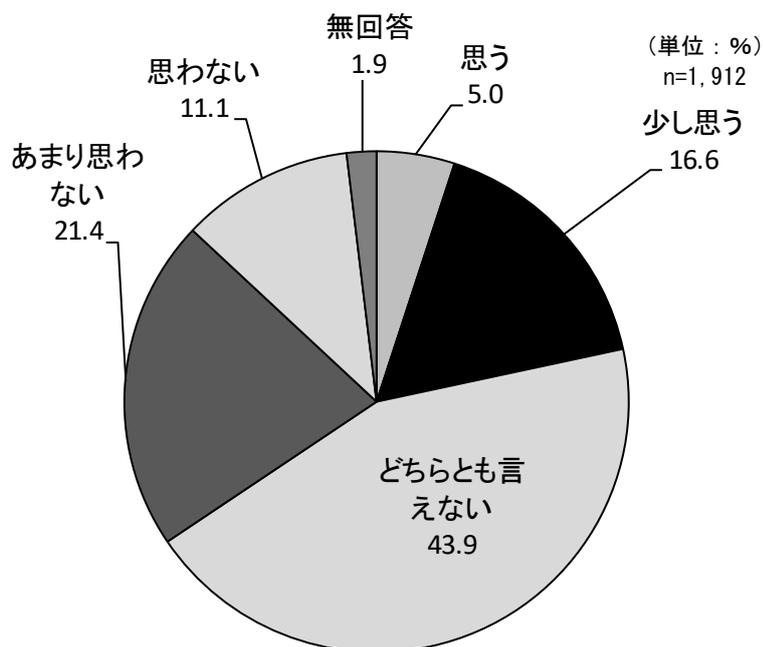


問 90 あなたは、寝屋川市に住むことや来訪することを友人、知人に勧めたいと思いますか。

<全体>

「どちらとも言えない」が 43.9%と最も高く、次いで「あまり思わない」が 21.4%、「少し思う」が 16.6%の順となっている。

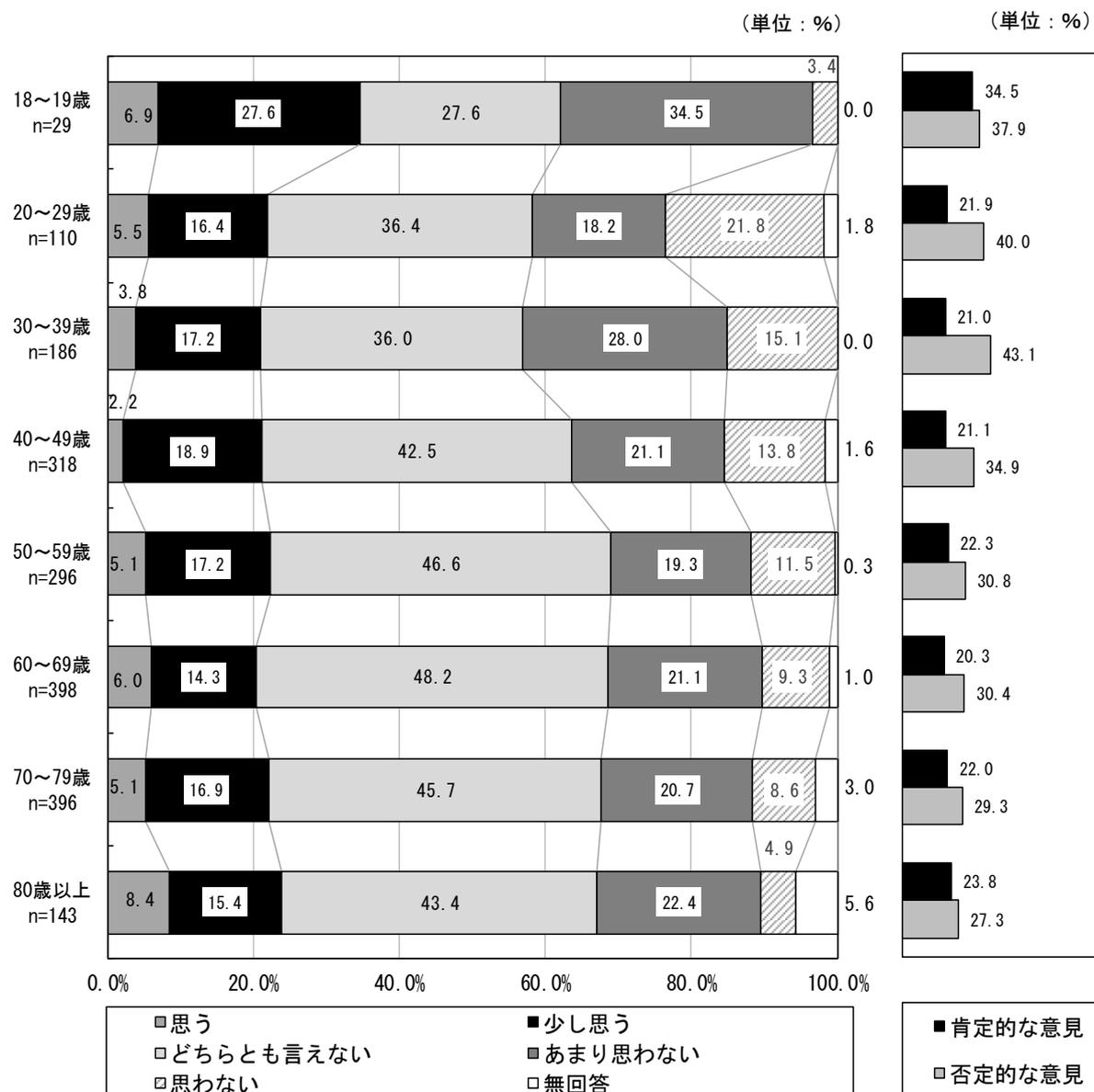
「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 21.6%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 32.5%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



<年代別>

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは10歳代で、次いで80歳以上、50歳代の順となっている。

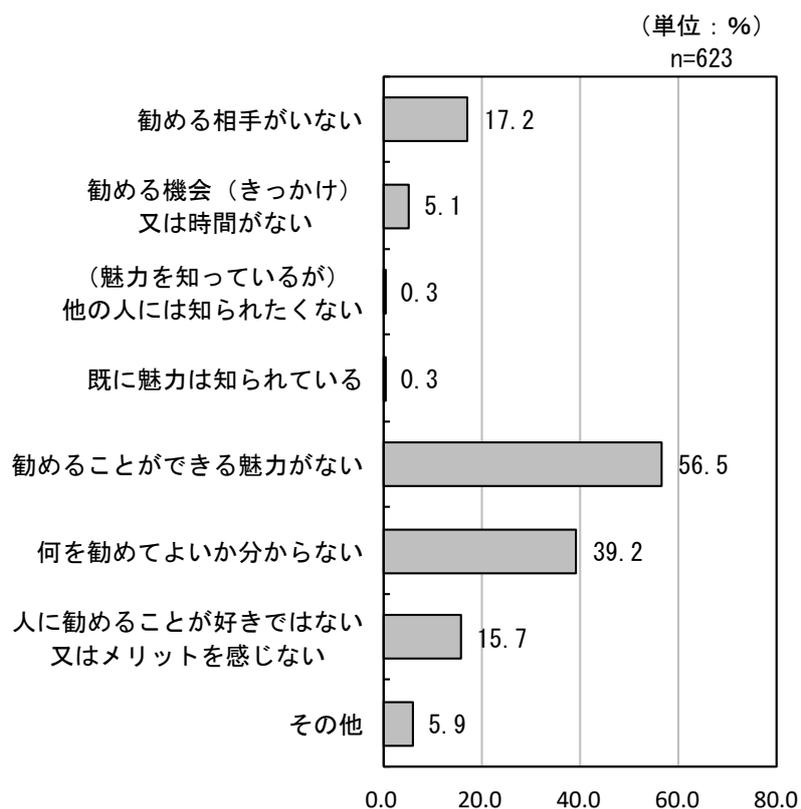
『否定的な意見』の割合は、30歳代、20歳代、10歳代で高くなっている。



問 91 「あまり思わない」「思わない」と答えた人にお聞きします。それはどのような理由からですか。当てはまるものに○を付けてください。（○は2つまで）

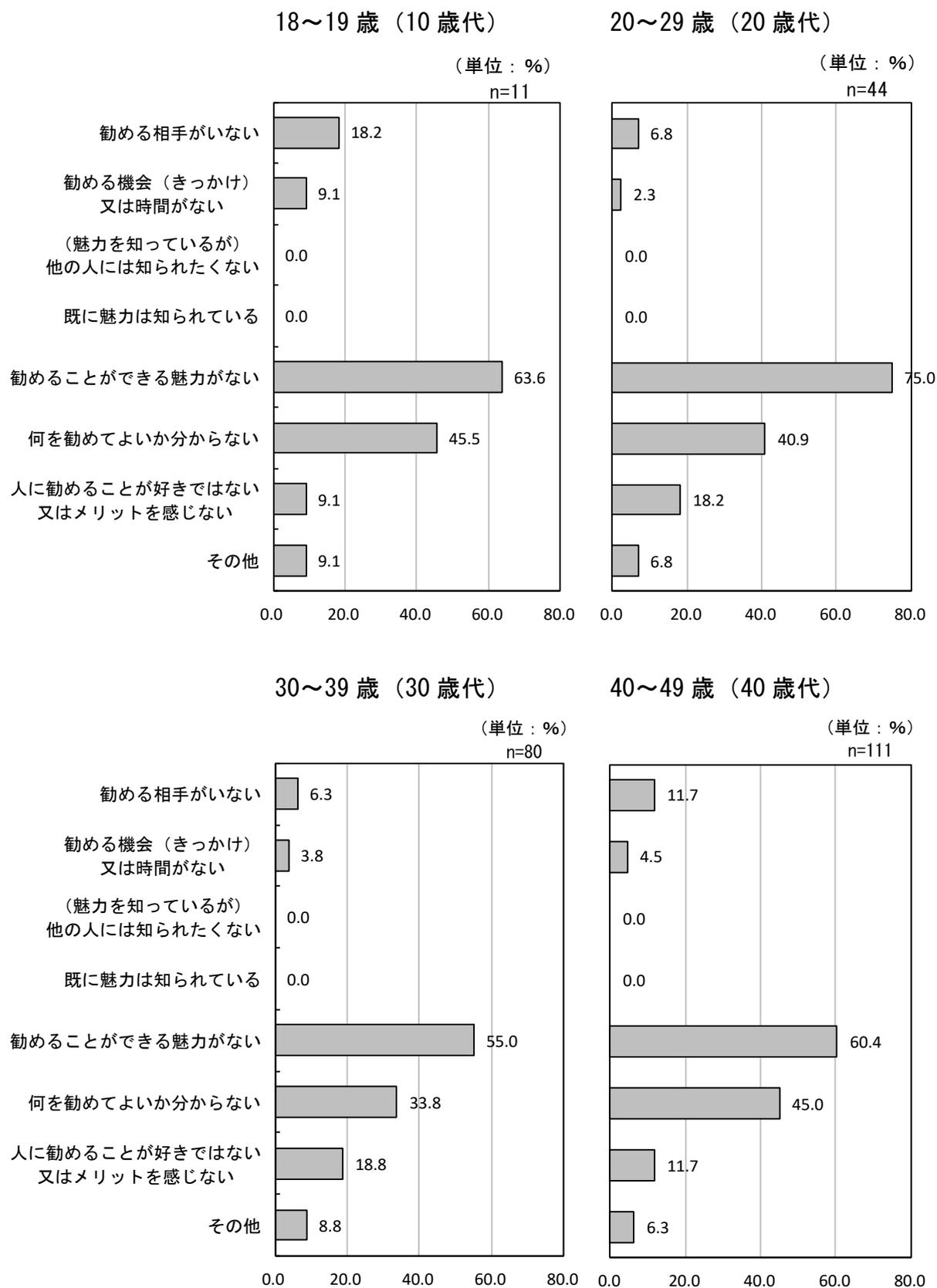
<全体>

「勧めることができる魅力がない」が56.5%と最も高く、次いで「何を勧めてよいか分からない」が39.2%、「勧める相手がいない」が17.2%の順となっている。

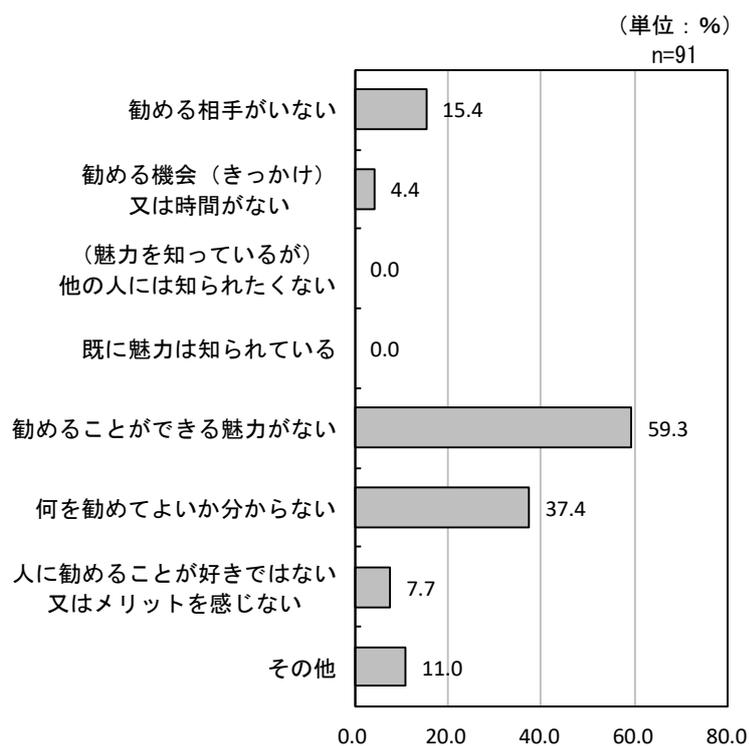


<年代別>

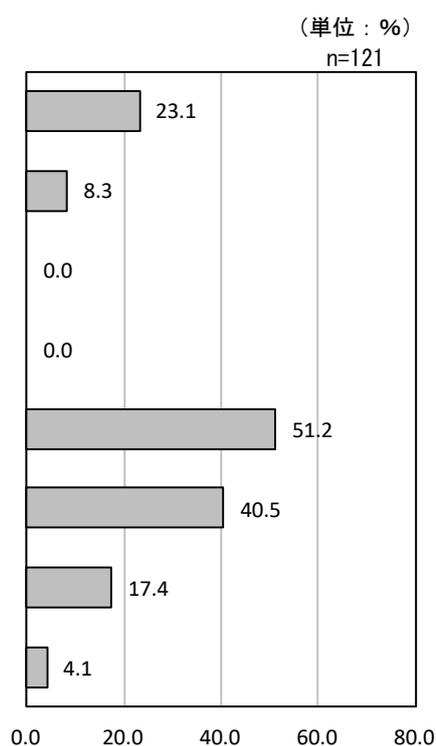
全ての年代において「勧めることができる魅力がない」が、最も高くなっている。



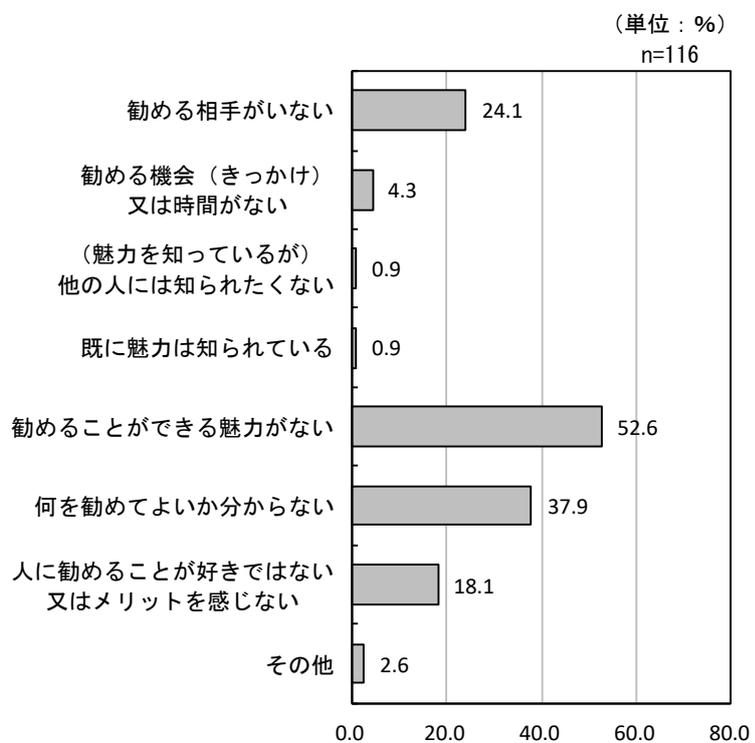
50～59 歳（50 歳代）



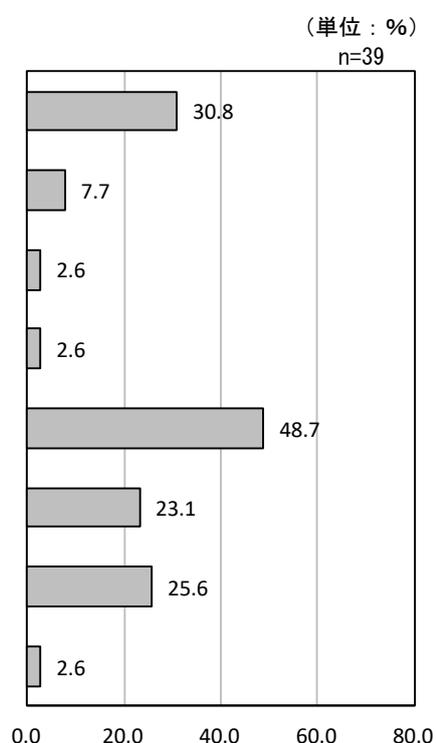
60～69 歳（60 歳代）



70～79 歳（70 歳代）



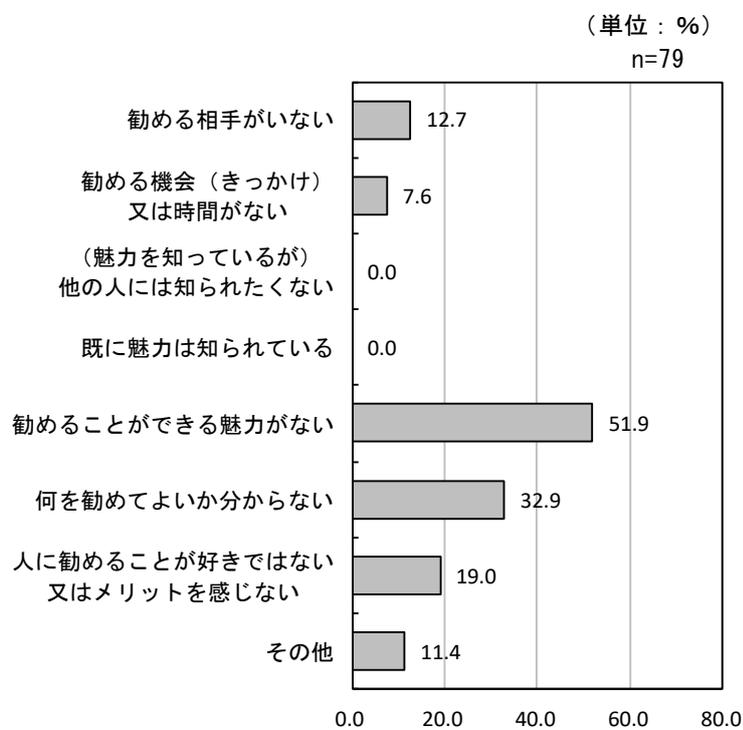
80 歳以上



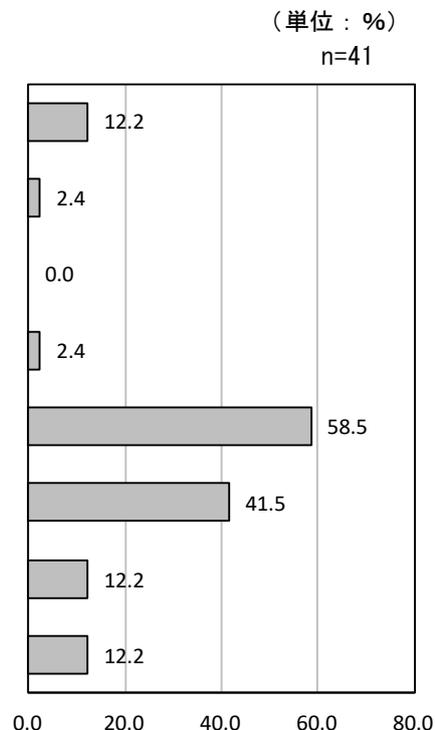
<中学校区別>

全ての中学校区において「勧めることができる魅力がない」「何を勧めてよいか分からない」が、高くなっている。

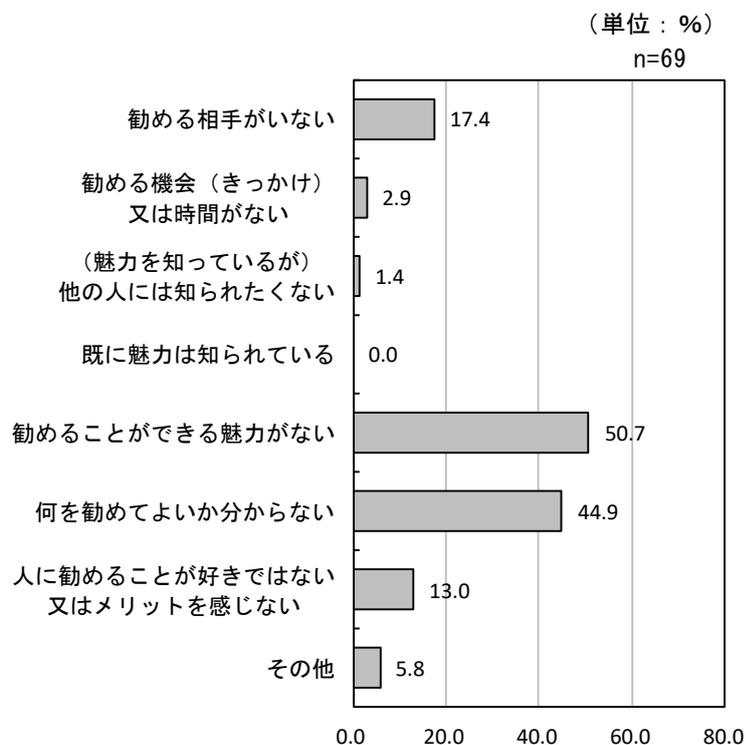
第一中学校区



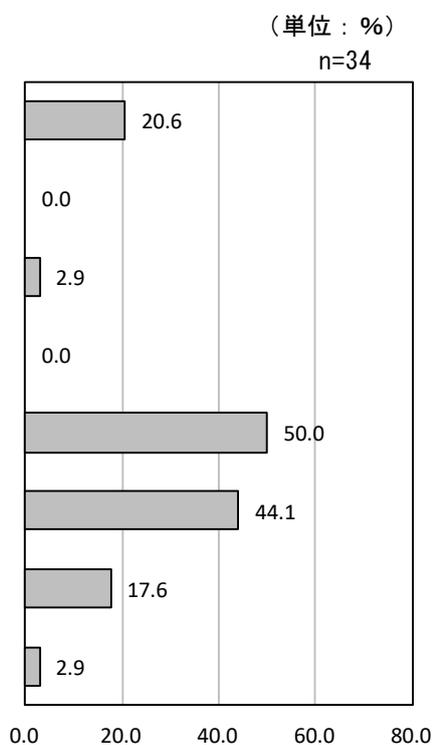
第二中学校区



第三中学校区

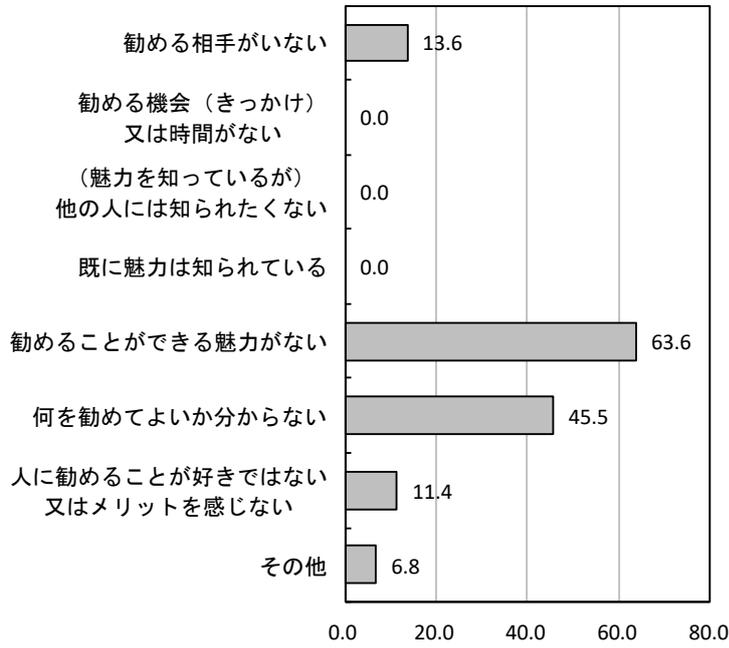


第四中学校区



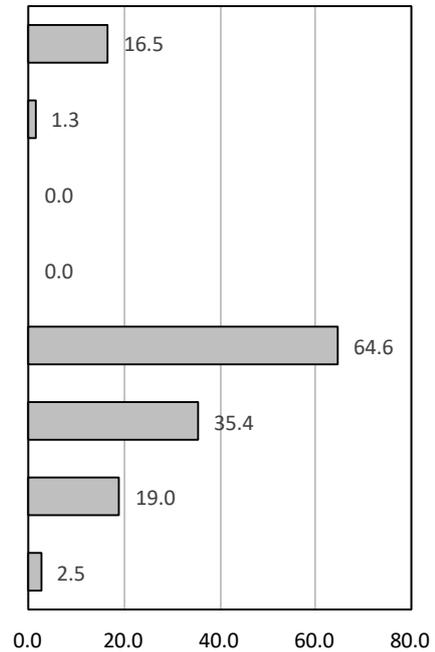
第五中学校区

(単位：%)
n=44



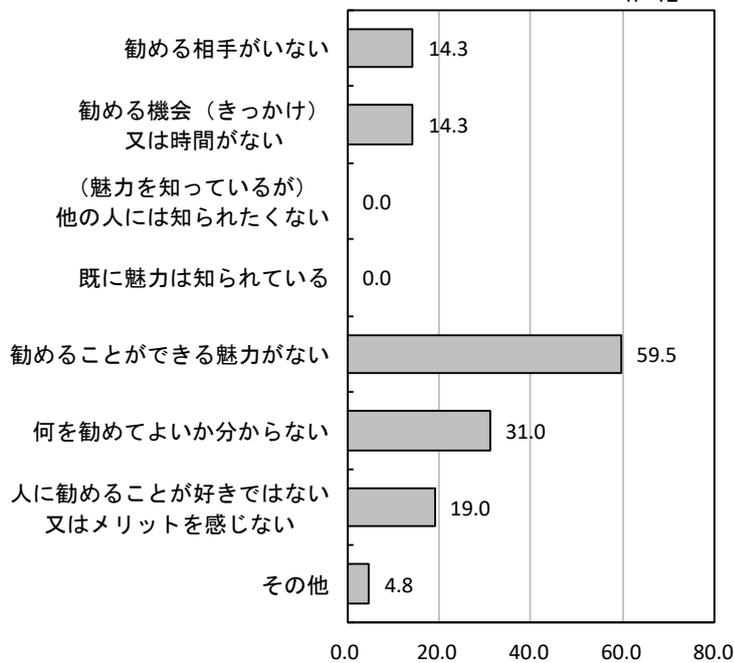
第六中学校区

(単位：%)
n=79



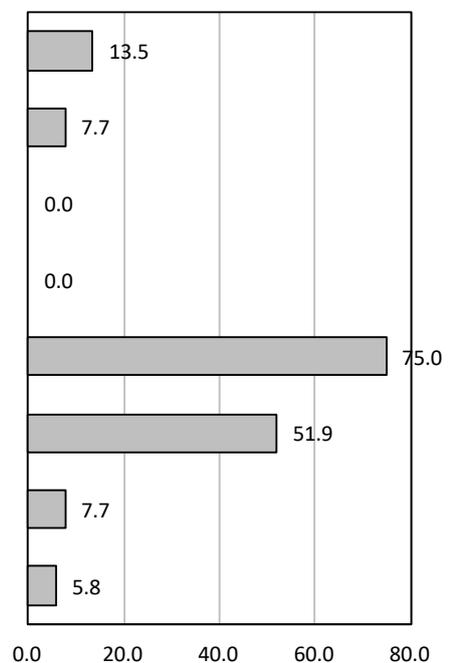
第七中学校区

(単位：%)
n=42



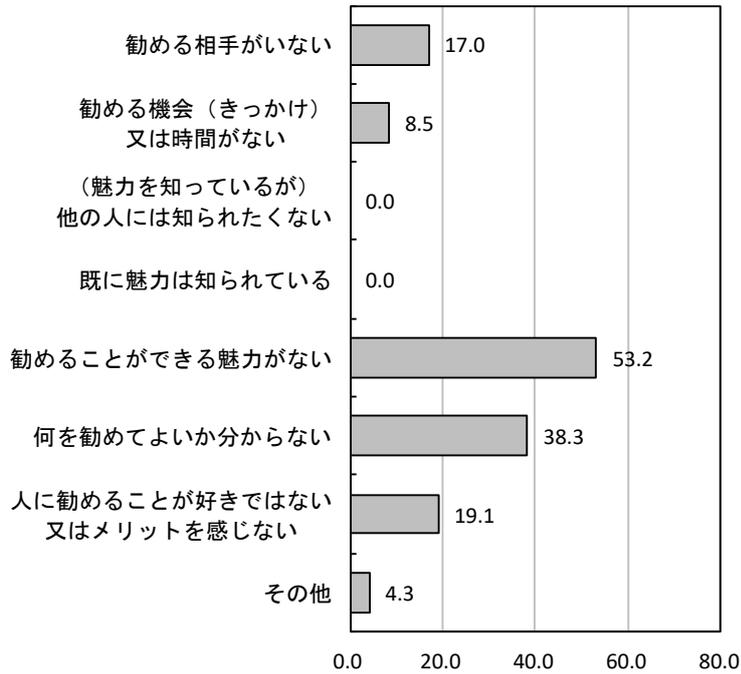
第八中学校区

(単位：%)
n=52



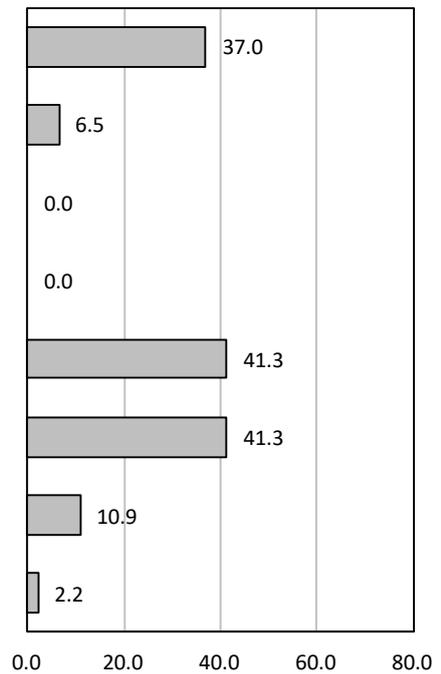
第九中学校区

(単位：%)
n=47



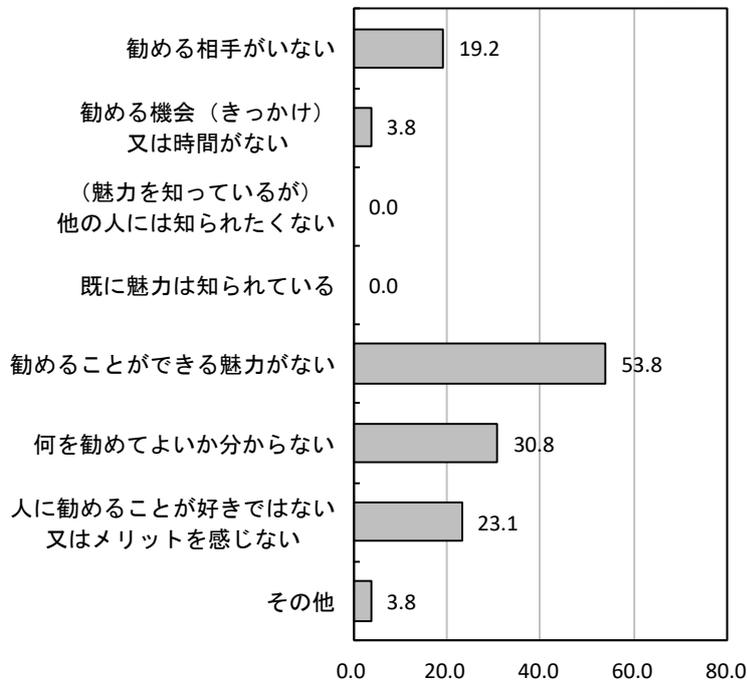
第十中学校区

(単位：%)
n=46



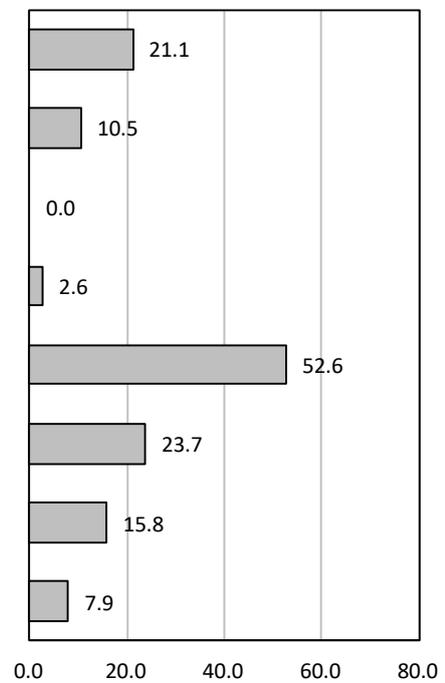
友呂岐中学校区

(単位：%)
n=26



中木田中学校区

(単位：%)
n=38

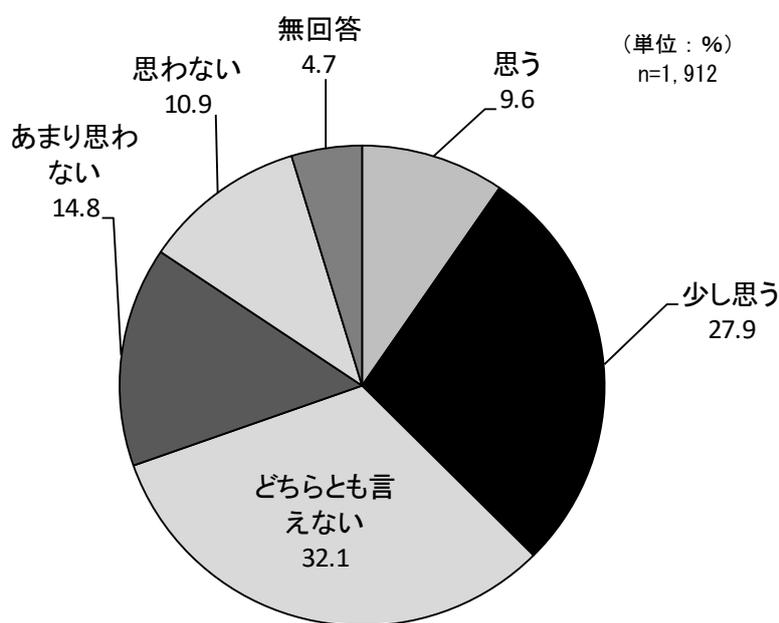


問 92 あなたは、地域をより良くするために、あなたができる活動(地域協働、自治会の活動、ボランティア活動など)をしたいと思いますか。

<全体>

「どちらとも言えない」が32.1%で最も高く、次いで「少し思う」が27.9%、「あまり思わない」が14.8%の順となっている。

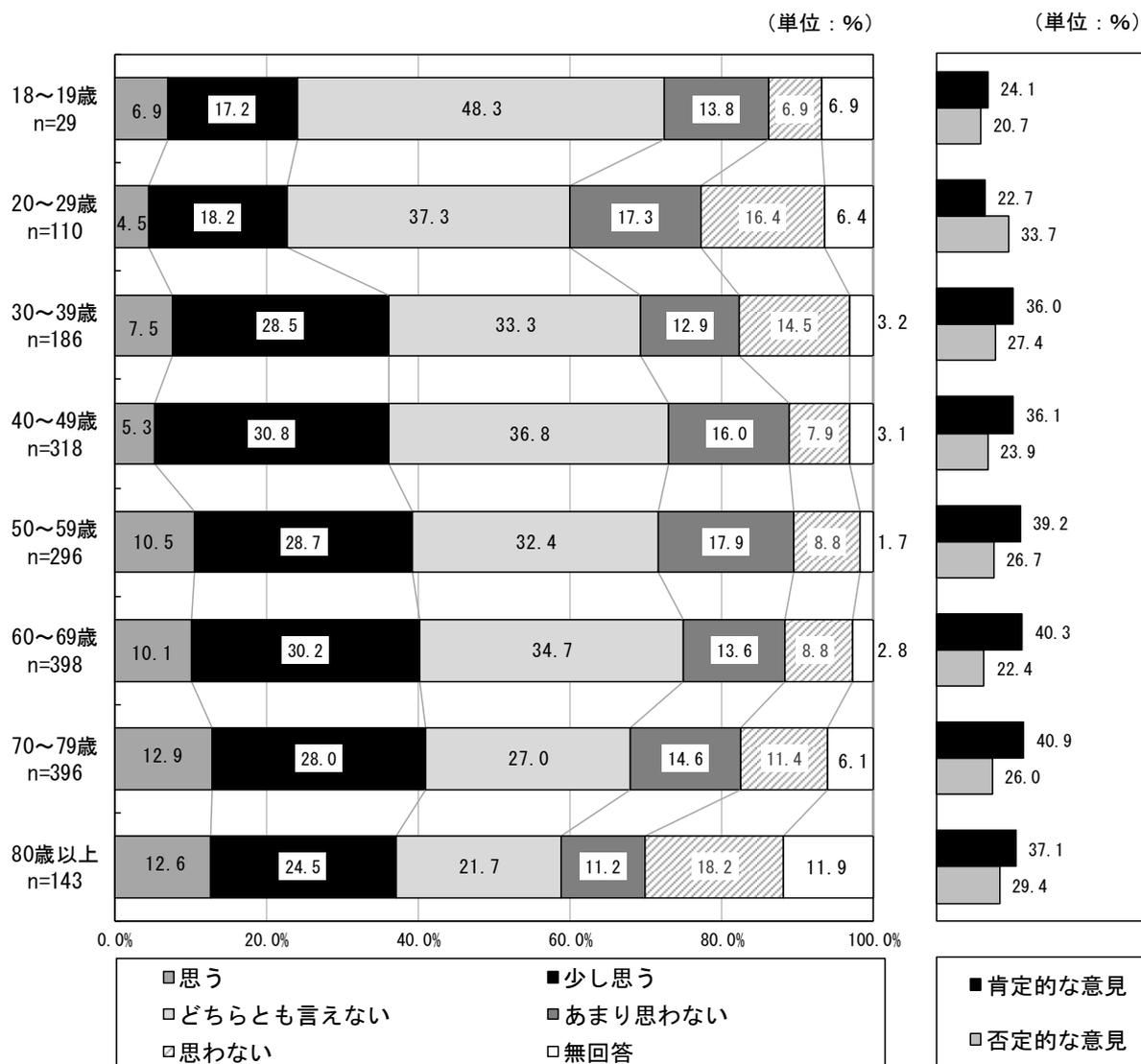
「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は37.5%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は25.7%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



<年代別>

20歳代以外の年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは70歳代で、次いで60歳代、50歳代の順となっている。

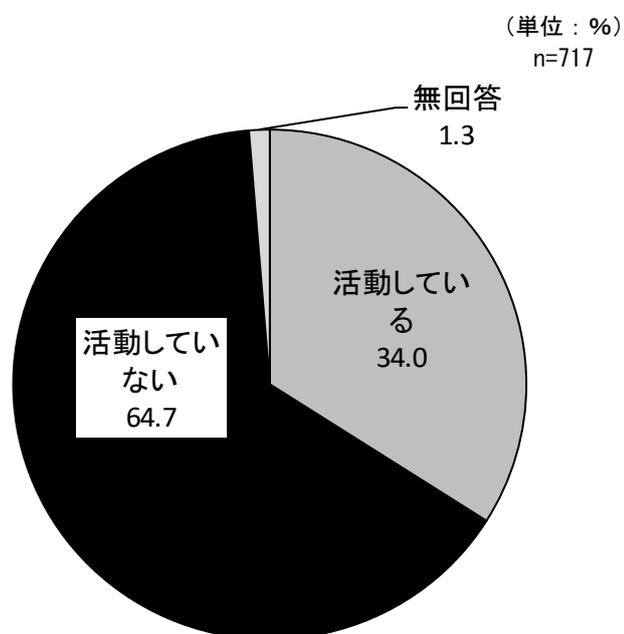
『否定的な意見』の割合は、20歳代、80歳以上、30歳代で高くなっている。



問 93 「思う」又は「少し思う」と答えた人にお聞きします。実際に何か活動をしていますか。

<全体>

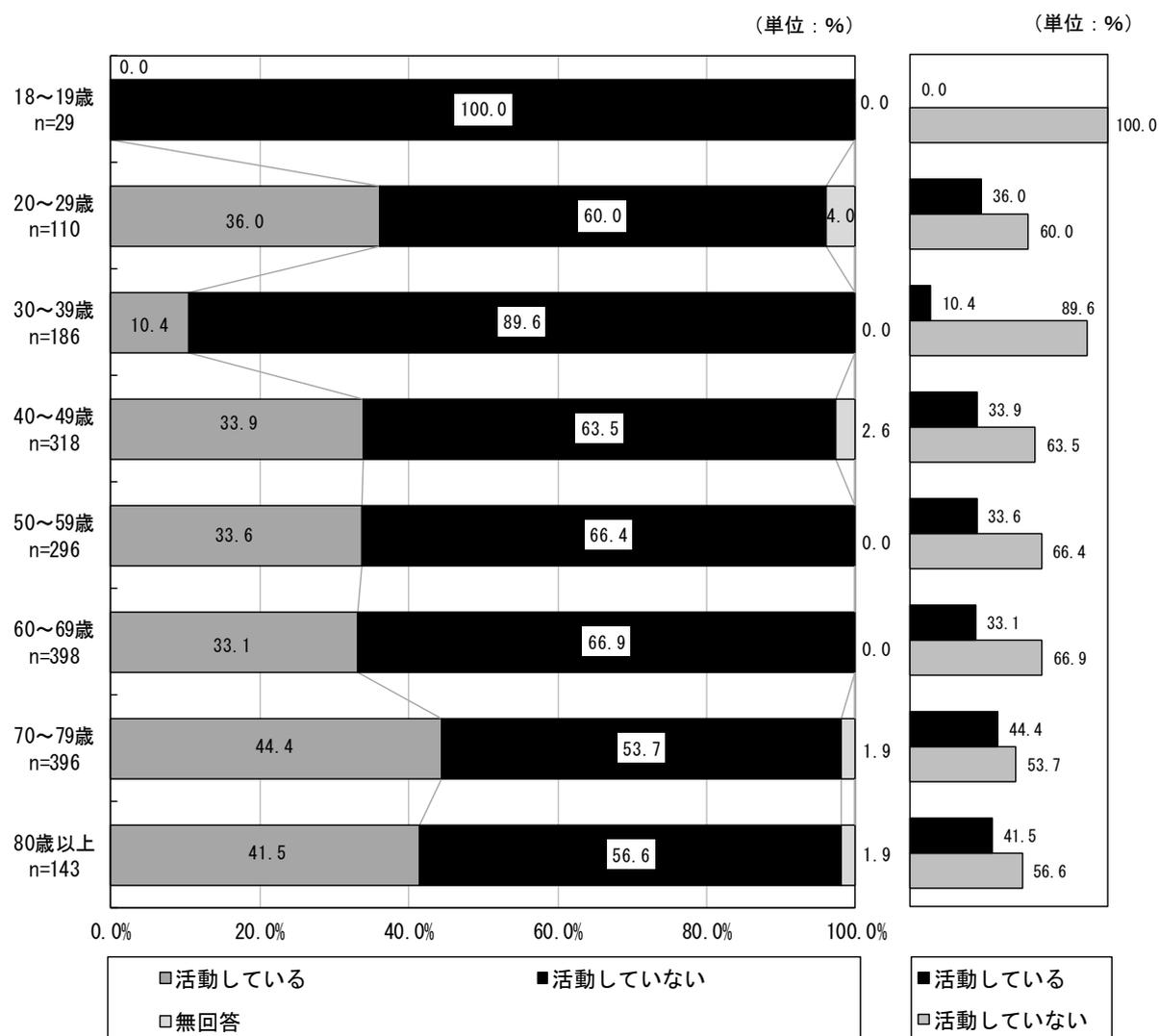
「活動している」が 34.0%で、「活動していない」が 64.7%となっている。



<年代別>

全ての年代において「活動している」が「活動していない」を下回っており、「活動している」の割合が最も高いのは70歳代で、次いで80歳以上、40歳代の順となっている。

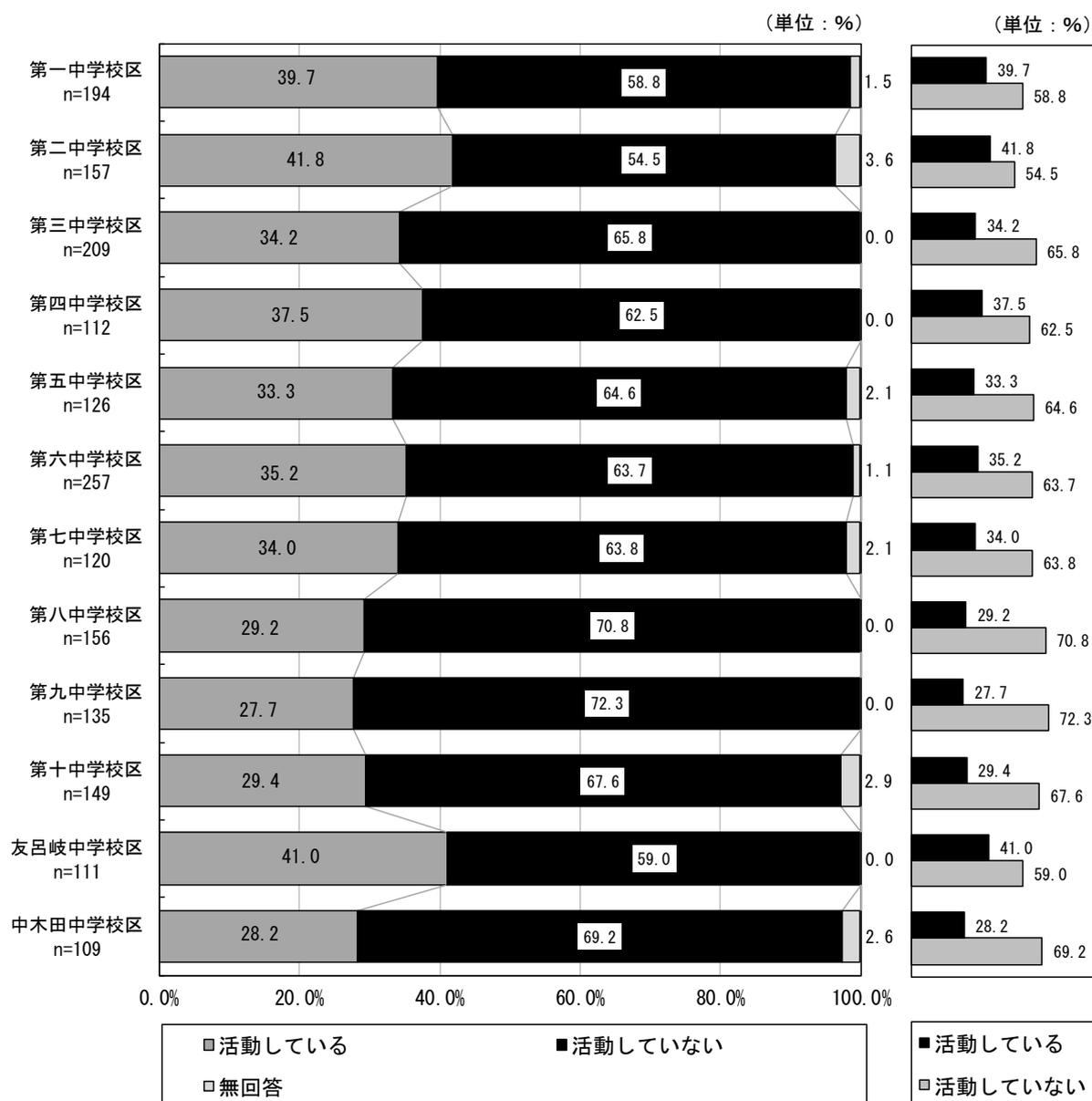
「活動していない」の割合は、10歳代、30歳代、60歳代で高くなっている。



＜中学校区別＞

全ての中学校区において「活動している」が「活動していない」を下回っており、「活動している」の割合が最も高いのは第二中学校区で、次いで友呂岐、第一中学校区の順となっている。

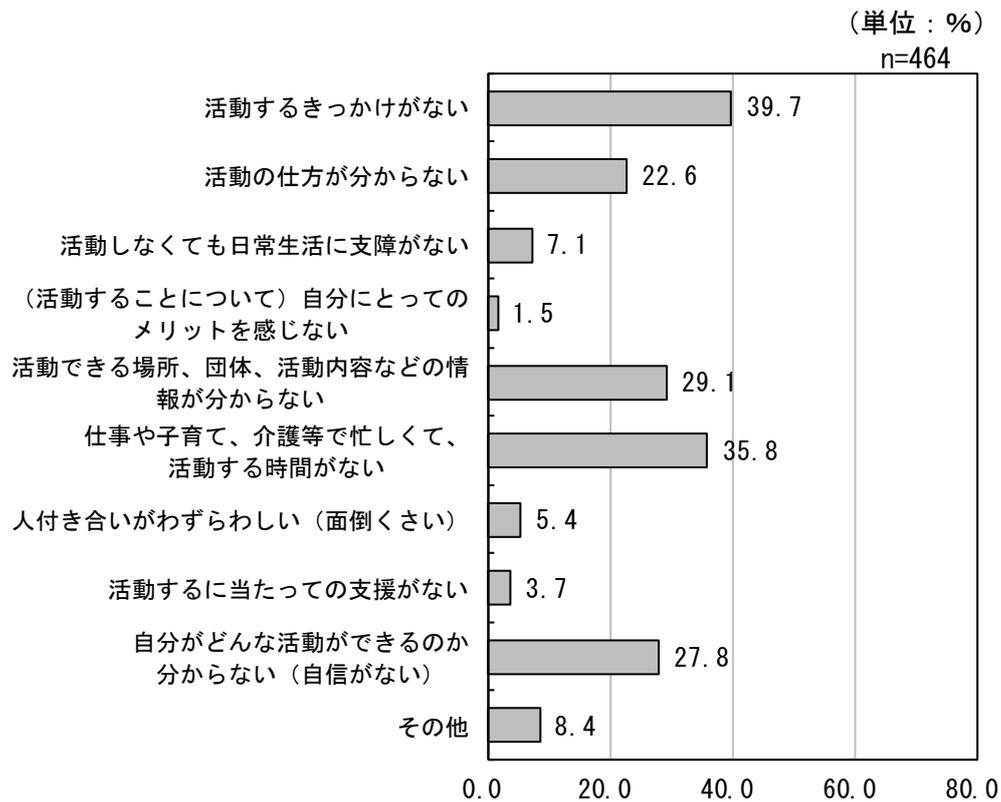
「活動していない」の割合は、第九、第八、中木田中学校区で高くなっている。



問 94 「活動していない」と答えた人にお聞きします。それはどのような理由からですか。当てはまるものに○を付けてください。（○は3つまで）

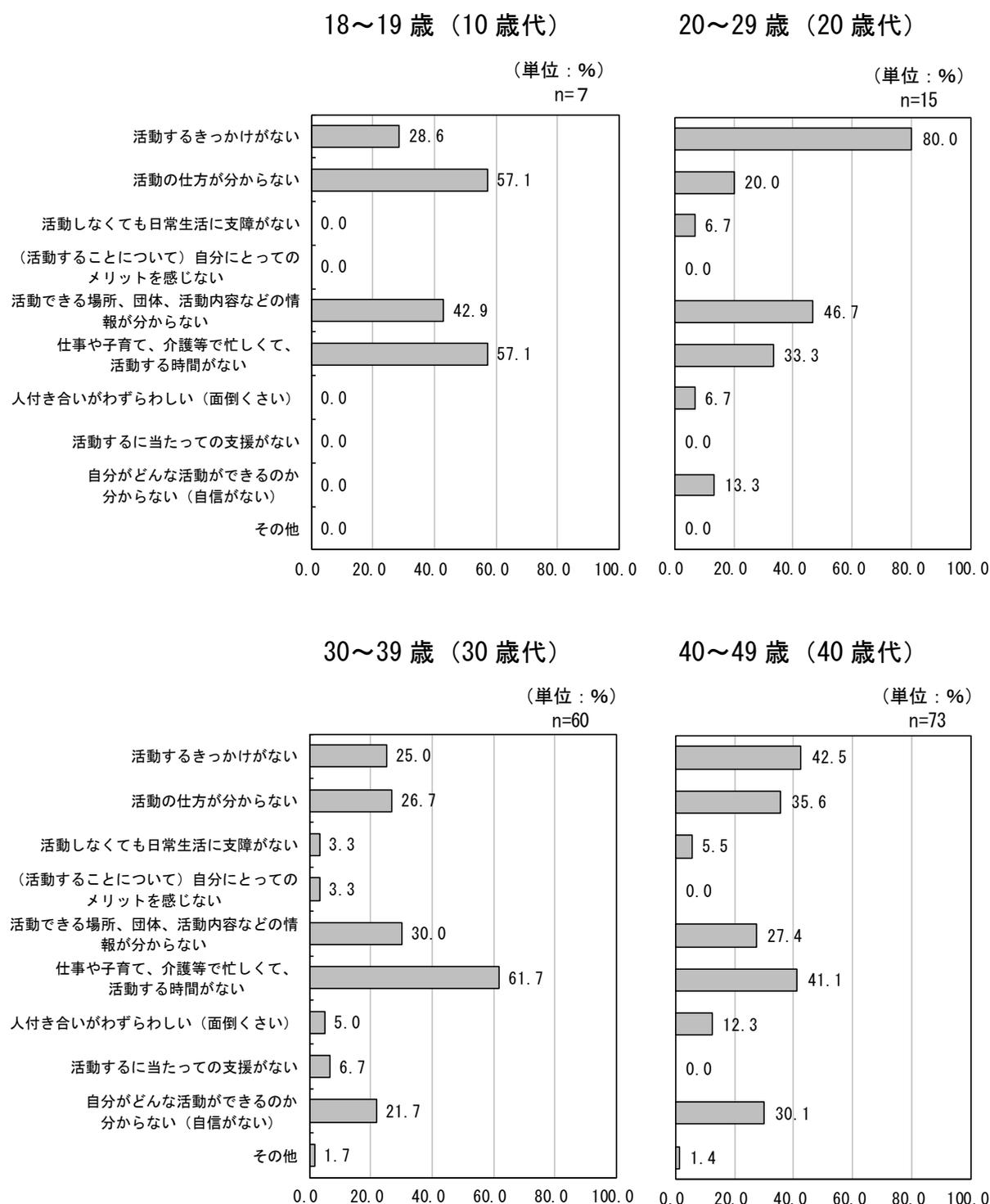
<全体>

「活動するきっかけがない」が39.7%と最も高く、次いで「仕事や子育て、介護等で忙しくて、活動する時間がない」が35.8%、「活動できる場所、団体、活動内容などの情報が分からない」が29.1%の順となっている。



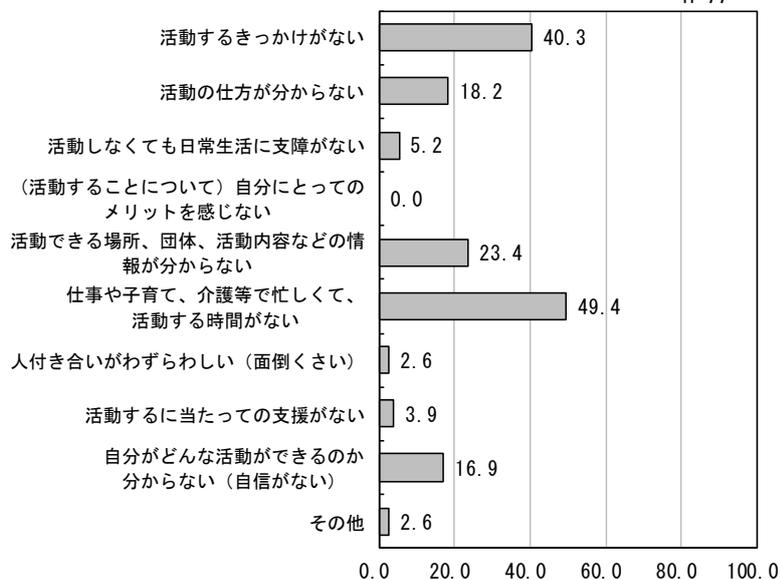
<年代別>

20歳代、40歳代、60歳代、70歳代において「活動するきっかけがない」が、最も高くなっている。



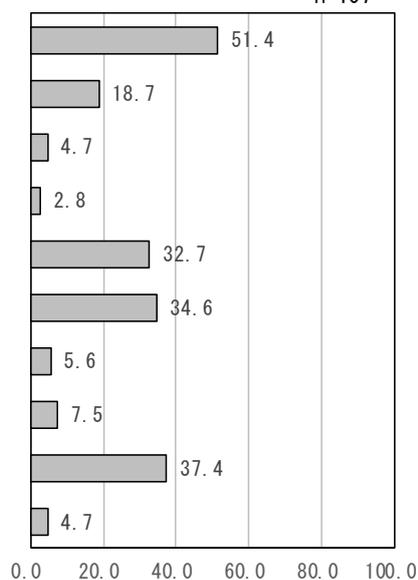
50～59 歳 (50 歳代)

(単位：%)
n=77



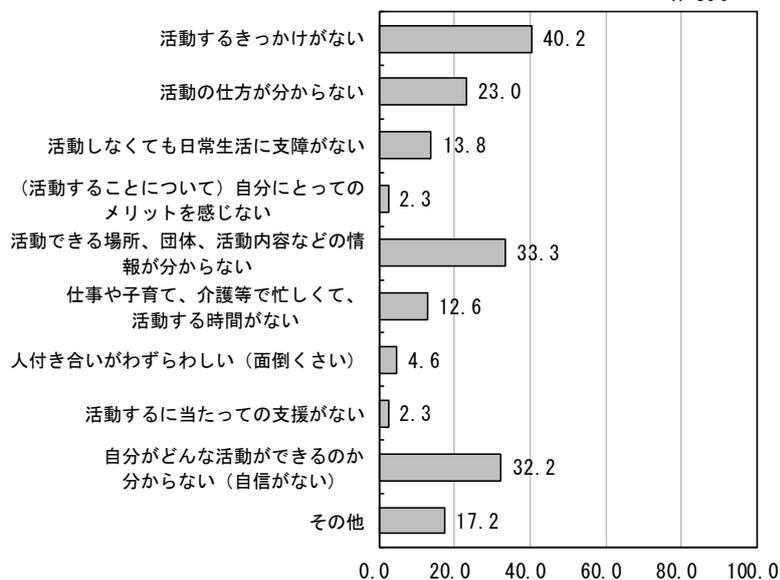
60～69 歳 (60 歳代)

(単位：%)
n=107



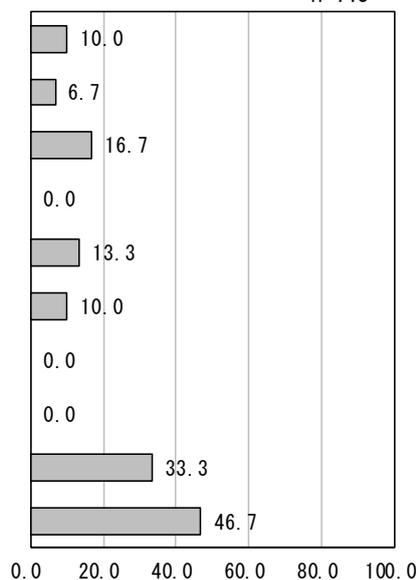
70～79 歳 (70 歳代)

(単位：%)
n=396



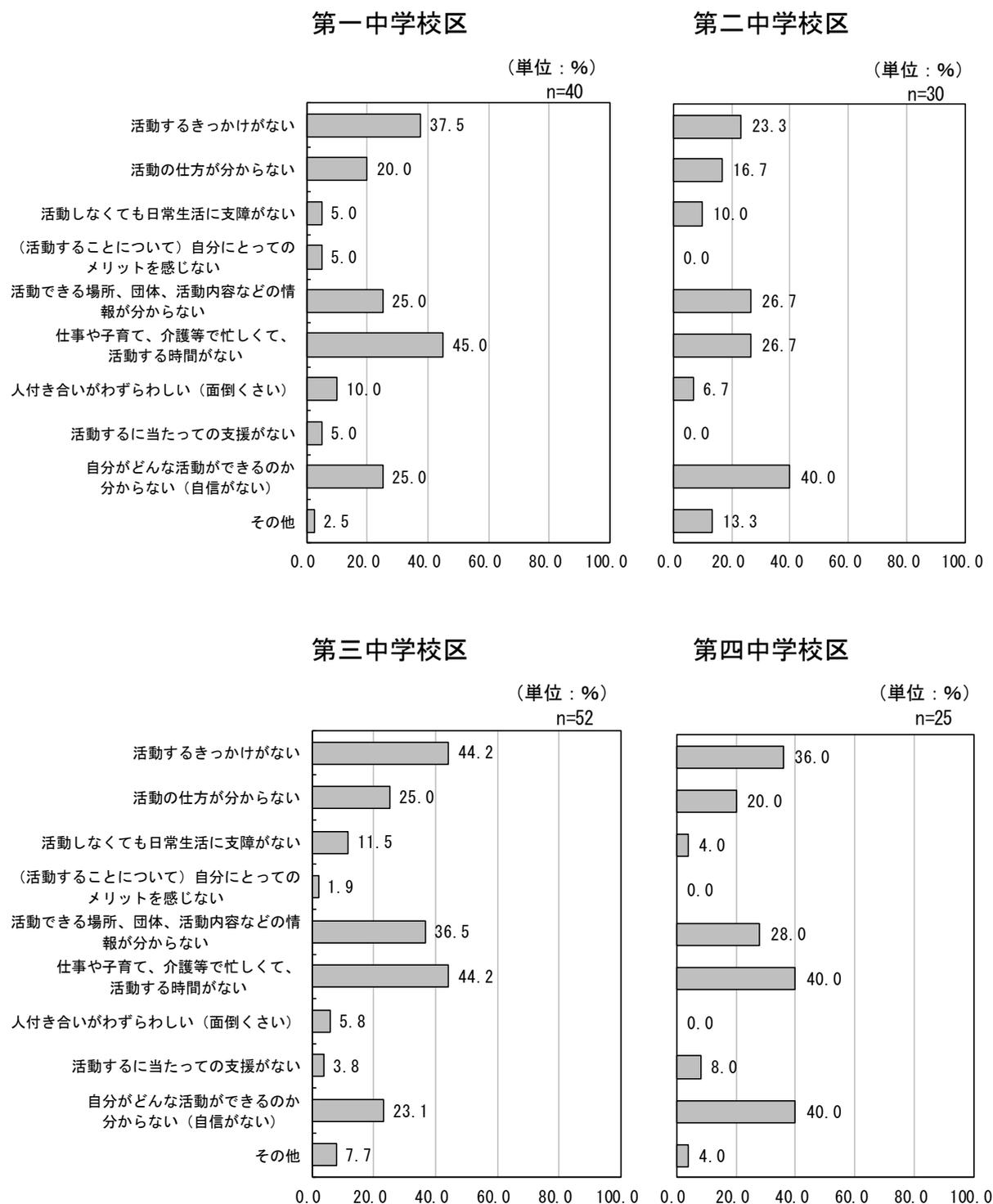
80 歳以上

(単位：%)
n=143



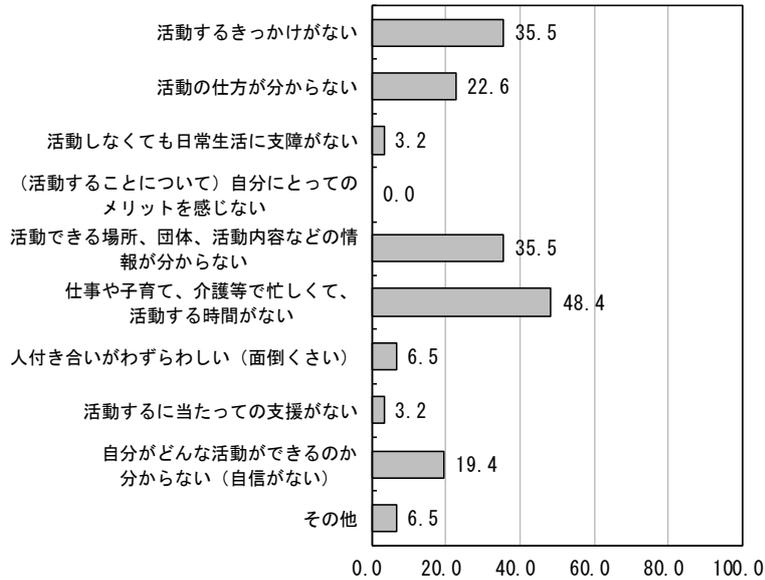
<中学校区別>

全ての中学校区において「活動するきっかけがない」「活動の仕方が分からない」「活動できる場所、団体、活動内容などの情報が分からない」「仕事や子育て、介護等で忙しくて、活動する時間がない」「自分がどんな活動ができるのか分からない（自信がない）」が、高くなっている。



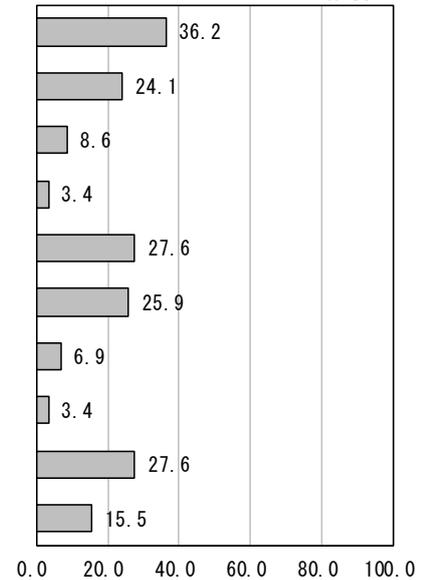
第五中学校区

(単位：%)
n=31



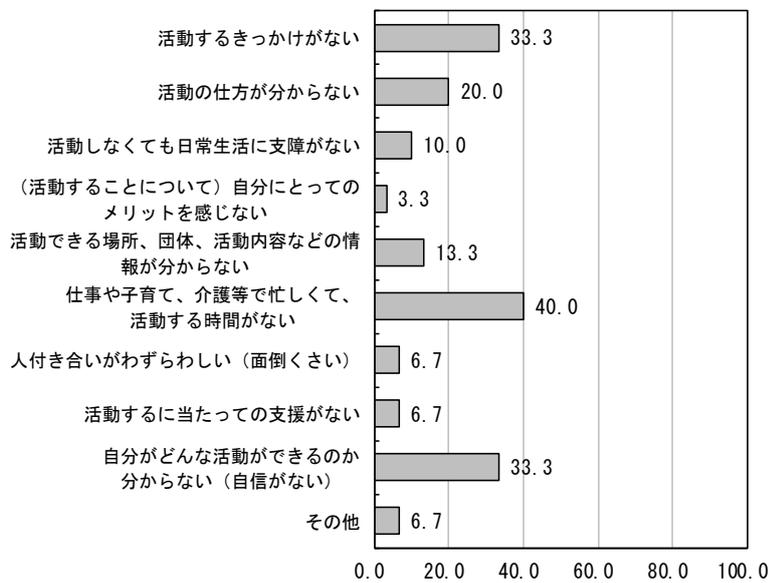
第六中学校区

(単位：%)
n=58



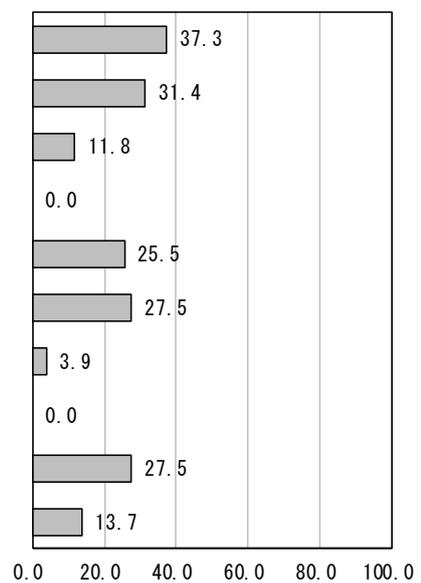
第七中学校区

(単位：%)
n=30



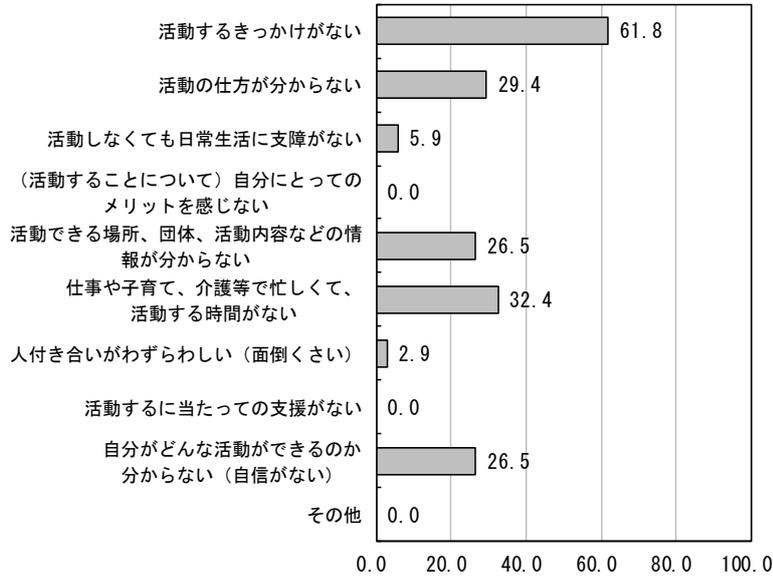
第八中学校区

(単位：%)
n=51



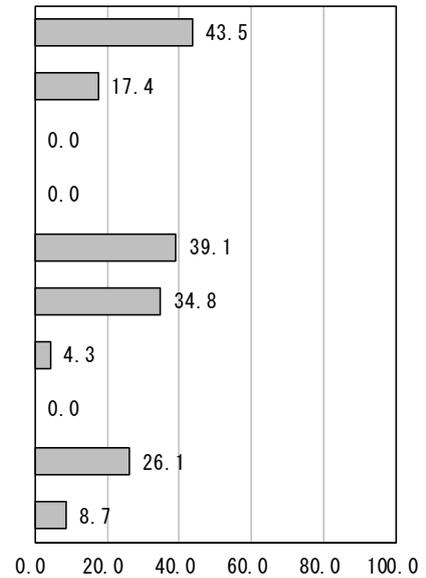
第九中学校区

(単位：%)
n=34



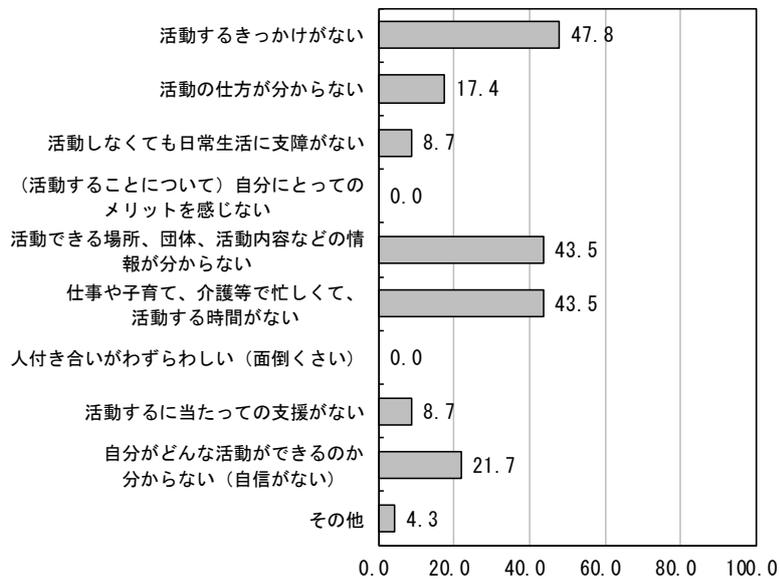
第十中学校区

(単位：%)
n=46



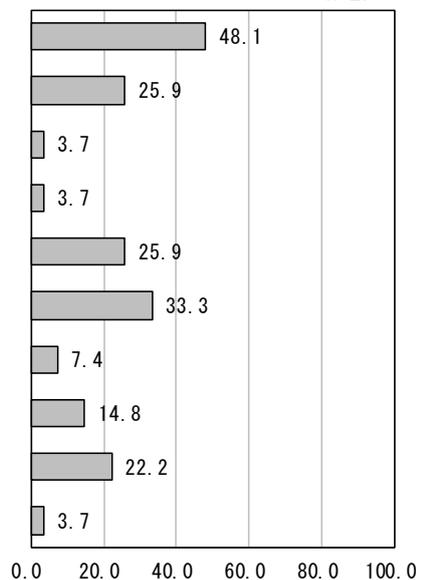
友呂岐中学校区

(単位：%)
n=23



中木田中学校区

(単位：%)
n=27

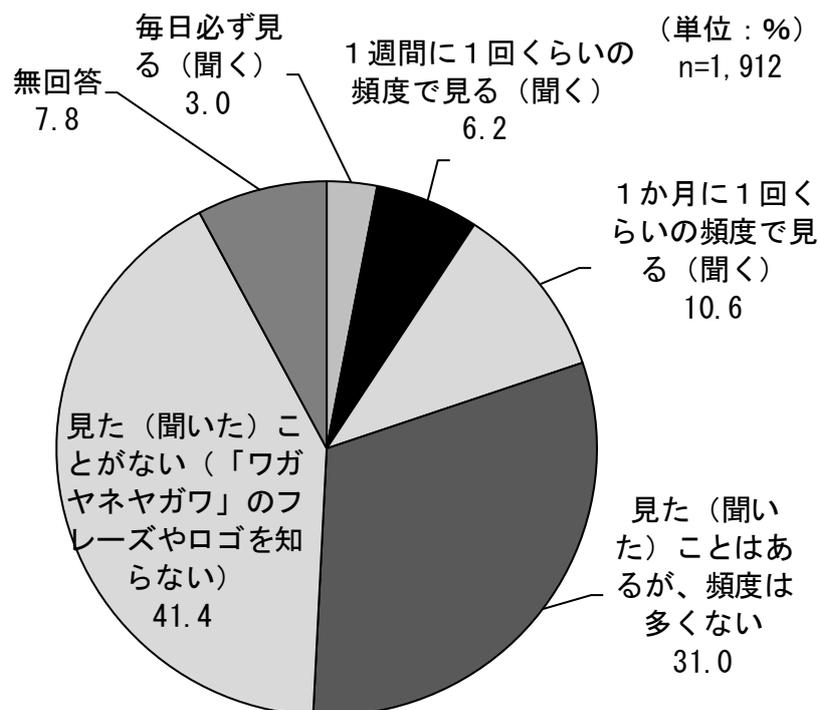


問 95 あなたは、「ワガヤネヤガワ」というフレーズやロゴマークをどれくらいの頻度で見た(聞いた)ことがありますか。当てはまるものに○をしてください。

<全体>

「見た(聞いた)ことがない(「ワガヤネヤガワ」のフレーズやロゴを知らない)」が41.4%と最も高く、次いで「見た(聞いた)ことはあるが、頻度は多くない」が31.0%、「1か月に1回くらいの頻度で見る(聞く)」が10.6%の順となっている。

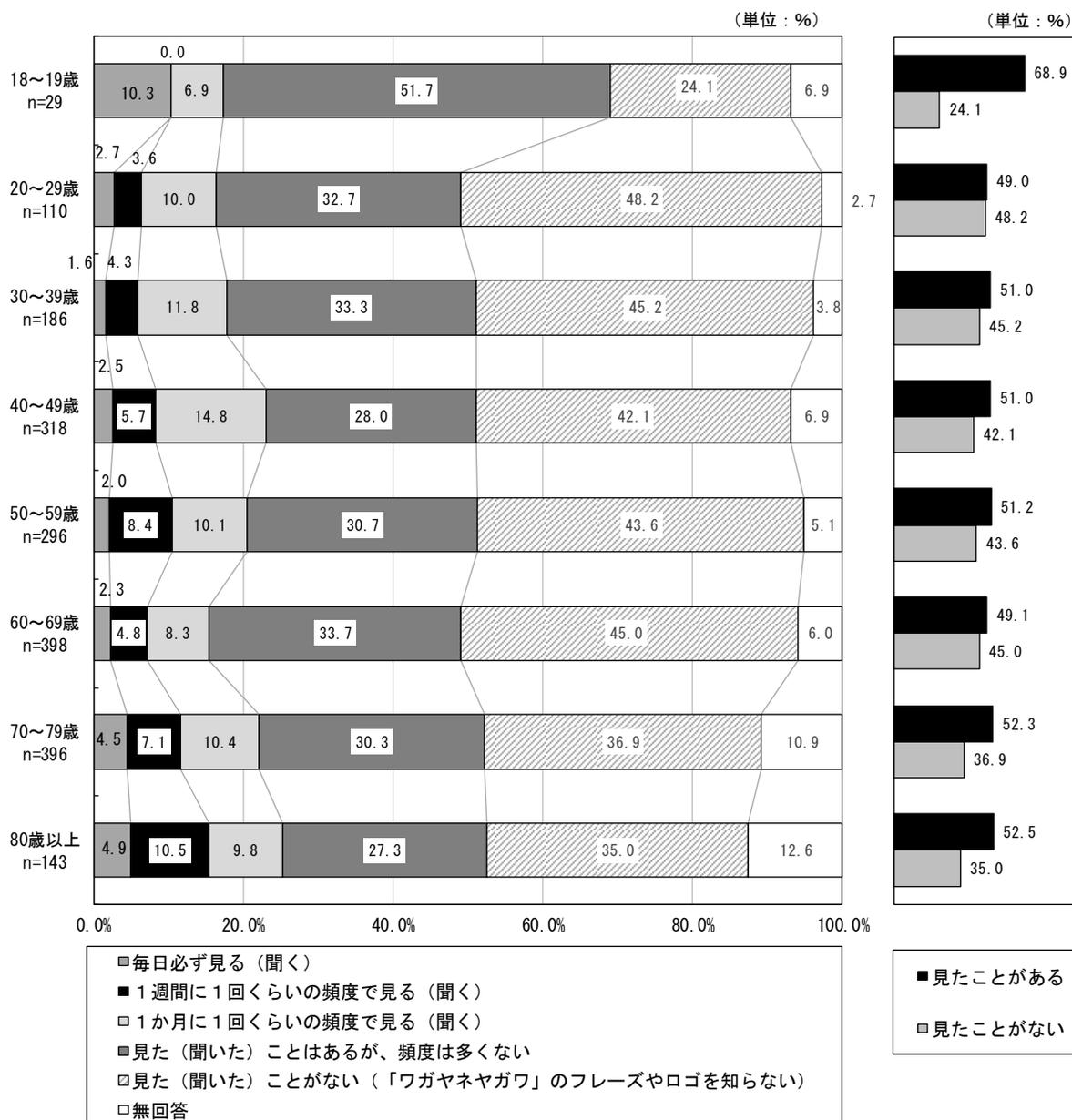
「毎日必ず見る(聞く)」「1週間に1回くらいの頻度で見る(聞く)」「1か月に1回くらいの頻度で見る(聞く)」「見た(聞いた)ことはあるが、頻度は多くない」を合わせた『見たことがある』は50.8%で、「見た(聞いた)ことがない(「ワガヤネヤガワ」のフレーズやロゴを知らない)」の『見たことがない』は41.4%と、『見たことがある』が『見たことがない』を上回っている。



<年代別>

全ての年代において『見たことがある』が『見たことがない』を上回っており、『見たことがある』の割合が最も高いのは10歳代で、次いで80歳以上、70歳代の順となっている。

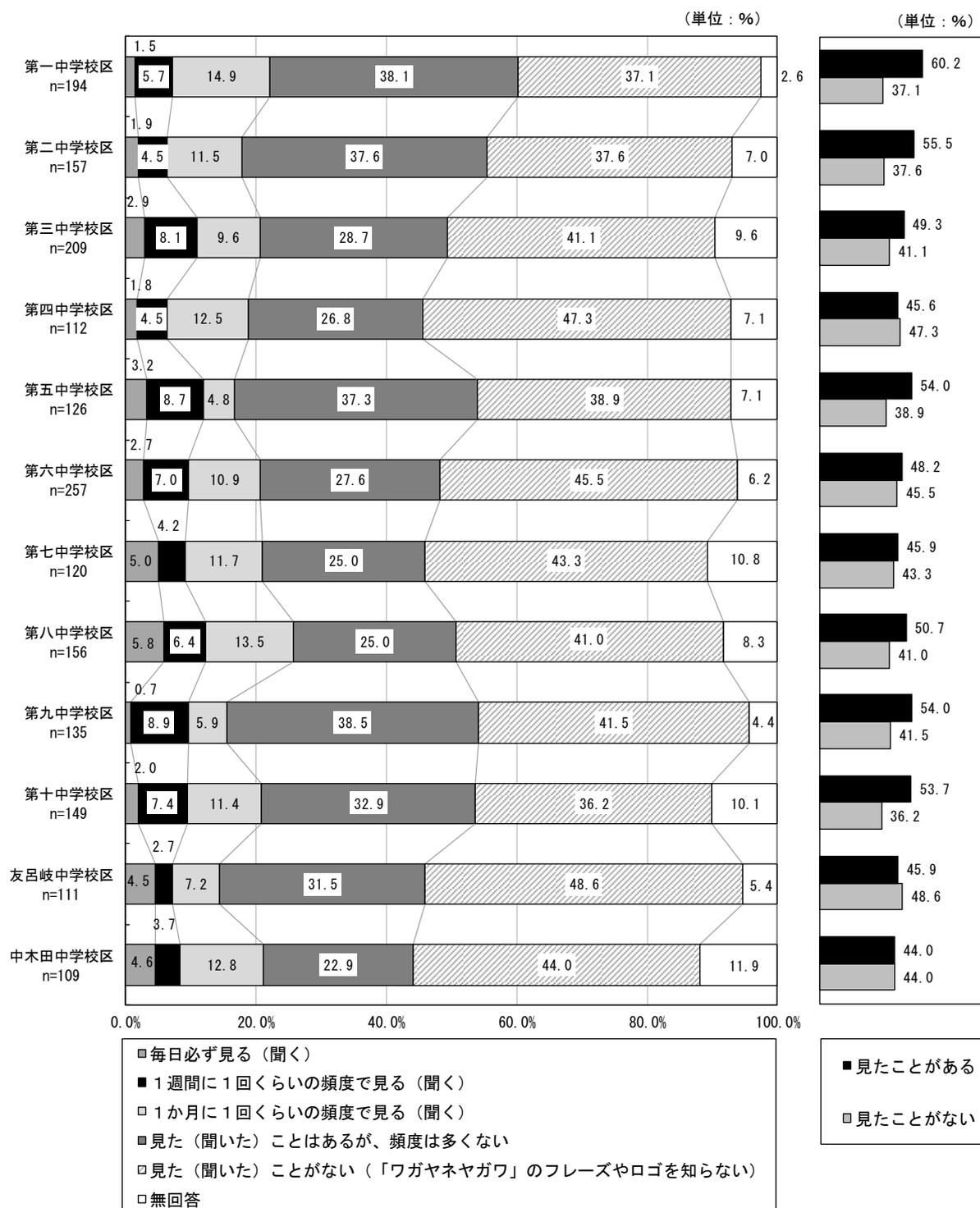
『見たことがない』の割合は、20歳代、30歳代、60歳代で高くなっている。



<中学校区別>

第四、友呂岐、中木田中学校区以外の中学校区において『見たことがある』が『見たことがない』を上回っており、『見たことがある』の割合が最も高いのは第一中学校区で、次いで第二、第五、第九中学校区の順となっている。

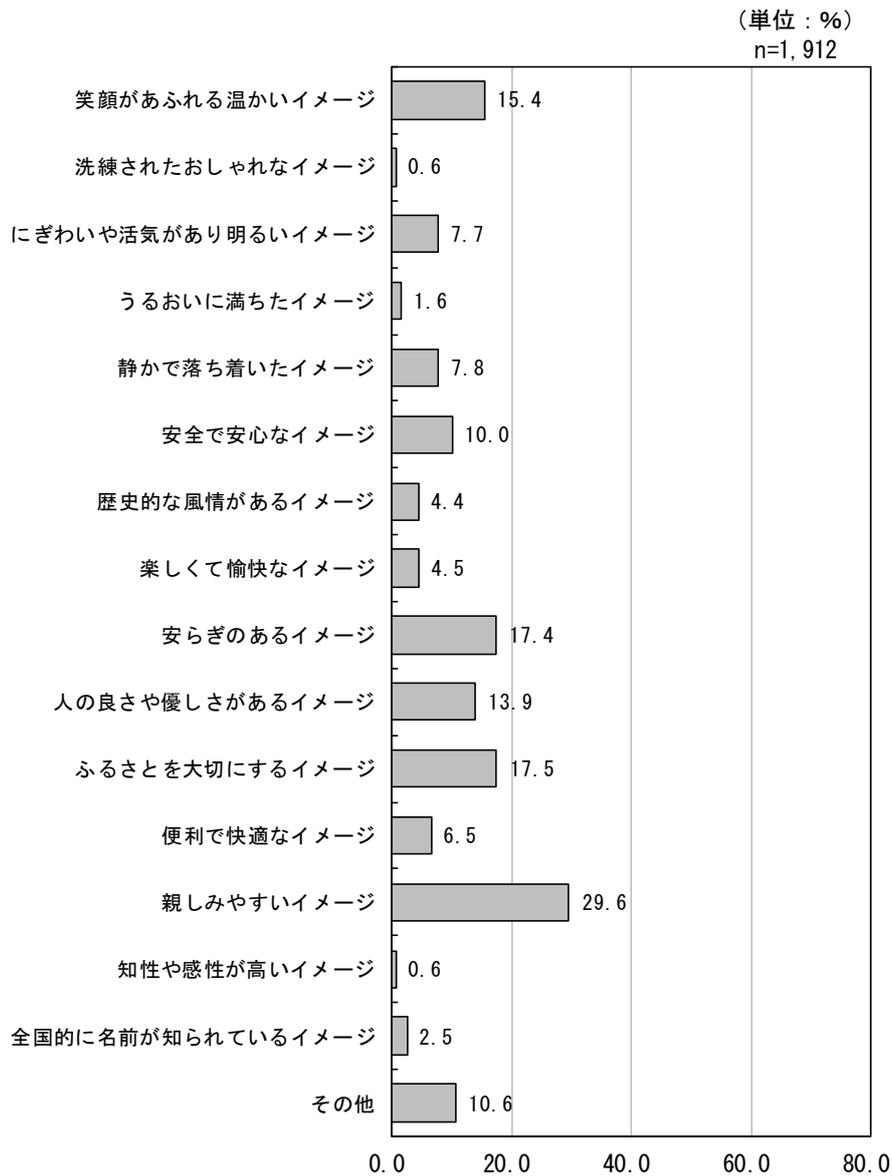
『見たことがない』の割合は、友呂岐、第四、第六中学校区で高くなっている。



問 96 あなたは、「ワガヤネヤガワ」と聞いて、どのようなイメージを持ちますか。
当てはまるものに○を付けてください。（○は3つまで）

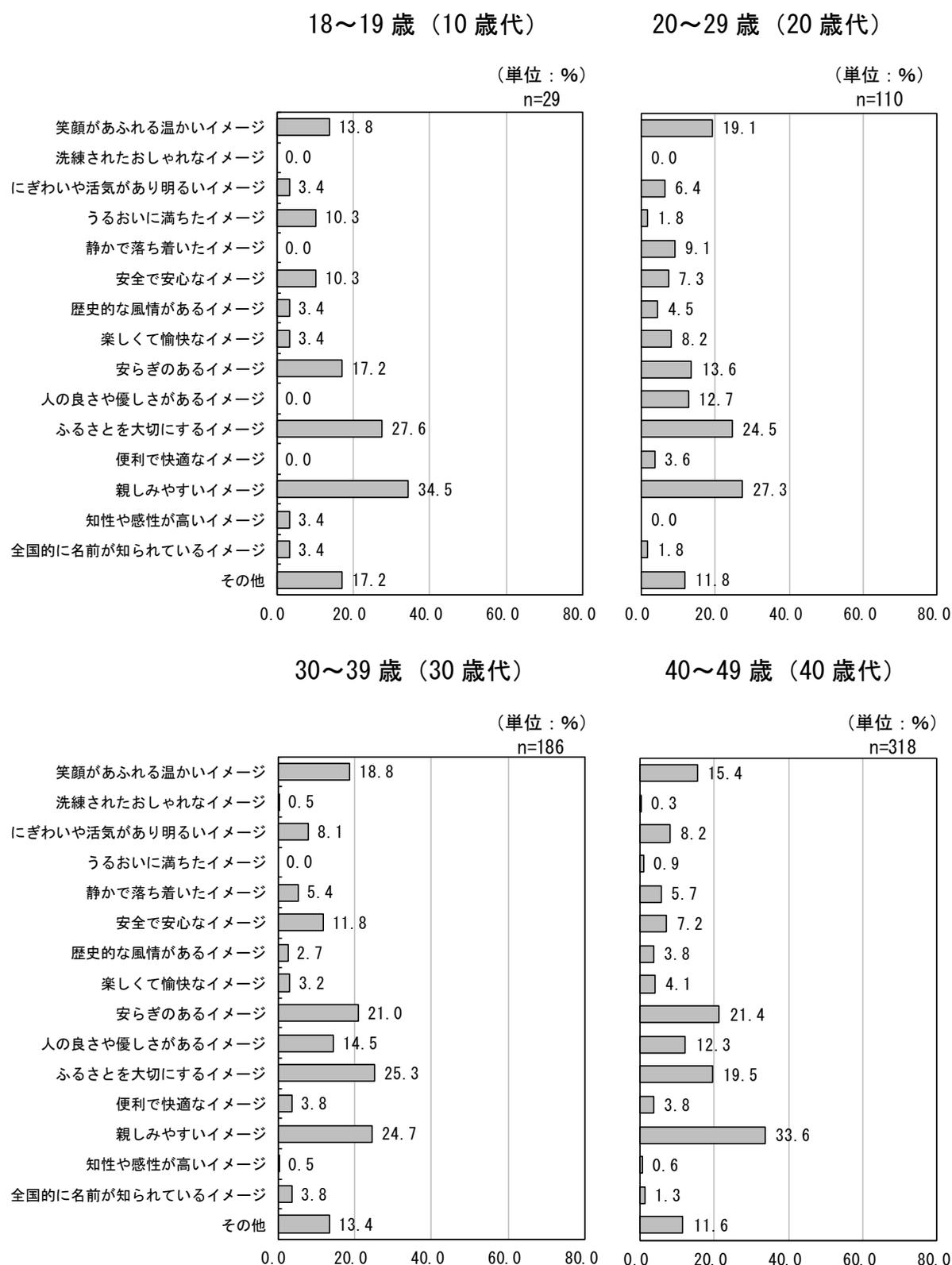
<全体>

「親しみやすいイメージ」が29.6%と最も高く、次いで「ふるさとを大切に
するイメージ」が17.5%、「安らぎのあるイメージ」が17.4%の順となっている。



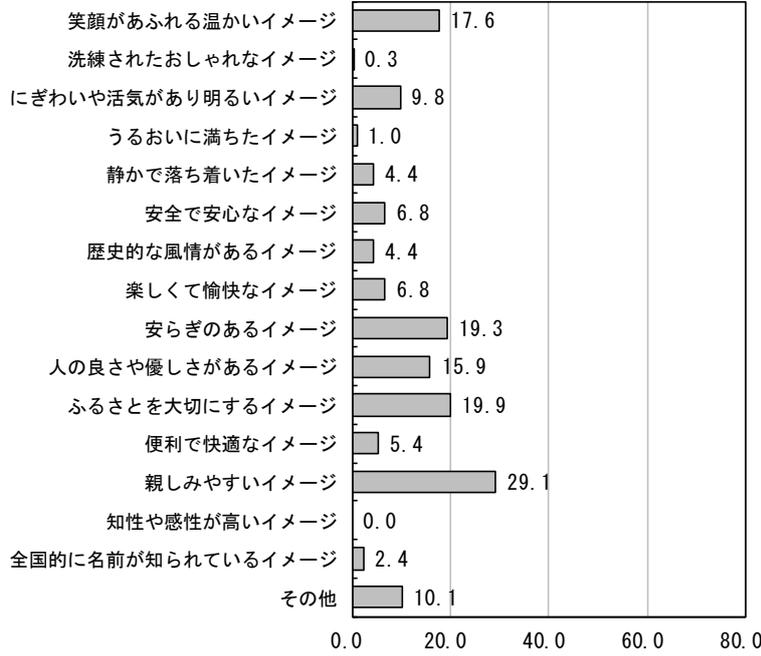
<年代別>

30歳代以外の年代において「親しみやすいイメージ」が、最も高くなっている。
30歳代においては「ふるさとを大切にするイメージ」が、最も高くなっている。



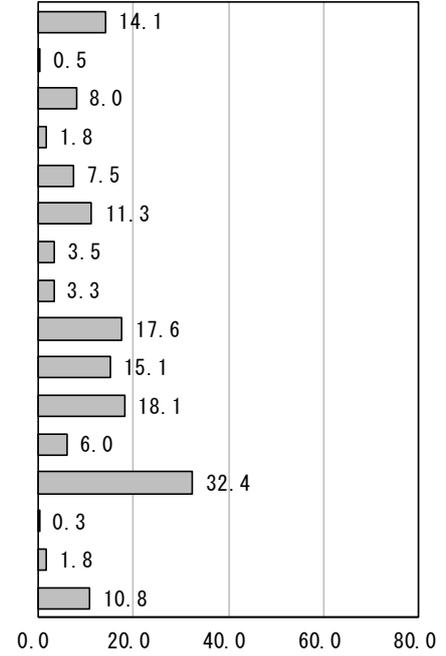
50～59 歳 (50 歳代)

(単位：%)
n=296



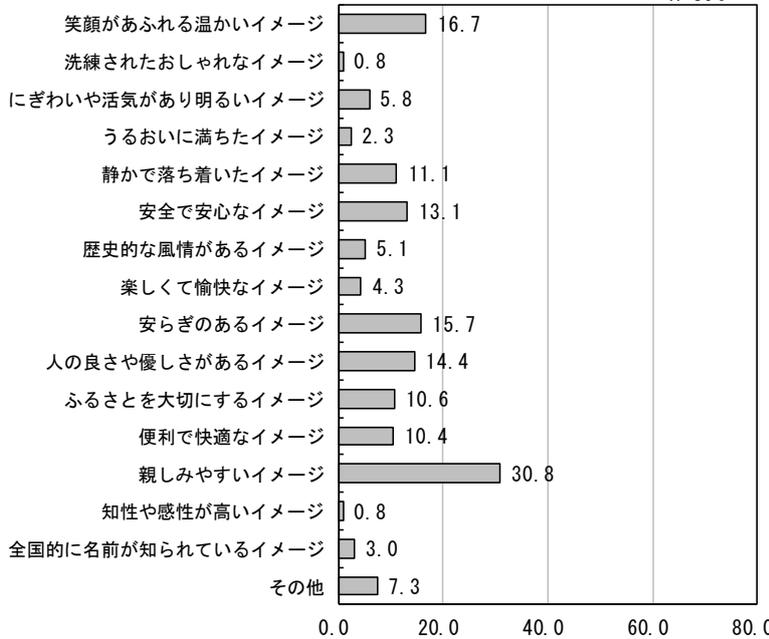
60～69 歳 (60 歳代)

(単位：%)
n=398



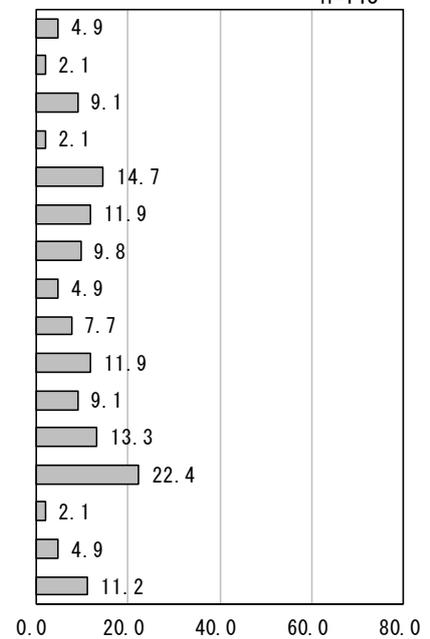
70～79 歳 (70 歳代)

(単位：%)
n=396



80 歳以上

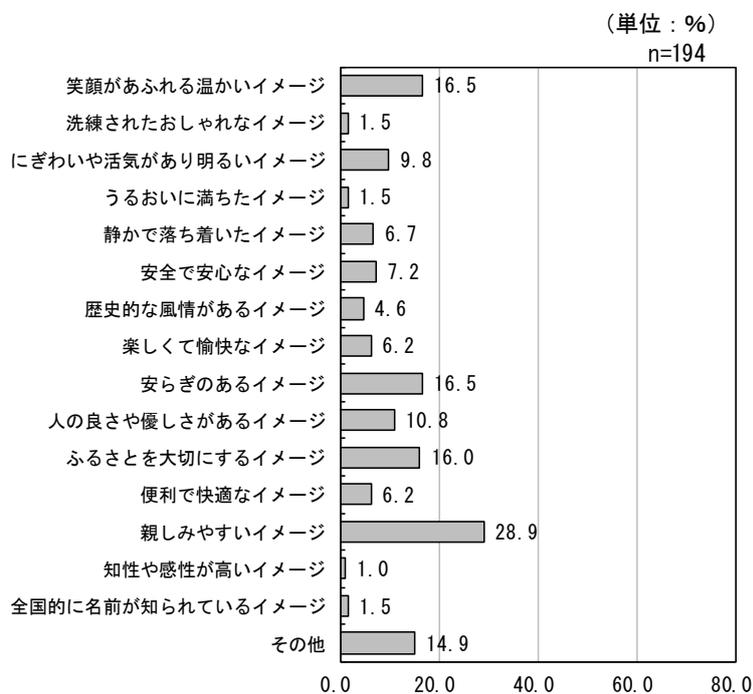
(単位：%)
n=143



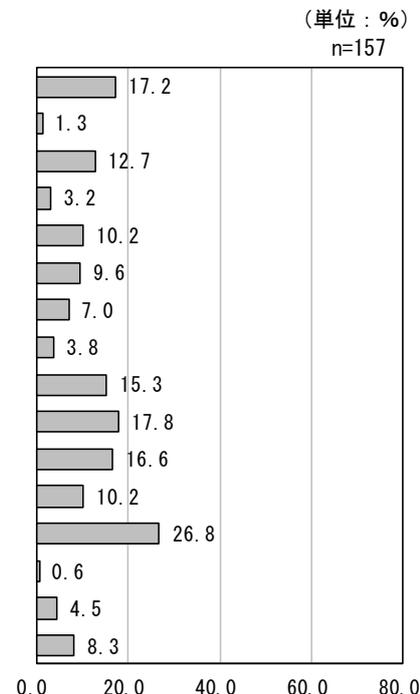
<中学校区別>

全ての中学校区において「親しみやすいイメージ」が、最も高くなっている。

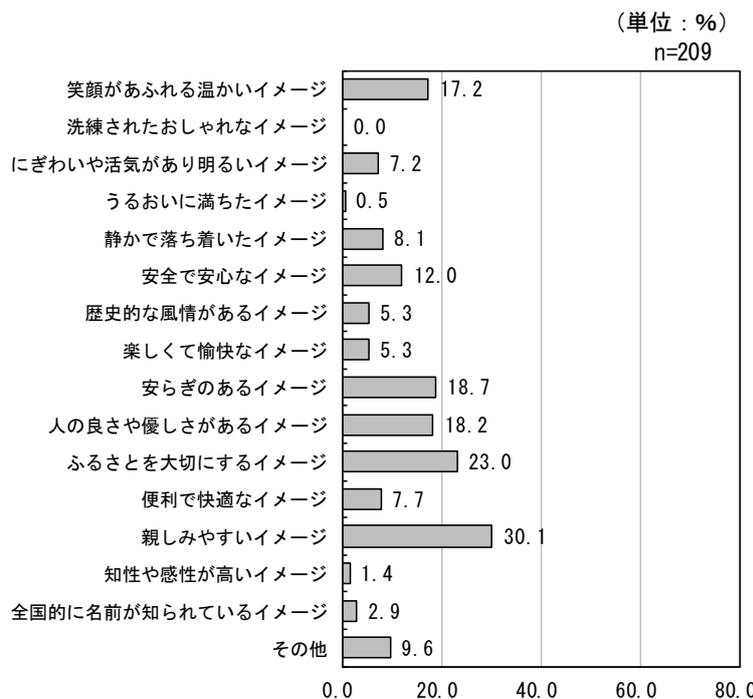
第一中学校区



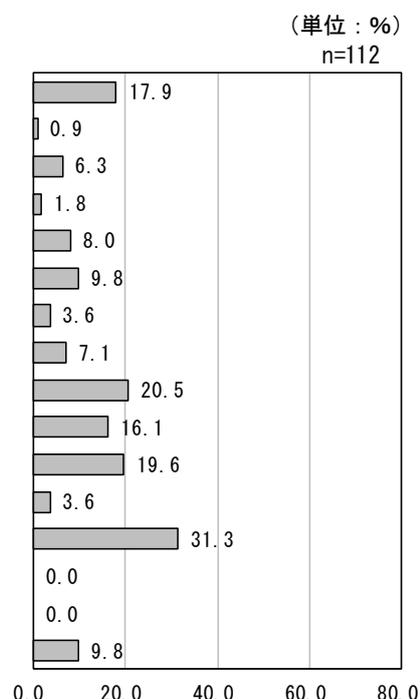
第二中学校区



第三中学校区

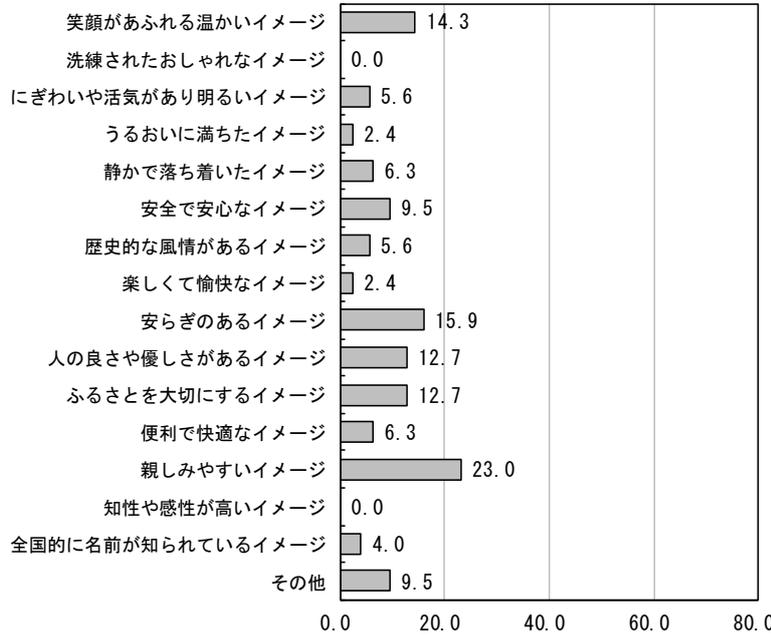


第四中学校区



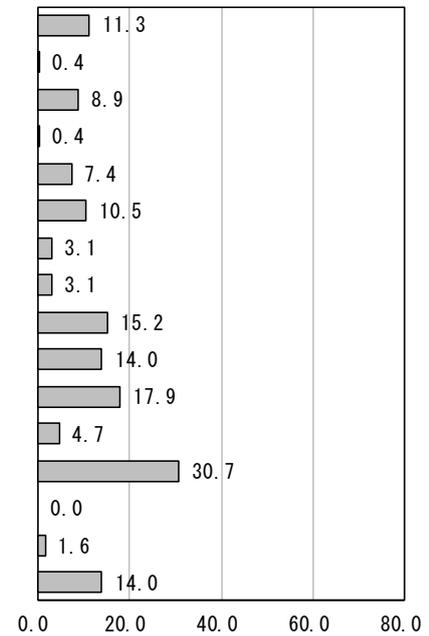
第五中学校区

(単位：%)
n=126



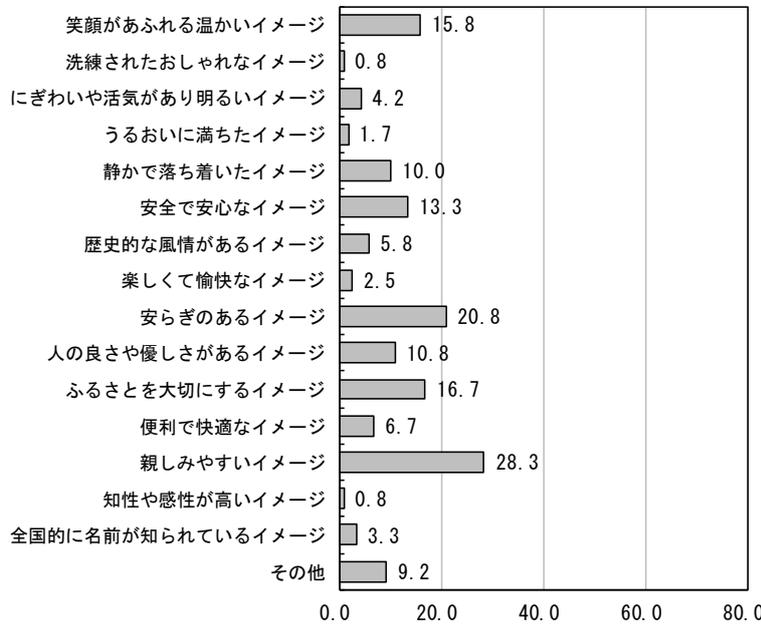
第六中学校区

(単位：%)
n=257



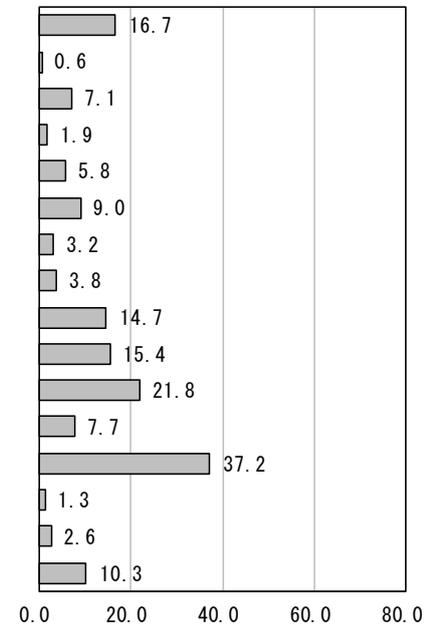
第七中学校区

(単位：%)
n=120



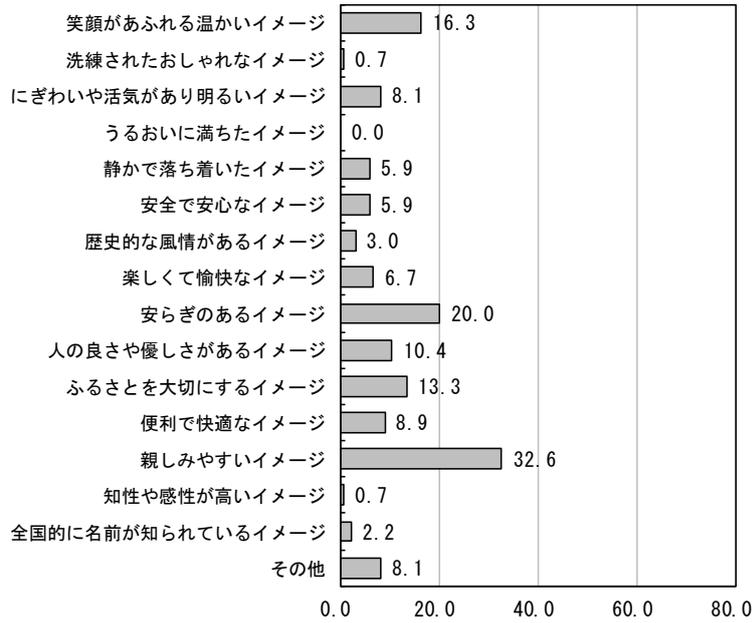
第八中学校区

(単位：%)
n=156



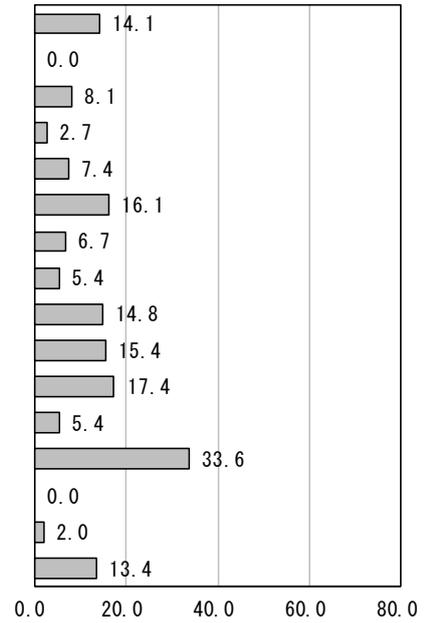
第九中学校区

(単位：%)
n=135



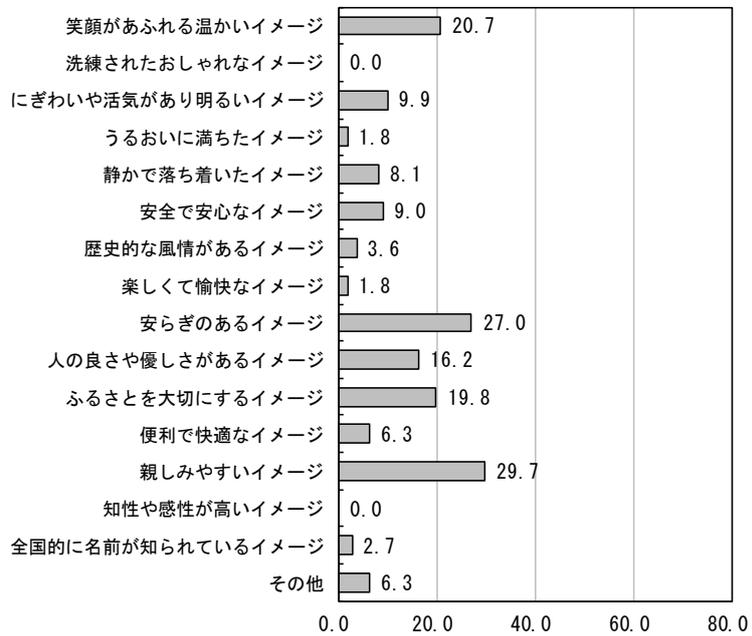
第十中学校区

(単位：%)
n=149



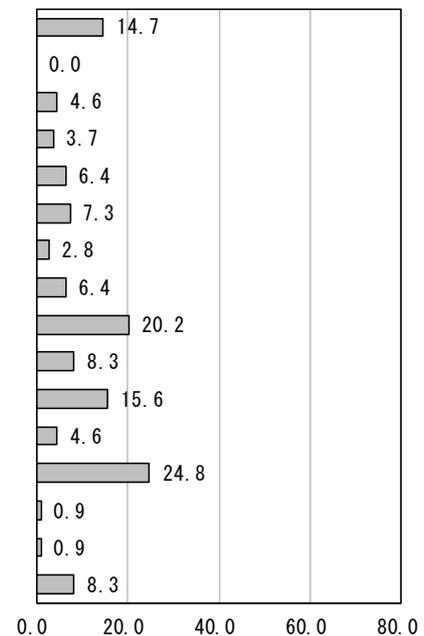
友呂岐中学校区

(単位：%)
n=111



中木田中学校区

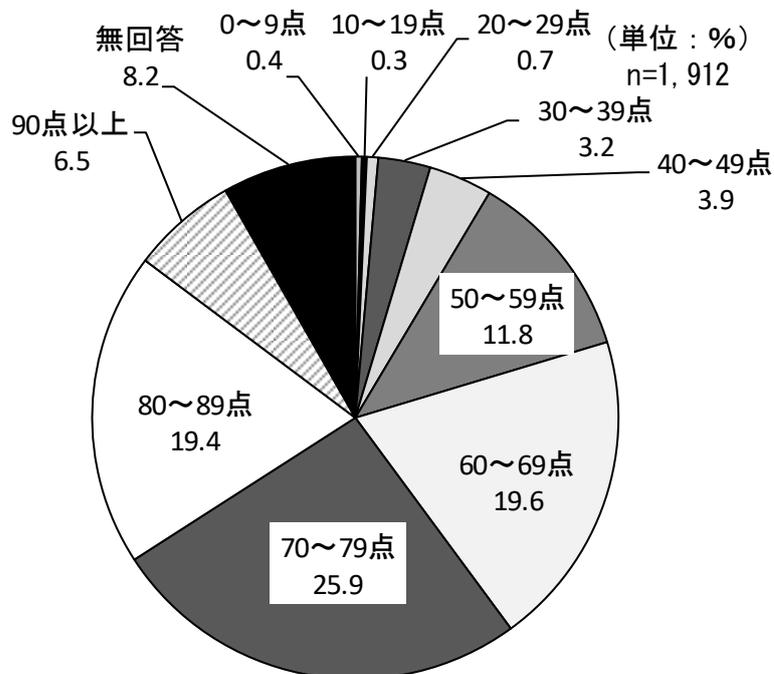
(単位：%)
n=109



問 97 あなたは、寝屋川市に住んでみて、100 点満点で何点ですか。点数をお書きください。

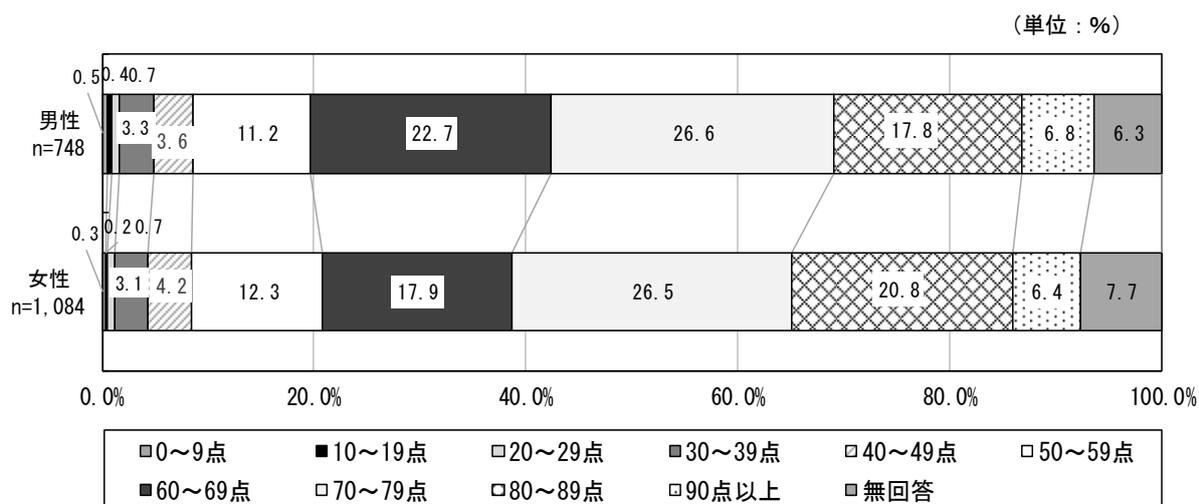
<全体>

「70～79 点」が 25.9%と最も高く、次いで「60～69 点」が 19.6%、「80～89 点」が 19.4%の順となっている。



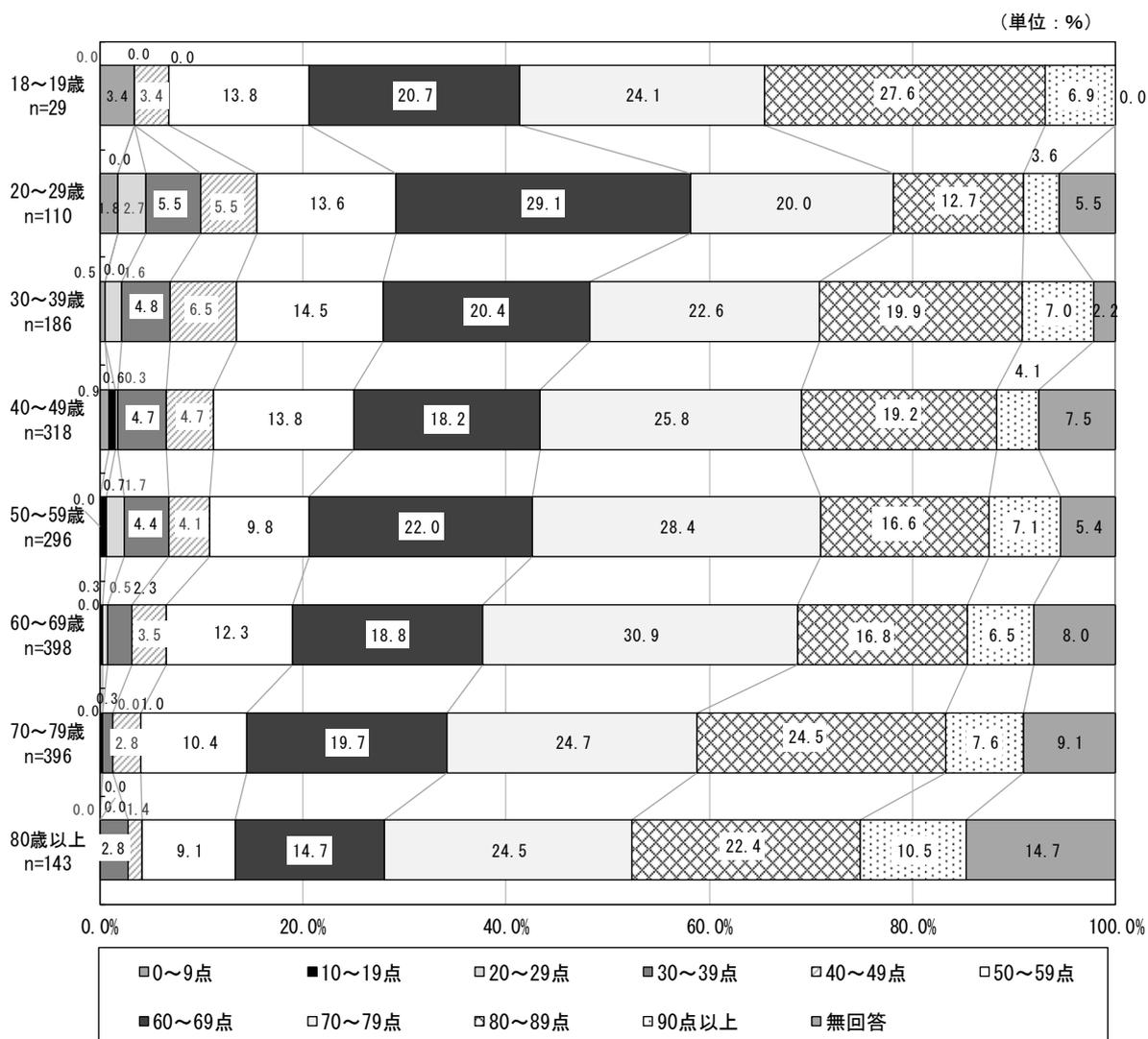
<男女別>

男女共に「70～79 点」の割合が最も高く、次いで『男性』は「60～69 点」、『女性』は「80～89 点」となっている。



<年代別>

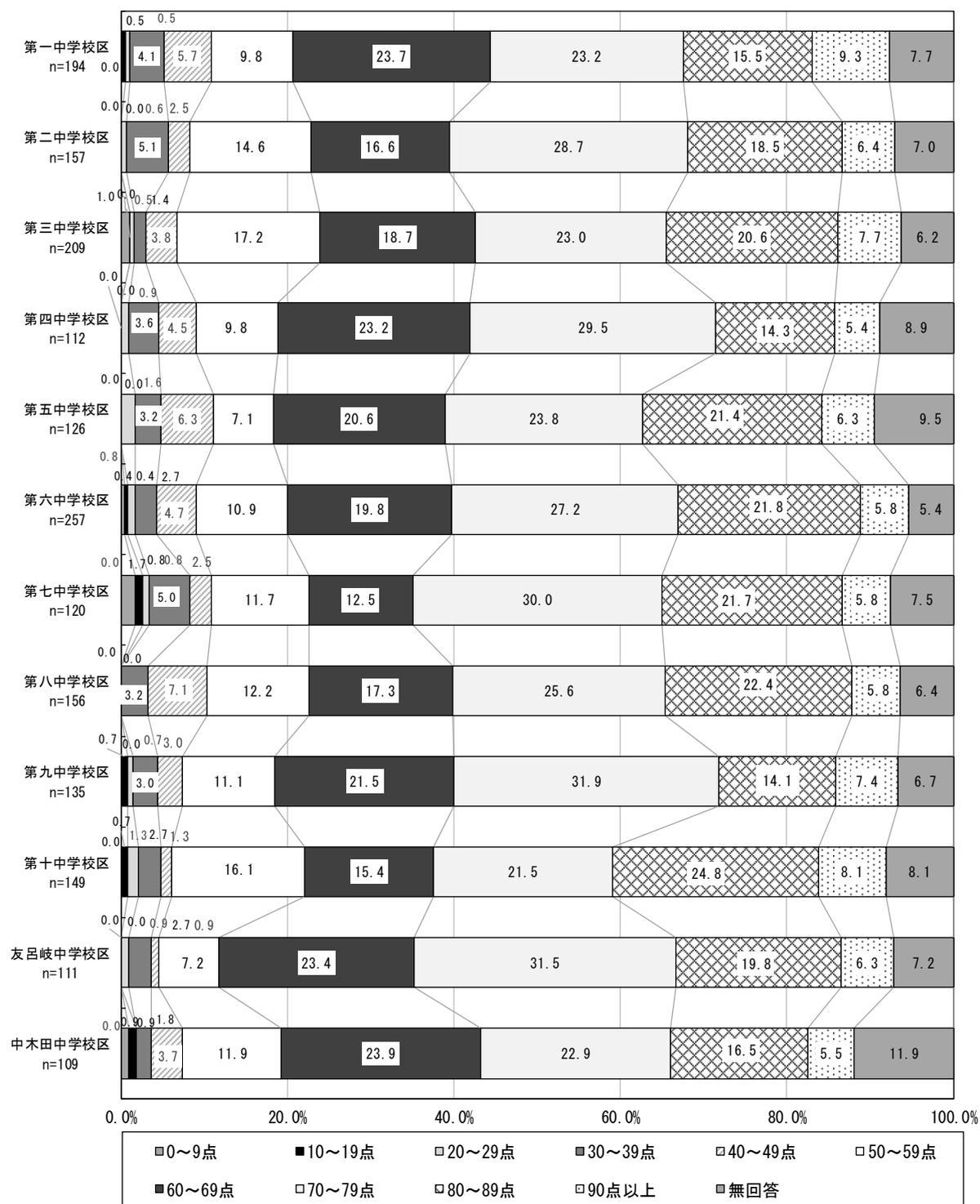
10歳代、20歳代以外の年代において「70～79点」が最も高くなっており、10歳代では「80～89点」、20歳代では「60～69点」が最も高くなっている。



<中学校区別>

第一、第十、中木田中学校区以外の中学校区においては「70～79点」が最も高くなっており、第一、中木田中学校区では「60～69点」、第十中学校区では「80～89点」が最も高くなっている。

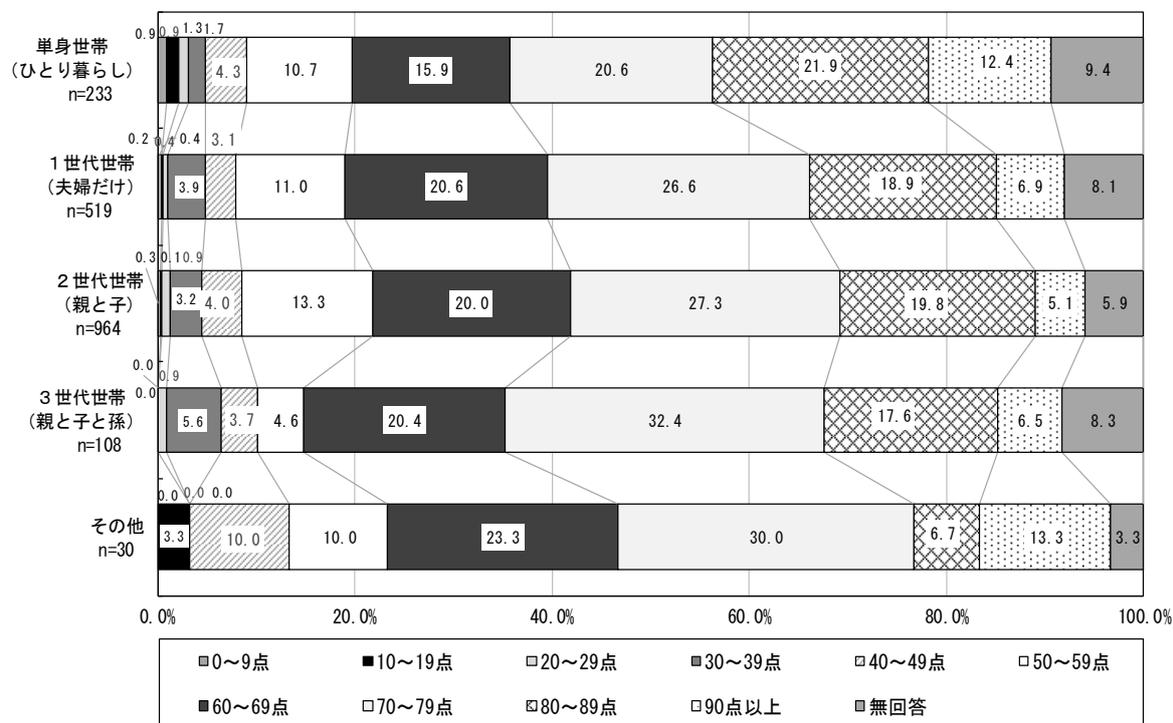
(単位：%)



<家族構成別>

単身世帯（ひとり暮らし）においては「80～89点」が、それ以外の世帯においては「70～79点」が、最も高くなっている。

(単位：%)

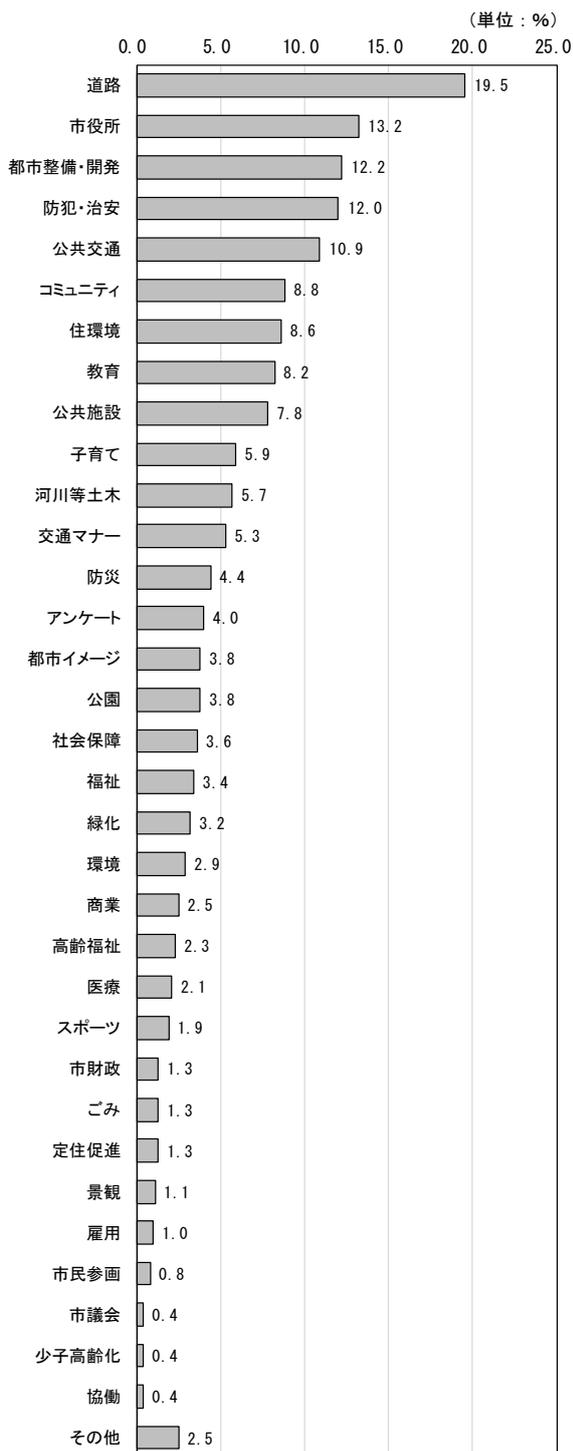


10 『寝屋川市のまちづくり』についてご自由に意見をお書きください。

自由意見の分類

寝屋川市のまちづくりについて、自由記述で意見を頂いたところ、524人から873の回答があり、その内容を分類すると以下のとおりとなった。

「道路」に関する意見が19.5%と最も高く、次いで「市役所」が13.2%、「都市整備・開発」が12.2%の順となっている。



市民意識の指標の推移

第五次総合計画に基づく施策の進捗状況の検証に活用するため、平成23年度から27年度までの前期5年では38項目、平成28年度から32年度までの後期5年では41項目の「市民意識の指標」を設定し、前期・後期のそれぞれ前年度を皮切りに隔年で市民意識調査を実施してきたところである。

第五次総合計画策定時（平成22年度）と今回（平成29年度）とで同じである36項目の「市民意識の指標」を比較すると、29項目において数値が良くなっている。特に、「地域の福祉活動が活発に行われている」「高齢者が生きがいを持ち、健康で心豊かに暮らせる環境づくりが進んでいる」「安心して子どもを産み育てることができるサービスや環境が整っている」「自治会や小学校区での地域活動が盛んである」「健全な財政運営が行われている」と思う市民の割合は、10ポイント以上高くなっている。

他方、「雨の時に浸水の不安がある」「駅周辺が魅力ある空間である」「消費生活センターからの情報が役に立っている」「市内で買い物がしやすい」「市内で生産した農作物を購入したい」と思う市民の割合、「広報紙を毎号読んでいる」市民の割合は低くなっている。

＜＜市民意識の指標の推移＞＞

番号	施策	市民意識の指標	H22調査	H24調査	H26調査	H27調査	H29調査
1	災害に強いまちをつくる	「災害に備えるまちづくりが行われている」と思う市民の割合	28.1%	18.2%	30.2%	28.0%	36.9%
2	治水対策を促進する	「雨の時に浸水の不安がある」と思う市民の割合	40.9%	58.7%	50.2%	50.3%	53.3%
3	危機管理体制を充実する	「地域の消防防災体制が充実している」と思う市民の割合	26.0%	23.1%	32.6%	27.2%	32.2%
4	犯罪のないまちづくりを推進する	「犯罪が少なく、安全なまちである」と思う市民の割合	9.7%	13.4%	21.7%	8.6%	17.3%
5	平和を希求し人権が尊重されるまちをつくる	「一人一人の人権意識が高くなってきた」と思う市民の割合	25.1%	19.6%	26.4%	20.6%	25.1%
6	男女がともにいきいきと暮らせるまちをつくる	「男は仕事、女は家庭」というように性別によって役割を分担する考え方に共感しない市民の割合	61.0%	55.6%	61.2%	65.5%	66.9%
7	健康づくりを推進する	「健康づくりプログラムを活用している」市民の割合	12.6%	12.6%	14.0%	12.2%	16.9%
8	地域でともに支えあうしくみを充実する	「地域の福祉活動が活発に行われている」と思う市民の割合	25.5%	28.8%	38.8%	37.0%	38.0%
9	高齢者の社会参加と自立支援を推進する	「高齢者が生きがいを持ち、健康で心豊かに暮らせる環境づくりが進んでいる」と思う市民の割合	16.4%	19.1%	23.4%	23.1%	27.4%
10	障害のある人が自立した生活を営む環境を整備する	「障害のある人に対するサービスや支援体制が整っている」と思う市民の割合	18.0%	18.8%	24.6%	21.9%	26.1%
11	子育てしやすい環境を整備する	「安心して子どもを産み育てることができるサービスや環境が整っている」と思う市民の割合	14.7%	17.8%	21.0%	21.0%	25.3%
12	安心できる環境衛生を確保する	「感染症対策が充実している」と思う市民の割合	-	-	-	10.1%	10.7%
13	就学前教育を充実する	「幼稚園教育が充実している」と思う市民の割合	-	-	-	17.4%	20.6%
14	学ぶ力を育成する	「教育内容が充実している」と思う市民の割合	13.9%	12.6%	20.1%	17.9%	21.7%
15	教育環境の整備・充実を図る	「教育環境が充実している」と思う市民の割合	-	-	-	18.1%	20.1%
16	青少年の健全育成を推進する	「学校・家庭・地域が連携して青少年の育成を見守っている」と思う市民の割合	24.3%	20.1%	30.5%	27.2%	33.6%
17	生涯学習を充実する	「生涯学習の機会や情報の提供が充実している」と思う市民の割合	19.0%	17.8%	19.6%	18.4%	20.8%
18	文化の振興を図る	「展示会・コンサート等、文化・芸術活動が活発に行われている」と思う市民の割合	23.8%	26.6%	26.5%	31.7%	31.8%
19	スポーツ活動を推進する	「スポーツ活動の環境が整っている」と思う市民の割合	17.8%	18.7%	17.7%	21.7%	19.6%
20	国内外の交流を推進する	「国際交流が盛んである」と思う市民の割合	8.7%	7.9%	8.3%	7.2%	9.3%
21	計画的なまちづくりを推進する	「地域の特性をいかした計画的なまちづくりが行われている」と思う市民の割合	18.1%	19.0%	23.2%	19.0%	22.1%
22	良好な住宅・住環境を創出する	「快適な生活環境や美しいまちなみが確保されている」と思う市民の割合	21.5%	26.2%	26.2%	27.1%	24.4%
23	四駅周辺のまちづくりを推進する	「駅周辺が魅力ある空間である」と思う市民の割合	30.7%	32.4%	33.6%	29.3%	27.6%
24	安全で安定した上下水道サービスを提供する	「水道水は、安全でおいしい」と思う市民の割合	36.5%	34.8%	40.6%	42.9%	42.4%
25	利便性の高い快適なまちをつくる	「歩行者にやさしい道路整備が進んでいる」と思う市民の割合	13.1%	12.7%	13.2%	16.2%	16.6%
26	水とみどり豊かなまちをつくる	「身近に公園・緑地がある」と思う市民の割合	51.1%	56.5%	53.4%	58.8%	54.3%
27	環境に配慮したまちづくりを推進する	「地球温暖化防止に向けた取組の啓発活動など、温暖化対策が適切に行われている」と思う市民の割合	9.3%	10.5%	21.8%	9.3%	13.8%
28	ごみの減量・資源化を推進する	「ごみの減量と資源リサイクルの取組が進んでいる」と思う市民の割合	44.7%	49.5%	52.2%	49.4%	49.5%
29	廃棄物を適正に処理する	「ごみ収集及び処理が効率的かつ適正に行われている」と思う市民の割合	50.3%	60.5%	58.0%	56.2%	57.4%
30	地域産業の活性化を推進する	「寝屋川市の商・工・農は近隣市と比べて活気がある」と感じる市民の割合	-	-	-	10.8%	9.3%
31	商業の振興を図る	「市内で買い物しやすい」と思う市民の割合	57.4%	52.3%	65.5%	62.1%	55.1%
32	工業の振興を図る	「産業振興センター（にぎわい創造館）を知っている」市民の割合	22.8%	23.9%	26.1%	26.1%	24.7%
33	農業の振興を図る	「市内で生産した農作物を購入したい」と思う市民の割合	62.4%	51.1%	57.9%	57.3%	56.1%
34	消費者保護を推進する	「消費生活センターからの情報が役に立っている」と思う市民の割合	25.3%	17.7%	14.2%	13.2%	13.2%
35	市域の労働力の活用を推進する	「きめ細やかな就労支援サービスが提供されている」と思う市民の割合	-	-	-	7.4%	9.7%
36	コミュニティの活性化と協働を推進する	「自治会や小学校区での地域活動が盛んである」と思う市民の割合	33.1%	33.7%	45.7%	45.1%	46.3%
37	情報発信を充実する	「広報紙を毎月読んでいる」市民の割合	47.2%	44.9%	50.1%	48.6%	46.2%
38	市民ニーズを把握する	「市政に市民の声が届いている」と思う市民の割合	9.4%	11.6%	13.3%	11.2%	15.2%
39	健全な財政運営を行う	「健全な財政運営が行われている」と思う市民の割合	11.8%	14.7%	22.2%	19.6%	24.4%
40	効率的な行政運営を行う	「行財政改革が進んでいる」と思う市民の割合	11.2%	14.0%	19.0%	14.9%	19.2%
41	市民サービスを充実する	「市役所やシティ・ステーションでの窓口対応に満足した」市民の割合	39.9%	41.2%	47.0%	47.8%	47.6%

施策の重要度・満足度の相対分析

問5～問8、問17～問24、問34～問41、問49～問54、問58～問60、問67～問72、問76～問78、問82～問84において、市の施策の『満足度』と『重要度』の設問を設け、その結果に対して、以下のような得点化を行った。

① 『重要度』

重要である-----100点
やや重要である-----75点
どちらでもない-----50点
あまり重要でない-----25点
重要でない-----0点

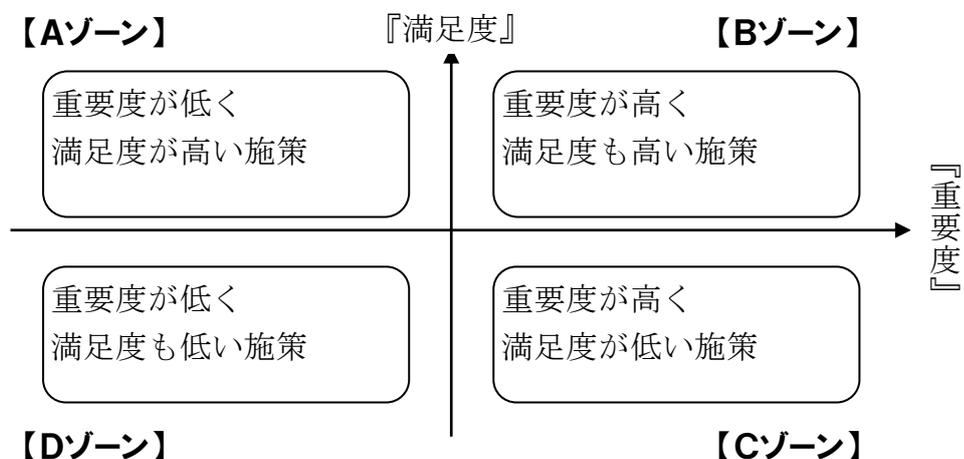
② 『満足度』

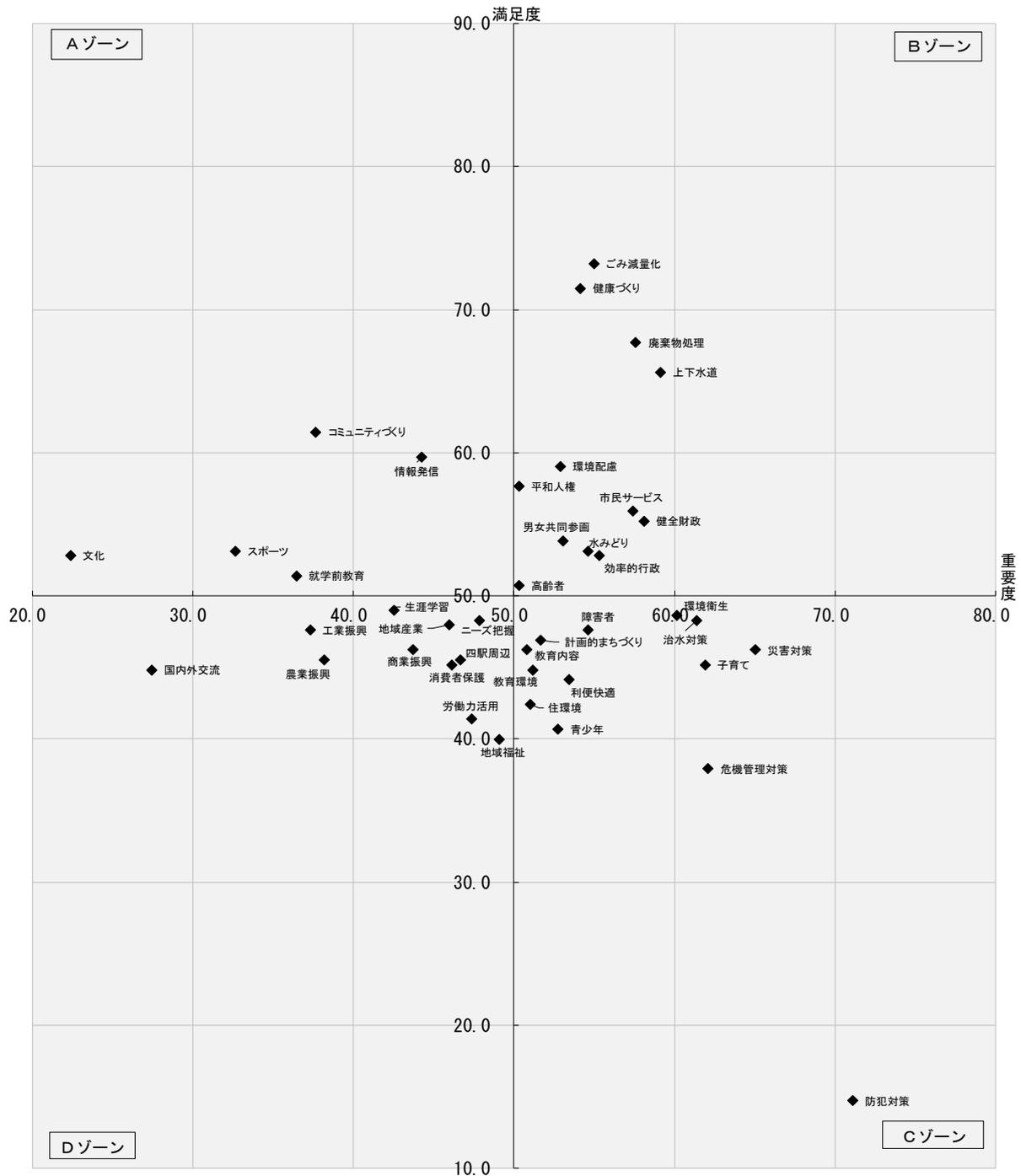
満足-----100点
やや満足-----75点
普通-----50点
やや不満-----25点
不満-----0点

得られた得点を基に、施策ごとの『満足度』と『重要度』の偏差値を算出し、散布図を作成して、各施策間の相対的關係を表した。

『重要度』と『満足度』の偏差値が50で交差する座標（下図）の4つの象限をそれぞれ「Aゾーン」「Bゾーン」「Cゾーン」「Dゾーン」とする。

このとき、『重要度』が高いにもかかわらず、『満足度』が低い「Cゾーン」に位置する施策が、市民ニーズの高い施策と考えられる。ただし、これはあくまで一つの指標であるため、最終的には各種条件と合わせて総合的に判断する必要がある。





災害対策	災害に強いまちをつくる取組	住環境	良好な住宅・住環境を創出する取組
治水対策	治水対策を促進する取組	四駅周辺	四駅周辺のまちづくりを推進する取組
危機管理対策	危機管理体制を充実する取組	上下水道	安全で安定した上下水道サービスを提供する取組
防犯対策	犯罪のないまちづくりを推進する取組	利便快適	利便性の高い快適なまちをつくる取組
平和人権	平和を希求し人権が尊重されるまちをつくる取組	水みどり	水とみどり豊かなまちをつくる取組
男女共同参画	男女がともにいきいきと暮らせるまちをつくる取組	環境配慮	環境に配慮したまちづくりを推進する取組
健康づくり	健康づくりを推進する取組	ごみ減量化	ごみの減量・資源化を推進する取組
地域福祉	地域でともに支えあうしくみを充実する取組	廃棄物処理	廃棄物を適正に処理する取組
高齢者	高齢者の社会参加と自立支援を推進する取組	地域産業	地域産業の活性化を推進する取組
障害者	障害のある人が自立した生活を営む環境を整備する取組	商業振興	商業の振興を図る取組
子育て	子育てしやすい環境を整備する取組	工業振興	工業の振興を図る取組
環境衛生	安心できる環境衛生を確保する取組	農業振興	農業の振興を図る取組
就学前教育	就学前教育を充実する取組	消費者保護	消費者保護を推進する取組
教育内容	学ぶ力を育成する取組	労働力活用	市域の労働力の活用を推進する取組
教育環境	教育環境の整備・充実を図る取組	コミュニティづくり	コミュニティの活性化と協働を推進する取組
青少年	青少年の健全育成を推進する取組	情報発信	情報発信を充実する取組
生涯学習	生涯学習を充実する取組	ニーズ把握	市民ニーズを把握する取組
文化	文化の振興を図る取組	健全財政	健全な財政運営を行う取組
スポーツ	スポーツ活動を推進する取組	効率的行政	効率的な行政運営を行う取組
国内外交流	国内外的な交流を推進する取組	市民サービス	市民サービスを充実する取組
計画的まちづくり	計画的なまちづくりを推進する取組		

まちづくりの大綱	施策	得点		偏差値	
		重要度	満足度	重要度	満足度
安全で安心できるまちづくり	災害に強いまちをつくる取組	88.8	46.7	65.0	46.2
	治水対策を促進する取組	86.7	47.3	61.4	48.3
	危機管理体制を充実する取組	87.1	44.3	62.1	37.9
	犯罪のないまちづくりを推進する取組	92.3	37.6	71.1	14.7
健康でいきいき暮らせるまちづくり	平和を希求し人権が尊重されるまちをつくる取組	80.3	50.0	50.3	57.6
	男女がともにいきいきと暮らせるまちをつくる取組	81.9	48.9	53.1	53.8
	健康づくりを推進する取組	82.5	54.0	54.1	71.5
	地域でともに支えあうしくみを充実する取組	79.6	44.9	49.1	40.0
	高齢者の社会参加と自立支援を推進する取組	80.3	48.0	50.3	50.7
	障害のある人が自立した生活を営む環境を整備する取組	82.8	47.1	54.6	47.6
	子育てしやすい環境を整備する取組	87.0	46.4	61.9	45.2
	安心できる環境衛生を確保する取組	86.0	47.4	60.2	48.6
夢を育む学びのまちづくり	就学前教育を充実する取組	72.3	48.2	36.4	51.4
	学ぶ力を育成する取組	80.6	46.7	50.8	46.2
	教育環境の整備・充実を図る取組	80.8	46.3	51.2	44.8
	青少年の健全育成を推進する取組	81.7	45.1	52.7	40.7
	生涯学習を充実する取組	75.8	47.5	42.5	49.0
	文化の振興を図る取組	64.2	48.6	22.4	52.8
	スポーツ活動を推進する取組	70.1	48.7	32.6	53.1
	国内外の交流を推進する取組	67.1	46.3	27.4	44.8
快適でうるおいのあるまちづくり	計画的なまちづくりを推進する取組	81.1	46.9	51.7	46.9
	良好な住宅・住環境を創出する取組	80.7	45.6	51.0	42.4
	四駅周辺のまちづくりを推進する取組	78.2	46.5	46.6	45.5
	安全で安定した上下水道サービスを提供する取組	85.4	52.3	59.1	65.6
	利便性の高い快適なまちをつくる取組	82.1	46.1	53.4	44.1
	水とみどり豊かなまちをつくる取組	82.8	48.7	54.6	53.1
環境を守り育てるまちづくり	環境に配慮したまちづくりを推進する取組	81.8	50.4	52.9	59.0
	ごみの減量・資源化を推進する取組	83.0	54.5	55.0	73.2
	廃棄物を適正に処理する取組	84.5	52.9	57.6	67.7
活力あふれるにぎわいのまちづくり	地域産業の活性化を推進する取組	77.8	47.2	46.0	47.9
	商業の振興を図る取組	76.5	46.7	43.7	46.2
	工業の振興を図る取組	72.8	47.1	37.3	47.6
	農業の振興を図る取組	73.3	46.5	38.2	45.5
	消費者保護を推進する取組	77.9	46.4	46.1	45.2
	市域の労働力の活用を推進する取組	78.6	45.3	47.3	41.4
市民が主役のまちづくり	コミュニティの活性化と協働を推進する取組	73.0	51.1	37.6	61.5
	情報発信を充実する取組	76.8	50.6	44.2	59.7
	市民ニーズを把握する取組	78.9	47.3	47.9	48.3
将来を見据えた自治経営	健全な財政運営を行う取組	84.8	49.3	58.1	55.2
	効率的な行政運営を行う取組	83.2	48.6	55.3	52.8
	市民サービスを充実する取組	84.4	49.5	57.4	55.9

参 考 资 料

資料1 市民意識調査内容

平成29年度市民意識調査に 御協力をお願いします

調査のお願い

市民の皆様には、日頃よりまちづくりに御協力いただき、誠にありがとうございます。
このたび、第五次寝屋川市総合計画後期基本計画に基づく施策について、市民の皆様から御意見をお伺いし、施策の進捗状況を把握するとともに、今後の市政運営の参考にさせていただくため、市民意識調査を実施いたします。
この調査は、寝屋川市にお住まいの18歳以上の人を対象にして無作為に3,500人を選ばせていただき、御協力をお願いしています。
お手数ですが調査票に御回答いただき、同封の返信用封筒（切手を貼る必要はありません。）に入れ、

9月4日（月）までに

返信くださいますようお願いいたします。

この調査は、無記名で回答いただき、その結果は統計的にのみ処理して利用させていただきます。また、市政運営以外の目的で使用することはありません。

お忙しいところ恐れ入りますが、調査の趣旨を御理解・御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

平成29年8月

寝屋川市長 北川法夫

●記入に当たってのお願い●

1. 回答は、宛名の御本人にお願いします。
なお、病気などやむを得ない事情によって、御本人に回答いただけない場合は、18歳以上で同居されている家族の方に回答いただきますようお願いいたします。
2. 回答は、当てはまる選択肢の番号を1つ選び、番号に「○」を付けてください。「その他」を選択された場合は、お手数ですが、() 内にその内容を具体的にお書きください。
3. 返信用封筒に、御住所・お名前を記入いただく必要はありません。

※ この調査について、御不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

●お問合せ先●

寝屋川市 経営企画部 広報広聴課 TEL : 072-824-1181 (内線 2276) FAX : 072-825-2637
Email : koho@city.neyagawa.osaka.jp

調 査 票

1 「安全で安心できるまちづくり」について

① 「防災・防犯・治水対策」についてお聞きます。

	1つ選び、番号に○を付けてください。				
	思う	少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
問1 寝屋川市は、災害に備えるまちづくりが行われていると思いますか。	1	2	3	4	5
問2 地域の消防防災体制が充実していると思いますか。	1	2	3	4	5
問3 寝屋川市は、犯罪が少なく、安全なまちであると思いますか。	1	2	3	4	5

	1つ選び、番号に○を付けてください。				
	不安がない	あまり不安がない	どちらとも言えない	少し不安がある	不安がある
問4 雨の時に浸水の不安がありますか。	1	2	3	4	5

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「防災・防犯・治水」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きます。

	重 要 度					現 状 の 満 足 度				
	1つ選び、番号に○を付けてください。					1つ選び、番号に○を付けてください。				
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
問5 災害に強いまちをつくる取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問6 治水対策を促進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問7 危機管理体制を充実する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問8 犯罪のないまちづくりを推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

2 「健康でいきいき暮らせるまちづくり」について

① 「人権」についてお聞きします。

1つ選び、番号に○を付けてください。					
思う	少し思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	思わない	
1	2	3	4	5	

問9 市民一人一人の人権意識は高くなってきたと思いますか。

1つ選び、番号に○を付けてください。					
共感しない	あまり共感 しない	どちらとも 言えない	少し 共感する	共感する	
1	2	3	4	5	

問10 「男は仕事、女は家庭」というように性別によって役割を分担する考え方に共感しますか。

② 「保健福祉」についてお聞きします。

1つ選び、番号に○を付けてください。					
活用している	活用 していない	プログラムを 知らない			
1	2	3			

問11 寝屋川市が配布している「健康づくりプログラム」を活用していますか。

1つ選び、番号に○を付けてください。					
思う	少し思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	思わない	
1	2	3	4	5	

問12 地域の福祉活動が活発に行われていると思いますか。

問13 寝屋川市は、高齢者が生きがいを持ち、健康で心豊かに暮らせる環境づくりが進んでいると思いますか。

問14 寝屋川市は、障害のある人に対するサービスや支援体制が整っていると思いますか。

問15 寝屋川市は、安心して子どもを産み育てることができるサービスや環境が整っていると思いますか。

問16 寝屋川市は、感染症対策が充実していると思いますか。

③ 現在、寝屋川市が取り組んでいる「人権」「保健福祉」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

	重 要 度					現状の満足度				
	1つ選び、番号に○を付けてください。					1つ選び、番号に○を付けてください。				
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
問17 平和を希求し人権が尊重されるまちをつくる取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問18 男女がともにいきいきと暮らせるまちをつくる取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問19 健康づくりを推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問20 地域でともに支えあうしくみを充実する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問21 高齢者の社会参加と自立支援を推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問22 障害のある人が自立した生活を営む環境を整備する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問23 子育てしやすい環境を整備する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問24 安心できる環境衛生を確保する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

3 「夢を育む学びのまちづくり」について

① 「教育・生涯学習・文化・芸術・国際交流」についてお聞きします。

	1つ選び、番号に○を付けてください。				
	思う	少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
問25 寝屋川市の幼稚園は、教育内容が充実していると思いますか。	1	2	3	4	5
問26 寝屋川市の小中学校は、教育内容が充実していると思いますか。	1	2	3	4	5
問27 寝屋川市の小中学校・幼稚園は、教育環境（施設等）が充実していると思いますか。	1	2	3	4	5

	1つ選び、番号に○を付けてください。				
	思う	少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
問28 寝屋川市は、学校・家庭・地域が連携して青少年の育成を見守っていると思いますか。	1	2	3	4	5
問29 寝屋川市は、生涯学習の機会や情報の提供が充実していると思いますか。	1	2	3	4	5
問30 寝屋川市では、展示会・コンサートなど、文化・芸術活動が活発に行われていると思いますか。	1	2	3	4	5
問31 寝屋川市は、国際交流が盛んであると思いますか。	1	2	3	4	5
問32 寝屋川市は、スポーツ活動の環境が整っていると思いますか。	1	2	3	4	5

	1つ選び、番号に○を付けてください。				
	毎日	3週に 1日程度	1週に 1日程度	数月に 数回程度	行っていない
問33 スポーツや運動をどれくらいの頻度で行っていますか。	1	2	3	4	5

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「教育・生涯学習・文化・芸術・国際交流」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

	重 要 度					現状の満足度				
	1つ選び、番号に○を付けてください。					1つ選び、番号に○を付けてください。				
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
問34 就学前教育を充実する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問35 学ぶ力を育成する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問36 教育環境の整備・充実を図る取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問37 青少年の健全育成を推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問38 生涯学習を充実する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問39 文化の振興を図る取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問40 スポーツ活動を推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問41 国内外の交流を推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

4 「快適でうるおいのあるまちづくり」について

① 「都市整備・都市環境」についてお聞きします。

	1つ選び、番号に○を付けてください。				
	思う	少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
問42 寝屋川市は、地域の特性をいかした計画的なまちづくりが行われていると思いますか。	1	2	3	4	5
問43 寝屋川市は、快適な生活環境や美しいまちなみが確保されていると思いますか。	1	2	3	4	5
問44 寝屋川市は、駅周辺が魅力ある空間であると思いますか。	1	2	3	4	5
問45 寝屋川市では、歩行者にやさしい道路整備が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
問46 あなたの身近に公園・緑地があると思いますか。	1	2	3	4	5
問47 寝屋川市の水道水は、安全でおいしいと思いますか。	1	2	3	4	5

	1つ選び、番号に○を付けてください。				
	関心がある	関心がある どちらかと言えば	どちらとも言えない	どちらかとも言えない 関心がない	関心がない
問48 水道及び下水道が取り組んでいるイベントや浸水対策等の事業に関心がありますか。	1	2	3	4	5

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「都市整備・都市環境」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きます。

	重 要 度					現状の満足度				
	1つ選び、番号に○を付けてください。					1つ選び、番号に○を付けてください。				
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
問49 計画的なまちづくりを推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問50 良好な住宅・住環境を創出する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問51 四駅周辺のまちづくりを推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問52 安全で安定した上下水道サービスを提供する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問53 利便性の高い快適なまちをつくる取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問54 水とみどり豊かなまちをつくる取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

5 「環境を守り育てるまちづくり」について

① 「環境」についてお聞きます。

	1つ選び、番号に○を付けてください。				
	思う	少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
問55 寝屋川市は、地球温暖化防止に向けた取組の啓発活動など、温暖化対策が適切に行われていると思いますか。	1	2	3	4	5
問56 寝屋川市は、ごみの減量と資源リサイクルの取組が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
問57 寝屋川市は、ごみ収集及び処理が効率的かつ適正に行われていると思いますか。	1	2	3	4	5

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「環境」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きます。

	重 要 度					現状の満足度				
	1つ選び、番号に○を付けてください。					1つ選び、番号に○を付けてください。				
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
問58 環境に配慮したまちづくりを推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問59 ごみの減量・資源化を推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問60 廃棄物を適正に処理する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

6 「活力あふれるにぎわいのまちづくり」について

① 「産業」についてお聞きます。

	1つ選び、番号に○を付けてください。				
	感じる	少し感じる	どちらとも言えない	あまり感じない	感じない
問61 寝屋川市の商・工・農は、近隣市と比べて活気があると感じますか。	1	2	3	4	5

	1つ選び、番号に○を付けてください。				
	知っている	知らない			
問62 産業振興センター（にぎわい創造館）を知っていますか。	1	2			

	1つ選び、番号に○を付けてください。				
	役に立っている	どちらとも言えない	役に立っていない		
問63 消費生活センターからの情報が役に立っていると思いますか。	1	2	3		

		1つ選び、番号に○を付けてください。				
		思う	少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
問64	寝屋川市内で買い物がしやすいと思いますか。	1	2	3	4	5
問65	寝屋川市内で生産した農作物を購入したいと思いませんか。	1	2	3	4	5
問66	寝屋川市は、きめ細やかな就労支援サービスが提供されていると思いませんか。	1	2	3	4	5

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「産業」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きます。

	重 要 度					現状の満足度					
	1つ選び、番号に○を付けてください。					1つ選び、番号に○を付けてください。					
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	
問67	地域産業の活性化を推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問68	商業の振興を図る取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問69	工業の振興を図る取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問70	農業の振興を図る取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問71	消費者保護を推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問72	市域の労働力の活用を推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

7 『市民が主役のまちづくり』について

① 「地域・市民ニーズの把握・情報発信」についてお聞きます。

		1つ選び、番号に○を付けてください。				
		思う	少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
問73	自治会や小学校区での地域活動が盛んであると思いませんか。	1	2	3	4	5
問74	寝屋川市政に、市民の声が届いていると思いませんか。	1	2	3	4	5

1つ選び、番号に○を付けてください。				
毎号 読んで いる	時々 読んで いる	読んで いない		
問75 「広報ねやがわ」を読んでいますか。	1	2	3	

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「地域・市民ニーズの把握・情報発信」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きます。

	重 要 度					現状の満足度				
	1つ選び、番号に○を付けてください。					1つ選び、番号に○を付けてください。				
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
問76 コミュニティの活性化と協働を推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問77 情報発信を充実する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問78 市民ニーズを把握する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

8 「将来を見据えた自治経営」について

① 「自治経営」についてお聞きます。

1つ選び、番号に○を付けてください。					
	思う	少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
問79 寝屋川市は、健全な財政運営が行われていると思いますか。	1	2	3	4	5
問80 寝屋川市は、行財政改革が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5

1つ選び、番号に○を付けてください。					
	満足した	少し満足した	どちらとも言えない	あまり満足しなかった	満足しなかった
問81 市役所やシティ・ステーションでの窓口対応に満足しましたか。	1	2	3	4	5

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「自治経営」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きます。

	重 要 度					現状の満足度				
	1つ選び、番号に○を付けてください。					1つ選び、番号に○を付けてください。				
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
問82 健全な財政運営を行う取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問83 効率的な行政運営を行う取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問84 市民サービスを充実する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

9 「シティプロモーション」について

① 寝屋川市についてお聞きます。

	1つ選んで番号に○を付け、記載の問に進んでください。			
	現在の場所に 住み続けたい	市内の他の地域に 引っ越したい	市外へ 引っ越したい	分からない
問85 あなたは、現在住んでいるところに、これからも住み続けたいと思いますか。	1	2	3	4
	問 86 へ	問 87 へ	問 87 へ	問 88 へ

問86 「現在の場所に住み続けたい」と答えた人にお聞きます。

それはどのような理由からですか。

当てはまるものに○を付けてください。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 生まれ育ったところである | 2. なじみがある |
| 3. 買い物など日常生活が便利である | 4. 勤務先・通学先に近く便利である |
| 5. 公共交通機関（鉄道）が整っている | 6. 公共交通機関（バス）が整っている |
| 7. 物価が安い | 8. 近所付き合いがうまくいっている |
| 9. 今の住宅条件（広さ・家賃など）が良い | 10. 教育文化施設が多く、内容が充実している |
| 11. 社会福祉に対する取組が行き届いている | 12. 病院などの保健・医療体制が整っている |
| 13. 子育て環境が良い | 14. 治安が良い |
| 15. 道路などの都市基盤の整備がされている | 16. 公害・自然災害などが少ない |
| 17. 緑や水辺などの自然環境が多い | 18. まちのイメージが良い |
| 19. その他（ | ） |

問87 「市内の他の地域に引っ越したい」又は「市外へ引っ越したい」と答えた人にお聞きします。

それはどのような理由からですか。

当てはまるものに○を付けてください。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 今住んでいる場所にどうもなじめない | 2. 建物が密集していて、住み心地が良くない |
| 3. 買い物など日常生活が不便である | 4. 勤務先・通学先に遠く不便である |
| 5. 公共交通機関（鉄道）が整っていない | 6. 公共交通機関（バス）が整っていない |
| 7. 物価が高い | 8. 近所付き合いがうまくいっていない |
| 9. 今の住宅条件（広さ・家賃など）が良くない | |
| 10. 教育文化施設が少なく、利用しにくい | |
| 11. 社会福祉に対する取組が行き届いていない | |
| 12. 病院などの保健・医療体制が整っていない | |
| 13. 子育て環境が良くない | 14. 治安が良くない |
| 15. 道路などの都市基盤の整備が遅れている | |
| 16. 公害・自然災害などが多い | |
| 17. 緑や水辺などの自然環境が少ない | 18. まちのイメージが良くない |
| 19. その他（ | ） |

問88 あなたは、寝屋川市がどのようなイメージのまちになることを望みますか。

当てはまるものに○を付けてください。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1. 笑顔があふれる温かいまち | 2. 洗練されたおしゃれなまち |
| 3. にぎわいや活気のある明るいまち | 4. (緑や花、水辺などの)うるおいに満ちたまち |
| 5. 静かで落ち着いたまち | 6. 安全で安心なまち |
| 7. 歴史の風情を感じるまち | 8. 娯楽があって楽しい(愉快的な)まち |
| 9. 我が家のような安らぎのあるまち | |
| 10. 人情に厚い(人の良さや優しさが感じられる)まち | |
| 11. 郷土愛にあふれているまち | 12. 便利で快適なまち |
| 13. 多くの人から親しまれるまち | 14. 芸術の香りがする文化的なまち |
| 15. 全国的に名前が知られているまち | |
| 16. その他（ | ） |

問89 あなたは、他の市と比較して、寝屋川市の大きな魅力は何だと思えますか。

当てはまるものに○を付けてください。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 通勤・通学の利便性 | 2. 買い物など日常生活の利便性 |
| 3. 手頃な住宅価格や家賃 | 4. 良好な住環境 |
| 5. 市内公共交通の利便性 | 6. 道路事情の良さ |
| 7. 充実した子育て環境(保育施設、保育への支援等) | |
| 8. 充実した教育環境(学校施設、学力向上の取組等) | |
| 9. 充実した医療・福祉サービス | 10. 充実した文化・スポーツ施設 |
| 11. 治安の良さ | 12. 自然環境の良さ |
| 13. 自然災害の少なさ | 14. 地域コミュニティの活気 |
| 15. 中心市街地(商店街など)の活気 | 16. 人を呼び込める観光資源 |
| 17. 祭りなどのイベント・行事 | |
| 18. その他（ | ） |

1つ選んで番号に○を付け、記載の問に進んでください。				
思う	少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
1	2	3	4	5
問90 あなたは、寝屋川市に住むことや来訪することを友人、知人に勧めたいと思いますか。	問92へ	問92へ	問91へ	問91へ

<p>問91 「あまり思わない」「思わない」と答えた人にお聞きします。それはどのような理由からですか。当てはまるものに○を付けてください。(○は2つまで)</p> <p>1. 勧める相手がいない 2. 勧める機会(きっかけ)又は時間がない 3. (魅力を知っているが)他の人には知られたくない 4. 既に魅力は知られている 5. 勧めることができる魅力がない 6. 何を勧めてよいか分からない 7. 人に勧めることが好きではない又はメリットを感じない 8. その他 ()</p>

1つ選んで番号に○を付け、記載の問に進んでください。				
思う	少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
1	2	3	4	5
問92 あなたは、地域をより良くするために、あなたができる活動(地域協働、自治会の活動、ボランティア活動など)をしたいと思いますか。	問93へ	問95へ	問95へ	問95へ

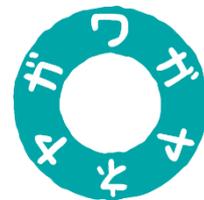
1つ選んで番号に○を付け、記載の問に進んでください。				
活動している	活動していない			
問93 「思う」又は「少し思う」と答えた人にお聞きします。実際に何か活動をしていますか。	問95へ	問94へ		

問94 「活動していない」と答えた人にお聞きします。
それはどのような理由からですか。
当てはまるものに○を付けてください。(○は3つまで)

1. 活動するきっかけがない
2. 活動の仕方が分からない
3. 活動しなくても日常生活に支障がない
4. (活動することについて)自分にとってのメリットを感じない
5. 活動できる場所、団体、活動内容などの情報が分からない
6. 仕事や子育て、介護等で忙しくて、活動する時間がない
7. 人付き合いがわずらわしい(面倒くさい)
8. 活動するに当たっての支援がない
9. 自分がどんな活動ができるのか分からない(自信がない)
10. その他 ()

問95 あなたは、「ワガヤネヤガワ」というフレーズやロゴマークをどれくらいの頻度で見た(聞いた)ことがありますか。
当てはまるものに○を付けてください。(○は1つ)

1. 毎日必ず見る(聞く)
2. 1週間に1回くらいの頻度で見る(聞く)
3. 1か月に1回くらいの頻度で見る(聞く)
4. 見た(聞いた)ことはあるが、頻度は多くない
5. 見た(聞いた)ことがない(「ワガヤネヤガワ」のフレーズやロゴを知らない)



「ワガヤネヤガワ」
のロゴマーク

問96 あなたは、「ワガヤネヤガワ」と聞いて、どのようなイメージを持ちますか。
当てはまるものに○を付けてください。(○は3つ)

1. 笑顔があふれる温かいイメージ
2. 洗練されたおしゃれなイメージ
3. にぎわいや活気があり明るいイメージ
4. うるおいに満ちたイメージ
5. 静かで落ち着いたイメージ
6. 安全で安心なイメージ
7. 歴史的な風情があるイメージ
8. 楽しくて愉快的なイメージ
9. 安らぎのあるイメージ
10. 人の良さや優しさがあるイメージ
11. ふるさとを大切にするイメージ
12. 便利で快適なイメージ
13. 親しみやすいイメージ
14. 知性や感性が高いイメージ
15. 全国的に名前が知られているイメージ
16. その他 ()

問97 あなたは、寝屋川市に住んでみて、100点満点で何点ですか。点数をお書きください。
※ 点数は主観で構いません。

点

10 「寝屋川市のまちづくり」について御自由に意見をお書きください。

11 あなた御自身のことについて

あなたの性別は	1. 男性	2. 女性		
あなたの年齢は	1. 18～19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
	5. 50～59歳	6. 60～69歳	7. 70～79歳	8. 80歳以上
あなたのお住まいの小学校区は	1. 東小学校区	2. 西小学校区	3. 南小学校区	
	4. 北小学校区	5. 第五小学校区	6. 成美小学校区	
	7. 明和小学校区	8. 池田小学校区	9. 中央小学校区	
	10. 啓明小学校区	11. 三井小学校区	12. 木屋小学校区	
	13. 木田小学校区	14. 神田小学校区	15. 堀溝小学校区	
	16. 田井小学校区	17. 桜小学校区	18. 点野小学校区	
	19. 和光小学校区	20. 国松緑丘小学校区	21. 楠根小学校区	
	22. 梅が丘小学校区	23. 宇谷小学校区	24. 石津小学校区	
	25. 分からない（	） ← お住まいの町名をお書きください。		
同居されている家族の構成は	1. 単身世帯（ひとり暮らし）			
	2. 1世代世帯（夫婦だけ）			
	3. 2世代世帯（親と子）.....18歳未満の子どもの人数（ ）人			
	4. 3世代世帯（親と子と孫）...18歳未満の子どもの人数（ ）人			
	5. その他（ ）			

あなたの お仕事は	1. 会社員・公務員 2. 自営業（商業・工業・サービス業） 3. 農業 4. 自由業（弁護士・芸術家など） 5. 学生 6. 家事専業 7. パート・アルバイト・契約社員・派遣社員 8. 無職（学生、家事専業を除く） 9. その他（ ）
あなたが お住まいの 住居は	1. 持家（一戸建て） 2. 持家（マンションなど） 3. 民間の借家（一戸建て） 4. 民間の借家（マンション・アパートなど） 5. 公営賃貸住宅（府営・市営・公団・公社） 6. 社宅・官舎・寮 7. その他（ ）
あなたは いつ頃から 寝屋川市に 住んでいますか	1. 昭和 40 年以前 2. 昭和 41 年～50 年 3. 昭和 51 年～55 年 4. 昭和 56 年～60 年 5. 昭和 61 年～平成 2 年 6. 平成 3 年～7 年 7. 平成 8 年～12 年 8. 平成 13 年～17 年 9. 平成 18 年～22 年 10. 平成 23 年以降
あなたが 寝屋川市に 住むことになっ たきっかけは何 ですか	1. 生まれてからずっと市内に居住 2. 親の都合（住宅購入、転勤など） 3. 仕事・学業の都合（就職・転職・転勤、進学など） 4. 結婚 5. 親の高齢化・介護 6. 家業・家を継ぐ 7. 定年・早期退職 8. 健康上の理由（通院、病気療養など） 9. 上記の内容以外で、住みたい家があった 10. その他（ ）
あなたの 職場、通学 先は どこですか	1. 自宅又はその周辺（徒歩圏） 2. 自宅周辺以外の寝屋川市内 3. 大阪市内 4. 大阪府内（寝屋川市、大阪市を除く） 5. 働いていない、又は通学していない 6. その他（ ）

御協力ありがとうございました。

記入漏れがないか御確認の上、返信用の封筒に入れて、
9月 4日（月）までに切手を貼らずにポストへ入れてください。

資料2 単純集計結果

1 『安全で安心できるまちづくり』について

① 「防災・防犯・治水対策」についてお聞きします。

問1 寝屋川市は、災害に備えるまちづくりが行われていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	171	8.9%
少し思う	535	28.0%
どちらとも言えない	673	35.2%
あまり思わない	392	20.5%
思わない	118	6.2%
無回答	23	1.2%
計	1,912	100.0%

問2 地域の消防防災体制が充実していると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	173	9.0%
少し思う	444	23.2%
どちらとも言えない	786	41.1%
あまり思わない	382	20.0%
思わない	93	4.9%
無回答	34	1.8%
計	1,912	100.0%

問3 寝屋川市は、犯罪が少なく、安全なまちであると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	65	3.4%
少し思う	266	13.9%
どちらとも言えない	527	27.6%
あまり思わない	642	33.6%
思わない	386	20.2%
無回答	26	1.4%
計	1,912	100.0%

問4 雨の時に浸水の不安がありますか。

選択肢	回答数	構成比
不安がない	322	16.8%
あまり不安がない	406	21.2%
どちらとも言えない	156	8.2%
少し不安がある	585	30.6%
不安がある	434	22.7%
無回答	9	0.5%
計	1,912	100.0%

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「防災・防犯・治水」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

重要度	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
問5 災害に強いまちをつくる取組	1,263	444	156	23	6	20	1,912
問6 治水対策を促進する取組	1,135	532	183	25	8	29	1,912
問7 危機管理体制を充実する取組	1,161	500	197	18	6	30	1,912
問8 犯罪のないまちづくりを推進する取組	1,469	291	104	19	6	23	1,912

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	計
問5 災害に強いまちをつくる取組	49	225	1,010	307	122	199	1,912
問6 治水対策を促進する取組	61	279	918	305	141	208	1,912
問7 危機管理体制を充実する取組	37	156	1,024	356	130	209	1,912
問8 犯罪のないまちづくりを推進する取組	37	153	715	539	267	201	1,912

2 『健康でいきいき暮らせるまちづくり』について

① 「人権」についてお聞きします。

問9 市民一人一人の人権意識は高くなってきたと思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	112	5.9%
少し思う	368	19.2%
どちらとも言えない	929	48.6%
あまり思わない	391	20.4%
思わない	94	4.9%
無回答	18	0.9%
計	1,912	100.0%

問10 「男は仕事、女は家庭」というように性別によって役割を分担する考え方に共感しますか。

選択肢	回答数	構成比
共感しない	723	37.8%
あまり共感しない	557	29.1%
どちらとも言えない	417	21.8%
少し共感する	147	7.7%
共感する	59	3.1%
無回答	9	0.5%
計	1,912	100.0%

② 「保健福祉」についてお聞きします。

問 11 寝屋川市が配布している「健康づくりプログラム」を活用していますか。

選択肢	回答数	構成比
活用している	324	16.9%
活用していない	1,012	52.9%
プログラムを知らない	562	29.4%
無回答	14	0.7%
計	1,912	100.0%

問 12 地域の福祉活動が活発に行われていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	155	8.1%
少し思う	571	29.9%
どちらとも言えない	705	36.9%
あまり思わない	346	18.1%
思わない	103	5.4%
無回答	32	1.7%
計	1,912	100.0%

問 13 寝屋川市は、高齢者が生きがいを持ち、健康で心豊かに暮らせる環境づくりが進んでいると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	86	4.5%
少し思う	437	22.9%
どちらとも言えない	794	41.5%
あまり思わない	432	22.6%
思わない	144	7.5%
無回答	19	1.0%
計	1,912	100.0%

問 14 寝屋川市は、障害のある人に対するサービスや支援体制が整っていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	105	5.5%
少し思う	394	20.6%
どちらとも言えない	865	45.2%
あまり思わない	409	21.4%
思わない	117	6.1%
無回答	22	1.2%
計	1,912	100.0%

問 15 寝屋川市は、安心して子どもを産み育てることができるサービスや環境が整っていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	91	4.8%
少し思う	392	20.5%
どちらとも言えない	823	43.0%
あまり思わない	438	22.9%
思わない	141	7.4%
無回答	27	1.4%
計	1,912	100.0%

問 16 寝屋川市は、感染症対策が充実していると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	41	2.1%
少し思う	164	8.6%
どちらとも言えない	1,053	55.1%
あまり思わない	444	23.2%
思わない	180	9.4%
無回答	30	1.6%
計	1,912	100.0%

③ 現在、寝屋川市が取り組んでいる「人権」「保健福祉」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

重要度	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
問 17 平和を希求し人権が尊重されるまちをつくる取組	873	587	349	41	15	47	1,912
問 18 男女がともにいきいきと暮らせるまちをつくる取組	935	577	305	41	11	43	1,912
問 19 健康づくりを推進する取組	914	644	262	34	8	50	1,912
問 20 地域でともに支えあうしくみを充実する取組	821	638	356	36	16	45	1,912
問 21 高齢者の社会参加と自立支援を推進する取組	852	640	329	43	14	34	1,912
問 22 障害のある人が自立した生活を営む環境を整備する取組	934	624	282	23	7	42	1,912
問 23 子育てしやすい環境を整備する取組	1,155	501	188	18	10	40	1,912
問 24 安心できる環境衛生を確保する取組	1,091	538	223	16	4	40	1,912

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	計
問 17 平和を希求し人権が尊重されるまちをつくる取組	40	167	1,337	161	43	164	1,912
問 18 男女がともにいきいきと暮らせるまちをつくる取組	38	162	1,288	213	50	161	1,912
問 19 健康づくりを推進する取組	85	368	1,089	164	47	159	1,912
問 20 地域でともに支えあうしくみを充実する取組	47	223	1,160	260	61	161	1,912
問 21 高齢者の社会参加と自立支援を推進する取組	56	196	1,137	286	80	157	1,912
問 22 障害のある人が自立した生活を営む環境を整備する取組	39	163	1,182	276	84	168	1,912
問 23 子育てしやすい環境を整備する取組	46	232	1,032	304	135	163	1,912
問 24 安心できる環境衛生を確保する取組	41	182	1,168	266	90	165	1,912

3 『夢を育む学びのまちづくり』について

① 「教育・生涯学習・文化・芸術・国際交流」についてお聞きします。

問 25 寝屋川市の幼稚園は、教育内容が充実していると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	94	4.9%
少し思う	301	15.7%
どちらとも言えない	1,175	61.5%
あまり思わない	196	10.3%
思わない	59	3.1%
無回答	87	4.6%
計	1,912	100.0%

問 26 寝屋川市の小中学校は、教育内容が充実していると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	89	4.7%
少し思う	325	17.0%
どちらとも言えない	1,029	53.8%
あまり思わない	288	15.1%
思わない	100	5.2%
無回答	81	4.2%
計	1,912	100.0%

問 27 寝屋川市の小中学校・幼稚園は、教育環境（施設等）が充実していると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	76	4.0%
少し思う	307	16.1%
どちらとも言えない	981	51.3%
あまり思わない	339	17.7%
思わない	127	6.6%
無回答	82	4.3%
計	1,912	100.0%

問 28 寝屋川市は、学校・家庭・地域が連携して青少年の育成を見守っていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	119	6.2%
少し思う	523	27.4%
どちらとも言えない	716	37.4%
あまり思わない	397	20.8%
思わない	104	5.4%
無回答	53	2.8%
計	1,912	100.0%

問 29 寝屋川市は、生涯学習の機会や情報の提供が充実していると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	66	3.5%
少し思う	331	17.3%
どちらとも言えない	934	48.8%
あまり思わない	421	22.0%
思わない	100	5.2%
無回答	60	3.1%
計	1,912	100.0%

問 30 寝屋川市では、展示会・コンサートなど、文化・芸術活動が活発に行われていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	123	6.4%
少し思う	485	25.4%
どちらとも言えない	711	37.2%
あまり思わない	411	21.5%
思わない	131	6.9%
無回答	51	2.7%
計	1,912	100.0%

問 31 寝屋川市は、国際交流が盛んであると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	25	1.3%
少し思う	153	8.0%
どちらとも言えない	857	44.8%
あまり思わない	573	30.0%
思わない	249	13.0%
無回答	55	2.9%
計	1,912	100.0%

問 32 寝屋川市は、スポーツ活動の環境が整っていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	62	3.2%
少し思う	314	16.4%
どちらとも言えない	765	40.0%
あまり思わない	507	26.5%
思わない	209	10.9%
無回答	55	2.9%
計	1,912	100.0%

問 33 スポーツや運動をどれくらいの頻度で行っていますか。

選択肢	回答数	構成比
毎日	155	8.1%
週に3日程度	256	13.4%
週に1日程度	314	16.4%
月に数回程度	298	15.6%
行っていない	855	44.7%
無回答	34	1.8%
計	1,912	100.0%

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「教育・生涯学習・文化・芸術・国際交流」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

重要度	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
問34 就学前教育を充実する取組	581	617	515	108	16	75	1,912
問35 学ぶ力を育成する取組	851	604	344	36	7	70	1,912
問36 教育環境の整備・充実を図る取組	839	618	351	21	7	76	1,912
問37 青少年の健全育成を推進する取組	895	582	336	21	8	70	1,912
問38 生涯学習を充実する取組	648	667	469	46	10	72	1,912
問39 文化の振興を図る取組	435	567	708	55	5	142	1,912
問40 スポーツ活動を推進する取組	438	603	672	44	8	147	1,912
問41 国際交流を推進する取組	418	484	767	74	21	148	1,912

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	計
問34 就学前教育を充実する取組	23	155	1,340	196	66	132	1,912
問35 学ぶ力を育成する取組	27	143	1,264	256	88	134	1,912
問36 教育環境の整備・充実を図る取組	22	152	1,241	272	93	132	1,912
問37 青少年の健全育成を推進する取組	23	126	1,221	300	110	132	1,912
問38 生涯学習を充実する取組	29	145	1,300	241	70	127	1,912
問39 文化の振興を図る取組	20	134	1,320	158	56	224	1,912
問40 スポーツ活動を推進する取組	22	147	1,288	188	45	222	1,912
問41 国際交流を推進する取組	18	76	1,297	231	66	224	1,912

4 『快適でうるおいのあるまちづくり』について

① 「都市整備・都市環境」についてお聞きします。

問 42 寝屋川市は、地域の特性をいかした計画的なまちづくりが行われていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	60	3.1%
少し思う	363	19.0%
どちらとも言えない	777	40.6%
あまり思わない	519	27.1%
思わない	143	7.5%
無回答	50	2.6%
計	1,912	100.0%

問 43 寝屋川市は、快適な生活環境や美しいまちなみが確保されていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	76	4.0%
少し思う	390	20.4%
どちらとも言えない	651	34.0%
あまり思わない	550	28.8%
思わない	198	10.4%
無回答	47	2.5%
計	1,912	100.0%

問 44 寝屋川市は、駅周辺が魅力ある空間であると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	103	5.4%
少し思う	425	22.2%
どちらとも言えない	514	26.9%
あまり思わない	555	29.0%
思わない	265	13.9%
無回答	50	2.6%
計	1,912	100.0%

問 45 寝屋川市では、歩行者にやさしい道路整備が進んでいると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	51	2.7%
少し思う	265	13.9%
どちらとも言えない	476	24.9%
あまり思わない	639	33.4%
思わない	438	22.9%
無回答	43	2.2%
計	1,912	100.0%

問 46 あなたの身近に公園・緑地があると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	462	24.2%
少し思う	575	30.1%
どちらとも言えない	290	15.2%
あまり思わない	328	17.2%
思わない	220	11.5%
無回答	37	1.9%
計	1,912	100.0%

問 47 寝屋川市の水道水は、安全でおいしいと思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	309	16.2%
少し思う	500	26.2%
どちらとも言えない	704	36.8%
あまり思わない	228	11.9%
思わない	133	7.0%
無回答	38	2.0%
計	1,912	100.0%

問 48 水道及び下水道が取り組んでいるイベントや浸水対策等の事業に関心がありますか。

選択肢	回答数	構成比
関心がある	336	17.6%
どちらかと言えば関心がある	576	30.1%
どちらとも言えない	615	32.2%
どちらかと言えば関心がない	243	12.7%
関心がない	104	5.4%
無回答	38	2.0%
計	1,912	100.0%

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「都市整備・都市環境」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

重要度	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
問 49 計画的なまちづくりを推進する取組	845	650	313	33	5	66	1,912
問 50 良好な住宅・住環境を創出する取組	830	655	317	36	6	68	1,912
問 51 四駅周辺のまちづくりを推進する取組	756	624	407	43	9	73	1,912
問 52 安全で安定した上下水道サービスを提供する取組	1,040	565	236	11	3	57	1,912
問 53 利便性の高い快適なまちをつくる取組	898	615	308	26	3	62	1,912
問 54 水とみどり豊かなまちをつくる取組	925	617	282	27	3	58	1,912

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	計
問 49 計画的なまちづくりを推進する取組	23	226	1,161	280	108	114	1,912
問 50 良好な住宅・住環境を創出する取組	26	162	1,184	309	109	122	1,912
問 51 四駅周辺のまちづくりを推進する取組	28	240	1,088	310	119	127	1,912
問 52 安全で安定した上下水道サービスを提供する取組	84	319	1,124	206	58	121	1,912
問 53 利便性の高い快適なまちをつくる取組	30	203	1,111	342	101	125	1,912
問 54 水とみどり豊かなまちをつくる取組	50	272	1,110	258	104	118	1,912

5 『環境を守り育てるまちづくり』について

① 「環境」についてお聞きします。

問 55 寝屋川市は、地球温暖化防止に向けた取組の啓発活動など、温暖化対策が適切に行われていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	52	2.7%
少し思う	213	11.1%
どちらとも言えない	952	49.8%
あまり思わない	480	25.1%
思わない	158	8.3%
無回答	57	3.0%
計	1,912	100.0%

問 56 寝屋川市は、ごみの減量と資源リサイクルの取組が進んでいると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	241	12.6%
少し思う	705	36.9%
どちらとも言えない	576	30.1%
あまり思わない	247	12.9%
思わない	97	5.1%
無回答	46	2.4%
計	1,912	100.0%

問 57 寝屋川市は、ごみ収集及び処理が効率的かつ適正に行われていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	384	20.1%
少し思う	713	37.3%
どちらとも言えない	526	27.5%
あまり思わない	173	9.0%
思わない	75	3.9%
無回答	41	2.1%
計	1,912	100.0%

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「環境」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

重要度	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
問 58 環境に配慮したまちづくりを推進する取組	869	648	326	16	2	51	1,912
問 59 ごみの減量・資源化を推進する取組	919	643	282	17	3	48	1,912
問 60 廃棄物を適正に処理する取組	998	587	257	12	4	54	1,912

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	計
問 58 環境に配慮したまちづくりを推進する取組	46	267	1,215	197	68	119	1,912
問 59 ごみの減量・資源化を推進する取組	99	424	1,026	200	49	114	1,912
問 60 廃棄物を適正に処理する取組	99	340	1,092	199	67	115	1,912

6 『活力あふれるにぎわいのまちづくり』について

① 「産業」についてお聞きします。

問 61 寝屋川市の商・工・農は、近隣市と比べて活気があると感じますか。

選択肢	回答数	構成比
感じる	29	1.5%
少し感じる	150	7.8%
どちらとも言えない	781	40.8%
あまり感じない	686	35.9%
感じない	229	12.0%
無回答	37	1.9%
計	1,912	100.0%

問 62 産業振興センター（にぎわい創造館）を知っていますか。

選択肢	回答数	構成比
知っている	472	24.7%
知らない	1,407	73.6%
無回答	33	1.7%
計	1,912	100.0%

問 63 消費生活センターからの情報が役に立っていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
役に立っている	252	13.2%
どちらとも言えない	1,101	57.6%
役に立っていない	522	27.3%
無回答	37	1.9%
計	1,912	100.0%

問 64 寝屋川市内で買い物がしやすいと思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	443	23.2%
少し思う	610	31.9%
どちらとも言えない	411	21.5%
あまり思わない	287	15.0%
思わない	131	6.9%
無回答	30	1.6%
計	1,912	100.0%

問 65 寝屋川市内で生産した農作物を購入したいと思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	483	25.3%
少し思う	589	30.8%
どちらとも言えない	473	24.7%
あまり思わない	239	12.5%
思わない	100	5.2%
無回答	28	1.5%
計	1,912	100.0%

問 66 寝屋川市は、きめ細やかな就労支援サービスが提供されていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	27	1.4%
少し思う	159	8.3%
どちらとも言えない	1,015	53.1%
あまり思わない	476	24.9%
思わない	188	9.8%
無回答	47	2.5%
計	1,912	100.0%

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「産業」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

重要度	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
問67 地域産業の活性化を推進する取組	715	643	436	31	4	83	1,912
問68 商業の振興を図る取組	661	649	479	29	5	89	1,912
問69 工業の振興を図る取組	572	596	581	58	12	93	1,912
問70 農業の振興を図る取組	616	565	557	69	15	90	1,912
問71 消費者保護を推進する取組	735	609	445	29	6	88	1,912
問72 市域の労働力の活用を推進する取組	769	585	432	29	5	92	1,912

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	計
問 67 地域産業の活性化を推進する取組	15	99	1,382	205	61	150	1,912
問 68 商業の振興を図る取組	13	111	1,336	230	69	153	1,912
問 69 工業の振興を図る取組	11	82	1,407	205	53	154	1,912
問 70 農業の振興を図る取組	14	88	1,371	217	72	150	1,912
問 71 消費者保護を推進する取組	17	108	1,328	233	81	145	1,912
問 72 市域の労働力の活用を推進する取組	13	70	1,342	242	91	154	1,912

7 『市民が主役のまちづくり』について

① 「地域・市民ニーズの把握・情報発信」についてお聞きします。

問 73 自治会や小学校区での地域活動が盛んであると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	213	11.1%
少し思う	673	35.2%
どちらとも言えない	638	33.4%
あまり思わない	271	14.2%
思わない	74	3.9%
無回答	43	2.2%
計	1,912	100.0%

問 74 寝屋川市政に、市民の声が届いていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	43	2.2%
少し思う	249	13.0%
どちらとも言えない	778	40.7%
あまり思わない	532	27.8%
思わない	268	14.0%
無回答	42	2.2%
計	1,912	100.0%

問 75 「広報ねやがわ」を読んでいますか。

選択肢	回答数	構成比
毎号読んでいる	884	46.2%
時々読んでいる	771	40.3%
読んでいない	204	10.7%
無回答	53	2.8%
計	1,912	100.0%

- ② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「地域・市民ニーズの把握・情報発信」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

重要度	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
問76 コミュニティの活性化と協働を推進する取組	555	669	555	53	13	67	1,912
問77 情報発信を充実する取組	678	670	449	30	11	74	1,912
問78 市民ニーズを把握する取組	765	631	415	23	6	72	1,912

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	計
問76 コミュニティの活性化と協働を推進する取組	43	238	1,316	157	45	113	1,912
問77 情報発信を充実する取組	48	255	1,239	185	62	123	1,912
問78 市民ニーズを把握する取組	34	182	1,228	244	99	125	1,912

8 『将来を見据えた自治経営』について

- ① 「自治経営」についてお聞きします。

問79 寝屋川市は、健全な財政運営が行われていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	122	6.4%
少し思う	345	18.0%
どちらとも言えない	975	51.0%
あまり思わない	305	16.0%
思わない	121	6.3%
無回答	44	2.3%
計	1,912	100.0%

問80 寝屋川市は、行財政改革が進んでいると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	80	4.2%
少し思う	286	15.0%
どちらとも言えない	952	49.8%
あまり思わない	385	20.1%
思わない	151	7.9%
無回答	58	3.0%
計	1,912	100.0%

問 81 市役所やシティ・ステーションでの窓口対応に満足しましたか。

選択肢	回答数	構成比
満足した	295	15.4%
少し満足した	616	32.2%
どちらとも言えない	659	34.5%
あまり満足しなかった	230	12.0%
満足しなかった	78	4.1%
無回答	34	1.8%
計	1,912	100.0%

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「自治経営」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

重要度	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
問 82 健全な財政運営を行う取組	1,067	452	310	11	4	68	1,912
問 83 効率的な行政運営を行う取組	964	528	325	13	4	78	1,912
問 84 市民サービスを充実する取組	1,023	512	284	12	7	74	1,912

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	計
問 82 健全な財政運営を行う取組	45	226	1,225	211	77	128	1,912
問 83 効率的な行政運営を行う取組	31	189	1,265	211	71	145	1,912
問 84 市民サービスを充実する取組	56	265	1,130	239	87	135	1,912

9 『シティプロモーション』について

① 寝屋川市についてお聞きします。

問 85 あなたは、現在住んでいるところに、これからも住み続けたいと思いますか。

選択肢	回答数	構成比
現在の場所に住み続けたい	1,098	57.4%
市内の他の地域に引っ越したい	114	6.0%
市外へ引っ越したい	224	11.7%
分からない	447	23.4%
無回答	29	1.5%
計	1,912	100.0%

問 86 「現在の場所に住み続けたい」と答えた人にお聞きします。それはどのような理由からですか。(〇は3つまで)

選択肢	回答数	構成比
1. 生まれ育ったところである	221	20.1%
2. なじみがある	378	34.4%
3. 買い物など日常生活が便利である	603	54.9%
4. 勤務先・通学先に近く便利である	148	13.5%
5. 公共交通機関(鉄道)が整っている	274	25.0%
6. 公共交通機関(バス)が整っている	112	10.2%
7. 物価が安い	85	7.7%
8. 近所付き合いがうまくいっている	218	19.9%
9. 今の住宅条件(広さ・家賃など)が良い	222	20.2%
10. 教育文化施設が多く、内容が充実している	7	0.6%
11. 社会福祉に対する取組が行き届いている	24	2.2%
12. 病院などの保健・医療体制が整っている	172	15.7%
13. 子育て環境が良い	38	3.5%
14. 治安が良い	89	8.1%
15. 道路などの都市基盤の整備がされている	22	2.0%
16. 公害・自然災害などが少ない	166	15.1%
17. 緑や水辺などの自然環境が多い	142	12.9%
18. まちのイメージが良い	13	1.2%
19. その他	22	2.0%

問 87 「市内の他の地域に引っ越したい」又は「市外へ引っ越したい」と答えた人にお聞きします。それはどのような理由からですか。(〇は3つまで)

選択肢	回答数	構成比
1. 今住んでいる場所にどうもなじめない	31	9.2%
2. 建物が密集していて、住み心地が良くない	70	20.7%
3. 買い物など日常生活が不便である	75	22.2%
4. 勤務先・通学先に遠く不便である	48	14.2%
5. 公共交通機関(鉄道)が整っていない	42	12.4%
6. 公共交通機関(バス)が整っていない	52	15.4%
7. 物価が高い	14	4.1%
8. 近所付き合いがうまくいっていない	20	5.9%
9. 今の住宅条件(広さ・家賃など)が良くない	72	21.3%
10. 教育文化施設が少なく、利用しにくい	26	7.7%
11. 社会福祉に対する取組が行き届いていない	25	7.4%
12. 病院などの保健・医療体制が整っていない	30	8.9%
13. 子育て環境が良くない	38	11.2%
14. 治安が良くない	78	23.1%
15. 道路などの都市基盤の整備が遅れている	51	15.1%
16. 公害・自然災害が多い	10	3.0%
17. 緑や水辺などの自然環境が少ない	53	15.7%
18. まちのイメージが良くない	47	13.9%
19. その他	37	10.9%

問 88 あなたは、寝屋川市がどのようなイメージのまちになることを望みますか。(○は3つまで)

選択肢	回答数	構成比
1. 笑顔があふれる温かいまち	246	12.9%
2. 洗練されたおしゃれなまち	90	4.7%
3. にぎわいや活気のある明るいまち	268	14.0%
4. (緑や花、水辺などの)うるおいに満ちたまち	333	17.4%
5. 静かで落ち着いたまち	304	15.9%
6. 安全で安心なまち	869	45.4%
7. 歴史の風情を感じるまち	59	3.1%
8. 娯楽があって楽しい(愉快的)まち	48	2.5%
9. 我が家のような安らぎのあるまち	83	4.3%
10. 人情に厚い(人の良さや優しさが感じられる)まち	240	12.6%
11. 郷土愛にあふれているまち	39	2.0%
12. 便利で快適なまち	556	29.1%
13. 多くの人から親しまれるまち	105	5.5%
14. 芸術の香りがする文化的なまち	58	3.0%
15. 全国的に名前が知られているまち	38	2.0%
16. その他	24	1.3%

問 89 あなたは、他の市と比較して、寝屋川市の大きな魅力は何だと思いますか。(○は3つまで)

選択肢	回答数	構成比
1. 通勤・通学の利便性	391	20.4%
2. 買い物など日常生活の利便性	716	37.4%
3. 手頃な住宅価格や家賃	274	14.3%
4. 良好な住環境	153	8.0%
5. 市内公共交通の利便性	247	12.9%
6. 道路事情の良さ	94	4.9%
7. 充実した子育て環境(保育施設、保育への支援等)	49	2.6%
8. 充実した教育環境(学校施設、学力向上の取組等)	36	1.9%
9. 充実した医療・福祉サービス	146	7.6%
10. 充実した文化・スポーツ施設	19	1.0%
11. 治安の良さ	99	5.2%
12. 自然環境の良さ	131	6.9%
13. 自然災害の少なさ	541	28.3%
14. 地域コミュニティの活気	50	2.6%
15. 中心市街地(商店街など)の活気	25	1.3%
16. 人を呼び込める観光資源	3	0.2%
17. 祭りなどのイベント・行事	81	4.2%
18. その他	51	2.7%

問 90 あなたは、寝屋川市に住むことや来訪することを友人、知人に勧めたいと思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	95	5.0%
少し思う	317	16.6%
どちらとも言えない	840	43.9%
あまり思わない	410	21.4%
思わない	213	11.1%
無回答	37	1.9%
計	1,912	100.0%

問 91 「あまり思わない」「思わない」と答えた人にお聞きします。それはどのような理由からですか。(○は2つまで)

選択肢	回答数	構成比
1. 勧める相手がいない	107	17.2%
2. 勧める機会(きっかけ)又は時間がない	32	5.1%
3. (魅力を知っているが)他の人には知られたくない	2	0.3%
4. 既に魅力は知られている	2	0.3%
5. 勧めることができる魅力がない	352	56.5%
6. 何を勧めてよいか分からない	244	39.2%
7. 人に勧めることが好きではない又はメリットを感じない	98	15.7%
8. その他	37	5.9%

問 92 あなたは、地域をより良くするために、あなたができる活動(地域協働、自治会の活動、ボランティア活動など)をしたいと思いませんか。

選択肢	回答数	構成比
思う	183	9.6%
少し思う	534	27.9%
どちらとも言えない	614	32.1%
あまり思わない	283	14.8%
思わない	208	10.9%
無回答	90	4.7%
計	1,912	100.0%

問 93 「思う」又は「少し思う」と答えた人にお聞きします。実際に何か活動をしていますか。

選択肢	回答数	構成比
活動している	244	34.0%
活動していない	464	64.7%
無回答	9	1.3%
計	717	100.0%

問 94 「活動していない」と答えた人にお聞きします。それはどのような理由からですか。(○は3つまで)

選択肢	回答数	構成比
1. 活動するきっかけがない	184	39.7%
2. 活動の仕方が分からない	105	22.6%
3. 活動しなくても日常生活に支障がない	33	7.1%
4. (活動することについて)自分にとってのメリットを感じない	7	1.5%
5. 活動できる場所、団体、活動内容などの情報が分からない	135	29.1%
6. 仕事や子育て、介護等で忙しくて、活動する時間がない	166	35.8%
7. 人付き合いがわずらわしい(面倒くさい)	25	5.4%
8. 活動するに当たっての支援がない	17	3.7%
9. 自分がどんな活動ができるのか分からない(自信がない)	129	27.8%
10. その他	39	8.4%

問 95 あなたは、「ワガヤネヤガワ」というフレーズやロゴマークをどれくらいの頻度で見た（聞いた）ことがありますか。

選択肢	回答数	構成比
毎日必ず見る（聞く）	57	3.0%
1週間に1回くらいの頻度で見る（聞く）	118	6.2%
1か月に1回くらいの頻度で見る（聞く）	203	10.6%
見た（聞いた）ことはあるが、頻度は多くない	592	31.0%
見た（聞いた）ことがない（「ワガヤネヤガワ」のフレーズやロゴを知らない）	792	41.4%
無回答	150	7.8%
計	1,912	100.0%

問 96 あなたは、「ワガヤネヤガワ」と聞いて、どのようなイメージを持ちますか。（○は3つまで）

選択肢	回答数	構成比
1. 笑顔があふれる温かいイメージ	294	15.4%
2. 洗練されたおしゃれなイメージ	11	0.6%
3. にぎわいや活気があり明るいイメージ	147	7.7%
4. うるおいに満ちたイメージ	30	1.6%
5. 静かで落ち着いたイメージ	149	7.8%
6. 安全で安心なイメージ	191	10.0%
7. 歴史的な風情があるイメージ	84	4.4%
8. 楽しくて愉快的なイメージ	86	4.5%
9. 安らぎのあるイメージ	332	17.4%
10. 人の良さや優しさがあるイメージ	266	13.9%
11. ふるさとを大切にするイメージ	335	17.5%
12. 便利で快適なイメージ	124	6.5%
13. 親しみやすいイメージ	565	29.6%
14. 知性や感性が高いイメージ	11	0.6%
15. 全国的に名前が知られているイメージ	47	2.5%
16. その他	202	10.6%

問 97 あなたは、寝屋川市に住んでみて、100点満点で何点ですか。

選択肢	回答数	構成比
0～9点	7	0.4%
10～19点	6	0.3%
20～29点	14	0.7%
30～39点	62	3.2%
40～49点	75	3.9%
50～59点	225	11.8%
60～69点	375	19.6%
70～79点	496	25.9%
80～89点	371	19.4%
90点以上	125	6.5%
無回答	156	8.2%
計	1,912	100.0%

11 あなた御自身のことについて

あなたの性別は

選択肢	回答数	構成比
男性	748	39.1%
女性	1,084	56.7%
無回答	80	4.2%
計	1,912	100.0%

あなたの年齢は

選択肢	回答数	構成比
18～19 歳	29	1.5%
20～29 歳	110	5.8%
30～39 歳	186	9.7%
40～49 歳	318	16.6%
50～59 歳	296	15.5%
60～69 歳	398	20.8%
70～79 歳	396	20.7%
80 歳以上	143	7.5%
無回答	36	1.9%
計	1,912	100.0%

あなたのお住まいの小学校区は

選択肢	回答数	構成比
東小学校区	88	4.6%
西小学校区	84	4.4%
南小学校区	70	3.7%
北小学校区	137	7.2%
第五小学校区	189	9.9%
成美小学校区	73	3.8%
明和小学校区	56	2.9%
池田小学校区	98	5.1%
中央小学校区	106	5.5%
啓明小学校区	62	3.2%
三井小学校区	84	4.4%
木屋小学校区	80	4.2%
木田小学校区	75	3.9%
神田小学校区	63	3.3%
堀溝小学校区	50	2.6%
田井小学校区	72	3.8%
桜小学校区	59	3.1%
点野小学校区	72	3.8%
和光小学校区	63	3.3%
国松緑丘小学校区	68	3.6%
楠根小学校区	34	1.8%
梅が丘小学校区	56	2.9%
宇谷小学校区	65	3.4%
石津小学校区	31	1.6%
分からない	14	0.7%
無回答	63	3.3%
計	1,912	100.0%

同居されている家族の構成は

選択肢	回答数	構成比
単身世帯（ひとり暮らし）	233	12.2%
1世代世帯（夫婦だけ）	519	27.1%
2世代世帯（親と子）	964	50.4%
3世代世帯（親と子と孫）	108	5.6%
その他	30	1.6%
無回答	58	3.0%
計	1,912	100.0%

18歳未満の子どもの人数

	2世代世帯	3世代世帯
0人	248	24
1人	165	27
2人	142	20
3人	41	6
4人以上	6	2
計	602	79

あなたのお仕事は

選択肢	回答数	構成比
会社員・公務員	460	24.1%
自営業（商業・工業・サービス業）	100	5.2%
農業	6	0.3%
自由業（弁護士・芸術家など）	10	0.5%
学生	48	2.5%
家事専業	393	20.6%
パート・アルバイト・契約社員・派遣社員	340	17.8%
無職（学生、家事専業を除く）	330	17.3%
その他	99	5.2%
無回答	126	6.6%
計	1,912	100.0%

あなたがお住まいの住居は

選択肢	回答数	構成比
持家（一戸建て）	1,086	56.8%
持家（マンションなど）	304	15.9%
民間の借家（一戸建て）	60	3.1%
民間の借家（マンション・アパートなど）	203	10.6%
公営賃貸住宅（府営・市営・公団・公社）	124	6.5%
社宅・官舎・寮	10	0.5%
その他	27	1.4%
無回答	98	5.1%
計	1,912	100.0%

あなたはいつ頃から寝屋川市に住んでいますか

選択肢	回答数	構成比
昭和 40 年以前	227	11.9%
昭和 41 年～50 年	411	21.5%
昭和 51 年～55 年	211	11.0%
昭和 56 年～60 年	145	7.6%
昭和 61 年～平成 2 年	164	8.6%
平成 3 年～7 年	152	7.9%
平成 8 年～12 年	136	7.1%
平成 13 年～17 年	98	5.1%
平成 18 年～22 年	113	5.9%
平成 23 年以降	154	8.1%
無回答	101	5.3%
計	1,912	100.0%

あなたが寝屋川市に住むことになったきっかけは何ですか

選択肢	回答数	構成比
生まれてからずっと市内に居住	327	17.1%
親の都合（住宅購入、転勤など）	278	14.5%
仕事・学業の都合（就職・転職・転勤、進学など）	336	17.6%
結婚	477	24.9%
親の高齢化・介護	25	1.3%
家業・家を継ぐ	7	0.4%
定年・早期退職	16	0.8%
健康上の理由（通院、病気療養など）	19	1.0%
上記の内容以外で、住みたい家があった	151	7.9%
その他	156	8.2%
無回答	120	6.3%
計	1,912	100.0%

あなたの職場、通学先はどこですか

選択肢	回答数	構成比
自宅又はその周辺（徒歩圏）	179	9.4%
自宅周辺以外の寝屋川市内	192	10.0%
大阪市内	268	14.0%
大阪府内（寝屋川市、大阪市を除く）	327	17.1%
働いていない、又は通学していない	598	31.3%
その他	97	5.1%
無回答	251	13.1%
計	1,912	100.0%

平成 29 年度 市民意識調査報告書
平成 30 年 3 月

寝屋川市 経営企画部 広報広聴課

はちかづきちゃん



ねや丸くん

